

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年6月26日

【事業年度】 自 平成26年1月1日 至 平成26年12月31日

【会社名】 スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト
(Svenska Handelsbanken AB (publ))

【代表者の役職氏名】 ベント・エドホルム
(Bengt Edholm)
シニア・ヴァイス・プレジデント
(Senior Vice President)

トーマス・オーマン
(Thomas Åhman)
シニア・ヴァイス・プレジデント
(Senior Vice President)

【本店の所在の場所】 スウェーデン王国 SE-106 70 ストックホルム クングストラッ
ドゴードシュガータン 2
(Kungsträdgårdsgatan 2, SE-106 70 Stockholm, Sweden)

【代理人の氏名又は名称】 弁護士 多賀 大輔

【代理人の住所又は所在地】 東京都港区元赤坂一丁目2番7号 赤坂Kタワー
アンダーソン・毛利・友常法律事務所

【電話番号】 03-6888-1181

【事務連絡者氏名】 弁護士 乙黒 亮祐
弁護士 根本 伸毅
弁護士 山崎 悦子

【連絡場所】 東京都港区元赤坂一丁目2番7号 赤坂Kタワー
アンダーソン・毛利・友常法律事務所

【電話番号】 03-6888-4781/4784/5850

【縦覧に供する場所】 該当事項なし。

注記：

(注1) 本書において、別段の記載がある場合を除いて、下記の用語は下記の意味を有するものとする。

「当行」とは、	スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトをいう。
「当行グループ」とは、	スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト及びその連結子会社をいう。
「北欧諸国」又は「北欧」とは、	スウェーデン、デンマーク、フィンランド及びノルウェーをいう。
「スウェーデン」とは、	スウェーデン王国をいう。

(注2) 別段の記載がある場合を除き、「SEK」及び「スウェーデン・クローネ」はスウェーデン・クローネを、「米ドル」はアメリカ合衆国ドルを、「豪ドル」はオーストラリア・ドルを、「円」は日本円を、「英ポンド」は英貨ポンドを、「デンマーク・クローネ」はデンマーク・クローネを、「ノルウェー・クローネ」はノルウェー・クローネを、「ユーロ」は欧州連合の機能に関する条約(その後の改正を含む。)に基づき単一通貨を採用する又は採用した欧州連合の加盟国の通貨、「スイス・フラン」はスイス・フランを指す。2015年5月26日現在(日本時間)、株式会社三菱東京UFJ銀行が提示した対顧客電信売買相場の仲値は、1スウェーデン・クローネ=14.42円であった。本書におけるスウェーデン・クローネから日本円への換算額は、読者の便宜のためにのみ記載するものであり、スウェーデン・クローネ額が上記レートで日本円に換算されることを示すものと解してはならない。

(注3) 本書中の表における数値が四捨五入されている場合、合計欄の数値は必ずしも関連する各数値の合計と一致しない。

(注4) 本書には、将来の事象、財務及び経営成績並びに将来の市場の状況についての経営陣の現在の予測を反映した、将来の見通しに関する記述が含まれている。「確信している」、「期待している」、「予想している」、「目指す」、「見積もっている」、「意図している」、「見通しである」、「目標としている」、「と思われる」、「可能性がある」、「想定する」、「場合がある」、「予定である」及び「はずである」等の語句又はその他の変化形若しくは類似の用語は、将来の見通しに関する記述であることを明確にすることを意図している。将来の見通しに関する記述は本書中、複数箇所に登場する(「第一部 - 第3 - 4 事業等のリスク」並びに「第一部 - 第3 - 7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を含むが、これらに限られない。)

将来の見通しに関する記述は、将来起こることも起こらないこともある事象に関連し、またかかる状況に依拠するものであるため、本来的にリスク及び不確実性を伴う。当行グループ及び当行は誠実に、かつ合理的と信じる想定に基づいて、上述の将来の見通しに関する記述を記載したが、かかる将来の見通しに関する記述のいずれも、将来の実績を確約又は保証するものではない。当行グループ及び当行の実際の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フロー並びに当行グループ及び当行が事業を行っている市場の動向は、本書に含まれる将来の見通しに関する記述において明示又は示唆された内容とは大幅に異なる可能性がある。「第一部 - 第3 - 4 事業等のリスク」並びに「第一部 - 第3 - 7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」におけるすべての将来の見通しに関する記述は、本有価証券報告書提出日現在で見積もられたものである。

将来の見通しに関する記述に依拠する場合、読者は、前述の要素、その他の不確定要素及び事象、特に当行グループ及び当行が事業を行う環境における政治的、経済的、社会的及び法律的な要因について慎重に検討すべきである。かかる将来の見通しに関する記述は、それらの記述がなされた日現在における記述に過ぎない。したがって、当行グループ又は当行のいずれも、それらの記述について、新たな情報、将来の事象又はその他の要因にかかわらず、更新又は修正する義務を負わない。当行グループ及び当行は、かかる将来の見通しに関する記述により期待される結果が達成されると表明し、保証し又は予想するものではなく、また、将来の見通しに関する記述は、いずれの場合も、多くの想定されるシナリオのうちの一つを示しているに過ぎず、もっとも可能性の高いシナリオ又は標準的なシナリオと考えられるべきではない。

(注5) 当行は、いかなる場合においても、本書において税制上、法律上又は規制上の助言を行うものではない。

(注6) 当行グループ及び当行の事業年度は暦年である。

第一部【企業情報】

第1【本国における法制等の概要】

日本において得られた判決の効力

外国の裁判所が民事及び商事事件について下した判決のスウェーデンにおける執行可能性は、当該判決の執行可能性がスウェーデンの法律に明示的に定められていること又は判決の相互承認及び執行を定める条約を条件とする。日本とスウェーデンは、民事及び商事事件の判決の相互承認及び執行を定める条約を締結していない。したがって、民事責任に基づいて日本の裁判所が下した判決は、スウェーデンにおいて直接執行できない。

有利な最終判決を得た者が管轄権のあるスウェーデンの裁判所に新規に提訴する場合、その者は日本の裁判所によるかかる最終判決をスウェーデンの裁判所に提出することができる。かかる最終判決は、スウェーデンの裁判所においては、かかる判決が関係する紛争の結果に関する証拠としてしか扱われず、スウェーデンの裁判所は、新規にかかる紛争について審理することができる。

1【会社制度等の概要】

(1)【提出会社の属する国・州等における会社制度】

(i)概要

関係法令及び自主規制

当行のようなスウェーデンで設立された公開有限責任会社である銀行(publikt bankaktiebolag)は、主として、すべての有限責任会社に適用されるスウェーデン会社法(aktiebolagslagen (2005:551))(以下「会社法」という。)、スウェーデンにおける銀行・金融業を規制するスウェーデン銀行・金融業法(lag (2004:297) om bank- och finanseringsrörelse)(以下「銀行法」という。)及び証券業を規制するスウェーデン証券市場法(lag (2007:528) om värdepappersmarknaden)(以下「証券市場法」という。)により規制される。有限責任会社である銀行の年次会計は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次会計法(lag (1995:1559) om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag)により規制される。当行はナスダックOMXストックホルムに上場しているため、ナスダックOMXの上場規則(発行会社のための規則集)及び自主規制の基礎であり、「遵守するか、そうでない場合は説明をする(comply or explain)」の原則に基づくスウェーデンコーポレート・ガバナンス・コード(以下「コーポレート・ガバナンス・コード」という。)も遵守しなければならない。

当行は、スウェーデン金融監督庁(Finansinspektionen)(以下「SFSA」という。)から、銀行法に基づく銀行業を営む免許及びとりわけ証券市場法に基づく証券業を営む免許を取得している。そのため、当行は、SFSAの規則及びSFSAが発表する一般指針の適用を受ける。さらに、当行の子会社の多くは金融機関及び保険会社を規制するスウェーデン及び外国の法律により規制されており、またSFSA又は他の法域における類似機関の監督に服している。当行は、当行が事業を営むすべての市場において、消費者保護をはじめとする広範な規制に服している。

銀行法の規定のうち特筆すべきは、当行の株式を取得しようとする株主の持分が一定の基準(当行の資本又は議決権の10、20、30若しくは50%又は結果的に当行が取得者の子会社となるような数)に達するか若しくはそれを超えることとなる場合、又は株主がその他の方法により当行の経営に重要な影響力を持つこととなる場合には、SFSAの事前の承認が必要であるとする規定をはじめとする、所有及び経営評価に関する規則である。さらに、当行の取締役会の構成員及びその代理並びに経営責任者及び経営責任者代理の任命については、経営評価に関するスウェーデンの規則に基づき、SFSAの承認を得なければならない。

設立

当行は、公開有限責任会社である銀行(publikt bankaktiebolag)である。

有限責任会社の設立には、発起人が特に会社の定款(bolagsordning)を含む設立証書(stiftelseurkund)を作成することを要する。定款は、とりわけ、会社の商号及び事業活動に関する情報を含むことを要する。

設立証書には、会社の株式を引き受ける発起人の名前及び各発起人の引受株式数が記載される。引受株式の支払いは、現金又は現物(apportegendom)によりなすことができる。会社は、会社登記番号を交付するスウェーデン会社登記所(Bolagsverket)(以下「SCRO」という。)に登録することにより設立される。登記の申請は、設立証書の作成後6ヶ月以内にSCROに対してなされなければならない。

非公開有限責任会社の資本金は50,000スウェーデン・クローネ以上、公開有限責任会社の資本金は500,000スウェーデン・クローネ以上であることを要する。一般に、銀行法に従い、銀行はその事業開始にあたり、SFSAからの免許取得時に5百万ユーロ以上の当初資本金を有していなければならない。

定款

定款は、すべての有限責任会社の基本的な統治書類である。定款には、とりわけ、会社の事業内容、資本金及び株主の株主総会出席権が記載される。定款は公的記録上に保存され、SCROにおいて入手可能である。

資本金及び株式

資本金

会社法に従い、公開有限責任会社の資本金は500,000スウェーデン・クローネ以上であることを要する。銀行法には、銀行の資本規模は銀行の事業の範囲及び性質に基づき決定されなければならない旨を定める追加の規定がある。有限責任会社の定款には、資本金の最低額及び最高額を定めなければならない。有限責任会社の現在の登録資本金は公的記録事項であり、SCROにおいて入手可能である。

議決権

有限責任会社の定款に別段の定めのない限り、1株は1議決権を有する。定款には、他の株式の10倍超の議決権を有する種類株式について定めることはできない。当行の定款の下では、A種株式及びB種株式の2種類の株式を発行することができ、A種株式には1株につき1議決権が、B種株式には1株につき10分の1議決権が付される。

配当

スウェーデン法に基づき、配当は株主総会での承認を得なければならない。配当は、分配可能額の範囲内であることに加えて、事業の性質、範囲及びリスク並びに会社の財務体質、流動性及び財政状態を強化する必要性から課される株主資本の大きさに関する要請に照らして、妥当な範囲内である場合に限られる。さらに、株主は、一般のルールとして、取締役会で提案又は承認された額を上回る額の配当の決定をすることはできない。

スウェーデン法においては、当行の発行済株式総数の10分の1以上を保有する株主には、当行の利益から配当金の支払いを要求する権利がある。かかる要求がなされたら、年次株主総会では、()非制限準備金を超える繰越損失の超過額、()法律又は定款により、制限資本に繰入れなければならない額、及び()定款上、当行の株主資本の5%を超えて充当されるべきとされている額を控除の上、承認された貸借対照表に従い当期の残存利益の2分の1相当額の配当を決議する。さらに、株主総会では、分配可能額を上回る配当又は上述の妥当な範囲を超えた配当を行うことはできない。

株主総会は、有限責任会社における上位機関であり、株主への配当の分配を決定する権利を有する唯一の機関である。

配当は、通常、ユーロクリアを通じて1株毎に現金で支払われるが、現物により支払われることもある(現物配当)。株主総会において決定された基準日において、ユーロクリアが保管する株主名簿に株式所有者として登録されている者が、配当を受領する権利を有する。ユーロクリアを通じて株主と連絡を取ることができない場合も、当該株主は配当金額に係る当行への請求権を保持し、かかる権利は時効によってのみ制限される。請求権が時効になった場合、配当金額は当行が没収する。

当行株式の取引

当行の株式は、ナスダックOMXストックホルムでの取引が認められている。

ナスダックOMXストックホルム等の取引所における取引を認められた株式の譲渡は、ユーロクリアのシステムを通じて清算及び決済される。

ライツ・イシュー

既存株主は、スウェーデン法の主要規則として、株式、ワラント及び転換可能証券の新規発行の場合と同様に、その保有株式数に応じて新株式の優先的引受権を有する。但し、株主総会は株主の優先的引受権を制限する決議をすることができる。かかる決議は、投票総数及び総会出席者の保有株式数の各々3分の2以上を保有する株主の賛成がある場合にのみ有効である。さらに、発行される有価証券の対価が現金以外で払い込まれる場合、株主は優先的引受権を有しない。会社又はその子会社が保有する株式には、優先的引受権は付されない。

株主総会、取締役会及び経営責任者

株主及び株主総会

株主は、有限責任会社における最上位の意思決定機関である有限責任会社の株主総会(bolagsstämma)においてその権利を行使する。年次株主総会(årsstämma)に加えて、臨時株主総会(extra bolagsstämma)が招集される場合もある。株主総会は、特に、定款又は資本金の変更及び利益配分を決議し、取締役会の構成員を任命し、取締役会の構成員及び経営責任者の免責を決議し、取締役会の報酬を決議し、経営責任者及び上級経営陣の報酬原則を承認する。

株主総会出席権

当行のような会社の株主名簿はユーロクリアが保管しているが、株主総会の5営業日前の日において株主名簿に直接登録されており、かつ株主総会招集通知に記載の日において当行に出席の意思を通知した株主は、株主総会に出席する権利を有する。株主は、本人又は代理人により株主総会に出席することができる。株主は、2名以下の同伴者を同行させることができる。株主は通常、複数の異なる方法により株主総会のための登録をなすことができる。株主総会招集通知には、株主総会への出席権を得るために株主が登録を行い当行への通知をなすべき方法及びその期限が記載されている。

取締役会

銀行法及び会社法に基づき、取締役会は、当行のような会社の組織及び経営につき最終的な責任を負う。年次株主総会は、会長を含む取締役会の構成員を選任し、監査人の選任が予定された場合は、監査人を選任する。コーポレート・ガバナンス・コードに従い、会長を含む取締役会の構成員及び監査人の指名は、指名委員会が行うものとする。指名委員会の任命原則は、株主総会において決議される。

SCROが例外を認める場合を除き、スウェーデン法の下では、経営責任者及び半数以上の取締役が欧州経済領域に属する国の居住者であることを要する。有限責任会社の定款は、通常、株主総会で選任された取締役会の構成員の任期を次回の年次株主総会の時までとする旨定めている。株主により選任された取締役会の構成員

は、株主総会により随時解任することが可能であり、取締役会の欠員は株主総会の決議によってのみ補充される。スウェーデン法の下では、公開有限責任会社の経営責任者は、取締役会会長を務めることができない。さらに、公開有限責任会社である銀行においては、取締役会のすべての構成員につきSFSAの承認を得なければならない。

経営責任者

公開有限責任会社である銀行においては、取締役会は経営責任者を任命しなければならない。会社法に従い、経営責任者は、取締役会が出した指針及び指図に従って会社の日常的な経営につき責任を負う。さらに、経営責任者は、法に従って会社の計算を管理し、健全な資金運営が行われるよう必要な措置を講じなければならない。経営責任者は、SCROに登録される。さらに、公開有限責任会社である銀行においては、経営責任者につきSFSAの承認を得なければならない。

損害賠償責任

会社法に従い、自らの職務の遂行にあたり故意又は過失により会社に損害を及ぼした発起人、取締役会の構成員又は経営責任者は、かかる損害を賠償しなければならない。会社法、適用ある年次報告関係法令又は会社の定款に違反した結果、株主又はその他の者に損害を及ぼした場合も同様である。さらに、有限責任会社である銀行については、銀行法並びに金融及び投資機関監督法(lag (2014:968) om särskild tillsyn över kreditinstitut och värdepappersbolag)に違反した場合も上記と同様である。

損害は、作為又は不作為の性質、損害の程度及び一般的な状況を考慮の上、合理的に調整されることがある(jämkas)。同一の損害につき複数の者が責任を負う場合、それらの者のいずれかの責任が上記に従い調整されない限り、かかる者は連帯して責任を負う。これらの者のいずれかが損害を賠償した場合、かかる者は他の当事者に対して状況に応じて合理的に求償権を行使することができる。

会社への損害に関する訴訟は、株主総会において、過半数又は会社の全株式の10分の1以上を保有する少数株主が、損害に関する訴訟の提起の決議に賛成した場合又は取締役会の構成員若しくは経営責任者の免責の決議に反対した場合にのみ提起することができる。

法定監査人

銀行法に従い、有限責任会社である銀行は、1名以上の監査人を置かなければならない。選任される監査人の1名以上は、認可公認会計士(auktoriserad revisor)又は会計学の学位を有する承認公認会計士(godkänd revisor som har avlagt revisorsexamen)であることを要する。

年次計算書類

スウェーデンの会計関連法令は、会計に関する強制法により構成され、そのうち最も重要なものが年次報告法(årsredovisningslagen)及び簿記法(bokföringslagen)である。年次報告法及び簿記法は、会計の一般的な枠組みであり、いずれも「一般に公正妥当と認められた会計原則」を定めるものである。信用機関は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法の適用を受ける。

規制市場(ナスダックOMXストックホルム等)における取引を認められた株式の発行会社は、IFRSに従って連結年次計算書類を作成しなければならない。

年次株主総会においては、損益計算書及び貸借対照表の承認決議がなされ、グループ全体の財務書類を作成しなければならない親会社の年次株主総会においては、連結損益計算書及び連結貸借対照表の承認決議がなされる。前事業年度の年次報告書は、当該年次報告書に対応すべき年次株主総会よりも前に監査人に提出されなければならない。

会社は、すべての事業年度につきSCROに年次報告書を提出しなければならない。その結果、年次報告書は一般に閲覧可能なものとなる。

()規制環境及び資本基盤

規制環境

1世紀以上の間、スウェーデンにおける銀行業は政府の厳密な検査及び管理に服してきた。SFSAは、スウェーデンの信用機関に対する監督当局である。SFSAの監督責任は、銀行及びその他の金融機関から、保険会社、証券業者、ファンドの運用会社及びナスダックOMXストックホルムにまで及んでいる。かかる監督責任は、スウェーデンの銀行の国外支店にも及ぶ。SFSAの総合的な目的は、金融システムの安定化及び効率性に貢献するとともに消費者保護を促進することである。

SFSAの監督は、とりわけ、自己資本比率、大口エクスポージャー及び財務書類に関する報告書の分析、並びに各銀行の業務がスウェーデンの銀行法規を遵守することを確実にするための実地検査を通して行われる。

SFSAは法律により授権された規制権限を有しており、これには、会計規制を発令し、銀行に対し月次財務書類及び様々なリスク報告書の提出を求め、各銀行の業務が銀行業務を規制する法律及び各銀行の定款を遵守することを確実にするための定期的な検査を実施する権限が含まれる。SFSAは、各銀行の年次株主総会において株主により選任される監査人とともに当該銀行の財務書類及び業務運営を調査する1名以上の監査人を任命する権限を有する。SFSAは、2008年度から2014年度の会計年度については当行の監査人を任命しなかった。

監督機能に加えて、SFSAは、スウェーデンの金融市場で事業を営む会社に対する義務的規制及び一般指針の両方を公表している。

銀行法は、すべての銀行に対し、SFSAの与える免許に基づいて営業するよう求めている。かかる免許は無期限であるが、SFSAによる制限付取消権に服する。

当行の存続期間は無期限である。

リクスバンク

リクスバンクは、スウェーデンの中央銀行であり、スウェーデン議会(リクスダーグ)の機関である。リクスバンクは、金融政策を決定し、スウェーデンの為替政策の実施に責任を負い、スウェーデンの通貨準備を管理し、一定の場合における銀行への最後の貸手として待機している。また、リクスバンクは、銀行間の決済手続を行う。

資本要件

2007年、資本要件指令(以下「CRD」という。)及びバーゼル 規制を実施するため、適正資本及び大口エクスポージャーに関する法律(lag (2006:1371) om kapitaltäckning och stora exponeringar)が採択された。同法は、当初2009年より後に失効する予定であった経過規則を施行したが、CRR(以下に定義される。)は、2017年12月31日まで下限を延長している。かかる経過規則はバーゼル 規則に基づく資本要件の下限を設定しており、2009年より後は、資本要件がバーゼル 規則に基づく資本要件の80%を下回ってはならないとされている。

規制要件は、銀行の自己資本がオペレーショナル・リスク、信用リスク及び市場リスクをカバーすることを要求している。信用リスクに対するエクスポージャーは、SFSAの承認を得た後、銀行内部で策定したモデルに基づき算定することができる。これに関し当行は、SFSAから内部リスク分類モデルを使用するための承認を受けている。かかるモデルに基づき、基本的手法及び先進的手法といった2つの異なる内部格付(以下「IRB」という。)手法を使用することができる。当行は、スウェーデン、ノルウェー、デンマーク及びフィンランドにおけるリテール・エクスポージャー(個人及び小企業)について、並びに子会社であるスタッドフィボテック、ハンデルスバンケン・フィナンス・エイ・ビー及びラホイットス・オイについては先進的手法を使用している。先進

的手法はまた、地域銀行(オランダを除く。)、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット、スタッドフィポテック及びハンデルスバンケン・フィナンスにおいて大規模企業、中規模企業、不動産会社及び住宅協同組合のほとんどのエクスポージャーについても適用されている。現在、IRB手法に基づく報告は承認されたが先進的手法に基づく報告は未だ承認されていないエクスポージャー(金融機関及び特定の大規模企業のエクスポージャー)については、基本的手法により報告がなされている。

2009年、欧州委員会は、CRDを修正するため、新たな指令2009/111(以下「CRD」という。)によりCRDの修正を提案し、バーゼル銀行監督委員会は、世界的な金融危機に対応しバーゼル 自己資本フレームワークの修正を提案した。CRD は2011年6月30日に施行された。2010年、指令2010/76/EU(以下「CRD」という。)により、CRDの追加修正が採択された。報酬改革に関する一定の規定は2011年1月1日付で施行されたが、CRD は2011年12月31日までに全面的に施行された。

2010年12月16日、バーゼル銀行監督委員会は、銀行の新たな資本及び流動性基準に関するバーゼル 主要規則を発表した。2011年1月13日には、同委員会は、銀行が存続できなくなった場合にすべての種類の自己資本が納税者に先立って損失を吸収することができるよう、最低資本要件を設定した。バーゼル 規制の大部分は、2013年1月1日から2019年1月1日までの間に施行される予定である。CRD の未発効部分が施行されたことにより、2011年にトレーディング及び証券化の改革がなされた。バーゼル銀行監督委員会は、グローバル・システム上重要な銀行(G-SIBs)に関して、2011年11月4日に、かかる金融機関が、2016年から2018年にかけて段階的に導入される追加のバッファ要件に従うことを提案した。

この提案は、2011年2月18日及び19日に開催された会合に続くG20声明に沿うものであり、そこでは、より集中的な管理を伴う包括的かつ多角的な枠組に関する進行中の事項、国際的な文脈における場合を含む実効的な解決能力、国の状況に応じて資本の強化、偶発資本及びベイルイン手段を含む、一連の実行可能な選択肢を通じたより強力な損失吸収方法、並びに国家当局が決定した体系的課税を含むその他の補完的要件に言及した。

2011年7月20日、欧州委員会は、CRD によるCRDの追加修正案を発表したが、これはバーゼル の資本要件案を反映したものであり、資本規定の一本化を目的としてCRDに代替するものである。CRDに関する当初日程は、2013年1月1日から加盟国における実施を予定していた。しかし、バーゼル銀行監督委員会から提案された当初の実施日が経過し、新たなバーゼル 基準及び要件を実施するための「CRD」の改正案に関して、2013年3月27日に欧州議会と欧州理事会との間で政治的合意に達した。CRD 案は、すべてのEU加盟国で直接適用される規制575/2013(以下「CRR」という。)により2013年6月28日に、及び国内法に置き換えられなければならない指令2013/36/EU(以下「CRD」という。)により2013年7月17日に発効した。これらの新しい規制は、2014年1月1日から適用されている。国内におけるCRD 案の指令の導入に関する法律は、2014年6月25日に採択され、2014年8月2日から適用されている。当該日付から適用されている法律は、金融機関及び投資機関の監督に関する法律(lag (2014:968) om särskild tillsyn över kreditinstitut och värdepappersbolag)並びに資本バッファに関する法律(lag (2014:966) om kapitalbuffertar)を含んでいる。これらに関連して、自己資本及び大口エクスポージャーに関する法律が廃止された。金融機関及び投資機関の監督に関する法律は、金融機関及び証券会社の監督がどのように実施されなければならないかについて規定したものであり、自己資本及び大口エクスポージャーに関する法律の一定の条項を引き継ぎ、CRRを補完している。資本バッファに関する法律は、金融機関及び証券会社は基本的な資本要件に加えて様々な資本バッファを保持し、これらの機関及び会社がバッファ要件を満たさない場合にSFSAによる介入を可能とすることを規定している。

2014年9月10日、SFSAは、当行グループを含むスウェーデンの4つの主要な銀行に対し、2015年1月1日時点の普通株式等Tier 1資本において3%のシステミックリスクバッファを課す旨を発表した。さらに2%の普通株式等Tier 1資本要件がPillar 2のフレームワークにおいて適用される。SFSAはさらに、現在の経済状況に鑑みて、カウンター・シクリカル・バッファをスウェーデンで発動することを検討している。2015年9月13日からバッファのレベルは1%で設定されており、2015年6月22日、SFSAは2016年6月27日を効力発生日としてバッ

ファーのレベルを1.5%に引き上げることを決定した。さらに、住宅ローンのエクスポージャーのリスク・ウェイトのフロアは、Pillar 2のフレームワークにおいて15%から25%に引き上げられた。この下限は、スウェーデン及びノルウェーのエクスポージャーに適用される。資本要件についての詳細情報については、下記「第3 - 7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」の「スウェーデンの銀行に対する資本要件」を参照のこと。

2014年12月31日現在の当行グループの自己資本についての詳細情報については、下記「第6 - 1 - (1) 連結財務書類 - 注記G49」を参照のこと。

「バイルイン」を含む金融機関及び投資会社の再生及び破綻処理

2014年5月6日、欧州理事会は、金融機関及び投資会社の再生及び破綻処理に関するEU全体にわたる枠組みの設定を定める指令(Bank Recovery and Resolution Directive、以下「BRRD」という。)を採択した。BRRDは、金融の安定を守り、納税者の損失エクスポージャーを最小限に抑えるために、当局に対して金融危機に先制的に対応するための一連の手段及び権限を与えることを目的としている。

BRRDは、2014年6月12日にEUの官報において発表され、この指令は、2015年1月1日までに国内法令において施行される予定である。しかしながら、バイルインのメカニズムに関する条項(資本基盤に含まれる債務の削減及び/又は転換に関連する条項を除く。)は、2016年1月1日まで適用されない。この指令は現在まで、スウェーデン法に組み入れられていない。

この指令に基づき当局に与えられた権限は、予防権限、早期介入権限及び破綻処理権限に分類される。最終的に、当局は、例えば民間の買主又は民間部門の取り決めまでの間、公的管理事業体(いわゆる「ブリッジ金融機関」)に銀行を譲渡することができる。この指令は、また、損失を銀行の株主及び債権者に対し負担させることを確実にするために、株式資本の削減並びに未払債務(資本基盤に加算される債務及びその他の債務の両方を含む。)の削減及び/又は銀行の資本への転換を行う広範な権限を含んでいる。このメカニズムを、一般的に「バイルイン」という。破綻している銀行のかかる債務のほとんどが、バイルインの対象となる(預金及び担保付負債等の一定の例外を除く。)。

バイルイン・ツールは、破綻しているか又は破綻寸前である機関の資本再構築のために用いられ、当局が、破綻処理プロセスを通じて当該機関を再建し、その組織改編及び再編後の持続性を回復させることを可能にする。その結果、バイルイン・ツールは、債務(日本で発行された未償還の社債を含む。)の保有者に損失を負担させるために利用することができる。BRRDがバイルイン・ツールの施行前に発行された債務(日本で発行された未償還の社債を含む。)に遡及的に適用されるように施行された場合、その範囲で、債務(日本で発行された未償還の社債を含む。)の保有者は、その投資額の一部又は全部を失う結果になる可能性がある。したがって、かかる権限の行使又は行使の提案若しくは予測は、発行済みの社債(日本で発行された未償還の社債を含む。)の価値に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。完全に実施されるまで、当行は、日本で発行された未償還の社債に関し、バイルイン・ツール及びその利用による正確な影響を予測することはできない。

大口エクスポージャー

信用機関及び投資会社の健全性要件に関する2013年6月26日付欧州議会・理事会規制(EU)575/2013並びに修正規制(EU)648/2012に基づき、顧客又は関連するグループ顧客に対する金融機関のエクスポージャーが当該金融機関の適格資本の10%を超えると、かかるエクスポージャーは「大口」とみなされる。かかるエクスポージャーは、所轄官庁に報告されなければならない。金融機関はまた、自身の大口エクスポージャーが「適格資本の10%を超えるエクスポージャー」という定義による大口エクスポージャーには当てはまらない場合でも、大口エクスポージャーの上位20件を報告するよう求められる場合がある。金融機関はまた、他の金融機関に対

する大口エクスポージャー上位10件及び規制を受けない金融会社に対する大口エクスポージャー上位10件を報告しなければならない。

これらの規制の下では、1人の顧客に対するエクスポージャーが金融機関の適格資本の25%を超えることは認められない。一定の場合には、これを下回る上限が適用される。金融機関が規則を遵守しない場合、所轄官庁は、当該金融機関に是正を命じることができる。かかる命令は、罰金を伴うことがある。

スウェーデン国内預金保証

EU指令を受け、スウェーデンは、預金保証法(lag (1995:1571) om insättningsgaranti)の可決により1996年に預金保護スキームを確立した。スキームの対象となる各金融機関は、かかるスキームに基づいて行われる可能性のある支払いの原資となる基金を維持するために、関連する保証機関に年間手数料を支払わなければならない。スウェーデン国内預金保証に基づく保証の上限額は、100,000ユーロ相当のスウェーデン・クローネにおける額である。かかる保証は、その他の銀行又は証券会社を除くすべての分野の預金顧客に適用される。保証には一定の制限があり、保険契約、有価証券による貯蓄又は個人年金貯蓄制度等はその対象ではない。

EUレベルにおいては、2013年12月、改正預金保証指令に関して合意に達した。新しい指令は、特に、国内預金保証資金の最低水準を上昇させ、より早期的支払いを確保することとなる。スウェーデンにおいてかかる指令を実施する法令はまだ採択されていない。

スウェーデン安定化基金

2008年、スウェーデンは、スウェーデンの金融制度の安定性を高め、世界金融危機がスウェーデン経済に及ぼす悪影響に対処するため、スウェーデン政府金融機関支援法(lag (2008:814) om statligt stöd till kreditinstitut)の可決により安定化基金を設立した。スウェーデン政府は、特別支出により当初15十億スウェーデン・クローネを拠出した。年間安定化手数料は、金融機関の貸借対照表を参照ベースとする0.036%である。将来における安定化基金への拠出金及び資金手当ての決定は未だ不明確であり、現在、代わりにレゾリューション・ファンドを設立することを目的として財務省で手続きが行われている。

取締役兼任の制限

2014年1月24日、スウェーデンにおいて、システム上重要であるとみなされる一定の金融機関(当行を含む。)に関して、ある者が取締役を務める会社の数を最大4社までとするEUの規定が施行された。この要件は、2014年7月1日より効力が発生している。

(2) 【提出会社の定款等に規定する制度】

以下は、2015年3月25日の年次株主総会において採択された当行の定款の抜粋である。

資本金及び株式数

当行の資本金は、2,325,000,000スウェーデン・クローネ以上、9,300,000,000スウェーデン・クローネ以下とする。

株式数は、1,500,000,000株以上、6,000,000,000株以下とする。

A種株式及びB種株式の2種類の株式を発行することができる。A種株式の発行可能株式総数は6,000,000,000株であり、B種株式の発行可能株式総数は150,000,000株である。

A種株式は1株につき1議決権が付され、B種株式は1株につき10分の1の議決権が付される。

増資に際する株主の権利

当行が、現金による払込み又は債務の相殺により、新たにA種株式及びB種株式を発行することを決定した場合、A種株式及びB種株式の保有者は、従前の保有株式数の割合に応じて同種の新株を引き受ける優先権(第一優先権)を有する。第一優先権により引き受けられなかった株式は、すべての株主に対し引受けの募集が行われる(第二優先権)。かかる募集株式数が第二優先権による引受けに不足した場合、株式は引受人の保有株式数の割合に応じて分配されるか、また、これが不可能な場合は抽選により分配される。

当行が、現金による払込み又は債務の相殺により、A種株式又はB種株式のいずれか一方のみを発行することを決定した場合、すべての株主はその保有株式がA種株式であるかB種株式であるかにかかわらず、従前の保有株式数の割合に応じて新株を引き受ける優先権を有する。

当行が、現金による払込み又は債務の相殺により、ワラント又は転換可能証券を発行することを決定した場合、株主は、ワラントの行使によりその新たな引受けの対象となる株式にかかる発行が適用される場合と同様にワラントを引き受ける優先権を有し、又は転換可能証券の転換により発行される株式にかかる発行が適用される場合と同様に転換可能証券を引き受ける優先権を有する。

上記は、当行が株主の優先権を排除して現金による払込み又は債務の相殺による株式発行を決定する機会を制限することを示唆するものではない。

取締役

法律に基づき株主総会以外の者により任命される取締役に加え、取締役会は8名以上15名以下の取締役に構成されるものとする。

監査人

法律に基づき株主総会以外の者により任命される監査人に加え、当行は1名若しくは2名の監査人及びこれに応じた数の代理監査人、又は1社若しくは2社の登録監査法人を置くものとする。

株主の株主総会出席に関する権利

株主総会に参加を希望する株主は、総会の5日前の状況を示した株主名簿全体の写しに記載されていなくてはならず、また、総会の招集通知に指定された日にちまでに当行本店に通知を行わなくてはならない。日曜日、その他の祝日、土曜日、夏至祭前日、クリスマスイブ又は大晦日を当該日として設定してはならず、また、総会から5営業日より前に設定してはならない。

株主は最大2名のアドバイザーを帯同することができるが、前段落に記載の要領でアドバイザーの人数を通知していた場合に限る。

株主総会の議長、議決権

株主総会は、取締役会会長又は当該目的のために取締役会が任命した者により開会される。

株主総会の議長は出席株主により選任される。

当行の発行済株式に付帯する議決権総数の10%を超す議決権を有する者は、発言も議決権の行使も行っていない。

年次株主総会

以下の項目が、年次株主総会の議題となる。

1. 総会の議長の選任
2. 議決権行使者リストの作成及び承認

3. 議題の承認
4. 2名の議事録署名者の選任
5. 総会招集の適法性の判断
6. 年次計算書類及び監査報告書並びに連結年次計算書類及び連結計算書類に対する監査報告書の提示
7. 決議事項
 - a) 損益計算書及び貸借対照表並びに連結損益計算書及び連結貸借対照表の承認
 - b) 承認済み貸借対照表に基づく当行の利益又は損失の処分
 - c) 取締役及び最高経営責任者の責任免除
8. 取締役並びに、適用ある場合、監査人及び代理監査人の員数の決定
9. 取締役及び、適用ある場合、監査人の報酬の決定
10. 取締役並びに、適用ある場合、監査人及び代理監査人又は登録監査法人の選任

総会の管轄に服するその他の事項は、会社法又は定款に従うものとする。

2【外国為替管理制度】

1989年以降、スウェーデンにおいて有効な外国為替管理制度は存在しない。スウェーデン政府は、スウェーデン為替・クレジット規制法(lag (1992:1602) om valuta - och kreditreglering)により、スウェーデンが戦争中の場合又は戦争、戦争の脅威、深刻な事故若しくは特に大規模な短期資本移動による例外的な状況が存在する場合は、リクスバンクと協議の上で、外国為替管理を実施する権限を与えられている。また、スウェーデン政府は、外国為替管理が導入された場合、リクスバンクの要請により信用管理を実施する権限を与えられている。かかる管理の実施に関する一切の決議は、承認のために、決議から1ヶ月以内にスウェーデン議会に提出されなければならない。定められた期間内にかかる提出がなされない場合、当該決議はその効力を失う。

3【課税上の取扱い】

(1)スウェーデンにおける課税上の取扱い

スウェーデンの租税

以下の概要は、スウェーデンの税法上又は欧州連合貯蓄指令(欧州理事会指令2003/48/EC)の規定に従いスウェーデンの居住者とはみなされない当行によって日本で発行された社債(以下「本社債」という。)の所持人に関する一定のスウェーデンの課税上の影響について要約したものである。当該概要は、本有価証券報告書の日付現在有効なスウェーデンの法律に基づいており、一般的な情報提供のみを目的としている。当該概要は、本社債が貯蓄投資勘定(investeringsparkonto)において保有される場合、又は利息の支払人等の報告義務に関する規則についてはとりわけ対応していない。投資家は、各々の個別の状況に応じて、スウェーデンの租税並びに本社債の取得、保有及び処分に係るその他の課税上の影響(二重課税回避のための租税条約の適用可否及び影響を含む。)について、専門の税務アドバイザーに相談すべきである。

スウェーデンの税法上居住者でない本社債の所持人

本社債の所持人に対する元本金額又はスウェーデンの税法上利息とみなされる金額の支払いについては、スウェーデンの所得税は課税されない。但し、かかる所持人が()スウェーデンの税法上居住者でなく、かつ、()本社債が有効に関連性を有する恒久的施設をスウェーデン国内に有しない場合に限る。

スウェーデンの税法上居住者でない本社債の所持人に対する元本金額又はスウェーデンの税法上利息とみなされる金額の支払いについては、スウェーデンの源泉徴収税又はスウェーデンの課税控除は適用されない。

スウェーデンの税法上居住者であった本社債の所持人

但し、概して言えば、本社債の価値又は運用利益が株式として課税される有価証券と関連する場合、処分若しくは償還が行われた暦年中のいずれかの時点又は処分若しくは償還が行われた年に先立つ10暦年間ににおいて税法上スウェーデンの居住者であったか、スウェーデンに居住する習慣があったか、又は6ヶ月連続してスウェーデンに滞在していた個人については、当該本社債の処分又は償還に際し、スウェーデンのキャピタルゲイン税が課される。しかしながら多くの場合、当該規則の適用は、適用ある二重課税回避のための租税条約により制限されている。

(2)日本における課税上の取扱い

日本の居住者及び内国法人が支払いを受ける本社債の利息及び本社債の償還により支払いを受ける金額が本社債の発行価額を超える場合の差額(以下「発行差益」という。)は、日本の租税に関する現行法令の定めるところにより一般的に課税対象となる。本社債の譲渡により生ずる所得については、譲渡人が法人である場合は益金となるが、個人である場合には、一定の場合を除いて日本の租税は課されない。上記にかかわらず、日本の居住者である個人が2016年1月1日以後に本社債を譲渡した場合には、その譲渡により生ずる所得は、課税対象となる。

日本の非居住者及び外国法人が支払いを受ける本社債の利息及び発行差益は、原則として日本の課税対象とはならない。日本の非居住者及び外国法人が本社債を日本国内において譲渡した場合、かかる譲渡から生ずる所得については、譲渡人が日本国内に恒久的施設を有する外国法人である場合を除いて、原則として日本の租税は課されない。但し、かかる外国法人の納税義務は、適用される租税条約の規定により、限定され又は免除されることがある。

4【法律意見】

当行の法律顧問であるマルティン・ウェイストソン氏より、大要、以下の趣旨の法律意見書が出されている。

(イ)当行は、スウェーデン法に基づく公開有限責任会社である銀行として適法に設立され、かつ有効に存続しており、本書に記載された事業を営み、その財産を所有及び運用するすべての権限及び権能を与えられている。

(ロ)本書中のスウェーデンの法令に関するすべての記述は、すべての重要な点において真実かつ正確である。

第2【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

連結 - 当行グループの5年間の概要

連結損益計算書					
(単位：百万スウェーデン・クローネ)	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度	2010年度
純利息収益	27,244	26,669	26,081	23,613	21,337
純手数料及びコミッション収益	8,556	7,804	7,369	7,673	8,022
金融取引による純損益	1,777	1,357	1,120	1,016	1,377
保険リスク	165	142	196	209	205
その他配当金収益	251	161	152	146	190
関連会社の持分利益	18	9	8	9	11
その他収益	303	185	136	143	154
収益合計	38,314	36,327	35,062	32,809	31,296
人件費	-11,766	-11,404	-11,167	-9,942	-9,504
その他費用	-5,099	-5,181	-5,069	-5,060	-5,062
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却 費、償却費及び減損費用	-462	-476	-464	-462	-452
費用合計	-17,327	-17,061	-16,700	-15,464	-15,018
貸倒損失控除前利益	20,987	19,266	18,362	17,345	16,278
正味貸倒損失	-1,781	-1,195	-1,251	-816	-1,507
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	6	17	-3	7	-1
営業利益	19,212	18,088	17,108	16,536	14,770
法人税等	-4,069	-3,915	-3,092	-4,372	-3,962
継続事業からの当期利益	15,143	14,173	14,016	12,164	10,808
非継続事業に関連する当期利益	41	122	22	159	217
当期利益	15,184	14,295	14,038	12,323	11,025
帰属先：					
当行の株主	15,183	14,295	14,037	12,323	11,025
少数株主持分	1	0	1	0	0
継続事業からの一株当たり利益 ¹					
(単位：スウェーデン・クローネ)	23.82	22.33	22.30	19.52	17.37
- 希薄化後 ¹	23.45	22.07	21.82	19.14	17.10
非継続事業からの一株当たり利益 ¹					
(単位：スウェーデン・クローネ)	0.06	0.19	0.04	0.26	0.35

- 希薄化後 ¹	0.06	0.19	0.03	0.25	0.34
事業合計からの一株当たり利益 ¹ (単位：スウェーデン・クローネ)	23.89	22.52	22.34	19.78	17.72
- 希薄化後 ¹	23.51	22.26	21.85	19.39	17.44

¹ これらの数値については、2015年5月19日を効力発生日とする1株につき3株の割合による株式分割を反映するための再表示を行っていない。

連結包括利益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度	2010年度
当期利益	15,184	14,295	14,038	12,323	11,025

その他包括利益

損益に組み替えられない項目

確定給付年金制度	-2,699	1,402	2,583		
損益に組み替えられない項目に係る税金	592	-307	-568		
損益に組み替えられない項目合計	-2,107	1,095	2,015		

損益に組み替えられる項目

キャッシュフロー・ヘッジ	8,772	-3,410	2,390	-297	-325
売却可能金融商品	295	535	984	-1,318	2,186
当期為替換算差額	5,924	763	-126	-4	-2,015
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	2,558	767	486	-2	377
損益に組み替えられる項目に係る税金	-2,501	514	-913	443	-612
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	-1,924	744	-565	78	85
うち、売却可能金融商品	-14	-61	-248	365	-598
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	-563	-169	-100	0	-99
損益に組み替えられる項目合計	12,490	-1,598	2,335	-1,176	-766

その他包括利益合計

	10,383	-503	4,350	-1,176	-766
--	--------	------	-------	--------	------

当期包括利益合計

	25,567	13,792	18,388	11,147	10,259
--	--------	--------	--------	--------	--------

帰属先：

当行の株主	25,566	13,792	18,387	11,147	10,259
少数株主持分	1	0	1	0	0

連結貸借対照表

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度	2010年度
--	--------	--------	--------	--------	--------

資産

現金及び中央銀行 ¹	505,579	369,954	248,915	375,979	107,626
一般顧客への貸出金	1,807,836	1,696,339	1,680,479	1,591,128	1,513,687
その他金融機関への貸出金	70,339	62,898	89,511	106,823	123,465
利付証券	141,944	121,576	117,260	104,202	119,238
その他資産	290,978	233,954	247,786	276,234	289,514
資産合計	2,816,676	2,484,721	2,383,951	2,454,366	2,153,530

負債及び資本

一般顧客からの預金及び借入金	1,022,267	825,205	682,223	724,888	564,142
金融機関からの預り金	200,074	171,624	183,945	201,889	251,972
発行済証券	1,212,613	1,150,641	1,151,426	1,140,074	963,501
劣後負債	30,289	15,965	21,167	35,317	43,948
その他負債	224,606	209,947	241,340	257,674	241,576
資本	126,827	111,339	103,850	94,524	88,391
負債及び資本合計	2,816,676	2,484,721	2,383,951	2,454,366	2,153,530

¹ この項目は、「現金及び中央銀行預け金」並びに「中央銀行へのその他の貸出金」の合計を示している。

当行グループの主要指標	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度	2010年度
継続事業からの貸倒損失控除前利益 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	20,987	19,266	18,362	17,345	16,278
正味貸倒損失 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	-1,781	-1,195	-1,251	-816	-1,507
継続事業からの営業利益 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	19,212	18,088	17,108	16,536	14,770
継続事業からの当期利益 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	15,143	14,173	14,016	12,164	10,808
非継続事業に関連する当期利益 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	41	122	22	159	217
事業合計からの当期利益 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	15,184	14,295	14,038	12,323	11,025
資産合計(単位：百万スウェーデン・クローネ)	2,816,676	2,484,721	2,383,951	2,454,366	2,153,530
資本(単位：百万スウェーデン・クローネ)	126,827	111,339	103,850	94,524	88,391
事業合計からの株主資本利益率(単位：％)	13.4	13.9	14.9	13.5	12.9
継続事業からの株主資本利益率(単位：％)	13.3	13.8	14.8	13.4	12.6
使用資本利益率(単位：％)	0.57	0.59	0.57	0.53	0.50
継続事業からの収益に対する費用の比率（以下 「C/I比率」という。）(単位：％)	45.2	47.0	47.6	47.1	48.0

貸倒損失を含む継続事業からのC/I比率(単

位：％)	49.9	50.3	51.2	49.6	52.8
------	------	------	------	------	------

貸倒実績率(単位：％)

0.10	0.07	0.08	0.05	0.10
------	------	------	------	------

減損貸出金引当率(単位：％)

47.2	56.2	56.4	60.7	60.7
------	------	------	------	------

減損貸出金の割合(単位：％)

0.25	0.18	0.18	0.16	0.23
------	------	------	------	------

一株当たり利益¹(単位：スウェーデン・クローネ)

23.89	22.52	22.34	19.78	17.72
-------	-------	-------	-------	-------

- 希薄化後¹

23.51	22.26	21.85	19.39	17.44
-------	-------	-------	-------	-------

一株当たり普通配当金¹

(単位：スウェーデン・クローネ)

12.50	11.50	10.75	9.75	9.00
-------	-------	-------	------	------

一株当たり配当金合計¹

(単位：スウェーデン・クローネ)

17.50	16.50	-	-	-
-------	-------	---	---	---

一株当たり調整後資本¹

(単位：スウェーデン・クローネ)

192.40	177.71	162.63	152.71	143.14
--------	--------	--------	--------	--------

12月31日現在の株式数¹(単位：百万株)

635.7	635.6	632.8	624.1	623.5
-------	-------	-------	-------	-------

うち、発行済株式数¹

635.7	635.6	632.8	624.0	623.5
-------	-------	-------	-------	-------

発行済株式の平均株式数¹(単位：百万株)

635.7	634.8	628.5	623.1	622.1
-------	-------	-------	-------	-------

- 希薄化後¹

653.0	647.5	649.9	642.4	634.3
-------	-------	-------	-------	-------

パーゼル による普通株式等Tier 1資本比率
(単位：％)

19.2	17.9	15.6	13.8
------	------	------	------

CRD による普通株式等Tier 1資本比率(単
位：％)

20.4

パーゼル によるTier 1自己資本比率(単
位：％)

21.5	20.4	18.4	16.5
------	------	------	------

CRD によるTier 1自己資本比率(単位：％)

22.1

パーゼル による自己資本比率(単位：％)

21.6	20.7	20.9	20.9
------	------	------	------

CRD による自己資本比率合計(単位：％)

25.6

平均従業員数

11,692	11,503	11,192	11,184	10,850
--------	--------	--------	--------	--------

スウェーデン国内における支店数

463	462	461	461	461
-----	-----	-----	-----	-----

当行グループのその他の本拠地市場における支
店数

352	329	281	253	230
-----	-----	-----	-----	-----

その他の国における支店数

17	19	32	32	32
----	----	----	----	----

¹ これらの数値については、2015年5月19日を効力発生日とする1株につき3株の割合による株式分割を反映するための再表示を行っていない。

非連結 - 当行の5年間の概要

非連結損益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度	2010年度
純利息収益	16,082	15,962	16,431	15,684	14,549
受取配当金	9,664	8,995	9,152	5,733	2,749
純手数料及びコミッション収益	6,112	5,649	5,724	6,026	6,455
金融取引による純損益	1,117	589	3,994	458	790
その他営業収益	2,188	1,953	758	640	624
営業収益合計	35,163	33,148	36,059	28,541	25,167
一般管理費用					
人件費	-10,441	-9,977	-9,808	-9,247	-8,838
その他管理費用	-5,006	-5,075	-5,157	-4,723	-4,775
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却 費、償却費及び減損費用	-478	-498	-518	-538	-533
貸倒損失控除前費用合計	-15,925	-15,550	-15,483	-14,508	-14,146
貸倒損失控除前利益	19,238	17,598	20,576	14,033	11,021
正味貸倒損失	-1,825	-1,189	-1,154	-1,081	-1,466
金融資産の減損損失	-	-29	-820	-375	-470
営業利益	17,413	16,380	18,602	12,577	9,085
繰入	111	4,267	-4,065	106	108
税引前利益	17,524	20,647	14,537	12,683	9,193
法人税等	-3,823	-4,619	-2,985	-3,470	-2,548
当期利益	13,701	16,028	11,552	9,213	6,645
当期配当金	11,124	10,488	6,804	6,085	5,611

包括利益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度	2010年度
当期利益	13,701	16,028	11,552	9,213	6,645
その他包括利益					
キャッシュフロー・ヘッジ	3,249	-3,009	2,522	-264	-186
売却可能金融商品	295	534	983	-1,319	2,188
当期為替換算差額	5,634	879	-10	36	-1,462
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	2,675	901	481	-	-
その他包括利益に関する税金	-1,311	397	-962	435	-549
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	-709	656	-608	70	49

うち、売却可能金融商品	-14	-61	-248	365	-598
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	-588	-198	-106	-	-
その他包括利益合計	7,867	-1,199	2,533	-1,112	-9
当期包括利益合計	21,568	14,829	14,085	8,101	6,636

非連結貸借対照表

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度	2010年度
資産					
一般顧客への貸出金	737,483	685,372	731,967	686,827	691,221
金融機関への貸出金	568,589	475,440	422,897	532,713	505,049
利付証券	134,014	112,728	108,198	94,237	103,836
その他資産	695,709	533,321	461,704	499,484	314,057
資産合計	2,135,795	1,806,861	1,724,766	1,813,261	1,614,163
負債及び資本					
一般顧客からの預金及び借入金	1,020,962	814,227	668,683	705,565	577,180
金融機関からの預り金	210,099	226,631	243,332	261,806	260,117
発行済証券	633,128	532,607	531,284	543,876	483,305
劣後負債	30,289	15,965	21,167	35,325	43,959
その他負債	138,033	125,900	173,030	193,034	178,922
非課税剰余金	699	773	5,038	998	1,110
資本	102,585	90,758	82,232	72,657	69,570
負債及び資本合計	2,135,795	1,806,861	1,724,766	1,813,261	1,614,163
補足項目					
自己債務の担保として差し入れた資産	42,225	25,216	59,195	72,007	79,591
担保に供したその他資産	35,758	41,679	2,564	5,236	4,398
偶発債務	80,471	121,509	131,586	149,061	131,479
その他コミットメント	487,070	495,502	475,287	513,217	415,771

当行の主要指標	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度	2010年度
減損貸出金引当率(単位：％)	46.6	58.0	56.0	61.0	61.5
減損貸出金の割合(単位：％)	0.36	0.24	0.28	0.24	0.33
CRD による普通株式等Tier 1資本比率(単位：％)	18.5				
バーゼル によるTier 1自己資本比率(単位：％)		20.5	19.0	16.9	12.9
CRD によるTier 1自己資本比率(単位：％)	20.2				
バーゼル による自己資本比率(単位：％)		21.4	20.6	20.9	19.3
CRD による自己資本比率合計(単位：％)	23.9				

使用資本利益率(単位：％)	0.70	0.91	0.64	0.54	0.41
---------------	------	------	------	------	------

2【沿革】

当行は、ストックホルムズ・ハンデルズバンクとして、1871年にストックホルムにおいて当初設立された。ストックホルムズ・ハンデルズバンクは1873年に株式をストックホルム証券取引所に上場させ、1919年にスウェンスカ・ハンデルスバンケンに名称を変更した。

当行は当初、地元のストックホルム市場に重点を置き、かかる市場において確固たる地位を築いた。20世紀の初めの10年間に於いて、当行は、最初にスウェーデンの北部、次いで南部における複数の地方銀行を買収することによって成長した。

第二次世界大戦後の期間において、当行は統合が進んだスウェーデンの銀行市場において拡大を続けた。1955年に当行は、モーゲージ会社であるSIGAB(後にハンデルスバンケン・フィポテックに名称を変更。)を買収した。1963年に当行は、スウェーデンの最初の金融会社であるスウェンスカ・フィナンス(後のハンデルスバンケン・フィナンス)と合併した。1971年に当行は、一定のミューチュアル・ファンドを販売する総代理店を買収し、同社は当行のファンド管理会社であるハンデルスバンケン・フォンデルとなった。長期にわたった地方銀行の買収は、1990年のスカンスカ・バンケンの買収により完了した。モーゲージ会社であるスタッディフィポテックは、1997年に買収された。

当行の現在の組織構造は、1969年に当行が分権化した際に確立し、かかる組織構造において当行の支店は当行グループの地域銀行の傘下に再編成され、各地域銀行は高度な自治権を与えられ、営業を行っている。当行グループは、量よりも利益率、またその他のスウェーデンの上場銀行の平均を上回る株主資本利益率を達成することに焦点を移した。かかる企業の構造及び戦略的目標は、今も継続している。この期間中、現在当行の主要株主の一つとなった従業員利益分配基金のオクトゴネン・ファウンデーションが設立された。

1990年代に当行は、小規模の買収及び内部成長の組合せを通じて、その他の北欧諸国における活動を増やし始めた。今日、当行は、北欧諸国、英国及び2013年1月1日以降はオランダを当行の本拠地市場であると考えている。英国については、とりわけ21世紀の最初の10年間に於ける成長を目標としていた。

1992年に当行は、生命保険相互会社であるRKA(後のハンデルスバンケン・リヴ)を買収することにより、保険部門に進出した。2001年に当行は、生命保険会社であるSPPを買収し、これにより当行はスウェーデンにおける生命保険会社最大手の1社となった。SPPは、2007年12月21日にストアブランド・エイ・エス・エイに売却された。

3【事業の内容】

当行グループは、総合的なサービスを提供するスウェーデンの主力銀行グループであり、国内外で、個人顧客及び法人顧客に対し、幅広い従来の銀行サービスに加え様々な投資サービス及びその他の金融サービスも提供している。かかるサービスには、預金の受入れ、貸出し、不動産担保、支払決済、投資銀行業務、ファクタリング、リース及び生命保険が含まれる。当行グループは、北欧諸国において相当なプレゼンスを有している。当行グループは、北欧諸国、英国及び2013年1月1日以降はオランダを本拠地市場であると考え、当該地域において行われる業務は国内業務であると考えている。2014年12月31日現在、当行グループは、スウェーデンに463支店、ノルウェーに51支店、フィンランドに46支店、デンマークに57支店、英国に178支店及びオランダに20支店を有していた。当行グループは、ヨーロッパのその他の地域、アジア及びアメリカ合衆国においても限定的な業務を行っている。2014年12月31日に終了した事業年度において、当行グループの世界における平均従業員数は、11,692名であった。

当行グループは、以下の7つの主要な事業セグメントから成る。

・スウェーデンにおける支店業務

当行グループの地域銀行6行及びそれらのスウェーデン国内における関連支店並びにスタッディフィポテッ

ク及びハンデルスバンケン・フィナンスのスウェーデンにおける業務により構成される。これらの支店は、スウェーデンにおける当行グループのコア事業の基盤を形成し、当行グループの世界中におけるすべてのスウェーデン人顧客へのサービスを調整する。スタッドフィポテックは当行グループのモーゲージ会社であり、当行の支店業務に完全に統合されている。ハンデルスバンケン・フィナンスは、当行の支店を通じてあらゆる種類の金融会社サービスを提供している。

・英国における支店業務

地域銀行5行、ハンデルスバンケン・フィナンスの英国における業務及び資産運用会社であるハートウッドにより構成される。支店はすべての業務の基盤であり、すべての顧客に対して責任を負う。地域銀行は、その支店において英国全体で銀行サービスを提供している。

・デンマークにおける支店業務

地域銀行に加え、デンマークにおけるハンデルスバンケン・フィナンス及びスタッドフィポテックの業務により構成されている。支店はすべての業務の基盤であり、すべての顧客に対して責任を負う。地域銀行は、その支店においてデンマーク全体で幅広い銀行サービスを提供している。ハンデルスバンケン・フィナンスは、当行の支店を通じて金融会社サービス及び業務を提供している。スタッドフィポテックのモーゲージ業務は、支店業務に完全に統合されている。

・フィンランドにおける支店業務

地域銀行に加え、フィンランドにおけるハンデルスバンケン・フィナンス及びスタッドフィポテックの業務により構成されている。支店はすべての業務の基盤であり、すべての顧客に対して責任を負う。地域銀行は、その支店においてフィンランド全体で幅広い銀行サービスを提供している。ハンデルスバンケン・フィナンスは、当行の支店を通じて金融会社サービス及び業務を提供している。スタッドフィポテックのモーゲージ業務は、支店業務に完全に統合されている。

・ノルウェーにおける支店業務

地域銀行に加え、ノルウェーにおけるハンデルスバンケン・フィナンス及びスタッドフィポテックの業務により構成されている。支店はすべての業務の基盤であり、すべての顧客に対して責任を負う。地域銀行は、その支店においてノルウェー全体で幅広い銀行サービスを提供している。ハンデルスバンケン・フィナンスは、当行の支店を通じて金融会社サービス及び業務を提供している。スタッドフィポテックのモーゲージ業務は、支店業務に完全に統合されている。

・オランダにおける支店業務

2013年1月1日以降、地域銀行を有する本拠地市場である。支店はすべての業務の基盤であり、すべての顧客に対して責任を負う。地域銀行は、その支店においてオランダ全体で幅広い銀行サービスを提供している。

・ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケッツ

市場及び資産運用部門、国際投資銀行業務部門並びに年金及び生命保険部門の3つの事業分野により構成される。業務は23ヶ国で行われている。

上記の事業セグメントに加え、「その他の部門」には、財務部門及び本店部門に加え、オクトゴーネン利益分配基金への拠出も含まれている。いずれのセグメントにも帰属しないキャピタルゲイン/ロス、配当金並びに収益及び費用もまた、ここに計上される。

当行グループの事業は分権的であり、各支店が個別に、世界各地で必要に応じ、地域及び中央組織の専門家の協力体制の下、顧客へのサービスを調整する責任を有している。このため、当行グループでは、中央の業務部門よりは支店が、各個別顧客向けに当行グループの商品及びサービスのマーケティングを行う責任を有している。但し、かかる分権体制は一元化されたリスク管理により支えられている。

当行は、スウェーデンの銀行法に基づき設立された公開有限責任会社であり、ストックホルム県において登記されている。当行の登録事務所の所在地は、スウェーデン王国 SE-106 70 スtockホルムである。

4【関係会社の状況】

2014年12月31日現在、当行は、23の直接所有子会社及び連結会計において持分法に基づく7つの直接所有関連会社を有している。

当行グループの主要な子会社は、以下のとおりである。

ハンデルスバンケン・フォンドヴォラッグスフォルヴァルトニング・エイ・ビー及びその子会社(以下「ハンデルスバンケン・フォンデル」と総称する。)は、当行グループのミューチュアル・ファンドの運用及び管理、また、法人顧客に対して資金の管理を、スウェーデン、デンマーク、ノルウェー及びフィンランドで行っており、ノルウェー、フィンランド及びルクセンブルグにおいて自社のミューチュアル・ファンドを販売している。

ハンデルスバンケン・フィナンス・エイ・ビー及びその子会社(以下「ハンデルスバンケン・フィナンス」と総称する。)は、当行の支店を通じてのみならず、販売会社及び小売業者とともに消費者に対してリース、条件付売買、自動車ローン、債権回収及び販売金融を提供する。同社は、北欧諸国における当行の支店網を通じて幅広い商品及びサービスを提供している。しかし、英国、中国及びポーランドにおける業務は、主としてリース及び割賦販売業務に限られている。

当行の完全所有子会社であるハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エイ・ビー及びその子会社(以下「ハンデルスバンケン・リヴ」と総称する。)は、保険に関する特定のスウェーデンの税制による利益を顧客へ与える定期生命保険、終身生命保険及び貯蓄商品を含む、完全な一連の生命保険商品を提供している。ハンデルスバンケン・リヴは、スウェーデン、フィンランド及びノルウェーにおいて営業しており、その商品は、当行の支店網を通じてかかる国々で販売されている。同社は、スウェーデンの生命保険市場において、主要な参加者の1社である。

スタッドフィポテック・エイ・ビー(以下「スタッドフィポテック」という。)は、スウェーデン、ノルウェー、デンマーク及びフィンランドにおける当行グループのモーゲージ貸付業務に責任を負う当行グループの主要な事業体である。スタッドフィポテックは、一世帯用住宅及び二世帯用住宅、セカンドハウス、持ち家アパート及び集合アパートにおける住宅持分、農業/林業用地、集合住宅、商業施設及びオフィスビルのための住宅ローンを提供している。スタッドフィポテックの活動は、スウェーデンに集中しているが、近年はノルウェー、デンマーク及びフィンランド各国において支店を設立している。北欧諸国におけるスタッドフィポテックの業務は、かかる国々における当行の支店業務に完全に統合されている。

当行には、親会社はない。

以下の表は、当行の重要な子会社を示している。持分法適用関連会社についての特定の情報については、下記「第6 - 1 - (2) 個別財務書類 - 注記P16」を参照のこと。

会社名	住所	株式資本	保有比率
		(単位：百万スウェーデン・クローネ)	
子会社			
ハンデルスバンケン・フィナンス・エイ・ピー ¹	ストックホルム	155	100%
スタッドフィボテック・エイ・ピー ^{1, 2}	ストックホルム	4,050	100%
ハンデルスバンケン・フォンドヴォラッグスフォル ヴァルトニング・エイ・ピー	ストックホルム	1	100%
ハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エ イ・ピー	ストックホルム	100	100%

¹ 金融機関

² 2014年12月31日現在の当行グループの連結財務書類に記載の収益合計に対するスタッドフィボテック・エイ・ビーの連結基準の営業収益合計の割合は、10%を超過する。

2014年12月31日現在及び同日に終了した事業年度におけるスタッドフィボテック・エイ・ビーの連結基準の損益等に係る主な情報は、以下のとおりである。

- () 営業収益合計： 10,240百万スウェーデン・クローネ
- () 当期利益： 6,773百万スウェーデン・クローネ
- () 資産合計： 1,058,857百万スウェーデン・クローネ
- () 資本合計： 32,368百万スウェーデン・クローネ

5【従業員の状況】

2014年12月31日に終了した事業年度において、当行グループは、24ヶ国にわたり平均11,692名の従業員を有していた。

2014年12月31日に終了した事業年度における当行グループの各事業セグメント毎の従業員数は、以下のとおりである。

	平均従業員数
スウェーデンにおける支店業務	4,381
英国における支店業務	1,567
デンマークにおける支店業務	631
フィンランドにおける支店業務	494
ノルウェーにおける支店業務	672
オランダにおける支店業務	131
ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット	1,885
その他の部門	1,931
合計	11,692

第3【事業の状況】

1【業績等の概要】

下記「第3 - 7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を参照のこと。

2【生産、受注及び販売の状況】

該当事項なし。

3【対処すべき課題】

当行グループの目的は、大規模商業銀行グループとしての当行グループの現在の地位に基づいて、本拠地市場において収益性の高い総合サービス銀行事業を発展させることである。本拠地市場以外では、当行の事業は、主として、本拠地市場における当行グループの顧客の国際事業の支援に集中している。2014年12月31日現在、当行グループは、本拠地市場以外において合計19の支店(そのほとんどが欧州に所在する。)及び9つの駐在員事務所を有していた。

当行グループの全体的な戦略上の目的は、本拠地市場における同業銀行の平均を上回る水準の収益性を達成し、これによりこれらの銀行の平均を上回る配当の増加を株主にもたらすことである。かかる目的を実現するため、当行グループは、支店網を通じた顧客への高品質なサービスの提供、質の高い貸出金ポートフォリオの維持及びコスト効率の確保に力を注いでいる。当行グループは、かかる戦略の一環として、貸付金額の大きさよりも顧客の信用力を重視している。

4【事業等のリスク】

本項に含まれる将来の見通しに関する記述は、本書の提出日現在の当行の意見、見通し、目標、期待及び見積りに基づくものである。

当行は、以下のリスク要因が当行の本社債に基づく債務を履行する能力に影響を及ぼす可能性があると考えている。これらの要因はすべて、発生するかどうか分からない偶発事象であり、当行はかかる偶発事象が発生する可能性の程度につき見解を表明する立場にない。

当行は、現在入手可能な情報に基づき当行が重要でないとするその他の理由又は現在予測不能なその他の理由によっても、利息、元本又はその他本社債に関する金額を支払うことができない可能性がある。本社債への投資を予定する投資家は、本書の他の部分に記載する詳細情報も精読し、投資の判断を行う前に投資家自身の見解を確定すべきである。

以下のリスクの記載順は、当該リスクの発生可能性又はその潜在的な影響の重大性を示すものではない。

本社債に基づく当行の債務の履行能力に影響を及ぼす要因

信用リスク

信用リスクとは、貸付先又はカウンターパーティが期日の到来した財務上及び契約上の債務を履行できないことにより生じる財務上の損失の潜在的リスクである。当行は、貸付、保証の発行並びに外国為替市場及び証券市場におけるカウンターパーティとの取引を実行する結果、信用リスクにさらされる。信用エクスポージャーは、取締役会が定める与信方針に従って管理される。

当行の信用エクスポージャーにつき責任を負うのは、その支店である。与信決定の責任は、当該顧客との関係を管理する支店に存する。支店長及び大部分のアカウント・マネージャーについては、個別の決定上限額が

定められており、これらの者は、かかる上限額の範囲においてのみ与信決定につき単独で責任を負う。かかる個別上限額により、特定の支店長又はアカウント・マネージャーが顧客に与えることのできる信用の総額が定められている。要求される与信の額が支店長の個別上限額を上回る場合、地域レベルでの決定が行われる。地域レベルにおいてはより高額の上限額が適用され、地域レベルの上限額を上回る与信の決定は、取締役会の与信委員会により行われる。支部及び本部は、支店を支援し、経営及びリスク評価に関する事項につき支店を援助する。当行の信用リスクへのエクスポージャーの総額は、四半期毎に測定され、取締役会に報告される。

オペレーショナル・リスク

オペレーショナル・リスクとは、不十分な若しくは誤った内部手続、人為的ミス、システムの誤り又は外的要因により生じる損失のリスクをいう。かかる定義には、法的リスクが含まれる。

オペレーショナル・リスクの特定、管理及び統制の責任は、事業のあらゆるレベルにおける経営上の責任と明確に一体となっている。当行グループの業務の分権的な手法は、コストに対する意識を推進し、日常的な手続及び事由における潜在的な損失のリスクに注意を払う結果をもたらしている。良好な業務運営体制及び可能な予防策に集中することにより、事業のあらゆる部分は、そのリスクを許容できるレベルに保っている。持続的なオペレーショナル・リスクの特定、対処及び管理の助けとして、当行グループは事故の報告及び事例管理制度並びに自己評価手続を有している。

マネージャーが責任を負うのとは別に、グループ最高経営責任者に直接報告する情報セキュリティ及び当行グループのセキュリティにつき特別な責任を負う役員が存在する。

オペレーショナル・リスクの地域コーディネーターは、当行グループの地域銀行、主要な部門、子会社及び当行グループの本拠地市場外の部署に配置される。これらのコーディネーターは、オペレーショナル・リスクの既存の管理方法及び管理手続が事業活動において使用されることを確実にするように責任を負う。彼らはまた、事業活動が適切な予防策を採り、実施していることの監視にも責任を負う。

また、オペレーショナル・リスクの管理が、地域銀行、主要な部門、子会社及び当行グループの本拠地市場外の部署において正しく行われているか確認する地域リスク統制部もある。これは、定例の質の保証及び評価という手段により達成されている。

中央リスク統制部は、オペレーショナル・リスクの管理に用いられる方法及び手続並びに当行グループ全体レベルでのフォローアップにつき包括的な責任を負う。また、中央リスク統制部は、経営陣及び取締役会に対する当行グループのオペレーショナル・リスクの分析及び報告にも責任を負う。

流動性リスク

流動性リスクとは、許容できない費用又は損失なくして当行グループが期日の到来した支払債務を履行することができないリスクである。当行グループの流動性への需要は、予想支払額が予想支払受領額を上回る場合に発生する。かかる差額の程度は、限度額により制限されている。流動性リスクは、様々な満期及びあらゆる通貨に関するキャッシュ・フローのギャップ分析並びに通貨グループのギャップ分析の実施により測定及び制限される。一般に、流動性の高い通貨については、流動性の低い通貨と比較して大きなエクスポージャーが認められている。

中央財務部は、当行の流動性及び資金調達につき包括的な責任を負う。中央財務部は、当行がその貸借対照表を継続的に管理し、実際の資金調達コストが組織の中で配分されることを確保する。

当行グループは、様々な混乱の可能性に備えるために日常的な流動性管理を流動性準備金の管理と組み合わせることにより、自らが流動性管理につき慎重な手法をとっていると考えている。当行グループは、この手法に従い、当行グループが流動性への需要を満たせるよう、中央銀行との間で又は資本市場において、レポ取引を通じて、即時現金化可能な資産を保有している。

当行グループは、通貨、市場及び商品に関して、十分に多様な資金源を維持するよう努めている。当行グループは、海外及びスウェーデンの資本市場に即時にアクセスすることができるよう、様々なプログラムを維持している。短期資金は、スウェーデン、アメリカ合衆国及び欧州における有効なコマーシャル・ペーパー・プログラムを通じて調達される。長期資金は、主にスウェーデン・クローネ建てのカバード・ボンドの発行及び当行グループのその他の資金調達プログラムの利用を通じて調達される。中央財務部は、資産と負債の満期の適切な均衡を維持する責任を負う。

市場リスク

市場リスクとは、金融市場における価格の変化及びボラティリティに関連する損失のリスクである。当行グループは、市場リスクを、金利リスク、為替リスク、株価リスク及びコモディティ・リスクに分類している。市場リスクは、顧客主導の取引の結果として、また固定利付商品、通貨、資本性金融商品及びコモディティのマーケット・メーカーとしての活動の結果として、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットのトレーディング・ポートフォリオにおいて発生する。市場リスクは、当行グループの中央財務部、当行グループの保険事業及びスタッドフィボテック並びに程度は限られるが当行グループの通常の銀行業務においても発生する。

当行グループの財務リスク統制部門は、市場リスクに関する方針及び手続の確立並びに適切な報告制度の実施につき責任を負う。また、同部門は、当行グループにおける市場リスクの管理を監督する責任を負う。市場リスクは、最高財務責任者を委員長とする当行グループのリスク委員会により定期的に評価され、同委員会は、その結果を上級経営陣及び取締役会に定期的に報告する。

金利リスク

金利リスクは、主として、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット、当行の中央財務部及び当行グループの貸出事業において発生する。貸出事業における金利リスクは、当該貸出の資金源に適用されるものと異なる金利、金額及び満期で顧客及び他行への貸出しを行うことにより発生する。当行グループは、金利スワップ契約の締結により、かかるリスクの相当な部分を排除しようとしている。一般に、金利リスクへのエクスポージャーは、流動性の高さを特徴とする市場において生じる。

当行は、一般的な金利リスク、特定の金利リスク及び非線形金利リスクを捉える方法により、金利リスクを測定及び制限している。

株価リスク

株価リスクとは、市場価格及びボラティリティの変動に起因する株式関連ポジションの市場価値の変化による損失のリスクである。当行グループの株価リスクへのエクスポージャーは、主としてハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットの顧客主導の取引活動を通じて生じる。ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットは、仕組商品のマーケット・メーカーであり、線形及び非線形双方の株価リスクを発生させる。非線形株価リスクは、仕組商品に含まれているオプションを通じて生じる。当行グループは、株価リスクを測定し妥当な上限を設定するために、原株式価格及びボラティリティの大幅な変動を想定して事前に設定したストレス・シナリオを用いている。

為替リスク

当行グループの為替リスクへのエクスポージャーは、主として、国際為替市場におけるハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットの顧客主導の取引活動により生じる。かかる取引の大部分は日計りにより行われ、取締役会は、この活動に関する為替リスクの上限を設定している。当行グループは、当行グループの国際

活動が様々な通貨で行われる結果、その銀行事業を通じても為替リスクにさらされる。取締役会は、当行グループの為替リスクのうちかかる部分を管理するために、ポジションに小幅な制限を加えている。

コモディティ価格リスク

コモディティ関連商品のエクスポージャーは、国際コモディティ市場における顧客ベースの取引の結果として生じる。コモディティの取引は、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットが専らこれを行う。

当行は、コモディティ価格リスク及び非線形リスクの双方を効果的に捉える方法により、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットのコモディティ価格リスクを制限及び測定しており、またかかるリスクは、当行がさらされているあらゆるコモディティのリスクの絶対合計として測定される。

保険リスク

保険リスクとは、以下の前提が不確実であることに起因する保険契約の結果の不確実性である。

- ・ 予定死亡率
- ・ 平均余命
- ・ 疾病罹患率又は就業不能率
- ・ 事故率

各保険契約は、これら4つの保険リスクの複数へのエクスポージャーを含む可能性がある。当行グループの保険会社であるハンデルスバンケン・リヴは、利益分配を行う保険会社であるため、これらのリスクをはらんでいる。したがって、保険の購入予定者に対しては、医学的リスクの評価が行われる。

報酬制度に関するリスク

報酬リスクとは、報酬制度の結果として生じる損失又はその他の損害のリスクである。報酬リスクに対する当行グループの許容性は低く、当行グループは、かかるリスクを低い水準に維持するよう務めている。これは、極めて限られた程度においてのみ、かつそれが市場慣行である分野においてのみ変動報酬を用いることにより、部分的に達成されている。変動報酬があるときは、繰延支払いの規制に服する。

当行グループの報酬方針及び報酬制度は、リスク発生の可能性が低く、適切かつ効果的なリスク管理を促進し、過剰なリスクの引受けを防ぎ、リスクに対する当行グループの許容性の低さに適合し、当行グループの長期的な利益を支えるものであると考えられている。報酬制度は、変動報酬による支払義務の結果として当行グループの資本基盤が不確定となるリスクが存在しないよう設計されている。変動報酬の全部又は一部を縮小又は廃止することは可能であり、これは変動報酬及び未払いの繰延変動報酬の割当の双方に当てはまる。

法的リスク及び訴訟リスク

当行は、銀行法及び銀行業に適用されるその他の法令により規制されるスウェーデンの銀行である。当行の監督当局は、SFSAである。

当行は、与信の設定及び交渉、支払手段の提供、保証債務の引受け、有価証券発行への参加、財務に関する助言の提供、有価証券の保護預かり、為替取引の実施、有価証券及び年金貯蓄事業の双方の遂行並びに企業経営に関する企業への助言及び支援の提供等、その活動分野の多くにおいて、規制制度の遵守を求められている。

当行が関連する規則を遵守することができない場合、管轄当局及び裁判所により制裁、罰金及びその他の措置が科されるリスクがあり、これにより当行の事業が悪影響を受ける可能性がある。

訴訟リスクは、当行内における事業遂行の方法及び顧客に対する当行の行為の方法により左右される。訴訟の結果が不利であった場合、法的若しくは規制上の制裁、財務上の損失及び評判の喪失が発生する可能性がある。

世界金融市場の現状及び世界の経済状況に伴うリスク

当行グループの各事業部門は、市況の影響を受け、これにより年間及び長期の業績が変動する可能性がある。かかる市況には、市場価格の不安定な動向を含む金融市場のサイクル及び銀行業界のサイクル等の経済サイクルが含まれる。当行グループの業績は、金利及び為替、金融方針及び財政政策、消費者支出及び事業支出、人口動態並びに競争上の要因及びその他の要因の変動によっても影響を受ける。

短中期的な世界経済の見通しは、依然として厳しいものである。特にユーロ圏の経済における構造上の課題が最も厳しいものとして際立っている。2007年8月から2010年にかけて世界の金融システムが経験した信用及び流動性の状況は前例のないものであり、世界中の金融市場が深刻な混乱に陥った。世界金融危機により引き起こされた市場の混乱及びボラティリティの水準は2012年から2014年の間にやや緩和したが、このような悪化した市場状況が反復しないという保証、又は金融市場に同じような影響を及ぼす同様の事象が生じないという保証はない。この場合、当行グループは、事業活動の縮小、資金調達コストの増大、流動性の低下、資産価値の下落、追加的な信用減損損失の発生並びに収益性及び収入の低下を被る可能性がある。前述のいずれの要因も、当行グループの事業、財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

世界の市況及び経済状況は、また、2010年以降、ギリシャ、アイルランド、イタリア、ポルトガル及びスペインを含む一部のEU諸国のソブリン債務を返済する能力に関する市場認識によってマイナスの影響を受けている。2013年及び2014年にはかかる懸念は低くなったものの、ギリシャに関する懸念の再発が、2015年におけるソブリン債務の返済の再交渉をもたらす可能性がある。EU各国政府の金融部門に対する支援プログラムの成果が継続して不透明であること及びその他のEU諸国が債務の返済が困難な状況に陥る可能性があることは、さらに世界の市場を混乱させる可能性がある。特に、継続した不透明さが株式市場に混乱をもたらしており、また将来さらなる混乱を招き、EU諸国のソブリン債務の利回りが変動しやすくなる可能性がある。

これらの事項の結果として当行グループが直面するリスク及び不確実性の正確な本質を予測することは不可能であり、これらのリスクの多くは、当行グループの統制が及ばないものである。しかしながら、市場の混乱及びボラティリティが当行グループの事業、経営成績及び財政状態並びに社債(本社債を含む。)に基づく当行の債務の履行能力に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

5【経営上の重要な契約等】

該当事項なし。

6【研究開発活動】

該当事項なし。

7【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

本セクションに含まれる将来の見通しに関する記述は、本書提出日現在の当行の意見、見通し、目標、期待及び見積りに基づいている。

2014年12月31日終了事業年度

業績報告

取締役会は、一株当たり12.50スウェーデン・クローネの普通配当¹及び一株当たり5.00スウェーデン・クローネの特別配当¹を提案した。かかる配当支払いを考慮した後、普通株式等Tier 1資本比率は、20.4%(前年度は18.9%)に増加した。事業合計からの株主資本利益率は、13.4%(前年度は13.9%)であった。

¹これらの数値については、2015年5月19日を効力発生日とする1株につき3株の割合による株式分割を反映するための再表示を行っていない。

C/I比率は、45.2%(前年度は47.0%)に改善した。

収益

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

当行グループ - 収益	2014年度(通年)	2013年度(通年)	変動
純利息収益	27,244	26,669	2%
純手数料及びコミッション収益	8,556	7,804	10%
金融取引による純損益	1,777	1,357	31%
その他の収益	737	497	48%
収益合計	38,314	36,327	5%

収益合計は、5%増加して38,314百万スウェーデン・クローネ(前年度は36,327百万スウェーデン・クローネ)となった。

純利息収益は、2%増加して27,244百万スウェーデン・クローネ(前年度は26,669百万スウェーデン・クローネ)となった。為替変動により純利息収益に427百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。純利息収益は、取引額の増加により1,312百万スウェーデン・クローネ増加したと同時に、貸出金の利鞘の拡大により292百万スウェーデン・クローネ改善した。

かかるプラスの影響は、短期金利の低下によりスウェーデンにおける預金の利鞘及び資本に関連する利息収益が1,374百万スウェーデン・クローネ減少したことにより相殺された。かかる短期金利のマイナスの影響は、営業利益において8%の減少に相当する。

スタッドフィポテックにおけるベンチマーク効果は合計で-27百万スウェーデン・クローネ(前年度は19百万スウェーデン・クローネ)であり、スウェーデン安定化基金及び様々な預金保証に係る費用は121百万スウェーデン・クローネ増加して-1,222百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,101百万スウェーデン・クローネ)となった。

純利息収益は、英国においては33%、オランダにおいては23%、フィンランドにおいては14%、デンマークでは6%増加した。純利息収益は、スウェーデンにおいては3%、ノルウェーにおいては4%減少した。

一般顧客への貸出金の平均額は、4%増加して1,746十億スウェーデン・クローネ(前年度は1,674十億スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響により、貸出高は21十億スウェーデン・クローネ増加した。個人顧客への貸出金は8%増加して860十億スウェーデン・クローネ(前年度は800十億スウェーデン・クローネ)となり、法人顧客への貸出金は1%増加して886十億スウェーデン・クローネ(前年度は874十億スウェーデン・クローネ)となった。

預金及び借入金の平均残高は、20%増加して893十億スウェーデン・クローネ(前年度は742十億スウェーデン・クローネ)となった。個人顧客からの預金の平均残高は、11%増加して300十億スウェーデン・クローネ(前年度は271十億スウェーデン・クローネ)となり、法人顧客からの預金は26%増加して593十億スウェーデン・クローネ(前年度は470十億スウェーデン・クローネ)となった。

純手数料及びコミッション収益は、10%増加して8,556百万スウェーデン・クローネ(前年度は7,804百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主に資産運用手数料及びコミッションの増加によるものであった。ファンド運用手数料は、23%増加して2,475百万スウェーデン・クローネ(前年度は2,008百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主に流入の増加及び株価の上昇によるものであった。カスタディ手数料は、26%増加して540百万スウェーデン・クローネ(前年度は427百万スウェーデン・クローネ)となった。純コミッションは、13%増加して1,855百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,638百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主にクレジットカード事業からの純手数料が16%増加して1,270百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,094百万スウェーデン・クローネ)となったことによるものであった。保険手数料もまた増加し、12%増加して637百万スウェーデン・クローネ(前年度は571百万スウェーデン・クローネ)となった。

金融取引による純損益は、31%増加して1,777百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,357百万スウェーデン・クローネ)となった。当年度における株式の売却による非経常的性質のキャピタル・ゲインの調整後、かかる増加は4%となった。

費用

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

当行グループ - 費用	2014年度(通年)	2013年度(通年)	変動
人件費	-11,766	-11,404	3%
その他費用	-5,099	-5,181	-2%
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損費用	-462	-476	-3%
費用合計	-17,327	-17,061	2%

費用合計は、為替変動の調整後、0.5%減少した。-338百万スウェーデン・クローネの為替の影響を含め、費用合計は2%増加して-17,327百万スウェーデン・クローネ(前年度は-17,061百万スウェーデン・クローネ)となった。

人件費は、3%増加して-11,766百万スウェーデン・クローネ(前年度は-11,404百万スウェーデン・クローネ)となり、そのうち2パーセント・ポイントである-215百万スウェーデン・クローネは、為替の影響によるものであった。オクトゴーネン・ファウンデーションへの割当ては、-795百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,096百万スウェーデン・クローネ)に減少し、社会保障費用及びその他の給与に関する間接費を含む変動報酬は、合計で-140百万スウェーデン・クローネ(前年度は-136百万スウェーデン・クローネ)であった。かかる増加の主な原因は、当行グループにおける年間給与の上昇及び特に英国における従業員数の増加によるものであった。

平均従業員数は、189名増加して11,692名(前年度は11,503名)となった。しかしながら当年度末における従業員数は年初よりもわずかに減少した。英国及びオランダにおける支店業務の継続的な拡大により、平均従業員数の増加を超えて従業員が増加し、英国及びオランダにおける平均従業員数はそれぞれ307名及び29名増加した。スウェーデンの支店業務においては、従業員数は1%減少した。

その他費用は、-112百万スウェーデン・クローネの為替変動の調整後、4%減少した。為替変動を含めた減少は2%であり、これは主にIT関連費用の減少並びに購入したサービス、旅費及びマーケティング費用の減少によるものであった。

貸倒損失

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

貸倒損失	2014年度(通年)	2013年度(通年)	変動
正味貸倒損失	-1,781	-1,195	586
貸出金に対する貸倒実績率(単位：％)	0.10	0.07	0.03
減損貸出金純額	4,591	3,041	51%
減損貸出金の割合(単位：％)	0.25	0.18	0.07

正味貸倒損失は、-1,781百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,195百万スウェーデン・クローネ)に増加し、貸倒実績率は、0.10%(前年度は0.07%)であった。信用の質は引き続き安定していた。減損貸出金純額は、4,591百万スウェーデン・クローネ(前年度は3,041百万スウェーデン・クローネ)に増加し、貸出金の0.25%(前年度は0.18%)に相当した。

資金調達及び流動性

当年度中、預金高の急激な増加により、過年度に比して市場からの資金調達の必要性は低下した。投資家基盤を多様化する取組みは引き続き行われた。当年度中、当行は定期的な発行をスウェーデン・クローネ及びノルウェー・クローネで行っただけではなく、ベンチマーク債の発行を米ドル、ユーロ、スイス・フラン、豪ドル及び日本円で行った。

2014年度における市場からの長期資金調達の発行額は、189十億スウェーデン・クローネ(前年度は281十億スウェーデン・クローネ)であった。かかる額は、2014年初頭に発行された13.4十億スウェーデン・クローネの10年物Tier 2劣後ローンを含んでいる。

当行は貸借対照表において、カバード・ボンド発行のプールに含まれない住宅ローンを含め、担保に供されていない資産が非常に高い割合を占めている。当年度末、すべての市場からの無担保資金調達に対する担保に供されていない資産の割合は237%(前年度は222%)であった。

流動性準備金は、引き続き800十億スウェーデン・クローネを超えた。中央銀行に投資された現金資金及び流動資産は504十億スウェーデン・クローネであったと同時に、流動債券及びその他の流動資産の額は合計で144十億スウェーデン・クローネであった。残りの準備金は、主にスタッドフィボテックのカバード・ボンドの未使用発行額であった。

2013年1月からのスウェーデンにおける現行の定義によると、当年度末現在における当行グループの流動性カバレッジ比率(LCR)は140%であった。米ドルではLCRは137%であり、ユーロでは154%であった。2013年1月のCRRの定義に基づく当行グループのLCRは173%と見積もられる。

資本

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

資本関連項目	2014年12月31日現在	2013年12月31日現在	変動
普通株式等Tier 1資本比率、CRD	20.4%	18.9%	1.5
自己資本比率合計、CRD	25.6%	21.6%	4.0
リスク・エクスポージャー金額、CRD	480,388	492,785	-3%
普通株式等Tier 1資本	98,084	93,038	5%
自己資本合計	122,858	106,392	15%
所要自己資本、バーゼル フロア	90,406	81,295	11%
自己資本合計、バーゼル フロア	124,961	100,406	24%

普通株式等Tier 1資本は、5%増加して98十億スウェーデン・クローネ(前年度は93十億スウェーデン・クローネ)となり、普通株式等Tier 1資本比率は、1.5パーセント・ポイント上昇して20.4%(前年度は18.9%)となった。かかる増加には、当年度における利益(配当控除後)が0.7パーセント・ポイント寄与した。取引額の増加及び貸出金ポートフォリオにおける信用リスクの移転により、普通株式等Tier 1資本比率は、それぞれマイナス0.3パーセント・ポイント及びプラス0.1パーセント・ポイントの影響を受けた。新規貸出高のリスクは低く、貸出金ポートフォリオの信用の質の平均を改善する(貸出高の移転として知られる。)という事実により、0.4パーセント・ポイントのプラスの影響が生じた。担保の質の向上及び担保量の増加により、普通株式等Tier 1資本比率は、0.2パーセント・ポイント上昇した。IAS第19号「年金」の影響は、-0.4パーセント・ポイントであった一方で、為替の変動により0.4パーセント・ポイントのプラスの影響が生じた。CRD の最終的な変更を含むその他の要因の正味の影響により、普通株式等Tier 1資本比率は0.4パーセント・ポイント上昇した。

スウェーデンの銀行に対する資本要件

スウェーデン金融監督庁は、2014年9月8日、強化されたリクスダーグの自己資本規制に関する2014年6月26日付の決定を受け、スウェーデンの銀行に対する新たな資本要件の体制に関する覚書を発表した。

スウェーデンのエクスポージャーに対するカウンター・シクリカル・バッファは、1%と定められ、2015年9月13日から適用される。資本要件には、ノルウェーの住宅ローンの引き上げられたリスク・ウェイトも含まれている。

2014年11月、スウェーデン金融監督庁は、2014年第3四半期におけるスウェーデンの銀行の資本要件を発表した。これにより、当行グループのPillar 1及びPillar 2における普通株式等Tier 1資本要件の合計は17.7%となった。

当行は、将来の規制を考慮しても、当行グループの資本は十分であると評価している。

新たなリスク・ウェイト資本目標

取締役会による評価では、新たなCRD IVの資本規制の形式は、新たなリスク・ウェイト資本目標を設定するために十分に明確である。通常の下況下では、当行の普通株式等Tier 1資本比率は、スウェーデン金融監督庁が当行に対して求める複合的な普通株式等Tier 1資本要件を1から3パーセント・ポイント上回る範囲でなければならない。さらに、Tier 1資本比率及び自己資本比率合計は、スウェーデン金融監督庁が当行に対して求めるこれらの比率の基準を最低でも1パーセント・ポイント上回らなければならない。

バーゼル委員会は現在、内部格付手法を利用しない銀行のための資本要件を計算する新たな標準的手法を策定している。新たな標準的手法に関連して、同委員会は、新たなフロア規則を定めることも計画しており、将来において現在の暫定規則と置き換わる場合がある。

取締役会はまた、配当に関し、価値の創出を反映する長期的かつ安定的な成長を示す普通配当を当行の目標とする旨を決議した。

組織変更

2014年第4四半期より、ハンデルスバンケン・インターナショナルは、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットのセグメントの一部に含められた。この変更を反映するため、過去の比較数値は調整されている。

事業セグメント

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

2014年度 における 事業セグメント報告	本拠地市場							そ の 他	調整 及び 消去	合計
	スウェーデン における 支店業務	英国 における 支店業務	デンマーク における 支店業務	フィンランド における 支店業務	ノルウェー における 支店業務	オランダ における 支店業務	キャピタル・ マーケット			
収益合計	20,134	4,017	2,132	1,916	3,951	316	5,607	291	-50	38,314
費用合計	-7,497	-2,201	-1,057	-749	-1,331	-224	-3,606	-740	78	-17,327
貸倒損失控除前利益	12,637	1,816	1,075	1,167	2,620	92	2,001	-449	28	20,987
営業利益	11,980	1,617	547	890	2,479	91	2,028	-448	28	19,212
利益配分後の営業利益	12,910	1,652	609	975	2,545	99	842	-448	28	19,212

セグメント報告並びにその他並びに調整及び消去の列の項目の記載に適用される原則は、下記「第6 - 1 - (1) 連結財務書類 - 注記G45」で詳述される。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

2013年度 における 事業セグメント報告	本拠地市場							そ の 他	調整 及び 消去	合計
	スウェーデン における 支店業務	英国 における 支店業務	デンマーク における 支店業務	フィンランド における 支店業務	ノルウェー における 支店業務	オランダ における 支店業務	キャピタル・ マーケット			
収益合計	20,257	2,970	1,963	1,676	4,033	254	5,175	44	-45	36,327
費用合計	-7,559	-1,660	-990	-725	-1,272	-174	-3,737	-980	36	-17,061
貸倒損失控除前利益	12,698	1,310	973	951	2,761	80	1,438	-936	-9	19,266
営業利益	12,350	1,143	812	683	2,592	73	1,373	-929	-9	18,088
利益配分後の営業利益	13,226	1,173	859	753	2,635	77	303	-929	-9	18,088

スウェーデンにおける支店業務

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

スウェーデンにおける支店業務	2014年度合計	2013年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	15,734	16,299	-3
純手数料及びコミッション収益	3,908	3,486	12
金融取引による純損益	400	445	-10
その他の収益	92	27	241
収益合計	20,134	20,257	-1
人件費	-3,421	-3,283	4
その他費用	-1,221	-1,187	3
内部的に購入及び売却されたサービス	-2,770	-3,002	-8
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損費用	-85	-87	-2
費用合計	-7,497	-7,559	-1
貸倒損失控除前利益	12,637	12,698	0
正味貸倒損失	-657	-357	84
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	0	9	-100
営業利益	11,980	12,350	-3
利益配分	930	876	6
利益配分後の営業利益	12,910	13,226	-2
内部収益	-492	-925	47
C/I比率(単位：%)	35.6	35.8	
貸倒実績率(単位：%)	0.06	0.03	
資産	1,402,774	1,309,092	7
負債	1,335,671	1,248,603	7
割当済資本	67,103	60,489	11
割当済資本に係る利益率(単位：%)	15.7	17.9	
平均従業員数	4,381	4,410	-1
支店数	463	462	0

(単位：十億スウェーデン・クローネ)

取引額、スウェーデン国内の平均額	変動		
	2014年度	2013年度	(単位：%)
一般顧客への貸出金 ¹	1,118	1,092	2
個人	645	614	5
うち住宅ローン	593	560	6
法人	473	478	-1
うち住宅ローン	266	248	7
一般顧客からの預金	399	379	5
うち個人	238	220	8
うち法人	161	159	1

¹ 国債局に対する貸出金を除く。

業績

営業利益は3%減少して11,980百万スウェーデン・クローネ(前年度は12,350百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは純利息収益の減少及び貸倒損失の増加によるものであった。

純利息収益は、3%すなわち565百万スウェーデン・クローネ減少して15,734百万スウェーデン・クローネ(前年度は16,299百万スウェーデン・クローネ)となった。金利の低下により、預金の利鞘が769百万スウェーデン・クローネ縮小し、割当済資本に関連する利息収益は432百万スウェーデン・クローネ減少した。貸出金の利鞘により408百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じ、預金高及び貸出高の増加により純利息収益が386百万スウェーデン・クローネ増加した。スタッドフィポテックにおけるベンチマーク効果は、46百万スウェーデン・クローネ減少して-27百万スウェーデン・クローネ(前年度は19百万スウェーデン・クローネ)となった一方、スウェーデン安定化基金及び預金保証の手数料は44百万スウェーデン・クローネ増加して-674百万スウェーデン・クローネ(前年度は-630百万スウェーデン・クローネ)となった。

純手数料及びコミッション収益は、12%増加して3,908百万スウェーデン・クローネ(前年度は3,486百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主にコミッション及びミューチュアル・ファンド手数料が増加したことによるものであった。

金融取引による純損益は10%減少して400百万スウェーデン・クローネ(前年度は445百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主に繰上償還された貸出金の額の減少及び為替差益の減少によるものであった。

費用合計は、1%減少して-7,497百万スウェーデン・クローネ(前年度は-7,559百万スウェーデン・クローネ)となった。人件費は、4%すなわち138百万スウェーデン・クローネ増加したが、内部の組織変更を調整後の人件費は1%の増加であった。その他費用は、232百万スウェーデン・クローネ減少した。C/I比率は、35.6%(前年度は35.8%)に改善した。

正味貸倒損失は、-657百万スウェーデン・クローネ(前年度は-357百万スウェーデン・クローネ)に増加し、貸倒実績率は、0.06%(前年度は0.03%)に増加した。

事業の展開

2014年、当行グループは、スウェーデンにおける4つの主要な銀行のうち、個人顧客からの預金の市場シェアを増やした唯一の銀行であった。当年度中、個人顧客からの預金の平均残高は、8%増加して238十億スウェー

デン・クローネ(前年度は220十億スウェーデン・クローネ)となった。当年度中、スウェーデンにおける当行グループのミューチュアル・ファンドへの新規資金流入額は、市場シェアにして18.7%に相当する28.6十億スウェーデン・クローネであった。

個人顧客への住宅ローンの平均額は、6%増加して593十億スウェーデン・クローネ(前年度は560十億スウェーデン・クローネ)となった一方、法人顧客への貸出金の平均額は、1%減少して473十億スウェーデン・クローネ(前年度は478十億スウェーデン・クローネ)となった。

2014年10月1日、新たな支店であるルンド・ウエスト支店が開設された。これにより、スウェーデンにおける当行の支店数は合計463店となった。

英国における支店業務

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

英国における支店業務	2014年度合計	2013年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	3,497	2,624	33
純手数料及びコミッション収益	344	213	62
金融取引による純損益	158	120	32
その他の収益	18	13	38
収益合計	4,017	2,970	35
人件費	-1,471	-1,059	39
その他費用	-333	-243	37
内部的に購入及び売却されたサービス	-379	-317	20
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損費用	-18	-41	-56
費用合計	-2,201	-1,660	33
貸倒損失控除前利益	1,816	1,310	39
正味貸倒損失	-203	-168	21
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	4	1	
営業利益	1,617	1,143	41
利益配分	35	30	17
利益配分後の営業利益	1,652	1,173	41
内部収益	-1,230	-1,212	-1
C/I比率(単位：%)	54.3	55.3	
貸倒実績率(単位：%)	0.15	0.14	
資産	263,459	194,503	35
負債	254,029	186,859	36
割当済資本	9,430	7,644	23
割当済資本に係る利益率(単位：%)	15.2	13.2	
平均従業員数	1,567	1,260	24
支店数	178	161	11

(単位：百万英ポンド)

取引額、英国の平均額	変動		
	2014年度	2013年度	(単位：%)
一般顧客への貸出金	13,153	11,633	13
うち個人	4,044	3,252	24
うち法人	9,109	8,381	9
一般顧客からの預金	7,394	3,676	101
うち個人	1,261	688	83
うち法人	6,133	2,988	105

業績

営業利益は、41%増加して1,617百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,143百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主に純利息収益の増加並びに純手数料及びコミッション収益の改善によるものであった。為替変動により営業利益は110百万スウェーデン・クローネ増加し、現地通貨では、営業利益は28%改善した。収益は、引続いた拡大(過去12ヶ月間において17の新たな支店を開設した。)に関連する費用を十分に反映している。

貸倒損失控除前利益は、39%増加して1,816百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,310百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは引続き取引額及び顧客数が増加したことによるものであった。

収益合計は35%増加し、純利息収益は33%増加して3,497百万スウェーデン・クローネ(前年度は2,624百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる増加は主に預金高及び貸出高が引続き増加したことによるものであったが、貸出金の利鞘の拡大によってもプラスの影響が生じた。預金の利鞘はわずかに縮小した。

純手数料及びコミッション収益は、62%増加して344百万スウェーデン・クローネ(前年度は213百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主に取引額が引続き増加したことによるものであった。資産運用手数料は、115%増加し、コミッションは40%増加した。2013年5月に取得したハートウッドは198百万スウェーデン・クローネ(前年度は95百万スウェーデン・クローネ)の資産運用手数料及びアドバイザー手数料の貢献をした。

金融取引による純損益は、32%増加して158百万スウェーデン・クローネ(前年度は120百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは取引額及び顧客数の増加によるものであった。

費用合計は、33%増加して-2,201百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,660百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは業務拡大を行ったことに全面的に起因している。平均従業員数は、24%増加して1,567名(前年度は1,260名)となった。

正味貸倒損失は、-203百万スウェーデン・クローネ(前年度は-168百万スウェーデン・クローネ)に増加し、貸倒実績率は0.15%(前年度は0.14%)であった。

事業の展開

取引額(とりわけ預金の取引額)は引続き増加した。貸出金の平均額が1.5十億英ポンド増加したと同時に、預金は3.7十億英ポンド増加した。貸出金の平均額は前年同期から13%増加した(この数値のうち個人顧客への貸出金は24%増加した。)。預金の平均残高は全体として101%増加し、個人顧客からの預金は83%増加した。当年度中、預金に対する貸出金の比率は181%(前年度は247%)に減少した。

当該取得が2013年5月末に行われたため、ハートウツドの運用資産は1.5十億英ポンドから2.3十億英ポンドへと増加した。

当年度中、17の新たな支店が開設され、うち5つが第4四半期に開設された。したがって当年度末現在、当行は英国において178の支店を有することとなった。さらに、11の新たな支店で支店長が採用された。

2015年1月1日、当行は英国において5つ目の地域銀行を開設し、本店をリーズに置いた。

デンマークにおける支店業務

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

デンマークにおける支店業務	2014年度合計	2013年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	1,610	1,519	6
純手数料及びコミッション収益	385	329	17
金融取引による純損益	116	97	20
その他の収益	21	18	17
収益合計	2,132	1,963	9
人件費	-584	-546	7
その他費用	-181	-175	3
内部的に購入及び売却されたサービス	-273	-252	8
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損費用	-19	-17	12
費用合計	-1,057	-990	7
貸倒損失控除前利益	1,075	973	10
正味貸倒損失	-529	-161	229
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	1	-	
営業利益	547	812	-33
利益配分	62	47	32
利益配分後の営業利益	609	859	-29
内部収益	-468	-395	-18
C/I比率(単位：%)	48.2	49.3	
貸倒実績率(単位：%)	0.73	0.24	
資産	88,395	78,830	12
負債	82,387	73,482	12
割当済資本	6,008	5,348	12
割当済資本に係る利益率(単位：%)	8.5	12.7	
平均従業員数	631	624	1
支店数	57	56	2

(単位：十億デンマーク・クローネ)

取引額、デンマークの平均額	変動		
	2014年度	2013年度	(単位：%)
一般顧客への貸出金	61.1	59.1	3
うち個人	32.8	29.1	13
うち法人	28.3	30.0	-6
一般顧客からの預金	23.6	22.7	4
うち個人	9.9	9.1	9
うち法人	13.7	13.6	1

業績

営業利益は、33%減少して547百万スウェーデン・クローネ(前年度は812百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主に単一のエクスポージャーへの引当金に関連する貸倒損失の増加によるものであった。貸倒損失控除前利益は、10%増加して1,075百万スウェーデン・クローネ(前年度は973百万スウェーデン・クローネ)となった。為替変動により、営業利益は38百万スウェーデン・クローネ増加し、現地通貨では営業利益は36%減少した。収益合計は9%増加した一方、費用合計は7%増加した。

純利息収益は、6%増加して1,610百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,519百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主に個人顧客への貸出金が増加したことによるものであった。現地通貨では、1%の増加であった。スウェーデン安定化基金及び預金保証の手数料により、デンマーク政府の預金保証と合わせて、純利息収益に-51百万スウェーデン・クローネ(前年度は-45百万スウェーデン・クローネ)の負荷が生じた。

純手数料及びコミッション収益は、17%増加して385百万スウェーデン・クローネ(前年度は329百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主にコミッション及び貸出手数料が増加したことによるものであった。

金融取引による純損益は、116百万スウェーデン・クローネ(前年度は97百万スウェーデン・クローネ)に増加した。

費用合計は、7%増加して-1,057百万スウェーデン・クローネ(前年度は-990百万スウェーデン・クローネ)となった。費用合計は、為替変動の調整後、1%増加したが、これは一部には新たな支店が開設されたことによるものであった。

正味貸倒損失は、-529百万スウェーデン・クローネ(前年度は-161百万スウェーデン・クローネ)に増加したが、これは主に単一顧客に対するエクスポージャーに関する引当金によるものであった。貸倒実績率は0.73%(前年度は0.24%)に増加した。

事業の展開

当行には、引続き新規顧客が安定的に流入し、取引額及び市場シェアは引続き増加した。個人顧客への貸出金の平均額が13%増加した一方、法人顧客への貸出金は6%減少した。一般顧客への貸出金の平均額は合計で3%増加した。一般顧客からの預金の平均残高は、4%すなわち0.9十億デンマーク・クローネ増加して23.6十億デンマーク・クローネ(前年度は22.7十億デンマーク・クローネ)となった。ミューチュアル・ファンドの貯蓄もまた堅調であり、16%増加した。

当年度初頭、1つの新たな支店がオーフス・ノースに開設され、これにより、当行はデンマークにおいて合計57の支店を有することとなった。

フィンランドにおける支店業務

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

フィンランドにおける支店業務	2014年度合計	2013年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	1,389	1,219	14
純手数料及びコミッション収益	440	412	7
金融取引による純損益	76	40	90
その他の収益	11	5	120
収益合計	1,916	1,676	14
人件費	-351	-331	6
その他費用	-158	-145	9
内部的に購入及び売却されたサービス	-232	-239	-3
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損費用	-8	-10	-20
費用合計	-749	-725	3
貸倒損失控除前利益	1,167	951	23
正味貸倒損失	-277	-268	3
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	0	0	
営業利益	890	683	30
利益配分	85	70	21
利益配分後の営業利益	975	753	29
内部収益	-429	-417	-3
C/I比率(単位：%)	37.4	41.5	
貸倒実績率(単位：%)	0.25	0.27	
資産	177,009	153,436	15
負債	170,464	147,315	16
割当済資本	6,545	6,121	7
割当済資本に係る利益率(単位：%)	12.4	9.9	
平均従業員数	494	490	1
支店数	46	45	2

(単位：百万ユーロ)

取引額、フィンランドの平均額	2014年度	2013年度	変動 (単位：%)
一般顧客への貸出金	12,281	11,672	5
うち個人	3,843	3,693	4
うち法人	8,438	7,979	6
一般顧客からの預金	4,513	3,026	49
うち個人	1,264	1,262	0
うち法人	3,249	1,764	84

業績

営業利益は、収益合計が14%増加した一方で費用合計は3%だけ増加したことにより、30%改善して890百万スウェーデン・クローネ(前年度は683百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響により、営業利益は30百万スウェーデン・クローネ増加し、現地通貨では、営業利益は24%増加した。

純利息収益は、14%増加して1,389百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,219百万スウェーデン・クローネ)となったが、この改善のうち61百万スウェーデン・クローネは為替変動によるものであった。現地通貨では、純利息収益は8%増加したが、これは主に取引額の増加によるものであった。スウェーデン安定化基金及び預金保証の手数料は5百万スウェーデン・クローネ増加し、これにより純利息収益に-52百万スウェーデン・クローネ(前年度は-47百万スウェーデン・クローネ)の負荷が生じた。

純手数料及びコミッション収益は、7%増加して440百万スウェーデン・クローネ(前年度は412百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主にクレジットカード事業からの手数料の増加によるものであった。

金融取引による純損益は、76百万スウェーデン・クローネ(前年度は40百万スウェーデン・クローネ)に増加したが、これは主に早期弁済料の増加によるものであった。

費用合計は、3%増加して-749百万スウェーデン・クローネ(前年度は-725百万スウェーデン・クローネ)となった。-38百万スウェーデン・クローネの為替変動の調整後、費用合計は2%減少した。平均従業員数は494名(前年度は490名)に増加した。

正味貸倒損失は-277百万スウェーデン・クローネ(前年度は-268百万スウェーデン・クローネ)にわずかに増加し、貸倒実績率は0.25%(前年度は0.27%)に減少した。

事業の展開

取引額は増加した。貸出金の平均額は、前年度から5%増加した。当行の法人顧客への貸出金は6%増加し、個人顧客への貸出金の平均額は4%増加した。かかる成長率は市場全体の成長率を上回るものであった。

個人顧客からの預金の平均残高はわずかに増加したと同時に、法人顧客からの預金は84%増加した。

2014年初頭、当行はヘルシンキのルオホラハティに1つの新たな支店を開設し、これにより、当行はフィンランドにおいて合計46の支店を有することとなった。

ノルウェーにおける支店業務

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

ノルウェーにおける支店業務	2014年度合計	2013年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	3,439	3,574	-4
純手数料及びコミッション収益	390	364	7
金融取引による純損益	102	83	23
その他の収益	20	12	67
収益合計	3,951	4,033	-2
人件費	-711	-662	7
その他費用	-219	-232	-6
内部的に購入及び売却されたサービス	-390	-368	6
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損費用	-11	-10	10
費用合計	-1,331	-1,272	5
貸倒損失控除前利益	2,620	2,761	-5
正味貸倒損失	-141	-169	-17
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	0	0	
営業利益	2,479	2,592	-4
利益配分	66	43	53
利益配分後の営業利益	2,545	2,635	-3
内部収益	-3,430	-3,606	5
C/I比率(単位：%)	33.1	31.2	
貸倒実績率(単位：%)	0.07	0.08	
資産	206,536	202,567	2
負債	193,355	190,444	2
割当済資本	13,181	12,123	9
割当済資本に係る利益率(単位：%)	15.9	17.0	
平均従業員数	672	650	3
支店数	51	49	4

(単位：十億ノルウェー・クローネ)

取引額、ノルウェーの平均額	2014年度	2013年度	変動 (単位：%)
一般顧客への貸出金	190.2	182.8	4
うち個人	76.3	72.0	6
うち法人	113.9	110.8	3
一般顧客からの預金	62.4	49.6	26
うち個人	15.3	14.0	9
うち法人	47.1	35.6	32

業績

営業利益は、4%減少して2,479百万スウェーデン・クローネ(前年度は2,592百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響により、営業利益は41百万スウェーデン・クローネ減少した。現地通貨では、営業利益は3%減少した。

純利息収益は、4%減少して3,439百万スウェーデン・クローネ(前年度は3,574百万スウェーデン・クローネ)となったが、-58百万スウェーデン・クローネの為替変動の調整後、かかる減少は2%となった。取引額の増加により227百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。一方、貸出金の利鞘は187百万スウェーデン・クローネ縮小し、金利水準の低下により割当済資本に係る純利息収益は57百万スウェーデン・クローネ減少した。スウェーデン安定化基金及び預金保証の手数料並びにノルウェー国内預金保証は6百万スウェーデン・クローネ増加し、純利息収益に-104百万スウェーデン・クローネ(前年度は-98百万スウェーデン・クローネ)の負荷が生じた。

純手数料及びコミッション収益は、7%増加して390百万スウェーデン・クローネ(前年度は364百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主にファンド運用手数料及び貸出手数料の増加によるものであった。

費用合計は、5%増加して-1,331百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,272百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、費用合計は7%増加した。人件費は年間給与調整及び平均従業員数の3%の増加により7%増加した。

正味貸倒損失は、-141百万スウェーデン・クローネ(前年度は-169百万スウェーデン・クローネ)に減少し、貸倒実績率は0.07%(前年度は0.08%)であった。

事業の展開

取引額は引続き増加した。貸出金の平均額は4%増加し、個人顧客への貸出金は6%の増加及び法人顧客への貸出金は3%の増加であった。

個人顧客からの預金の平均残高は9%増加したのと同時に、法人顧客からの預金は32%増加した。

当年度上半期中、1つの新たな支店がオスロのオーケルンに開設され、第3四半期にはトロンヘイムのレアンゲンに1つの新たな支店が開設され、これにより、当行はノルウェーにおいて合計51の支店を有することとなった。

オランダにおける支店業務

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

オランダにおける支店業務	2014年度合計	2013年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	283	230	23
純手数料及びコミッション収益	26	23	13
金融取引による純損益	7	1	600
その他の収益	0	-	
収益合計	316	254	24
人件費	-127	-96	32
その他費用	-28	-21	33
内部的に購入及び売却されたサービス	-68	-56	21
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損費用	-1	-1	0
費用合計	-224	-174	29
貸倒損失控除前利益	92	80	15
正味貸倒損失	-1	-7	
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	0	-	
営業利益	91	73	25
利益配分	8	4	100
利益配分後の営業利益	99	77	29
内部収益	-154	-140	-10
C/I比率(単位：%)	69.1	67.4	
貸倒実績率(単位：%)	0.01	0.05	
資産	38,651	33,039	17
負債	37,754	32,221	17
割当済資本	897	818	10
割当済資本に係る利益率(単位：%)	9.2	7.7	
平均従業員数	131	102	28
支店数	20	18	11

(単位：百万ユーロ)

取引額、オランダの平均額	変動		
	2014年度	2013年度	(単位：%)
一般顧客への貸出金	1,932	1,728	12
うち個人	723	478	51
うち法人	1,209	1,250	-3
一般顧客からの預金	1,065	944	13
うち個人	32	26	23
うち法人	1,033	918	13

業績

営業利益は、25%増加して91百万スウェーデン・クローネ(前年度は73百万スウェーデン・クローネ)となった。収益合計は24%増加した一方、引続き業務へ投資を行ったことにより費用合計は29%増加した。

収益合計は、24%増加して316百万スウェーデン・クローネ(前年度は254百万スウェーデン・クローネ)となった。純利息収益は、23%増加して283百万スウェーデン・クローネ(前年度は230百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主に取引額が増加したことによる。また、同時に、純手数料及びコミッション収益は、貸出手数料が増加したため13%増加した。

費用合計は-224百万スウェーデン・クローネ(前年度は-174百万スウェーデン・クローネ)に増加したが、これは支店網及び地域の本部が拡大したことによるものであった。平均従業員数は131名(前年度は102名)に増加した。

正味貸倒損失は-1百万スウェーデン・クローネ(前年度は-7百万スウェーデン・クローネ)減少し、貸倒実績率は0.01%(前年度は0.05%)であった。

事業の展開

貸出金の平均額は、12%すなわち204百万ユーロ増加したと同時に、預金は13%すなわち121百万ユーロ増加した。個人顧客からの預金が23%増加したのと同時に、個人顧客への貸出金は51%増加した。法人顧客への貸出金は3%減少した一方、法人顧客からの預金の平均残高は13%増加した。

当年度中、新たな2つの支店がアーネム及びアペルドールンに開設された。これによりオランダにおける当行の支店数は合計20となった。さらに、2015年1月に新たな支店がハーレルム及びアルフェン・アーン・デン・レインに開設された。

ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット	2014年度合計	2013年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	847	936	-10
純手数料及びコミッション収益	3,041	3,008	1
金融取引による純損益	1,537	1,073	43
保険リスク	165	142	16
その他の収益	17	16	6
収益合計	5,607	5,175	8
人件費	-2,542	-2,560	-1
その他費用	-859	-969	-11
内部的に購入及び売却されたサービス	-126	-147	-14
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損費用	-79	-61	30
費用合計	-3,606	-3,737	-4
貸倒損失控除前利益	2,001	1,438	39
正味貸倒損失	27	-65	
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	0	0	
営業利益	2,028	1,373	48
利益配分	-1,186	-1,070	11
利益配分後の営業利益	842	303	178
内部収益	-1,858	-1,672	-11
C/I比率(単位：%)	81.6	91.0	
貸倒実績率(単位：%)	-0.05	0.08	
資産	423,265	377,283	12
負債	415,817	368,685	13
割当済資本	7,448	8,598	-13
割当済資本に係る利益率(単位：%)	8.1	2.6	
平均従業員数	1,885	1,985	-5
支店数	17	19	

(単位：十億スウェーデン・クローネ)

国際投資銀行業務部門の取引額 平均取引額	変動		
	2014年度	2013年度	(単位：%)
一般顧客への貸出金	45.5	48.9	-7
うち、個人	4.0	3.5	14
うち、企業	41.5	45.4	-9
一般顧客からの預金	49.4	34.1	45
うち、個人	2.7	2.4	13
うち、企業	46.7	31.7	47

業績

営業利益は、48%増加して2,028百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,373百万スウェーデン・クローネ)となった。655百万スウェーデン・クローネの利益の増加分のうち、627百万スウェーデン・クローネが市場及び資産運用部門、61百万スウェーデン・クローネが年金及び生命保険部門によるものであった。国際投資銀行業務部門の営業利益は33百万スウェーデン・クローネ減少した。

収益合計は、8%すなわち432百万スウェーデン・クローネ増加して5,607百万スウェーデン・クローネ(前年度は5,175百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる増加は、固定利付債券及び為替取引における利益の改善を背景に、金融取引による純損益が464百万スウェーデン・クローネ改善して1,537百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,073百万スウェーデン・クローネ)となったことが主な要因である。

純手数料及びコミッション収益は、1%すなわち33百万スウェーデン・クローネ増加して3,041百万スウェーデン・クローネ(前年度は3,008百万スウェーデン・クローネ)となった。ミューチュアル・ファンド手数料は増加した一方、仲介収益は前年度を下回った。

費用合計は、主にその他の管理費用の減少により、4%減少して3,606百万スウェーデン・クローネ(前年度は3,737百万スウェーデン・クローネ)となった。

国際投資銀行業務部門の正味貸倒損失には、正味回収額27百万スウェーデン・クローネ(前年度は-65百万スウェーデン・クローネ)が含まれ、また、貸倒実績率は-0.05%(前年度は0.08%)であった。

事業の展開

当年度中、スウェーデンにおける当行グループのミューチュアル・ファンドへの新規資金流入額は、市場シェアの18.7%に相当する29十億スウェーデン・クローネ(前年度は16十億スウェーデン・クローネ)であった。当行グループのファンドへの純流入合計は32.2十億スウェーデン・クローネであった。サクト・フォンデルは、引続き上場投資信託に関し北欧市場における最大のプレーヤーであり、売上高の市場シェアは94%であった。

当年度中、上場投資信託を含む投資信託の総額は、24%増加して337十億スウェーデン・クローネ(前年度は271十億スウェーデン・クローネ)となり、これまでで最高額であった。当行グループにおける運用資産合計は、当年度中に18%増加して533十億スウェーデン・クローネ(前年度は452十億スウェーデン・クローネ)となった。

プライベート・バンキング部門は引続き堅調であり、その結果、運用資産は安定的に伸びた。

当行は、引続き一般顧客を対象とした元本保護投資に関してスウェーデンにおける最大のプレーヤーで、市場シェアは21%強であった。

いくつかの新規の発行者が現れ、資本市場を通じた資金調達への需要は、引続き堅調であった。2014年度、当行は、総額15十億ユーロを超える140の社債発行のアレンジを行った。

コーポレート・ファイナンス活動の水準が上昇した中で、当行は北欧における4つの新規株式公開及びスウェーデンにおける13のM&Aのアドバイザーを務めた。したがって、当行は、ほとんどの取引においてアドバイザーを務めた北欧の商業銀行であった。

現金管理事業は、安定的な傾向を見せた。

当行は、現在もなお、北欧地域の中で最も国際的なプレーヤーであり、合計24ヶ国で業務を行っている。当行の本拠地市場外における貸出金の平均額は、前年度から7%減少して45.5十億スウェーデン・クローネ(前年度は48.9十億スウェーデン・クローネ)となった。預金は、45%増加して49.4十億スウェーデン・クローネ(前年度は34.1十億スウェーデン・クローネ)となった。

当行の企業年金ソリューションへの需要は引続き増加し、当年度中の新規売上高は、前年度から40%の増加となった。払込済みの年金及び保険料の合計は、前年度から10%増加して11.4十億スウェーデン・クローネとなった。

(単位：十億スウェーデン・クローネ)

運用資産	2014年度	2013年度
ミューチュアル・ファンド(プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント及びユニットリンク保険を除く。)	247	199
プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント	18	14
ユニットリンク保険	74	60
うち外部資金	-2	-2
ミューチュアル・ファンド合計	337	271
仕組商品	22	25
ポートフォリオ社債保険	18	17
うち当行グループのミューチュアル・ファンド及び仕組商品内	-6	-5
従来型保険	10	11
うち当行グループのミューチュアル・ファンド及び仕組商品内	-1	0
制度的資産 ¹	182	140
うち当行グループのミューチュアル・ファンド及び仕組商品内	-82	-59
当行グループの基金	61	58
うち当行グループのミューチュアル・ファンド及び仕組商品内	-8	-6
当行グループの運用資産合計	533	452
ミューチュアル・ファンドを除く保管有価証券	293	256

¹ 当該額は、16十億スウェーデン・クローネの資金を保有するハートウッドによって管理されている全額も含む。

市場及び資産運用部門は、リスク管理、有価証券、デリバティブ、ミューチュアル・ファンド及び調査に関連する幅広い商品及びサービスを提供しており、また貯蓄分野において当行が提供するサービスの調整を行っている。

国際投資銀行業務部門は、債券発行市場、コーポレート・ファイナンス、現金管理、トレード・ファイナンス及びエクスポート・ファイナンスの分野で構成されており、また国際銀行業務への協力も行っている。この事業分野には、当行の本拠地市場外18ヶ国の26地点における当行の事業も含まれる。

年金及び生命保険部門の事業分野は、子会社のハンデルスバンケン・リヴから構成されており、個人顧客向け及び法人顧客向けの年金ソリューション及びその他の保険ソリューションを提供している。

このセグメントは、これらの分野の事業支援部門も含んでいる。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

市場及び資産運用部門	2014年度合計	2013年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	23	39	-41
純手数料及びコミッション収益	1,670	1,661	1
金融取引による純損益	1,490	1,027	45
その他の収益	-31	-37	-16
収益合計	3,152	2,690	17
人件費	-1,069	-1,116	-4
その他費用	-895	-1,013	-12
費用合計	-1,964	-2,129	-8
貸倒損失控除前利益	1,188	561	112
正味貸倒損失	-	-	
営業利益	1,188	561	112
利益配分後の営業利益	347	-146	
平均従業員数	535	548	-2

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

国際投資銀行業務部門	2014年度合計	2013年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	777	816	-5
純手数料及びコミッション収益	819	874	-6
金融取引による純損益	91	100	-9
その他の収益	45	49	-8
収益合計	1,732	1,839	-6
人件費	-787	-784	0
その他費用	-503	-488	3

費用合計	-1,290	-1,272	1
貸倒損失控除前利益	442	567	-22
正味貸倒損失	27	-65	
営業利益	469	502	-7
利益配分後の営業利益	298	298	
平均従業員数	616	658	-6

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

年金及び生命保険部門	2014年度合計	2013年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	53	86	-38
純手数料及びコミッション収益	587	510	15
金融取引による純損益	-48	-48	0
その他の収益	166	142	17
収益合計	758	690	10
人件費	-168	-162	4
その他費用	-219	-218	0
費用合計	-387	-380	2
貸倒損失控除前利益	371	310	20
正味貸倒損失	-	-	
営業利益	371	310	20
利益配分後の営業利益	197	151	-30
平均従業員数	171	180	-5

第4【設備の状況】

1【設備投資等の概要】

該当事項なし。

2【主要な設備の状況】

スウェーデン法の下で、銀行は一般に銀行の建物及び銀行の社員に居住設備を提供するためのもの以外の不動産を期間の制限なく所有することが認められていない。2014年12月31日現在、当行グループはスウェーデンに16の不動産を有していた。これらは、一部に支店業務も含まれていたものの、主として本店オフィス、情報テクノロジー及び記録保管の目的で使用されていた。当行グループはまた、2008年におけるローカルバンケンの取得の一部として取得したデンマークの13の不動産も所有している。かかる不動産は、主として支店業務に使用されているが、オフィスの建物及び共同住宅も含まれている。

3【設備の新設、除却等の計画】

該当事項なし。

第5【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

A種株式

(2015年6月24日現在)

授権株数(株)	発行済株式総数(株)	未発行株式数(株)
6,000,000,000	18,871,791,139	4,128,208,861

(注1) 2015年5月19日に、1株につき3株の割合による株式分割が実施された。

(注2) A種株式に転換可能な以下の3つのシリーズの転換可能社債が未償還である。

() 2008年春に発行された、2.3十億スウェーデン・クローネの転換可能劣後社債。

() 2011年春に発行された、2.5十億スウェーデン・クローネの転換可能劣後社債。

() 2014年春に発行された、3.2十億スウェーデン・クローネの転換可能劣後社債。

2015年6月24日現在、これらの転換可能社債の転換時に、最大72,280株のA種株式、35,080,905株のA種株式および26,281,384株のA種株式が、それぞれ発行される可能性がある。

上記()の社債に関し、2011年6月1日以降、債権者は187.56スウェーデン・クローネの通常の転換価格で転換することができる。2013年5月21日より後は、通常の転換価格、又は当該日において適用される株価が転換価格を下回る場合、かかる株価に対応する調整を行った転換価格でA種株式に転換することができる。2015年5月19日を効力発生日とする株式分割後、転換価格は62.52スウェーデン・クローネに再計算された。

上記()の社債に関し、債権者は2016年5月1日から2016年11月30日の間にA種株式に転換することができる。当初の通常転換価格は256.52スウェーデン・クローネであった。しかし、転換可能社債は完全に配当落ちから保護されており、すなわち通常の転換価格は、A種株式に対して支払われた配当に対応する割合に応じた金額により下方修正される。したがって、2015年春の配当支払後、転換価格は214.87スウェーデン・クローネに再計算された。2015年5月19日を効力発生日とする株式分割後、転換価格は71.62スウェーデン・クローネに再計算された。当行は、転換を要求することもできる。

上記()の社債に関し、債権者は2019年5月1日から2019年11月30日の間にA種株式に転換することができる。当初の通常転換価格は379.19スウェーデン・クローネであった。しかし、転換可能社債は完全に配当落ちから保護されてお

り、すなわち通常の転換価格は、A種株式に対して支払われた配当に対応する割合に応じた金額により下方修正される。2015年春の配当支払後、転換価格は362.89スウェーデン・クローネに再計算された。2015年5月19日を効力発生日とする株式分割後、転換価格は120.96スウェーデン・クローネに再計算された。当行はまた、転換を要求することができ、社債は一定の場合において自動的に転換される可能性がある。

B種株式

(2015年6月24日現在)

授権株数(株)	発行済株式総数(株)	未発行株式数(株)
150,000,000	35,251,329	114,748,671

(注1) 2015年5月19日に、1株につき3株の割合による株式分割が実施された。

【発行済株式】

(2015年6月24日現在)

記名・無記名の別及び 額面・無額面の別	種類	発行数(株) ²	上場金融商品取引所 名又は 登録認可金融商品取 引業協会名	内容
無記名式 割当価額 ¹	A種株式	1,871,791,139	ナスダックOMXス tockホルム	A種株式1株につき、 1個の議決権が付与 される。
無記名式 割当価額 ¹	B種株式	35,251,329	ナスダックOMXス tockホルム	B種株式1株につき、 10分の1個の議決権 が付与される。
計	-	1,907,042,468	-	-

¹ 割当価額は、以下の算式に基づき計算される。

(株式資本残高 / 発行済株式数)

² 2015年5月19日に、1株につき3株の割合による株式分割が実施された。

(2) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

(3) 【発行済株式総数及び資本金の推移】

() A種株式

(2015年6月24日現在)

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高 (株)	株式資本増減額 (スウェーデン・ クローネ)	株式資本残高 (スウェーデン・ クローネ)	摘要
2015年5月25日	3,614	1,871,791,139	5,601.70	2,901,276,265.45	転換権の行使

2015年5月19日	1,247,858,350	1,871,787,525	0	2,901,270,663.75	1株につき3株 の割合による 株式分割
2015年4月22日	287	623,929,175	1,334.55	2,901,270,663.75	転換権の行使
2015年3月16日	3,612	623,928,888	16,795.80	2,901,269,329.20	転換権の行使
2014年7月16日	8,043	623,925,276	37,399.95	2,901,252,533.40	転換権の行使
2014年06月13日	1,204	623,917,233	5,598.60	2,901,215,133.45	転換権の行使
2014年04月11日	1,736	623,916,029	8,072.40	2,901,209,534.85	転換権の行使
2014年03月13日	15,063	623,914,293	70,042.95	2,901,201,462.45	転換権の行使
2014年02月12日	2,408	623,899,230	11,197.20	2,901,131,419.50	転換権の行使
2014年01月14日	1,470	623,896,822	6,835.50	2,901,120,222.30	転換権の行使
2013年12月16日	1,204	623,895,352	5,598.60	2,901,113,386.80	転換権の行使
2013年11月14日	165,652	623,894,148	770,281.80	2,901,107,788.20	転換権の行使
2013年10月11日	6,572	623,728,496	30,559.80	2,900,337,506.40	転換権の行使
2013年09月12日	5,909	623,721,924	27,476.85	2,900,306,946.60	転換権の行使
2013年08月14日	29,160	623,716,015	135,594	2,900,279,469.75	転換権の行使
2013年07月12日	47,091	623,686,855	218,973.15	2,900,143,875.75	転換権の行使
2013年6月14日	83,140	623,639,764	386,601	2,899,924,902.60	転換権の行使
2013年5月3日	266,785	623,556,624	1,240,550.25	2,899,538,301.60	転換権の行使
2013年4月3日	442,503	623,289,839	2,057,638.95	2,898,297,751.35	転換権の行使
2013年3月4日	1,274,692	622,847,336	5,927,317.80	2,896,240,112.40	転換権の行使
2013年2月13日	366,197	621,572,644	1,702,816.05	2,890,312,794.60	転換権の行使
2013年1月15日	149,778	621,206,447	696,467.70	2,888,609,978.55	転換権の行使
2012年12月13日	134,111	621,056,669	623,616.15	2,887,913,510.85	転換権の行使
2012年11月14日	138,383	620,922,558	643,480.95	2,887,289,894.70	転換権の行使
2012年10月15日	550,448	620,784,175	2,559,583.20	2,886,646,413.75	転換権の行使

2012年9月14日	471,712	620,233,727	2,193,460.80	2,884,086,830.55	転換権の行使
2012年8月15日	1,559,750	619,762,015	7,252,837.50	2,881,893,369.75	転換権の行使
2012年7月16日	1,058,950	618,202,265	4,924,117.50	2,874,640,532.25	転換権の行使
2012年6月18日	36,859	617,143,315	171,394.35	2,869,716,414.75	転換権の行使
2012年5月18日	1,601,595	617,106,456	7,447,416.75	2,869,545,020.40	転換権の行使
2012年4月18日	549,805	615,504,861	2,556,593.25	2,862,097,603.65	転換権の行使
2012年3月14日	2,320,617	614,955,056	10,790,869.05	2,859,541,010.40	転換権の行使
2012年2月21日	320,610	612,634,439	1,490,836.50	2,848,750,141.35	転換権の行使
2012年1月24日	1,630	612,313,829	7,579.50	2,847,259,304.85	転換権の行使
2011年12月22日	319	612,312,199	1,483.35	2,847,251,725.35	転換権の行使
2011年11月22日	799	612,311,880	3,715.35	2,847,250,242.00	転換権の行使
2011年7月21日	15,729	612,311,081	73,139.85	2,847,246,526.65	転換権の行使
2011年6月20日	576,333	612,295,352	2,679,948.45	2,847,173,386.80	転換権の行使

()B種株式

(2015年6月24日現在)

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高 (株)	株式資本増減額 (スウェーデン ・クローネ)	株式資本残高 (スウェーデン ・クローネ)	摘要
2015年5月19日	23,500,886	35,251,329	0	54,639,559.95	1株につき3株 の割合による 株式分割
2014年6月13日 現在	-	-	-	54,639,559.95	-

(4) 【所有者別状況】

過去数年間に於いて、スウェーデン人ではない株主の割合は、2008年度末の30%から増加し、2014年12月31日現在で48%(前年度は47%)となった。当行は、約100,000名の株主を有している。株主の3分の2は、501株未満の所有者であった。株主の4%が、それぞれ5,000株超の株式を所有しており、かかる株主は合計で株式資本の約92%を所有していた。株式の10%超を所有する2名の株主は、オクトゴーネン・ファウンデーション及びインドゥストリーヴァルデンである。

以下の表は、当行の株式の所有株式数別の内訳を示している。¹

(2014年12月31日現在)

株主毎の所有株式		所有株式			
株式数	株主数	A種株式数	B種株式数	株式資本割合 (%)	議決権割合 (%)
1-500株	66,681	8,074,888	2,397,396	1.7	1.3
501-1,000株	13,107	8,541,452	1,499,198	1.6	1.4
1,001-5,000株	14,890	28,730,225	3,447,506	51	4.7
5,001-20,000株	2,598	21,244,099	1,942,651	3.6	3.4
20,001株以上	947	557,334,612	2,463,692	88.0	89.2
合計	98,223	623,925,276	11,750,443	100.0	100.0

¹ 本項においては、2015年5月19日を効力発生日とする1株につき3株の割合による株式分割を反映するための再表示を行っていない。

(5) 【大株主の状況】

以下の表において、保管銀行は通常は実際の株主ではなく、株主が複数の保管銀行を通じて所有している可能性がある。

(2014年12月31日現在)

名称	住所	A種株式数	資本合計に 対する割合 (%)	議決権合計に 対する割合 (%)
インドゥストリーヴァルデン・インベスト・ エイ・ビー・プブリクト	スウェーデン	64,661,679	10.2	10.3
オクトゴーネン、スティフテルセン	スウェーデン	64,451,572	10.1	10.3
JPモルガン・チェース・エヌ・エイ [*]	英国	34,736,635	5.5	5.6
SSB クライアント・オムニバス AC OM07(15 PCT) [*]	米国	13,045,683	2.1	2.1
アレクタ・ペンションフォルシェクリン	スウェーデン	12,882,000	2.0	2.1
ランドバーグフォレターゲン・エイ・ビー、LE	スウェーデン	12,500,000	2.0	2.0
メロン米国税控除口座 [*]	米国	9,698,670	1.5	1.6
クリアストリーム・バンキング・エス・エー、 W8IMY [*]	ルクセンブルク	9,582,905	1.5	1.5
ステート・ストリート・バンク・アンド・ トラスト・カンパニー、ボストン	米国	8,217,368	1.3	1.3
Cbny- ノルウェー銀行	米国	7,952,716	1.3	1.3
合計		623,925,276	98.2	99.8

名称	住所	B種株式数	資本合計に 対する割合 (%)	議決権合計に 対する割合 (%)
アヴァンザ・ペンション保険会社*	スウェーデン	215,584	0.03	0.003
ユニオネン	スウェーデン	210,000	0.03	0.003
第七スウェーデン国民年金保険基金 - AP7 エクイティ・ファンド	スウェーデン	135,024	0.02	0.002
ヴィトウセン・エイ・ビー	スウェーデン	106,420	0.02	0.002
エクハグスティフテルセン	スウェーデン	101,205	0.02	0.002
ノルドネット・ペンションフォルシェクリン・ エイ・ビー*	スウェーデン	88,400	0.01	0.001
スカンディア ÖMS 生命保険会社	スウェーデン	87,679	0.01	0.001
スティフト・エディット及びエリック・フェーン ストレームス	スウェーデン	84,990	0.01	0.001
スカンジナビア・エンスキルダ・バンケン・ エス・エー、W8IMY	ルクセンブルク	79,833	0.01	0.001
SSB クライアント・オムニバスAC OM07(15 PCT)*	米国	71,940	0.01	0.001
合計		11,750,443	1.8	0.2

*を付した主体は、一又は複数の株主が当該主体を通じて当行の株式を所有しているものと想定される主体である。

** 上記の表においては、2015年5月19日を効力発生日とする1株につき3株の割合による株式分割を反映するための再表示を行っていない。

2【配当政策】

配当政策

当行グループの企業目標の目的の一つは、景気循環を通じて一株当たり利益の増加で表示される価値の長期的な高成長を株主に提供することである。当行は、普通配当が価値の創出を反映する長期的かつ安定的な成長を達成することを目指す。しかしながらかかる配当の水準は、当局の資本要件を満たさないものとなってしまう。スウェーデンにおける慣例として、当行は、年に1回株主に対して配当を支払う。一株当たりの配当額は、当行の取締役会により提案され、当行の年次株主総会で承認される。

配当

2014年3月26日開催の年次株主総会において、株主により一株当たり16.50¹スウェーデン・クローネの配当支払い(うち普通配当支払いは一株当たり11.50¹スウェーデン・クローネ)が決定された。

2015年3月25日開催の年次株主総会において、株主により一株当たり17.50¹スウェーデン・クローネの配当支払い(うち普通配当支払いは一株当たり12.50¹スウェーデン・クローネ)が決定された。

¹ これらの数値については、2015年5月19日を効力発生日とする1株につき3株の割合による株式分割を反映するための再表示を行っていない。

3【株価の推移】

当行の株式は、ナスダックOMXストックホルムに上場されている。最近5年間及び当該事業年度中最近6月間の各月における当行のA種株式の価格の変動は、以下のとおりである。

(1)【最近5年間の事業年度別最高・最低株価】

(単位：スウェーデン・クローネ)

回次	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
決算月日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日
最高	229.0	226.0	249.9	319.6	372.8
最低	180.5	147.40	181.0	234.3	305.1

(注) 上記の表においては、2015年5月19日を効力発生日とする1株につき3株の割合による株式分割を反映するための再表示を行っていない。

(2)【当該事業年度中最近6月間の月別最高・最低株価】

(単位：スウェーデン・クローネ)

月別	2014年7月	2014年8月	2014年9月	2014年10月	2014年11月	2014年12月
最高	339.1	334.9	341.4	356.3	366.2	372.8
最低	315.2	318.3	324.0	305.1	345.7	350.5

(注) 上記の表においては、2015年5月19日を効力発生日とする1株につき3株の割合による株式分割を反映するための再表示を行っていない。

4【役員の状況】

当行の運営に関する全体的な責任は、取締役会に委任されている。銀行法により、銀行は3名以上の構成員から成る取締役会を設置しなければならない。当行の定款の規定に従い、株主は年次株主総会において8名以上15名以下の取締役会の構成員全員を選出することができる。一定の規模のスウェーデン企業に影響のある特別立法に基づき、当行の従業員は、2名の取締役会の構成員を追加で任命する権利を有するが、この権利が正式に行使されたことはない(規制要件による1998年の事例を除く。)。オクトゴーネン・ファウンデーションは、当行グループの従業員に対する利益分配制度を管理する基金であり、当行グループの従業員により管理される当行の大株主の一つであるが、伝統に従い、年次株主総会において取締役会に選出する2名の構成員を指名した。

取締役会は、現在9名の取締役で構成されている。取締役会は、通常暦年中に少なくとも9回会合し、その他必要がある場合、主要な政策及び展開、多額の貸付提案並びにその他の関連事業を検討するため会合する。

当行のグループ最高経営責任者としての頭取は、取締役会の政策実行、当行グループの事業の主導に責任を負う。

取締役会の構成員等は、以下のとおりである。

氏名 (生年)	当行における 役職 (取締役会への 選出年)	地位	主要な外部活動	2014年度の報酬
パール・ポーマン (1961年)	会長 (2006年)	取締役	スウェンスカ・セルロー サ・エイ・ビーSCAの会 長。エイ・ビー・インドゥ ストリーヴァルデン、スカ ンスカ・エイ・ビーの取締 役。	0 スウェーデン ・クローネ
フレデリック・ランドバーグ (1951年)	副会長 (2002年)	LEランドバーグフォ レターゲン・エイ・ ビーの社長兼グルー プ最高経営責任者	ホルメン・エイ・ビー、ホ フレッドストーダン・エイ ・ビー、インドゥトレ ード・エイ・ビー、エイ・ ビー・インドゥストリー ヴァルデンの会長。LEラン ドバーグフォレターゲン・ エイ・ビー、スカンスカ・ エイ・ビーの取締役。	1,218,750 スウェーデン ・クローネ
ジョン・フレデリック ・バクサース (1954年)	取締役 (2003年)	テレノール・エイ・ エス・エイの社長兼 グループ最高経営責 任者	GSM協会の会長。ドアス テップ・エイ・エスの取締 役。デット・ノルスク・ ヴェリタス(カウンスル)の 構成員。	618,750 スウェーデン ・クローネ
トミー・ビュルンド (1959年)	取締役 (2000年)	当行の副頭取	オクトゴーネン・ファウン デーションの会長。ヨル ダール市の事業政策ファウ ンデーションであるナーリ フスの構成員。	0 スウェーデン ・クローネ
オーレ・ヨハンソン (1951年)	取締役 (2012年)	取締役	エイカー・アルクティッ ク・テクノロジー・イン ク、ハートウォル・キャピ タル・オーワイAbの会長。 コネクレーンズ・オーワイ ジェイAbpの副会長。	1,243,750 スウェーデン ・クローネ
リーセ・コー (1969年)	取締役 (2015年)	ベストセラー・エイ ・エスの最高財務 責任者	ノーマル・エイ・エス、ホ ワイトウェイ・エイ・エス 及びベストセラー・グルー プ内の様々な会社の取締 役。	0 スウェーデン ・クローネ

ベンテ・ラッセ (1954年)	取締役 (2004年)	取締役	エコース・エイ・エス及び セニウム・エイ・エス(両 社ともホーム・インベス ト・エイ・エスの小会社で ある。)の会長。ボラリ ス・メディア・エイ・エ ス・エイ、サルマル・エ イ・エス・エイ、ホーム・ インベスト・エイ・エス及 びその子会社であるノル ディック・チョイス・ホス ピタリティ・グループ・エ イ・エスの取締役。	1,256,250 スウェーデン ・クロネ
シャーロット・スコグ (1964年)	取締役 (2012年)	当行従業員	金融部門ユニオン・クラ ブ、オクトゴーネン・ファ ウンデーションの理事。 フィナンスリブ・スヴェリ エ・エー・ビーの代理構成 員。	0 スウェーデン ・クロネ
フランク・ヴァン- イェンセン (1967年)	取締役 (2015年)	当行の頭取兼グルー プ最高経営責任者	なし。	0 スウェーデン ・クロネ

氏名	経歴	2015年6月24日現在の 本人及び親族の所有株式数
パール・ボーマン	2006-2015年：当行の頭取兼グループ最高経営責任者。2002-2005年：ハンデルスバンケン・マーケットのエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント兼部長。1998-2002年：ハンデルスバンケン・デンマークのエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント兼部長。1991年-：当行グループ従業員。	22,500株及び6,335 ¹ 株をオクトゴーネン利益分配基金を通じて間接所有。
フレデリック・ランドバーク	1981年-：LEランドバークフォレターゲン・エイ・ビーのグループ最高経営責任者。1977年-：ランドバークズに在職。	8,025,000株及びLEランドバークフォレターゲン・エイ・ビーを介して37,500,000株
ジョン・フレデリック・バクサース	1994-2002年：テレノール・エイ・エス・エイの最高財務責任者、エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント、シニア・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント。1997-1998年：テレノール・ベドリフト・エイ・エスの経営責任者。1989-1994年：TBKエイ・エスの最高財務責任者兼最高経営責任者。1988-1989年：エイカー・エイ・エスの最高財務取締役。1985-1988年：オスロ及びハウゲスンのストルト・ニールセン・シーウェイ・エイ・エスの最高財務取締役。1979-1985年：デット・ノルスク・ヴェリタスのシステム・コンサルタント、コントローラー、契約コーディネーター。	0株

トミー・ピュルンド	1992年-：当行の支店長。1980年-：当行グループ従業員。	19,492 ¹ 株をオクトゴーネン利益分配基金を通じて間接所有。 以下の額面金額の従業員向け転換株式： 2011年：1,131,799スウェーデン・クローネ 2014年：1,188,742スウェーデン・クローネ
オーレ・ヨハンソン	1975-2011年：ヴァルチラ(メトラ)グループにおいて様々な役職を歴任(ヴァルメットに所属した1979-1981年の期間を除く。)。2000-2011年：ヴァルチラ・グループ最高経営責任者。	40,305株
リーセ・コー	1992-2008年：プライスウォーターハウスクーパース	0株
ベンテ・ラッセ	1999-2002年：ヤンシディア・ノールの最高経営責任者代理(生命保険会社の最高経営責任者、ミューチュアル・ファンド及び資産運用会社の会長)。1996-1999年：ヤンシディア・バンク・エイ・エスの頭取。1993-1996年：エルコン・フィナンス・エイ・エスの最高経営責任者。1991-1993年：フォルネーデ・フォルシクリングの最高経営責任者代理。1989-1991年：フォルネーデ・フォルシクリングの最高財務責任者。1977-1989年：E.A.スミス・エイ・エスの与信部長及び最高財務責任者。	3,990株
シャーロット・スコグ	1989年-：当行の従業員。	6,781 ¹ 株をオクトゴーネン利益分配基金を通じて間接所有。 以下の額面金額の従業員向け転換株式： 2011年：242,722スウェーデン・クローネ 2014年：251,744スウェーデン・クローネ
フランク・ヴァン-イェンセン	2014-2015年：ハンデルスバンケン・スウェーデンのエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント兼部長。 2007-2014年：ハンデルスバンケン・デンマークのエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント兼部長。 2006-2007年：スタッドフィポテック・エイ・ビーの最高経営責任者。1998年-：当行の従業員。	1,780株 ¹ をオクトゴーネン利益分配基金を通じて間接所有。 以下の額面金額の従業員向け転換株式： 2011年：4,000,000スウェーデン・クローネ 2014年：5,000,000スウェーデン・クローネ

¹ オクトゴーネン利益分配基金は2015年5月19日を効力発生日とする1株につき3株の割合による株式分割を考慮に入れた個人により所有される特定の株式数の計算を行っていないため、オクトゴーネン利益分配基金を通じて間接所有される株式数については、かかる株式分割を反映するための調整を行っていない。

当行グループの上級経営陣の構成員は、以下のとおりである。

グループの各部門経営陣

ペール・ベックマン ^{1,2}	与信部
ヨニー・バーリクヴィスト ¹	中央本部
カタリーナ・ベルナー・フロスタル ^{1,2}	サステナビリティ部
マリア・ヘディン ^{1,2}	CRO部
ヤン・ハッグストレーム	経済研究部
アンダース・H・ヨハンソン ^{1,2}	IT部
ヨハン・ラーゲルストレーム ^{1,2}	コミュニケーション部
アグネッタ・リリア ^{1,2}	インフラ部
クラエス・ノーレン ^{1,2}	中央本部
ウルフ・リーズ ^{1,2}	最高財務責任者
フランク・ヴァン-イェンセン ^{1,2}	頭取兼グループ最高経営責任者
マルティン・ウェイストソン	法務部
アンダース・オーマン ^{1,2}	人事部

コンプライアンス部門

ルチアナ・パスール・ヒグレル	コンプライアンス部
----------------	-----------

上級経営陣から独立した部門(監査部及び内部告発部)

トルド・ヨネロット	監査部
-----------	-----

グループの各事業経営陣

ヤン・アマシエール ¹	国際投資銀行業務部門
ニナ・アーキラティ ¹	フィンランド
アンダース・ボウヴィン ¹	英国
マイケル・ブルーム	南西英国
ペール・エルカー ¹	市場及び資産運用部門
マグヌス・エリクソン	北スウェーデン
ミーケル・グリーン	スウェーデン
ジョン・ハドソン	南英国

カタリーナ・ユングヴィスト	西スウェーデン
シモン・ロッジ	北東英国
ニック・ロウェ	中央英国
ラルス・モースゴー ¹	デンマーク
ステファン・ニルソン	東スウェーデン
ジョン・パーカー	北英国
ルイス・サンダー	年金及び生命保険部門
ヨーラン・スティーレ	南スウェーデン
ミーケル・ソレンセン ¹	オランダ
ウルリカ・ストルト・キルケガード	スタッドフィボテック
ダグ・シャーンスマ ¹	ノルウェー
ポンタス・オールント	中央スウェーデン
カリナ・オーケストレーム	ストックホルム・スウェーデン

¹ 業務執行取締役:会社法に従い、報酬のガイドラインの適用を受ける。

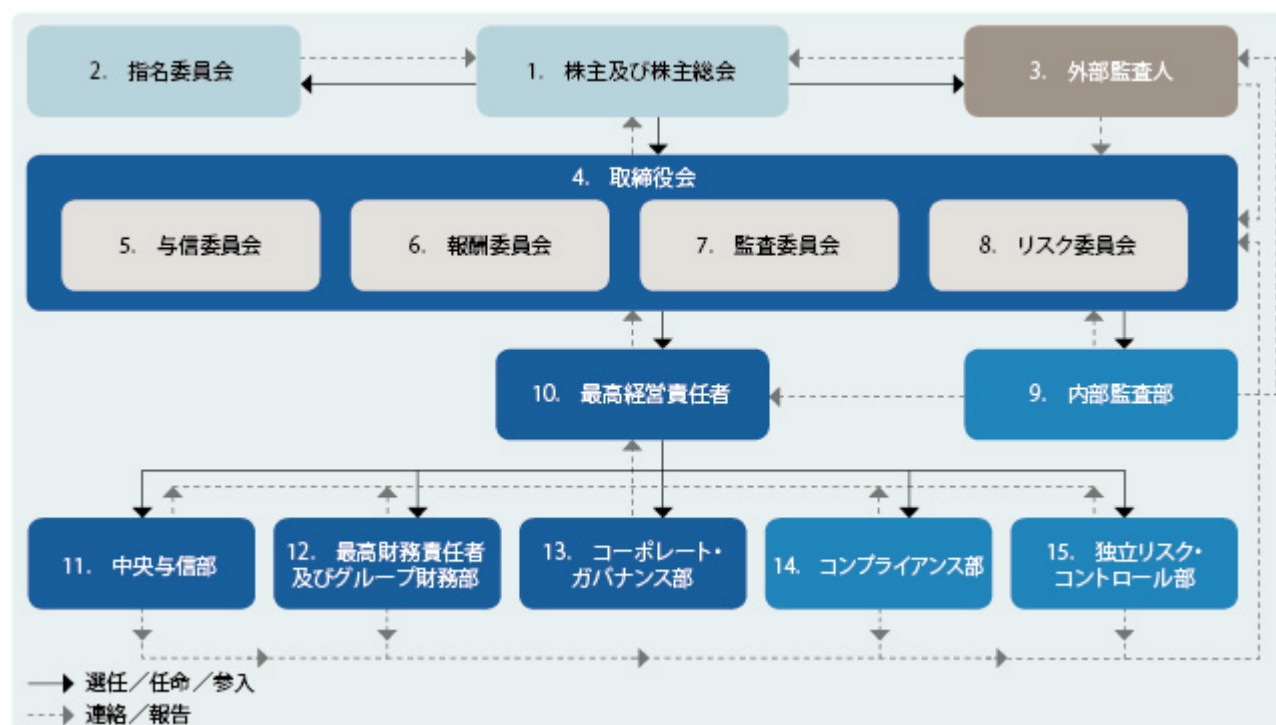
² コーポレート委員会:取締役会に提示される案件を準備する個人

5【コーポレート・ガバナンスの状況等】

(1)【コーポレート・ガバナンスの状況】

コーポレート・ガバナンスの体制

当行のコーポレート・ガバナンス - 概要



上記の表は、当行のコーポレート・ガバナンスの概要を示している。株主は、年次株主総会において意思決定を行う。特定の議題については、株主の意思決定は、指名委員会により準備される。株主は、取締役会を任命し、次に取締役会は業務活動を運営するグループ最高経営責任者(以下「最高経営責任者」という。)を任命する。取締役会は、様々な委員会で構成されている。当行を統治する業務を支援するため、最高経営責任者は、グループ財務部、中央与信部及びコーポレート・ガバナンス部を有している。当行には、多くの統制部門もある。株主もまた、外部監査人を通じて統制を行う。

1．株主及び株主総会

株主は、当行の最高意思決定機関である株主総会において当行に関連する事項を決定する権限を行使する。例えば、株主総会は当行の最も基本的な統治文書である定款のあらゆる変更を決定することができる。年次株主総会は、毎年開催され、そこでは特に取締役会、取締役会会長及び監査人の任命が行われる。また、指名委員会がどのように任命されるかについての決定も行われる。年次株主総会において、当行の株主は、当行の統治に特に重要な事項についての様々な決定を行う。株主の決定には、以下の事項が含まれる。

- ・ 当行の取締役の人数の決定、当行の取締役及び当行の監査人の任命
- ・ 取締役及び監査人への報酬額の決定
- ・ 損益計算書及び貸借対照表の承認
- ・ 利益処分
- ・ 過去の事業年度に対する取締役会及び最高経営責任者の免責の可否
- ・ 執行役員への報酬についての指針

２．指名委員会

指名委員会の役割は、取締役会会長及びその他の取締役会の構成員の指名、並びに取締役会会長及びその他の取締役会の構成員の報酬に関する提案を準備し、年次株主総会に提出することである。指名委員会は、主に取締役会会長が当委員会に提出する報告書に基づき行う取締役会の業務査定の報告も受ける。当委員会は監査人の指名及びその報酬についての提案も行う。年次株主総会は、指名委員会がどのように任命されるかについて決定する。

３．外部監査人

監査人は、年次株主総会から翌年次株主総会終了時までの任期で任命される。監査人は、株主に対して年次株主総会における説明責任を有する。監査人は、監査を行い、年次報告書及び取締役会の運営等の事項に関する監査報告書を提出する。さらに、監査人は、口頭及び書面において、取締役会の監査委員会に対し、その監査業務がいかに遂行されたかを報告し、当行の業務運営体制及び内部統制に関する評価を報告する。監査人はまた、取締役会全体に対し、その監査の概略報告書も提出する。ステファン・ホルムストレームは、当行においてケーピーエムジー・イー・ビーの主任監査人であり、2008年から監査チームの委員長を務めていた。同氏は、1975年から公認会計士である。エリック・オーストレームは、1989年から公認会計士であり、2008年から当行においてアーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビーの主任監査人であった。年次株主総会は、ケーピーエムジー・イー・ビー及びアーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビーを2016年の年次株主総会終了時までの監査人として再選した。これら2つの監査法人は、新たな担当監査人をそれぞれ任命した。ケーピーエムジー・イー・ビーの担当監査人は、ジョージ・ペッタション氏(公認会計士)、アーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビーの担当監査人は、イエスパー・ニルソン氏(公認会計士)である。

４．取締役会

取締役会は当行の組織に対して責任を有し、株主に代わって当行の業務処理を行う。取締役会は、継続的に当行の財政状態を査定し、会計記録、資金管理及び当行の財政状態のその他の側面が十分に管理されるように、当行が組織化されていることを確保する。取締役会は、これを実施するための方針及び指針を設定し、取締役会のための業務手続を定め、また最高経営責任者のための指針も定める。

これらの中央方針策定文書には、取締役会全体及び委員会間並びに取締役会会長及び最高経営責任者間において、責任及び権限がどのように割当てられているかについて記載している。取締役会は、最高経営責任者、エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント及び内部監査部長を任命し、特にこれらの者の雇用条件を定める。また取締役会は、コンプライアンス部長及びリスク・コントロール部長の雇用条件を決定する。取締役会会長は取締役会の業務査定に責任を負い、かかる査定結果を指名委員会に報告する。

５．与信委員会

取締役会の与信委員会は、中央委員会がその他の部門に委任した決定限度額を超える与信案件について決定を行う。特別な重要案件は取締役会全体によって決定が行われる。与信委員会は、取締役会会長、副会長、監査委員会委員長、最高経営責任者、取締役会により任命された取締役3名及び中央与信部長により構成される。与信案件が適用される当行内の部門の代表が与信委員会への提起を行う。

６．報酬委員会

取締役会の報酬委員会は、当行の業務執行取締役の雇用条件を、他企業における同等者の現行の市場相場と照らして審査する。当委員会の役割には、執行役員の報酬に関するガイドラインについての年次株主総会への

取締役会の提案を準備すること、これらのガイドラインの適用に関して監督及び評価を行うこと、並びに業務執行取締役、コンプライアンス部長、内部監査部長及びリスク・コントロール部長の報酬指針、報酬及びその他の雇用条件に対する取締役会の決定を準備することが含まれる。また当委員会は、当行グループの報酬方針及び報酬制度について、独立した評価を行っている。報酬委員会は、取締役会会長及び取締役会により任命された取締役2名から成る。

7. 監査委員会

取締役会の監査委員会は、重要な会計問題及びその他財務報告の質的内容に影響する可能性のある要因を検討しながら当行の財務報告を監視する。当委員会はまた、当行及び当行グループの内部統制及び内部監査の有効性を監視するとともに外部監査人の公平性及び独立性を監視する。当委員会は監査業務を査定し、指名委員会による監査人の指名を補佐する。監査委員会は、取締役会会長、及び取締役会により任命されたその他の取締役2名から成る。2名の取締役のうち1名が委員長となる。

8. リスク委員会

取締役会のリスク委員会は、当行グループにおけるリスク統制及びリスク管理を監視する。当委員会は、当行のリスク戦略、リスク許容度等に関する決定を準備し、コンプライアンス部及びリスク・コントロール部からの報告書を審査する。リスク委員会は、取締役会会長、及び取締役会により任命されたその他の取締役2名から成る。

9. 内部監査部

内部監査部は、当行グループの事業及び財務報告の独立した公平な監査を行う。内部監査部の主な業務はリスク管理、内部統制及びコーポレート・ガバナンスの手続を評価、検証することである。監査は、国際的に承認された基準に基づき行われる。内部監査部長は取締役会により任命され、定期的に監査委員会に対し、口頭及び書面で報告を行い、取締役会全体に対しても年次概要報告書を提出する。

10. 頭取及びグループ最高経営責任者(最高経営責任者)

最高経営責任者は、当行グループの日常的な運営指揮をとるために取締役会により任命される。取締役会からの指示に加え、最高経営責任者は会社法及び当行の会計、資金管理及び運営管理に関するその他多数の法律の規定を遵守することが義務付けられている。

11. 中央与信部

中央与信部は、当行の与信方針及び与信手続の形成及び維持並びに取締役会の与信委員会又は取締役会全体が決定したあらゆる主要な与信案件の準備に責任を負う。与信部長はすべての案件を、与信委員会又は取締役会による決定のために提示する前に、最高経営責任者及び取締役会長に提示する。与信部長は、最高経営責任者に報告を行い、また取締役会の与信委員会の構成員である。与信部長は、取締役会に貸倒損失及び与信ポートフォリオにおけるリスクについても報告する。

12. 最高財務責任者及びグループ財務部

グループ財務部は、統制システム、報告、簿記、会計及び税務に関して責任を負う。さらに、当行グループの流動性、資金調達及び資本、並びに与信リスク及びコンプライアンス・リスクを除く当行グループ全体のす

すべてのリスク管理に責任を負う。かかるリスク管理の詳細については下記「第6-1-(1) 連結財務書類 - 注記G2」を参照のこと。

13. コーポレート・ガバナンス部

コーポレート・ガバナンス部は、株主総会における決定及び取締役会による決定、並びに法律、規則及びコーポレート・ガバナンス・コードにおける変更が、当行における内部的な責任及び権限を定めることを目的とする、取締役会からの方針文書並びに最高経営責任者からのガイドライン及び指針に組み入れられることを確保する。

14. コンプライアンス部

コンプライアンス部は、法律、規則及び内部規則、並びに事業慣習又は規範を当行グループが操業する事業において遵守していることの確保に責任を負う。当部は、事業活動を支援する役割を果たし、該当する規則の適用を遵守し、内部規則を照合し、不適切な準拠により事業を行う上で生じる可能性のあるリスクについて関連部署に連絡し、かかるリスクの特定及び査定を補佐し、内部規則の起草を補佐しなければならない。コンプライアンス担当役員は、すべての事業分野、地域銀行及び中央部門並びに当行が事業展開するすべての国において任命されている。中央コンプライアンス部はコンプライアンスについて機能的な責任を負う。中央コンプライアンス部長は、定期的に最高経営責任者、リスク委員会及び報酬委員会にコンプライアンスに関連した報告を行う。

15. 独立リスク・コントロール部

中央に位置する独立リスク・コントロール部は、当行グループのすべての主要なリスクを集約して監視し報告を行う責任を負う。当該責任には、与信、カウンターパーティ及び市場リスク(金利リスク、為替リスク、株価及びコモディティ価格リスク)、オペレーショナル・リスク、流動性リスク並びに保険リスク、並びに当行グループの報酬制度に関連したリスクが含まれる。リスク・コントロール部は、当行グループのリスクを特定、測定及び分析する。当部は、最高経営責任者に対して継続的に報告を行い、リスク委員会及び報酬委員会に対しては定期的に報告を行う。取締役会もまた、業務における重要なリスクについて報告を受ける。リスク・コントロール部長はまた、最高財務責任者に対して定期的に情報を提供する。個々のリスク管理は、顧客又はカウンターパーティを担当する事業部門(アカウント・マネージャー)、又は一定の取引を行う事業部門(ビジネス・マネージャー)の業務である。リスク・コントロール部は、最高経営責任者に対して直接報告を行い、独立して活動し、統制対象業務から分離されている。

当行のコーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスは、現行の法令に従い、当行の事業体間において権利及び義務がどのように割当てられるかに関係している。コーポレート・ガバナンスはまた、意思決定体制及び株主が直接的又は間接的に当行を統制する構造を包含している。当行のコーポレート・ガバナンスにおいて基本となるのは、一方では取締役会のための手続規則、最高経営責任者及び中央監査部長のための指針並びに当行の業務に係る与信指針及び方針文書といった取締役会が採択する文書であり、また、他方では最高経営責任者が公表した指針及びガイドラインである。これらの文書は毎年改訂されるが、必要に応じてより頻繁に調整されうる。しかしながら、コーポレート・ガバナンスが機能するための基盤には、公式文書だけではなく、当行の企業文化、企業目標、運営方式及び報酬制度もある。サステナビリティに関する問題に対する当行の取組みもまた、組織のあらゆるレベルにおいて経営上の責任の不可分な部分であるため、コーポレート・ガバナンスの一部である。

コーポレート・ガバナンス・コードの適用

当行はコーポレート・ガバナンス・コードに準拠している。コーポレート・ガバナンス・コードは、年次株主総会によって選任された取締役会の構成員の過半数は、当行及びその経営陣から独立していなければならないことを規定している。9名の取締役会の構成員のうち5名は当行及びその経営陣から独立しており、したがってこの点においてコーポレート・ガバナンス・コードの過半数の要件を満たしている。さらに取締役会の構成は、独立した構成員のうち少なくとも2名は当行の大株主からも独立していなければならないという要件を満たしている。

コーポレート・ガバナンス・コードに基づき、最高経営責任者及びその近親者による重要な株式保有、又は当行が重要な取引関係を有している企業のその他の部分所有に関する情報を提出しなければならない。それにもかかわらず、銀行守秘義務に関する規則により当行は法人顧客の名称を挙げることを禁止されているため、コーポレート・ガバナンス・コードの規定は当行に適用されないというのが当行の見解である。

銀行のコーポレート・ガバナンスに関する一般情報

スウェーデンの銀行業務は法律により規制されており、銀行業務はスウェーデン金融監督庁からの許認可がある場合のみ実施することができる。

銀行業務の規制は極めて広範囲に及んでおり、本書においては詳細には記さない。主要な規制については、スウェーデン金融監督庁のウェブサイトで入手できる。当行グループの主な方針において、スウェーデン国外における業務は、スウェーデン国内の規則及び受入国の規則がスウェーデン国内の規則よりも厳格であるか又はスウェーデンの規則からの逸脱が必要となる場合には、スウェーデン国内の規則と受入国の規則の両方に服する。

スウェーデン金融監督庁は、スウェーデン及び当行が支店を置く(言い換えれば、国外業務がスウェーデンの法人である当行の業務の一環として行われている)その他の国々における当行の業務を幅広く監督している。他の国々におけるスウェーデン金融監督庁に相当する規制当局は、支店の業務に対しては限定的な監督を行っているが、スウェーデン国外における当行の子会社に対しては網羅的な監督を行っている。ノルウェー諸国、英国及びドイツにおける規制当局は、スウェーデン金融監督庁の主導により、当行の監督グループに組み込まれている。

法律及び命令に加えて、スウェーデンにおける監督もまた、スウェーデン金融監督庁による規制及び一般的なガイドラインに基づいている。スウェーデン金融監督庁は、当行の組織、意思決定構造、内部統制、当行の顧客の取引条件及び個人顧客の情報等の様々な事項に関する幅広い報告を要求する。

スウェーデン金融監督庁の業務には、当行の様々な部門を体系的に視察することも含まれる。この業務の目的は、与えられた許認可及びその他の細則の条件を当行が実際に遵守しているかを調査することである。

(2)【監査報酬の内容等】

下記「第6 - 1 - (1) 連結財務書類 - 注記G9」及び「第6 - 1 - (2) 個別財務書類 - 注記P9」を参照のこと。

第6【経理の状況】

- a. 本書記載の当行グループの邦文の連結財務書類及び当行グループの親会社の邦文の財務書類は、2014年12月31日に終了した事業年度の原文の財務書類を翻訳したものである。本書記載の原文の連結財務書類及び財務書類は、当行グループの監査済連結財務書類及び親会社の監査済個別財務書類で構成されている。当行グループの連結財務書類は、EUにより採択された国際財務報告基準(以下「IFRS」という。)並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法(1995年、第1559号)に準拠して作成されている。親会社の個別財務書類は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法に準拠して作成されている。また、当行グループ及び親会社の財務書類の日本における開示については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)第131条第1項の規定が適用されている。

なお、IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法と日本の会計原則及び手続並びに表示方法の相違点については、下記「第6-4 IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法並びに日本の会計原則及び会計慣行の主要な相違」を参照のこと。

- b. 当行グループと親会社の原文の連結財務書類及び財務書類は、スウェーデンにおける独立監査人であるケーピーエムジーエービー(KPMG AB)及びアーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビー(Ernst & Young AB)の監査を受けており、独立監査人の2015年2月12日付の監査報告書の原文及び日本語訳は本書に掲載されている。

なお、原文の財務書類は、上記のとおりケーピーエムジーエービー及びアーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビーの監査を受けており、これによって「財務諸表等の監査証明に関する内閣府令」(昭和32年大蔵省令第12号)第1条の2の規定に基づく監査証明に相当する証明を受けたとみなされるため、金融商品取引法第193条の2第1項第1号の規定に基づく日本の公認会計士又は監査法人による監査は受けていない。

- c. 日本円への換算及び下記「第6-2 主な資産・負債及び収支の内容」から「第6-4 IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法並びに日本の会計原則及び会計慣行の主要な相違」までの事項は原文の財務書類には記載されておらず、当該事項における原文の財務書類への参照事項を除き、上記b.の監査の対象になっていない。

- d. 邦文の財務書類では、主要な数値についてのみ日本円換算が行われている。日本円への換算には、2015年5月26日(日本時間)現在の株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値である1スウェーデン・クローネ=14.42円のスウェーデン・クローネの対円為替レートが使用されている。日本円に換算された金額は、四捨五入のため合計欄の数値が総額と一致しない場合がある。また、本項において記載されているスウェーデン・クローネの日本円への換算額は読者の便宜のために表示されているものであり、スウェーデン・クローネの金額が上記のレートで日本円に換算されることを意味するものではない。

- e. なお、財務書類中の括弧内の数値は比較数値を示している。

- f. 本「第6 経理の状況」において、「親会社」はスウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトを意味する。

- g. 本「第6 経理の状況」において、「クローネ」及び「スウェーデン・クローネ」はスウェーデン・クローネを意味する。

1 【財務書類】

(1) 連結財務書類

損益計算書(当行グループ)

		2014年		2013年	
		(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
利息収益	注記G3	50,899	733,964	54,463	785,356
利息費用	注記G3	-23,655	-341,105	-27,794	-400,789
純利息収益		27,244	392,858	26,669	384,567
手数料及びコミッション収益	注記G4	10,143	146,262	9,294	134,019
手数料及びコミッション費用	注記G4	-1,587	-22,885	-1,490	-21,486
純手数料及びコミッション収益		8,556	123,378	7,804	112,534
金融取引による純損益	注記G5	1,777	25,624	1,357	19,568
保険リスク	注記G6	165	2,379	142	2,048
その他配当金収益		251	3,619	161	2,322
関連会社の持分利益	注記G19	18	260	9	130
その他収益	注記G7	303	4,369	185	2,668
収益合計		38,314	552,488	36,327	523,835
人件費	注記G8	-11,766	-169,666	-11,404	-164,446
その他費用	注記G9	-5,099	-73,528	-5,181	-74,710
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	注記G24,G25	-462	-6,662	-476	-6,864
費用合計		-17,327	-249,855	-17,061	-246,020
貸倒損失控除前利益		20,987	302,633	19,266	277,816
正味貸倒損失	注記G10	-1,781	-25,682	-1,195	-17,232
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	注記G11	6	87	17	245
営業利益		19,212	277,037	18,088	260,829
法人税等	注記G34	-4,069	-58,675	-3,915	-56,454
継続事業からの当期利益		15,143	218,362	14,173	204,375
非継続事業に関連する当期利益、税引後	注記G12	41	591	122	1,759
当期利益		15,184	218,953	14,295	206,134
帰属先：					
スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの株主		15,183	218,939	14,295	206,134
少数株主持分		1	14	0	0
継続事業からの一株当たり利益、スウェーデン・クローネ/円	注記G13	23.82	343.48	22.33	322.00

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)

有価証券報告書

希薄化後	注記G13	23.45	338.15	22.07	318.25
非継続事業からの一株当たり					
利益、スウェーデン・クローネ/円	注記G13	0.06	0.87	0.19	2.74
希薄化後	注記G13	0.06	0.87	0.19	2.74
事業合計からの一株当たり利益、					
スウェーデン・クローネ/円	注記G13	23.89	344.49	22.52	324.74
希薄化後	注記G13	23.51	339.01	22.26	320.99

包括利益計算書（当行グループ）

	2014年		2013年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
当期利益	15,184	218,953	14,295	206,134
その他包括利益				
損益に組み替えられない項目				
確定給付年金制度	-2,699	-38,920	1,402	20,217
損益に組み替えられない項目に係る税金	592	8,537	-307	-4,427
損益に組み替えられない項目合計	-2,107	-30,383	1,095	15,790
損益に組み替えられる項目				
キャッシュフロー・ヘッジ	8,772	126,492	-3,410	-49,172
売却可能金融商品	295	4,254	535	7,715
当期為替換算差額	5,924	85,424	763	11,002
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	2,558	36,886	767	11,060
損益に組み替えられる項目に係る税金	-2,501	-36,064	514	7,412
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	-1,924	-27,744	744	10,728
うち、売却可能金融商品	-14	-202	-61	-880
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	-563	-8,118	-169	-2,437
損益に組み替えられる項目合計	12,490	180,106	-1,598	-23,043
その他包括利益合計	10,383	149,723	-503	-7,253
当期包括利益合計	25,567	368,676	13,792	198,881
帰属先：				
スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの株主	25,566	368,662	13,792	198,881
少数株主持分	1	14	0	0

当期の損益計算書における組替修正は持分変動計算書に示されている。

その他包括利益における当期の為替換算差額のみが非継続事業の影響を受けている。

貸借対照表(当行グループ)

		2014年		2013年	
		(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
資産					
現金及び中央銀行預け金		454,532	6,554,351	334,794	4,827,729
中央銀行へのその他の貸出金	注記G14	51,047	736,098	35,160	507,007
中央銀行への担保として適格な利付証券	注記G17	78,219	1,127,918	57,451	828,443
その他金融機関への貸出金	注記G15	70,339	1,014,288	62,898	906,989
一般顧客への貸出金	注記G16	1,807,836	26,068,995	1,696,339	24,461,208
ポートフォリオ・ヘッジにおける金利ヘッジ					
対象の価値変動		70	1,009	96	1,384
社債及びその他の利付証券	注記G17	63,725	918,915	64,125	924,683
株式	注記G18	46,546	671,193	48,595	700,740
関連会社に対する投資	注記G19	286	4,124	272	3,922
顧客が価値変動リスクを負う資産	注記G20	94,763	1,366,482	80,930	1,167,011
デリバティブ商品	注記G22	116,124	1,674,508	69,961	1,008,838
再保険資産		6	87	4	58
無形資産	注記G24	8,132	117,263	7,835	112,981
不動産及び器具備品	注記G25	2,239	32,286	2,205	31,796
当期税金資産		115	1,658	405	5,840
繰延税金資産	注記G34	389	5,609	269	3,879
正味年金資産	注記G8	-	-	1,733	24,990
売却目的で保有する資産		1,196	17,246	1,247	17,982
その他資産	注記G26	14,321	206,509	13,262	191,238
前払費用及び未収金	注記G27	6,791	97,926	7,140	102,959
資産合計	注記G39	2,816,676	40,616,468	2,484,721	35,829,677
負債及び資本					
金融機関からの預り金	注記G28	200,074	2,885,067	171,624	2,474,818
一般顧客からの預金及び借入金	注記G29	1,022,267	14,741,090	825,205	11,899,456
顧客が価値変動リスクを負う負債	注記G30	94,864	1,367,939	80,977	1,167,688
発行済証券	注記G31	1,212,613	17,485,879	1,150,641	16,592,243
デリバティブ商品	注記G22	62,878	906,701	61,529	887,248
ショートポジション	注記G32	20,648	297,744	22,845	329,425
保険負債	注記G33	663	9,560	622	8,969
当期税金負債		957	13,800	831	11,983
繰延税金負債	注記G34	9,209	132,794	7,413	106,895
引当金	注記G35	68	981	141	2,033
正味年金債務	注記G8	1,480	21,342	-	-
売却目的で保有する資産にかかる負債		580	8,364	539	7,772
その他負債	注記G36	14,578	210,215	13,189	190,185
未払費用及び繰延収益	注記G37	18,681	269,380	21,861	315,236
劣後負債	注記G38	30,289	436,767	15,965	230,215
負債合計	注記G39	2,689,849	38,787,623	2,373,382	34,224,168
少数株主持分		3	43	2	29
株式資本		2,956	42,626	2,956	42,626

資本剰余金	3,203	46,187	2,843	40,996
準備金	12,220	176,212	1,837	26,490
利益剰余金	93,262	1,344,838	89,406	1,289,235
スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの株主に帰属する当期利益	15,183	218,939	14,295	206,134
資本合計	126,827	1,828,845	111,339	1,605,508
負債及び資本合計	2,816,676	40,616,468	2,484,721	35,829,677

持分変動計算書（当行グループ）

2014年当行グループ									
(百万スウェーデン・クローネ)									
	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	為替換算 調整 準備金	利益 剰余金	少数株主 持分	合計
2014年期首資本	2,956	2,843	3,110	-1,517	1,043	-799	103,701	2	111,339
当期利益							15,183	1	15,184
その他包括利益			-2,107	6,848	281	5,361		0	10,383
当期包括利益合計			-2,107	6,848	281	5,361	15,183	1	25,567
配当金							-10,488		-10,488
転換可能劣後ローンの影響	0	360					49		409
少数株主持分の変動							0	0	0
2014年期末資本	2,956	3,203	1,003	5,331	1,324	4,562	108,445	3	126,827
2013年当行グループ									
(百万スウェーデン・クローネ)									
	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	為替換算 調整 準備金	利益 剰余金	少数株主 持分	合計
2013年期首資本	2,943	2,337		1,149	569	-1,393	101,290	2	106,897
改訂IAS第19号の適用による 影響			2,015				-5,062		-3,047
期首資本（調整後）	2,943	2,337	2,015	1,149	569	-1,393	96,228	2	103,850
当期利益							14,295	0	14,295
その他包括利益			1,095	-2,666	474	594			-503
当期包括利益合計			1,095	-2,666	474	594	14,295	0	13,792
配当金							-6,822		-6,822
転換可能劣後ローンの影響	13	506							519
少数株主持分の変動									0
2013年期末資本	2,956	2,843	3,110	-1,517	1,043	-799	103,701	2	111,339

- 1) 発行済転換可能負債商品の転換オプションの本源的価値は、資本剰余金に計上されている。2014年の転換可能負債商品の影響（純額）は、466百万スウェーデン・クローネであった。第3四半期中に資本剰余金は、転換可能負債商品の繰延税金に関する243百万スウェーデン・クローネによって調整された。この金額は、満期までの残存期間にわたって、損益計算書に計上される。

2014年1月から12月において、2008年転換可能劣後社債に係る額面6（533）百万スウェーデン・クローネが、29,924（2,838,683）株のクラスA株式に転換された。年度末において、トレーディング勘定で保有されていた自己株式は0（0）株であった。

資本変動の内訳

ヘッジ準備金の変動

百万スウェーデン・クローネ

期首ヘッジ準備金

当期における未実現損益の変動

損益計算書への振替額¹

期末ヘッジ準備金

2014年

2013年

-1,517

1,149

14,631

-772

-7,783

-1,894

5,331

-1,517

公正価値評価差額準備金の変動

百万スウェーデン・クローネ

期首公正価値評価差額準備金

期末保有分に関する当期の未実現市場価値の変動

損益計算書への振替額²

期末公正価値評価差額準備金

2014年

2013年

1,043

569

240

509

41

-35

1,324

1,043

為替換算調整準備金の変動

百万スウェーデン・クローネ

期首為替換算調整準備金

支店における為替換算差額の変動

子会社における為替換算差額の変動

損益計算書への振替額³

期末為替換算調整準備金

2014年

2013年

-799

-1,393

5,136

687

230

-107

-5

14

4,562

-799

1) この項目に係る税金2,195 (535) 百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

2) この項目に係る税金-10 (16) 百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

3) この項目に係る税金1 (-17) 百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

2014年当行グループ (百万円)	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	為替換算 調整 準備金	利益 剰余金	少数株主 持分	合計
2014年期首資本	42,626	40,996	44,846	-21,875	15,040	-11,522	1,495,368	29	1,605,508
当期利益							218,939	14	218,953
その他包括利益			-30,383	98,748	4,052	77,306		0	149,723
当期包括利益合計			-30,383	98,748	4,052	77,306	218,939	14	368,676
配当金							-151,237		-151,237
転換可能劣後ローンの影響	0	5,191					707		5,898
少数株主持分の変動							0	0	0
2014年期末資本	42,626	46,187	14,463	76,873	19,092	65,784	1,563,777	43	1,828,845

2013年当行グループ (百万円)	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	為替換算 調整 準備金	利益 剰余金	少数株主 持分	合計
2013年期首資本	42,438	33,700		16,569	8,205	-20,087	1,460,602	29	1,541,455
改訂IAS第19号の適用による 影響			29,056				-72,994		-43,938
期首資本（調整後）	42,438	33,700	29,056	16,569	8,205	-20,087	1,387,608	29	1,497,517
当期利益							206,134	0	206,134
その他包括利益			15,790	-38,444	6,835	8,565			-7,253
当期包括利益合計			15,790	-38,444	6,835	8,565	206,134	0	198,881
配当金							-98,373		-98,373
転換可能劣後ローンの影 響	187	7,297							7,484
少数株主持分の変動									0
2013年期末資本	42,626	40,996	44,846	-21,875	15,040	-11,522	1,495,368	29	1,605,508

1) 発行済転換可能負債商品の転換オプションの本源的価値は、資本剰余金に計上されている。2014年の転換可能負債商品の影響（純額）は、6,720百万円であった。第3四半期中に資本剰余金は、転換可能負債商品の繰延税金に関する3,504百万円によって調整された。この金額は、満期までの残存期間にわたって、損益計算書に計上される。

2014年1月から12月において、2008年転換可能劣後社債に係る額面87（7,686）百万円が、29,924（2,838,683）株のクラスA株式に転換された。年度末において、トレーディング勘定で保有されていた自己株式は0（0）株であった。

資本変動の内訳

ヘッジ準備金の変動

	2014年	2013年
百万円		
期首ヘッジ準備金	-21,875	16,569
当期における未実現損益の変動	210,979	-11,132
損益計算書への振替額 ¹	-112,231	-27,311
期末ヘッジ準備金	76,873	-21,875

公正価値評価差額準備金の変動

	2014年	2013年
百万円		
期首公正価値評価差額準備金	15,040	8,205
期末保有分に関する当期の未実現市場価値の変動	3,461	7,340
損益計算書への振替額 ²	591	-505
期末公正価値評価差額準備金	19,092	15,040

為替換算調整準備金の変動

	2014年	2013年
百万円		
期首為替換算調整準備金	-11,522	-20,087
支店における為替換算差額の変動	74,061	9,907
子会社における為替換算差額の変動	3,317	-1,543
損益計算書への振替額 ³	-72	202
期末為替換算調整準備金	65,784	-11,522

1) この項目に係る税金31,652(7,715)百万円は、損益計算書に振り替えられている。

2) この項目に係る税金-144(231)百万円は、損益計算書に振り替えられている。

3) この項目に係る税金14(-245)百万円は、損益計算書に振り替えられている。

キャッシュ・フロー計算書（当行グループ）

	2014年		2013年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
営業活動				
営業利益、営業合計	19,304	278,364	18,233	262,920
うち、受取利息	51,568	743,611	55,030	793,533
うち、支払利息	-27,175	-391,864	-27,923	-402,650
うち、受取配当金	929	13,396	1,044	15,054
損益における非現金項目の調整				
貸倒損失	2,066	29,792	1,392	20,073
未実現評価差額	1,158	16,698	-250	-3,605
減価償却費、償却費及び減損	462	6,662	476	6,864
法人税の支払	-4,011	-57,839	-4,973	-71,711
営業活動による資産及び負債の変動				
中央銀行へのその他の貸出金	-15,887	-229,091	-22,790	-328,632
その他金融機関への貸出金	-7,285	-105,050	26,605	383,644
一般顧客への貸出金	-113,608	-1,638,227	-12,152	-175,232
利付証券及び株式	-20,983	-302,575	-23,393	-337,327
金融機関からの預り金	28,450	410,249	-12,321	-177,669
一般顧客からの預金及び借入金	197,189	2,843,465	142,810	2,059,320
発行済証券	61,972	893,636	-785	-11,320
デリバティブ商品の正味ポジション	-44,123	-636,254	-3,323	-47,918
ショートポジション	-2,197	-31,681	6,644	95,806
投資銀行業務の決済における債権及び債務	-1,033	-14,896	-782	-11,276
その他	-48,676	-701,908	-7,607	-109,693
営業活動からのキャッシュ・フロー	52,798	761,347	107,784	1,554,245
投資活動				
子会社の取得	0	0	-446	-6,431
持分変動	-1,969	-28,393	-85	-1,226
利付証券の変動	3,405	49,100	594	8,565
不動産及び器具備品の変動	-391	-5,638	-320	-4,614
無形固定資産の変動	-258	-3,720	-335	-4,831
投資活動からのキャッシュ・フロー	787	11,349	-592	-8,537
財務活動				
劣後ローンの返済	-2,905	-41,890	-4,048	-58,372
劣後ローンの発行	16,612	239,545	-	-
配当金の支払い	-10,488	-151,237	-6,822	-98,373
財務活動からのキャッシュ・フロー	3,219	46,418	-10,870	-156,745
当期キャッシュ・フロー	56,804	819,114	96,322	1,388,963
期首流動資金	334,794	4,827,729	236,545	3,410,979
営業活動からのキャッシュ・フロー	52,798	761,347	107,784	1,554,245
投資活動からのキャッシュ・フロー	787	11,349	-592	-8,537
財務活動からのキャッシュ・フロー	3,219	46,418	-10,870	-156,745

流動資金の為替換算差額	62,934	907,508	1,927	27,787
期末流動資金	454,532	6,554,351	334,794	4,827,729

流動資金は、現金及び中央銀行預け金と定義されている。

[次へ](#)

注記G1 会計方針及びその他の財務諸表の作成基準

1. 準拠表明

連結財務諸表は国際財務報告基準（以下「IFRS」という。）及びEUにより採択された同基準の解釈に準拠して作成されている。さらに、会計方針は、信用機関及び証券会社に係る年次報告法（1995年第1559号）及びスウェーデン金融監督庁が制定した規定及び一般指針、FFFS 2008年第25号、信用機関及び証券会社における年次報告にも従っている。企業グループの報告を規定するRFR第1号補足会計規則、並びにスウェーデン財務報告審議会による意見書も連結財務諸表に適用されている。

親会社の会計方針は注記P1に示されている。

年次報告書の発行及び採択

年次報告書及び連結財務諸表は2015年2月3日における取締役会により発行が承認された。また、2015年3月25日の年次株主総会（AGM）で採択される予定である。

2. 会計方針等の変更

2014年1月1日、IFRS第10号「連結財務諸表」、IFRS第11号「共同支配の取決め」及びIFRS第12号「他の企業への関与の開示」がEU域内で施行された。この新規定により、連結財務諸表の連結対象となる企業の条件について定めた従前のIAS第27号及びSIC第12号の規定は、企業が他の企業を支配する場合について評価するための複数の要件に差し替えられることになる。また、この新規定により、当行がユニットリンク保険契約を通じて所有するファンドは、ミューチュアル・ファンドに適用される支配力評価の範囲に含まれなくなる。これによる貸借対照表上の調整については、注記G20及びG30に開示されている。この新規定の適用による損益計算書への影響はなく、当行の自己資本比率への影響もない。この新規定には、非連結の組成された事業体への投資に関する新たな開示規定も含まれている。これらの開示は、注記G21に記載されている。さらに、この新規定には、子会社及び関連会社に関する開示規定の僅かな変更も含まれている。注記G19を参照のこと。

FFFS 2008年第25号「信用機関及び証券会社における年次報告」は、FFFS 2014年第18号の規制によって改訂されている。この規制によって、信用機関及び証券会社の年次報告に関するスウェーデン金融監督庁の規制及び一般的なガイドライン（FFFS 2008年第25号）が改訂されている。この改訂は、2014年1月1日に開始する事業年度から適用されることになる。この改訂によって、国ごとに分割されている収益等に関する開示への要求事項が増加している。これらの開示は、注記G46に記載されている。

その他の点について、当期に当行グループが適用したその他の会計方針、分類及び計算方法は、2013年度の年次報告書において適用した方針等と実質的に合致している。

将来の基準変更

2014年7月、IASBは、IAS第39号「金融商品：認識及び測定」を置き替え、IFRS第9号「金融商品」を導入した。IFRS第9号がEUによって採択され、IASBが提案した適用日に変更がなければ、IFRS第9号は2018年度より適用される予定である。IFRS第9号は、分類及び測定、金融商品の減損並びに一般ヘッジ会計という3つの分野から構成されている。金融商品の分類及び測定に関する新たな規定は、企業の事業モデル及び金融商品の保有目的に基づいたものとなっている。この減損に関する新たな規定によって、従前のIAS第39号のモデルのような発生貸倒損失に基づくモデルではなく、予想貸倒損失に基づくモデルが導入されることになる。この一般ヘッジ会計に関する新たな規定によって、企業は自らのリスク管理方針を財務報告により良く反映させることができるようになる。当行は、この新たな基準書のより詳細な財務的影響について、現在分析中である。

IASBはまた、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を導入している。IFRS第15号がEUによって採択され、IASBが提案した適用日に変更がなければ、IFRS第15号は2017年度より適用される予定である。当行は、この新たな基準書の財務的影響について、現在分析中である。

EUは、IFRIC解釈指針第21号「賦課金」を適用するための採択を行った。IFRIC解釈指針第21号は、2015年より適用される予定である。この解釈指針では、賦課金の債務発生事象が、会計期間末現在で行われる銀行業務である場合には、当日より前に負債が認識されることはないということが明確にされている。この規定の変更による当行グループの財政状態及び損益への重要な影響はないと予想され、自己資本比率への影響もないと予想される。

その他の公表されている会計基準の変更を適用しても、ハンデルスバンケンの財務報告、自己資本比率、大口エクスポージャー又はその他の規制に重要な影響はないと評価されている。

3. 連結の基礎及び表示

子会社

ハンデルスバンケンに直接又は間接的に支配されている企業（子会社）はすべて連結されている。当行は、企業への投資から生じるリターンの変動性にさらされているか、又はそのリターンに対する権利を有しており、かつその企業に影響力を及ぼす手段を通じてそのリターンに影響を及ぼすことができる場合に、その企業を直接支配しているとみなされる。支配は通常、ハンデルスバンケンが株主総会又は同等の会議体において過半数の議決権を保有している場合に存在するとみなされる。

子会社は取得法に従って連結される。ここで子会社の取得とは、当行グループがその会社の識別可能な資産を取得し、その負債及び義務を引受ける取引を意味している。企業結合の場合、識別可能資産及び負債を取得時の公正価値で評価した取得貸借対照表が作成される。企業結合の対価は、子会社の純資産に対する支払として提供されたすべての資産、負債及び発行した資本性商品の公正価値で構成される。当該企業結合の対価が当該取得貸借対照表上の識別可能純資産を超過する剰余部分は当行グループの貸借対照表にのれんとして認識される。取得関連費用は、その発生時に認識される。子会社の財務報告は取得日から支配が中止される日まで連結財務諸表に含まれる。グループ内取引及び残高は当行グループの財務報告の作成時に消去される。

子会社で個別に採用されている会計方針が当行グループで採用されている会計方針と一致していない場合、子会社の連結時に連結財務諸表を修正している。

当行が50%を超える持分を所有するミューチュアル・ファンドは、そのすべてが貸借対照表の「顧客が価格変動リスクを負う資産／負債」に計上されている。20%から50%までの所有権については、例えば、そのファンドが経営に指図する幅広い権限を持ち、かつ、そこから生じる変動リターンの割合が高い場合等、当行が支配持分を有していることを示唆する特定の状況において連結される。当行がユニットリンク保険契約を通じて所有しているファンドは、連結されない。

関連会社

ハンデルスバンケンが重要な影響力を有している会社は関連会社として報告される。重要な影響は、通常、その会社における議決権の割合が少なくとも20%、最大で50%である場合に存在する。関連会社は連結財務諸表において持分法に従って報告される。これは持分が当初は取得原価で報告されることを意味する。取得日後の帳簿価格は、関連会社の損益の当行グループ持分を認識することで増加又は減少する。関連会社からの配当金は当該持分の帳簿価額から控除される。関連会社の持分利益は、当行グループの損益計算書の個別科目である「関連会社の持分利益」に計上される。

非継続事業及び売却目的で保有する資産

固定資産又は資産グループ（処分グループ）は、帳簿価額が主に売却により回収され、その売却の可能性が高い場合に売却目的保有に分類される。売却目的に保有に分類された資産には、特別な評価原則が適用される。それによると、主に売却目的で保有する資産及び処分グループは、金融資産及び負債項目を除き、帳簿価額と売却費用控除後の公正価値のいずれか低い方で測定される。したがって、売却目的で保有する有形固定資産又は無形固定資産は減価償却又は償却されない。減損損失及びその後の再評価は損益計算書に直接計上される。減損損失累計額を超過する利益は認識されない。売却目的で保有する資産及び負債は、売却されるまで当行グループの貸借対照表上の個別科目で報告される。

当行グループの他の事業から明らかに区分可能な重要な独立事業で、上記の方針により売却目的保有に分類されている事業は、非継続事業として認識される。再売却目的のみで取得した子会社もまた、非継続事業に認識される。非継続事業として認識するにあたり、その事業からの収益は損益計算書においてその他の損益項目とは別の個別科目で報告される。非継続事業からの損益は、非継続事業からの損益（税引後）、非継続事業に含まれる売却目的で保有する資産/処分グループ資産の売却費用控除後の公正価値評価から生じる損益（税引後）、及び非継続事業の処分からの実現損益で構成されている。

4. セグメント報告

セグメント報告は収益及び費用を事業セグメントで分割したものとして表示している。事業セグメントは当行グループの一部で外部又は内部収益及び費用をもたらす事業を運営するものである。これらの収益/費用はコーポレート・ガバナンスの一環として定期的に経営陣に評価され管理される。セグメント報告の原則は注記G45で詳しく説明されている。

5. 外貨建資産及び負債

当行グループの表示通貨はスウェーデン・クローネである。スウェーデン以外における当行グループ事業の機能通貨は、当行グループの表示通貨とは通常異なっている。事業が主に運営されている経済環境で使用されている通貨が機能通貨とみなされる。

外貨建ての取引は取引日に機能通貨に換算される。貨幣性項目並びに公正価値で評価される資産及び負債は、貸借対照表の期末日の機能通貨のスポット価格の終値で評価される。売却可能金融資産に分類された非貨幣性項目からの換算差額は、「その他包括利益」の構成要素として計上され、資本の部に累積される。在外営業活動体への純投資の一部を構成している貨幣性項目を換算する際の換算差額は同じ方法で認識される。その他の換算レートの差異は損益計算書に計上される。

在外営業活動体の当行グループの表示通貨への換算

支店を含めて海外ユニットの貸借対照表及び損益計算書を機能通貨から換算する際には、期末日レート法が使用されている。これは、資産及び負債が終値で換算されることを意味している。資本は、投資時又は稼得時に適用されるレートで換算される。損益計算書は年間平均レートで換算される。換算差額はその他包括利益に計上され、資本の為替換算調整準備金に含まれる。

6. 資産及び負債の認識

資本性商品並びに短期金融市場商品及び資本市場商品のスポット市場での取得及び売却は、取引日に認識される。同様のことがデリバティブにも適用される。その他の金融資産及び金融負債は通常決済日に認識される。金融資産は、その資産からのキャッシュ・フローに対する契約上の権利が失効する、又はその資産に関するすべてのリスク及び経済的便益が他の当事者に移転した際に貸借対照表から除かれる。金融負債は、義務が終了する、又は取消された際に貸借対照表から除かれる。

企業結合の会計処理において、被取得事業は取得日から当行グループ勘定に認識される。取得日とは取得した事業体に対する支配の影響が始まる日である。取得日は取引が法的に確定した日とは異なる場合がある。

金融資産及び金融負債は、当行が純額で決済を行う契約上の権利及び意図を有している場合に、貸借対照表上で相殺される。金融資産及び負債の相殺に関する詳細については、注記G23で提供されている。

資産及び負債を貸借対照表に認識する方針は、買戻取引、証券貸付及びリースの場合は特に重要である。これらの論点については下記の個別のセクションを参照のこと。

7. 金融資産及び金融負債の分類

IAS第39号に準拠して、すべての金融資産は測定目的により以下の区分に分類される。

1. 貸出金及び債権
2. 満期保有目的資産
3. 損益を通じて公正価値で評価される資産
 - ・トレーディング目的保有
 - ・当初認識時に損益を通じて公正価値で評価することを指定した資産
4. 売却可能資産

金融負債は以下の区分に分類される。

1. 損益を通じて公正価値で評価される負債
 - ・トレーディング目的保有負債
 - ・当初認識時に損益を通じて公正価値で評価することを指定した負債
2. その他の金融負債

貸借対照表の分類は、測定区分とは切り離されている。したがって、貸借対照表の同一科目の資産及び負債に異なる測定原則が適用されることがある。貸借対照表に認識された金融資産及び負債の測定区分への分類については注記G39に示されている。

当初認識時には、すべての金融資産及び金融負債が公正価値で測定される。損益を通じて公正価値で評価される資産及び負債について、取引費用は取得時に直接損益に計上される。その他の金融商品については、取引費用は取得原価に含まれる。

貸出金及び債権

非上場の利付資産は、「貸出金及び債権」に分類されている。貸出金及び債権は償却原価、すなわち、その商品に関連する将来キャッシュ・フローのすべてをその資産の取得時の実効金利で割引いた現在価値で計上される。貸出金及び債権は、減損の兆候が存在する際には減損テストの対象となる。詳細についてはセクション9を参照のこと。減損損失は損益計算書に計上される。したがって、貸出金及び債権は、その予想される損失及び実際の損失を控除後の純額で計上される。期限前に返済された貸出金及び債権の早期償還手数料は、直ちに損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。

満期保有目的資産

当行グループが満期まで保有する意思及び能力を有する利付資産は満期保有目的資産の区分で報告される。満期保有目的に分類される資産は、償却原価で計上される。満期保有目的資産は、減損の兆候がある場合には減損テストの対象となる。詳細については、下記セクション9を参照のこと。

トレーディング目的で保有する資産及び負債

トレーディング目的で保有する資産及び負債は、上場金融商品及びデリバティブで構成されている。トレーディング目的で保有される金融商品は、公正価値で貸借対照表に計上される。これらの商品に関連する金利、配当及びその他の価値の変動は、損益計算書の「金融取引による純損益」に認識される。

当初認識時に損益計算書を通じて公正価値評価することを指定した金融資産及び負債

損益を通じて公正価値で評価する金融商品に分類するオプションは、トレーディング目的以外で保有している金融資産及び負債のうち、内部管理及び評価が公正価値に基づいている金融資産及び負債（例えば、ユニットリンク保険契約による資産及び負債）に適用されている。この評価原則は、互いに反対ポジションとなる資産及び負債をポートフォリオベースで管理し評価する際の不整合を回避するためにも適用されている。この損益を通じて資産及び負債を公正価値評価するオプションは、「中央銀行への担保として適格な利付証券」、「一般顧客への貸出金」、「社債及びその他の利付債券」、「株式及び顧客が価格変動リスクを負う資産／負債」として貸借対照表に表示される金融商品にも適用されている。

公正価値で測定される金融商品の公正価値の変動は、損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。当初認識時に損益を通じた公正価値測定に区分された貸出金に関連する利息は「純利息収益」に計上される。

売却可能金融資産

活発な市場はあるがトレーディング目的で保有していない当行グループ保有の金融商品の大部分は、売却可能金融資産に分類される。

売却可能として分類された金融資産は、貸借対照表上公正価値で計上される。これらの資産の市場価値の変動は、「その他包括利益」に計上され、資本の公正価値評価差額準備金に含まれている。公正価値の変動は、資産が処分されるか、又は減損損失が発生するまでは損益計算書に計上されない。この区分に関連する利息は損益計算書の純利息収益に直接計上される。売却可能貨幣性資産に関連する換算レートの影響は「金融取引による純損益」に計上される。売却可能金融資産の減損テストは、減損の兆候がある場合に実施される。セクション9の金融資産に関する減損損失を参照のこと。売却可能株式に対する配当は、継続的に損益計算書の「その他配当収益」に計上される。

金融商品の分類変更

2008年度において、ハンデルスバンケンは利付証券ポートフォリオの一部を分類変更した。IAS第39号の規定においては、特定の金融資産の分類変更のみが例外的な状況でのみ認められている。分類変更は2008年以降行われていない。当該分類変更の影響は注記G38に記載されている。

買戻取引

買戻取引、又はレボ取引は、当事者が特定の証券を売却すること及びこれらの証券を事前に決められた価格で買い戻すことを同時に合意する契約である。レボ取引で売却された証券は、取引の間、引き続き貸借対照表に計上される。また、売却された金融商品は、オフバランスの差し入れ担保として報告されている。受領した代金は、取引相手によって「金融機関からの預り金」又は「一般顧客からの預金及び借入金」として計上される。レボ取引で買入れた証券はこれと対称的な方法で会計処理される。すなわち、これらは当該取引の間は貸借対照表に計上されない。支払った代金は、取引相手によって「中央銀行へのその他の貸出金」、「その他の金融機関への貸出金」又は「一般顧客への貸出金」として計上される。買戻契約に基づき売却されている受入担保は、オフバランスの契約債務として報告されている。

証券貸付

貸し出された証券は引き続き貸借対照表に計上され、またオフバランスの担保資産として報告される。借り入れた証券は、売却される場合を除き貸借対照表に計上されない。売却された場合、売却された商品の公正価値に相当する価値が負債に計上される。第三者に貸与している借入証券は、オフバランスの契約債務として報告されている。

金融保証及び貸出コミットメント

金融保証は、保証の保有者に生じた損失の払戻を保証の発行者に求める契約である。ここで保証の保有者に生じた損失とは、例えば、信用保証のように負債商品の条件に従った所定の支払いを債務者が行わなかったことにより、生じるものである。保証の公正価値は、発行時に受領したプレミアムと同額である。当初認識時において、この保証に対して受領したプレミアムは繰延収益として貸借対照表に計上される。その後この保証は、償却後プレミアム又はその義務が生じた際に債務を決済するための予想費用のいずれか高い方で測定される。さらに、発行した保証に関連する保証金額の合計は、偶発債務としてオフバランス処理される。履行された保証は、状況に応じて発生可能性の高い貸倒損失又は実際の貸倒損失として報告される。

購入した金融保証のプレミアムは、保証される負債性商品の利息が純利息収益に認識されている場合は利息収益の減少として見越計上され、それ以外は「純手数料及びコミッション収益」に計上される。貸出コミットメントはその貸出の決済日までオフバランス項目として報告される。貸出コミットメントに対して受領した手数料は、そのコミットメントの期間にわたり純手数料及びコミッション収益として計上される。但し、そのコミットメントが実行される可能性が高い場合、受領した手数料はその貸出金の実効金利に含められる。

複合金融商品

複合金融商品の資産及び負債の財務構成要素のうち、明らかに分離可能（デリバティブなど）なものは通常、貸借対照表において個別に会計処理される。この例としては、デリバティブがホスト契約から区分されて損益を通じて公正価値で評価されるエクイティ・リンク債及びその他の仕組商品の発行といったものがある。

トレーディング目的で保有される複合金融商品、並びにその金融商品に含まれる様々な構成要素のリスクと経済的な特徴が類似する複合金融商品（金利キャップの付された変動金利貸付といったもの）については区分した会計処理を行わない。発行済み転換可能負債性金融商品の転換オプション部分に固有の価値は、区分されて資本に計上される。資本部分の価値は、転換商品全体の公正価値から負債部分の公正価値を差し引いたものとして発行時に決定される。資本部分の帳簿価額は、転換商品の満期までの間に修正されることはない。負債部分は発行時に貸借対照表上公正価値で認識され、その後、当初の実効金利による償却原価で計上される。

8. 金融資産及び金融負債の公正価値測定の原則

公正価値とは、独立の市場参加者間の秩序ある取引において、資産を売却することで受け取るであろう価格又は負債を移転することで支払うであろう価格と定義される。

活発な市場で取引されている金融商品の公正価値は、市場相場価格と同一である。活発な市場とは、相場価格を規制市場、決済機関、信頼性のある情報サービス又は同等のものから容易にかつ定期的に入手可能であり、受領した価格情報が継続的な取引の発生により検証可能な市場である。一般的に最新の市場価格は、金融資産については最新の買呼値、金融負債については最新の売呼値と同一である。当行がその市場リスクを正味エクスポージャーに基づき管理している金融商品グループの最新の市場価格は、その正味エクスポージャーが処分される場合に受け取るであろう価格又は支払うであろう価格と同一であると仮定されている。

市場価格に関する信頼できる情報がない場合の金融商品の公正価値は、評価モデルを使用して算定されている。使用する評価モデルは、基本的に市場金利や株価等の市場の観察可能な変数を用いて検証可能なインプット・データを基礎としている。必要な場合には、市場関係者が価格設定の際に考慮に入れるであろうことが見込まれるその他の変数の調整も行われている。評価に使用される仮定は、内部で発生した実績に基づいており、継続的にリスク組織によって検査される。その結果は、仮定及び予測モデルの適用が必要かどうかを確認するために実際の結果と比較される。

利付証券

政府が発行する利付証券及びスウェーデンの抵当証券は最新の市場価格を使用して評価される。社債の評価には評価技法を使用し、同じ満期の市場利回りを信用リスク及び流動性リスクで調整したものに基づいて評価する。評価は最新の市場価格が反映されていることを確認するために定期的に検査される。検査は主に、複数の独立した価格提供機関から価格を入手し、同一又は類似商品における最近の取引との調整により実施される。

株式

活発な市場に上場している株式は市場価格で評価される。上場株式を評価する際的评价モデルの選択は、個別の商品に適切と考えられるものに決定される。

非上場証券ポートフォリオは、主に当行の中核事業に関連する種々の共同所有事業で構成されている。このようなポートフォリオは、一般的にその事業の純資産価値に対する当行の持分によって評価されている。契約書において株式の処分価格が規定されている非上場株式については、事前に決定された処分価格で評価される。非上場株式の重要な部分はすべて、売却可能区分に分類されている。したがって、これらの株式ポートフォリオの価値の変動は、その他包括利益に計上されている。

プライベート・エクイティ・ファンドの非上場株式を評価する場合、欧州ベンチャー・キャピタル・アンド・プライベート・エクイティ・アソシエーション (EVCA) で採用された評価原則が使用される。これらのモデルにおいては、同じセクターの比較可能な上場会社との比較評価から投資の市場価値を算出している。投資及び比較会社との間の比較を妨げる損益項目については調整が行われ、投資の価値はP/E及び EV/EBITA等の収益率を基礎として算定される。保険事業における投資資産の一部を構成するプライベート・エクイティ・ファンドに対する持分の価値変動及びキャピタルゲインは、損益計算書に直接に計上されず、保険事業における利回り格差の計算基礎に含められる。詳細については、セクション12を参照のこと。

デリバティブ

活発な市場で取引されているデリバティブは、市場価格で評価される。当行グループの金利スワップや多くの種類の定型的な通貨デリバティブを含むデリバティブ契約の大部分は、市場金利及びその他の市場価格を基礎とする評価モデルを使用して評価される。活発に取引されていない非定型的なデリバティブ契約の評価もまた、ボラティリティ等の市場に基づくインプット・データに関する合理的な仮定を基礎としている。

デリバティブのモデル評価を行う際には、場合によって取引価格と当初認識時に評価モデルによって測定された価値との間に差額が存在することもある。両者の差額は、デリバティブの価値に影響を及ぼすすべての要素が適用した評価モデルに完全に織り込まれていない場合に発生する。取引価格と評価モデルによって測定された価値との正の差額（取引日利益）によって発生した重要な未実現利益は、当初認識時には損益に認識されず、デリバティブの契約期間にわたって償却される。また、当行は、モデル評価を行っている未決済のデリバティブのすべての信用リスク要素（自己の信用リスク及びカウンターパーティ・リスク）を独自に評価してい

る。信用リスクの変化による公正価値の変動は、その全体の影響額が未認識の取引日利益を上回る部分についてのみ、損益に認識されている。

公正価値で評価する貸出金

損益を通じて公正価値で評価する貸出金は、期待将来キャッシュ・フローの現在価値で評価される。計算を行う際には、市場金利に信用リスクの調整を行う。信用リスク・プレミアムは、取引相手の返済能力が著しく悪化したという証拠がない限り、当初マージンと同一であると仮定されている。返済能力に関する情報は、当行の内部格付システムから入手している。貸出金の公正価値の変動は、「金融取引による純損益」に計上されている。

顧客が価値変動リスクを負う資産及び負債

顧客が価値変動リスクを負う資産は、主に当行グループに連結されているユニットリンク保険契約及びミューチュアル・ファンドの持分である。これらの持分はファンドの最新の市場価値（NAV）を使用して評価される。各資産は顧客が価値変動リスクを負う負債に対応している。これら負債の評価は資産の評価を反映している。保険契約者／持分保有者は資産に対する優先権を有しているため、その評価に信用リスクについての調整を行う必要はない。

9. 貸倒損失及び金融資産の減損

償却原価で計上される貸出金及び債権

顧客と与信に関する責任を有するハンデルスバンケン・グループのすべてのユニットは、償却原価で計上される貸出金及び債権の減損損失の認識の必要性について定期的に個別評価を実施する。減損テストは貸出金の回収可能額が帳簿価額を下回ることが客観的に示されている場合に実施される。客観的な証拠とは、状況に応じて、支払遅延又は不払、格付の変更、並びに担保の市場価格の下落などがある。

減損テストを実施する際の貸出金の回収可能価値は、その貸出金に関連する見積将来キャッシュ・フロー及び担保（保証を含む）を貸出金の実効金利で割り引くことで算定される。担保が上場資産の場合、担保の評価は相場価格に基づく。それ以外の場合、評価は収益価値又はその他の方法で見積もられた市場価値に基づく。不動産抵当形式の担保は担保権実行不動産と同じ方法で評価される。見積回収可能価値が帳簿価格を下回る場合には減損損失が認識されるが、これは「貸倒損失」として損益計算書に計上される。報告された貸倒損失は、貸借対照表において貸出金の帳簿価格から控除しているが、直接控除（実際の損失）又は貸倒引当金勘定（予想損失）のいずれかにより控除されている。

貸出金の個別評価に加えて、個別貸出金にまだ配分可能でない減損損失を認識する必要性を特定するために、集合的評価が実施される。この分析は、個別評価された貸出金のリスクの分布に基づいている。減損損失はリスク区分と予想損失の変動を考慮して、これが妥当と判断された場合に認識される。貸出金グループに対して認識された減損損失は、個別レベルでの価値の減損に関する情報を入手後、直ちに個別貸出金の減損損失に振替えられる。グループでの減損テストは、類似するリスク・プロファイルの少額貸出金のグループに対しても実施される。

当期の貸倒損失は信用供与における実際の損失及び予想損失から、予想貸倒損失として過去に認識した減損損失の回収及び戻入を差し引いたもので構成されている。実際の貸倒損失は貸出金全体または一部にかかることがあり、実質的に回収可能性がなくなった場合に認識される。貸出金の全体若しくは、一部は、例えば、破産管財人により破産配当金が見積られた場合、債務整理計画が承認された場合又はその他の方法で猶予が与えられる場合が該当する。債務再編により返済を免除された貸出金又は貸出金グループは、常に実際の損失に区分される。実際の損失に区分した後も顧客が貸出金の返済計画に従っている場合、損失額は新たなテスト対

象となる。回収は過去に実際の貸倒損失として報告されたものの戻入額で構成されている。予想損失及び実際の損失に関する情報については注記G10に記載されている。

支払いまでの期間が短くなることで割引効果が減少するため、過去に引き当てられた金額の戻入れが発生するが、このような金利効果は、実効金利法により利息収益に計上される。

減損貸出金に関する開示

減損貸出金に関する情報は、予想貸倒損失引当金控除前の総額及び予想貸倒損失引当金控除後の純額の双方で開示されている。貸出金は契約上のキャッシュ・フローの一部が履行されない可能性が高い場合、減損していると定義される。貸出金の一部が担保でカバーされている場合でも貸出金の総額が減損貸出金として計上されている。実際の貸倒損失により償却された貸出金は減損貸出金に含まれていない。

債権の保全のために担保権が実行された不動産及び器具備品の評価

担保権が実行された不動産及び器具備品は当初認識時に公正価値で貸借対照表に計上される。担保権が実行された不動産及び器具備品のうち、近い将来に処分が予想されるもの（担保権が実行されたリース資産を含む）は、帳簿価格又は公正価値（売却費用控除後）のいずれか低い方で評価される。近い将来に処分される見込みのないものについては、損益を通じて公正価値で評価される投資不動産として計上される。債権の保全のために譲り受けた非上場株式は売却可能金融資産として計上される。

売却可能金融資産の減損損失

売却可能金融資産の減損損失は、その資産の予想将来キャッシュ・フローに影響する、ひとつ以上の債務不履行事由が発生したという客観的な証拠がある場合に認識される。利付金融資産の場合、減損損失の兆候を示す債務不履行事由の例として、将来の倒産の可能性、発行体における重大な財政難の証跡、又は資産が取引されている市場における恒久的な価値の変動の証跡がある。資本性商品の場合、公正価値の恒久的又は重大な下落は、減損損失の認識が必要となる兆候のひとつである。減損損失を認識する場合、過去に資本の公正価値評価差額準備金に認識された累積損失部分は損益計算書に計上される。

売却可能金融資産に分類される利付証券について、減損損失の認識後に資産の公正価値が増加し、その増加が減損損失の認識後に発生した事象と客観的に関連づけられる場合、以前に認識された減損損失は損益計算書を通して戻入れられる。売却可能金融商品に分類された資本性商品における過去の減損損失は戻入れられることはない。

10. ヘッジ会計

当行グループはヘッジ会計について、ヘッジ目的に応じて異なる方法を採用している。デリバティブ（主に金利スワップ及びクロスカレンシー金利スワップ）がヘッジ手段として用いられているが、さらに、在外営業活動体への純投資に関する為替リスクをヘッジする場合には、対象となる在外営業活動体の機能通貨による負債がヘッジ手段として用いられている。当行グループのヘッジ戦略のひとつとして、ヘッジ手段の価値変動は、個別の構成要素に分割され複数のヘッジ関係に含まれることがある。したがって、ひとつ、又は同じヘッジ手段が異なるリスクをヘッジすることができる。ヘッジ手段の分割は、ヘッジされるリスクを明確に特定することが可能なこと、その効果を信頼性をもって測定することが可能なこと、及びヘッジ手段の価値変動合計がいかなるヘッジ関係にも含まれている場合に限り行われる。

公正価値ヘッジは、報告済資産又は負債の市場価格が変動することにより、損益に生ずる望ましくない影響から当行グループを保護するために使用される。公正価値ヘッジのヘッジ対象におけるリスクは、固定金利による貸出金並びに資金調達にかかる金利及び為替リスクで構成されている。これらのヘッジ関係におけるヘッ

ジ手段は、金利スワップ及びクロスカレンシー金利スワップで構成される。公正価値ヘッジの場合、ヘッジ手段及びヘッジ対象リスクの両方が公正価値で認識され、価値の変動は損益計算書の「金融取引による純損益」に直接計上される。公正価値ヘッジが途中で中止された場合、ヘッジ対象に生じた価値変動は償却され、「金融取引による純損益」に計上される。

公正価値ヘッジは個別資産及び負債並びに金融商品ポートフォリオで採用されている。ポートフォリオ・ヘッジにおけるヘッジ対象は、当初の固定金利又は金利キャップにより3ヶ月固定されている貸出金の金利リスクである。これらのポートフォリオ・ヘッジに対するヘッジ手段は金利スワップ及び金利オプション（キャップ）である。公正価値評価されるポートフォリオ・ヘッジにおいて、ヘッジ対象リスクにさらされているポートフォリオの価値の一部は市場価値で測定される。ヘッジ対象ポートフォリオにおけるヘッジ対象項目の価値は、「一般顧客への貸出金」とは区別して貸借対照表に計上される。途中で中止されたポートフォリオ・ヘッジに係る価値変動の累積額は、貸借対照表上「その他資産」に計上され、そのポートフォリオの満期までの残存期間にわたって償却され、「金融取引による純損益」に計上される。

キャッシュフロー・ヘッジは貸出金及び資金調達の変動金利に関連する金利変動によるキャッシュ・フローの変動に対するエクスポージャーを管理するために採用される。このタイプの貸出金及び資金調達の予想満期は、非常に短期である金利固定期間よりも、通常は長期となる。キャッシュフロー・ヘッジは、貸付及び資金調達の将来キャッシュ・フローにおける為替リスクのヘッジにも用いられる。グループ内の貨幣性項目から生じる為替リスクも、連結の際に全額相殺消去されない為替エクスポージャーをもたらし場合には、キャッシュフロー・ヘッジの対象となる。キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段であるデリバティブは公正価値で測定される。そのデリバティブの価値変動が効果的に、すなわちヘッジ対象の将来キャッシュ・フローと連動する場合、そのデリバティブの価値変動はその他包括利益の構成要素、及び資本のヘッジ準備金に計上される。そのデリバティブの価値変動のうち非有効部分は、「金融取引による純損益」として損益計算書に計上される。

海外ユニットにおける純投資ヘッジは、海外事業の為替レートの変動から当行グループを保護するために採用されている。クロスカレンシー金利スワップ及び外貨建借入金ヘッジ手段として用いられている。これらのヘッジにおけるヘッジ対象は直接投資の形式による純投資及び予見可能な将来に決済することが予定されていない海外事業に対する債権で構成されている。在外営業活動体における純投資をヘッジするために実施された外貨建借入金は、貸借対照表日の為替レートで当行グループ貸借対照表に計上される。このような借入金の為替差額の有効部分は「その他包括利益」の構成要素として計上され、かつ、資本の為替換算調整準備金に計上される。海外事業における債権の為替リスクをヘッジするクロスカレンシー金利スワップの価値変動の有効部分は同様の方法で計上される。在外営業活動体における純投資のヘッジの非有効部分は損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。

11. リース

当行グループのリースはファイナンスリース、又はオペレーティング・リースのいずれかである。ファイナンスリースは、リース資産の法的所有権に付随する実質的にすべてのリスク及び経済的価値を貸し手から借り手に移転するものである。その他のリースはオペレーティング・リースである。当行グループが貸し手であるすべてのリースはファイナンスリースに分類されている。この種類のリース契約は、契約当初の純投資相当額で貸借対照表に貸出金として計上される。受取リース料は継続的に利息収益/元本の返済として認識される。ファイナンスリース契約の減損テストは償却原価で報告されるその他の貸付と同じ原則で実施される。

オペレーティング・リース契約は、貸借対照表に計上されていない。当行グループが借り手であるオペレーティング・リースに関連する費用は、定額法によりその他費用として計上される。

12. 保険事業

当行グループの保険事業は、子会社のハンデルスバンケン・リヴ・プロダクツを通して運営されている。ハンデルスバンケン・リヴ・プロダクツの商品は、主に従来型生命保険の形式による法定生命保険、ユニットリンク保険並びに健康保険及び保険料払込免除特約の形式によるリスク保険で構成される。

保険契約の分類及びアンバンドリング

重要な保険リスクを含む契約は、連結財務諸表において保険契約として分類される。重要な保険リスクを移転しない契約は、全体を投資契約に分類する。通常、払戻保証が付された保険契約が投資契約に分類され、それ以外の契約は保険契約に分類される。保険要素と貯蓄（金融要素）の両方で構成される保険契約は、以下に記述する原則に従ってアンバンドリングされ、個別に認識される。

保険契約における保険要素の会計処理

保険契約に関する保険料収入及び支払保険金は損益計算書の「保険リスク」の項目に純額で計上される。当行グループの保険負債における変動もまたこの項目に計上される。

収入としてまだ認識されていない受取保険料は、払込済保険料として貸借対照表の保険負債に計上される。貸借対照表の保険負債項目には、疾病年金、終身年金、及びその他の未払保険負債も含まれている。保険負債は保険契約に関する予想将来キャッシュ・フローを割り引くことで評価される。評価は金利、死亡率、疾病率及び将来の費用に関する仮定に基づく。死亡率に関する仮定は契約時期によって様々であり、また予想される将来の余命の延びを考慮している。手数料に関する仮定もまた契約時期による。基本的に、これは保険料に比例し、一部の手数料は保険契約準備金に比例する。被保険者の将来の健康状態に関して採用される仮定は内部で入手した実績に基づいており、商品に応じて様々である。金利の仮定は負債の期間に応じた現行の市場金利に基づいている。将来の予想保険金をカバーする保険負債の報告値が十分であることを確認するため、当行グループは、少なくとも年次で保険負債の定期レビューを実施している。必要な場合には準備金が追加され、差額は損益計算書に計上される。

投資契約及び保険契約の金融要素の会計処理

投資契約における顧客の貯蓄元本及び保険契約の金融要素に関する払込及び払戻は、預り金及び引出金として貸借対照表に直接計上される。

保険契約から分離される従来型生命保険契約の金融要素は、貸借対照表に一般顧客からの借入金として認識される。これらの負債は保証額と保険契約の現在価値のいずれか高い方で評価される。保証額は保証金利による利息額だけ増加するが、これは保険契約の償却原価に相当する。保険契約の現価は保険契約者に代わって運用する資産価値と同一であり、その資産の総利回り（利回り分割分を控除する）に基づく利息を稼得する。利回り分割は、暦年中に総利回りが保証金利を超過する場合に、総利回りのうちの契約で定める部分が保険会社に配賦されることを意味する。この算定は年次で実施され、各契約毎に累積する。これは、各年度の利回りが保証金利を下回る年度において条件付き配当が減少することを意味し、保証金利を上回る年度においては条件付き配当が増加することを意味する。利回り分割モデルにおいて当行グループの稼得分は「手数料及びコミッション収益」に計上される。利回りが契約上の保証金利を下回る場合は、差異部分を損益計算書の「金融取引による純損益」に計上する。

ユニットリンク保険契約の資産及び負債は、貸借対照表の「顧客が価値変動リスクを負う資産及び負債」に公正価値で計上される。

保険手数料並びに投資契約及び保険契約の金融要素に関する管理費用は、「手数料及びコミッション収益」として損益計算書に計上される。取得費用は損益計算書に直接計上される。

再保険

当行グループの保険負債の再保険者分担部分は、貸借対照表の「再保険資産」として計上される。

13. 無形資産

貸借対照表における認識

無形資産は、物理的実体のない識別可能な非貨幣性資産である。無形資産はその資産に起因する経済的便益が当行グループに流入する可能性が高く、その取得原価を信頼性をもって測定できる場合に限り貸借対照表に計上される。これは、自己創設されたのれん、商標、顧客データベース及びこれに類似するものの価値は資産として貸借対照表に認識されないことを意味する。

当行が開発するソフトウェアへの投資のうち、既存の事業運営又はソフトウェアの維持費用の範囲とされるものについては発生基準で費用計上している。ソフトウェアの新規開発、又は新規事業のための既存ソフトウェアの開発の場合、信頼性をもって測定可能な経済的便益の発生可能性が高くなった時点から発生した費用を資産計上する。借入に関する費用は、無形資産の開発費用を資産計上するように決定した日から資産計上される。

企業結合の会計処理に際し、取得価格は取得事業において取得した識別可能無形資産、負債、及び偶発債務の価値に配分される。これらの資産には、個別に取得した場合、又は自己創設された場合には貸借対照表に計上されない無形資産も含まれることがある。企業結合において識別可能資産及び負債に配分が出来ない取得価格はのれんとして認識される。

のれん及び耐用年数を確定出来ない無形資産

のれん及びその他の耐用年数を確定出来ない無形資産は、予想減損損失控除後の取得原価で計上される。これらの資産は年次報告書作成時に年次で、又は資産に減損の兆候がある場合にはその都度、減損テストが実施される。減損テストは、その資産の回収可能額（すなわち、使用価値と売却費用控除後の公正価値のいずれか高い方）を算定することにより実施される。回収可能額が帳簿価額を超過する限り減損損失を認識する必要はない。減損損失は損益計算書に直接計上される。

のれんから発生するキャッシュ・フローを、その他の資産から発生するキャッシュ・フローから区別することが不可能なため、のれんの減損テストは資金生成単位レベルで行われる。資金生成単位とは、他の資産又は資産グループからのキャッシュ・インフローとはおおむね独立したキャッシュ・インフローを生成させるものとして識別される資産グループの最小単位である。資金生成単位よりも小さな単位で内部的に把握されているのれんについては、そのより小さな単位で減損テストが行われるが、事業セグメント単位よりも小さな単位で行われることはない。のれんの減損テストにおける重要な評価及び仮定は、注記G23に記載されている。過去に認識されたのれんの減損は戻入れない。

確定可能な耐用年数を有する無形資産

見積耐用年数の設定が可能な無形資産は償却され、その資産の耐用年数にわたって定額法で償却される。すなわち、現行では、顧客契約は20年間にわたって償却されており、自社開発ソフトウェアは通常5年間にわたって償却されている。特定のインフラ整備プロジェクトでは、その耐用年数は最長で15年と評価される。したがって、このような場合の償却期間は最長で15年と設定されている。償却の対象となる商標は、5年間にわたって償却されている。償却期間は新規取得時において個別に検証されるが、耐用年数が変化した可能性があることを示す兆候がある場合にも継続的に検証が行われる。確定可能な耐用年数を有する無形資産は、資産の減損

が示唆される場合に減損テストが行われる。減損テストは耐用年数が確定できない無形資産と同様の原則、すなわち資産の回収可能額を算定することにより実施される。

14. 不動産及び器具備品

当行グループの有形固定資産は不動産及び器具備品で構成される。保険事業における投資資産に含まれる不動産及び債権の保全のために担保権が実行された資産を除き、これらの資産は減価償却累計額及び減損損失控除後の取得原価で計上される。

減価償却は通常、資産の見積耐用年数に基づく定額法が適用されている。見積耐用年数は年次でテストされる。見積耐用年数が異なる構成要素から成る有形資産は、償却方法の異なる区分に分割され、別個に償却される。そのような構成要素の償却は通常、不動産への適用に限定される。その資産の構成要素の取得原価が、不動産の取得原価合計に対して重要である場合に限り、分割して償却される。当該不動産の残余部分（建造物）はその全体を予想耐用年数で償却する。現行では、建造物の耐用年数は100年、排水設備は35年、屋根は30年、間口、暖房、換気及び配電設備は25年、エレベーターは20年、建物附属設備は10年である。パーソナル・コンピュータ及びその他のIT機器は通常3年間にわたり償却される。また、銀行の金庫室及び類似する建物附属設備への投資は10年間にわたり償却される。その他の機器は通常5年間で償却される。

不動産及び器具備品の減損テストは、資産価値の減少の兆候がある場合に実施される。減損損失は回収可能額が帳簿価額を下回る場合に認識される。減損損失は損益計算書に直ちに計上される。減損費用は、減損損失がもはや存在せず、前提となる見積回収可能額の仮定に変化があったことが示される場合に戻入れられる。

15. 引当金

引当金は、当行グループから認識済み資源が流出すると予想されるものの、その時期又は金額が不確実なもので構成されている。引当金は、過去の事象の結果として当行グループが法的又は推定的債務を有しており、その債務を決済するため資源の流出が必要になる可能性が高い場合に報告される。認識にあたり、その金額を信頼性をもって見積もることが可能でなければならない。引当金として認識された金額は、貸借対照表日においてその債務を決済するために必要な支出の最善の見積りに相当するものである。見積りにおいては予想される決済日も考慮されている。

16. 資本

資本には、以下の構成要素が含まれている。

資本剰余金

資本剰余金は発行済み転換社債のオプション部分並びに株式発行及び転換負債証券の転換において調整額面金額を超過する金額が含まれている。

ヘッジ準備金

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段で構成されるデリバティブ商品の未実現の価値変動はヘッジ準備金に含まれている。

公正価値評価差額準備金

公正価値評価差額準備金は売却可能に分類された金融資産の未実現の価値変動より構成される。

為替換算調整準備金

為替換算調整準備金は在外事業体の業績を連結財務諸表の通貨に換算することによって生じた未実現の外貨換算による影響で構成される。

確定給付年金制度

確定給付年金制度は、年金債務の数理計算上の差異及び制度資産の計算上の収益を上回る運用収益より構成されている。

利益剰余金

利益剰余金には当期及び過年度の利益が含まれている。配当及び自己株式の再取得は「利益剰余金」の控除として報告される。

少数株主持分

少数株主持分は、当行グループの純資産のうち、親会社の普通株式保有者に直接又は間接的に所有されていない部分で構成される。少数株主持分は、資本における個別の構成要素として計上される。

自己株式の会計処理

買戻した自己株式は、資産として計上されないが、資本の「利益剰余金」と相殺される。

17. 収益

収益は、将来の経済的便益を得る可能性が高く、これらの便益が信頼性をもって測定可能な場合に損益計算書に計上される。以下の一般原則が様々な種類の手数料及び請求の収益認識に適用される。

- ・ 例えば資産管理における管理手数料など、サービスを履行する都度、段階的に稼得した手数料は、これらのサービスが提供されるレートで損益計算書に計上される。実務上、これらは定額基準で認識される。
- ・ 特定のサービス又は行為に起因する手数料は、サービスの履行時に収益に認識される。こういった手数料の例としては仲介料及び支払コミッションがある。
- ・ 実効金利法に従った償却原価で商品が評価されるような場合、手数料は金融商品の実効金利を構成する一部として計上される。公正価値で評価される金融商品については、そのような手数料は損益計算書に直ちに計上される。

純利息収益

利息収益及び利息費用は、損益計算書の「純利息収益」に計上される。但し、トレーディング目的で保有する金融商品からの利息を除く。純利息収益にはまた、ヘッジ対象の金利が「純利息収益」に計上されるデリバティブ商品からの利息も含まれる。利息収益及び利息費用に加えて、純利息収益には預金保証及び安定手数料といった政府保証料が含まれる。

トレーディング目的で保有する金融資産及び金融負債からの利息を除いた純利息収益の金額を計算するため、及びトレーディング活動における全体像を把握するために、トレーディング目的で保有する金融資産及び金融負債に関連するすべての利息収益及び利息費用は「金融取引による純損益」に計上される。

純手数料及びコミッション収益

様々な種類のサービスからの収益及び費用は、損益計算書の「手数料及びコミッション収益」並びに「手数料及びコミッション費用」にそれぞれ計上される。これは仲介収益及び様々な種類の管理手数料がコミッショ

ンとして認識されることを意味する。コミッションとして認識されるその他の形式の収益は、受取コミッション及びカード手数料、金融保証の発行で提示されるプレミアム、並びに保険事業からのコミッションである。保険事業における正の利回り分割分もまた、コミッションとして認識される。利息に相当する保証コミッション、及び複合金融商品の一部に対する手数料として実効金利の計算に含められるものは、コミッションではなく利息収益として認識される。

金融取引による純損益

金融取引による純損益には、金融資産及び金融負債を損益計算書を通して公正価値で測定する際、並びに金融資産及び金融負債が処分又は決済された際に発生する、損益に影響するすべての項目が含まれる。特にここで報告される項目には以下のものがある。

- ・ 金融資産及び金融負債の処分並びに決済によるキャピタルゲイン及びロス
- ・ 当初認識時に損益を通じて公正価値で評価される資産に分類された資産及び負債の未実現の価値変動。但し、価値変動が利息として認識された構成要素を除く。
- ・ トレーディング目的保有に分類された金融資産及び金融負債の実現及び未実現の価値変動
- ・ トレーディング目的保有の金融商品からの利息。但し金融商品をヘッジするデリバティブからの利息であって純利息収入に報告されるものを除く。
- ・ トレーディング目的保有の金融資産における配当金収益
- ・ 公正価値ヘッジにおけるヘッジ対象リスクに係るヘッジ対象資産及び負債に関する公正価値の未実現の変動、及び満期前に終了したヘッジの未実現の価値変動の償却
- ・ 公正価値ヘッジのヘッジ手段となるデリバティブに関する未実現の価値変動
- ・ キャッシュフロー・ヘッジのヘッジ手段及び在外営業活動体への純投資のヘッジ手段となるヘッジ手段の価値変動の非有効部分
- ・ 保険事業における負の利回り分割、すなわち、保険事業における金融資産の利回りが保証金利を下回ることから発生する損失

受取配当金

売却可能に分類された株式の配当金は、「その他配当金収益」として損益計算書に計上されている。トレーディング目的で保有する金融資産に分類された株式の配当金は、損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。関連会社株式の配当金は損益計算書の配当金項目に含まれない。関連会社の持分利益の会計処理はセクション3に記載されている。

18. 従業員給付

人件費

人件費には給与、年金費用及び社会保障費、年金費用にかかる特別給与税を含むその他の形式の直接人件費、並びに給与関連のその他の形式の間接費が含まれている。解雇に関連する給付は、合意に達した時に負債として認識され、残存雇用期間にわたって償却される。

退職給付会計

退職後給付は、確定拠出制度及び確定給付制度で構成されている。当行グループが別の事業体に固定額の拠出を支払うことで、その後に当該事業体が従業員に対する義務を履行するための十分な資産を保有していなかった場合でも、当行グループが追加拠出の支払義務を法的及び推定的に負わない給付制度は確定拠出制度と

して会計処理される。確定拠出制度に支払われる保険料は、発生主義に基づき損益計算書の「人件費」に計上される。

その他の退職後給付制度は、確定給付制度として会計処理される。

確定給付制度の未払給付金は、給与及び雇用期間に基づいており、雇用主が年金支払義務の履行に係るすべての重要なリスクを負担することを意味する。確定給付制度の大部分について、当行グループは制度資産を個別の年金基金及び年金ファンドで保有している。確定給付制度について、制度資産から確定給付年金債務を控除した金額が貸借対照表における負債として純額で計上されている。年金債務に係る数理計算上の差異及び制度資産の計算上の収益を上回る運用収益は、その他包括利益に計上されている。

確定給付制度について認識された年金費用は、以下の項目の純額であり、「人件費」に含まれている。

- + 当年度に発生した年金の権利、すなわち、計算された年金額の最終合計のうちの当期部分。未払年金権利の計算は、見積最終給与に基づいており、年金数理計算上の仮定の対象となっている。
- + 支給までの期間が減少し年金債務の現在価値が当期において増加したことにより発生した当期利息費用。当期の利息費用の計算に適用される金利は、年金債務の支払までの残存期間に相当する満期を有する社債の最新の金利（年度当初の金利）である。
- 制度資産の見積利回り（利息収益）。制度資産の利息収益は、当期の利息費用を算定する際に用いるのと同じ金利を用いて損益に計上される。
- + 見積特別給与税は、該当する年金費用と同じ原則で未払い計上される。

当行グループの確定給付制度の費用及び債務の算定は、報告値に重要な影響を及ぼす可能性のあるいくつかの評価及び仮定に左右される。これらの仮定及び評価の詳細な記述はセクション20及び注記G8に示されている。

19. 税金

当期の税金費用は当期税金及び繰延税金で構成される。当期税金は当期の課税所得に関する税金を示す。繰延税金は資産又は負債の帳簿価額とその税務上の価額との間の一時差異に関する税金である。繰延税金はその項目が実現する時に適用するとみなされる税率で評価される。将来減算一時差異及び繰越欠損金にかかる繰延税金資産は、これらが利用される可能性が高い場合に限り認識されるが、繰延税金負債は計算額で計上される。税金費用は関連する取引が報告される項目により損益計算書、その他包括利益又は資本に直接計上される。

20. 見積り及び主な仮定

一部のケースにおいては、報告値に重要な影響を及ぼす当行グループの会計方針の適用について評価が必要とされる。報告値はまた、多くのケースにおいて将来に関する仮定の影響を受ける。このような仮定には、資産及び負債の報告値が調整されるリスクが常に含まれている。適用される評価及び仮定は常に経営陣の最善及び最良の評価を反映し、継続的に検査及び検証の対象となる。以下は財務諸表に重要な影響を与えた評価及び仮定を記載したものである。主要な仮定にかかる情報は、関連する注記にも記載されている。

確定給付制度の年金数理計算

当行グループの費用及び確定給付債務の計算は、認識額に重要な影響を及ぼすいくつかの数理的、統計的及び財務的な仮定に基づいている。注記G8には当期の債務の計算に使用された仮定のリストが含まれている。スウェーデン従業員の確定給付年金債務の計算は、市場で一般的に認められた死亡率の仮定であるDUS14に基づいている。DUS14はスウェーデン保険連盟により作成された統計に基づく仮定である。将来の昇給率及びインフレーションの仮定は長期予測トレンドに基づいている。割引率は、優良社債に基づいているが、住宅ローン担

保付カード・ボンドは、社債とみなしている。割引率の選定に当たって考慮する残存期間は、年金の支給残存期間と同じである。

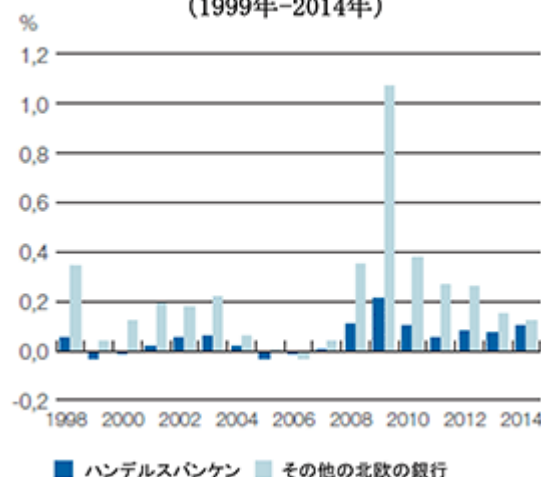
注記G8では、当行グループの確定給付年金債務のすべての主要な数理計算上の仮定に対する感応度分析を提供している。この分析は、これらの仮定に合理的に起こり得る変化によって年金債務がどのような影響を受けるかを示している。

貸出金及び債権に対する減損損失の認識の必要性に関する評価

当行グループの貸出金の価値は、貸出金別に定期的及び個別にテストされる。必要な場合には、貸出金は回収可能評価額まで評価減される。この見積回収可能額はカウンターパーティの財務的な返済能力の評価及び担保の実現可能価値の仮定に基づいている。最終的な結果は当初の貸倒引当金とは異なることがある。使用される評価及び仮定は内部の与信組織の定期的な検査の対象となる。内部リスク管理及び当行の信用リスク管理の詳細については注記G2も参照のこと。

[次へ](#)

注記G2 リスク及び資本管理

貸付における貸倒損失の割合
(1999年-2014年)

* 2000年までの期間についてはスウェーデンの銀行のみが含まれている。

ハンデルスバンケンの
リスク

説明

信用リスク	信用リスクとは、当行の取引相手が契約上の義務を履行することができないために当行が経済的損失に直面するリスクである。
市場リスク	市場リスクは、金融市場の価格及びボラティリティの変動によって生じる。市場リスクは、金利リスク、株価リスク、為替リスク及びコモディティ価格リスクに分類される。
流動性リスク	流動性リスクとは、支払期限が到来した際に、法外な費用又は損失を被らなければ、当行が支払い義務を履行することができないリスクである。
オペレーショナル・リスク	オペレーショナル・リスクとは、不適切な若しくは欠陥のある内部プロセス、人為的ミス、誤ったシステム、又は外部事象による損失リスクである。オペレーショナル・リスクの定義には、法的リスクも含まれている。
保険リスク	保険の業績におけるリスクであり、被保険者の死亡率又は健康状態によって変わる。
不動産リスク	当行が保有している不動産の価格変動リスクである。
事業リスク	上述のリスク・カテゴリーに属さない損益の予期せぬ変動リスクである。
報酬リスク	報酬リスクとは、報酬制度によって生じる損失又はその他の損害によるリスクである。
コンプライアンス・リスク	コンプライアンス・リスクとは、当行が法令、規制及び内部規則、又は認められている事業慣行若しくは基準を遵守しないリスクである。

ハンデルスバンケンは、十分に検証された事業モデルに基づいて事業を行っており、当該モデルは40年超にわたって変更されていない。この事業モデルによって、当行は非常に低いリスク許容度を維持している。このため、当行は長期にわたり非常に安定した収益水準を維持しており、40年超にわたって財務目標を達成し続けている。当行は、支店業務における信用リスクに焦点を当てており、事業モデルに基づき、非常に限定的なり

スク審査基準に則した信用リスクのみを取り扱っている。当行は、市場リスク及び流動性リスク等、可能な限り、その他すべてのリスクについても限定することを目標としている。過去数十年間にわたり、当行の貸倒実績率は、他の北欧の銀行の平均よりも著しく低い水準にあった。当行は、個別の与信案件が損失に結び付くことがないようにすることを常に目標として定めている。支店の与信業務及び与信ポートフォリオの取扱いは、このアプローチに従って、すべて決定されている。

流動性準備金を計上し、資金繰りを調整することによって、当行は長期にわたり流動性リスクを制限することに取り組んできた。流動性リスクを制限することはまた、当行の低水準のリスク許容度による当然の結果でもあり、新たな流動性規制が策定される前に取り組み始めたことでもある。ハンデルスバンケンは、資金調達に関して中央銀行または公的機関から支援を受けることなく、単独で完全な管理を行っているスウェーデンで唯一の銀行であり、最近の金融危機も1990年代初頭の危機も乗り越えてきた。

ハンデルスバンケンの市場リスクはまた、過去数年間ですでに低い水準にあったが、さらに現在は非常に低い水準にまで低減されている。また、この取組みは長期にわたって継続しており、金融危機が発生するよりも前、かつ、規制によって、市場リスクに対して今日と同様の重要性が置かれようになる前から始まったことである。

ハンデルスバンケンの目標は、景気の動向にかかわらず、国内市場の同業他社の平均よりも高い収益性を維持し、当行が健全かつ安定的な価値の成長を実現することにある。高い収益性は、低い資金調達コストと低い貸倒損失率を前提としている。リスク管理が十分に機能していることが、ハンデルスバンケンの事業モデルが長年にわたり金融危機や景気後退期においても毀損していないという事実に寄与しており、外部のストレス要因に非常に強い耐性があることを裏付けている。

ハンデルスバンケンのリスクに対する厳格なアプローチを適用することによって、当行は、リスクの高い取引について、たとえその取引時の報酬が高い場合であっても、慎重にその取引を回避することができる。当行の低いリスク許容度は、厳格なリスク管理カルチャーを通じて維持されているが、それは、長期的に持続可能であって、かつ当行グループのすべての分野に適用されている。そのリスク管理カルチャーは、当行の業務に不可欠な要素であり、当行の従業員に深く根付いているものである。当行は、事業活動における各部門がそれぞれの事業及びリスク管理の全責任を負うという明確な責任分担を特徴としている。結果として、高いリスク認識及び慎重な業務姿勢を促す強いインセンティブが働いている。低いリスク許容度はまた、報酬の観点にも反映されている。報酬の主な原則は、ハンデルスバンケンの事業モデルの主要な特徴である、長期的な見通しに寄与するため、報酬は固定的でなければならないというものである。当行のリスク量を定める事業上の意思決定を行う権限を有する従業員は、変動要素のない固定報酬のみを受け取ることができる。

貸付業務においては、現場が深く関与することで生まれる緊密な顧客関係により、信用リスクを低水準に抑えることができている。当行の業務における市場リスクは、一部には、顧客の投資及びリスク管理ニーズに応えるため、及び当行の資金調達に関連して、また、株式の長期保有及び年金制度においてのみ負担している。この結果の一つとして、当行の損益のうち、金融取引による純損益の占める割合が大幅に少なくなっている。当行の流動性に関しては計画的に管理されており、金融市場に混乱が起きた場合においても事業が制限されないようになっている。

また、このリスクに対する厳格なアプローチにより、当行は、景気の動向及び市況にかかわらず、顧客にとって安定的かつ長期的なビジネス・パートナーになることができる。このアプローチによって、リスク管理が健全なものとなり、事業及び当行が事業を行っている市場が逼迫した場合でも、高水準のサービスを維持することができる。当行のリスクに対するアプローチと同じ原則が、当行が事業を行っているすべての国に適用されており、当行の継続的な国際事業の拡大における指針となっている。

2007年に金融市場の混乱が始まって以来、ハンデルスバンケンは、当行にとって重要なすべての通貨市場において良好な流動性へのアクセスを保持してきた。当行は、投資家基盤を拡大し、カバード・ボンド及びシニ

ア債の発行による資金調達プログラムの案件数を伸ばしてきた。現行の市場環境においてこのような運営が可能であったという事実は、当行のリスクへの取組み及び事業モデルに対して市場から信頼を受けていたことを明確に示している。当行は、短期及び長期の資金調達プログラムを通じて、引き続き金融市場へのアクセスを保持している。当行の流動性準備金の一部である中央財務部門の流動性ポートフォリオは、ローリスク・プロファイルであり、主として国債及びカバード・ボンドより構成されている。当年度末現在、当行の流動性準備金は800十億スウェーデン・クローネを超えており、金融市場の混乱の可能性に対して高水準の予防策を提供している。流動性準備金のうち、中央銀行及び銀行に対する残高（中央銀行への担保として適格な証券を含む）は、648十億スウェーデン・クローネであった。残りは主にスタッドフィポテックの発行済カバード・ボンドの未使用額であった。流動性準備金は当行にとって重要なすべての通貨で維持されている。流動性準備金の合計額は、2年超の預金流出の状況下で、当行が市場から新規に資金を調達することがまったくできないというストレス・シナリオにおいても当行の流動性要件をカバーできる水準である。また、外国為替市場がクローズするような極端な状況においても、かなりの期間にわたって業務が維持されることを示している。

当行の資本状況は当年度においても引き続き強化され、収益は安定している。低い貸倒損失率とあいまって、このような資本状況により、当行の健全な地位が維持されている。このような堅調な資本状況は、現在の脆弱なマクロ経済状態における確固たる保護を提供するものであり、将来の規制の改正に対しても健全な資本状況は維持されるとみられる。ハンデルスバンケンは、たとえすべての資本バッファの要件案が当局によって上限に設定されたとしても、すでに将来の自己資本に関する要件をすべて満たしている。

当行の従来の低いリスク許容度、健全な資本状況及び揺るぎない流動性状況によって、当行は、新規のより厳格な規制の下でも、また、過去数年間に経験したものよりもはるかに困難な市況下でも、事業を行う体制が十分に整っている。当行の流動性状況に関するより詳細な説明は、「資金調達及び流動性リスク」のセクションに記載されている。

ハンデルスバンケンは、包括的なサービスを提供する銀行であり、広範囲にわたる様々な銀行業務及び保険商品を提供している。これらは、様々なリスクを伴うが、グループ全体で組織的に識別、測定及び管理されている。

ハンデルスバンケンのリスク管理



当行のリスク及び資本管理の全体像は、以下の要素より構成されている。

事業活動

当行は、事業活動における各部門がそれぞれの事業及びリスク管理の全責任を負うという明確な責任分担を特徴としている。顧客及び市場の状況を最もよく知る人物がリスク評価者として適任であり、また、諸問題の発生時に早い段階で措置を講じることが可能である。各支店及び収益部門は、発生した問題に対応する責任を負っている。これにより、高いリスク認識及び慎重な業務姿勢を促す強いインセンティブが働いている。

但し、このように分権化した組織が与信決定を行うには、共同与信プロセスを経る必要である。共同与信プロセスについては中央与信部が責任を負っている。

中央与信部は、取締役会又は取締役会の与信委員会が行った与信決定を取りまとめている。中央与信部はまた、信用評価が一貫していること、及び貸出金が取締役会の決定した与信方針に従って実行されていることを確認している。中央与信部はさらに、すべての主要な個別コミットメントにおけるリスクを識別し、与信組織の他の分野に支援及び助言を行っている。当行の信用リスクの管理に関する情報（与信プロセスの全詳細を含む）は、公表済みの「リスク及び自己資本管理（第三の柱に従った情報）」の「信用リスク」のセクション（11ページ）（訳注：原文のページ数である）を参照のこと。

現地のリスク管理部門

事業上の意思決定権を有する人物の責任は、地域銀行及び様々な事業分野における現地の財務及びオペレーショナル・リスクを管理する部門によって補完されている。英国では、それらのリスクは国の組織が中央集権的に管理している。現地のリスク管理部門は、リスクを評価し、リスク限度等を確認するとともに、個別の事業取引が当行のリスク許容度に則した方法で遂行されているかを検証している。現地のリスク管理部門はまた、新たな商品及びサービスのリスクを分析し、オペレーショナル・リスクを伴う業務を評価する責任を負っている。現地のリスク管理部門は、中央リスク管理部門及び事業活動を担っている経営陣にも報告している。

中央リスク管理部門

事業上の意思決定が分散化されているため、リスク及び資本状況を中央で監視する必要性が高まっている。したがって、中央リスク管理部門が、おのずと当行のビジネス・モデルの必然的な構成要素となっている。

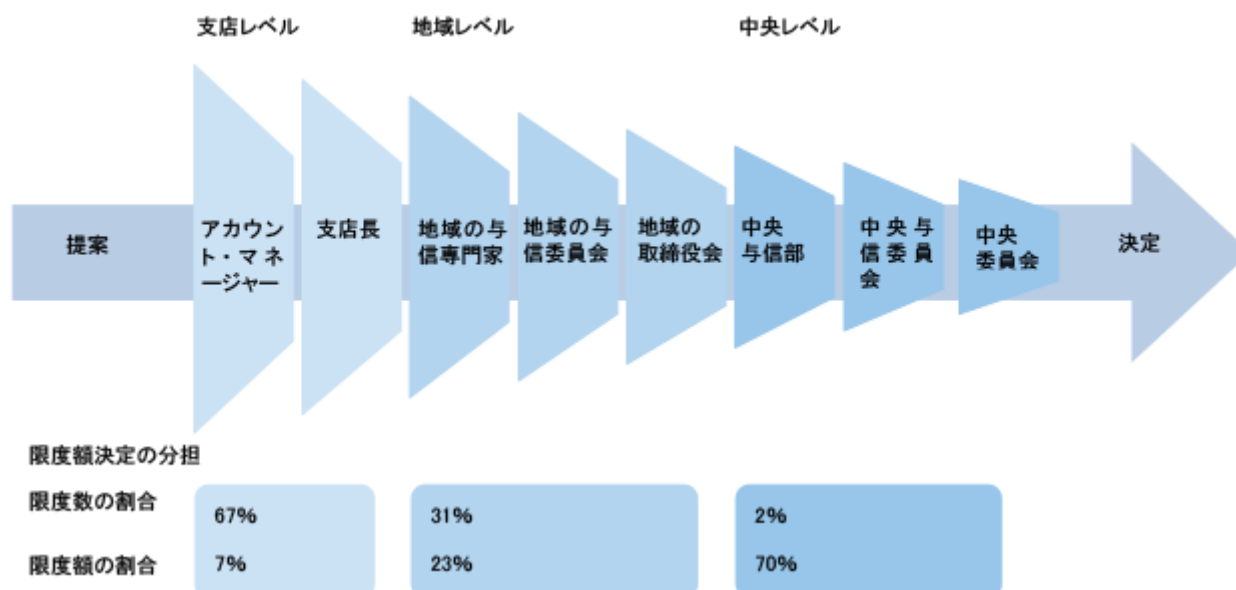
中央リスク管理部門は、当行グループのすべての重要なリスクを集約した単位で識別、測定、分析及び報告する役割を担っている。中央リスク管理部門は、リスク及びリスク管理が当行の低いリスク許容度に従っており、上級経営陣が危機的状況においてどのようにリスクを管理すべきかについてまとめた信頼性の高い情報マテリアルを有しているかを監視している。中央リスク管理部門はまた、各事業分野及び子会社における現地のリスク管理部門の機能面での責任を有しており、リスクが当行グループにおいて効果的かつ一貫して評価され、当行の経営陣及び取締役会にリスク管理の現状に関する定期的な報告書及び分析が提出されるようにしている。

資本計画

上述のこれら3つの要素の取組みにもかかわらず、ハンデルスバンケンが深刻な損失を被った場合、極端な事象の発生中及び発生後であっても、ハンデルスバンケンは確実に存続できるだけの資本を保有している。資本計画は、規制資本の要件に経済資本及びストレステストを合わせて資本の状況を評価したものである。ストレステストは、常に十分な資本を確保しておくために準備又は導入すべき将来に向けた対策を特定するためのものである。さらに、業務は中央、事業分野及び子会社レベルのコンプライアンス部門によってレビューされ、内部及び外部監査人にもレビューされる。

ハンデルスバンケンのリスク管理活動及びリスク管理部門は時の試練に耐えるものであるが、その有効性は当行が長期にわたって競合他社よりも貸倒損失が少なく、財政状態が非常に安定しているという事実で示されている。

ハンデルスバンケンの与信プロセス及び決定水準



信用リスク

信用リスクは、当行の取引相手が契約上の義務を履行することができないために当行が経済的損失に直面するリスクである。

ハンデルスバンケンの与信プロセスは、現地における分散型の組織が高度な与信決定を確実に行えるようにするという理念に基づいている。当行は、支店が顧客と常時接触を保つ形での取引関係を有する銀行であり、そうした顧客との接触を通じて、各顧客に関する知識を深めるとともに、顧客の財政状態の実態を継続的に把握している。

当行の分散型の組織において、各支店は、顧客に対する全面的な与信責任を負っている。顧客及び与信責任は、支店長又は支店長から任命された支店の従業員にある。支店長及び支店のほとんどのスタッフには、担当顧客に対する与信を決定するための個別の決定限度額が設定されている。

それらの与信限度額を上回る決定については、地方及び中央での決定に委ねられる。そうしたニーズに関する決定には、それぞれ与信に関する専門的知識が必要となる。それぞれの意思決定権者は、自らが意思決定権を有する水準に関して、また、自らに意思決定権がない場合にはより上位者の意思決定に委ねられる与信水準に関しても、与信判断を拒否する権限を有している。意思決定プロセスに参加するすべての権限者は、意思決定権の水準にかかわらず、積極的な与信の意思決定を行うために意見を一致させなければならない。意思決定への参加者から僅かであっても異議が提起された場合には、与信の申請は却下される。中央与信部で準備が進められた案件の場合、最大与信限度額は、取締役会の与信委員会で決定されるか、あるいは取締役会全体で決定される。但し、支店長の推薦がなければ、当行において与信申請が処理されることはない。

与信決定手続きについては、上記の図で説明している。この図はまた、様々な決定水準における決定及び金額の割合を示している。

ハンデルスバンケンの分権化された組織においては、与信決定の基礎を形成する文書が常に与信責任を有する支店で作成されているが、これは最終決定が支店、地域レベル、取締役会の与信委員会、あるいは取締役会によってなされるか否かにかかわらない。与信決定の文書化には、借り手に関する一般情報及び財務情報、返済能力の評価、貸出金及び与信条件の評価並びに担保の評価が含まれる。貸付総額が3百万スウェーデン・クローネを超える借り手については、与信限度額に照らして与信決定が行われる。

個人への住宅用不動産担保付貸出金の場合、6百万スウェーデン・クローネを超える金額について限度額の要件が適用される。住宅用不動産の担保付きの住宅協同組合に対する貸出については、12百万スウェーデン・クローネを超える金額について限度額の要件が適用される。

承認された与信限度額は、最長1年間にわたって有効である。限度額の延長は、新規貸出と同じ方法で文書を作成し、同じ決定手続きを経た後に行われる。

ハンデルスバンケンの分権化された組織においては、与信及び限度額の大部分の決定が個々の支店において行われているため、高度な与信決定を確実に行うための適切な再検証プロセスが重要となる。支店長は、スタッフが下した決定が適切であるか調査し、地域の与信部門は、支店長が下した決定の妥当性について調査する。

このような品質レビューの目的は、当行の与信方針及び内部インストラクションが、信用の質の維持、良質な与信判断及び健全なビジネス・アプローチに準拠しているかを確認することにある。同様の品質レビューの調査は、より高いレベルで行われた与信判断に対しても行われている。地方の与信委員会及び地域銀行の取締役会が付与した与信については、中央与信部によって調査が行われる。中央与信部ではまた、当行の取締役会又は与信委員会が決定した与信についても調査を行う。

ハンデルスバンケンは、マスマーケットを対象とした銀行ではなく、顧客の選別にこだわっている。すなわち、当行は信用の質の高い顧客を選別している。与信取引高の向上又は収益性の向上を達成するために、質的要件を度外視することはない。当行はまた、理解するのが困難な複雑な顧客群又は複雑な取引がある場合には、融資に参画しない。

また、現地の支店における顧客との緊密なコンタクトにより、支店は即座に問題を識別し、その問題に対する措置を講じることが可能になる。このことは、多くの場合、当行がより中央集約化された不良債権管理を行うよりも早く、措置を講じることが可能であることを意味している。支店はまた、与信決定に関する財務上の全責任を負っているため、顧客が返済困難に陥っている場合に発生する問題に対処することが可能で、また支店が貸倒損失を負担することになる。現地の支店は、必要に応じて、地域本部及び中央部門からの支援を受けることになる。当行の対処方法により、信用リスクに関連する取引を行うすべての従業員は、この種のリスクに対する堅実かつ系統立ったアプローチを有している。当該アプローチは、当行の行風の重要な一部を形成している。ここで説明している対処方法及びアプローチは、当行の貸倒損失の計上額が長期にわたって非常に低いことを示す重要な根拠となっている。

リスク格付制度

ハンデルスバンケンのリスク格付制度は、当行の信用リスクの分類及び定量化を支援するためのいくつかの異なるシステム、手法、プロセス及び手順より構成されている。

ハンデルスバンケンの内部格付制度は、すべての業務における信用リスクを信頼性及び一貫性をもって測定するために使用される。リスク格付は、当行の内部格付に基づいて行われるが、それは各取引相手の返済能力の評価に基づいている。格付は、財務逼迫リスク及びそれらの逼迫に対する耐久力を評価することによって決定されている。手法及び分類は、当行が数十年間にわたって適用している格付モデルに基づいて決定されている。

内部格付は、当行のモデルの中でIRBアプローチに従って自己資本比率を算定するための最も重要な要素である。格付は変動するものであり、取引相手の返済能力に変化の兆候がある場合には、再評価が行われる。当該格付はまた、規制上明記されているとおり、定期的に見直される。当該格付は、主に与信を担当する人物によって割り当てられ、その後は独立した機関によって検証される。

リスク分類方法

当行は、信用リスクを定量化するために、デフォルト確率(以下「PD」という。)、デフォルトが発生した場合に当行が被ることが見込まれるエクスポージャー(エクスポージャー額)及び、デフォルト時に当行が失う貸出金の割合(デフォルト時損失率、以下「LGD」という。)を算定している。デフォルトは、取引相手が90日間支払いを行わないか、あるいは取引相手が契約上合意した条件で支払いを行うことが出来ない(例えば、破産が宣言される等)との評価が行われた場合と定義されている。

PD値はパーセントで表され、例えば、PD値が0.5%である場合は、PD値が同一である200人に1人の借り手が、1年以内に債務不履行に陥ると予想されることを意味する。多くの場合、エクスポージャーに対する担保が徴求されているため、債務不履行は、必ずしも当行に損失が発生することを意味しているわけではない。また、支払いが困難な状況は一時的である可能性があるため、特定の取引相手が将来のある時点において、支払いが不可能であることを意味しているわけでもない。

法人及び機関に対するエクスポージャーに関しては、取引相手別に設定された内部格付が1段階から10段階までのリスク区分に転換されている(リスク区分10は、デフォルトに陥った取引相手を意味する。)。法人エクスポージャーは、取引相手に対して用いられる事業評価テンプレートに基づき4つの取引相手区分に分類される。PDは、リスク区分及び取引相手の分類別にそれぞれ算定される。独自のLGD及びCCFの推定値を用いないIRBアプローチに従って所要自己資本を算定する必要がある機関及び企業に対するエクスポージャーについては、デフォルト時損失率(LGD)に規定値を適用する。ここで使用される可能性のある規定値は、各エクスポージャーに対して提供された担保によって決定されている。

リテール・エクスポージャーのリスク区分もまた、すべての与信顧客に割り当てられた内部格付に基づいている。当該格付は、法人エクスポージャーのようにリスク格付に直接変換されるわけではない。その代わりに様々なエクスポージャーが特定の要因に基づいていくつかのより小規模なグループに分類される。それらの要因には、与信の種類、取引相手の不払記録及び複数の借り手がいるかどうかが含まれる。平均的なデフォルト確率は、各小規模グループについて算定され、これに基づき、グループ毎に10段階のリスク区分のいずれかに分類される。個人及び小規模企業に対するエクスポージャーの算定には、それぞれ異なるモデルが使用される(リテール・エクスポージャーのカテゴリーにおいても区分別に分類されているとおり)が、原則は同じである。

リテール・エクスポージャー並びに中規模企業、不動産会社及び住宅協同組合に対するエクスポージャーについては、当行自身の損失実績を用いてLGDを算定する。独自のLGD及びCCFの推定値を用いるIRBアプローチを使用して所要自己資本を算定する必要がある大企業に対するエクスポージャーについては、内部損失及び外部の観察可能な指標に基づいてLGDが算定される。スウェーデンの不動産担保が付されているリテール・エクスポージャー並びに中規模企業、不動産会社及び住宅協同組合に対する不動産エクスポージャーについては、当該担保価値に対する融資比率に応じて、異なるLGD値が適用される。その他のエクスポージャーについては、LGD値は担保の有無、担保価値、商品及び類似する要因に基づいて決定される。

エクスポージャーの各区分に関しては、債務不履行に陥っていない取引相手又は契約のリスク区分のそれぞれについてPDが算定されている。PDは、エクスポージャーの異なるタイプ毎の過去の債務不履行比率に基づいて算定される。その後、平均デフォルト確率に保守主義に基づく余裕率及び景気循環調整要因に関する調整を加える。その余裕率を加味する目的は、長期のデフォルト確率を過小評価しないようにすることである。

景気循環調整要因は、必要な場合、当期に観察された長期のレベルで見込まれるPDの推定値を基礎として算定された平均デフォルト確率に対する調整要因となる。この長期のレベルは、1985年以降のポートフォリオ単位の情報を基礎としている。この手法は、景気が循環する期間において見込まれるリスク区分間の移転を考慮に入れている。PDの見積りに用いることができる期間は延長していくため、景気循環調整要因を用いる必要性は時間的経過に伴い徐々に低下する。

この調整は、リスク測定の更新が年次で行われている場合の見積りに用いられるマテリアルの限界によって生じるリスク区分別のPDの変動の一部を平準化する。但し、契約単位、取引相手の単位及びポートフォリオ単位のPDは、時間的経過に伴いリスク区分間の移転が生じるため変動する。リスクの分類上最も重要な要素の一つ（ハンデルスバンケンの内部格付）の対象期間は1年間よりも著しく長いため、景気が循環する期間において通常みられる変動に及ぼす影響は非常に限定的であると見込まれる。ハンデルスバンケンは、景気循環調整要因はPDを上向きに調整する可能性があるが、下向きに調整することはないという保守主義の原則を適用している。

LGDを算定する際のリスク測定は、経済的に不利な状況における損失率(景気後退期を勘案したLGDとして知られている)を反映しなければならない。不動産担保の場合、この景気後退期を勘案したLGDは1990年代初頭の不動産危機によって生じた損失に基づいて算定されている。リテール・エクスポージャーに関するその他の担保については、このLGDはPD及び商品の種類毎の要因に応じて景気後退に対して調整される。独自のLGD及びCCFの推定値を用いるIRBアプローチにおける法人エクスポージャーに関しては、LGDは景気後退に対して調整されるため、1991年から92年にかけての景気後退期における当行の損失は、適切なマージンを加味したリスク加重を用いて説明することができる。

エクスポージャー額(EAD)が算定される場合、既存のエクスポージャーに対して一定の調整が行われる。例えば、顧客が将来において一定金額まで借入れを行うことを当行との間で合意しているローン・コミットメントやリボルビング・クレジット等である。このようなコミットメントは、十分な資本によってカバーされなければならない信用リスクに含まれる。一般的にこのことは、付与された与信枠のうちの報告時点では未使用の部分が一定の換算係数(以下「CF」という。)を用いて調整されることを意味する。法人エクスポージャー及び機関エクスポージャーに関する特定の商品カテゴリーについて、換算係数(CF)は規制によって決定されるが、リテール・エクスポージャー及び大企業、中規模企業、不動産会社及び住宅協同組合の特定の商品カテゴリーに関しては、当行は独自に算定した換算係数を用いている。ここでは主に換算係数について言及しているが、利用水準も関連する可能性がある。

リスク(PD、エクスポージャー額、LGD)の測定は、自己資本比率の計算だけでなく、個々の取引における資本コスト及び経済資本(以下「EC」という。)の算定にも用いられる。すなわち、景気調整の形での安全余裕率とリスクの測定における保守主義的な調整はいずれも個々の取引の資本コスト及び経済資本の計算に含まれており、リスクの測定から推定される損失水準は保守的に見積られていることを意味している。こうした手法を使用することで、当行の過去の損失がリスク計算及び所要自己資本に直接影響を及ぼしていることになる。

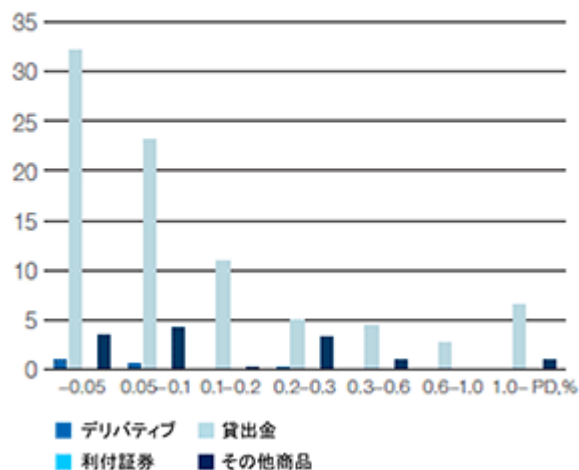
法人、機関及びリテール・エクスポージャーに関する数値は、債券とその他の利付証券、並びに貸出金、デリバティブ及びその他の商品それぞれについて、エクスポージャーがどのように分布しているかを示している。その他の商品とは、例えば、保証及び貸出金コミットメントである。これらの図は、債務不履行になった与信を除いた各エクスポージャー区分のエクスポージャー額が、どのPDレンジに分布しているかを示している。使用されるPD値は、所要自己資本を計算する際に適用される値である。

PD 区間毎の商品種類別のエクスポージャー

割合(デフォルトを除く)

ー法人エクスポージャー

エクスポージャー割合 %

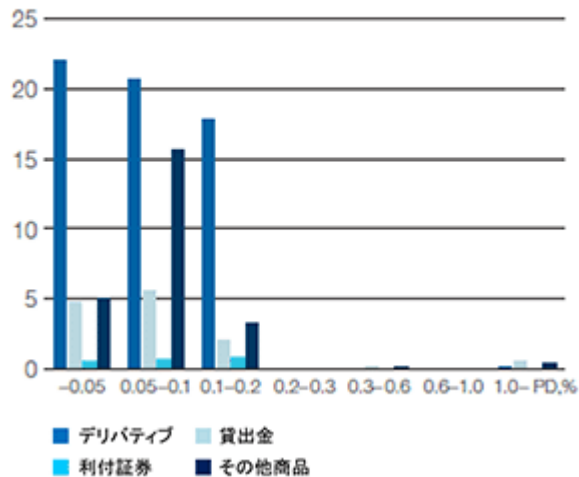


PD 区間毎の商品種類別のエクスポージャー

割合(デフォルトを除く)

ー機関エクスポージャー

エクスポージャー割合 %

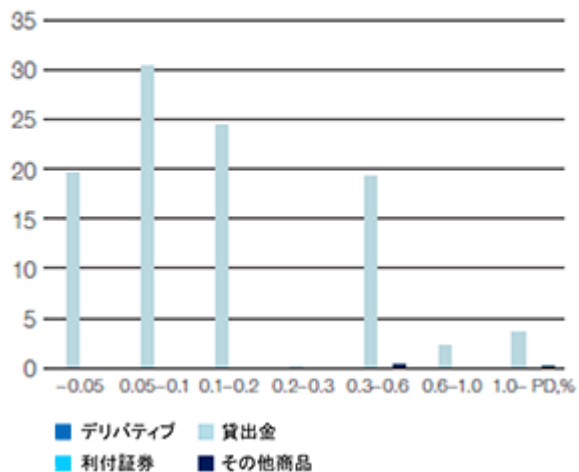


PD 区間毎の商品種類別のエクスポージャー

割合(デフォルトを除く)

ーリテール・エクスポージャー

エクスポージャー割合 %



担保

ハンデルスバンケンが特定の顧客の信用リスクを評価する場合、まずは借り手の返済能力から評価が行われる。当行の与信方針によれば、低い返済能力が良質な担保によって補われることはない。但し、借り手が返済義務を履行できない場合、当行の損失は担保によって大幅に削減される可能性がある。したがって、通常、与信は適切に担保されていないなければならない。

無担保の与信は、主に非常に健全な返済能力を有する顧客に対して実行される。無担保の与信の場合には、通常、特別な貸付条件が策定され、借り手の返済能力が悪化するか、又は違反が認められた場合に、当行に再交渉又は契約を終了する権利が与えられる。

通常、借り手が深刻な返済困難に直面しない限り担保は実行されないため、担保価値の評価は、支払不能に関する、不利な状況における早急な売却の際の担保の予想価値に基づいて行われる。特定の資産の価値は、強制売却につながるような支払不能状況において、大幅に変動する可能性がある。

金融機関に対する貸出の大部分は、リバース・レポにより構成されている。リバース・レポは、当行がリバース・レポに基づいて利付証券又は株式を特別な契約(証券が特定の日に特定の価格で売り手に再売却される契約)で購入する買戻取引である。ハンデルスバンケンは、リバース・レポを担保付貸出とみなしている。

特別な状況において、当行は、信用リスクをヘッジするためにクレジット・デリバティブ又は金融保証を購入する場合があるが、これは当行の通常の貸出プロセスの一環ではない。

残高に対する信用リスク・エクスポージャー、担保別

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
住宅用不動産 ¹	1,114,011	1,030,392
うち、個人	782,821	726,190
その他の不動産	271,041	245,196
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²	603,319	452,502
保証 ³	18,876	19,338
金融担保	63,493	54,286
資産担保	18,256	19,360
その他の担保	68,138	55,671
無担保	211,790	272,851
残高に対する信用リスク・エクスポージャー合計	2,368,924	2,149,596

一般顧客への貸出金、担保別

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
住宅用不動産 ¹	1,114,011	1,030,392
うち、個人	782,821	726,190
その他の不動産	271,041	245,196
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²	98,076	59,869
保証 ³	18,305	19,327
金融担保	22,035	13,773
資産担保	18,256	19,360
その他の担保	68,138	55,671
無担保	197,974	252,751
一般顧客への貸出金合計	1,807,836	1,696,339

1) 住宅協同組合を含む。

2) 直接的なソブリン・エクスポージャー及び政府保証を表す。

3) 政府保証は含まない。

信用ポートフォリオ**ポートフォリオの内訳**

当行の信用ポートフォリオは、貸借対照表項目のカテゴリーに基づいて、本セクションに表示されている。

貸借対照表項目のカテゴリーに基づき、信用リスク・エクスポージャーは、一般顧客への貸出金及び金融機関への貸出金並びに商品種類別に分類されたオフ・バランスシート項目に分類されている。自己資本比率の算定においては、信用リスク・エクスポージャーは、各計算手法にかかる規制に明記されているエクスポー

ジャー区分に分類される。エクスポージャーは、オン・バランスシート及びオフ・バランスシート上の項目の合計を意味している。

信用リスク・エクスポージャー

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
一般顧客への貸出金 ¹	1,807,836	1,696,339
うち、リバース・レボ	23,858	15,711
金融機関への貸出金	70,339	62,898
うち、リバース・レボ	42,138	33,874
付与された当座貸越枠の未使用部分 ²	102,778	99,660
付与された貸出金コミットメント	271,001	246,518
その他コミットメント	14,134	9,046
保証、与信	10,335	8,371
保証、その他	60,033	58,568
信用状	5,369	7,190
デリバティブ ³	116,124	69,961
財務省証券及びその他の適格証券	78,219	57,451
債券及びその他の確定利付証券	63,725	64,125
合計	2,599,893	2,380,127
現金及び中央銀行預け金	454,532	334,794
中央銀行へのその他の貸出金	51,047	35,160
合計	3,105,472	2,750,081

金額には中央銀行に対する残高は含まれていない。

- 1) この金額のうち、2,181(2,580)百万スウェーデン・クローネは、当初認識時に損益計算書を通じて公正価値で評価するものとして分類されていた貸出金である。
- 2) 2014年現在の金額には、当座貸越枠の未使用分のうち、認識時に取引相手が任意に使用することができないもの、つまり、所要自己資本が発生しないものは含まれていない。比較数値は調整されている。
- 3) 正の市場価値の合計を表す。法的に有効なネットティング契約を含むエクスポージャー（将来の潜在的なエクスポージャーを除く）は、70,478(25,775)百万スウェーデン・クローネである。

地理的分布

2014年	貸出金					オフ・バランスシート・コミットメント						
百万スウェーデン・クローネ	金融機関(中央銀行を除く)	現金及び中央銀行預け金	中央銀行	デリバティブ金	融商品	投資	付与された貸出金	付与された当座貸越枠の未使用部分	保証メント	信用状	その他	合計
一般顧客												

スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)
有価証券報告書

うち住宅抵当ローン	683,991	-30	683,961	642,459	-54	642,405
うちその他の貸出金(不動産抵当付)	99,063	-101	98,962	77,461	-111	77,350
うちその他の貸出金(個人)	69,412	-682	68,730	68,575	-625	67,950
住宅協同組合	153,058	-21	153,037	140,320	-33	140,287
うち住宅ローン	136,748	-9	136,739	128,524	-9	128,515
不動産管理	485,377	-589	484,788	461,726	-394	461,332
製造	38,508	-726	37,782	39,051	-517	38,534
リテール	27,736	-343	27,393	31,570	-362	31,208
ホテル及びレストラン	8,299	-25	8,274	7,396	-24	7,372
海運	12,221	-405	11,816	14,733	-423	14,310
その他運輸及び通信	20,184	-39	20,145	26,972	-80	26,892
建設	15,225	-114	15,111	12,295	-116	12,179
電気、ガス及び水道	24,888	-24	24,864	23,620	-44	23,576
農業、狩猟業及び林業	10,703	-16	10,687	8,365	-25	8,340
その他サービス	20,241	-42	20,199	22,996	-101	22,895
持株会社、投資会社、保険会社、ミューチュ アルファンド等	71,945	-187	71,758	73,272	-569	72,703
ソブリン及び地方自治体	35,627	0	35,627	20,935		20,935
その他法人貸付	35,469	-483	34,986	28,496	-68	28,428
一般顧客への貸出金合計(集会的引当金控除 前)	1,811,947	-3,827	1,808,120	1,700,242	-3,546	1,696,696
個別評価貸出金に対する集会的引当金			-284			-357
一般顧客への貸出金合計	1,811,947		1,807,836	1,700,242		1,696,339

一般顧客への貸出金(引当金控
除後)

地域別、セクター別及び取引相

手別内訳

2014年

百万スウェーデン・クローネ	フィンラン							合計
	スウェーデン	英国	デンマーク	ド	ノルウェー	オランダ	その他諸国	
個人	634,587	46,696	43,649	35,258	83,170	4,431	3,862	851,653
うち住宅抵当ローン	586,689	0	24,628	22,617	50,027	0	0	683,961
うちその他の貸出金(不動産 抵当付)	14,801	37,227	14,409	8,075	17,160	4,108	3,182	98,962
うちその他の貸出金(個人)	33,097	9,469	4,612	4,566	15,983	323	680	68,730
住宅協同組合	124,890	0	539	14,277	13,331	0	0	153,037
不動産管理	241,993	101,897	14,318	27,456	79,816	11,423	7,885	484,788
製造	19,795	2,888	2,079	3,740	3,395	484	5,401	37,782
リテール	13,626	3,748	4,336	2,069	2,841	0	773	27,393
ホテル及びレストラン	2,641	2,922	1,123	359	181	0	1,048	8,274

スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)
有価証券報告書

海運	3,887	39	1,048	3,072	3,637	0	133	11,816
その他運輸及び通信	9,221	773	1,832	3,354	3,645	1,318	2	20,145
建設	6,259	2,174	303	1,073	4,974	0	328	15,111
電気、ガス及び水道	11,162	271	122	9,108	3,582	0	619	24,864
農業、狩猟業及び林業	9,083	1,360	106	118	17	0	3	10,687
その他サービス	11,660	4,333	1,528	1,446	1,224	0	8	20,199
持株会社、投資会社、保険会社、 ミューチュアルファンド等	59,227	1,003	5,286	1,096	1,278	114	3,754	71,758
ソブリン及び地方自治体	23,675	0	2	11,747	203	0	0	35,627
その他法人貸付	22,830	1,542	2,776	952	2,813	736	3,337	34,986
一般顧客への貸出金合計(集合 的引当金控除前)	1,194,536	169,646	79,047	115,125	204,107	18,506	27,153	1,808,120
個別評価貸出金に対する集合的 引当金	-134	-50	-17	-38	-40	-2	-3	-284
一般顧客への貸出金合計	1,194,402	169,596	79,030	115,087	204,067	18,504	27,150	1,807,836

信用リスクの集中

ハンデルスバンケンの支店は、健全な信用力を有する優良顧客と長期的な関係を築くことに非常に重点をおいている。支店は優良顧客を見出した場合、その顧客が属するセクターに対する当行全体のエクスポージャーの大きさに拘わらず、この顧客と取引を行うことができる。したがって、当行が与信枠を付与するに当たっては、比較的大きなエクスポージャーを有する個別セクターにあらかじめ制限を設けるということは行っていない。当行は様々な事業セクター、地域及び個別に大きなエクスポージャーに対して、継続的にリスクの集中を監視し、算定を行っている。リスクの集中は当行の信用リスクに対する経済資本の算定において、また、自己資本比率の評価において実施されるストレス・テストにおいて特定される。信用ポートフォリオにおけるリスクの集中に関する第二の柱に基づき、スウェーデン金融監督庁も別個に自己資本比率の補完的項目を計算している。これにより、ハンデルスバンケンは、リスクの集中も考慮して十分な資本を確保することができるようになる。リスクの集中が過剰であると判断される場合には、当行は様々なリスク軽減策を用いてリスクを軽減する機会及び能力がある。

住宅ローン及び住宅協同組合への貸付に加え、ハンデルスバンケンは不動産管理部門に関してかなりの貸付業務を行っている(485十億スウェーデン・クローネ)。ここでの不動産管理部門とは、信用目的で「不動産会社」として評価されているすべての会社を指す。他の業界で事業を行っている企業グループの不動産管理子会社が、当該企業グループの事業不動産を管理することは一般的に行われているが、そうした不動産会社もここでは不動産部門に属しているとみなされる。但し、そうした場合に存在する信用リスクは、不動産関連のリスクのみではない。

不動産貸出の大部分は、借り手のキャッシュ・フローが堅調であり、信用力が非常に高い、国有の不動産会社、地方自治体所有の住宅会社及びその他の住宅関連会社である。したがって、不動産部門への貸出の大部分は、デフォルト確率が非常に低く、LTVの低い会社に対する貸出である。当行の不動産セクターに対するエクスポージャーは、以下の表に明記されている。

当行においてリスク区分5（正常リスク）よりも低い格付の取引相手に対するエクスポージャーは非常に低いものになっている。スウェーデンにおける不動産貸出全体の98(98)%は、リスク・クラス5以上の水準となっている。不動産貸出に関する数値は、英国93(96)%、デンマーク94(99)%、フィンランド99(92)%、ノルウェー

96(93)%及びオランダ98(100)%となっている。リスク区分が正常よりも低い水準にある取引相手に関しては、大半がリスク区分6又は7に属しており、ごく一部がより高いリスク区分である8及び9に属している。

ここ数年でハンデルスバンケンは、支店網を拡充したことにより、英国における与信額の増加につながった。この増加の大半は、不動産関連の与信業務によるものである。支店網の拡充にあたり、ハンデルスバンケンは、返済能力及び担保の質に関する評価において、その他の拠点市場と同じ厳密な要件を設けていた。その結果、良質なリスク区分に属する顧客を取り込むことにつながり、貸倒実績率も他の国内市場と同程度の水準となっている。

一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理	2014年			2013年		
	潜在的な貸倒		貸出金(引当金 金控除前)	潜在的な貸倒		貸出金(引当金 金控除後)
	貸出金(引当 金控除前)	損失に対する 引当金		貸出金(引当金 金控除前)	損失に対する 引当金	
百万スウェーデン・クローネ						
スウェーデンにおける貸出金						
国有不動産会社	5,684	-	5,684	7,798	-	7,798
地方自治体が所有する不動産会社	16,926	-	16,926	15,430	-	15,430
住宅用不動産会社	87,797	-19	87,778	73,571	-15	73,556
うち住宅ローン	70,370	-3	70,367	57,726	-1	57,725
その他の不動産管理	131,710	-105	131,605	151,410	-110	151,300
うち住宅ローン	64,392	-5	64,387	75,969	-3	75,966
スウェーデンにおける貸出合計	242,117	-124	241,993	248,209	-125	248,084
スウェーデン国外における貸出金						
英国	102,152	-255	101,897	81,129	-69	81,060
デンマーク	14,446	-127	14,319	12,108	-117	11,991
フィンランド	27,483	-28	27,455	23,612	-	23,612
ノルウェー	79,859	-43	79,816	76,457	-60	76,397
オランダ	11,423	-	11,423	12,633	-	12,633
その他諸国	7,897	-12	7,885	7,578	-23	7,555
スウェーデン国外における貸出合計	243,260	-465	242,795	213,517	-269	213,248
貸出金合計 - 不動産管理	485,377	-589	484,788	461,726	-394	461,332

内訳

一般顧客への貸出金

- 不動産管理

担保の種類及び国別	2014年					2013年				
	国及び地方自治 体が所有する企 業/国 及び地方自治体 によって保証さ れている不動産		集合住宅/ 住宅用 不動産及びその 他の担保 無担保			国及び地方自治 体が所有する企 業/国及び地方自 治体によって保 証されている不 動産貸付		商業用不 動産及び その他の 担保 無担保		
百万スウェーデン・ クローネ	合計	貸付	不動産	他の担保	無担保	合計	不動産貸付	不動産	担保	無担保

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)

有価証券報告書

スウェーデン	242,117	24,669	92,972	111,558	12,918	248,209	24,744	89,037	111,582	22,846
英国	102,152	0	45,577	53,320	3,255	81,129	0	34,724	41,475	4,930
デンマーク	14,446	0	7,113	5,563	1,770	12,108	0	6,290	3,813	2,005
フィンランド	27,483	9,827	3,902	12,959	795	23,612	8,549	2,974	10,452	1,637
ノルウェー	79,859	0	12,350	56,996	10,513	76,457	964	13,626	52,671	9,196
オランダ	11,423	0	4,451	6,943	29	12,633	0	3,682	8,046	905
その他諸国	7,897	557	579	5,542	1,219	7,578	532	828	5,645	573
合計	485,377	35,053	166,944	252,881	30,499	461,726	34,789	151,161	233,684	42,092

一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、リスク区分及び国、2014年

百万スウェーデン・クローネ

リスク 区分	スウェーデン	英国	デンマーク	フィンランド	ノルウェー	オランダ	その他諸国	合計	%	%	合計に占 める割合 (累計)
1	20,614	984	73	3,263	1,390	164	1,047	27,535	5.67		6
2	74,952	22,468	850	10,904	16,038	1,751	3,762	130,725	26.93		33
3	88,932	46,474	7,088	10,274	40,298	8,157	2,523	203,746	41.98		75
4	39,221	18,286	3,738	1,854	14,648	1,059	176	78,982	16.27		91
5	14,602	7,090	1,821	794	4,089	16	308	28,720	5.92		97
6	1,962	3,198	209	236	2,186	26	42	7,859	1.62		98
7	1,130	1,689	166	54	851	250	0	4,140	0.85		99
8	294	669	144	37	116	0	0	1,260	0.26		100
9	111	102	60	7	12	0	0	292	0.06		100
債務不 履行	299	1,192	297	60	231	0	39	2,118	0.44		100
合計	242,117	102,152	14,446	27,483	79,859	11,423	7,897	485,377	100		

一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、リスク区分及び国、2013年

百万スウェーデン・クローネ

リスク 区分	スウェーデン	英国	デンマーク	フィンランド	ノルウェー	オランダ	その他諸国	合計	%	%	合計に占 める割合 (累計)
1	20,341	746	2	3,143	1,234	62	930	26,458	5.73		6
2	69,224	14,996	440	10,899	13,566	4,474	3,641	117,240	25.39		31
3	91,645	36,764	5,881	7,484	36,291	5,979	2,290	186,334	40.36		71
4	45,804	15,657	2,965	1,341	16,312	1,575	196	83,850	18.17		90
5	15,851	7,461	1,844	487	5,678	487	390	32,198	6.97		97
6	2,492	1,917	225	155	1,762	0	105	6,656	1.44		98
7	1,643	1,855	187	33	1,165	56	0	4,939	1.07		99
8	327	401	163	16	38	0	0	944	0.20		99
9	139	112	33	0	56	0	0	340	0.07		99
債務不 履行	743	1,220	368	54	356	0	25	2,766	0.60		100
合計	248,209	81,129	12,108	23,612	76,458	12,633	7,577	461,726	100		

一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、リスク区分及び担保の種類、2014年

百万スウェーデン・クローネ

リスク区分	貸出金	担保				
		集合住宅/ 住宅用不動産		政府又は地方自 治体からの保証		無担保
		商業用不動産		その他の担保		
1	27,535	15,403	5,616	4,558	139	1,819
2	130,725	45,759	60,303	10,956	3,195	10,512
3	203,746	72,906	109,122	5,210	4,926	11,582
4	78,982	26,337	43,371	920	4,588	3,766
5	28,720	9,553	14,612	619	2,402	1,534
6	7,859	1,807	5,221	12	533	286
7	4,140	1,022	2,680	0	234	204
8	1,260	257	672	0	12	319
9	292	110	138	6	2	36
債務不履行	2,118	758	813	0	45	502
合計	485,377	173,912	242,548	22,281	16,076	30,560

一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、リスク区分及び担保の種類、2013年

百万スウェーデン・クローネ

リスク区分	貸出金	担保				
		集合住宅/ 住宅用不動産		政府又は地方自 治体からの保証		無担保
		商業用不動産		その他の担保		
1	26,458	14,253	5,282	4,186	1,186	1,551
2	117,240	41,572	54,975	8,894	977	10,822
3	186,334	63,910	94,792	3,822	6,216	17,594
4	83,850	23,497	46,212	473	5,988	7,680
5	32,198	10,249	14,940	540	3,630	2,839
6	6,656	2,281	3,710	11	332	322
7	4,940	1,683	2,520	9	211	517
8	944	357	366	0	9	212
9	340	182	120	0	3	35
債務不履行	2,766	1,134	808	8	75	741
合計	461,726	159,118	223,725	17,943	18,627	42,313

カウンターパーティ・リスク

カウンターパーティ・リスクは、当行が取引相手との間で先物、スワップ又はオプション、あるいは証券貸付関連契約等の商品に関するデリバティブ契約を締結する場合に発生する。

カウンターパーティ・リスクは、その契約の市場価値によってエクスポージャーの規模が決まる場合には信用リスクとみなされる。その契約の価値が正の値である場合、取引相手の債務不履行は貸出金の場合と同様に当行の潜在的損失を意味する。

所要自己資本及び経済資本(EC)の双方を算定するに当たって、自己資本比率規制に明記されているエクスポージャー金額に基づいて、カウンターパーティ・エクスポージャーが考慮される。これらの信用エクスポージャーは、他の信用エクスポージャーと同じ方法で取り扱われる。

デリバティブに加え、自己資本比率規制は買戻取引及びエクイティ・ローンの双方をカウンターパーティ・リスクとして取り扱う。ECを算定する場合、これらの取引は同じ方法で取り扱われる。当行は、自己資本の計算目的でカウンターパーティ・リスクに関するエクスポージャー金額を計算する際に時価会計を適用している。

カウンターパーティ・エクスポージャーの規模は、通常の与信プロセスにおいて与信限度額を設定することによって制限されている。当該エクスポージャーの規模は、原資産の価格の変動により著しく変動する可能性がある。エクスポージャーが増加するリスクに備えるため、与信限度額を設定する際に該当するエクスポージャーの価値に対して補完が行われる。これらの追加は、契約の種類及び満期までの期間によって変わる、標準金額を用いて算定される。当該エクスポージャーは日次で計算され、フォローアップされる。デリバティブのカウンターパーティ・リスクは、いわゆるネットティング契約を通じて軽減される。ネットティング契約では、同一取引相手とのすべてのデリバティブ取引において、正の値と負の値が相殺される。ハンデルスバンケンは、すべてのカウンターパーティとの間でネットティング契約を締結することを方針としている。ネットティング契約は、正味エクスポージャーに対して担保の取決めを設定することで補完されており、これにより、信用リスクはさらに軽減されている。重要性のある特定の相関リスクを有する取引は識別されていない。

これらの取引に対する担保は、主に現金であるが、国債も使用される。現金依存度が高いため、担保におけるリスクの集中は限定的である。当行が締結したごく少数の担保契約の中には、ハンデルスバンケンの格付を基準にした閾値に関する条件が含まれている。これらの条件は、外部業者により当行の格付が引き下げられた場合、対象となる取引相手に対して当行が追加担保を提供しなければならないことを意味している。当年度末に当行の格付は、AA-/Aa3からA+/A1に引き下げられたが、これは当行が追加担保として76(30)百万スウェーデン・クローネを提供しなければならないことを意味していた。

当行は、クレジット・デリバティブのポートフォリオ(クレジット・デフォルト・スワップ、以下「CDS」という。)を保有しており、これらはトレーディング勘定として分類される。購入した保証の価値は、521(783)百万スウェーデン・クローネで、売却した保証の価値は474(757)百万スウェーデン・クローネであった。

2014年1月1日より、CRRの適用を通じて、新たな資本要件がカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーに対して適用された。新たな資本要件の一つは、カウンターパーティ・リスクのエクスポージャーにおける取引相手の信用の質(信用評価調整(以下、「CVA」という。))による価値変動リスクに基づいている。2014年において、CVAリスクを適用したことによる追加的所要自己資本は、534百万スウェーデン・クローネであった。中央清算機関を通じて清算されるデリバティブについては、新たに別の資本要件が導入された。中央清算機関とは、種々の取引において買手と売手の双方にとっての取引相手としての役割を果たし、双方の義務を履行する責任を負っている清算機関である。中央清算機関を利用するすべての当事者は、すべての取引に対して担保を提供しなければならない。中央清算機関は、担保に加えて、その他の財務資源(自らが所有するものも当事者からの拠出金も含む)も利用することができる。中央清算機関で清算されるデリバティブに対するリスク加重は、多くの場合その他の種類のデリバティブよりも大幅に低い水準である。

取引における支払リスクは、当行が有価証券の為替換算、支払又は引渡しにおけるコミットメントを遂行しているものの、取引相手が同じタイミングで当行に対するコミットメントを履行したことを確認できない場合に発生する。リスク金額は、支払取引の金額と同一である。支払リスクは、各顧客の与信限度額には含まれておらず、別の限度額によってカバーされている。ハンデルスバンケンでは、直物取引における価格変動リスクは、支払リスクとして分類されるが、デリバティブ取引における価値変動リスクは信用リスクとして分類される。

支払リスクに対する限度額を設定することは、ハンデルスバンケンの目的である継続的にリスクを制限する上での重要な一部である。これには、支払リスクが存在する期間を短縮するための技術的なソリューションの開発も含まれている。こうした努力をするに当たって、ハンデルスバンケンは様々な銀行部門の清算機関と協業を行う。当行はまた、最強かつ最も信頼できると考えられる複数の銀行との協力体制を確立している。

ハンデルスバンケンはまた、為替取引において、CLS(Continuous Linked Settlement)等の清算のための協業に参加しており、CLSは、カウンターパーティ・リスクを制限することによって為替取引の安定化を目指す世界的な組織である。ハンデルスバンケンは、世界最大規模の外国為替銀行約60行のうちの一つであり、EBA(ユーロ銀行協会)及びその支払制度のパートナー及び直接的なメンバーでもある。

デリバティブ契約におけるカウンターパーティ・リスク(潜在的な将来エクスポージャーに関する標準的な補完を除く)

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
デリバティブ契約に関する正の市場価値総額	128,764	72,844 ¹
ネットティングによる利益	58,286	47,069
現在の相殺後のエクスポージャー	70,478	25,775
担保	38,191	15,405
デリバティブに関する正味信用エクスポージャー	32,287	10,370

1) この市場価値総額は、当行グループに関する金額であり、2013年度の自己資本比率の対象になっていない清算されたデリバティブを除く。

デリバティブ契約におけるカウンターパーティ・リスク (潜在的な将来エクスポージャーを含む)、2014年 百万スウェーデン・クローネ	デリバティブ/EADに 関する信用エク ス				
	現在の相殺後の エクスポ ージャー	潜在的な将来エ クスポージャー	ポージャーの価値合 計	リスク 加重金額	所要 自己資本
ソブリン・エクスポージャー	7,766	1,824	9,590	19	2
機関エクスポージャー	41,726	21,611	63,338	9,683	775
法人エクスポージャー	20,799	7,107	27,905	7,215	577
その他	187	302	489	153	12
合計	70,478	30,844	101,322	17,070	1,366

デリバティブ契約におけるカウンターパーティ・リスク (潜在的な将来エクスポージャーを含む)、2013年 百万スウェーデン・クローネ	デリバティブ/EAD に関する信用エク				
	現在の相殺後の エクスポ ージャー	潜在的な将来エ クスポージャー	スポージャーの価 値合計	リスク 加重金額	所要 自己資本
ソブリン・エクスポージャー	1,249	1,174	2,423	14	1
機関エクスポージャー	14,174	20,440	34,613	6,082	487
法人エクスポージャー	10,321	4,247	14,568	4,392	351
その他	31	36	67	48	4
合計	25,775	25,897	51,671	10,536	843

市場リスク

市場リスクは、金融市場における価格及びボラティリティの変動によって生じる。市場リスクは、金利リスク、株価リスク、為替リスク及びコモディティ価格リスクに分類される。

ハンデルスバンケンは、市場リスクはごく限られたリスクだという見解を持っている。ハンデルスバンケンの市場リスクは、過去数年間ですでに低い水準にあったが、さらに現在の非常に低い水準にまで低減されている。この取組みは長期にわたって継続しており、金融危機が発生するよりも前、かつ、規制によって、市場リスクに対して今日と同様の重要性が置かれるようになる前から始まったことである。結果として、当行の利益のうち、金融取引による純損益の占める割合が大幅に少なくなっている。

ハンデルスバンケンのような包括的なサービスを提供する銀行では、柔軟な資金調達が求められるようなサービスに対する顧客需要がある場合に市場リスクが発生する。当行はまた、既に貸付を行っている市場以外の市場において資金調達を行うことにより、資金調達源を多様化することができ、資金調達の対象となる資産とは異なる満期を有する資金を調達することもできる。中央財務部門は、当行が事業を行っている市場で混乱が起きた際にショート・ノートイスで流動性資産に転換できる流動性ポートフォリオの管理も行っている。当該ポートフォリオは、日次清算業務における当行グループの支払を確実に行わせるとともに当行の流動性準備金の一部を形成している。

市場リスクはまた、債券、為替、株式又はコモディティ市場に対するエクスポージャーを伴う金融商品の顧客需要を満たすために発生する。この需要を満たすため、当行は一定のポジションを保有しておかなければならない。例えば、当行が、金融商品の市場価格を形成するマーケット・メーカーとしての役割を果たす場合にこのような状況になる。つまり、当行には大きな取引量があり、これによって当行はスケール・メリットを活用することが合理的に可能となっている。

当行の限度額制度は、市場リスクに対するエクスポージャーの規模を制限している。市場リスクの測定方法及び限度額は、取締役会が決定している。金利リスク、為替リスク及び流動性リスクに対する限度額は、当行の最高経営責任者及び最高財務責任者から中央財務部門長に割り振られる。その後、中央財務部門長は、これらを各業務部門へ割り振る。中央財務部門長は、金利リスク、為替リスク及び流動性リスクの管理に対して最高財務責任者としての運営上の責任を担っている。

当行の最高経営責任者及び最高財務責任者はまた、補完的リスク対策、限度額及び詳細にわたるガイドラインの策定を行う。補完的リスク限度額対策は、主に金融市場のボラティリティに対する当行の総合的な感応度を低減し、特定のポートフォリオのリスク及び通貨毎の流動性リスクを制限することを目的としている。これらの対策はまた、満期の観点から生じるリスクを制限している。当行の最高財務責任者、最高経営責任者及び取締役会は、継続的に市場リスク及び限度額の活用状況に関する報告書を受領している。

当行の業務における市場リスクは、主に中央財務部門、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及びハンデルスバンケン・リヴにおいて生じており、それぞれ管理されている。保険会社であるハンデルスバンケン・リヴにおける市場リスクは、別のセクションに記載されている。そのため、本セクションに記載されている市場リスクに関する情報は、ハンデルスバンケン・リヴを除くリスクについて言及している。

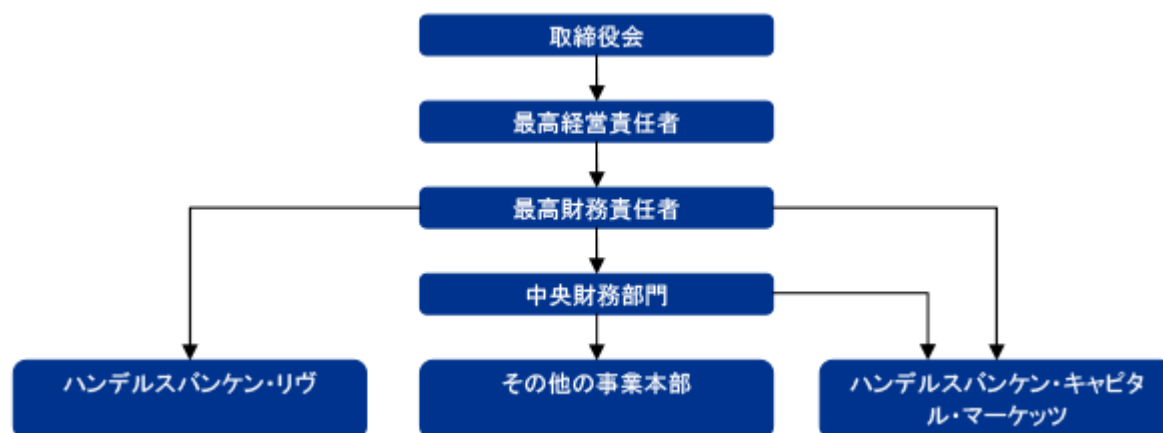
リスク測定

市場リスクは、複数の異なる手法を利用して測定されている。あらかじめ定義された価格及びボラティリティの変動によって生じる価値の変動を表す、様々な感応度測定が用いられている。ポジションに関連したリスク測定及び確率に基づくバリュエーション・アット・リスク・モデル(以下「VaR」という。)も用いられている。VaRは、特定の保有期間にわたる一定の信頼度水準において、市場の変動によりリスク・ポジションに生じるスウェーデン・クローネの損失を示している。

VaR手法は、様々なリスク・クラスを1つの方法で取り扱うことができるため、それぞれを比較することが可能になると同時に、市場リスクの合計を算定することができる。但し、VaRは定義上損失を一定水準に定めるも

のであるため、ハンデルスバンケンは限度額制度上VaRによるリスク測定を非常に限定的に行っており、今後も限定的に行っていく予定である。ここで測定対象となるリスクとは、VaRの定めた損失水準が通常の業務上の許容範囲内にあるかということである。

市場リスクに関する決定及び監視レベル



トレーディング勘定、ハン
デルスバンケン・キャピ
タル・マーケット及び中央財
務部門のVaR

	合計		株式		債券		通貨		コモディティ	
	2014年	2013年	2014年	2013年	2014年	2013年	2014年	2013年	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ										
平均	14	18	1	3	14	18	2	2	1	1
最高	24	42	3	6	24	40	6	5	3	4
最低	8	9	1	1	9	9	0	0	0	0
当年度末	12	14	1	1	13	14	4	1	1	2

VaRで測定したハンデルスバンケンにおけるリスク

ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及び中央財務部門においてトレーディング勘定として分類されているポートフォリオに関するVaRは、個別のリスク・クラス及びポートフォリオ・レベルで99%の信頼度にて、保有期間を1日として算定される。

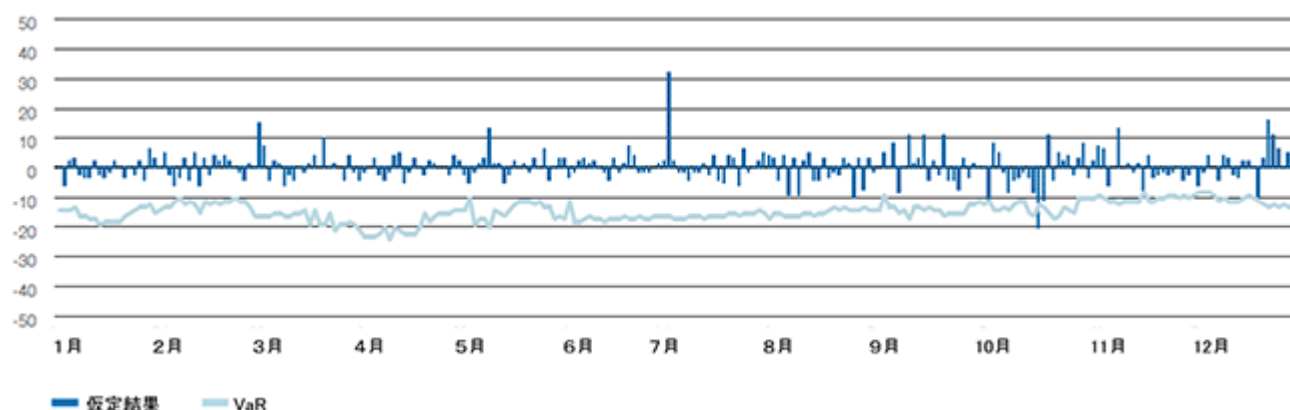
VaRはモデルによる仮定に基づいているため、当該モデルが最新のものであるかを検証することが継続的に行われている。そのため、VaRはバック・テストを行って定期的に評価されている。バック・テストの結果は、四半期毎に当行の最高財務責任者、最高経営責任者及び取締役会に報告されている。これらのテストは損失が予想VaRを超過した場合の日数を検証している。バック・テストは実際の結果と仮説に基づく結果の双方において実施される。後者は、保有期間中にポートフォリオが変動しなかった場合の結果を測定する。

99%の信頼度を有するVaRモデルからは、平均的に毎年1回から4回は測定されたVaRよりも悪い結果が算定されることが見込まれる。そうした回数が予想された回数を上回る場合、当該モデルが実際のリスクを過小評価するというリスクが存在する。2014年には、そうしたことが4回発生し、仮説に基づく結果の方がVaRよりも悪かった。これは、想定される状況からの許容される逸脱であり、99%の信頼度を有するVaRモデルの許容逸脱水準と一致している。

VaRモデルは、極端な市場変動に関連したリスクを常に特定できるわけではない。したがって、このリスク計算は、定期的なストレス・テストで補完される。1994年以降の金融市場において発生したすべての事象に基づ

くシナリオに対してポートフォリオのテストが行われる。これらのストレス・テストの結果もまた、定期的に当行の最高経営責任者、最高財務責任者及び取締役会に報告される。

2014年のトレーディング勘定に関するVaR及び仮説に基づく結果、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及び中央財務部門



トレーディング勘定のストレス・テストにおける最悪の結果、
ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及び中央財務部門

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
平均	27	26
最高	46	69
最低	13	12
当年度末	37	28

金利リスク

金利リスクは、主としてハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット、中央財務部門及び貸出業務において生じる。当行における金利リスクは、複数の方法で測定されている。一般的な金利リスクは、すべての金利について極めて瞬時の1%の上昇又は下落という平行移動が生じた場合の通貨別の公正価値の有利な変動の最小値の合計として測定され、限度額が設定されている。当年度末現在の当行の一般的な金利リスクの合計は、1,431(861)百万スウェーデン・クローネであった。一般的な金利リスクの算定の際には、固定金利期間の定めのない預金については、1日間の固定金利期間があるものと仮定している。これらの預金の固定金利期間を1ヶ月と仮定する場合には、一般的な金利リスクは908(446)百万スウェーデン・クローネである。このリスク測定には、市場価値のある利付商品も市場価値のない利付商品も含まれている。したがって、貸借対照表及び損益計算書への影響を評価することは適切ではない。

特定の金利リスクは、クレジットスプレッドの変動に対する感応度を用いて測定され、限度額が設定されている。このリスクは主に、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及び中央財務部門の流動性ポートフォリオにおいて生じる。このリスクは、異なる格付区分別に測定され、限度額が設定されており、クレジットスプレッド(すなわち、現在のポートフォリオの金利と満期が同一である国債の利回りとの差額)における+/-1ベース・ポイントの平行移動があった場合の最悪の結果としての市価の変動として計算される。この計算は取引相手別を実施され、その計算結果は絶対値の合計として集計される。当年度末における特定の金利リスク総額は、9(7)百万スウェーデン・クローネであった。

トレーディング勘定における金利リスク

ハンデルスバンケンのトレーディング勘定は、トレーディング勘定に分類されているキャピタル・マーケット及び中央財務部門のポートフォリオから構成されている。トレーディング勘定の一般的な金利リスクは117(34)百万スウェーデン・クローネであり、特定の金利リスクは7(7)百万スウェーデン・クローネであった。トレーディング勘定には、様々なストレス・シナリオによって補完されているVaR及びその他のリスク測定が用いられている。イールド・カーブ・ツイスト・リスクは、定期的に測定及び見直しが行われており、様々なイールド・カーブにおける仮定が変更された場合のリスクの推移を示している。例えば、金利オプションのリスクの一部である非線形金利リスクは、マトリックスであらかじめ定義されたストレス・シナリオを用いて測定され、限度額が設定されている。すなわち、このリスクは、基礎となる市場金利及びボラティリティの変動として測定されている。

トレーディング勘定に含まれないポジションの一般的な金利リスク

(イールドカーブが1%平行移動した場合の最悪の結果としての公正価値の変動)

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
スウェーデン・クローネ	764	367
デンマーク・クローネ	206	118
ユーロ	103	34
ノルウェー・クローネ	101	133
米ドル	91	114
英ポンド	60	54
その他通貨	17	11
合計	1,342	831

その他の業務における金利リスク

貸出業務における金利リスクは、資金調達期間よりも固定金利期間の一部が長期になることにより生じる。債券による資金調達においてはその反対となることもある。すなわち、債券の固定金利期間が貸出(債券により資金調達される)の固定金利期間よりも長い場合である。金利リスクは、主に金利スワップ契約によって管理されている。一般に金利リスク・エクスポージャーは、流動性の高い市場に存在する。上記のように測定されるトレーディング勘定に含まれないポジションの一般的な金利リスクは1,342(831)百万スウェーデン・クローネであり、特定の金利リスクは2(1)百万スウェーデン・クローネであった。

金利の変動による損益計算書への影響を見積るために、純利息収益の影響も測定されている。金利が変動した場合の純利息収益の影響は、一般市場金利が1%上昇した場合の12ヶ月間にわたる純利息収益の変動として測定されている。この影響は、貸借対照表の規模が一定であることを前提とした場合の固定金利期間並びにトレーディング勘定に含まれない資産、負債及びデリバティブの残高構成の差異を反映している。この計算においては、固定金利期間の定めのない預金に1ヶ月間の固定金利期間があるものと仮定している。当年度末現在の純利息収益の影響は、788(545)百万スウェーデン・クローネであった。

資産及び負債に関する金利調整期間、2014年

百万スウェーデン・クローネ	3ヶ月以内	3 - 6ヶ月	6 - 12ヶ月	1 - 5年	5年超	合計
資産						
貸出金	1,261,702	85,192	94,117	338,804	28,020	1,807,835

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)
有価証券報告書

銀行及びその他の金融機関	480,157	1,643	194	169	77	482,240
債券等	40,039	4,730	15,057	45,553	17,189	122,568
資産合計	1,781,898	91,565	109,368	384,526	45,286	2,412,643
負債						
預金	980,659	31,768	7,292	1,543	1,007	1,022,269
銀行及びその他の金融機関	185,229	8,208	696	474	5,468	200,075
発行済証券	287,955	94,458	153,569	605,712	101,208	1,242,902
その他負債	-	-	-	-	-	-
負債合計	1,453,843	134,434	161,557	607,729	107,683	2,465,246
オフ・バランスシート項目	-124,028	-12,929	-22,541	138,925	36,792	16,219
資産と負債の差額(オフ・バランスシート項目を含む)	204,027	-55,798	-74,730	-84,278	-25,605	-36,384

この表は、取引日基準で報告された2014年12月31日現在の金利関連資産及び負債の金利更改期間を示したものである。無利子資産及び負債は除かれている。

資産及び負債に関する金利調整期間、2013年

百万スウェーデン・クローネ	3ヶ月以内	3 - 6ヶ月	6 - 12ヶ月	1 - 5年	5年超	合計
資産						
貸出金	1,183,993	79,945	88,320	317,937	26,294	1,696,489
銀行及びその他の金融機関	431,284	1,351	130	87	0	432,852
債券等	30,549	11,182	1,218	42,861	7,508	93,318
資産合計	1,645,826	92,478	89,668	360,885	33,802	2,222,659
負債						
預金	804,844	3,499	2,074	2,277	1,624	814,318
銀行及びその他の金融機関	167,610	6,943	489	125	5,019	180,186
発行済証券	369,497	169,073	24,758	501,699	101,579	1,166,606
その他負債	-	-	-	-	-	-
負債合計	1,341,951	179,515	27,321	504,101	108,222	2,161,110
オフ・バランスシート項目	-200,184	-14,766	5,014	160,395	49,191	-350
資産と負債の差額(オフ・バランスシート項目を含む)	103,691	-101,803	67,361	17,179	-25,229	61,199

この表は、取引日基準で報告された2013年12月31日現在の金利関連資産及び負債の金利更改期間を示したものである。無利子資産及び負債は除かれている。

株価リスク

当行の株価リスクは、主にハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットでの顧客との取引及び当行の株式ポートフォリオにおいて生じている。

株価リスクの表では、当年度末の基礎となる価格及びボラティリティにおける仮定が変動した場合の当行の株式ポジション合計におけるリスクを示している。

トレーディング勘定に内在する株価リスク

ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットの株価リスクは、顧客との間で行った株式関連取引において生じる。ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットは、仕組商品のマーケット・メーカーであり、線形及び非線形双方の株価リスクが発生する。非線形株価リスクは、仕組商品に含まれているオプションを通じて生じる。

顧客ニーズを満たすために行われる自己ポジションの範囲は、当行の取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者が決定した限度額によって制限されている。当行は、マトリクスを用いてハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットの株価リスクを制限及び測定している。この手法の利点は、非線形リスクを含む株価リスクを効果的に特定することである。VaR並びにその他のリスク測定手法及びストレス・シナリオは、株価リスク測定の補完として使用される。補完的リスク対策には、株式市場における配当金リスク、事象リスク及び一般的なボラティリティの変動に対する感応度リスクが含まれている。

株価リスク

百万スウェーデン・クローネ

ボラティリティの変動

株価の変動	2014年			2013年		
	-25%	0%	25%	-25%	0%	25%
10%	833	833	834	581	581	581
-10%	-825	-822	-820	-577	-570	-565

トレーディング勘定外の株価リスク

当行グループの保有株式の大半(88%)は、活発な市場に上場している市場価格で評価される株式で構成されている。非上場証券ポートフォリオは、主に当行の中核事業に関連する種々の共同所有事業で構成されている。このようなポートフォリオは、一般的に当該事業の純資産価値に対する当行の持分、又は代替的に最新の取引における決済価格によって評価されている。トレーディング勘定外の株価エクスポージャーは、売却可能区分に分類されており、貸借対照表上公正価値で計上されている。

トレーディング勘定以外の株式エクスポージャー

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
売却可能に分類されるもの	8,367	5,725
うち上場	6,753	4,369
うち非上場	1,614	1,356
売却可能に分類されるもの	8,367	5,725
うち事業関連	6,198	768
うちその他の持分	2,169	4,957
期首現在における公正価値評価差額準備金	1,217	796

新規購入分と期末保有分から当年度中に生じた未実現の市場価値の変動	237	420
当年度中の売却及び決済による実現額	6	1
期末現在における公正価値評価差額準備金	1,460	1,217
Tier 2資本に含まれるもの	0	1,216

為替リスク

ハンデルスバンケンは、スウェーデン以外を拠点とする市場を有しており、他の複数の国においても事業を行っている。したがって、当行グループの勘定がスウェーデン・クローネで表示されていることによる構造上の為替エクスポージャーが間接的に生じる。構造上のリスクは、可能な限り同一通貨で資産と負債のマッチングを行うことによって、最小限に抑えられる。当行の資本に影響を与える為替リスクの変動については、当年度末報告書70ページ(訳注：原文のページ数である)の持分変動計算書(当行グループ)に記載されている。

当行の直接的な為替エクスポージャーは、国際為替市場における顧客主導の日中取引の結果として生じる。この取引は、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットで行われる。当行の取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者は、為替リスクに関してVaR限度額を設定している。当年度末現在、VaRは3(0.4)百万スウェーデン・クローネであった。

顧客の支払フローの一環として通常の銀行業務において、また中央財務部門の資金調達業務において、ある程度の為替エクスポージャーが生じている。当行の取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者は、これらのエクスポージャーに対して、ポジション限度額を割り当てている。当年度末現在、正味ポジション累計額は、355(186)百万スウェーデン・クローネであった。当行の為替リスクは、個別通貨又は通貨グループの傾向に応じて変動するわけではない。これは、ポジションが非常に短期であり、顧客主導のフローの管理において生じていることによるものである。為替リスク総額は、-6(5)百万スウェーデン・クローネであるが、これは当行のスウェーデン・クローネの損益が5%の変動した場合における当行の収益に対する影響として測定された。

為替感応度(各通貨に対してスウェーデン・クローネが+/-5%変動した場合の最悪の結果)

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
ユーロ	-14	10
ノルウェー・クローネ	-2	-2
デンマーク・クローネ	-1	-2
米ドル	1	-10
英ポンド	0	-5
その他通貨	-10	-10

コモディティ価格リスク

コモディティ関連商品のエクスポージャーは、国際コモディティ市場における顧客に基づく取引の結果としてのみ発生し、当行の取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者が決定した限度額によって制限されている。コモディティ取引は、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットのみで行われている。線形及び非線形コモディティ価格リスクは双方とも、当行がさらされているすべてのコモディティに対するリスクの絶対的な合計として測定されている。当年度末現在、コモディティ価格リスクは、6(24)百万スウェーデン・クローネ

で、該当するコモディティの20%までの価格変動及びボラティリティの35%までの変動に係る最大損失として測定されている。

資金調達及び流動性リスク

流動性リスクは、支払期限が到来した際に、法外な費用又は損失を被らなければ、当行が支払義務を履行することができないリスクである。

当行は、流動性準備金を計上し、キャッシュ・フローの流入及び流出をマッチングさせることによって、長期にわたり流動性リスクを制限することに取り組んできた。流動性リスクの制限は、当行の低いリスク許容度による当然の結果でもあり、新たな流動性規制が策定される前に当行が取り組み始めたことである。ハンデルスバンケンは、資金調達について中央銀行または公的機関から支援を受けることなく、単独で完全な管理を行っているスウェーデンで唯一の銀行であり、最近の金融危機も1990年代初頭の危機も乗り越えてきた。

資金調達戦略

ハンデルスバンケンは流動性リスクに関して低いリスク許容度を有しており、総額として、それぞれ個別の通貨においても流動性リスクを最小限に抑えるために積極的に取り組んでいる。こうした活動により、ハンデルスバンケンは困難な状況においても、流動性への良好なアクセスを提供し、損益の変動を低水準に抑え、顧客の資金調達ニーズを満たす能力を提供することを目指している。これは、当行にとって重要なすべての通貨において、キャッシュ・フローの流入及び流出をうまくマッチングさせると共に質量において十分な流動性準備金を維持することによって達成される。

また、当行は、幅広い資金調達プログラムを確保及び活用することにより、あらゆる投資家が他社と比べて不利益を被らないようにすることを目標としている。こうすることによって、当行は、金融市場における混乱が長引いたとしても、中核事業において、長期にわたって損失を生じないようにすることができる。

この作業を開始するに当たっては、安定した資金源を用いて非流動資産の資金調達が行われている、調和のとれた貸借対照表が必要となる。当該非流動資産は、個人及び法人に対する与信より構成され、これらの与信業務は当行の中核事業を構成している。これらの資産の長期的に安定した資金調達は、スタッドフィポテックで発行されたカバード・ボンド、ハンデルスバンケンで発行されたシニア債、劣後債及び株式より構成されている。中核業務の一部は、個人及び法人への短期貸付であり、負債の部においては、個人及び法人に関する預金の一部が短期預金となっている。

したがって、非流動資産は短期負債では資金調達されないという点が重要な点である。貸借対照表の残りの部分は、流動資産及び短期負債より構成されている。

短期市場での資金調達及び金融機関からの預り金によって、流動資産及び短期の満期を有する資産を提供している。さらに、顧客主導型取引を支援する取引(例えば他の銀行とのデリバティブ取引及びレボ取引等)を通じて、短期の資産及び負債が生じている。

貸借対照表は、資産及び負債の一時点の記録である。当行が顧客及び投資家に対する債務を確実に履行するためには、資金調達及び流動性リスク管理に未来志向の観点を適用することが重要である。したがって、金融市場において長期的なストレスにさらされている状況にあっても、企業及び家計という形態の実体経済のブレイカー及び彼らの与信ニーズを支援することができる形で財務基盤は構築されている。短期資産は、十分な余裕をもって短期負債を裏付けている。以下の図では、預金の20%が1年以内に消滅し、市場で新規の資金調達を行う手段が一切なくなるというストレス・シナリオにおける財務基盤を掲載している。このようなストレス下にもかかわらず、当年度末現在の短期資産は短期負債を476十億スウェーデン・クローネ上回ることが見込まれる。長期的な危機においては、中核事業は維持しつつも、財務基盤は縮小する可能性があり、短期資産の残

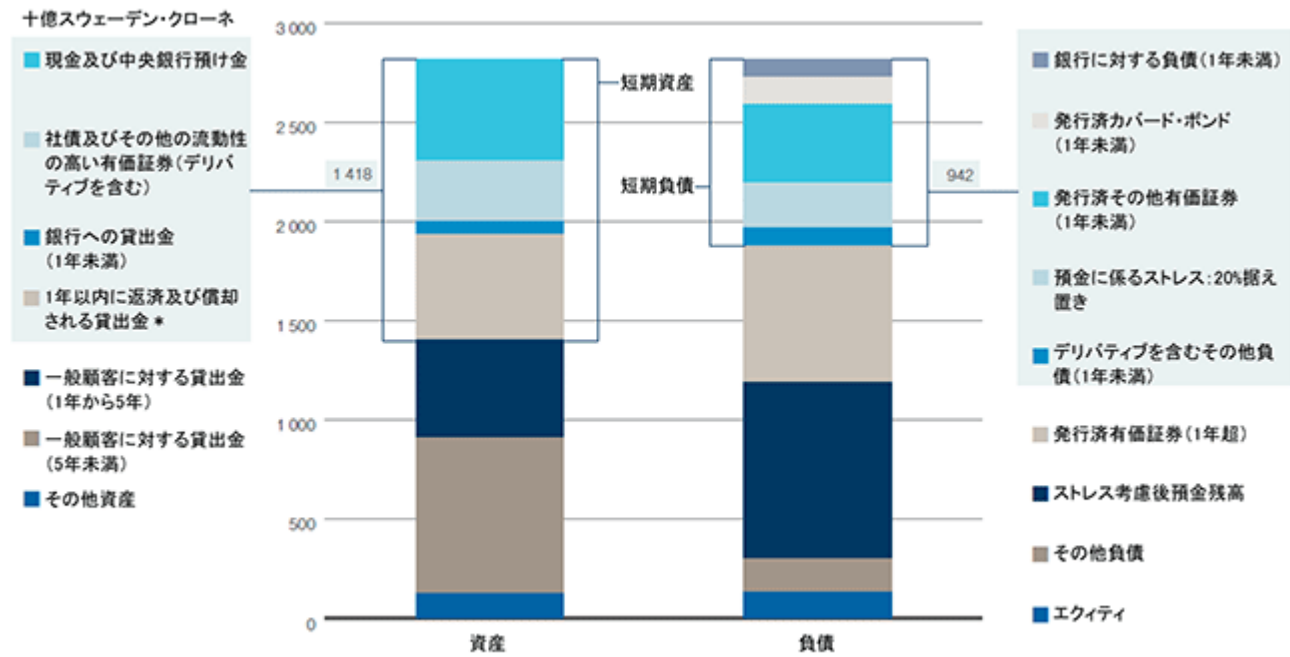
高は徐々に満期を迎える短期負債の償還に用いられる。長期的な危機の状況下においても、当行グループの事業運営が一層維持されるように流動性を創出する手段が用意されている。

市場の観点から常時このような形で財務基盤が構築されていることによって、ハンデルスバンケンは、スウェーデンの金融システム上重要な銀行としての役割を担っている。

市場はハンデルスバンケンに多大な信頼を寄せており、ハンデルスバンケンの信用リスクは非常に低いと評価されている。その根拠の一つは、当行の信用リスクに対する保険コスト（CDSスプレッドとして知られる）はすべての欧州銀行の中で最も低い銀行の一つであり、ハンデルスバンケンは、すべての同業他社に比べ資金調達コストが最も低い銀行である。

様々な市場、通貨及び資金調達対象となる商品の形態において、異なる資金調達源から多様な資金調達を行うことは、資金調達戦略の重要な構成要素である。これにより、個々の市場又は資金調達源における重要な影響を軽減している。当行は近年、長期的かつ国際的な資金調達をかなり拡大しており、例えば、ユーロ圏、英国、米国、アジア及びオーストラリアにおいて大量の債券を発行している。最も重要な資金調達源は、個人及び法人からの預金並びにカバード・ボンド及びシニア債である。短期的な資金調達は、主に、金融関連会社及び機関からの預り金並びに預金証書及び譲渡性預金の発行である。中央財務部門は、中央財務部門が自由に使うことのできる市場での資金調達に関する様々な資金調達プログラムを有しており、これらには資金調達プログラム／限度額の表に掲載されているプログラムの他に、スウェーデン・クローネ建てカバード・ボンドが含まれている。債券及び預金証書は、これらのプログラムに基づき、当行及びスタッドフィポテックの名前で発行されている。当該資金調達プログラムにより、様々な通貨、投資家数及び地理的分布といった面で十分に多様化した資金調達手段が確保されている。

2014年12月31日現在の満期分類別の貸借対照表の構成要素



* 予定償却、契約上の満期及び見積追加返済額

担保資産及びカバー・プール

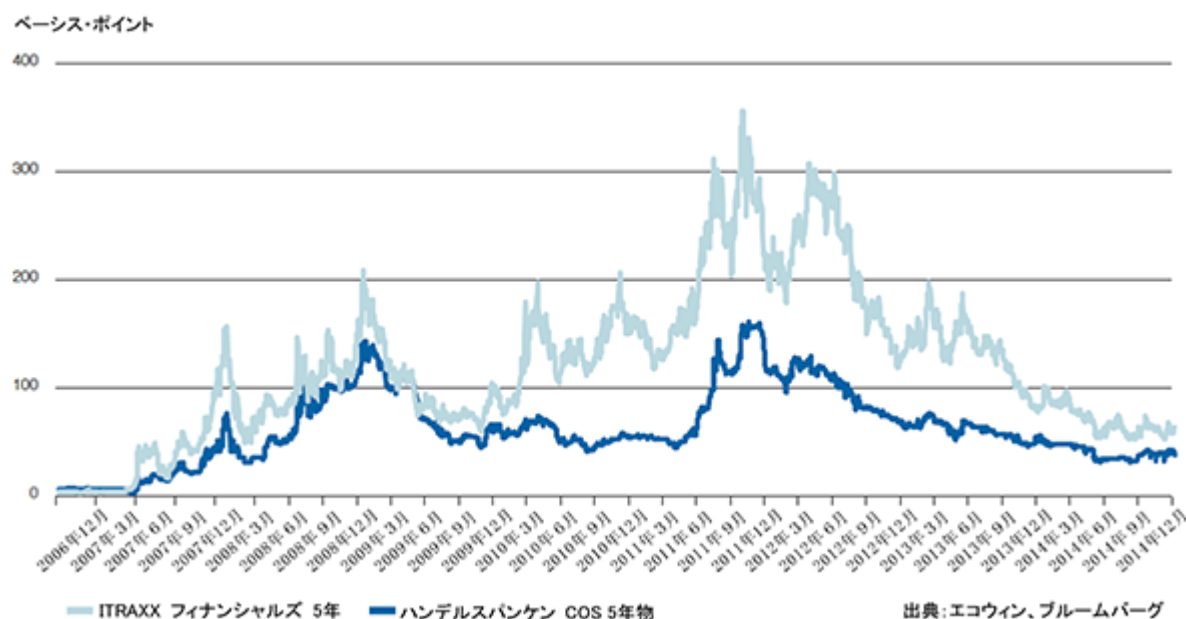
ハンデルスバンケンの流動性管理上、金融市場の混乱時において利用可能な未使用担保を十分に確保することが重要である。追加的な担保設定ができるようにするための必要条件の1つは、当行が当初から処分可能な担保を確保していることである。したがって、当行は、信用格付の高いカバード・ボンド及び流動性の高い証券を発行する際に、担保として利用可能な抵当に入っていない十分な額の資産を確保している。当行は、一定の要件を満たす場合に当行が取引相手に強制的に担保を提供する可能性があるという旨が規定されているクレジット・サポート・アネックス(CSA)契約のような契約を締結することには非常に慎重である。さらに、当行の流動性を確保することに加え、当行のシニアレンダーがカバード・ボンドに投資している貸手よりも劣後する可能性（いわゆる、地位劣後の問題）を制限している。

無担保資金の投資家と担保付資金の投資家との間の劣後関係を評価する上では、担保に供されていない資産の量及び信用の質が関連する要因となる。ハンデルスバンケンのリスク負担に関する厳格なアプローチにより、無担保資産は非常に高品質なものとなっている。ハンデルスバンケンではカバード・ボンド及びシニア債をバランスよく利用したいと考えているため、担保に入っていない住宅抵当貸付がかなりの額で存在している。その他の無担保貸出も、例えば当行の内部格付では非常にリスクが低いと評価されている。

下記の無担保資産の表は、担保に供されていない資産の金額が、無担保資金調達残高の237%に相当することを示している。

スタッドフィポテックのカバー・プールで構成されている担保に供された資産の大部分は、発行済カバード・ボンドの担保として供された住宅抵当貸出より構成されている。当行はまた、当該プールに10%の任意のOC(超過担保、すなわち発行済債券をカバーするために必要な担保に加えた追加資産)を加えている。この追加資産は、住宅抵当貸出の価値が、更なる資産が必要な水準まで下落した場合に、住宅抵当貸出の価値と発行済債券の金額を一致させるために存在する。更なる資産を追加する要否を評価する場合、カバー・プールにおける住宅抵当貸出の融資比率(以下「LTV」という。)が基本的に重要である。不動産市場における価格が下落している場合、LTVが低ければ低いほど、当該プールにより多くの住宅抵当貸出が必要になるリスクは低減される。スウェーデン及びノルウェーのプールの両方におけるハンデルスバンケンのLTV(最大LTV)の平均は、49%であった。すなわち、当行は、住宅抵当貸出を当該プールに追加するまでもなく、該当する不動産価格の大幅な下落に対応することができる。

2007年から2014年までのITRAXXファイナンスと比較したハンデルスバンケンの5年物CDSのスプレッド



ITRAXXファイナンスは、欧州銀行及び保険部門における25の大手債券発行体のCDSスプレッドの指標となっており、会社の信用リスクを受け入れるために投資家が必要とする平均プレミアムを示している。

担保資産及びその他の担保に供されている資産

十億スウェーデン・クローネ

	認識された金額	
	2014年	2013年 ¹
一般顧客への貸出金	623 ²	619
国債	29	31
株式	1	4
現金	31	10
その他	105	90
担保に供されている資産合計	789³	754
その他の担保に供されている資産	36 ⁴	42

一般顧客への貸出金は、償却原価で計上されている。その他の担保に供されている資産は、公正価値で計上されている。担保に関連する負債の計上額は、799十億スウェーデン・クローネであった。

1) この表における資産の分類方法に関する原則は、前年度から変更されている。比較数値は調整されている。

2) うち、カバー・プールにおける超過担保額(OC)は、57十億スウェーデン・クローネである。

3) うち、当行が自由に再徴求可能な担保は、27十億スウェーデン・クローネである。

4) うち、当行が自由に再徴求可能な担保は、27十億スウェーデン・クローネである。

担保に供されていない資産 十億スウェーデン・クローネ	2014年		2013年	
	無担保資金調達 に対する		無担保資金調達 に対する	
	NEA ¹	割合、% ²	NEA ¹	割合、% ²
現金及び中央銀行預け金	519	62	370	48
流動性ポートフォリオにおける流動債券	129	77	90	60
個人向け貸出金(デリバティブを含む)	461		385	
うち住宅ローン	310	114	255	94
うち不動産を担保とした貸出金	15	116	16	96
うちその他個人向け貸付	136	132	114	111
法人向け貸出金(デリバティブを含む)	702		679	
うち住宅ローン	90	142	85	122
うち住宅協同組合への貸出金(住宅ローンを除く)	32	146	24	125
うち不動産会社への貸出金(住宅ローンを含む/除く)				
- リスク・クラス1-3	221	173	203	152
- リスク・クラス4-5	79	182	85	163
- うちリスク・クラス5超	14	184	12	164
うちその他の法人貸出				
- リスク・クラス1-3	169	204	168	186
- リスク・クラス4-5	74	212	71	196
- リスク・クラス5超	23	215	31	200
金融機関への貸出金(デリバティブを含む)	64		69	
- リスク・クラス1-3	63	223	68	209
- リスク・クラス3超	1	223	1	209
その他資産	0	223	0	209
その他貸付	117	237	101	222
担保に供されていない資産合計	1,992	237	1,694	222

1) NEA-担保負担のない資産

2) 無担保による発行済短期及び長期資金調達並びに金融機関に対する債務

受入担保 百万スウェーデン・クローネ	担保として利用可能な受入担保の公正価値		担保に供されている受入担保の公正価値	
	2014年	2013年	2014年	2013年
国債	29	14	1	6

スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)
有価証券報告書

株式	4	10	4	4
合計	33	24	5	10

担保を差し入れている負債及びその他のコミットメントの帳簿価額は、5十億スウェーデン・クローネである。

	スウェーデン		ノルウェー	
カバー・プール・データ				
百万スウェーデン・クローネ	2014年12月31日	2013年12月31日	2014年12月31日	2013年12月31日
スタッドフィボテック貸付総額（一般顧客）	878,943	833,614	64,243	60,902
カバー・プールに関して利用可能な資産	786,304	745,954	58,311	53,365
カバー・プールで使用了資産	600,850	604,316	22,394	14,794
最大LTV加重平均、ASCBの定義による	49.3	49.6	49.4	54.1
取引高加重LTV（LTV - 中間値）	25	25.1	25.4	28.2
LTVの分布				
0-10%	23.9	24.1	23.1	21.1
10-20%	20.9	20.9	22	20.9
20-30%	18.1	18	18.1	18.4
30-40%	15.2	15.1	15.6	16.6
40-50%	12.3	12.3	12.4	13.5
50-60%	9.5	9.4	8.8	9.5
60-70%	0	0.1	0	0
70-75%	0	0.1	0	0
貸出金額、加重平均、スウェーデン・クローネ	638,600	614,400	3,004,800	2,698,600
貸出期間、加重平均、月数	41	39	22	20
固定金利期間、分布				
変動金利%	50	42	100	100
固定金利%	50	58	0	0

組織

ハンデルスバンケンは高度に分散化された事業モデルを有しているが、当行グループの資金調達及び流動性リスク管理業務はすべて中央財務部門に集約されている。資金調達及び流動性リスク管理業務は、取締役会が策定した方針によって管理されている。取締役会はまた、リスク限度額も決定している。この方針は、最高経営責任者及び最高財務責任者によるガイドラインによって補完されている。このガイドラインは、リスク限度額、資金調達構成及び資金調達市場の混乱時における指針を規定している。

資金調達業務における基本的な条件は、市場リスク及び流動性リスクを制限することによって、収益の長期的な安定成長を促進することである。これは、資金調達と貸出のキャッシュ・フローをマッチングさせることによって達成される。したがって、当行は資金調達における経済的なリスクを最小限に抑え、事業部門に対して長期的に安定した金利の設定を行っている。さらにすべての流動性リスク限度額は、中央財務部門を通じて、各事業部へと伝達されている。

近年の金融危機を受けて、新たにいくつかの規制が導入された。当行は、これらの規制が導入される前から、自発的に多数の措置を講じてきた。したがって、当行は長期にわたってこれらの規制に準拠してきた。このような措置には、中央財務部門がすべての資金調達及び流動性管理、長期的な資金調達割合の増加、市場価格、流動性リスク及び満期を反映する内部価格に関する全般的な責任を負うことも含まれている。また、資金調達、流動性リスク及び担保に供されている資産の割合に対する透明性は、著しく向上している。

中央財務部門はまた、当行の清算業務に対する責任を持ち、その日の流動性を監視し、当行の支払債務を満たすために、当行が随時、支払システムにおいて十分な担保を確保できるようにしている。当行は、流動性の監視を地域別に取引の傍らで行っており、当行グループ全体の担保及び流動性準備金を扱う中央管理システムによってその監視が補完されている。当行は、中核事業を支援するのに必要な国際連続同時決済（以下「CLS」という。）及びその他の現地の決済システムに加盟しており、これらのシステムへの加盟により、流動性又は担保の提供による支払い及び決済を確実にしている。

決済システムにおける担保の規模は、当行が通常の状態及び流動性が拡大した状況において債務を履行するのに必要と考える水準に基づいて決定される。流動性が変化する場合には担保及び流動性の規模が調整され、危機の際には担保の再分配が可能となり、流動性準備金の活用も可能となる。当行は、予想される支払い及び決済の実行に備えて、積極的な流動性計画及びすべての通貨の監視を通じて当方勘定の流動性を確保している。

流動性リスクのプライシング

流動性リスク管理の重要な部分は、生じる可能性のある流動性リスクを考慮して、預金及び貸付が内部的に価格設定されていることである。例えば、当行が長期の貸出金を付与する場合、追加的な長期資金調達を行うことが必要になる（より短期の資金調達より調達コストが高くなる）。これは、当行の長期債券を購入した投資家は通常、利回りに加えて、満期までのより高額の補償を要求するためである。このことは、当行内部の価格設定において考慮されなければならない。地域別に流動性リスクを負担させないことにより、当行の内部部門は、当行の財務部門の貸出金に対して、満期に応じて変動する支払いを行わなければならない。内部的な価格設定は、適切なインセンティブを創出し、それによって不健全なリスク負担を回避するために重要である。当行は、長い間、満期に基づく内部的な価格設定を行ってきた。契約によって生じた流動性リスクを考慮に入れて契約単位で価格を設定するシステムが確立されている。このシステムは、2010年にはすでに全面的に導入されていた。

資金調達の構成

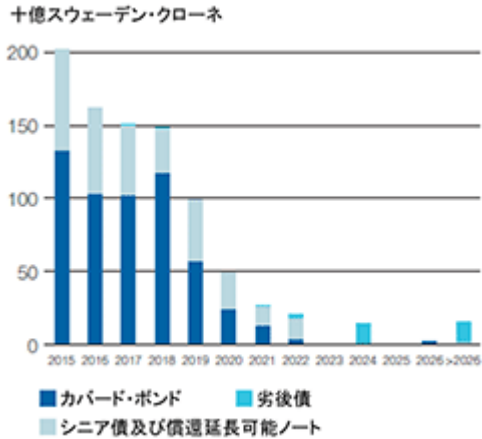
ハンデルスバンケンは、当年度において当行にとって重要なすべての通貨で長期債を発行した。短期資金調達は、主にスウェーデン、欧州及び米国の様々な資金調達プログラムに基づいて、譲渡性預金証書の発行を通じて行われている。これらの資金調達プログラムは、国際インターバンク市場における資金調達によって補完されている。中央財務部門は、貸借対照表上の満期構造及び通貨構成が当行のリスク許容度と一致するようにしている。当年度における長期資金調達では、合計189(281)十億スウェーデン・クローネが発行された。

2014年12月31日現在の資金調達プログラム/限度額

プログラム	プログラム		未使用金額、現在のプログラム	対価(百万スウェーデン・クローネ)
	規模	通貨		
ユーロ・コマーシャル・ペーパー ¹	5,000	ユーロ	3,095	29,342
ユーロ・コマーシャル・ペーパー(スタッドフィボテック) ¹	4,000	ユーロ	3,117	29,550
EMTCN(スタッドフィボテック) ¹	20,000	ユーロ	8,552	81,075
フランスの譲渡性預金証書	7,500	ユーロ	6,693	63,452
MTN ¹	100,000	スウェーデン・クローネ	82,375	82,375
スウェーデンのコマーシャル・ペーパー	25,000	スウェーデン・クローネ	25,000	25,000
スウェーデンのコマーシャル・ペーパー(スタッドフィボテック)	90,000	スウェーデン・クローネ	90,000	90,000
EMTN ¹	50,000	米ドル	26,068	203,324
延長可能ノート	15,000	米ドル	7,924	61,805
スタッドフィボテック US144A	15,000	米ドル	12,250	95,547
US144A/3(a)(2)	20,000	米ドル	10,600	82,677
米国コマーシャル・ペーパー	15,000	米ドル	8,314	64,847
その他の資金調達(1年超) ¹	15,000	米ドル	14,200	110,756
豪ドル建てMTN	5,000	豪ドル	4,350	27,783
スタッドフィボテック豪ドル建てカバード・ボンド・プログラム	5,000	豪ドル	4,250	27,144
サムライ債	400,000	日本円	274,500	17,881
合計				1,092,558
プログラム又は限度額合計(百万スウェーデン・クローネ)	1,664,922			
未使用金額(百万スウェーデン・クローネ)	1,092,558			
未使用割合	66%			

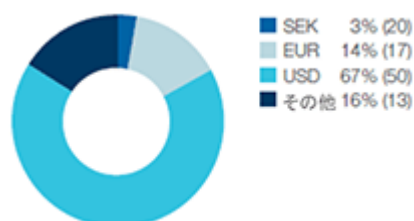
1) 発行時に通貨転換の取決めがある場合、これらのプログラムに基づいて当初のプログラム通貨以外の通貨でも発行が可能である。

長期資金調達の満期プロファイル



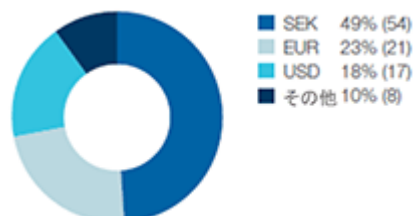
2014年12月31日現在の残存満期が1年超の発行済証券。

通貨別短期資金調達、2014年12月31日現在



残存満期が1年未満の発行済証券及び金融機関からの資金調達に関する、2014年12月31日現在の通貨分布。

通貨別長期資金調達、2014年12月31日現在



残存満期が1年超の発行済証券及び金融機関からの資金調達に関する、2014年12月31日現在の通貨分布。

商品別長期資金調達、2014年12月31日現在



残存満期が1年超の発行済証券に関する、2014年12月31日現在の商品別の分布。

2014年12月31日現在の中央銀行及び銀行に対する残高、並びに

流動性準備金における有価証券残高(市場価値)

(百万スウェーデン・クローネ)

	スウェーデン ・クローネ	ユーロ	米ドル	その他	合計
現金及び中央銀行預け金並びにその他の貸出	5,797	81,766	312,770	103,509	503,842
その他の銀行及び国債局預け金、翌日物	13,697	254	343	1,173	15,467
国債	38,470	7,743	15,946	3,785	65,944
地方債及びその他公的機関発行債	158	-	-	171	329
カバード・ボンド	36,765	2,710	-	11,263	50,738
自己所有カバード・ボンド	8,398	86	-	1,401	9,885
金融機関以外の会社が発行した証券	1,423	432	-	-	1,855
金融機関が発行した証券(カバード・ボンドを除く)	124	96	-	49	269
その他の証券	-	-	-	-	-
合計	104,832	93,087	329,059	121,351	648,329

2013年12月31日現在の中央銀行及び銀行に対する残高、並びに

流動性準備金における有価証券残高(市場価値)

(百万スウェーデン・クローネ)

	スウェーデン ・クローネ	ユーロ	米ドル	その他	合計
現金及び中央銀行預け金並びにその他の貸出	2,034	48,127	235,115	83,075	368,351
その他の銀行及び国債局預け金、翌日物	3	487	539	1,153	2,182

国債	20,609	7,690	12,979	1,462	42,740
地方債及びその他公的機関発行債	6	-	-	-	6
カバード・ボンド	26,097	2,329	0	8,267	36,693
自己所有カバード・ボンド	6,499	73	-	53	6,625
金融機関以外の会社が発行した証券	0	2	974	0	976
金融機関が発行した証券(カバード・ボンドを除く)	1,130	788	417	170	2,505
その他の証券	-	-	-	-	-
合計	56,378	59,496	250,024	94,180	460,078

流動性準備金

当年度末現在のハンデルスバンケンの流動性準備金の合計は800十億スウェーデン・クローネを上回っており、当行の2年超にわたるストレス条件下における流動性要件を満たしている。

ストレス条件下における中核事業を支援するための十分な流動性を確保するため、当行は大規模な流動性準備金を保有している。流動性準備金は、当行が取り扱っているすべての通貨で維持されており、中央財務部門が利用可能なものである。当該流動性準備金は、外国為替市場からは独立した資金調達であり、随時、当行に対して流動性を提供するものである。このうち一部は、即時提供され、その他は一定期間にわたって徐々に提供される。

当該流動性準備金は、複数の異なる部分より構成されている。現金、預金残高及びその他の中央銀行への貸出については、当行が即時流動性を確保することができる部分である。当該準備金はまた、国債、カバード・ボンド及びその他の高品質の有価証券より構成され、これらは流動性が高く、中央銀行への担保として適格なものである。これはまた、当行に即時流動性を提供している。流動性準備金の残りの部分は、カバード・ボンドに関する未使用発行額及びその他の流動性創出対策より構成される。

流動性リスク

当行は、日次で大量のキャッシュ・フローの流入及び流出を取り扱っている。キャッシュ・フローの流入と流出の差額は、限度額を設定することによって制限されている。中央リスク管理部門は、リスクの利用状況について、日次で最高財務責任者、週次で最高経営責任者、定期的に取り締役に報告している。

流動性計画は、個別の通貨に対するキャッシュ・フローの分析に基づいている。一般的に、流動性の高い通貨の方が、流動性の低い通貨よりも、より大きなエクスポージャーが許容される。当該戦略は、当行からの予想キャッシュ・フローの流出が常に当行のキャッシュ・フローの流入と一致していなければならないというものである。キャッシュ・フローの流出と流入は、少なくとも同額である必要があり、ストレス条件下においても正のキャッシュ・フロー及びキャッシュ・ポジションが維持されなければならない。このようなギャップ分析は、シナリオ・テストによって補完されており、そこでは様々な仮定を用いて流動性にストレスをかけて分析している。これらのストレス・テストはグループ・レベルで実行され、当行にとって重要な通貨に対して個別に行われる。当行の流動性の状況に関する内部的な管理は、これらのストレスのかかった流動性の数値に基づいている。

資金調達市場における短期的な混乱に対する対策として、バーゼル委員会とスウェーデン金融監督庁の双方が流動性カバレッジ比率（以下「LCR」という。）を提案しているが、双方の定義は同じではない。

2013年以降、LCRにはスウェーデンの銀行にとって拘束力のある要件が設けられており、ハンデルスバンケンは、スウェーデン金融監督庁の定義に従ってLCRを報告している。この要件は、全体レベルのLCR並びに米ドルとユーロそれぞれのLCRに適用される。この数値は当行の流動性バッファと30日間のストレス・シナリオにおける正味キャッシュ・フローとの比率を示しており、100%を超えなければならない。

短期流動性比率は、場合によっては変動を示すことがあるが、これは、例えば、住宅ローンのために当初長期で資金調達されたものが、新たな長期資金調達に置き換えられる場合、又は短期資金調達におけるカウンターパーティの区分構成が変動する場合に生ずる。年度末現在、当行グループのスウェーデン金融監督庁の定義に従った累積LCRは140(128)%であった。これは、当行が資金調達市場において短期的な混乱に対する確固たる予防策を有していることを示している。また、これは米ドル及びユーロに適用される。

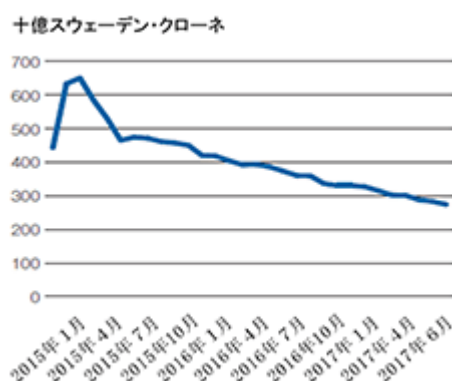
一定の仮定に基づくキャッシュ・フローに対する日次のストレス・テストは、市場における長期的な混乱に対する予防策をテストするために使用される。例えば、個人及び法人の預金の10%が徐々に解約され1ヶ月後に消滅する場合、当行は同じ時期に金融市場において資金調達を行うことはできないと仮定され、さらに当行は中核となる活動を引き続き行うと仮定されている。すなわち、個人及び法人からの定期預金並びに個人及び法人への貸出金は、満期時に更新され、コミットメント及び与信枠の一部は顧客によって使用されると仮定している。当行はまた、中央銀行及び銀行預け金が利用され、中央財務部門の有価証券が、中央銀行における担保として提供される場合、即時に流動性の供給を受けることができることを考慮している。

流動性を創出するための対策もまた、当行へ徐々に流動性を提供するために利用される。これらの条件により、当行の流動性は、2年間高水準に保たれるであろう。したがって、当行はまた、資金調達市場においても、非常に深刻な長期の混乱に対する確固たる予防策を有している。

当行が上記の金融市場における混乱に対する確固たる予防策を維持できる条件は、適正な財務構成を維持することである。95ページ(訳注：原文のページ数である)の図は、預金の20%が1年以内に消滅すると仮定しているストレス・シナリオにおいて流動資産の残高が流動負債の残高を大幅に上回っていることを示している。また、未使用の担保の残高及び質によって、危機の際に当行が必要とする流動性を確保できなければならない。当行が将来に向けて継続的に正の正味キャッシュ・フロー（一時点における比率ではない）を確保することによってもまた、この流動性を長期にわたって確保できる。

満期分析表は、遅くとも規定された期間内に支払うことになっている約定支払コミットメント(利息キャッシュ・フローを含む)に関するキャッシュ・フローを示している。以下の表は、債券及びその他の利付証券が担保として供されるか、又は売却される場合の流動性資産に転換可能な期間を示している。資産・負債・利息のフローについても約定満期日に応じた期間に満期を迎えるものとして示されている。住宅抵当貸出の利息のフローは、当該貸出の資金調達元となっている負債の期間と一致している。金融保証、貸出約定及び未使用の当座借越契約はすべて0から1ヶ月の期間に含めて報告されている。これらの契約残高総額は、必ずしも将来における資金調達が必要なことを表しているわけではない。デリバティブ商品に関しては、キャッシュ・フローは金利スワップについては純額で計上され、為替スワップ等でキャッシュ・フロー総額が支払われるか、又は受領される商品については総額で計上される。

流動性創出措置を含む流動性ストレス・テスト - 累積的流動性ポジション



流動性カバレッジ比率(LCR)、%	2014年	2013年
ユーロ	154	110
米ドル	137	170
合計	140	128

2013年1月1日に施行されたスウェーデン金融監督庁指令第2013:6号に従って算定されている。

流動性カバレッジ比率(LCR) - 内訳

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
流動資産	312,480	162,346
流動資産レベル1	270,364	130,591
流動資産レベル2	42,116	31,755
現金流出	595,043	507,882
顧客からの預金	205,068	165,295
市場からの資金調達	351,164	265,572
その他の現金流出	38,811	77,016
現金流入	372,482	380,912
金融機関以外の顧客に対する貸出の満期による流入	25,437	22,080
その他の現金流入	347,045	358,832

これらの構成要素は、流動性カバレッジ比率並びに流動資産及びキャッシュ・フローの報告に関するスウェーデン金融監督庁の指令及び要件（FFFS 2012年第6号）に従って定義されている。流動資産レベル1は第3章のセクション6に、流動資産レベル2は、第3章のセクション7に対応している。顧客預金は、第4章のセクション4-9に対応している。市場での資金調達は、第4章のセクション10-13に対応している。その他のキャッシュ・フローは、第4章のセクション14-25に対応している。金融機関以外の顧客に対する貸出金は、第5章のセクション4に対応している。その他の現金流入は、第5章のセクション6-12に対応している。

金融資産及び負債の満期分析、

2014年	1ヶ月以内	1ヶ月から 6ヶ月	6ヶ月から 12ヶ月	1年から2年	2年から5年	5年超	不確定満期	合計
百万スウェーデン・クローネ								
現金及び中央銀行預け金	505,579	-	-	-	-	-	-	505,579
中央銀行への担保として適格な								
利付証券 ¹	78,618	-	-	-	-	-	-	78,618
債券及びその他の利付証券 ²	64,389	-	-	-	-	-	-	64,389
金融機関への貸出金	27,920	37,022	812	333	706	4,204	-	70,997
うちリバース・レボ	9,576	32,589	-	-	-	-	-	42,165
一般顧客への貸出金	96,163	226,110	157,476	180,500	350,694	898,017	-	1,908,960
うちリバース・レボ	23,859	-	-	-	-	-	-	23,859
その他	55,897	-	-	-	-	-	235,081	290,978
うち株式及び参加持分	46,546	-	-	-	-	-	-	46,546

スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)
有価証券報告書

うち投資銀行の決済業務に

係る債権	9,351	-	-	-	-	-	-	9,351
資産合計	828,566	263,132	158,288	180,833	351,400	902,221	235,081	2,919,521
金融機関からの預り金	108,169	58,681	982	5,467	1,096	7,993	22,555	204,943
うちレボ	88	-	-	-	-	-	-	88
うち中央銀行	45,647	47,374	116	-	-	-	3,948	97,085
一般顧客からの預金及び借入金	237,220	54,865	14,723	1,709	2,893	8,595	703,632	1,023,637
うちレボ	168	-	-	-	-	-	-	168
発行済証券 ³	80,155	312,655	163,892	189,492	439,450	105,760	-	1,291,404
うちカバード・ボンド	3,255	63,108	89,216	118,756	295,715	43,644	-	613,694
うち当初満期が1年未満の証書								
及びその他の証券	72,171	239,067	46,845	-	-	-	-	358,083
うち当初満期が1年超のシニア債及びその他の証券	4,729	10,480	27,831	70,736	143,735	62,116	-	319,627
劣後負債	388	341	4,931	3,245	24,323	955	-	34,183
その他	28,608	-	-	-	-	-	322,825	351,433
うちショートポジション	20,648	-	-	-	-	-	-	20,648
うち投資銀行の決済業務に係る債務	7,960	-	-	-	-	-	-	7,960
負債合計	454,540	426,542	184,528	199,913	467,762	123,303	1,049,012	2,905,600

オフ・バランスシート項目

金融保証及び未使用コミットメント

387,913

デリバティブ、2014年	1ヶ月から		6ヶ月から					
百万スウェーデン・クローネ	1ヶ月以内	6ヶ月	12ヶ月	1年から2年	2年から5年	5年超	合計	
デリバティブに係る現金流入合計	362,607	459,377	82,332	134,595	293,242	136,415	1,468,568	
デリバティブに係る現金流出合計	355,952	448,422	78,481	126,537	273,046	132,743	1,415,181	
純額	6,655	10,955	3,851	8,058	20,196	3,672	53,387	

1) この金額（利息を除く）のうち、21,927百万スウェーデン・クローネは残存期間が1年未満である。

2) この金額（利息を除く）のうち、6,023百万スウェーデン・クローネは残存期間が1年未満である。

3) この金額（利息を除く）のうち、529,498百万スウェーデン・クローネは残存期間が1年未満である。

「不確定満期」の欄の預金は、要求払預金を意味する。この表には利息キャッシュ・フローが含まれているため、この表の貸借対照表項目の金額は当行グループの貸借対照表上の金額と一致していない。利息キャッシュ・フローが除かれ、外貨建てが含まれている満期表は、ファクト・ブックに記載されている。

金融資産及び負債の満期分析、

2013年	1ヶ月から		6ヶ月から					
百万スウェーデン・クローネ	1ヶ月以内	6ヶ月	12ヶ月	1年から2年	2年から5年	5年超	不確定満期	合計
現金及び中央銀行預け金	369,957	-	-	-	-	-	-	369,957

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)
有価証券報告書

中央銀行への担保として適格な

利付証券 ¹	58,112	-	-	-	-	-	-	58,112
債券及びその他の利付証券 ²	64,863	-	-	-	-	-	-	64,863
金融機関への貸出金	36,091	22,547	206	1,878	-	2,441	291	63,454
うちリバース・レボ	14,966	18,926	-	-	-	-	-	33,892
一般顧客への貸出金	64,580	140,906	131,868	125,351	287,368	1,063,934	3,859	1,817,866
うちリバース・レボ	15,714	-	-	-	-	-	-	15,714
その他	55,730	-	-	-	-	-	183,309	239,039
うち株式及び参加持分	48,595	-	-	-	-	-	-	48,595
うち投資銀行の決済業務に係る債権	7,135	-	-	-	-	-	-	7,135
資産合計	649,333	163,453	132,074	127,229	287,368	1,066,375	187,459	2,613,291
金融機関からの預り金	103,699	39,168	500	107	1,917	14,511	17,197	177,099
うちレボ	748	-	-	-	-	-	-	748
うち中央銀行	41,759	28,189	-	-	-	-	1,634	71,582
一般顧客からの預金及び借入金	164,285	44,456	10,864	2,556	2,518	10,145	591,646	826,470
うちレボ	7,606	-	-	-	-	-	-	7,606
発行済証券 ³	82,109	318,265	54,469	282,719	390,887	113,676	-	1,242,125
うちカバード・ボンド	1,087	83,197	29,789	204,441	255,514	37,863	-	611,891
うち当初満期が1年未満の証券								
及びその他の証券	74,954	196,335	4,394	38,822	-	-	-	314,505
うち当初満期が1年超のシニア債及びその他の証券	6,068	38,733	20,286	39,456	135,373	75,813	-	315,729
劣後負債	13	4,357	1,139	4,524	5,599	3,245	-	18,877
その他	29,947	-	-	-	-	-	296,749	326,696
うちショートポジション	23,170	-	-	-	-	-	-	23,170
うち投資銀行の決済業務に係る債務	6,777	-	-	-	-	-	-	6,777
負債合計	380,053	406,246	66,972	289,906	400,921	141,577	905,592	2,591,267

オフ・バランスシート項目

金融保証及び未使用コミットメント

378,136

デリバティブ、2013年

	1ヶ月以内	1ヶ月から6ヶ月	6ヶ月から12ヶ月	1年から2年	2年から5年	5年超	合計
百万スウェーデン・クローネ							
デリバティブに係る現金流入合計	204,160	401,774	143,837	160,135	277,560	133,681	1,321,147
デリバティブに係る現金流出合計	220,546	384,702	144,406	154,531	269,870	127,844	1,301,899
純額	-16,386	17,072	-569	5,604	7,690	5,837	19,248

1) この金額（利息を除く）のうち、26,098百万スウェーデン・クローネは残存期間が1年未満である。

2) この金額（利息を除く）のうち、11,192百万スウェーデン・クローネは残存期間が1年未満である。

3) この金額（利息を除く）のうち、424,710百万スウェーデン・クローネは残存期間が1年未満である。

「不確定満期」の欄の預金は、要求払預金を意味する。この表には利息キャッシュ・フローが含まれているため、この表の貸借対照表項目の金額は当行グループの貸借対照表上の金額と一致していない。利息キャッシュ・フローが除かれ、外貨建てが含まれている満期表は、ファクト・ブックに記載されている。

保険事業におけるリスク

保険事業におけるリスクは、主として、市場リスク及び保険リスクより構成されている。

市場リスク

ハンデルスバンケン・リヴは、従来型保険契約、ユニットリンク保険契約及びポートフォリオ・ボンド保険契約等の生命保険事業を行っている。ユニットリンク保険契約及びポートフォリオ・ボンド保険契約では、顧客が投資オプションを選択し、市場リスクを負担する。保証利息のある従来型保険では、ハンデルスバンケン・リヴは、保険契約の条件に付随する金融保証を履行するリスクを負担している。

当該金融保証では、保険契約の価値が保険の保証価値を下回る結果が生じた場合に、特定の時点で会社がその不足を補うことで資本拠出を行うことを意味する。年度末又は保険事象が存在する場合に資本拠出が実現する。

ハンデルスバンケン・リヴの取締役会は、年次投資ガイドラインを設定している。このガイドラインは、従来型保険契約に関連する会社の投資資産の割当について規定した最終的な管理文書である。投資に関するガイドラインの目的は、契約の引受並びにスウェーデン保険業法で定められた法定要件及びスウェーデン金融監督庁の適用規則を考慮して、資産を投資する方法について指示することにある。

ハンデルスバンケン・リヴは、厳格なリスク基準を設けている。資産運用の目的は、保険契約者に対して会社の義務を果たすことにある。

ハンデルスバンケン・リヴにおける市場リスクは、従来型保険契約に関する投資資産の管理において生じている他、会社の債務の評価が金利変動に対して敏感になっているという事実から生じている。

ハンデルスバンケン・リヴにおける市場リスク合計は、99.5%の信頼水準を有するVaRを用いて、保有期間を3ヶ月として算定されている。さらに法定要件に従って、会社のソルベンシーマージン比率、リスク管理の体制（いわゆる、交通信号モデル）及び負債のカバー状況の確認が行われている。ハンデルスバンケン・リヴが用いている市場リスク管理モデルは、金融保証金額の現在価値の増加による会社レベルでの資本拠出リスクとともに、保険契約レベルでの資本拠出リスクを加重している。市場リスクは、市場の混乱に対する資本拠出の全体的な感応度に関して測定される。当該リスク・エクスポージャーは、ハンデルスバンケンの取締役会が規定した限度額に対して、日次で確認される。保険契約者に対する資本拠出額とソルベンシーによる拠出額のうち、大きい方がリスクの構成要素となっている。金融リスクのサブ・カテゴリーとしては、金利リスク、株価リスク、信用リスク、不動産リスク及び為替リスクがある。ハンデルスバンケン・リヴの主たるリスクは、金利リスクである。年度末現在、VaRは754(893)百万スウェーデン・クローネであった。

保険事業における流動性リスクは、支払期限到来時に当社が支払義務を満たすことができないか、あるいは当社が妥当な価格で有価証券を売却できないリスクである。当該リスクは、投資資産のほとんどが流動性の高い上場有価証券に投資されているため限定的である。

保険リスク

保険会社は、将来的な保険事象費用の規模に関する仮定に基づいて保険料を設定している。保険リスクとは、実際の保険費用と想定された保険費用が異なるリスクである。最終的な管理文書は、保険会社の取締役会

が策定している保険リスク方針であり、保険契約に関する契約金額を規定している。保険会社の取締役会が採用している補足的な管理文書では、保険契約の締結によって負担することのできるリスクの限度額が規定されている。

ハンデルスバンケン・リヴにおける保険リスクは、以下の事象に関連している。

- ・死亡 - 被保険者の死亡時に保険金受取人に支払われる。
- ・余命 - 被保険者の生存に応じた支払い、例えば年金支給等に応じて支払われる。
- ・疾病 - 病気又は就業不能の際に支払われる。
- ・事故 - 事故の際に支払われる。

保険契約は、これら4つの事象に対する付保の組合せを含む場合がある。

ハンデルスバンケン・リヴの保険契約は、小規模企業及び個人顧客によって締結されている。ほとんどの契約がスウェーデンで締結されているという点を除いて、保険リスクに関しては、リスクの集中は発生していない。

スウェーデンにおける平均余命の伸びは、保険会社の将来的な債務に影響を及ぼす。その影響は、死亡保険に関してはプラスの影響を及ぼすものの、生命保険に関してはマイナスの影響を及ぼす。これは、なぜなら、平均余命が伸びることによって、より長期にわたって年金支払を行わなければならないからである。2009年以降、ハンデルスバンケン・リヴは、業界標準であるDUS06に基づく余命仮定を用いている。死亡率の低下が続く、一般的に会社の仮定を10%下回った場合、終身年金を受け取るグループのうちの高齢者層に対する見積増分費用の現在価値は、81百万スウェーデン・クローネであった。但し、ハンデルスバンケン・リヴのほとんどの生命保険契約の死亡リスクは毎年、設定される。これは、会社が最終的に毎年、保険料を変更できることを意味している。したがって、不適切な死亡率仮定を迅速に変更することができる。

疾病率は、死亡率よりも頻繁に変動するため、リスク結果の変動につながる可能性がある。したがって、疾病率に関する結果は、適用する仮定に対して、実際に何人の被保険者が病気にかかり、何人が回復するかによって変わる。疾病障害保険商品は、一般的に毎年保険料が変動する方法で設計されているため、会社は疾病率の変動に対する埋め合わせをすることができる。2014年における疾病障害保険の実績は72百万スウェーデン・クローネで、このうち59百万スウェーデン・クローネは当年度中に報告された疾病に関するもの、-28百万スウェーデン・クローネは回復する見込みのある既存の疾病に関するもの、残りの41百万スウェーデン・クローネは既発生未報告の疾病に関するものである。

保険事業では、保険市場、保険及びオペレーショナル・リスクについて、保険会社の取締役会及び最高経営責任者、ハンデルスバンケンの中央リスク管理部門並びに当行の最高財務責任者及び最高経営責任者に報告される。また、リスクの状況についても定期的に当行の取締役会に報告される。

ソルベンシー

過去数年間に於いて、ハンデルスバンケン・リヴは、自社の事業を将来の新たな規制上の要求事項に適合させるための取組みを積極的に行っており、2015年度においても継続する予定である。ソルベンシー指令の完全導入は2016年度になる見込みであり、それと同時期にスウェーデン法にもソルベンシー指令が適用される予定である。2014年1月より、その指令の一部が監督当局の監督実務に導入された。例えば、ソルベンシー資本の割引率曲線の計算、交通信号モデル及び負債のカバー状況に関する規定が新たに施行された。

ソルベンシー指令の全般的な目的の1つは、ソルベンシー要件（ひいては、所要自己資本）と保険会社がすべてのリスクを特定、測定及び管理する方法とをより明確に関連づけることによって保険契約者に対する保護を強化することにある。

オペレーショナル・リスク

オペレーショナル・リスクは、不適切な若しくは欠陥のある内部プロセス、人為的ミス、誤ったシステム、又は外部事象による損失リスクである。オペレーショナル・リスクの定義には、法的リスクも含まれている。

ハンデルスバンケンのオペレーショナル・リスクに対するリスク許容度は低く、オペレーショナル・リスクを特定及び管理するために積極的に活動している。こうした活動は、当行のリスクに対する厳格な態度によって補完されている。さらに、費用対効果に十分に焦点を絞ることによっても支援されているが、これはプロセス又は管理体制の欠陥により不要な費用が発生することが多いことによる。

したがって、業務上の誤謬及び欠陥は可能な限り削減されている。これは、小規模であるものの頻繁に発生する事象及び大幅な予想外の損失をもたらす可能性のある重要な事象に適用される。当行の経営陣は、リスク管理に関して、組織を通じて頻繁かつ積極的なオペレーショナル・リスクのフォローアップを実施している。最も深刻な事態につながる可能性のあるオペレーショナル・リスクには特別な注意を払う必要がある。内部監査での業務検査もまた、オペレーショナル・リスクに焦点を絞っている。

オペレーショナル・リスクは、ハンデルスバンケンのすべての業務に存在している。日次でのリスクの特定及び管理に関する責任は、業務のすべての階層において、経営責任の明確かつ重要な一部となっている。当行の作業分散化は費用対効果を向上させ、結果として、日々の手続及び事象における潜在的な損失リスクに対する警戒につながっている。適切な管理体制及び実行可能な未然防止策に焦点を絞ることによって、業務のあらゆる部分において、リスクを許容水準に維持している。

オペレーショナル・リスクは、職務責任を有する管理者が公表する内部指示書に含まれているが、そこには作業分担及び責任、手続の管理構造、並びに情報及び報告システムの目的適合性について記載されている。規定及び手続は年次で評価され、手続の内部統制及び業務フローは文書化されている。各部門の管理者はまた、内部統制、情報セキュリティ、銀行の守秘義務及びその他のセキュリティ対策を含む、セキュリティに関するレビューを年次で実施している。

オペレーショナル・リスクの責任を担っている管理者とは別に、情報セキュリティ及び当行グループのセキュリティに関する特別な責任を有している管理者がおり、最高経営責任者に直接報告を行っている。

業務部門のオペレーショナル・リスクは、リスク管理部門及び内部監査部門によって管理されている。

オペレーショナル・リスクの管理責任は、業務部門、現地のオペレーショナル・リスク管理者、現地のリスク管理部門及び中央リスク管理部門に配分されている。

業務部門は、定期的なリスクの特定及び管理並びに未然防止策の実施についての責任を負っている。

現地のオペレーショナル・リスク管理者は、当行の国内市場以外の地域銀行、主要部門、子会社及び部門に設置されている。これらのリスク管理者は、オペレーショナル・リスクの管理に関する既存の手法及び手続が業務部門で確実に使用されるようにする責任を負っている。これらのリスク管理者はまた、実施されている業務の監督及び適切な未然防止策の実施に対する責任を負っている。

このようなオペレーショナル・リスクの管理が当行の国内市場以外の地域銀行、主要部門、子会社及び部門で適切に実施されているかを検証する現地のリスク管理部門もまた存在する。この検証は、定期的な品質保証及び評価業務によって実現される。

中央リスク管理部門は、オペレーショナル・リスクの特定、助言、管理及び報告のために適用する方法及び手続、並びに当行グループ全体でのフォローアップに対して全般的な責任を負っている。この管理の良好な品質の達成及び維持のために、中央リスク管理部門は、現地のオペレーショナル・リスク管理者及び現地のリスク管理部門と定期的に緊密な連携を取っている。また、中央リスク管理部門は、当行グループのオペレーショナル・リスクを分析し、経営陣及び取締役会に報告する責任を負っている。

当行は、オペレーショナル・リスクの継続的な特定、処理及び管理に対する補完措置として、事故及び自己評価手続に関する報告及び案件管理システムを有している。

当行グループのすべての従業員は、所属する部門に影響を及ぼし、25,000スウェーデン・クローネを超える損失につながる事故についての事実を収集しなければならない。部門におけるリスクの未然防止策を一層促すために、すべての従業員は、25,000スウェーデン・クローネよりも小さい損失が発生する事故又は一切損失が発生しない事故についても事実を収集することが奨励されている。

現地のオペレーショナル・リスク管理者は、報告された事故を定期的に見直し、分類している。当行は、オペレーショナル・リスクを、パーゼル委員会の7種類の事象に従って、以下のとおり分類している。

- ・処理及びプロセスの欠陥
- ・事業活動の中断及びシステム障害
- ・顧客・商品及び取引慣行
- ・外部からの不正
- ・有形固定資産に対する損傷
- ・労務慣行及び職場の安全
- ・内部の不正

この作業には、事故の影響を受けた部門及び支店との協力による未然防止策のフォローアップも含まれている。また、現地のコンプライアンス部門は、業務の一環として、報告された事故の情報を入手し、その事故を監視することもできる。現地のリスク管理部門は、この手続を年次で評価している。その後、中央リスク管理部門は、当行グループ全体レベルでの評価を行っている。

OPRAリスク分析とは、当行に影響を及ぼす可能性のあるオペレーショナル・リスクを文書化し評価するための自己評価手続である。この分析は、すべての部門において少なくとも年に一度実施される。当行の国内市場以外のすべての地域銀行、主要部門、子会社及び国際部門のそれぞれの責任者は、この分析の実施に責任を負っている。現地のオペレーショナル・リスク管理者は、計画及び実施に関する支援を行っている。より複雑な業務を行っている部門では、自己評価手続を複数のセッションに分割している。通常、5人から8人の経験豊富で当該ユニットの全体像とリスク・テイキングを把握している従業員が当該セッションに参加する。目的は、事象の結果及び事象が発生する可能性について評価することである。影響の評価には、財政上の損失及び評判の失墜の双方が含まれる。重要なインプットには、過年度に報告された事故並びに当行グループのその他の部署又は他行及び他社に影響を及ぼした事故の事実及び統計が含まれる。自己評価手続は、リスク軽減について規定する行動計画に結びついており、行動計画には、その実行方法、責任者及び措置を講じる際の期限について記載されている。当該行動計画は作業工程文書であり、現地のオペレーショナル・リスク管理者の支援する業務によって、当年度中に定期的にフォローアップされている。現地のリスク管理部門は、完了したOPRAリスク分析(行動計画を含む)について、その手続を評価できる形で報告を受けている。中央リスク管理部門は、計画、実施及びフォローアップを行う際にオペレーショナル・リスク管理者を定期的に支援し、すべての現地のリスク管理部門による評価を年次で総括的に行っている。

当行は、新商品及びサービス並びに既存の商品及びサービスへの重要な変更を処理する際、慎重に行っている。商品に関する責任を有する各事業分野、子会社及び地域銀行は、最低要件である中央リスク管理部門のガイドラインに従って新商品の処理を行う。これには、商品をどのように導入するか決定する既存のプロセスも含まれる。現地のリスク管理部門が実施するリスク分析は、常に商品の販売開始前に行われている。当該分析は、オペレーショナル・リスクを含む、当行及び顧客に対するリスクを考慮している。中央リスク管理部門は、分析結果の報告を受け、妥当な場合は複雑な案件に関与している。

深刻な混乱に対応するために、当行グループのすべての部署に緊急時における計画及び継続的な計画が設定されている。緊急時における計画は、危機的状況及びその影響に対して迅速かつ組織的な対応を開始するために、危機管理チームを支援するものである。当行グループ全体では中央危機管理チームが存在し、当行の国内

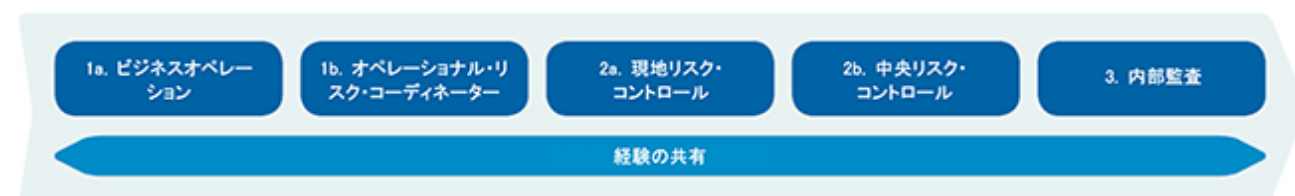
市場以外の各地域銀行、子会社及び国際部門には現地の危機管理チームが存在し、中央IT部門及びハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットにおいても危機管理チームが存在する。

中央危機管理チームには常勤職員がおり、経営陣及び/又は経営陣に近いメンバーより構成される。中央危機管理チームの役割は、当行グループで重大な危機が発生した際に危機管理チーム間の連絡窓口となることであり、深刻な危機の際には現地の危機管理チームの作業を支援し、中央部門の中心となる危機管理チームとして機能することである。継続的な計画は、事業部門の重大な混乱を最小限にとどめるために予防的措置を講じることに重点的に取り組んでいる。現地のリスク管理部門は、この手続を年次で評価している。その後、中央リスク管理部門は、当行グループ全体レベルでの評価を実施している。

ハンデルスバンケンは、オペレーショナル・リスクにおける所要自己資本を算定するために標準アプローチを使用している。所要自己資本は、標準アプローチに従って、規制で定められた係数を直近3事業年度中の平均営業収益に乗じて計算される。異なる事業セグメントにおいては、異なる係数が適用される。

ハンデルスバンケン・グループ全体のオペレーショナル・リスクに関する所要自己資本の合計は、2014年度末現在で4,439(4,246)百万スウェーデン・クローネであった。

ハンデルスバンケンのオペレーショナル・リスク管理



報酬制度におけるリスク

報酬リスクは、報酬制度によって生じる損失又はその他の損害のリスクである。

給与に関するハンデルスバンケンの方針は、当行の競争力及び収益性を増加させ、当行がスキルの高いスタッフを雇用し、定着させ、育成することを可能にし、能力開発及び後継者育成を可能にすることを目的としている。当行における健全かつ長期的な収益性及び実績により、当行従業員にとって安定的、かつ盤石な給与基盤が創出されている。

業務に対する報酬は、従業員毎に個別に設定され、固定給、諸手当及び年金の形態で支払われる。ハンデルスバンケンでは、給与は現地水準で設定される。給与は、従業員と直属のマネージャーとの間で行われる給与の見直しを経て設定される。これらの原則は何年もの間、適用されており、大きな成功を収めている。ここでは、あらゆる階層のマネージャーが定期的に給与プロセスに参加し、当行の給与方針に対する責任を持ち、各自の部門のスタッフ費用の増加に責任を持つことを意味している。給与は、あらかじめ設定された給与決定要素に基づいて決定されている。すなわち、給与決定要素とは業務内容及び難易度、スキル、実績及び成果、指導力(従業員のキャリア形成に対する責任を担っているマネージャーの場合)、市場の需給関係、並びに当行の企業カルチャーの代表者としての役割である。

ハンデルスバンケンの報酬リスクについての許容度は低く、報酬リスクを低水準に抑えるために積極的に活動している。これは、一部において変動報酬を非常に限定された範囲のみに使用することによって、また変動報酬が市場慣行であり、かつ部門の業務目標の達成のために必要となっている分野のみに使用することによって達成されている。変動報酬が存在する場合、繰延払になるという規定になっている。

当行の従業員報酬に対する基本方針は、長年にわたり確立されたものである。当行の報酬制度の基本方針は、取締役会で決定される報酬方針において規定されている。より詳細にわたる実施指令は、最高経営責任者が決定している。報酬リスクの特定及び管理責任は、その業務の責任者である各マネージャーにあり、内部方針文書、ガイドライン及び指示書に従って管理されている。現地のリスク管理部門は、意図されたとおりに報

報酬制度が適用されているかどうかについて定期的に監視している。当行の中央リスク管理部門は、報酬方針が取締役会で協議され、決定される前に報酬方針及び報酬制度に関連するリスクを分析する責任を担っている。これは、少なくとも年1回行われる。報告の際には、インセンティブ構成、固定給と変動報酬のバランス、繰延規定及び自己資本への影響等の要因の分析が行われる。さらに中央リスク管理部門は、報酬制度の適用についても評価している。当該リスク分析及び評価に基づき、報酬制度が当行の財政状態を脅かす可能性のある方法で整備されているかについても評価が行われる。当該責任にはまた、報酬に関連してリスク費用が正確に計算されるようにすることも含まれている。

ハンデルスバンケンの報奨方針及び報酬制度におけるリスクは低く、過剰なリスク負担を是正し、健全かつ効果的なリスク管理を促進するとみなされている。このようなリスク管理は、当行の低いリスク許容度に適合しており、当行の長期的な利益を支援するとみなされている。当該報酬制度は、変動報酬の支払が強制されることによって当行の自己資本が弱体化するリスクのない方法で整備されている。変動報酬の全体又は一部について減額又は対象から除外することが可能であり、これは変動報酬部分と未払繰延変動報酬部分の双方に対して適用される。

当行の報酬制度に関する詳細情報及び統計に関しては、コーポレート・ガバナンス・レポート及び年次報告書の注記G8を参照のこと。

経済資本

ハンデルスバンケンの経済資本算定モデルは、当行グループ全体のリスクに対する1つの尺度を提供している。また、当該モデルは、資本が予想外の損失又は価値の下落を補填できる可能性が非常に高いことを示している。

中央リスク管理部門は、当行グループの様々なリスクについて総合的に監視する責任を有している。当行の経済資本(以下「EC」という。)モデルは、当該監視における手段である。このモデルは、当行の内部的な所要自己資本の評価の基礎でもある。この評価の目的は、当行グループが、当行グループのすべてのリスクに関連して、常に十分な資本を保有できるようにすることである。当行グループの見解では、経済資本は、保険事業におけるリスク及び当行の年金債務におけるリスクも含んでいる。

経済資本は、1年間の対象期間にわたって、容認可能なリスク水準及び望ましい格付を反映した信頼水準で計算される。取締役会は、経済資本の算定を当行にとって極端に不利な事象を取り込み、99.97%の信頼水準で行われなければならないと決定している。ECは平均的な年(収益があり当行の資産価値が増加する年)における結果と99.97%の信頼水準での結果との差額である。

異なるリスク区分間への分散効果は、ECを算定する際に考慮されている。したがって、リスク全体が要する所要自己資本は、個別のリスクに対する経済資本の合計を下回る。これは、リスクの一部が相互に独立しているためである。

負の結果を吸収できるバッファを形成している資本及びその他の財源は、利用可能な財源(以下「AFR」という。)と呼ばれる。AFRは、オン・バランスシート及びオフ・バランスシートのその他の財務的価値の他に、1年間の対象期間にわたって損失をカバーするために利用可能なハンデルスバンケンの資本である。

当行グループは、株主の観点からのリスク管理及び資本管理を採用している。経済資本モデルは当行グループの全体的な見解を示すものであり、これにより株主から見たリスク及び資本の状態を最適化することができる。計算結果は新規取引又は構造上の変更が検討される場合に重要な役割を果たしている。

信用リスクは、当行グループのすべての取引相手及びエクスポージャーに対する債務不履行のシミュレーション結果を用いて算定される。

市場リスクは、トレーディング勘定に分類されている資産のリスク、銀行業務における金利リスク、保険事業における市場リスク及び当行独自の株式ポートフォリオにおける価値の減損リスクより構成されている。

年金債務におけるリスクは、主として、当行の年金債務を引き受けるために存在する価値の減少リスクより構成されている。年金債務のほとんどはスウェーデンにおけるものであり、年金基金において保証され、職業年金基金において保険がかけられている。

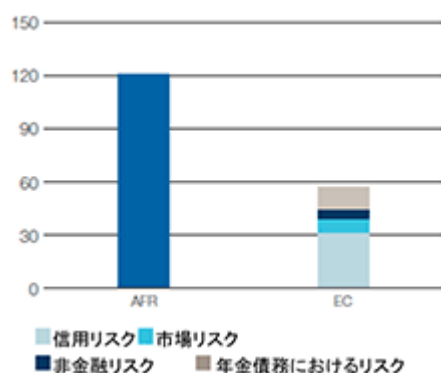
非金融リスクは、オペレーショナル・リスク、事業リスク、不動産リスク及び保険リスクである。事業リスクは、問題となっている事業の損益の予想外の変動に関連している。例えば、事業リスクは、需要又は競争環境が予想外に変化し、結果として取引高の低下及び利鞘の縮小につながってしまうような場合に生じる可能性がある。不動産リスクは、当行が所有している不動産価値の下落のリスクである。

年度末において、ECは57(61)十億スウェーデン・クローネであり、このうち信用リスクが全リスクの重要な部分を占めていた。取締役会は、AFR/EC比率は最低、120%とすると規定している。年度末におけるAFR/EC比率は、214(197)%であり、当行がリスク全般に関して十分な資本を準備していることを示している。スウェーデン金融監督庁は、当行の資本評価全般について、同じ結論に至っている。

報告されたリスク及び資本状態は、リスクの算定に景気変動に対する保守主義的な余裕率が含まれているとはいえ、あくまでも断片的なものである。当行グループの自己資本比率の最終評価を実施するに当たっては、当行の資本計画の一環として実行されたストレス及びシナリオ分析も考慮されなければならない。

2014年12月31日現在における分散化を含むAFR及びEC合計

10億スウェーデン・クローネ



資本計画

ハンデルスバンケンの資本計画は、当行グループの適切な財源を常に利用可能な状態にするとともに資本を最適な構成とすることを目的としている。

資本計画部門は、当行全体の所要自己資本の評価に責任を負っている。所要自己資本は、当行グループの予想される発展、規制、目標比率、ハンデルスバンケンの経済資本モデル及びストレス・テストの関数である。当行の所要自己資本は毎週、最高財務責任者及び最高経営責任者に報告され、少なくとも四半期毎に取締役会に報告される。

当行には、積極的な資本計画の一環として、当行が資本状況を改善する必要がある場合に講じることができる具体的な対策を盛り込んだ危機管理計画及び行動計画がある。危機管理計画及び行動計画の目的は、早い段階で潜在的な脅威を特定し、当行グループが必要に応じて迅速に行動する準備をするための警告システムを確保することにある。

長期資本計画は、毎年策定され、当行グループの現在の資本状況、予想される資本効率及び様々なシナリオにおける結果についての包括的な概要を提示することを目的として策定されている。これらのシナリオは、予想される事象とは大幅に異なるように作成されているため、当行グループの厳格なリスク許容度と調和している。資本計画にはまた、規制上の見解及び株主の見解の双方を考慮し、極端に不利な事業環境においていかに資本状況を満足いく水準に維持するかについての提案も含まれている。

資本計画は、短期及び中長期的な予測に分類されている。資本計画の一部は最大2年後までの短期予測より構成されており、主に既存の業績と所要自己資本の策定に重点を置いている。当該予測は、自己資本の規模及び構成を継続的に調整できるようにするために必要である。

資本計画は、取引高、リスク及び業績の変動についての継続的な分析を通じて、また所要自己資本及び資本金額に影響を及ぼす可能性のある事象を監視することによって実行される。短期予測には、当行グループの自己資本を構成するすべてのサブ・コンポーネントが含まれている。当該作業にはまた、短期的な視点から自己資本比率及び自己資本において予想される変動についての様々な感応度分析を行うことも含まれている。したがって、当行は、例えば市場操作を通じて、必要に応じて資本基盤の規模及び構成を変更する準備を整えることができる。

短期分析の結果は、実施される資本運営の基礎を形成しており、継続的に最高財務責任者に報告され、必要に応じて最高経営責任者及び取締役会に報告される。当該分析は、既存の収益能力が取引高の様々な変動にいかに対処できるか、及び潜在的に可能な資本運営からどのような影響が生じるかについての近い将来における判断のポイントを伴った慎重な基本シナリオに基づくものである。

中長期的な予測より構成される資本計画の一部は、法定自己資本比率に確実に準拠することを目的としており、当行グループのAFRが、経済資本モデルに従って計算されたすべてのリスクに関する妥当な利益率を常にカバーできるようにすることを目的としている。

その目的は、予想される業績を予測することであり、様々なシナリオにおける当行の抵抗力が満足いく水準にあるか否か判断することである。計画期間は最低5年間で、当行グループの事業業績傾向全般を考慮に入れている。

シナリオ及びストレス・テストはまた、継続的に実施される。基本シナリオは、資本予測の基礎を形成している。当該シナリオは利益、取引高の増加、貸倒損失等財政上の仮定並びに株式市場、不動産市場及び債券市場に関する今後5年間の予想される業績より取得されている。基本シナリオは、その後、いくつかの景気循環及び危機シナリオにおける結果と比較される。ストレス・シナリオは、金融市場における異なるマクロ経済変数の影響と歴史的関連との分析に従って策定され、ハンデルスバンケンに最も不利な影響をもたらすと予想されるシナリオを用いて選定される。

内部的な自己資本比率の評価結果は、四半期毎に取締役会に報告される。

2014年度末現在の普通株式等Tier 1比率は、20.4%であった。同日現在のAFR/EC比率は、214%であった。したがって、AFRは、内部的な所要自己資本(EC)の評価額を上回る程の非常に十分な余裕をもって計上されている。

さらに、当行の強みは、将来を見据えた様々なストレス・シナリオを実施することにより強調されており、ハンデルスバンケンの長期的な資本状況が財政上及び規制上の観点において非常に安定していることを示している。

当行グループの規制資本の目標

取締役会は、継続的に当行の資本構成に関する目標を設定している。規制資本の状況に関する内部的な所要自己資本の評価の基礎は、当行の状況（長期及び短期の両方を含む）に関するストレス及びシナリオ分析である。使用するシナリオは、主に当行の内部的なリスク許容度並びに規制及びその他の公的機関による規定に由来する直接的な要件に基づいている。所要自己資本に関する内部評価に加えて、新たな自己資本比率規制が適用された際、スウェーデン金融監督庁は、銀行による内部的な算定数値にかかわらず、スウェーデンの銀行の目標数値が当局の計算した所要自己資本の総額を下回ってはならないことを通知した。当行は、規制資本に関する目標数値を設定する際には、このことを考慮している。

取締役会の決定では、現行の規制の枠組みに基づく当行のガバナンスに最も適した測定数値である普通株式Tier 1比率は、通常の状況下では、スウェーデン金融監督庁が当行に通知した比率よりも1%から3%上回っていなければならない。その他の自己資本の階層(Tier 1比率及び総資本比率)は、それぞれの自己資本の階層について当局が当行に通知した比率よりも少なくとも1%上回っていなければならない。

[次へ](#)

注記G3 純利息収益

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
利息収益		
金融機関及び中央銀行への貸出金	1,642	1,575
一般顧客への貸出金	49,280	52,614
中央銀行への担保として適格な利付証券	719	2,106
社債及びその他の利付証券	1,016	1,898
デリバティブ商品	-2,484	-2,556
その他利息収益	1,359	1,459
利息収益合計	51,532	57,096
うち、金融取引による純損益に計上される利息収益	633	2,633
損益計算書に計上される利息収益	50,899	54,463
利息費用		
金融機関及び中央銀行からの預り金	-1,033	-1,287
一般顧客からの預金及び借入金	-3,686	-4,608
発行済証券	-21,233	-23,137
デリバティブ商品	4,838	3,591
劣後負債	-1,283	-1,214
その他利息費用	-1,523	-3,294
利息費用合計	-23,920	-29,949
うち、金融取引による純損益に計上される利息費用	-265	-2,155
	-23,655	-27,794
純利息収益	27,244	26,669

減損貸出金に係る利息収益98(107)百万スウェーデン・クローネを含む。償却原価で計上される資産及び売却可能資産に係る利息収益は、合計52,407(55,788)百万スウェーデン・クローネであった。償却原価で計上される負債に係る利息費用は、合計28,493(31,385)百万スウェーデン・クローネであった。

注記G4 純手数料及びコミッション収益

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
仲介及びその他証券コミッション	1,104	1,189
ミューチュアル・ファンド	2,475	2,008
カストディ及びその他資産管理手数料	540	427
助言サービス	235	278
保険	637	571

支払	3,133	2,813
貸出金及び預金	1,131	1,124
保証	424	438
その他	464	446
手数料及びコミッション収益合計	10,143	9,294
証券	-225	-228
支払	-1,278	-1,175
その他	-84	-87
手数料及びコミッション費用合計	-1,587	-1,490
純手数料及びコミッション収益	8,556	7,804

注記G5 金融取引による純損益

	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ		
トレーディング、デリバティブ、為替換算等による影響	-955	2,049
損益に公正価値で計上されるその他の金融商品	2,277	-785
うち利付証券	2,259	-707
うち貸出金	18	-78
償却原価で計上される金融商品	160	126
うち貸出金	611	416
うち負債	-451	-290
売却可能金融商品	369	24
ヘッジ会計		
公正価値ヘッジ	-81	-26
うちヘッジ手段	197	-1,575
うちヘッジ対象	-278	1,549
キャッシュフロー・ヘッジの非有効部分	10	28
在外営業活動体の純投資ヘッジの非有効部分	-	-
アンバンドル型の保険契約に係る損益	-3	-59
合計	1,777	1,357

トレーディング、デリバティブ、為替換算等による影響

この項目には、主にトレーディング目的で保有する金融資産及び負債に係る市場価値及び金利の未実現分及び実現分の変動が含まれる。

損益に公正価値で計上されるその他の金融商品

この項目には、当初認識時に損益計算書を通じて公正価値で評価するものとして分類された商品の未実現及び実現価値の変動が含まれる^{*}。これらの商品の未実現価値の変動は、金利及び通貨の影響並びに信用リスクの

変動の影響より構成される。当初認識時からの貸出金の信用リスクの変動による累積変動額として損益計算書に計上された公正価値の変動額は、4(-14)百万スウェーデン・クローネである。

償却原価で計上される金融商品

この項目には、貸出金が繰上償還される場合に生じるキャピタルゲイン/ロス、及び当行が発行した自己株式の買戻しによって生じたキャピタルゲイン/ロスが含まれる。

売却可能金融商品

この項目には、売却可能として分類された金融資産の実現損益が含まれる。これらの資産からの利息収益は、純利息収益に計上されており、配当金はその他配当収益に計上されている。当年度中において、売却可能金融資産に関する未実現変動額がその他包括利益に計上されており、その金額（税引前）は244(586)百万スウェーデン・クローネであった。過年度にその他包括利益に計上されていた売却可能金融商品の変動額で当年度中に損益計算書に振り替えられた実現変動額（税引前）は、51(-51)百万スウェーデン・クローネであった。当該金額は、一部、純利息収益に計上されている。

ヘッジ会計

「公正価値ヘッジ」には、ヘッジ対象となっている金融資産及び負債に対するヘッジ手段及びヘッジ対象リスク構成要素の公正価値の実現及び未実現変動に係る純損益が含まれる。これらのヘッジ手段によって生じる利息収益及び利息費用は、純利息収益に計上される。キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段の価値変動が、ヘッジ対象となる将来キャッシュ・フローの価値変動を上回る場合、「キャッシュフロー・ヘッジの非有効部分」に計上される。在外営業活動体への純投資ヘッジの非有効部分の損益に関する影響は、「在外営業活動体の純投資ヘッジの非有効部分」に計上される。

アンバンドル型の保険契約に係る損益

「アンバンドル型の保険契約に係る損益」は、アンバンドル型の保険契約の金融要素に係る保証利回りを計算する際に生じた損益に相当する。

*) 当行グループの保険事業の投資資産である金融商品によって生じた価値変動は、この項目には含まれていない。保険事業によって生じた損益の計上に関する原則については、注記G1に記載されている。

注記G6 保険リスク

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
保険料収入	510	586
支払保険金	-377	-433
未払保険金の変動	45	25
その他	-13	-36
合計	165	142

注記G7 その他収益

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
賃料収入	34	32

その他営業収益	269	153
合計	303	185

注記G8 人件費

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
給与及び報酬	-7,574	-7,107
社会保障費	-1,851	-1,780
年金費用 ¹	-1,091	-974
利益分配財団に対する拠出	-795	-1,096
その他人件費	-455	-447
合計	-11,766	-11,404

1) 年金費用の構成要素は、年金費用の表において示されている。

給与及び報酬

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
役員 ²	-144	-134
その他	-7,430	-6,973
合計	-7,574	-7,107

2) 親会社の専務取締役及び取締役並びに子会社の最高経営責任者、副社長及び取締役。

男女別分布

%	2014年		2013年	
	男性	女性	男性	女性
役員（取締役を除く）	67	33	70	30
取締役	71	29	69	31
うち親会社	80	20	73	27
うち子会社	70	30	69	31

平均従業員数	2014年	男性	女性	2013年	男性	女性
スウェーデン	7,383	3,402	3,981	7,537	3,465	4,072
ノルウェー	766	415	351	755	412	343
フィンランド	613	259	354	615	256	359
デンマーク	702	347	355	699	348	351
英国	1,667	1,000	667	1,351	813	538
ルクセンブルグ	67	39	28	73	42	31
ドイツ	59	32	27	64	36	28
米国	74	47	27	76	48	28
オランダ	140	86	54	113	74	39
シンガポール	38	9	29	37	9	28
香港	69	26	43	68	26	42

ポーランド	43	16	27	45	18	27
ロシア	1	1	0	5	2	3
その他諸国	70	28	42	65	25	40
合計	11,692	5,707	5,985	11,503	5,574	5,929

百万ユーロを超える報酬³⁾

(人)	2014年	2013年
1.0-1.5百万ユーロ	4	5
1.5-2.0百万ユーロ	1	1
2.0-2.5百万ユーロ	1	-
2.5百万ユーロ超	-	-
合計	6	6

3) 年金及びその他の給与手当を含む。

従業員に対する報酬

ハンデルスバンケン・グループのすべての従業員への報酬に関する方針についての詳細な情報は、コーポレート・ガバナンス・レポートの59ページから60ページ(訳注：ハンデルスバンケンの2014年の年次報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。)に記載されている。ハンデルスバンケンは、従業員のうち当行グループのリスク・プロファイルに重要な影響を及ぼす可能性のある活動を行う者7,662(7,380)名を特定している。ハンデルスバンケンでは、これらの従業員を「特定職員」に指定している。この表では、委員会委任規則(EU) 604/2014及びFFFS 2014年第22号によって最近改訂されたFFFS 2011年第1号に基づく当行グループの特定職員に対する報酬が記載されている。

2014年に、ハンデルスバンケンは、オクトゴーネンの利益分配制度に1,096百万スウェーデン・クローネを割り当てた。当該オクトゴーネンのユニットの価値は、給与費用控除後で常勤従業員1名当たり77,888(74,892)スウェーデン・クローネに相当する。

役員に対する報酬

スウェーデン会社法に従い、年次株主総会では、役員への報酬に関するガイドラインが策定される。2014年度の年次株主総会では、最高経営責任者及び副社長に対して適用される役員への報酬に関するガイドラインが策定された。2014年に、ハンデルスバンケンは役員グループの改編を行った。現在の役員グループ(取締役会を含む)は、コーポレート・ガバナンス・レポートの64ページから65ページ(訳注：ハンデルスバンケンの2014年の年次報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。)に記載されている役員に指名されている人員から構成されている。役員への報酬に関するガイドラインは、すべての役員及び年次株主総会の報酬ガイドラインの対象となる人員に対して適用される。

最高経営責任者及びその他の役員に対する報酬は固定給及び年金給付の形式のみで支給されるが、社用車等の慣習的な給付もある。取締役会の特別決議に従って、ハンデルスバンケンは報酬の一部として住宅を提供することができる。変動報酬の支給は行われない。役員は、当行の他のすべての従業員と同じ条件でハンデルスバンケンの利益分配制度であるオクトゴーネンに加入しており、他の従業員と同じ条件で給与を年金に転換する権利も有している。

ハンデルスバンケン・グループの取締役のうち当行の従業員ではない者は、年次株主総会の決議に従った報酬のみを受け取る。

当行又は当行の子会社の従業員である取締役は、雇用の事由に従って報酬及び年金給付を受け取る。取締役を務めることによって追加的に報酬又は年金給付が支給されることはない。親会社の取締役に対する報酬については、コーポレート・ガバナンス・レポートの62ページから63ページ(訳注：ハンデルスバンケンの2014年の年次報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。)に記載されている。

最高経営責任者の報酬及び年金期間

2014年において親会社の最高経営責任者であるPär Boman氏は、固定給（年金に転換後、11.2(11.3)百万スウェーデン・クローネ）を受領した。Pär Boman氏のその他給付は、0.3(0.2)百万スウェーデン・クローネであった。当行を代表して他の会社の取締役を務めたことによる外部報酬は、当行に支払われている。

最高経営責任者の退職年齢は65歳である。確定給付年金は、60歳になるまで継続的に稼得されるが、その時に法定保険からの予定支払額を含めて年金適格給与^{*}の60%に相当する金額となる。確定給付年金の稼得額は、退職時の支払額に関する保険数理計算に従って再計算される。その代わり、60歳から65歳までの間は、年金適格給与の35%の年金保険料を受け取る。

稼得された確定給付年金が権利確定し、60歳前に退職する場合、最高経営責任者は稼得した確定給付年金の受給権に対する払済保険契約を受領する。

2014年の最高経営責任者の年金費用^{**}は、7.1(5.8)百万スウェーデン・クローネであった。年金に転換する前の年金費用は6.1(5.8)百万スウェーデン・クローネであり、年金適格給与の49.9(51.4)%に相当した。

特定職員²に対する報酬¹、事業セグメント

	2014年		2013年	
	報酬	人数	報酬	人数
百万スウェーデン・クローネ				
スウェーデンにおける支店業務	1,894	3,184	1,668	3,136
英国における支店業務	765	836	506	678
デンマークにおける支店業務	428	456	393	452
フィンランドにおける支店業務	171	307	159	320
ノルウェーにおける支店業務	513	615	479	626
オランダにおける支店業務	39	39	35	40
キャピタル・マーケット	2,005	1,803	1,892	1,724
その他	467	422	417	404
合計	6,282	7,662	5,549	7,380

特定職員²に対する報酬¹

	2014年		2013年	
	上級 経営陣 ³	その他の特定 職員	上級 経営陣 ³	その他の特定 職員
固定報酬稼得額 (百万スウェーデン・クローネ)	138	6,029	128	5,314
変動報酬稼得額 (百万スウェーデン・クローネ)	-	115	-	107
合計	138	6,144	128	5,421

固定報酬のみの人数	21	7,378	19	7,075
固定報酬及び変動報酬の双方を得る可能性のある人数	-	263	-	286
合計人数	21	7,641	19	7,361
変動報酬割当額 (百万スウェーデン・クローネ)	-	115	-	91
うち、繰延部分	-	59	-	45
うち、支払部分	-	56	-	46
変動報酬が割当てられた人数	-	216	-	202
期首繰延変動報酬額	-	102	-	57
当年度中に割当てられた、及び繰延べられた変動報酬	-	59	-	45
当年度中の支払額	-	9	-	-
当年度中の調整額	-	-12	-	-
期末繰延変動報酬額	-	158	-	102
新規雇用に関連する費用として認識される変動報酬保証額 (百万スウェーデン・クローネ)	-	-	-	2
新規雇用に関連する費用として認識される契約上の変動報酬保証額 (百万スウェーデン・クローネ)	-	-	-	-

稼得された報酬は、全額費用として認識されている。稼得された変動報酬は、稼得後の事業年度において、個人レベルに割当てられる。当年度において割当てられた変動報酬は、2013年中に全額稼得されていた。割当てられた変動報酬は、当行の変動報酬に関する方針に従って、支払われるか又は繰延べられる。繰延報酬を処分する権利は、支払時に従業員に譲渡される。すべての変動報酬は、現金で支払われる。当該金額からは、社会保障費は除かれている。当年度中において、特定職員51(81)人に対する解雇給付46(51)百万スウェーデン・クローネが費用として認識され、特定職員52(77)人に対して47(46)百万スウェーデン・クローネの契約が締結された。個人の契約上の解雇給付最高額は、4.1(4.5)百万スウェーデン・クローネである。当年度中の変動報酬保証額は、0(3)人に割当てられている。

- 1) 年金及びその他の給与手当を含む。
- 2) 当行のリスク特性に著しい影響を及ぼす可能性のある任務を負っている従業員(委員会委任規則(EU)604/2014)。
- 3) スウェーデン金融監督庁は、その規則(FFFS 2014年第22号)において、上級経営陣の概念を用いている。ハンデルスバンケンにおいて、上級経営陣とは、専務取締役等に相当する。

親会社のその他の役員の報酬及び年金期間

年金期間

当行のその他の役員である12(12)名は、退職時の年金適格給与の65%を上限とする確定給付退職年金を受領し、その年金適格給与の2%を上限とする年金保険料も受領している。当該役員の最低退職年齢は60歳^{***}であり、確定給付退職年金は雇用期間中継続的に稼得され、当該役員の退職年齢に達した時点で満額稼得される。

退職年齢が65歳である役員1(1)名は、60歳の時点で満額稼得される確定給付退職年金を有しており、60歳になるまで年金適格給与の2%の年金保険料を受領している。60歳から65歳までの間は、年金適格給与の35%に相当する年金保険料を受領している。

7(7)名の役員は、確定拠出年金を受領している。その年金保険料は個人契約によるものであり、年金適格給与の50%を上限としている。当該役員のうち3(3)名は、団体契約であるBTP及びBTPKの65歳を退職年齢とする制度における確定拠出年金の対象でもある。

稼得された確定給付年金は権利確定され、当行の年金基金又は当行の年金ファンドにおいて確保される。退職年齢より前に退職する場合には、その役員は稼得された確定給付年金及び確定拠出年金の受給権に関する払済保険契約を受け取る。

報酬

2014年に、副最高経営責任者であるAnders Ohlner氏は、固定給3.7(3.5)百万スウェーデン・クローネを受領した。その他給付は0.3(0.2)百万スウェーデン・クローネ、年金費用は1.6(1.5)百万スウェーデン・クローネであり、年金適格給与の44.0(45.9)%に相当した。その他の19名の役員は、固定給（年金に転換後、77.9百万スウェーデン・クローネ）を受領した。その他給付は6.4百万スウェーデン・クローネで、年金費用は28.5百万スウェーデン・クローネであった。年金に転換する前の年金費用は28.0百万スウェーデン・クローネであり、年金適格給与の40.3%に相当した。

2014年度の年次株主総会の報酬ガイドラインの対象となる親会社の役員23(19)名、最高経営責任者及び副社長は、固定給（年金に転換後、97.9(89.2)百万スウェーデン・クローネ）を受領した。その他給付は7.3(5.8)百万スウェーデン・クローネで、年金費用は45.6(32.6)百万スウェーデン・クローネであった。年金に転換する前の年金費用は39.4(32.6)百万スウェーデン・クローネであり、年金適格給与の43.8(41.9)%に相当した。これら23名のうち18名は、役員グループに含まれている。

当行を代表して他の会社の取締役を務めたことによる外部報酬は、当行に支払われている。

子会社における報酬

子会社の取締役のうち当行又は当行の子会社の従業員ではない者11(10)名に対する報酬は、1.2(0.8)百万スウェーデン・クローネである。

2014年に、子会社の最高経営責任者及び副社長(22(17)名)は、固定給（年金に転換後、39.0(33.8)百万スウェーデン・クローネ）を受領した。その他給付は1.4(1.9)百万スウェーデン・クローネで、年金費用は5.9(5.7)百万スウェーデン・クローネであった。年金に転換する前の年金費用は5.8(5.7)百万スウェーデン・クローネであり、年金適格給与の19.6(24.8)%に相当した。

子会社の最高経営責任者及び副社長のうちハンデルスバンケンの他の主要業務に従事している者への報酬は、支給されていない。

役員に対する年金債務

2014年12月31日現在、最高経営責任者であるPär Boman氏に対する年金債務^{****}は、169.6(143.3)百万スウェーデン・クローネであった。2014年12月31日現在、副最高経営責任者であるAnders Ohlner氏に対する年金債務は、51.2(45.6)百万スウェーデン・クローネであり、その他の親会社の役員19名に対する年金債務は、729.0百万スウェーデン・クローネであった。

2014年12月31日現在、2014年度の年次株主総会の報酬ガイドラインの対象となる親会社の役員23(19)名、最高経営責任者及び副社長に対する年金債務は、1,185(1,028)百万スウェーデン・クローネであった。これら23名のうち18名は、役員グループに含まれている。

2014年12月31日現在、ハンデルスバンケン・グループの現在及び過去のすべての役員に対する年金債務合計は、2,316(2,308)百万スウェーデン・クローネであった。2014年12月31日現在、親会社の現在及び過去の役員に対する年金債務合計は、2,192(2,124)百万スウェーデン・クローネであった。当行グループのこれらの債務

の対象となる人数は78(75)名であり、そのうち47(44)名は年金受給者である。親会社のこれに該当する人数は63(57)名であり、そのうち42(38)名は年金受給者である。

役員への与信（からの預金）

2014年12月31日現在、役員への与信額は、親会社で206(105)百万スウェーデン・クローネ、子会社で61(50)百万スウェーデン・クローネであった。親会社のこれらの人員からの預金額は、合計で918(629)百万スウェーデン・クローネであった。2014年のこれらの人員に対する与信に係る利息収益は、親会社で合計2.2(3.8)百万スウェーデン・クローネ、子会社で合計1.0(1.9)百万スウェーデン・クローネであった。親会社のこれらの人員からの預金に係る利息費用は、10.2(13.3)百万スウェーデン・クローネであった。

2014年12月31日現在、ハンデルスバンケン・グループの子会社の役員に対する与信額は、235(192)百万スウェーデン・クローネであった。

前述の個人への与信（からの預金）の契約条件は、ハンデルスバンケン・グループのその他の全従業員と同じ方針に従ったものである。すべての与信は、与信評価の対象となる。

- *) 年金適格給与は、年金に転換される前の契約上の固定給より構成される。
- **) 年金費用には、稼得された確定給付年金及び確定拠出年金の保険料が含まれる。
- ***） 2012年1月1日より後に締結された新しい年金契約の条件では、退職年齢は65歳である。
- ****） 年金債務とは、IAS第19号に従って、当行が将来の確定給付年金の支払いに備えて引き当てている金額である。その金額の規模は財務上及び人口統計上の仮定に応じて毎年変わる可能性がある。

正味年金債務

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
確定給付年金債務	24,938	21,556
制度資産の公正価値	23,458	23,289
正味年金	-1,480	1,733

上表の確定給付年金債務及び制度資産に加えて、1989年から2004年までの期間においては、スヴェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelse(年金基金)の特例付加年金に対する引当金が計上された。この引当金には、市場価値が11,970(11,042)百万スウェーデン・クローネである制度資産が含まれている。この特例付加年金によって、当行はその制度資産と同額のコミットメントを負担することになっている。

このコミットメントのうち、9,518(8,655)百万スウェーデン・クローネは条件付債務である。

当年度においては、大幅な制度変更、清算及び縮小は行われなかった。

年金費用

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
勤務費用	-656	-653
確定給付年金債務に係る利息	-729	-640
制度資産に係る利息	781	659
清算及び縮小による利益及び損失	-2	46
社会保障負担額、確定給付年金制度	-12	-10
年金費用、確定給付年金制度	-618	-598

年金費用、確定拠出年金制度	-478	-392
社会保障負担額、確定拠出年金制度	5	16
年金費用合計	-1,091	-974

確定給付年金債務

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
期首残高	21,556	20,712
勤務費用	656	653
確定給付年金債務に係る利息	729	640
給付金支払額	-684	-650
清算及び縮小による利益及び損失	2	-46
数理計算上の利益(-)/損失(+)	2,441	306
外貨換算影響額	238	-59
期末残高	24,938	21,556

2014年のスウェーデンの従業員に対する確定給付債務の計算は、DUS14に基づき行われている。DUS14は市場で一般的に認められている余命に関する仮定であり、スウェーデンの保険当局が公表している統計に基づいている。2013年のこれに該当する計算は、DUS06に基づき行われたものである。

制度資産

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
期首残高	23,289	21,478
制度資産に係る利息	781	659
雇用主の拠出による積立金	280	148
雇用主に対する報酬	-572	-575
従業員に直接支払われる積立金	-176	-159
数理計算上の利益(+)/損失(-)	-320	1,774
外貨換算影響額	176	-36
期末残高	23,458	23,289

制度資産に係る収益

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
制度資産に係る利息	781	659
数理計算上の利益(+)/損失(-)	-320	1,774
実際の収益	461	2,433

制度資産の配分

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
活発な市場に上場している株式	21,316	20,825
活発な市場に上場していない株式	493	414
活発な市場に上場している利付証券	1,807	1,580

活発な市場に上場していない利付証券	224	165
その他制度資産	-382	305
合計	23,458	23,289

制度資産には、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの株式が含まれており、貸借対照表日である2014年12月31日現在の市場価値は0(0)百万スウェーデン・クローネである。スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの発行した社債も含まれており、その市場価値は570(561)百万スウェーデン・クローネである。その他制度資産には、まだ支払われていない年金基金からの補償が含まれている。

数理計算上の利益(-)/損失(+)、確定給付年金債務

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
人口統計上の仮定の変更	762	1,194
財務上の仮定の変更	1,679	-888
合計	2,441	306

将来キャッシュ・フロー

百万スウェーデン・クローネ	2014年実績	2015年予測
給付金支払額	-684	-656

確定給付年金は、主としてスウェーデン、ノルウェー及び英国の従業員に対して支払われる。正味年金債務の合計のうち、スウェーデンの制度は21,311(19,015)百万スウェーデン・クローネ、ノルウェーの制度は1,219(959)百万スウェーデン・クローネ及び英国の制度は2,373(1,559)百万スウェーデン・クローネである。また、ドイツにも小規模の確定給付年金制度があるが、規模の面から重要性はないとみなされることから、詳細の開示は行っていない。

スウェーデンでは、スウェーデン銀行雇用主協会(以下「BAO」という。)とスウェーデン金融セクター組合/スウェーデン専門職連盟との年金契約に従って、65歳から退職年金が支給される。年金額は、所得基準額の7.5倍までは年収の10%としている。所得基準額の7.5倍から20倍までの給与の部分については、退職年金は65%で、所得基準額の20倍から30倍までの給与の部分については、退職年金は32.5%である。所得基準額の30倍を上回る給与については、退職年金は支給されない。

ノルウェーでは、67歳から退職年金が支給される。年金額の一部は、勤続年数及び基準額の12倍を上限とする最終給与に応じて変動する。退職年金(法定年金を含む)は、基準額の12倍を上限とする最終給与の約70%になると予想される。

英国では、確定給付年金は2006年1月1日より前に雇用された従業員に対して支払われる。同日より後に雇用された従業員に対しては、確定拠出年金が支払われる。通常の退職年齢は65歳である。最大退職年金額は、勤続年数40年で達成される年金対象給与の67%程度である。年金対象給与は、現在、137,400ポンドが上限とされている。

年金制度は、外部で積立てが行われている。すなわち、制度資産は信託会社又は類似の法人が保有している。信託会社(又は同等の機関)の活動は、当行グループと制度資産を運用している信託会社(又は同等の機関)との間の関係に適用される国内法及び実務慣行によって規制されており、制度資産を種々の資産により構成する方法についての枠組みが提供されている。スウェーデンでは確定給付年金債務法及び共済組合法が適用され、ノルウェーではノルウェー国民保険法が適用され、英国では標準的な英国年金及び課税に関する法令が適用される。

主要な仮定	スウェーデン		ノルウェー		英国	
	2014年	2013年	2014年	2013年	2014年	2013年

割引率、%	3.0	3.3	2.8	4.1	3.4	4.4
予想昇給率、%	3.5	3.5	3.3	3.8	4.7	5.0
年金指標、%	2.0	2.0	3.0	3.5	3.2	3.4
所得基準額、%	3.0	3.0	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
インフレ率、%	2.0	2.0	1.8	1.8	3.4	3.7
離職率、%	3.0	3.0	0-8 ¹	0-8 ¹	該当なし	該当なし
退職年齢における平均余命（年）	21.9	21.2	21.6	18.0	25.0	23.4
平均デュレーション（年）	16.7	15.6	23.0	21.9	23.0	23.0

1) 年齢に関連する区分；最年少で年率8%、徐々に減少し、最年長で0%となっている。

確定給付年金債務への影響

感応度分析	仮定の変化	確定給付年金 債務の増加		確定給付年金 債務の減少	
		百万スウェーデン・クローネ		百万スウェーデン・クローネ	
		2014年	2013年	2014年	2013年
割引率、%	0.5	2,544	2,063	-2,214	-1,808
予想昇給率、%	1.0	1,508	962	-1,656	-1,287
年金指標、%	0.5	1,183	988	-1,451	-1,430
退職年齢における平均余命 （年）	1.0	766		-767	

上表の感応度分析は、1つの仮定が変化し、それ以外の仮定がすべて一定である場合を前提としている。実務上このような場合が起こる可能性は低く、一部の仮定の変化には相関関係がある可能性がある。確定給付年金債務の重要な数理計算上の仮定に対する感応度を計算する際には、貸借対照表に認識される年金負債を計算する際と同様の手法を適用している。その手法は、会計方針（注記G1のセクション20を参照）において記載されている。2013年度の年次報告書と比較して、感応度分析を作成する際に用いた手法は変更されていないが、感応度分析に退職年齢における平均余命という項目を追加している。

当行は、確定給付年金制度において、いくつかのリスクにさらされている。そのうち、最も重要なリスクは以下のとおりである。

資産のボラティリティ：制度負債は、社債利回りを参照して設定される割引率を用いて計算されている。制度資産の運用実績がこの利回りを下回る場合には、制度に赤字が生じることになる。年金制度の重要な部分を株式が占めており、これらは長期においては社債利回りを上回る程の実績が見込めるものの、短期においてはボラティリティ及びリスクをもたらしている。制度負債は長期的性質を有していることから、当行は、ある程度継続的に株式投資を行うことが当行の長期にわたる年金制度の効率的運用のために戦略上適切であると考えている。

社債利回りの変動：社債利回りが減少すると、その減少の一部は年金制度で保有する社債の価値の増加によって相殺されるものの、制度負債が増加することになる。

インフレ・リスク：制度の年金債務はインフレ率と連動しており、インフレ率が上昇すると制度負債は増加することになる。制度資産はインフレ率によってそれほど重大な影響を受けない。すなわち、インフレ率が上昇すると、制度の赤字幅も拡大することになる。

平均余命：制度の年金債務は、加入者の生涯にわたって給付を提供するためのものである。したがって、平均寿命が延びると、制度負債は増加することになる。

資産負債マッチング (ALM)：制度資産の構成は、年金債務の構成と一致しており、推移することが見込まれる。ALMの全般的な目標は、中長期にわたって、少なくとも年金債務の推移に対応できる程の運用収益を生み出すことである。制度資産の大部分は株式への投資であるが、固定利付商品や現金への投資も行われている。株式の割合を高くすることが、年金制度の効果的な運用のために適切であると考えている。

拠出額に関する取決め：最低拠出額に関する規定は制度によって異なるが、この規定が団体契約又は内部方針に基づく場合、現地の規定に従って測定される年金債務は原則として全額カバーされる。拠出額の水準は、定期的に監視されている。当行は、現行の拠出率は妥当であると考えている。

[次へ](#)

注記G9 その他費用

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
不動産及び建物設備	-1,174	-1,118
外部IT費用	-1,623	-1,704
通信費	-349	-369
旅費及びマーケティング費用	-339	-378
購入したサービス	-995	-1,031
備品費	-207	-202
その他管理費用	-412	-379
合計	-5,099	-5,181

うち、オペレーティング・リースに係る費用

最低リース料	-754	-687
変動リース料	-19	-19
合計	-773	-706

オペレーティング・リースは主として、事務所及び事務所設備の賃借に関する標準的な契約によるものである。事務所賃借料には、通常、インフレ率と固定資産税に関連した変動リース料が含まれている。2014年の最大の個別リース契約費用は、約167(165)百万スウェーデン・クローネであった。主要な契約には変動リース料は含まれていない。

監査人及び監査法人に対する報酬	ケービーエムジーエービー		アーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビー	
	2014年	2013年	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ				
監査業務	-14	-12	-2	-3
当該監査業務以外の監査上の業務	-5	-4	-	-
税務上の助言	-	-	-1	-1
その他サービス	-	-	-	-

当年度中の内部監査費用は、135(132)百万スウェーデン・クローネであった。

注記G10 貸倒損失

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
個別に評価された貸出金に対する引当金		
当年度引当金繰入	-1,982	-1,287
過年度の引当金の戻入れ	305	289
合計	-1,677	-998

集会的引当金

個別に評価された貸出金に対する当年度中の引当金繰入（純額）	76	-60
同種の貸出金に対する当年度中の引当金繰入（純額）	3	15

合計	79	-45
オフ・バランスシート項目		
オフ・バランスシート項目に係る損失	-2	-9
オフ・バランスシート項目に係る過年度の損失の戻入れ	1	0
オフ・バランスシート項目に対する集会的引当金の変動	16	-10
合計	15	-19
償却		
当年度中の実際の貸倒損失	-1,998	-1,503
過年度引当金の取崩し	1,515	1,174
回収	285	196
合計	-198	-133
正味貸倒損失	-1,781	-1,195
減損貸出金等		
百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
減損貸出金	8,702	6,944
個別に評価された貸出金に対する引当金	-3,734	-3,454
集会的に評価された小口かつ同種の貸出金グループに対する引当金	-93	-92
個別に評価された貸出金に対する集会的引当金	-284	-357
減損貸出金純額	4,591	3,041
減損貸出金引当率、%	47.2	56.2
減損貸出金の割合、%	0.25	0.18
集会的引当金を除く減損貸出金引当率、%	44.0	51.1
60日超延滞しているが減損していない貸出金	2,133	2,150
当年度中に正常債権として分類変更された減損貸出金	34	30

契約上のキャッシュ・フローが履行されない可能性が高い場合、貸出金は減損貸出金に分類される。個別引当金の対象となる個別債権は、一部担保でカバーされる場合でも、全額が減損貸出金に含まれる。したがって、受領した担保は、引当率の計算の際に考慮されない。不良債権は、利息、元本返済又は当座貸越の支払がその期限を60日超遅延している貸出金のことである。その他の定義については、236ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2014年の年次報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。）を参照のこと。

潜在的な貸倒損失に対する引当金の変動（2014年）	個別に評価された貸出金に対する引当金	個別に評価された貸出金に対する集会的引当金	集会的に評価された同種の貸出金に対する引当金	潜在的な貸倒損失に対する引当金合計
百万スウェーデン・クローネ				
期首現在引当金	-3,454	-357	-92	-3,903

当年度引当金	-1,982	-	-57	-2,039
過年度引当金の戻入れ	305	76	3	384
実際の貸倒損失に対する充当	1,515		57	1,572
外貨換算影響額等	-118	-3	-4	-125
期末現在引当金	-3,734	-284	-93	-4,111

潜在的な貸倒損失に対する引当金の変動（2013年） 百万スウェーデン・クローネ	個別に評価された貸出金に対する引当金	個別に評価された貸出金に対する集会的引当金	集会的に評価された同種の貸出金に対する引当金	潜在的な貸倒損失に対する引当金合計
期首現在引当金	-3,725	-288	-115	-4,128
当年度引当金	-1,287	-60	-55	-1,402
過年度の引当金の戻入れ	289	-	15	304
実際の貸倒損失に対する充当	1,174		56	1,230
外貨換算影響額等	95	-9	7	93
期末現在引当金	-3,454	-357	-92	-3,903

減損貸出金及び60日超延滞している貸出金、セクター別（2014年）

百万スウェーデン・クローネ	減損貸出金				60日超延滞しているが減損していない貸出金
	総額	引当金	純額 ¹	うち60日超延滞しているもの	
個人	1,569	-813	756	575	1,148
住宅協同組合	49	-21	28	14	25
不動産管理	1,759	-589	1,170	885	397
製造	1,639	-726	913	70	113
リテール	596	-343	253	167	14
ホテル及びレストラン	45	-25	20	11	260
海運	1,615	-405	1,210	-	-
その他運輸及び通信	49	-39	10	9	41
建設	188	-114	74	42	56
電気、ガス及び水道	32	-24	8	8	0
農業、狩猟業及び林業	23	-16	7	1	2
その他サービス	73	-42	31	25	56
持株会社、投資会社、保険会社、ミューチュアル・ファンド等	316	-187	129	34	2
その他法人貸付	749	-483	266	266	19
金融機関	-	-	-	-	-
合計	8,702	-3,827	4,875	2,107	2,133

減損貸出金及び60日超延滞している貸出金、
セクター別（2013年）

	減損貸出金			うち60日超 延滞して いるもの	60日超延滞 しているが 減損していない貸出金
	総額	引当金	純額 ¹		
百万スウェーデン・クローネ					
個人	1,634	-790	844	689	1,316
住宅協同組合	101	-33	68	45	7
不動産管理	1,299	-394	905	560	526
製造	890	-517	373	189	9
リテール	705	-362	343	210	42
ホテル及びレストラン	37	-24	13	11	9
海運	424	-423	1	1	1
その他運輸及び通信	110	-80	30	28	5
建設	194	-116	78	71	88
電気、ガス及び水道	72	-44	28	28	7
農業、狩猟業及び林業	33	-25	8	7	2
その他サービス	153	-101	52	43	33
持株会社、投資会社、保険会社、ミューチュ アル・ファンド等	1,138	-569	569	61	4
その他法人貸付	154	-68	86	74	101
金融機関	-	-	-	-	-
合計	6,944	-3,546	3,398	2,017	2,150

1) 個別に評価された貸出金に対する引当金及び集散的に評価された貸出金に対する引当金を考慮後の帳簿価額。但し、個別に評価された貸出金に対する集散的引当金を除く。

減損貸出金及び60日超延滞
している貸出金、
地理的分布別（2014年）

	減損貸出金			うち60日超延滞し ているもの	60日超延滞 しているが 減損していない貸出金
	総額	引当金	純額 ¹		
百万スウェーデン・クローネ					
スウェーデン	3,455	-1,707	1,748	724	836
ノルウェー	294	-138	156	118	381
フィンランド	949	-685	264	243	622
デンマーク	2,741	-925	1,816	332	26
英国	1,103	-291	812	618	194
オランダ	21	-8	13	11	-
その他欧州	137	-73	64	61	74
北米	-	-	-	-	-
アジア	2	0	2	-	-
合計	8,702	-3,827	4,875	2,107	2,133

減損貸出金及び60日超延滞

している貸出金、

地理的分布別 (2013年)

	減損貸出金			うち60日超延滞し ているもの	60日超延滞 しているが 減損していない貸出金
	総額	引当金	純額 ¹		
百万スウェーデン・クローネ					
スウェーデン	2,605	-1,367	1,238	1,106	1,126
ノルウェー	433	-177	256	214	310
フィンランド	1,090	-444	646	396	153
デンマーク	1,324	-871	453	173	19
英国	320	-106	214	47	459
オランダ	15	-3	12	12	-
その他欧州	140	-65	75	69	83
北米	1,015	-513	502	-	-
アジア	2	0	2	-	-
合計	6,944	-3,546	3,398	2,017	2,150

1) 個別に評価された貸出金に対する引当金及び集散的に評価された貸出金に対する引当金を考慮後の帳簿価額。但し、個別に評価された貸出金に対する集散的引当金を除く。

延滞しているが減損していない貸出金の満期構成

(2014年)

	金融機関への 貸出金	一般顧客への貸出金			合計
		個人 向け	法人 向け	その他	
百万スウェーデン・クローネ					
5日以上1ヶ月以下の延滞	-	2,615	2,989	50	5,654
1ヶ月超2ヶ月以下の延滞	-	312	152	0	464
2ヶ月超3ヶ月以下の延滞	-	202	383	-	585
3ヶ月超12ヶ月以下の延滞	-	609	224	-	833
12ヶ月超の延滞	-	508	207	-	715
合計	-	4,246	3,955	50	8,251

延滞しているが減損していない貸出金の満期構成

(2013年)

	金融機関への 貸出金	一般顧客への貸出金			合計
		個人 向け	法人 向け	その他	
百万スウェーデン・クローネ					
5日以上1ヶ月以下の延滞	-	3,088	1,174	-	4,262
1ヶ月超2ヶ月以下の延滞	-	395	166	-	561
2ヶ月超3ヶ月以下の延滞	-	247	117	-	364
3ヶ月超12ヶ月以下の延滞	-	614	405	-	1,019
12ヶ月超の延滞	-	608	159	-	767
合計	-	4,952	2,021	-	6,973

担保権が実行された資産

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
不動産	465	392
動産	7	12
株式	16	73
帳簿価額	488	477

動産は主として担保権が実行されたリース資産より構成されている。上表に示されている担保権が実行された資産に加え、担保権実行資産は非継続事業にも含まれている。注記G12を参照のこと。債権の保護を目的として、担保権が実行された資産及び負債に関する評価原則については、注記G1に記載されている。

注記G11 不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
器具備品	2	16
不動産	4	1
合計	6	17

注記G12 非継続事業に係る当期利益

	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ		
収益	2,281	2,160
費用	-2,132	-2,015
非継続事業からの営業利益	149	145
法人税	-51	-23
合計	98	122
減損	-57	-
非継続事業に係る当期利益	41	122

非継続事業からの営業利益は、Plastal Groupにおける当行の持分に係る収益より構成されている。Plastal Groupの事業は、自動車産業のエクステリアに用いるプラスチック・コンポーネントの製造より構成される。当行は、状況が整い次第Plastal Groupの事業を売却する意向である。Plastalの公正価値（売却費用控除後）は、帳簿価額を下回っているため、減損が認識されている。減損は、基本的に当年度に認識されたものであり、当年度の法人税には影響しない。Plastalの公正価値は、信頼性の高い測定を行うために同業他社との比準価額や割引キャッシュ・フローのような異なる評価技法を用いて行われている。仮定に関する材料は、可能な限り外部の市場観察から得ている。当該評価は、重要な部分において自社の仮定に依存している。したがって、注記G40に記載されている評価ヒエラルキーにおいて、レベル3に分類されている。当行の非継続事業の評価方針については、注記G1に記載されている。

注記G13 一株当たり利益

	2014年	2013年
当期利益、継続事業、百万スウェーデン・クローネ	15,143	14,173
うち、転換可能劣後ローンに係る利息費用、税引後	-170	-119
当期利益、非継続事業、百万スウェーデン・クローネ	41	122
うち、転換可能劣後ローンに係る利息費用、税引後	-	-
当期利益、事業合計、百万スウェーデン・クローネ	15,184	14,295
うち、転換可能劣後ローンに係る利息費用、税引後	-170	-119
期中に転換された株式の平均株式数(百万株)	0.0	2.1
トレーディング勘定における自己株式の平均保有数(百万株)	-	0.2
発行済株式の平均株式数(百万株)	635.7	634.8
希薄化効果のある株式の平均株式数(百万株)	17.3	12.7
希薄化後発行済株式の平均株式数(百万株)	653.0	647.5
継続事業からの一株当たり利益、スウェーデン・クローネ	23.82	22.33
希薄化後	23.45	22.07
非継続事業からの一株当たり利益、スウェーデン・クローネ	0.06	0.19
希薄化後	0.06	0.19

事業合計からの一株当たり利益、スウェーデン・クローネ	23.89	22.52
希薄化後	23.51	22.26

希薄化後一株当たり利益は、発行済転換株式の転換による影響を考慮に入れて測定される。これは、発行済株式の平均株式数に潜在的な転換株式数が加算され、当期利益が転換可能劣後ローン残高(税引後)に係る当期利息費用に関して調整されることを示唆している。

注記G14 中央銀行へのその他の貸出金

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
中央銀行へのその他貸出金(スウェーデン・クローネ建て)	7,042	2,540
中央銀行へのその他貸出金(外貨建て)	44,005	32,620
合計	51,047	35,160
うちリバース・レボ	1,245	360

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
中央銀行へのその他貸出金(スウェーデン・クローネ建て)	15,483	14,999
中央銀行へのその他貸出金(外貨建て)	34,901	27,218
合計	50,384	42,217
うちリバース・レボ	1,003	1,969

注記G15 その他金融機関への貸出金

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
貸出金(スウェーデン・クローネ建て)		
銀行	1,311	2,902
その他金融機関	409	1,218
合計	1,720	4,120

貸出金(外貨建て)

銀行	23,422	23,492
その他金融機関	45,197	35,286
合計	68,619	58,778

潜在的な貸倒損失	-	-
その他金融機関への貸出金合計	70,339	62,898

うちリバース・レボ	42,138	33,874
-----------	--------	--------

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
---------------	--------------	--------------

その他金融機関への貸出金(スウェーデン・クローネ建て)	13,021	17,140
その他金融機関への貸出金(スウェーデン・クローネ建て)、 保険事業	30	37
その他金融機関への貸出金(外貨建て)	71,681	86,277
その他金融機関への貸出金(外貨建て)、保険事業	11	13
合計	84,743	103,467
うちリバース・レボ	38,420	33,560

注記G16 一般顧客への貸出金

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
貸出金(スウェーデン・クローネ建て)		
個人	664,333	627,212
企業	483,207	491,036
国債局	19,044	5,180
合計	1,166,584	1,123,428
貸出金(外貨建て)		
個人	231,566	200,098
企業	413,797	376,716
国債局	-	-
合計	645,363	576,814
潜在的な貸倒損失	-4,111	-3,903
一般顧客への貸出金合計	1,807,836	1,696,339
うちリバース・レボ	23,858	15,711

平均取引高(国債局を除く)

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
一般顧客への貸出金(スウェーデン・クローネ建て)	1,136,043	1,116,418
一般顧客への貸出金(外貨建て)	609,717	557,638
合計	1,745,760	1,674,056
うちリバース・レボ	16,565	22,665

注記G17 利付証券

	2014年			2013年		
	額面価額	公正価値	帳簿価額	額面価額	公正価値	帳簿価額
百万スウェーデン・クローネ						
中央銀行への担保として適格な利 付証券	76,239	78,223	78,219	56,402	57,471	57,451
社債及びその他の利付証券	61,357	63,722	63,725	61,936	64,123	64,125

合計	137,596	141,945	141,944	118,338	121,594	121,576
うち非上場証券		4,569	4,569		3,240	3,240

発行者別利付証券	2014年			2013年		
	額面価額	公正価値	帳簿価額	額面価額	公正価値	帳簿価額
百万スウェーデン・クローネ						
政府	66,097	68,008	68,005	48,878	49,857	49,837
金融機関	10,828	11,164	11,166	11,044	11,453	11,455
住宅金融専門機関	39,776	41,760	41,760	41,987	43,671	43,671
その他	20,895	21,013	21,013	16,429	16,613	16,613
合計	137,596	141,945	141,944	118,338	121,594	121,576

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
利付証券	120,245	124,215
利付証券、保険事業	8,260	9,139
合計	128,505	133,354

注記G18 株式

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
損益計算書を通じて公正価値で評価されるもの		
上場	34,338	41,019
非上場	3,841	1,851
合計	38,179	42,870

売却可能に分類されたもの

上場	6,753	4,369
非上場	1,614	1,356
合計	8,367	5,725
株式合計	46,546	48,595

注記G19 関連会社に対する投資

ハンデルスバンケンは、個々の関連会社に対する重要な投資を保有していないが、当行グループのサポート、支払サービス等の銀行業務に対して、特に戦略的とみなされる特定の企業がある。当年度中に、FestivalASは、売却されている。この他に、当年度中に所有権又は関連会社のその他投資家との契約において重要な変更は生じていない。すべての投資は非上場である。

関連会社に対する投資

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
期首現在帳簿価額	272	203
当年度持分利益	21	8

法人税	-3	-2
株主の拠出	2	-
配当金	-7	-11
取得	-	73
処分	0	0
回収	-	0
換算差額	1	1
期末現在帳簿価額	286	272

関連会社からの収益

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
当年度利益	18	6
その他包括利益合計	1	1
当年度包括利益合計	19	7

関連会社	企業識別番号	所在地	株式数	議決権、 %	帳簿価額 百万スウェーデン・ クローネ	
					2014年	2013年
Bankomat AB	556817-9716	ストックホルム	150	20.00	50	48
Bankomatcentralen AB	556197-2265	ストックホルム	1,100	21.90	0	0
BDB Bankernas Depå AB	556695-3567	ストックホルム	13,000	20.00	10	9
BGC Holding AB	556607-0933	ストックホルム	25,382	25.40	69	68
Dyson Group plc	163096	シェフィールド	122,387,481	29.99	41	29
Festival AS	993 798 304	クリスティアンサン				7
Finansiell ID-teknik BID AB	556630-4928	ストックホルム	12,735	28.30	24	20
Flisekompaniet Holding AS	992 999 136	オスロ	2,400	47.00	52	53
Getswish AB	556913-7382	ストックホルム	10,000	20.00	2	2
Upplysningscentralen UC AB ¹	556137-5113	ストックホルム	2,448	24.48	38	36
合計					286	272

1) 当行グループに関する情報である。

注記G20 顧客が価値変動リスクを負う資産

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
ユニットリンク及びポートフォリオ保証保険資産	91,739	76,817
その他ファンド資産	3,024	4,064
連結ファンドの持分のうちの非所有持分	-	49
合計	94,763	80,930

2014年1月1日より有効となった連結に関する新しい会計規則（IFRS第10号）により、2013年の「連結ファンドの持分のうちの非所有持分」の数値は、-5,085百万スウェーデン・クローネ調整されている。当該変更の詳細については、注記G1に記載されている。

注記G21 非連結の組成された事業体における持分

2014年

百万スウェーデン・クローネ

資産管理

資産

持分

1,172

顧客が価値変動リスクを負う資産

79,735

金融資産合計

80,907

組成された事業体は、議決権又は同様の権利が、その事業体を支配している企業を判定する上で決め手となる要因ではないとされている事業体のことである。例えば、議決権が管理業務にしか関連しない場合や関連活動が契約上の取決めによって指示される場合などがある。非連結の組成された事業体におけるハンデルスバンケンの持分は限定されており、ファンドの持分より構成されている。ファンドは、ハンデルスバンケンLivにおいて主にユニットリンク契約を通じて所有されている。ユニットリンク契約を通じたファンドへの投資は、連結されることはないため、これらのファンドは非連結の組成された事業体となる（ファンドの連結に関する当行の会計原則については、注記G1を参照のこと。）ハンデルスバンケンはまた、マーケット・メーカーとしての役割を果たしながら、複数のファンドの持分を所有している。非連結の組成された事業体におけるすべての持分の損失に対する最大エクスポージャーは、その持分の現在の帳簿価額である。これらの事業体の資産合計は、関連リスクを理解する上では重要であるとみなされないため、表示されていない。

注記G22 デリバティブ商品

	想定元本/満期			想定元本		正の市場価値		負の市場価値	
	1年超								
百万スウェーデン・クローネ	1年以内	5年以内	5年超	2014年	2013年	2014年	2013年	2014年	2013年
トレーディング									
目的で保有するデリバティブ									
金利関連契約									
オプション	122,095	149,935	5,628	277,658	268,514	3,502	4,179	3,698	4,318
FRA/先物	1,555,336	778,881	-	2,334,217	2,972,228	1,137	421	1,549	143
スワップ	375,806	1,075,335	428,575	1,879,716	2,073,292	45,277	30,661	46,382	30,713
その他の商品	3,058	-	-	3,058	-	0	0	50	-
通貨関連契約									
オプション	60,623	1,668	29	62,320	44,634	663	311	953	234
先物	105,516	9,463	271	115,250	111,213	3,050	1,085	1,709	1,313
スワップ	599,270	125,884	23,645	748,799	785,621	17,074	10,318	6,577	7,740
その他の商品	-	-	-	-	61	0	15	-	120
株式関連契約									
オプション	10,845	24,158	949	35,952	42,699	2,537	3,019	2,371	5,112
先物	10,306	-	-	10,306	4,416	8	9	36	35
スワップ	28,324	7,409	128	35,861	34,688	736	691	1,999	2,486
その他の商品	2,362	-	-	2,362	677	-	3	39	494
コモディティ関連契約									
オプション	2,155	2,253	122	4,530	5,067	183	105	528	992

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)
有価証券報告書

先物	26,074	2,446	148	28,668	21,047	1,002	375	1,079	377
スワップ	12	-	-	12	313	-	-	8	49
その他の商品	-	-	-	-	457	-	132	-	420
信用関連契約									
オプション	-	-	-	-	0	-	-	-	-
スワップ	1,195	7,640	729	9,564	10,049	620	544	91	-
その他の商品	-	-	-	-	0	-	-	-	45
その他デリバティブ 契約	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	2,902,977	2,185,072	460,224	5,548,273	6,374,976	75,789	51,868	67,069	54,591

公正価値ヘッジ・デリバ
ティブ

金利関連契約									
オプション	5,750	4,745	-	10,495	12,545	6	21	-	-
スワップ	11,011	-	-	11,011	50,218	-	-	196	762
その他の商品	-	-	-	-	-	-	-	-	-
通貨関連契約									
スワップ	-	-	965	965	817	63	177	-	-
合計	16,761	4,745	965	22,471	63,580	69	198	196	762

	想定元本/満期			想定元本		正の市場価値		負の市場価値	
	1年超								
百万スウェーデン・ クローネ	1年以内	5年以内	5年超	2014年	2013年	2014年	2013年	2014年	2013年
キャッシュフ ロー・ヘッジ・ デリバティブ									
金利関連契約									
スワップ	96,392	323,683	85,878	505,953	454,746	25,976	17,995	3,598	4,313
通貨関連契約									
スワップ	31,449	201,132	56,518	289,099	248,714	26,919	5,935	4,644	7,898
合計	127,841	524,815	142,396	795,052	703,460	52,895	23,930	8,242	12,211
デリバティブ商品 合計	3,047,579	2,714,632	603,585	6,365,796	7,142,016	128,753	75,996	75,507	67,564

うち、証券取引 所上場デリバ ティブ				1,314,691	1,692,917	676	319	1,804	867
うち、CCPで決 済されたOTC デリバティブ				716,067	736,270	12,009	2,834	11,140	2,479
貸借対照表上相殺 された金額						-12,629	-6,035	-12,629	-6,035

貸借対照表上の純額	116,124	69,961	62,878	61,529
市場価値の通貨別内訳				
スウェーデン・クローネ	-253,325	32,046	17,138	209,182
米ドル	396,046	44,929	98,084	-204,134
ユーロ	121,792	98,651	-60,771	15,845
その他	-135,760	-99,630	21,056	46,671

上表においては、デリバティブ契約は総額で表示されている。当行が契約上のキャッシュ・フローを純額で決済する法的権利及び意思を有している契約（清算された契約を含む）に関しては、契約の市場価値により相殺されている。これらの契約は、貸借対照表において、取引相手及び通貨別に純額で表示されている。

当行は、当初認識時に評価モデルを用いて測定された価値と、取引価格との正の差額（取引日利益）をデリバティブの期間にわたり償却している。年度末において、これらの未認識の取引日利益は、465(396)百万スウェーデン・クローネであった。

注記G23 金融商品の相殺

2014年 百万スウェーデン・クローネ	デリバティブ	買戻し契約、証券借入及び 類似した契約	合計
相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び類似した 契約の対象となる金融資産			
認識済金融資産総額	128,753	68,887	197,640
貸借対照表上で相殺される認識済金融負債総額	-12,629	-	-12,629
貸借対照表に表示された金融資産、純額	116,124	68,887	185,011
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
貸借対照表上で相殺されない金融商品	-45,652	-	-45,652
受領した担保	-38,191	-68,857	-107,048
純額	32,281	30	32,311
相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び類似した 契約の対象となる金融負債			
認識済金融負債総額	75,507	256	75,763
貸借対照表上で相殺される認識済金融資産総額	-12,629	-	-12,629
貸借対照表に表示された金融負債、純額	62,878	256	63,134
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
貸借対照表上で相殺されない金融商品	-45,652	-	-45,652
担保として差し入れた資産	-9,674	-256	-9,930
純額	7,552	0	7,552
2013年 百万スウェーデン・クローネ			
	デリバティブ	買戻し契約、証券借入及び 類似した契約	合計
相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び類似した 契約の対象となる金融資産			
認識済金融資産総額	75,996	53,586	129,582
貸借対照表上で相殺される認識済金融負債総額	-6,035	-	-6,035
貸借対照表に表示された金融資産、純額	69,961	53,586	123,547
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
貸借対照表上で相殺されない金融商品	-41,036	-	-41,036
受領した担保	-10,540	-53,569	-64,109
純額	18,385	17	18,402
相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び類似した 契約の対象となる金融負債			
認識済金融負債総額	67,564	8,352	75,916
貸借対照表上で相殺される認識済金融資産総額	-6,035	-	-6,035
貸借対照表に表示された金融負債、純額	61,529	8,352	69,881
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
貸借対照表上で相殺されない金融商品	-41,036	-	-41,036
担保として差し入れた資産	-4,793	-7,889	-12,682
純額	15,700	463	16,163

デリバティブ商品は、2つ以上のデリバティブの決済が当行の予測キャッシュ・フローを反映している場合に、貸借対照表上で相殺される。この相殺は、当行が合意したキャッシュ・フローを決済する契約上の権利及び意図の両方を有している場合に行われる。デリバティブの残存カウンターパーティ・リスクは、ネットティング契約を通じて（すなわち、破産の状況下において、同一の取引相手とのすべてのデリバティブ取引における正の価値と負の価値を相殺することによって）軽減されている。ハンデルスバンケンは、すべての銀行取引相手との間でネットティング契約を締結することを方針としている。ネットティング契約は、正味エクスポージャーに対して担保を提供する契約により補完されている。使用される担保は主に現金であるが、国債も使用される。買戻し契約並びに有価証券借入及び貸付契約に関する担保は、通常、現金又はその他の有価証券の形態をとっている。

注記G24 無形資産

2014年 百万スウェーデン・クローネ	のれん	商標及び その他の権利	顧客契約	内部開発 ソフトウェア	合計 2014年
期首取得原価	6,431	57	367	1,476	8,331
無形資産取得原価追加分	-	-	-	257	257
処分及び除却	-	-	-	-153	-153
外貨換算影響額	166	7	41	1	215
期末取得原価	6,597	64	408	1,581	8,650
期首償却及び減損累計額	-	-6	-45	-445	-496
処分及び除却	-	-	-	153	153
当年度の償却	-	-11	-19	-128	-158
当年度の減損	-	-	-	-9	-9
外貨換算影響額	-	-2	-6	0	-8
期末償却及び減損累計額	-	-19	-70	-429	-518
帳簿価額	6,597	45	338	1,152	8,132

2013年 百万スウェーデン・クローネ	のれん	商標及び その他の権利	顧客契約	内部開発 ソフトウェア	合計 2013年
期首取得原価	6,273	3	143	1,220	7,639
無形資産取得原価追加分	144	51	209	336	740
処分及び除却	-	-	-	-82	-82
外貨換算影響額	14	3	15	2	34
期末取得原価	6,431	57	367	1,476	8,331
期首償却及び減損累計額	-	-	-31	-402	-433
処分及び除却	-	-	-	82	82
当年度の償却	-	-6	-13	-121	-140
当年度の減損	-	-	-	-2	-2
外貨換算影響額	-	0	-1	-2	-3
期末償却及び減損累計額	-	-6	-45	-445	-496

帳簿価額	6,431	51	322	1,031	7,835
------	-------	----	-----	-------	-------

	のれん		耐用年数が不確定の 無形資産	
	2014年	2013年	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ				
スウェーデンにおける支店業務	3,331	3,331	-	-
英国における支店業務	173	152	-	-
フィンランドにおける支店業務	16	15	-	-
デンマークにおける支店業務	2,373	2,224	-	-
ノルウェーにおける支店業務	694	699	-	-
キャピタル・マーケット	10	10	3	3
合計	6,597	6,431	3	3

のれん及び耐用年数を確定出来ない無形資産に関する減損テスト

認識済みののれんは、主にハンデルスバンケンの国内市場における伝統的な銀行業務で取得されている。のれん及び耐用年数を確定出来ない無形資産には、毎年、年次決算にあたり減損テストが実施される。減損テストを実施する際に、のれんが割り当てられている単位の使用価値は、見積将来キャッシュ・フロー及び最終価値を割り引くことによって算定されている。上表ののれんは、事業セグメント間で配分されている。内部で事業セグメントよりも小さな単位で把握されているのれんには、そのより小さな単位で減損テストが実施される。

最初の5年間の見積将来キャッシュ・フローは、リスク加重取引高、収益、費用及び貸倒損失についての予測に基づいている。この予測は主として、将来の収益及び費用の推移、経済情勢、予想される金利及び予想される将来の規制の影響についての内部評価に基づくものである。最初の5年間経過後、長期成長率の仮定に基づいて予測が行われる。見積キャッシュ・フローは、過去の実際のGDP成長及びスウェーデン中央銀行の長期インフレ目標に基づいている。当年度の減損テストは、2%の長期成長率の仮定に基づいている。合計予想キャッシュ・フロー期間は20年間である。使用される最終価値は、テスト対象単位の純資産価額の予測である。見積キャッシュ・フローは、リスク・フリー金利及び市場の平均収益要件を加味したリスク調整に基づく金利により割り引かれている。年次減損テストにおいては、税引後の割引率は7.3(7.6)%であった。税引前の割引率は、10.6(10.8)%であった。

のれんの年次減損テストにおける回収可能額と帳簿価額との差額は、満足できるものとみなされている。算定されたのれんの使用価値は、予想キャッシュ・フロー及び割引率に対して重要ないくつかの異なる変数からの影響を受けやすい。計算において最も重要な変数は、金利、景気循環、将来マージン及び費用削減に関する仮定である。重要な仮定に合理的に起こり得る変化が生じて、のれんの報告額に影響はない。

注記G25 不動産及び器具備品

不動産及び器具備品

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
器具備品	468	492
不動産	1,299	1,309
担保権が実行された資産	472	404
合計	2,239	2,205

債権の保全のために担保権が実行された資産には、当行グループの債権の保全のために担保権が実行された資産に関する会計方針に従って定期的に公正価値で測定される不動産が含まれている。注記G1を参照のこと。定期的に公正価値で測定される不動産の公正価値は、465 (392)百万スウェーデン・クローネ)である。これらの不動産の未実現価値の変動により、当期純利益に6 (-10)百万スウェーデン・クローネ)の影響が及んだ。民間住宅の評価は、基本的に該当する地域における比較可能な不動産の購入取引に関する市場の観測値に基づいて行われている。商業用不動産の評価は、賃貸料、空室率、運営及び維持費、要求利回り及び金利計算等の仮定を用いた割引将来キャッシュ・フローに基づいて行われている。評価はまた、その不動産の状態、立地及び代替的に利用可能な地域に基づいて行われている。当行の原則においては、常に公認の鑑定人が商業用及び事務所用ビル並びに工業用不動産を評価する。市場の観測値のみに基づく評価(119百万スウェーデン・クローネ)は、注記G40に記載されている評価ヒエラルキーのレベル2に区分されている。独自の仮定を重要といえる程度に使用している評価(346百万スウェーデン・クローネ)は、評価ヒエラルキーのレベル3に区分されている。定期的に公正価値で測定される不動産に関連するレベル3の未実現価値の変動によって、当期純利益に0 (-17)百万スウェーデン・クローネ)の影響が及んだ。当年度に売却した定期的に公正価値で測定される不動産の金額は108 (81)百万スウェーデン・クローネ)であり、このうち80 (64)百万スウェーデン・クローネ)は、売却前はレベル3に区分されていた。当年度の新規不動産の増加額は112 (50)百万スウェーデン・クローネ)であり、このうち20 (48)百万スウェーデン・クローネ)はレベル3に区分された。

器具備品

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
期首取得原価	1,627	1,617
当年度の取得原価の増加	208	265
当年度の企業結合による変動	-	22
処分及び除却	-481	-256
外貨換算影響額	45	-21
期末取得原価	1,399	1,627
期首償却及び減損累計額	-1,135	-1,142
当年度の企業結合による減価償却累計額	-	-15
当年度の予定償却	-244	-260
処分及び除却	478	261
外貨換算影響額	-30	21
期末償却及び減損累計額	-931	-1,135
帳簿価額	468	492

不動産

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
期首取得原価	2,120	2,092
当年度の取得原価の増加	0	-
新規建設及び改築	23	20
処分及び除却	-3	-
外貨換算影響額	15	8

期末取得原価	2,155	2,120
期首償却及び減損累計額	-811	-766
当年度の予定償却	-44	-45
当年度の減損	-	-
処分及び除却	0	-
外貨換算影響額	-1	0
期末償却及び減損累計額	-856	-811
帳簿価額	1,299	1,309

注記G26 その他資産

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
投資銀行業務の決済業務に係る債権	9,351	7,135
その他	4,970	6,127
合計	14,321	13,262

注記G27 前払費用及び未収金

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
未収利息	4,612	5,278
その他未収金	1,864	1,649
前払費用	315	213
合計	6,791	7,140

注記G28 金融機関からの預り金

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
預り金(スウェーデン・クローネ建て)		
銀行	23,252	19,870
その他金融機関	9,188	9,825
合計	32,440	29,695

預り金(外貨建て)

銀行	166,458	135,895
その他金融機関	1,176	6,034
合計	167,634	141,929
金融機関からの預り金合計	200,074	171,624
うち、レボ	88	748

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
---------------	-------	-------

金融機関からの預り金(スウェーデン・クローネ建て)	27,566	31,074
金融機関からの預り金(外貨建て)	205,444	189,546
合計	233,010	220,620
うち、レボ	1,625	3,961

注記G29 一般顧客からの預金及び借入金**一般顧客からの預金**

百万スウェーデン・クローネ

預金(スウェーデン・クローネ建て)

	2014年	2013年
個人	224,905	208,147
企業	177,175	159,615
国債局	-	-
合計	402,080	367,762

預金(外貨建て)

個人	65,758	49,045
企業	235,794	174,840
国債局	-	-
合計	301,552	223,885

一般顧客からの預金合計**703,632 591,647****一般顧客からの借入金**

百万スウェーデン・クローネ

借入金(スウェーデン・クローネ建て)

	2014年	2013年
借入金(スウェーデン・クローネ建て)	41,954	61,378
借入金(外貨建て)	276,681	172,180
合計	318,635	233,558

うち、*レボ* 168 7,604うち、*保険事業* 10,010 10,759**一般顧客からの預金及び借入金合計****1,022,267 825,205****平均取引高**

百万スウェーデン・クローネ

一般顧客からの預金

	2014年	2013年
一般顧客からの預金(スウェーデン・クローネ建て)	364,833	344,238
一般顧客からの預金(外貨建て)	281,508	181,335
合計	646,341	525,573

一般顧客からの借入金

借入金(スウェーデン・クローネ建て) 49,330 55,329

借入金(スウェーデン・クローネ建て)、*保険事業* 10,373 11,060

借入金(外貨建て) 186,526 149,135

合計 246,229 215,524うち、*レボ* 8,685 10,551**注記G30 顧客が価値変動リスクを負う負債**

	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ		
ユニットリンク及びポートフォリオ保証保険負債	91,739	76,817
その他のファンド負債	3,125	4,111
連結ファンドの持分のうちの非所有持分	-	49
合計	94,864	80,977

2014年1月1日より有効となった連結に関する新しい会計規則（IFRS第10号）により、2013年の「連結ファンドの持分のうちの非所有持分」の数値は、-5,085百万スウェーデン・クローネ調整されている。当該変更の詳細については、注記G1に記載されている。

注記G31 発行済証券

	2014年		2013年	
	額面価格	帳簿価額	額面価格	帳簿価額
百万スウェーデン・クローネ				
コマーシャル・ペーパー				
コマーシャル・ペーパー (スウェーデン・クローネ建て)	9,816	10,621	15,613	17,299
うち				
償却原価で計上	-	-	101	101
トレーディング目的	9,816	10,621	15,512	17,198
コマーシャル・ペーパー(外貨建て)	308,656	318,468	286,346	286,329
うち				
償却原価で計上	307,283	316,666	286,159	286,107
トレーディング目的	1,373	1,802	187	222
合計	318,472	329,089	301,959	303,628
社債				
社債(スウェーデン・クローネ建て)	459,884	448,643	437,977	460,093
うち				
償却原価で計上	459,884	448,643	437,977	459,801
公正価値ヘッジ目的	-	-	-	292
社債(外貨建て)	432,965	434,881	382,621	386,920
うち				
償却原価で計上	431,995	434,764	380,077	385,983
公正価値ヘッジ目的	970	117	2,544	937
合計	892,849	883,524	820,598	847,013
発行済証券合計	1,211,321	1,212,613	1,122,557	1,150,641

	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ		
期首発行済証券	1,150,641	1,151,426

発行済	950,171	1,204,858
買戻し	107,726	106,361
満期到来	851,680	1,087,539
外貨換算影響額等	71,207	-11,743
期末発行済証券	1,212,613	1,150,641

平均残高

百万スウェーデン・クローネ

スウェーデン・クローネ

外貨

合計**2014年****2013年**

470,359

475,734

695,565

705,123

1,165,924**1,180,857****注記G32 ショートポジション**

百万スウェーデン・クローネ

公正価値で計上されるショートポジション

株式

利付証券

うち

他の発行者

自社発行

合計**2014年****2013年**

1,273

3,430

19,375

19,415

16,667

19,279

2,708

136

20,648**22,845****平均残高**

百万スウェーデン・クローネ

スウェーデン・クローネ

外貨

合計**2014年****2013年**

18,878

22,832

809

1,214

19,687**24,046****注記G33 保険負債**

百万スウェーデン・クローネ

疾病年金に係る負債

生命年金に係る負債

その他未払保険金に係る負債

前払保険料に係る負債

合計**2014年****2013年**

229

194

177

146

219

273

38

9

663**622****注記G34 税金****繰延税金資産**

百万スウェーデン・クローネ

ヘッジ手段

2014年**2013年**

270

213

無形資産	9	-
不動産及び器具備品	31	37
年金	75	-
その他	4	19
合計	389	269

繰延税金負債

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
一般顧客への貸出金 ¹	6,471	6,616
ヘッジ手段	2,663	117
無形資産	77	93
不動産及び器具備品	89	86
年金	-295	464
その他	204	37
合計	9,209	7,413
繰延税金負債純額	8,820	7,144

繰延税金の変動、2014年

百万スウェーデン・クローネ	期首残高	損益計算書に 計上	その他包括利益 に計上	外貨換算 影響額	期末残高
一般顧客への貸出金 ¹	6,616	-145	-	-	6,471
ヘッジ手段	-96	3	2,486	-	2,393
無形資産	93	-35	10	-	68
不動産及び器具備品	49	9	-	-	58
年金	464	-228	-592	-14	-370
その他	18	-12	194	-	200
合計	7,144	-408	2,098	-14	8,820

繰延税金の変動、2013年

百万スウェーデン・クローネ	期首残高	損益計算書に 計上	その他包括利益 に計上	外貨換算 影響額	期末残高
一般顧客への貸出金 ¹	6,649	-33	-	-	6,616
ヘッジ手段	473	6	-575	-	-96
無形資産	32	-2	63	-	93
不動産及び器具備品	50	-1	-	-	49
年金	198	-41	307	-	464
税金配分準備金	926	-926	-	-	-
その他	35	-17	-	-	18
合計	8,363	-1,014	-205	-	7,144

損益計算書に計上される税金費用

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
当期税金		
当期税金費用	-4,426	-4,995
過年度に関する税金の調整	-51	66
繰延税金		
一時差異の変動	408	1,014
合計	-4,069	-3,915
スウェーデンにおける名目税率、%	22.0	22.0
乖離		
保険事業における異なる税率	-0.7	-0.5
非課税所得/損金不算入費用	-0.1	0.2
スウェーデンの税率変更	0.0	0.0
過年度に関する税金	0.0	-0.1
実効税率、%	21.2	21.6

1) うち、6,467(6,612)百万スウェーデン・クローネはリース。

[次へ](#)

注記G35 引当金

	事業再編に 関する 引当金	保証契約に 関する引当金	その他 引当金	合計 2014年	合計 2013年
百万スウェーデン・クローネ					
期首現在引当金	51	59	31	141	120
当期の引当金繰入	-	-	30	30	61
取崩し	-39	-52	-	-91	-40
戻入れ	-12	-	-	-12	-
期末現在引当金	-	7	61	68	141

事業再編に関する引当金は、建物賃貸契約の解約決定の結果により生じる追加費用に関するものである。当該引当金はすべて2014年中に決済されている。保証契約に関する引当金は、いくつかのオフ・バランスシート項目に関する引当金より構成されている。

当行グループは、いくつかの民事訴訟による賠償請求を受けており、これらの訴訟は一般裁判所において審理中である。当行グループは、これらの訴訟は基本的に当行に有利な形で解決するものと評価している。係争中の賠償請求額は、当行の財政状態又は損益に重大な影響を及ぼすものではないと評価されている。当行に対する賠償請求の解決のために将来必要になると予想される金額は、その他引当金として表示されている。

注記G36 その他負債

	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ		
投資銀行の決済業務に係る負債	7,960	6,777
その他	6,618	6,412
合計	14,578	13,189

注記G37 未払費用及び繰延収益

	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ		
未払利息費用	13,334	16,865
その他未払費用	4,210	4,434
繰延収益	1,137	562
合計	18,681	21,861

注記G38 劣後負債

	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ		
劣後ローン(スウェーデン・クローネ建て)	10,308	10,472
劣後ローン(外貨建て)	19,981	5,493
合計	30,289	15,965

平均残高

	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ		
劣後ローン(スウェーデン・クローネ建て)	9,831	10,764

劣後ローン(外貨建て)	18,852	7,824
合計	28,683	18,588

劣後ローン、内訳

発行/転換/最終支払年度	通貨	各通貨別の 当初名目金額	金利、%	残高
スウェーデン・クローネ建て				
スウェーデン・クローネ建て劣後負債 ¹		13,337		10,308
合計				10,308

外貨建て

2005/永久 ²	ユーロ	500	4.194	4,713
2014/期限付 ²	ユーロ	1,500	2.656	14,174
その他外貨建て劣後ローン ³				1,094
合計				19,981

劣後負債合計 **30,289**

- 1) スウェーデン・クローネ建て劣後ローンは、個別に見ると劣後負債合計額の10%未満となっている。合計には、変動金利の永久劣後ローン1件が含まれている。当該ローンは、額面金額にして3.2十億スウェーデン・クローネの劣後転換ローンで、市場条件に基づき、当行グループの従業員に対して発行される。当該ローンは、規制自己資本に含まれてはならないが、ハンデルスバンケンの株式に転換可能である。当行は随時転換を要求できる権利を有し、当該ローンの保有者は2019年5月1日から11月30日までの期間に転換を要求できる権利を有している。当初転換価格は379.19スウェーデン・クローネであり、これは2014年5月2日から14日までの期間の平均株価の117%に相当する。当該転換価格は、ローン期間中、配当金に対して調整されている。当行の、又は連結ベースで計算された普通株式等Tier 1比率が7%を下回った場合、自動的に転換される。その他のスウェーデン・クローネ建て劣後ローンについては、注記G49を参照のこと。
- 2) ユーロ建て劣後ローンの詳細情報については、注記G49を参照のこと。
- 3) その他の外貨建て劣後ローンは、永久劣後ローンの形態で発行されている。

注記G39 金融資産及び負債の分類

2014年	損益計算書に公正価値 で計上されるもの		ヘッジ手段 として特定 されたデリ バティブ	満期保有 投資	貸出金及び 債権	売却可能 金融資産	その他金融 資産/負債	帳簿価額 合計	公正価値
	トレーディ ング目的	その他 ¹							
資産									
現金及び中央 銀行預け金					454,040		492	454,532	454,532
中央銀行への その他の貸 出金					51,047			51,047	51,047
中央銀行への 担保として 適格な利付 証券	42,095	34,377		749		998		78,219	78,223
その他金融機 関への貸出 金					70,339			70,339	70,061

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)
有価証券報告書

一般顧客への貸出金		2,181			1,805,655			1,807,836	1,823,256
ポートフォリオ・ヘッジにおける金利ヘッジ対象の価値変動					70			70	
社債及びその他の利付証券	26,235	34,915		253		2,322		63,725	63,722
株式	36,628	1,551				8,367		46,546	46,546
関連会社に対する投資							286	286	286
顧客が価値変動リスクを負う資産		94,674			89			94,763	94,763
デリバティブ商品	63,450		52,674					116,124	116,124
その他資産	35				13,892		394	14,321	14,321
前払費用及び未収金	408	654		1	3,546	2	2,180	6,791	6,791
金融資産合計	168,851	168,352	52,674	1,003	2,398,678	11,689	3,352	2,804,599	2,819,672
その他非金融資産								12,077	
資産合計								2,816,676	

損益計算書に公正価値で計上されるもの									
2014年	ヘッジ手段として特定されたデリバティブ		満期保有投資		貸出金及び債権		売却可能金融資産		帳簿価額
百万スウェーデン・クローネ	トレーディング目的	その他 ¹	バティブ	投資	債権	金融資産	資産/負債	合計	公正価値
負債									
金融機関からの預り金							200,074	200,074	202,411
一般顧客からの預金及び借入金							1,022,267	1,022,267	1,022,274
顧客が価値変動リスクを負う負債		94,775					89	94,864	94,864
発行済証券	12,423						1,200,190	1,212,613	1,243,804
デリバティブ商品	54,780		8,098					62,878	62,878
ショートポジション	20,648							20,648	20,648
その他負債	16						14,562	14,578	14,578
未払費用及び繰延収益	315						18,366	18,681	18,681
劣後負債							30,289	30,289	34,411

スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (Svenska Handelsbanken AB (publ)) (E27561)
有価証券報告書

金融負債合計	88,182	94,775	8,098				2,485,837	2,676,892	2,714,549
その他非金融負債								12,957	
負債合計								2,689,849	

1) 公正価値で測定されるものとして分類されているもの。

	損益計算書に公正価値 で計上されるもの								
2013年			ヘッジ手段 として特定 されたデリ バティブ	満期保有 投資	貸出金及び 債権	売却可能 金融資産	その他金融 資産/負債	帳簿価額 合計	公正価値
百万スウェー デン・クロー ネ	トレーディ ング目的	その他 ¹							
資産									
現金及び中央 銀行預け金					334,185		609	334,794	334,794
中央銀行への その他の貸 出金					35,160			35,160	35,160
中央銀行への 担保として 適格な利付 証券	32,611	19,819		3,463		1,558		57,451	57,471
その他金融機 関への貸出 金					62,898			62,898	62,413
一般顧客への 貸出金		2,580			1,693,759			1,696,339	1,701,517
ポートフォリ オ・ヘッジ における金 利ヘッジ対 象の価値変 動					96			96	
社債及びその 他の利付証 券	26,959	35,331		933		902		64,125	64,123
株式	41,542	1,328				5,725		48,595	48,595
関連会社に対 する投資							272	272	272
顧客が価値変 動リスクを 負う資産		80,234			696			80,930	80,930
デリバティブ 商品	46,692		23,269					69,961	69,961
その他資産	68				12,846		348	13,262	13,262
前払費用及び 未収金	480	791		117	3,848		1,904	7,140	7,140
金融資産合計	148,352	140,083	23,269	4,513	2,143,488	8,185	3,133	2,471,023	2,475,638
その他非金融 資産								13,698	
資産合計								2,484,721	

損益計算書に公正価値									
2013年	で計上されるもの								
			ヘッジ手段						
			として特定						
百万スウェー	トレーディ		されたデリ	満期保有	貸出金及び	売却可能	その他金融資	帳簿価額	
デン・クロー	ング目的	その他 ¹	バティブ	投資	債権	金融資産	産/負債	合計	公正価値
ネ									
負債									
金融機関からの							171,624	171,624	173,128
預り金									
一般顧客からの							825,205	825,205	824,904
預金及び借入									
金									
顧客が価値変動									
リスクを負う		80,281					696	80,977	80,977
負債									
発行済証券	17,420						1,133,221	1,150,641	1,167,147
デリバティブ商			12,739					61,529	61,529
品	48,790								
ショートポジ	22,845							22,845	22,845
ション									
その他負債	19						13,170	13,189	13,189
未払費用及び繰	357						21,504	21,861	21,861
延収益									
劣後負債							15,965	15,965	17,710
金融負債合計	89,431	80,281	12,739				2,181,385	2,363,836	2,383,290
その他非金融負								9,546	
債									
負債合計								2,373,382	

1) 公正価値で測定されるものとして分類されているもの。

分類変更された金融資産

	2014年		2013年	
	トレーディング 目的保有 から分類変更	売却可能から 分類変更	トレーディン グ目的保有 から分類変更	売却可能から 分類変更
百万スウェーデン・クローネ				
帳簿価額	12	4,469	74	5,375
公正価値	13	4,535	74	5,464
損益計算書に計上された価値変動	-	209	-	170
その他包括利益に計上された価値変動	2	318	0	-3
損益計算書に計上されていたであろう価値変動 (資産の分類変更が行われなかった場合)	1	209	1	170
その他包括利益に計上されていたであろう価値変 動(資産の分類変更が行われなかった場合)	-	54	-	-25
収益として計上された利息	0	82	69	137

2008年7月1日に、上記の保有資産はすべて貸出金及び債権に分類変更された。

注記G40 金融商品の公正価値測定

公正価値で計上される金融商品、2014年

百万スウェーデン・クローネ

資産

中央銀行への担保として適格な利付証券

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
トレーディング目的保有	42,095	-	-	42,095
公正価値で計上されるもの	32,721	1,656	-	34,377
売却可能	998	-	-	998
一般顧客への貸出金	-	2,168	13	2,181

社債及びその他の利付証券

トレーディング目的保有	21,643	4,592	-	26,235
公正価値で計上されるもの	33,586	1,329	-	34,915
売却可能	2,091	231	-	2,322

株式

トレーディング目的保有	33,175	3,359	94	36,628
公正価値で計上されるもの	1,037	-	514	1,551
売却可能	6,753	817	797	8,367

顧客が価値変動リスクを負う資産

デリバティブ商品	630	115,494	-	116,124
----------	-----	---------	---	---------

合計	268,705	129,646	2,116	400,467
----	---------	---------	-------	---------

負債

顧客が価値変動リスクを負う負債	94,077	-	698	94,775
-----------------	--------	---	-----	--------

発行済証券	-	12,329	94	12,423
-------	---	--------	----	--------

デリバティブ商品	1,566	61,312	-	62,878
----------	-------	--------	---	--------

ショートポジション	20,560	88	-	20,648
-----------	--------	----	---	--------

合計	116,203	73,729	792	190,724
----	---------	--------	-----	---------

公正価値で計上される金融商品、2013年

百万スウェーデン・クローネ

資産

中央銀行への担保として適格な利付証券

トレーディング目的保有	32,611	-	-	32,611
公正価値で計上されるもの	19,819	-	-	19,819
売却可能	1,558	-	-	1,558
一般顧客への貸出金	-	2,562	18	2,580

社債及びその他の利付証券

トレーディング目的保有	21,881	5,078	-	26,959
公正価値で計上されるもの	30,149	5,182	-	35,331

売却可能	582	320	-	902
株式				
トレーディング目的保有	40,283	1,183	76	41,542
公正価値で計上されるもの	733	-	595	1,328
売却可能	4,368	640	717	5,725
顧客が価値変動リスクを負う資産	79,744	-	490	80,234
デリバティブ商品	1,333	68,628	-	69,961
合計	233,061	83,593	1,896	318,550

負債

顧客が価値変動リスクを負う負債	79,791	-	490	80,281
発行済証券	4	17,332	84	17,420
デリバティブ商品	2,158	59,371	-	61,529
ショートポジション	21,951	894	-	22,845
合計	103,904	77,597	574	182,075

評価ヒエラルキー

上表の公正価値で計上される金融商品は、適用された評価方法及び評価時に市場データを使用した程度に応じて区分されている。その区分は、上表においてレベル1から3で示されている。貸借対照表日の市場価格で評価される金融商品は、レベル1に区分されている。これらの金融商品は、主に活発に取引されている国債及びその他の利付証券、上場株式及び対応する資産のショートポジションで構成されている。レベル1にはまた、大部分のミューチュアル・ファンドにおける株式、ユニットリンク保険契約及び類似の契約に関連するその他の資産並びにその資産に対応する負債が含まれている。実質的に市場データを基礎とする評価モデルを使用して評価される金融商品は、レベル2に区分されている。レベル2には、主に金利及び通貨関連デリバティブが含まれている。外部の市場情報を用いて検証することのできないインプット・データが、その価値に重要な影響を及ぼす金融商品は、レベル3に分類される。

その区分は、貸借対照表日現在で適用された評価方法に基づいて行われている。特定の金融商品の区分が過年度の貸借対照表日（2013年12月31日）から変更された場合には、その金融商品は上表のレベル間で振り替えられている。当年度において、市場活動を新たに評価した結果、一部の金融商品がレベル1とレベル2の間で振り替えられている。134百万スウェーデン・クローネ相当の利付証券がレベル1からレベル2に振り替えられ、733百万スウェーデン・クローネ相当の利付証券がレベル2からレベル1に振り替えられた。当年度のレベル3の保有商品の変動は別個の表で示している。

レベル3の保有商品は、主に非上場の株式及びプライベート・エクイティ・ファンドにおける保有株式で構成されている。プライベート・エクイティ・ファンドにおける保有株式は、主に同一業種の比較可能な上場企業の相対的評価を基礎とする評価モデルを使用して評価されている。比較に使用される業績の測定は、当該投資と比較のために利用される会社との比較を歪める要因について調整された後、収益乗数（例：株価収益率）に基づいて評価される。これらのポートフォリオの大部分は、当行グループの保険事業における投資資産に関するものである。投資資産の価値変動は、保険事業における利回り分割の計算基礎に含められているため、損益計算書に直接計上されない。

当行グループが保有している非上場株式は、主に当行の事業に関連する種々の共同事業に対する当行の参加持分で構成されている。例えば、これらは決済機関に対する参加持分の場合もあれば、ハンデルスバンケンの

国内市場におけるインフラ関連の協業に対する参加持分の場合もある。それらの持分は、原則として当該会社における純資産価値に占める当行の持分、あるいは当該会社に関する最終取引価格で評価される。非上場株式の重要な部分はすべて、売却可能区分に分類されている。したがって、これらのポートフォリオの価値変動は、その他包括利益に計上されている。

当年度のレベル3の金融商品の実現価値の変動額は75百万スウェーデン・クローネであり、このうち20百万スウェーデン・クローネは、保険事業における利回り分割の計算に含まれている。残りの金額は、金融取引による純損益に認識されている。

取引価格と評価モデルを用いて算出された価値との差額

注記G1の会計方針に記載されているとおり、デリバティブのモデル評価を行っている場合には、当初認識時の評価と取引価格との間の重要な正の差額（いわゆる取引日利益）は、デリバティブの契約期間にわたって償却されている。この原則を適用した結果、当年度においては88(81)百万スウェーデン・クローネが金融取引による純損益に認識された。当年度末現在の未認識の取引日利益は、465(396)百万スウェーデン・クローネであった。

レベル3の金融商品の調整、 2014年 百万スウェーデン・クロー ネ	株式	デリバティブ の正味 ポジション	一般顧客 への貸出金	顧客が価値変動 リスクを 負う資産	顧客が価値変動 リスクを 負う負債	発行済 証券
期首現在帳簿価額	1,388	-	18	490	-490	-84
取得	56	-	-	-	-	-10
買戻し / 売却	-56	-	-	-	-	-
満期を迎えたもの	-	-	-7	-	-	-
未実現価値変動（損益計算 書に計上）	-62	-	-	208	-208	-
未実現価値変動（その他包 括利益に計上）	79	-	1	-	-	-
レベル1又は2からの振替	-	-	1	-	-	-
レベル1又は2への振替	-	-	-	-	-	-
期末現在帳簿価額	1,405	-	13	698	-698	-94

レベル3の金融商品の調整、 2013年 百万スウェーデン・クロー ネ	株式	デリバティブ の正味 ポジション	一般顧客 への貸出金	顧客が価値変動 リスクを 負う資産	顧客が価値変動 リスクを 負う負債	発行済 証券
期首現在帳簿価額	1,560	-	24	-	-	-77
取得	107	-	-	-	-	-1
買戻し / 売却	-304	-	-	-	-	-
満期を迎えたもの	-1	-	-2	-	-	-
未実現価値変動（損益計算 書に計上）	-12	-	0	-	-	-6

未実現価値変動（その他包括利益に計上）	38	-	1	-	-	-
レベル1又は2からの振替	-	-	3	490	-490	-
レベル1又は2への振替	-	-	-8	-	-	-
期末現在帳簿価額	1,388	-	18	490	-490	-84

取得原価又は償却原価で計上される金融商品の公正価値に関する情報についての原則

取得原価又は償却原価で計上される金融商品の公正価値に関する情報は、注記G39及び以下の表に記載されている。これらの金融商品は、基本的に貸出金、預金及び資金調達に分類される。決済手段及び短期の債権債務の帳簿価額は、これらの項目の公正価値の妥当な推定値とみなされている。満期日又は次回の金利更改日が30日以内に到来する債権債務は、短期項目と定義されている。

固定金利の貸出金の評価は、引き受けた信用リスク及び流動性リスクの市場の条件に基づくプレミアムの調整を加えた最新の市場金利を基礎としている。このプレミアムは、測定時における新規貸出による平均マージンに等しいと仮定されている。利付証券は、入手可能な最新の市場価格で評価されている。市場価格に関する情報を入手できない資金調達のための利付証券は、類似の金融商品の価格又は金利という形の市場データを基礎とする評価モデルを使用して評価されている。

以下の表における取得原価又は償却原価で計上される金融商品の公正価値に関する情報を使用した評価は、上述の評価ヒエラルキーで区分されている。決済手段及び預金は、現金同等物とみなされており、レベル1に区分されている。レベル1には、最新の市場価格がある利付証券（資産及び負債）も含まれている。公正価値に関する情報が信用及び流動性プレミアムに関する仮定によって重大な影響を受ける貸出金は、レベル3に区分されている。その他の金融商品は、レベル2に区分されている。

取得原価又は償却原価で認識される金融商品の

公正価値、2014年

百万スウェーデン・クローネ

資産

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
現金及び中央銀行預け金	454,532	-	-	454,532
中央銀行へのその他の貸出金	27,905	23,142	-	51,047
中央銀行への担保として適格な利付証券	753	-	-	753
その他金融機関への貸出金	14,816	54,753	492	70,061
一般顧客への貸出金	6,817	50,992	1,763,266	1,821,075
社債及びその他の利付証券	250	-	-	250
顧客が価値変動リスクを負う資産	-	89	-	89
合計	505,073	128,976	1,763,758	2,397,807

負債

金融機関からの預り金	60,442	141,969	-	202,411
一般顧客からの預金及び借入金	708,364	313,910	-	1,022,274
顧客が価値変動リスクを負う負債	-	89	-	89
発行済証券	674,330	557,051	-	1,231,381
劣後負債	-	34,411	-	34,411

合計	1,443,136	1,047,430	-	2,490,566
----	-----------	-----------	---	-----------

取得原価又は償却原価で認識される金融商品の

公正価値、2013年

百万スウェーデン・クローネ

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
資産				
現金及び中央銀行預け金	334,794	-	-	334,794
中央銀行へのその他の貸出金	2,668	32,492	-	35,160
中央銀行への担保として適格な利付証券	3,483	-	-	3,483
その他金融機関への貸出金	15,228	46,248	937	62,413
一般顧客への貸出金	5,779	29,246	1,663,912	1,698,937
社債及びその他の利付証券	931	-	-	931
顧客が価値変動リスクを負う資産	-	313	383	696
合計	362,883	108,299	1,665,232	2,136,414

負債

金融機関からの預り金	33,487	139,641	-	173,128
一般顧客からの預金及び借入金	684,914	139,990	-	824,904
顧客が価値変動リスクを負う負債	-	696	-	696
発行済証券	644,538	505,189	-	1,149,727
劣後負債	-	17,710	-	17,710
合計	1,362,939	803,226	-	2,166,165

注記G41 担保として差し入れた資産、受け入れた担保及び譲渡された金融資産

自己の負債の担保として差し入れた資産

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
現金	31,427	9,803
国債及び社債	28,552	30,695
一般顧客への貸出金	623,244	619,110
株式	1,323	3,835
顧客が価値変動リスクを負う資産	92,386	77,619
その他	12,720	13,203
合計	789,652	754,265
うち、当行が任意で取り下げることができる担保として差し入れた資産	27,497	

2014年より、保険契約者を代理して登録された資産は、国債及び社債、株式並びに顧客が価値変動リスクを負う資産に区分されているため、2013年の比較数値は調整されている。

その他担保資産

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
現金	2,101	702
国債及び社債	25,185	30,483
一般顧客への貸出金	3,702	-
株式	4,751	6,482
その他	18	4,012
合計	35,757	41,679

うち、当行が任意で取り下げることができる担保として差し入れた
資産

26,788

その他担保資産は、貸借対照表上に報告されていない債務に対して差し入れた担保のことである。

担保として差し入れた資産

利付証券の形式の担保として差し入れた資産は、主に支払制度、トレーディング及び清算を目的として担保として中央銀行及びその他金融機関へ差し入れられた有価証券、並びに拘束力のある買戻契約（レポ）に基づいて売却された有価証券で構成されている。担保として差し入れた株式は、主に貸付有価証券及び保険事業における株式より構成される。

担保として差し入れた一般顧客への貸出金は、主にスタッドフィボテックが発行したカバード・ボンドの保有者のために登記された担保より構成されている。当該担保は、主に一世帯向け住宅、セカンド・ハウス、多世帯住居又は住宅共同組合の住宅ローンで実行された貸出金より構成されており、不動産価値に対する融資比率は、市場価値の75%以内となっている。会社が破綻した際には、カバード・ボンド法及び優先権法に従ってカバード・ボンドの所有者が担保資産の優先権をもつ。破産決定時に担保として差し入れたすべての資産が当該優先権法の条件を満たすことができる場合、これらは、破産財団のその他資産及び負債とは別個に保持される。その後、社債の保有者は社債の条件に基づいて、満期まで契約上の支払を受けることになる。

顧客が価値変動リスクを負う資産は、主として保険契約者が優先権をもつハンデルスバンケン・リヴにおけるユニットリンク保険契約のユニットより構成される。

受け入れた担保

売戻契約及びエクイティ・ローンについては、担保は、第三者に売却又は再担保として差し入れ可能な有価証券の形態で受領される。それらの有価証券は、貸借対照表上に報告されない。売戻契約及びエクイティ・ローンに基づいて受け入れた担保の公正価値は、事業年度末現在において、38,562(34,306)百万スウェーデン・クローネで、第三者に売却又は再担保として差し入れられた担保の価値は、5,295(1,050)百万スウェーデン・クローネであった。貸出金に関して受け入れた担保及びその他受け入れた担保に関する情報については、注記G2に示されている。

貸借対照表上に計上されている譲渡された金融資産

譲渡された金融資産とは、将来キャッシュ・フローに関する権利が直接又は間接的に外部のカウンターパーティに譲渡された資産のことを指す。貸借対照表上に計上されている譲渡された金融資産の大部分は、利付証券より構成されており、拘束力のある買戻契約又は貸付有価証券契約に基づいて売却されている。通常、拘束力のある買戻契約又はエクイティ・ローンの条件は、当行と各カウンターパーティとの間の基本契約において規定されている。

拘束力のある買戻契約は、将来の予め設定した時期に固定価格で有価証券を買い戻すことを前提として有価証券を売却することを意味している。したがって、有価証券の売り手は、契約期間中、価値変動のリスクにさらされることとなる。買戻契約に基づいて売却された有価証券は、契約期間を通じて、貸借対照表上に市場価格で計上される。受領した代価は、カウンターパーティに対する負債として計上される。買戻契約の標準的な条件に従って、売却された有価証券の所有権はすべて売り手から買い手に譲渡される。これは、買い手が購入した有価証券の売却、再担保又は処分の権利を有していることを意味している。

エクイティ・ローンの標準的な契約に従って、貸付有価証券の価値変動に対するエクスポージャーは、貸手にある。したがって、貸付有価証券は、貸付期間を通じて貸借対照表に計上される。貸付有価証券の担保は、通常、現金又はその他の有価証券の形態をとっている。受け入れた現金担保は、貸借対照表上に負債として計上される。買戻契約と同様に、エクイティ・ローンで用いられる標準的な契約により、借り手は貸付期間中に借り入れた有価証券を売却、再担保又は処分する権利を有することになる。

有価証券トレーディング、清算等の目的で担保として差し入れた国債、社債及び株式は、当該債券の権利がカウンターパーティに譲渡される場合、その他の譲渡された金融資産として計上される。譲渡された金融資産にはまた、顧客が価値変動リスクを負う特定の資産も含まれている。この項目には、当行が正式な所有権を有しているものの、資産に関連するリスクも将来キャッシュ・フローに関する権利も第三者に譲渡されている金融商品のポートフォリオも含まれている。これらの資産の評価は、対応する負債項目の評価を反映している。

貸借対照表上に計上された譲渡された金融資産 百万スウェーデン・クローネ	2014年		2013年	
	帳簿価額	負債に関連した 帳簿価額	帳簿価額	負債に関連した 帳簿価額
株式、証券貸付	1,646	206 ¹	3,641	3,086 ¹
株式、その他	3,337	-	5,927	-
国債及び社債、買戻し契約	196	201	6,685	6,689
国債及び社債、その他	57	-	1,184	-
顧客が価値変動リスクを負う資産	1,008	1,008	2,203	2,203
合計	6,244	1,415	19,640	11,978

1) 受け入れた現金担保

注記G42 偶発債務

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
保証、貸出金	10,335	8,371
保証、その他	60,033	58,568
信用状	3,733	4,842
その他	1,636	2,348
合計	75,737	74,129

偶発債務は、主として様々な種類の保証より構成されている。この表には保証額が示されている。

注記G43 その他コミットメント

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
ローン・コミットメント	271,001	246,518

当座貸越枠の未使用分 ¹	102,778	99,660
その他	14,134	9,046
合計	387,913	355,224

1) 2014年現在、認識時に取引相手が任意に使用することができない未使用の当座貸越枠は含まれていないため、所要自己資本は発生しない。比較数値は修正再表示されている。

契約上取消不能な将来オペレーティング・リース費用の支払期限の

年度毎の分布

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
2015年	710	701
2016年から2019年	1,673	1,781
2020年以降	456	564
合計	2,839	3,046

オペレーティング・リースは、主として、事務所及び事務所設備の賃借に関する標準的な契約に関するものである。

注記G44 リース

投資総額及び将来最低リース料の現在価値に関する開示

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
投資総額	39,537	43,308
貸借対照表日における将来最低リース料の現在価値	37,802	40,375

満期別の投資総額及び最低リース料の配分

百万スウェーデン・クローネ	1年以内	1年から5年	5年超	合計
2014年				
投資総額の配分	4,543	15,886	19,107	39,537
最低リース料の現在価値の配分	4,516	15,591	17,695	37,802
2013年				
投資総額の配分	4,181	15,847	23,280	43,308
最低リース料の現在価値の配分	4,157	15,368	20,850	40,375

前受金融収益

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
前受金融収益	1,735	2,932

当行グループ内の会社は、ファイナンス・リースの貸手である。すべてのリースは、残存価値が保証されている。最低リース料に対する減損貸出金引当金の帳簿価額は、4(22)百万スウェーデン・クローネである。当年度の利益に含まれているリース料の変動部分は、197(431)百万スウェーデン・クローネである。この減少の原因の一部は、2013年に比べ、2014年の金利が低いことや取引高が低いことによる。

当年度末において、当行グループには、6つのリース・エクスポージャーがあり、個別の帳簿価額はそれぞれ10億スウェーデン・クローネを超えていた。これらのエクスポージャーの帳簿価額合計は、18.0(18.9)十億スウェーデン・クロー

ネで、2014年12月31日現在の当行グループの与信残高合計の0.9%に相当する。個別のエクスポージャーのうち最も高額な帳簿価額は7.8(8.3)十億スウェーデン・クローネであった。当該エクスポージャーに関する平均残存期間は、5.2(6.2)年であった。これらのエクスポージャーは、運輸及びエネルギーセクターにおけるものである。

注記G45 セグメント報告

セグメント報告、 2014年 百万スウェーデン・ クローネ	本拠地市場						キャピ タル・マー ケッツ	その他	調整及び 消去	継続事業
	スウェー デンに おける 支店業務	英国に おける 支店業務	デン マークに おける 支店業務	フィン ランドに おける 支店業務	ノル ウェーに おける 支店業務	オランダ における 支店業務				
純利息収益	15,734	3,497	1,610	1,389	3,439	283	847	495	-50	27,244
純手数料及び コミッション収益	3,908	344	385	440	390	26	3,041	22		8,556
公正価値で評価 される金融項目 からの純損益	400	158	116	76	102	7	1,537	-619		1,777
保険リスク							165			165
関連会社の持分利益								18		18
その他の収益	92	18	21	11	20	0	17	375		554
収益合計	20,134	4,017	2,132	1,916	3,951	316	5,607	291	-50	38,314
人件費	-3,421	-1,471	-584	-351	-711	-127	-2,542	-2,587	28	-11,766
その他費用	-1,221	-333	-181	-158	-219	-28	-859	-2,100		-5,099
内部的に購入及び 売却された サービス	-2,770	-379	-273	-232	-390	-68	-126	4,188	50	
不動産及び器具備品 並びに無形資産の 減価償却費、償却費 及び減損費用	-85	-18	-19	-8	-11	-1	-79	-241		-462
費用合計	-7,497	-2,201	-1,057	-749	-1,331	-224	-3,606	-740	78	-17,327
貸倒損失控除前利益	12,637	1,816	1,075	1,167	2,620	92	2,001	-449	28	20,987
正味貸倒損失	-657	-203	-529	-277	-141	-1	27	0		-1,781
不動産及び器具備品 並びに無形資産の 処分損益	0	4	1	0	0	0	0	1		6
営業利益	11,980	1,617	547	890	2,479	91	2,028	-448	28	19,212
利益配分	930	35	62	85	66	8	-1,186	0		
利益配分後の 営業利益	12,910	1,652	609	975	2,545	99	842	-448	28	19,212
内部収益 ¹	-492	-1,230	-468	-429	-3,430	-154	-1,858	8,061		
C/I比率、%	35.6	54.3	48.2	37.4	33.1	69.1	81.6			45.2
貸倒実績率、%	0.06	0.15	0.73	0.25	0.07	0.01	-0.05			0.10
資産	1,402,774	263,459	88,395	177,009	206,536	38,651	423,265	1,919,427	-1,702,840	2,816,676
負債	1,335,671	254,029	82,387	170,464	193,355	37,754	415,817	1,919,427	-1,719,055	2,689,849
割当済資本	67,103	9,430	6,008	6,545	13,181	897	7,448	0	16,215	126,827

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)

有価証券報告書

割当済資本に係る 利益率、%	15.7	15.2	8.5	12.4	15.9	9.2	8.1		13.3
当年度の非金融固定 資産への投資	53	41	13	12	14	11	144	186	474
当年度の関連会社 への投資								2	2
平均従業員数	4,381	1,567	631	494	672	131	1,885	1,931	11,692

- 1) 収益総額に含まれている内部収益は、その他の事業セグメントとの取引によって生じた収益より構成されている。利息収益及び利息費用は、収益として純額で計上される。これは、内部収益には、セグメント間の内部資金調達費用の純額が含まれることを意味している。

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)
有価証券報告書

セグメント報告、 2013年 百万スウェーデン・ クローネ	本拠地市場									
	スウェー デンに おける 支店業務	英国に おける 支店業務	デン マークに おける 支店業務	フィン ランドに おける 支店業務	ノル ウェーに おける 支店業務	オランダ における 支店業務	キャピ タル・マー ケッツ	その他	調整及び 消去	継続事業
純利息収益	16,299	2,624	1,519	1,219	3,574	230	936	313	-45	26,669
純手数料及び コミッション収益	3,486	213	329	412	364	23	3,008	-31		7,804
公正価値で評価 される金融項目 からの純損益	445	120	97	40	83	1	1,073	-502		1,357
保険リスク							142			142
関連会社の持分利益								9		9
その他の収益	27	13	18	5	12	-	16	255		346
収益合計	20,257	2,970	1,963	1,676	4,033	254	5,175	44	-45	36,327
人件費	-3,283	-1,059	-546	-331	-662	-96	-2,560	-2,858	-9	-11,404
その他費用	-1,187	-243	-175	-145	-232	-21	-969	-2,209		-5,181
内部的に購入及び 売却された サービス	-3,002	-317	-252	-239	-368	-56	-147	4,336	45	
不動産及び器具備品 並びに無形資産の 減価償却費、償却費 及び減損費用	-87	-41	-17	-10	-10	-1	-61	-249		-476
費用合計	-7,559	-1,660	-990	-725	-1,272	-174	-3,737	-980	36	-17,061
貸倒損失控除前利益	12,698	1,310	973	951	2,761	80	1,438	-936	-9	19,266
正味貸倒損失	-357	-168	-161	-268	-169	-7	-65			-1,195
不動産及び器具備品 並びに無形資産の 処分損益	9	1	-	0	0	-	0	7		17
営業利益	12,350	1,143	812	683	2,592	73	1,373	-929	-9	18,088
利益配分	876	30	47	70	43	4	-1,070	0		
利益配分後の 営業利益	13,226	1,173	859	753	2,635	77	303	-929	-9	18,088
内部収益 ¹	-925	-1,212	-395	-417	-3,606	-140	-1,672	8,367		
C/I比率、%	35.8	55.3	49.3	41.5	31.2	67.4	91.0			47.0
貸倒実績率、%	0.03	0.14	0.24	0.27	0.08	0.05	0.08			0.07
資産	1,309,092	194,503	78,830	153,436	202,567	33,039	377,283	1,528,713	-1,392,742	2,484,721
負債	1,248,603	186,859	73,482	147,315	190,444	32,221	368,685	1,528,713	-1,402,940	2,373,382
割当済資本	60,489	7,644	5,348	6,121	12,123	818	8,598		10,198	111,339
割当済資本に係る 利益率、%	17.9	13.2	12.7	9.9	17.0	7.7	2.6			13.8
当年度の非金融固定 資産への投資	71	22	37	10	14	8	247	233		642

当年度の関連会社

53

53

への投資

平均従業員数

4,410

1,260

624

490

650

102

1,985

1,982

11,503

1) 収益総額に含まれている内部収益は、その他の事業セグメントとの取引によって生じた収益より構成されている。利息収益及び利息費用は、収益として純額で計上される。これは、内部収益には、セグメント間の内部資金調達費用の純額が含まれることを意味している。

事業セグメントは、IFRS第8号「事業セグメント」に準拠して認識されている。これは、セグメント情報がコーポレート・ガバナンスの一環として内部的に採用される方法と類似した方法で表示されていることを意味する。ハンデルスバンケンの事業は、以下のセグメントに区分して表示されている。スウェーデン、英国、デンマーク、フィンランド、ノルウェー及びオランダにおける支店業務、並びにキャピタル・マーケットである。2014年に、ユニバーサル・バンキング・サービスを提供しているハンデルスバンケンの支店業務は、14の地域銀行に分割された。これらのうち6行はスウェーデンにあり、8行はスウェーデン国外にある。各地域銀行は、地域銀行の支店長のもとで業務を行い、独立した収益部門として監視されている。キャピタル・マーケット・セグメントは、有価証券売買及び投資助言サービスを含む、ハンデルスバンケンの投資銀行である。その事業にはまた、資産運用、保険事業及び本拠地市場外の当行の国際事業も含まれる。

セグメントに関する利益/損失は、内部的な利益配分の前と後の両方で報告される。内部的な利益配分では、取引が実行されたセグメントがどのセグメントであるかにかかわらず、当行と顧客との取引によって生じたすべての利益は顧客に対する責任を担っている部門に配分されるが、内部的に実施されたサービスに関する収益及び費用は別個の項目である「内部的に購入及び売却されたサービス」に純額で報告される。セグメント間取引は、主として原価基準で報告される。その他並びに調整及び消去の欄は、特定のセグメントに属さない項目又は当行グループ・レベルで消去されている項目を示している。その他には、トレジャリー及び中央部門が含まれ、オクトゴーネン年金制度への割当費用795(1,096)百万スウェーデン・クローネも含まれている。調整及び消去の欄には、人件費に対する調整が含まれている。人件費に対する調整は、IAS第19号「従業員給付」に従って計算される当行グループの年金費用と合計-568(-564)百万スウェーデン・クローネの標準年金費用との差額及びスウェンスカ・ハンデルスバンケンの年金基金からの補償540(555)百万スウェーデン・クローネを含んでいる。

内部収益は、主に内部利息及びコミッションより構成されている。セグメントの損益計算書には、内部サービスの提供に対する支払といった内部項目も含まれている。内部付替は、主に原価法に従っている。支店業務においては、資産は主に一般顧客への貸出金より構成され、負債は一般顧客からの預金並びに内部借入より構成されている。キャピタル・マーケット・セグメントにおいては、資産は主に資産運用及び保険事業において管理されている有価証券より構成される。「その他」の欄に含まれている資産は、主に様々なセグメントへの内部貸出であるが、「その他」の欄に含まれている負債は、主に外部借入である。各セグメントに関する割当済資本は、財務上の内部モデルによる資本割当と同額である。株主資本利益率は平均割当済株主資本及び22%の税率に基づいて計算される。当行グループの株主資本利益率は、報告されている法人税を控除後の金額で算定される。

商品分野毎の収益

百万スウェーデン・クローネ

2014年

2013年

投資銀行

4,524

4,272

銀行預金及び法人貸出金

11,589

11,913

金融会社サービス

2,001

1,887

銀行預金及び個人向け貸出金

4,411

4,541

住宅ローン	10,236	9,369
年金及び保険	1,152	1,031
キャピタル・マーケット	2,433	1,914
貿易金融	483	477
その他の事業	1,485	923
合計	38,314	36,327

注記G46 地理別情報

地理別情報、2014年 百万スウェーデン・クローネ	スウェー デン	デン マーク	フィン ランド	ノル ウェー	英国	オランダ	その他 諸国	当行 グループ
収益	23,958	2,187	2,243	4,144	4,114	303	1,365	38,314
営業利益	13,415	369	985	2,466	1,431	73	473	19,212
法人税等	2,818	49	209	628	228	19	118	4,069
資産	1,670,935	89,388	148,176	190,541	216,268	29,986	471,382	2,816,676
その他の情報								
非金融資産への投資	270	13	13	22	17	3	18	356

地理別情報に表示されている収益、費用及び資産は、各国の内部・外部収益、費用及び資産より構成されている。地理別の収益及び費用配分は、取引が実施された国に基づいている。法人税等には当期税金及び繰延税金が含まれる。追加の地理別情報は、子会社及び関連会社の本拠地については注記P16に、平均従業員数については注記G8に記載されている。

地理別情報、2013年 百万スウェーデン・クローネ	スウェー デン	デン マーク	フィン ランド	ノル ウェー	英国	オランダ	その他 諸国	当行 グループ
収益	23,989	1,839	1,973	3,993	3,027	243	1,263	36,327
営業利益	13,162	433	732	2,291	971	59	440	18,088
法人税等	2,652	36	142	723	234	15	113	3,915
資産	1,487,103	75,140	108,636	169,746	210,614	24,967	408,515	2,484,721
その他の情報								
非金融資産への投資	229	41	13	21	22	8	23	357

注記G47 各通貨建て資産及び負債

2014年	スウェーデン・		ノルウェー・		デンマーク・		その他の	
百万スウェーデン・クローネ	クローネ	ユーロ	クローネ	クローネ	英ポンド	米ドル	通貨	合計
資産								
現金及び中央銀行預け金	223	81,932	2,342	97	55,782	312,782	1,374	454,532
中央銀行へのその他の貸出金	6,926	-	15,758	28,021	342	-	0	51,047
その他金融機関への貸出金	1,719	10,075	275	288	874	54,871	2,237	70,339
一般顧客への貸出金	1,164,777	178,002	184,912	72,787	167,719	26,642	12,997	1,807,836
うち、企業	500,444	129,197	101,176	28,326	114,555	26,490	11,750	911,938
うち、個人	664,333	48,805	83,736	44,461	53,164	152	1,247	895,898
中央銀行への担保として適格な 利付証券	40,967	6,576	1,080	6	-	28,597	993	78,219
社債及びその他の利付証券	54,997	3,976	3,890	-	828	34	-	63,725
その他項目(通貨別内訳なし)	290,978							290,978
資産合計	1,560,587	280,561	208,257	101,199	225,545	422,926	17,601	2,816,676
負債								
金融機関からの預り金	32,440	71,353	10,855	13,728	3,804	56,412	11,482	200,074
一般顧客からの預金及び 借入金	444,033	120,068	61,616	30,218	106,728	249,885	9,719	1,022,267
うち、企業	191,628	105,379	44,311	17,550	87,548	247,678	9,423	703,517
うち、個人	252,405	14,689	17,305	12,668	19,180	2,207	296	318,750
発行済証券	459,264	236,831	22,625	342	89,923	371,593	32,035	1,212,613
劣後負債	10,308	18,887	-	-	-	117	977	30,289
その他項目(通貨別内訳なし、 資本含む)	351,433							351,433
負債及び資本合計	1,297,478	447,139	95,096	44,288	200,455	678,007	54,213	2,816,676
通貨別その他資産及び負債、 正味		166,635	-113,117	-56,885	-24,996	254,804	36,690	
正味外貨ポジション		57	44	26	94	-277	78	22

2013年	スウェーデン・		ノルウェー・		デンマーク・		その他の	
百万スウェーデン・クローネ	クローネ	ユーロ	クローネ	クローネ	英ポンド	米ドル	通貨	合計
資産								
現金及び中央銀行預け金	342	48,191	4,263	85	46,585	235,126	202	334,794
中央銀行へのその他の貸出金	2,540	130	11,105	21,156	229	-	0	35,160
その他金融機関への貸出金	4,120	11,124	132	151	583	43,811	2,977	62,898
一般顧客への貸出金	1,121,986	164,903	182,613	62,231	129,807	24,378	10,421	1,696,339
うち、企業	494,774	123,076	101,809	24,965	90,892	24,313	9,199	869,028

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)

有価証券報告書

うち、個人	627,212	41,827	80,804	37,266	38,915	65	1,222	827,311
中央銀行への担保として適格な 利付証券	26,826	6,727	1,137	6	-	21,202	1,553	57,451
社債及びその他の利付証券	54,921	5,651	2,667	75	-	734	77	64,125
その他項目(通貨別内訳なし)	233,954							233,954
資産合計	1,444,689	236,726	201,917	83,704	177,204	325,251	15,230	2,484,721
負債								
金融機関からの預り金	29,695	24,208	5,252	13,315	12,156	75,355	11,643	171,624
一般顧客からの預金及び 借入金	429,266	83,433	52,273	32,072	69,091	153,580	5,490	825,205
うち、企業	192,500	70,681	36,810	20,758	59,905	151,938	5,293	537,885
うち、個人	236,766	12,752	15,463	11,314	9,186	1,642	197	287,320
発行済証券	477,393	227,389	18,769	226	89,640	317,453	19,771	1,150,641
劣後負債	10,472	4,427	-	-	-	143	923	15,965
その他項目(通貨別内訳なし、 資本含む)	321,286							321,286
負債及び資本合計	1,268,112	339,457	76,294	45,613	170,887	546,531	37,827	2,484,721
通貨別その他資産及び負債、 正味		102,703	-125,629	-38,049	-6,362	221,290	22,683	
正味外貨ポジション		-28	-6	42	-45	10	86	59

[次へ](#)

注記G48 関連当事者に関する開示

関連当事者に対する債権及び債務	関連会社		その他関連当事者	
	2014年	2013年	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ				
金融機関への貸出金	-	-	-	-
一般顧客への貸出金	1,186	729	-	-
社債及びその他の利付証券	-	-	-	-
その他資産	85	85	565	587
合計	1,271	814	565	587
金融機関からの預り金	-	-	-	-
一般顧客からの預金及び借入金	178	186	281	334
発行済証券	-	-	-	-
劣後負債	-	-	701	698
その他負債	-	-	56	56
合計	178	186	1,038	1,088
関連当事者 - 収益及び費用	関連会社		その他関連当事者	
	2014年	2013年	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ				
利息収益	25	8	0	0
利息費用	-2	-2	-74	-75
手数料及びコミッション収益	5	2	-	-
手数料及びコミッション費用	-238	-99	-37	-29
公正価値で評価される金融項目からの純損益	0	0	-	-
その他収益	0	-	13	12
その他費用	-1	-2	-55	-45
合計	-211	-93	-153	-137

関連会社リスト及び関連会社に対する資本拠出に関する情報は、注記G19に表示されている。関連会社の事業は、金融市場関連の様々なサービスより構成される。スウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelse、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPersonalstiftelse及びPensionskassan SHB Försäkringsförening（年金ファンド）の各社は、関連当事者グループを構成している。これらの会社は通常の銀行業務及び会計業務に関して、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーを利用している。

2014年3月25日、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelse及びPensionskassan SHB Försäkringsföreningは、それぞれが相互に保有する株式を再配分した。当行は、複数銘柄の保有株式を処分し、それと同時にインドゥストリーヴァルデン及びSCAの株式を購入した。これらの取引に伴い、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーは、インドゥストリーヴァルデンの議決権の10.46%（自己資本の7.5%）及びSCAの議決権の10.15%（自己資本の2.1%）を支配している。これらの取引により、当行にキャピタルゲイン306百万スウェーデン・クローネが発生した。関連会社との事業取引はすべて市場取引条件で行われている。

親会社のスウェーデン子会社は、年金ファンドに確定給付年金の年金保険料56(46)百万スウェーデン・クローネを支払った。この年金ファンドの子会社の従業員に対するコミットメントは親会社によって保証されているため、年金ファンドがコ

ミットメントを履行できない場合には、親会社がそのコミットメントを引き受け、支払う義務を負う。この年金ファンドの債務は、6,140(3,557)百万スウェーデン・クローネである。スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーは、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelseに報酬540(555)百万スウェーデン・クローネを請求した。当年度において、サブ・ポートフォリオがスウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelseからPensionskassan SHB Försäkringsföreningに移管された。この詳細については注記P38に記載されている。

執行役員への貸出金、並びに条件及び執行役員に対するその他の報酬に関する情報については、注記G8に記載されている。

注記G49 自己資本比率

資本方針

当行は、当行グループの業務に伴うリスクに対応し、法律で定められた最低要件を上回る堅実な資本水準を維持することを目的としている。健全な資本水準は、金融逼迫状態並びに買収及び取引高の大幅な増加等その他の事象に対処するために必要となる。

自己資本規制

新しい自己資本比率規制である2014年1月1日に施行された規制(EU)575/2013 (以下、「CRR」という)及び2014年8月2日にスウェーデンで施行された指令2013/36/EU (以下、「CRD 」という)に従って、当行は、少なくとも信用リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクに関するリスク加重エクスポージャー金額合計に対する個別要件に対応する普通株式等Tier 1資本、Tier 1資本及び自己資本合計を保有しなければならない。当行は、最低要件に従って資本を保有することに加え、スウェーデンにおいて、資本維持バッファ、カウンターシクリカル・バッファ及びシステミック・リスク・バッファの合計より構成される結合バッファ要件に準拠する普通株式等Tier 1資本も保有しなければならない。当行はまた、自己資本比率の内部評価を行わなければならない。2014年に採用されたハンデルスバンケンの最新の資本方針は、自己資本比率の内部評価に関するガイドラインを規定している。当行はまた、金融コングロマリット(特別監督)法(2006年:第531号)に従って、金融コングロマリットレベルでの所要自己資本にも準拠しなければならない。金融コングロマリットの所要自己資本に関する詳細については、下記を参照のこと。2014年に当行は、当行の規制上の最低水準及びバッファ水準を十分な余裕をもって満たしている。当行の自己資本及び所要自己資本に関するより詳細な情報については、注記G2「リスク及び資本管理」並びに「ハンデルスバンケンのリスク及び資本管理 - 第三の柱に関する情報」というタイトルの文書から入手可能である(www.handelsbanken.se/irengを参照のこと)。

連結ベースの情報

規制上の連結(以下、「連結ベース」という。)は、親会社並びに当該連結財務書類の141ページ(訳注:原文のページ数である)の表に示されている子会社及び関連会社より構成されている。連結財務諸表に含まれているものの連結ベースから除外されている会社についても、141ページ(訳注:原文のページ数である)の表に示されている。連結財務諸表と同様、規制上の連結ベースでは、関連会社は持分法を用いて連結されている。完全所有子会社もまた、取得法に従って連結されている。規制対象のすべての子会社は連結ベースに含まれている。ハンデルスバンケンには、実際の自己資本が所定の自己資本に満たない子会社はない。

連結ベースの自己資本に関する情報

自己資本は、Tier 1資本及びTier 2資本により構成される。Tier 1資本は、普通株式等Tier 1資本及びその他Tier 1資本で構成されている。普通株式等Tier 1資本は、主に、連結に含まれる企業の株式資本、利益剰余

金及びその他準備金により構成されている。残りのTier 1資本はその他Tier 1項目により構成されている。Tier 2資本は、主に劣後ローンにより構成されている。その後、自己資本からの一定の控除が行われる。当該控除は、普通株式等Tier 1資本から行われる。当行のリスク管理においては、リスクの観点から当行グループ及び規制上の連結の双方が一つの単位とみなされることが重要である。当行グループにおける効果的なリスク管理を可能にするために、当行グループの様々な会社間で資本の再配分を行うことが必要になる可能性がある。通常、ハンデルスバンケンは、法律で許容されている範囲(例えば、自己資本比率規制及び会社法における制限等)で当行グループ会社間において資本の再配分を行うことができる。当行は、自己資本からの資金の迅速な振替又は親会社と子会社の間の債務の返済に関して、その他の重要な障害又は法的な障害はないとみている。

Tier 1資本

Tier 1資本は、主に普通株式等Tier 1資本及びその他Tier 1資本より構成されている。

普通株式等Tier 1資本

普通株式等Tier 1資本は、主に、規制上の連結に含まれる企業の株式資本、利益剰余金及びその他準備金で構成されている。当行グループの保険会社は連結に属していないため、保険会社の利益剰余金は普通株式等Tier 1資本に含まれていない。普通株式等Tier 1資本から除外される項目は、主として、のれん及びその他無形資産、並びに普通株式等Tier 1資本の10%を超える当行グループの保険会社への資本拠出又は繰延税金資産である。資本拠出及び繰延税金資産の合計額は普通株式等Tier 1資本の15%を超えてはならない。当行グループの保険会社への資本拠出及び繰延税金資産は閾値を超えていないため、これらの資本拠出及び繰延税金資産は、普通株式等Tier 1資本から減額されない。キャッシュフロー・ヘッジの資本への影響に関しては、中立的調整が行われる。価格調整が計算されなければならない、必要に応じて、公正価値で計上される金融商品の慎重な評価が行われなければならない。内部格付に基づくモデルの使用を許可されている金融機関は、IRBアプローチに基づく予想貸倒損失が、計上された貸倒引当金を超えた場合、その差額を控除しなければならない。また、年金資産について純額で認識した剰余価値についても控除しなければならない。但し、当該控除は、ハンデルスバンクンの年金基金から年金費用を補填する当行の権利に対応する金額分について減額することができる。

2014年においては、売却可能区分に分類される資産から生じた未実現利益も控除する必要がある。

その他Tier 1資本

その他Tier 1資本は、その他Tier 1資本に関する要件を満たす金融商品により構成されている。この資本は永久債であり、最低でも5年を超えた後、監督当局の許可を得た場合のみ償還可能なものに限られる。また、普通株式等Tier 1資本が所定の水準に達した場合に、普通株式等Tier 1資本を創出するために額面価値を減額するか、株式に転換すること、あるいは無条件に利払いを停止することが可能でなければならない。

但し、当行のすべての発行済その他Tier 1資本は、以前の規制に従って許可を得て発行されているため、CRRの移行規定に含まれている。当行の発行済その他Tier 1資本総額80億スウェーデン・クローネのうち、2.4十億スウェーデン・クローネは補完的な資本拠出である。当行が2007年を含む同年までに発行した通常の資本拠出は、当行が清算手続を強いられるような状況を回避するため、当行に当該商品を減額する権利を与えている。2008年以降に発行した補完的な資本拠出については、当行が、規制要件に違反しないようにするために早い段階で当該商品を減額する権利を与えている。清算の場合、これらの商品は双方とも、負債(過去に資本に転換された部分を含む)として分類され、その後、当行の資産に対して同額の残余分の請求権が発生することとなる。当該請求は、その他すべての債権者の請求に劣後する。株主のみが当行の資産に対してより劣後した請求権を有する。補完的な資本拠出に関しては、当行はクーポン支払を無条件に一時停止する権利を有している。

すなわち、利息の支払を随時、停止することができる。分配可能な資金がない場合、これらの商品の双方について、クーポン支払が一時停止されることになる。

Tier 2資本

Tier 2資本は、償還期限まで最低5年超の期間を有する劣後ローンにより構成されている。当行グループの保険会社に対する劣後ローンの拠出に関して、控除が行われている。

所要自己資本

信用リスク

信用リスクに関する所要自己資本は、CRRに従って標準的アプローチ及びIRBアプローチに基づいて計算される。IRBアプローチでは、従前の規定における基礎的アプローチに対応するLGD及び換算係数（以下、「CF」という。）の独自の見積りを伴わないIRBアプローチと、従前の規定における先進的アプローチに対応するLGD及びCCFの独自の見積りを伴うIRBアプローチの二つの異なる手法が用いられる。

LGD及びCCFの独自の見積りを伴わないIRBアプローチでは、当行は1年以内に顧客が債務不履行に陥る可能性を判断するために当行独自の手法を用いるが、一方で、その他のパラメーターは規制によって指定される。LGD及びCCFの独自の見積りを伴うIRBアプローチでは、当行は、債務不履行時の損失(LGD) 及びエクスポージャー金額を算定する際にも当行独自の手法を用いる。

ハンデルスバンケンは、金融機関に対するエクスポージャー並びに地域銀行業務全体及び以下の子会社に関する企業のエクスポージャーに関連する特定の商品及び担保の種類について、LGD及びCCFの独自の見積りを伴わないIRBアプローチを使用している。子会社は、スタッドフィポテック AB、Handelsbanken Finans AB、Handelsbanken Finans (Shanghai) Financial Leasing Co. Ltd.及びRahoitus Oyの各社である。

LGD及びCCFの独自の見積りを伴うIRBアプローチは、地域銀行業務（オランダを除く）、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット、スタッドフィポテック AB及びHandelsbanken Finans ABにおける大企業、中規模企業、不動産会社及び住宅協同組合に対する大部分のエクスポージャー、並びにスウェーデン、ノルウェー、フィンランド及びデンマーク並びにスタッドフィポテック AB、Handelsbanken Finans AB及びRahoitus Oyといった子会社におけるリテール・エクスポージャーに対して適用されている。

当年度末現在、CRRに従って算定された信用リスクに関して、IRBアプローチはリスク加重エクスポージャー金額合計の83%をカバーしていた。残りの信用リスク・エクスポージャーに関して、所要自己資本は標準的アプローチを用いて算定された。このセクションで報告されている数値は、バーゼル 自己資本比率規制の第一の柱、CRR及びCRD に基づく最低所要自己資本を参照している。下記の表における「CRRに基づく」とは、移行規定の適用終了後の最低所要自己資本に基づく数値であることを意味している。移行規定は、さらに通知があるまで適用される。

レボ及び有価証券貸付は、所要自己資本が非常に低いものの、取引高が常にかなり変動することから、IRBアプローチに従った所要自己資本の表に別個に報告されている。所要自己資本が低いのは、エクスポージャーが総額で報告され、当該エクスポージャーに担保が付されているためである。

当年度において、IRBアプローチに基づくエクスポージャーに関する平均リスク加重合計は、1.9パーセンテージ・ポイント低下した。この低下は、主に、法人エクスポージャーに対する平均リスク加重の低下によるものである。これは同様に当年度において、比較的低いリスク加重の取引相手との信用取引高が増加し、比較的高いリスク加重の取引相手との取引が減少していることによるものである。

当年度における変動に関する詳細については、2014年の当行の中間報告書及び「リスク及び資本管理 - 第三の柱に関する情報」に記載されている自己資本比率に関する特別情報に従った当行の開示を参照のこと。

オペレーショナル・リスク

ハンデルスバンケンの所要自己資本の計算は標準的アプローチに従っている。これはその計算が当行の様々な事業セグメントの収益に基づくということである。

市場リスク

市場リスクに関する所要自己資本は、連結ベースで計算される。但し、金利リスク及び株価リスクに関する所要自己資本は、トレーディング勘定ポジションについてのみ計算されている。市場リスクに関する所要自己資本を計算する際には、標準的アプローチが適用されている。

金融コングロマリットに関する自己資本比率

金融コングロマリットの一部である金融機関及び保険会社は、金融コングロマリットの所要自己資本に関して十分な自己資本を有していなければならない。金融コングロマリットに関する自己資本は、集約方式、決済方式及び連結方式を組み合わせることによって計算されている。これは、連結ベースの自己資本がハンデルスバンケン・リヴ AB保険グループに関する資本基盤と合算されていることを意味する。そのため、金融コングロマリットに関する所要自己資本を計算するために、連結ベースの所要自己資本に、保険グループに関するソルベンシー要件が追加されている。

連結ベースに含まれる会社	所有持分 (%)	企業識別番号	所在地
Handelsbanken AB (publ) ¹		502007-7862	ストックホルム
子会社			
Handelsbanken Finans AB ¹	100	556053-0841	ストックホルム
Kredit-Inkasso AB	100	556069-3185	ストックホルム
Handelsbanken Rahoitus Oy	100	0112308-8	ヘルシンキ
Kredit-Inkasso AS	100	955074203	フレドリクスター
Handelsbanken Finans (Shanghai) Financial Leasing Co., Ltd	100	310101717882194	上海
スタッドフィボテック AB¹	100	556459-6715	ストックホルム
Svenska Intecknings Garanti AB Sigab (休眠会社)	100	556432-7285	ストックホルム
Handelsbanken Fondbolagsförvaltning AB	100	556070-0683	ストックホルム
Handelsbanken Fonder AB	100	556418-8851	ストックホルム
Handelsinvest Investeringsförvaltning A/S	100	12930879	コペンハーゲン
Handelsbanken Fondbolag Ab	100	1105019-3	ヘルシンキ
Handelsbanken Kapitalförvaltnings AS	100	973194860	オスロ
Xact Kapitalförvaltning AB	100	556997-8140	ストックホルム
AB Handel och Industri	100	556013-5336	ストックホルム

ハートウッド・ウェルス・マネジメント・リミテッド	100	04132340	ロンドン
Heartwood Nominees Limited (休眠会社)	100	2299877	ロンドン
Heartwood Second Nominees Limited (休眠会社)	100	3193458	ロンドン
Private Office limited (休眠会社)	100	4332528	ロンドン

その他

Ejendomsselskabet af 1. maj 2009 A/S	100	59173812	ヒレレズ
Forva AS	100	945812141	オスロ
Lejontrappan AB (休眠会社)	100	556481-1551	イエーテボリ
Handelsbanken Markets Securities, Inc ¹	100	11-3257438	ニューヨーク
Handelsbanken Mezzanine Management AB (休眠会社)	100	556679-2668	ストックホルム
Handelsbanken Mezzanine Fond 1 KB (休眠会社)	100	969710-3126	ストックホルム
Lokalbolig A/S	67.5	78488018	ヒレレズ
Rådstuplass 4 AS	100	910508423	ベルゲン
SIL (Nominees)Limited (休眠会社)	100	1932320	ロンドン
Svenska Property Nominees Limited (休眠会社)	100	2308524	ロンドン
Lila stugan i Stockholm AB (休眠会社)	100	556993-9084	ストックホルム
Bruna stugan i Stockholm (休眠会社)	100	556993-2311	ストックホルム
Blå stugan i Stockholm (休眠会社)	100	556993-9357	ストックホルム
Svenska Handelsbanken Representações (Brasil) Ltda	99.9	15.367.073/0001-93	サンパウロ

ハンデルスバンケン・リヴ Försäkring ABの子会社

Handelsbanken Fastigheter AB	100	556873-0021	ストックホルム
------------------------------	-----	-------------	---------

関連会社

Bankomatcentralen AB	21.89	556197-2265	ストックホルム
BDB Bankernas Depå AB	20	556695-3567	ストックホルム
BGC Holding AB	25.38	556607-0933	ストックホルム
Bankgirocentralen BGC AB	100	556047-3521	ストックホルム
Devise Business Transactions Sweden AB	100	556564-5404	ストックホルム
Finansiell ID-teknik BID AB	28.3	556630-4928	ストックホルム
Upplysningscentralen UC AB	24.48	556137-5113	ストックホルム
UC Ekonomipublikationer AB	100	556613-0042	ストックホルム
UC Ljungquist Information AB	100	556576-7133	ストックホルム
UC allabolag AB	51	556730-7367	ストックホルム
Bankomat AB	20	556817-9716	ストックホルム
Getswish AB	20	556913-7382	ストックホルム

¹金融機関

連結ベースに含まれていない会社

	所有持分 (%)	企業識別番号	所在地
ハンデルスバンケン・リヴ Försäkring AB (Handelsbanken Fastigheter ABを除く当行グループ)	100	516401-8284	ストックホルム
Svenska Re S.A.	100	RCS Lux B-32053	ルクセンブルグ
Handelsbanken Skadeförsäkrings AB	100	516401-6767	ストックホルム
Flisekompaniet Holdings AS	47	992999136	オスロ
Dyson Group plc	44.5	163096	シェフィールド
Plastal Industri AB	100	556532-8845	イエーテボリ
EFN Ekonomikanalen AB	100	556930-1608	ストックホルム
SHB Liv Försäkringsaktiebolag	100	2478149-7	ヘルシンキ
Svenska RKA International Insurance Services AB (休眠会社)	100	556324-2964	ストックホルム

貸借対照表

百万スウェーデン・クローネ	2014年		2013年	
	連結ベース	当銀行グループ	連結ベース	当銀行グループ
資産				
現金及び中央銀行預け金	454,532	454,532	338,788	334,794
中央銀行へのその他貸出金	51,047	51,047	35,160	35,160
財務省証券及びその他の適格証券	74,367	78,219	53,790	57,451
金融機関への貸出金	71,445	70,339	63,972	62,898
一般顧客への貸出金	1,808,036	1,807,836	1,696,489	1,696,339
ポートフォリオ・ヘッジにおける金利ヘッジ対象の価値変動	70	70	96	96
社債及びその他の利付証券	59,652	63,725	58,943	64,125
うち、売却可能区分に分類される利付商品(帳簿価額)	2,322	2,322	902	902
うち、売却可能区分に分類される利付商品(累計額)、価値変動	-124	-228	-293	-293
株式及び参加持分	44,995	46,546	47,268	48,595
うち、売却可能区分に分類される株式(帳簿価額)	8,367	8,367	5,725	5,725
うち、売却可能区分に分類される株式(累計額)、価値変動	1,614	1,614	1,369	1,369
関連会社投資	6,655	286	6,479	272
顧客が価値変動リスクを負う資産	3,024	94,763	4,112	80,930
デリバティブ商品	116,135	116,124	69,959	69,961
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	5,331	5,331	0	0
再保険資産	0	6	0	4
無形資産	8,055	8,132	8,229	7,835
不動産及び器具備品	2,239	2,239	2,646	2,205
当期税金資産	115	115	360	405
繰延税金資産	389	389	277	269
うち、キャッシュフロー・ヘッジに関連するもの	0	0	420	420
うち、売却可能区分に分類される利付商品に関連するもの	43	43	54	54

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)
有価証券報告書

年金資産	0	0	1,747	1,733
売却目的で保有する資産	0	1,196	0	1,247
その他資産	14,135	14,321	17,151	13,262
前払費用及び未収金	6,688	6,791	7,182	7,140
資産合計	2,721,579	2,816,676	2,412,648	2,484,721
負債及び資本				
金融機関に対する負債	208,018	200,074	186,609	171,624
一般顧客からの預金及び借入金	1,012,258	1,022,267	814,319	825,205
顧客が価値変動リスクを負う負債	3,125	94,864	4,160	80,977
発行済証券等	1,212,613	1,212,613	1,150,641	1,150,641
デリバティブ商品	62,878	62,878	61,532	61,529
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	0	0	1,518	1,518
ショートポジション	20,648	20,648	22,845	22,845
保険負債	0	663	0	622
当期税金負債	906	957	827	831
繰延税金負債	9,164	9,209	7,378	7,413
うち、キャッシュフロー・ヘッジに関連するもの	1,504	1,504	0	0
うち、売却可能区分に分類される利付商品に関連するもの	155	155	152	152
引当金	0	0	235	141
年金債務	1,460	1,480	0	0
売却目的で保有する資産にかかる負債	0	580	0	539
その他負債	14,366	14,578	13,225	13,189
未払費用及び繰延収益	18,536	18,681	21,926	21,861
劣後負債	30,289	30,289	15,965	15,965
うち、Tier1資本貸出金	8,043	8,043	10,602	10,602
うち、満期までの残存期間が5年未満の貸出金	17,163	17,163	2,990	2,990
うち、満期までの残存期間が5年超の貸出金	2,323	2,323	2,230	2,230
うち、その他貸出金	2,643	2,643	0	0
負債合計	2,594,469	2,689,849	2,299,662	2,373,382
少数株主持分	3	3	602	2
株式資本	2,956	2,956	2,956	2,956
自己株式の保有	0	0	0	0
資本剰余金	3,203	3,203	2,843	2,843
うち、複合金融商品による資本	1,045	1,045	0	0
その他準備金	12,271	12,220	1,906	1,837
利益剰余金	94,227	93,262	91,064	89,406
当期利益（株主に帰属）	14,450	15,183	13,615	14,295
資本合計	127,110	126,827	112,986	111,339
負債及び資本合計	2,721,579	2,816,676	2,412,648	2,484,721

移行自己資本 百万スウェーデン・クローネ	規制(EU)575/2013 の取扱い前の対象 となる金額、又は 規制(EU) 575/2013の所定の 残存額		2013年 (CRRに基づく)
	2014年		
普通株式等Tier 1 (CET1) 資本：商品及び準備金			
資本商品及び関連する資本剰余金勘定	5,741		5,799
うち、株式資本	5,593		5,579
うち、転換証券	148	148	220
利益剰余金	94,227		91,064
その他包括利益累計額（及びその他準備金）	12,271		1,906
一般的な銀行リスクに対する資金			
第484条第3項に示されている適格項目の金額、及びCET1の段階的廃止の対象となる関連資本剰余金勘定			
2018年1月まで適用除外される公的資金注入			
少数株主持分（連結CET1で認められた金額）			
独立してレビューされる中間利益（予測可能な費用又は配当金控除後）	3,326		3,130
規制上の調整前の普通株式等Tier 1 (CET1) 資本	115,565		101,899
普通株式等Tier 1 (CET1) 資本：規制上の調整			
追加的な価値調整（負の金額）	-1		-67
無形資産（関連する税金負債控除後）（負の金額）	-8,123		-7,835
EUにおいて該当なし			
一時差異によって生じた繰延税金資産を除く、将来の収益性に依拠した繰延税金資産（第38条第3項の条件を満たしている関連税金負債控除後）（負の金額）			
キャッシュフロー・ヘッジに係る損益に関する公正価値評価差額準備金	-5,331		1,518
予想損失額の計算に起因する負の金額	-2,103		-1,986
証券化資産に起因する資本の増加（負の金額）			
自己の信用力の変化に起因する公正価値で計上する負債に係る損益			
確定給付年金基金資産（負の金額）			
金融機関による自己のCET1商品の直接及び間接保有（負の金額）	-466		0
金融機関の自己資本を人為的に増大させることを目的として金融部門企業が金融機関と持ち合いしている場合の当該企業のCET1商品の直接、間接及び合成保有（負の金額）			
金融部門企業への重要な投資を保有していない金融機関による金融部門企業のCET1商品の直接、間接及び合成保有（基準値の10%を上回る金額、適格ショートポジション控除後）（負の金額）			

金融部門企業への重要な投資を保有している金融機関による
金融部門企業のCET1商品の直接、間接及び合成保有（基準
値の10%を上回る金額、適格ショートポジション控除後）
（負の金額）

EUにおいて該当なし

金融機関が控除の代替手段を選択した場合の1.250%のリス
ク加重要件を満たす以下の項目のエクスポージャー金額

-491

うち、金融部門外の適格な保有（負の金額）

うち、証券化ポジション（負の金額）

うち、フリー・デリバリー（負の金額）

一時差異によって生じた繰延税金資産（基準値の10%を上回
る金額、第38条第3項の条件を満たしている関連税金負債
控除後）（負の金額）

基準値の15%を超過した金額（負の金額）

うち、金融部門企業への重要な投資を保有している金融機
関による金融部門企業のCET1商品の直接及び間接保有

EUにおいて該当なし

うち、一時差異によって生じた繰延税金資産

当年度の損失（負の金額）

CET1項目に関連する予測される税金費用（負の金額）

CRR前措置の対象となる金額に関連する普通株式等Tier 1資
本に適用される規制上の調整

第467条及び第468条による未実現損益に関連する規制上の調
整

-1,457

うち、未実現損失に関するフィルタ

-1,457

追加フィルタ及び控除を必要とするCRR前措置に関して普通
株式等Tier 1資本合計から控除される金額、又は普通株式
等Tier 1資本に追加される金額

金融機関のAT1を超過する適格AT1控除（負の金額）

普通株式等Tier 1 (CET1) の資本の規制上の調整合計

-17,480

-8,861

普通株式等Tier 1 (CET1) 資本

98,084

93,038

その他Tier 1 (AT1) 資本：商品

資本商品及び関連する資本剰余金勘定

10,602

うち、適用される会計基準に基づき資本に分類されるもの

うち、適用される会計基準に基づき負債に分類されるもの

10,602

第484条第4項で示されている適格項目の金額及びAT1の段階
的廃止の対象となる関連資本剰余金勘定

8,043

8,043

2018年1月1日まで適用除外される公的資金注入

連結AT1資本に含まれる適格Tier 1資本（第5項に含まれない
少数株主持分を含む）

うち、子会社が発行した商品のうち段階的廃止の対象とな
るもの

規制上の調整前その他Tier 1 (AT1) 資本

8,043

10,602

その他Tier 1 (AT1) 資本：規制上の調整

金融機関による自己のAT1商品の直接及び間接保有（負の金額）

金融機関の自己資本を人為的に増大させることを目的として金融部門企業が金融機関と持ち合いしている場合の金融部門企業のAT1商品の保有（負の金額）

金融部門企業への重要な投資を保有していない金融機関による金融部門企業のAT1商品の直接、間接及び合成保有（基準値の10%を上回る金額、適格ショートポジション控除後）（負の金額）

金融部門企業への重要な投資を保有している金融機関による金融部門企業のAT1商品の直接、間接及び合成保有（基準値の10%を上回る金額、適格ショートポジション控除後）（負の金額）

規制（EU）585/2013に規定される段階的廃止の対象となるCRR前措置及び移行措置の金額（すなわち、CRR残存額）に関してその他Tier 1資本に適用される規制上の調整

規制（EU）575/2013の第472条に従って移行期間中において普通株式等Tier 1資本から控除される金額に関してその他Tier 1資本から控除される残余额

うち、各行毎に詳述すべき項目（例：重要な中間純損失、無形資産、予想損失に対する引当金の不足等）

規制（EU）575/2013の第475条に従って移行期間中においてTier 2資本から控除される金額に関してその他Tier 1資本から控除される残余额

うち、各行毎に詳述すべき項目（例：Tier 2商品の持ち合い、他の金融部門企業の資本への重要でない投資の直接保有等）

追加フィルタ及び控除を必要とするCRR前措置に関してその他Tier 1資本から控除される金額、又はその他Tier 1資本に追加される金額

金融機関のTier 2 (T2) 資本を超過する適格T2控除（負の金額）

その他Tier 1 (AT1) 資本の規制上の調整合計

0

0

その他Tier 1 (AT1) 資本

8,043

10,602

Tier 1資本 (T1=CET1+AT1)

106,127

103,640

Tier 2 (T2) 資本：商品及び引当金

資本商品及び関連する資本剰余金勘定

17,860

697

3,882

T2からの段階的廃止の対象となる第484条第5項で示されている適格項目の金額及び関連資本剰余金勘定

2018年1月1日まで適用除外される公的資金注入

子会社が発行し、第三者が保有する連結T2資本に含まれる適格自己資本（第5項又は第34項に含まれない少数株主持分及びAT1を含む）

うち、子会社が発行した商品のうち段階的廃止の対象となるもの

信用リスク調整

規制上の調整前Tier 2 (T2) 資本

17,860

3,882

Tier 2 (T2) 資本：規制上の調整

金融機関による自己のT2商品及び劣後ローンの直接及び間接保有（負の金額）

金融機関の自己資本を人為的増大させることを目的として金融部門企業が金融機関と持ち合いしている場合の当該企業のT2商品及び劣後ローンの保有（負の金額）

金融部門企業への重要な投資を保有していない金融機関による金融部門企業のT2商品及び劣後ローンの直接、間接及び合成保有（基準値の10%を上回る金額、適格ショートポジション控除後）（負の金額）

うち、移行措置の対象とならない新規保有

うち、2013年1月1日より前に存在しており、移行措置の対象となる保有

金融部門企業への重要な投資を保有している金融機関による金融部門企業のT2商品及び劣後ローンの直接、間接及び合成保有（適格ショートポジション控除後）（負の金額）

-1,129

-1,129

規制（EU）575/2013に規定される段階的廃止の対象となるCRR前措置及び移行措置の金額（すなわち、CRR残存額）に関してTier 2資本に適用される規制上の調整

規制（EU）575/2013の第472条により移行期間中において普通株式等Tier 1資本から控除される金額に関してTier 2資本から控除される残余额

うち、各行毎に詳述すべき項目（例：重要な中間純損失、無形資産、予想損失に対する引当金の不足等）

規制（EU）575/2013の第475条により移行期間中においてその他Tier 1資本から控除される金額に関してTier 2資本から控除される残余额

うち、各行毎に詳述すべき項目（例：Tier 2商品の持ち合い、他の金融部門企業の資本への重要でない投資の直接保有等）

追加フィルタ及び控除を必要とするCRR前措置に関してTier 2資本から控除される金額、又はTier 2資本に追加される金額

Tier 2 (T2) 資本の規制上の調整合計

-1,129

-1,129

Tier 2 (T2) 資本

16,731

2,753

資本合計（TC=T1+T2）

122,858

106,392

規制 (EU) 575/2013に規定される段階的廃止の対象となる CRR前措置及び移行措置の対象となる金額 (すなわち、CRR 残存額) に関するリスク加重資産	480,388	492,785
うち、普通株式等Tier 1資本から控除されない当行グルー プの保険会社に対する追加資本 (規制 (EU) 575/2013に よる残存価値)	15,633	
うち、普通株式等Tier 1資本から控除されない繰延税金資 産 (規制 (EU) 575/2013による残存価値)	332	
T2項目から控除されない項目 (規制 (EU) 575/2013による残 存価値) (各行毎に詳述すべき項目、例: 自己のT2商品の 間接保有、他の金融部門企業の資本への重要でない投資の 間接保有、他の金融部門企業の資本への重要な投資の間接 保有等)		
リスク加重資産合計	480,388	492,785

自己資本比率及びバッファ

普通株式等Tier 1資本比率 (リスク・エクスポージャー合計 額に対する割合)	20.4	18.9
Tier 1比率 (リスク・エクスポージャー合計額に対する割 合)	22.1	21.0
資本合計 (リスク・エクスポージャー合計額に対する割合)	25.6	21.6
金融機関特有のバッファ要件 (リスク・エクスポージャー 合計額の割合として表される第92条第1項(a)によるCET1要 件、資本保全及びカウンターシクリカル・バッファ要件 、及びシステミック・リスク・バッファ、及び金融シ ステム上重要な金融機関バッファ)	2.5	0.0
うち、資本保全バッファ要件	2.5	0.0
うち、カウンターシクリカル・バッファ要件	0.0	0.0
うち、システミック・リスク・バッファ要件	0.0	0.0
うち、世界的に金融システム上重要な金融機関 (G-SII) 又はその他の金融システム上重要な金融機関 (O-SII) バッファ	0.0	0.0
バッファ要件を満たすために利用可能な普通株式等Tier 1 資本 (リスク・エクスポージャー金額に対する割合)	15.9	18.9
[EUにおいて該当なし]		
[EUにおいて該当なし]		
[EUにおいて該当なし]		

自己資本比率及びバッファ

金融部門企業への重要な投資を保有していない金融機関の、 金融部門企業の資本の直接及び間接保有 (基準値の10%を 下回る金額、適格ショートポジション控除後)	
金融部門企業への重要な投資を保有している金融機関の、金 融部門企業のCET1商品の直接及び間接保有 (基準値の10% を下回る金額、適格ショートポジション控除後)	72

[EUにおいて該当なし]

一時差異によって生じた繰延税金資産（基準値の10%を下回る金額、第38条第3項の条件を満たしている関連税金負債控除後） -133

Tier 2における引当金の算入に適用される上限額

標準的アプローチの対象となるエクスポージャーに関してT2に含まれている信用リスク調整（上限額適用前）

標準的アプローチに基づきT2に信用リスク調整を算入する際の上限額

内部格付アプローチの対象となるエクスポージャーに関してT2に含まれる信用リスク調整（上限額適用前）

内部格付アプローチに基づきT2に信用リスク調整を算入する際の上限額

段階的廃止の対象となる資本商品（2013年1月1日から2022年1月1日までの期間のみに適用）

段階的廃止の対象となるCET1商品に係る現在の上限額	232
上限によりCET1から除外された金額（償還及び満期後に上限を超える金額）	0
段階的廃止の対象となるAT1商品に係る現在の上限額	9,780
上限によりAT1から除外される金額（償還及び満期後に上限を超える金額）	0
段階的廃止の対象となるT2商品に係る現在の上限額	5,926
上限によりT2から除外される金額（償還及び満期後に上限を超える金額）	0

この表示は、欧州委員会実施規則（EU）1423/2013の要件に準拠している。

資本商品の主な特性、CET1

	SHB A	SHB B
発行体	スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー	スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー
固有の識別コード（例：CUSIP、ISIN又は私募発行に関するブルームバーグ識別コード）	SE0000193120	SE0000152084
商品の準拠法	スウェーデン法	スウェーデン法
<i>規制上の取扱い</i>		
移行時のCRR規定	普通株式等Tier 1資本	普通株式等Tier 1資本
移行後の規定	普通株式等Tier 1資本	普通株式等Tier 1資本
単独／（サブ）連結／単独及び（サブ）連結において適格	単独及び（サブ）連結	単独及び（サブ）連結
商品の種類（管轄地毎に規定される種類）	株式資本、クラスA	株式資本、クラスB
規制資本において認識される金額（直近の報告日現在で、通貨単位は百万）	4,562百万スウェーデン・クローネ	86百万スウェーデン・クローネ

商品の額面金額	2,901百万スウェーデン・クローネ	55百万スウェーデン・クローネ
発行価格	4,562百万スウェーデン・クローネ	86百万スウェーデン・クローネ
償還価格	該当なし	該当なし
会計上の分類	資本	資本
当初発行日	1871	1990
永久又は期限付	永久	永久
当初満期日	該当なし	該当なし
監督当局承認前の発行体のコール	該当なし	該当なし
任意のコール日、偶発的コール日及び償還金額	該当なし	該当なし
その後のコール日（該当する場合）	該当なし	該当なし
クーポン／配当金		
固定又は変動利付配当金／クーポン	該当なし	該当なし
クーポン・レート及び関連インデックス	該当なし	該当なし
配当金のストッパーの有無	該当なし	該当なし
全額任意、一部任意又は強制（時期に関して）	該当なし	該当なし
全額任意、一部任意又は強制（金額に関して）	該当なし	該当なし
ステップアップ又は償還に関するその他のインセンティブの有無	なし	なし
非累積型又は累積型	非累積型	非累積型
転換又は非転換	非転換	非転換
転換の場合、転換トリガー	該当なし	該当なし
転換の場合、全部又は一部	該当なし	該当なし
転換の場合、転換率	該当なし	該当なし
転換の場合、強制転換又は任意転換	該当なし	該当なし
転換の場合、転換可能な商品の種類を明記	該当なし	該当なし
転換の場合、転換される商品の発行体を明記	該当なし	該当なし
評価減の特性	なし	なし
評価減の場合、評価減トリガー	該当なし	該当なし
評価減の場合、全部又は一部	該当なし	該当なし
評価減の場合、永久又は一時的	該当なし	該当なし
一時的な評価減がある場合、評価増の仕組みの記述	該当なし	該当なし
清算の際の劣後ヒエラルキーにおけるポジション（商品の直前に優先される商品の種類を明記）	最も低い。直前の上位商品はその他Tier 1資本	最も低い。直前の上位商品はその他Tier 1資本
非準拠移行特性	なし	なし
そうした特性がある場合、非準拠特性を明記	該当なし	該当なし

この表示は、欧州委員会実施規則（EU）1423/2013の要件に準拠している。

資本商品の主な特性、T1

発行体	スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ピー	スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ピー	スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ピー	スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ピー
固有の識別コード（例：CUSIP、ISIN又は私募発行に関するブルームバーグ識別コード）	XS0238196942	W8975#AA3	SE0002450601	XS0406264092
商品の準拠法	主に英国法、スウェーデン破産法	主に英国法、スウェーデン破産法	スウェーデン法	主に英国法、スウェーデン破産法
<i>規制上の取扱い</i>				
移行時のCRR規定	その他Tier 1資本	その他Tier 1資本	その他Tier 1資本	その他Tier 1資本
移行後の規定	非適格	非適格	非適格	Tier 2資本
単独／（サブ）連結／単独及び（サブ）連結において適格	単独及び（サブ）連結	単独及び（サブ）連結	単独及び（サブ）連結	単独及び（サブ）連結
商品の種類（管轄地毎に規定される種類）	その他Tier 1資本	その他Tier 1資本	その他Tier 1資本	その他Tier 1資本
規制資本において認識される金額（直近の報告日現在で、通貨単位は百万）	4,712百万スウェーデン・クロネ	977百万スウェーデン・クロネ	6百万スウェーデン・クロネ	2,347百万スウェーデン・クロネ
商品の額面金額	500百万ユーロ	15,000百万円	6百万スウェーデン・クロネ	2,350百万スウェーデン・クロネ
発行価格	100%	100%	100%	100%
償還価格	100%	100%	100%	100%
会計上の分類	負債-償却原価	負債-償却原価	負債-償却原価	負債-償却原価
当初発行日	2005年12月16日	2005年12月20日	2008年6月12日	2008年12月19日
永久又は期限付	永久	永久	永久	永久
当初満期日	満期日なし	満期日なし	満期日なし	満期日なし
監督当局承認前の発行体のコール	あり	あり	あり	あり
任意のコール日、偶発的コール日及び償還金額	2015年12月16日	2015年12月20日	2013年5月21日	2019年3月19日
その後のコール日（該当する場合）	第一回償還日後、各利息支払日毎にコール可能	2020年12月25日、2035年12月20日、及びその後の利息支払日毎	40日間の認定期間をもって随時コール可能	第一回償還日後、各利息支払日毎にコール可能
<i>クーポン／配当金</i>				
固定又は変動利付配当金／クーポン	固定	固定から変動	変動	固定
クーポン・レート及び関連インデックス	4.19%	4.10%	1.56%	11%
配当金のストッパーの有無	あり	あり	あり	あり
全額任意、一部任意又は強制（時期に関して）	一部任意	一部任意	一部任意	一部任意
全額任意、一部任意又は強制（金額に関して）	一部任意	一部任意	一部任意	一部任意

ステップアップ又は償還に関するその他のインセンティブの有無	あり	あり	あり	あり
非累積型又は累積型	非累積型	非累積型	非累積型	非累積型
転換又は非転換	非転換	非転換	転換	非転換
転換の場合、転換トリガー	該当なし	該当なし	全額任意	該当なし
転換の場合、全部又は一部	該当なし	該当なし	全額又は一部	該当なし
転換の場合、転換率	該当なし	該当なし	一株当たり187.56 スウェーデン・クローネ	該当なし
転換の場合、強制転換又は任意転換	該当なし	該当なし	任意	該当なし
転換の場合、転換可能な商品の種類を明記	該当なし	該当なし	株式資本、クラスA	該当なし
転換の場合、転換される商品の発行体を明記	該当なし	該当なし	スヴェンカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー	該当なし
評価減の特性	あり	あり	あり	あり
評価減の場合、評価減トリガー	自己資本規制違反	自己資本規制違反	予想される自己資本規制違反	予想される自己資本規制違反
評価減の場合、全部又は一部	全額又は一部	全額又は一部	全額又は一部	全額又は一部
評価減の場合、永久又は一時的	一時的	一時的	一時的	一時的
一時的な評価減がある場合、評価増の仕組みの記述	全額任意	全額任意	全額任意	全額任意
清算の際の劣後ヒエラルキーにおけるポジション（商品の直前に優先される商品の種類を明記）	株式を除く、すべての商品に劣後する。（直前の優先順位は劣後ローン）	株式を除く、すべての商品に劣後する。（直前の優先順位は劣後ローン）	株式を除く、すべての商品に劣後する。（直前の優先順位は劣後ローン）	株式を除く、すべての商品に劣後する。（直前の優先順位は劣後ローン）
非準拠移行特性	あり	あり	あり	あり
そうした特性がある場合、非準拠特性を明記	ステップアップ及び配当金ストッパー	ステップアップ及び配当金ストッパー	ステップアップ及び配当金ストッパー	ステップアップ及び配当金ストッパー

この表示は、欧州委員会実施規則（EU）1423/2013の要件に準拠している。

資本商品の主な特性、T2

発行体	スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー	スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー	スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー	スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー
固有の識別コード（例：CUSIP、ISIN又は私募発行に関するブルームバーグ識別コード）	XS1014674227	XS0842167719	XS0842167552	SE0003961713
商品の準拠法	主に英国法、スウェーデン破産法	主に英国法、スウェーデン破産法	主に英国法、スウェーデン破産法	スウェーデン法

規制上の取扱い

移行時のCRR規定	Tier 2資本	Tier 2資本	Tier 2資本	Tier 2資本
移行後の規定	Tier 2資本	Tier 2資本	Tier 2資本	Tier 2資本
単独 / (サブ) 連結 / 単独及び (サブ) 連結において適格	単独及び (サブ) 連結	単独及び (サブ) 連結	単独及び (サブ) 連結	単独及び (サブ) 連結
商品の種類 (管轄地毎に規定される種類)	劣後ローン	劣後ローン	劣後ローン	転換劣後ローン
規制資本において認識される金額 (直近の報告日現在で、通貨単位は百万)	14,174百万スウェーデン・クローネ	1,740百万スウェーデン・クローネ	1,250百万スウェーデン・クローネ	697百万スウェーデン・クローネ
商品の額面金額	1,500百万ユーロ	1,750百万スウェーデン・クローネ	1,250百万スウェーデン・クローネ	2,513百万スウェーデン・クローネ
発行価格	100%	100%	100%	100%
償還価格	100%	100%	100%	100%
会計上の分類	負債-償却原価	負債-償却原価	負債-償却原価	負債-償却原価
当初発行日	2014年1月15日	2012年10月12日	2012年10月12日	2011年6月1日
永久又は期限付	期限付	期限付	期限付	永久
当初満期日	2024年1月15日	2022年10月12日	2022年10月12日	該当なし
監督当局承認前の発行体のコール	あり	あり	あり	なし
任意のコール日、偶発的コール日及び償還金額	2019年1月15日	2017年10月12日	2017年10月12日	2016年7月1日
その後のコール日 (該当する場合)	第一回償還日後、各利息支払日毎にコール可能	第一回償還日後、各利息支払日毎にコール可能	第一回償還日後、各利息支払日毎にコール可能	40日間の認定期間をもって随時コール可能
クーポン / 配当金				
固定又は変動利付配当金 / クーボン	固定	固定	変動	変動
クーポン・レート及び関連インデックス	2.66%	4.47%	3.36%	1.49%
配当金のストッパーの有無	なし	なし	なし	なし
全額任意、一部任意又は強制 (時期に関して)	強制	強制	強制	一部任意
全額任意、一部任意又は強制 (金額に関して)	強制	強制	強制	一部任意
ステップアップ又は償還に関するその他のインセンティブの有無	なし	なし	なし	なし
非累積型又は累積型	非累積型	非累積型	非累積型	非累積型
転換又は非転換	非転換	非転換	非転換	転換
転換の場合、転換トリガー	該当なし	該当なし	該当なし	予想される自己資本規制違反
転換の場合、全部又は一部	該当なし	該当なし	該当なし	一部
転換の場合、転換率	該当なし	該当なし	該当なし	一株当たり224.52スウェーデン・クローネ

転換の場合、強制転換又は任意転換	該当なし	該当なし	該当なし	任意
転換の場合、転換可能な商品の種類を明記	該当なし	該当なし	該当なし	SHB A
転換の場合、転換される商品の発行体を明記	該当なし	該当なし	該当なし	スヴェンカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー
評価減の特性	なし	なし	なし	あり
評価減の場合、評価減トリガー	該当なし	該当なし	該当なし	予想される自己資本規制違反
評価減の場合、全部又は一部	該当なし	該当なし	該当なし	一部
評価減の場合、永久又は一時的	該当なし	該当なし	該当なし	一時的
一時的な評価減がある場合、評価増の仕組みの記述	該当なし	該当なし	該当なし	全額任意
清算の際の劣後ヒエラルキーにおけるポジション（商品の直前に優先される商品の種類を明記）	すべての優先貸付に劣後する。	すべての優先貸付に劣後する。	すべての優先貸付に劣後する。	株式を除く、すべての商品に劣後する。（直前の優先順位は劣後ローン）
非準拠移行特性	なし	なし	なし	なし
そうした特性がある場合、非準拠特性を明記	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

この表示は、欧州委員会実施規則（EU）1423/2013の要件に準拠している。

所要自己資本

	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ		
標準的アプローチによる信用リスク	5,575	4,225
IRBアプローチによる信用リスク	26,944	28,015
市場リスク	939	770
信用評価調整（以下、「CVA」という）リスク	534	-
オペレーショナル・リスク	4,439	4,246
所要自己資本合計	38,431	37,256
バーゼル1フロアに基づく調整	51,975	44,039
所要自己資本、バーゼル1フロア	90,406	81,295
資本基盤合計 ¹ 、バーゼル1フロア	124,961	100,406

1) 2013年については、バーゼル1フロアに関する資本基盤合計は規制上の要件に対応している。このため、当該合計はフロアと名目自己資本の両方を対象としている。

所要自己資本、市場リスク

	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ		
トレーディング勘定におけるポジション・リスク	927	756
金利リスク	908	745
うち、一般的なリスク	566	493
うち、特定のリスク	338	252
うち、証券化金融商品のポジション	0	1
うち、デルタ・リスク以外のリスク ¹	4	-
株価リスク	19	11
うち、一般的なリスク	3	3
うち、特定のリスク	7	6
うち、ミューチュアル・ファンド	1	2
うち、デルタ・リスク以外のリスク ¹	8	-
為替リスク	-	-
うち、デルタ・リスク以外のリスク ¹	-	-
コモディティ・リスク	8	14
うち、デルタ・リスク以外のリスク ¹	0	-
決済リスク	4	0
市場リスクに係る所要自己資本合計	939	770

1) 2014年1月1日にCRRが施行された際、デルタ・リスク以外のリスクは所要自己資本に含められた。

自己資本比率分析

	2014年	2013年
普通株式等Tier 1資本比率、CRR（％）	20.4	18.9
Tier 1資本比率、CRR（％）	22.1	21.0
自己資本比率合計、CRR（％）	25.6	21.6

リスク・エクスポージャー金額、CRR（百万スウェーデン・クローネ）	480,388	492,785
バーゼル1フロアに基づく所要自己資本に関する資本基盤（％）	138.0	124.0
金融機関特有のバッファー要件（％）	2.5	-
うち、資本保全バッファー要件（％）	2.5	-
バッファーとして利用可能な普通株式等Tier 1資本（％） ¹	15.9	-

1) 最低要件のすべてを満たすために当行に求められているものを控除した後に利用可能な普通株式等Tier 1資本。2013年のCRR / CRD に基づく主要比率に関する比較数値は、当該規制の全面適用を前提とした報告日現在の当行の解釈に基づく推定値である。カウンターパーティ・リスクのリスク加重金額について詳しくは、注記G2を参照のこと。

金融コングロマリットの自己資本比率

	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ		
控除及び調整後の資本基盤	129,412	107,365
所要自己資本	91,322	82,180
剰余金	38,090	25,185

信用リスク (IRB)	エクスポージャー金額		平均リスク加重、％		所要自己資本	
百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年	2014年	2013年	2014年	2013年
法人エクスポージャー	958,861	915,218	24.1	28.4	18,459	20,824
うち、レボ及び有価証券貸付	14,060	8,376	0.4	0.5	5	3
うち、その他貸付(基礎的アプローチ)	142,047	140,425	32.8	35.8	3,728	4,023
うち、その他貸付(先進的アプローチ)	802,754	766,417	22.9	27.4	14,726	16,798
うち、大企業	149,446	153,810	48.6	52.5	5,806	6,458
うち、中小企業	74,041	72,305	45.5	57.4	2,698	3,323
うち、不動産会社	428,314	401,705	16.8	20	5,773	6,435
うち、住宅協同組合	150,952	138,597	3.7	5.2	449	582
リテール・エクスポージャー	867,447	818,080	8	8.3	5,521	5,405
個人	839,719	789,722	7.3	7.3	4,910	4,604
うち、不動産貸付	756,225	705,004	5.6	5.2	3,364	2,934
うち、その他	83,494	84,718	23.2	24.6	1,546	1,670
小規模企業	27,728	28,358	27.5	35.3	611	801
うち、不動産貸付	7,535	7,207	20.3	25.2	122	145
うち、その他	20,193	21,151	30.2	38.7	489	656
機関エクスポージャー	134,409	100,503	12.4	11.9	1,334	954
うち、レボ及び有価証券貸付	51,433	48,863	1.3	0.8	53	31
うち、その他貸付	82,976	51,640	19.3	22.3	1,281	923
株式エクスポージャー	6,102	5,693	296.8	143.6	1,449	654
うち、上場株式	5,584	4,369	290	133	1,296	465
うち、その他株式	518	1,324	370	180.7	153	189
カウンターパーティ・リスクを除くエクスポージャー	2,239	2,204	100	100	179	176
証券化ポジション	269	878	8.8	3.1	2	2
うち、伝統的証券化	269	878	8.8	3.1	2	2

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)
有価証券報告書

うち、合成的証券化

	-	-	-	-	-	-
IRB合計	1,969,327	1,842,576	17.1	19	26,944	28,015
うち、レボ及び有価証券貸付	65,493	57,239	1.1	0.7	57	34
うち、その他貸付(基礎的アプローチ)	233,633	200,840	35.5	36	6,639	5,778
うち、その他貸付(先進的アプローチ)	1,670,201	1,584,497	15.2	17.5	20,247	22,203

所要自己資本、標準的アプローチ¹

百万スウェーデン・クローネ	2014年			2013年		
	エクスポージャー金額	平均リスク加重、%	所要自己資本	エクスポージャー金額	平均リスク加重、%	所要自己資本
ソブリン及び中央銀行	558,624	0.0	4	406,996	0.0	12
地方自治体	64,086	0.0	2	57,231	0.0	2
国際開発銀行	762	0.0	0	1,647	0.0	0
金融機関	2,277	25.2	46	2,238	25.4	45
法人	12,771	81.3	831	23,032	100.0	1,842
リテール	19,212	74.7	1,147	11,117	75.0	667
不動産抵当貸付	57,765	36.3	1,680	36,378	37.8	1,102
延滞項目	144	129.9	15	168	136.2	18
株式	7,110	230.6	1,311			
うち、上場株式	641	100.0	51			
うち、その他株式	6,469	243.5	1,260			
その他項目	7,409	90.9	539	14,748	45.5	537
合計	730,160	9.5	5,575	553,555	9.5	4,225

1) 存在するエクスポージャーをクラス毎に集約し、所要自己資本の詳細を示したもの

[次へ](#)

(2) 個別財務書類

損益計算書(親会社)

		2014年		2013年	
		(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
利息収益	注記P3	27,959	403,169	29,295	422,434
利息費用	注記P3	-11,877	-171,266	-13,333	-192,262
純利息収益		16,082	231,902	15,962	230,172
受取配当金	注記P4	9,664	139,355	8,995	129,708
手数料及びコミッション収益	注記P5	8,030	115,793	7,423	107,040
手数料及びコミッション費用	注記P5	-1,918	-27,658	-1,774	-25,581
純手数料及びコミッション収益		6,112	88,135	5,649	81,459
金融取引による純損益	注記P6	1,117	16,107	589	8,493
その他営業収益	注記P7	2,188	31,551	1,953	28,162
営業収益合計		35,163	507,050	33,148	477,994
一般管理費用					
人件費	注記P8	-10,441	-150,559	-9,977	-143,868
その他管理費用	注記P9	-5,006	-72,187	-5,075	-73,182
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	注記P19, P20	-478	-6,893	-498	-7,181
貸倒損失控除前費用合計		-15,925	-229,639	-15,550	-224,231
貸倒損失控除前利益		19,238	277,412	17,598	253,763
正味貸倒損失	注記P10	-1,825	-26,317	-1,189	-17,145
金融資産の減損損失		-	-	-29	-418
営業利益		17,413	251,095	16,380	236,200
繰入	注記P11	111	1,601	4,267	61,530
税引前利益		17,524	252,696	20,647	297,730
法人税等	注記P27	-3,823	-55,128	-4,619	-66,606
当期利益		13,701	197,568	16,028	231,124

包括利益計算書（親会社）

	2014年		2013年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
当期利益	13,701	197,568	16,028	231,124
その他包括利益				
キャッシュフロー・ヘッジ	3,249	46,851	-3,009	-43,390
売却可能金融商品	295	4,254	534	7,700
当期為替換算差額	5,634	81,242	879	12,675
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	2,675	38,574	901	12,992
その他包括利益に関する税金	-1,311	-18,905	397	5,725
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	-709	-10,224	656	9,460
うち、売却可能金融商品	-14	-202	-61	-880
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	-588	-8,479	-198	-2,855
その他包括利益合計	7,867	113,442	-1,199	-17,290
当期包括利益合計	21,568	311,011	14,829	213,834

当期の損益計算書における組替修正は株主持分変動計算書に示されている。

貸借対照表(親会社)

		2014年		2013年	
		(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
資産					
現金及び中央銀行預け金		454,532	6,554,351	334,794	4,827,729
中央銀行への担保として適格な利付証券	注記P14	74,362	1,072,300	53,785	775,580
金融機関への貸出金	注記P12	568,589	8,199,053	475,440	6,855,845
一般顧客への貸出金	注記P13	737,483	10,634,505	685,372	9,883,064
社債及びその他の利付証券	注記P14	59,652	860,182	58,943	849,958
株式	注記P15	44,949	648,165	47,221	680,927
子会社株式及び関連会社投資	注記P16	45,764	659,917	46,153	665,526
顧客が価値変動リスクを負う資産		3,024	43,606	2,188	31,551
デリバティブ商品	注記P17	120,051	1,731,135	78,295	1,129,014
無形資産	注記P19	1,805	26,028	1,750	25,235
不動産及び器具備品	注記P20	1,032	14,881	978	14,103
当期税金資産		-	-	-	-
繰延税金資産	注記P27	361	5,206	202	2,913
その他資産	注記P21	19,195	276,792	16,468	237,469
前払費用及び未収金	注記P22	4,996	72,042	5,272	76,022
資産合計	注記P33	2,135,795	30,798,164	1,806,861	26,054,936
負債及び資本					
金融機関からの預り金	注記P23	210,099	3,029,628	226,631	3,268,019
一般顧客からの預金及び借入金	注記P24	1,020,962	14,722,272	814,227	11,741,153
顧客が価値変動リスクを負う負債		3,125	45,063	2,236	32,243
発行済証券等	注記P25	633,128	9,129,706	532,607	7,680,193
デリバティブ商品	注記P17	87,718	1,264,894	77,143	1,112,402
ショートポジション	注記P26	20,648	297,744	22,845	329,425
当期税金負債		829	11,954	816	11,767
繰延税金負債	注記P27	1,669	24,067	114	1,644
引当金	注記P28	87	1,255	128	1,846
その他負債	注記P29	14,148	204,014	12,703	183,177
未払費用及び繰延収益	注記P30	9,809	141,446	9,915	142,974
劣後負債	注記P31	30,289	436,767	15,965	230,215
負債合計	注記P33	2,032,511	29,308,809	1,715,330	24,735,059
非課税剰余金	注記P32	699	10,080	773	11,147
株式資本		2,956	42,626	2,956	42,626

スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)
有価証券報告書

資本剰余金	3,203	46,187	2,843	40,996
その他積立金	9,778	140,999	1,911	27,557
利益剰余金	72,947	1,051,896	67,020	966,428
当期利益	13,701	197,568	16,028	231,124
資本合計	102,585	1,479,276	90,758	1,308,730

負債及び資本合計	2,135,795	30,798,164	1,806,861	26,054,936
-----------------	------------------	-------------------	------------------	-------------------

補足項目

自己債務の担保として差し入れた資産	注記P35	42,225	608,885	25,216	363,615
担保に供したその他資産	注記P35	35,758	515,630	41,679	601,011
偶発債務	注記P36	80,471	1,160,392	121,509	1,752,160
その他コミットメント	注記P37	487,070	7,023,549	495,502	7,145,139

持分変動計算書（親会社）

	制限資本		非制限資本					
(百万スウェーデン・クローネ)	株式資本	法定準備金	資本剰余金	ヘッジ準備金 ¹	公正価値評価差額準備金 ¹	為替換算調整準備金 ¹	利益剰余金	合計
2014年期首資本	2,956	2,682	2,843	-1,343	1,023	-451	83,048	90,758
当期利益							13,701	13,701
その他包括利益				2,540	281	5,046		7,867
当期包括利益合計				2,540	281	5,046	13,701	21,568
配当金							-10,488	-10,488
転換劣後ローンの影響 ²	0		360				49	409
合併の影響							338	338
2014年期末資本	2,956	2,682	3,203	1,197	1,304	4,595	86,648	102,585

	制限資本		非制限資本					
(百万スウェーデン・クローネ)	株式資本	法定準備金	資本剰余金	ヘッジ準備金 ¹	公正価値評価差額準備金 ¹	為替換算調整準備金 ¹	利益剰余金	合計
2013年期首資本	2,943	2,682	2,337	1,010	550	-1,132	73,842	82,232
当期利益							16,028	16,028
その他包括利益				-2,353	473	681		-1,199
当期包括利益合計				-2,353	473	681	16,028	14,829
配当金							-6,822	-6,822
転換劣後ローンの影響	13		506					519
2013年期末資本	2,956	2,682	2,843	-1,343	1,023	-451	83,048	90,758

1) 公正価値ファンドに含まれている。

2) 発行済転換可能負債商品の転換オプションの本源的価値は、資本剰余金に計上されている。2014年の転換可能負債商品の影響（純額）は、466百万スウェーデン・クローネであった。第3四半期中に資本剰余金は、転換可能負債商品の繰延税金に関する243百万スウェーデン・クローネによって調整された。この金額は、満期までの残存期間にわたって、損益計算書に計上される。

2014年1月から12月において、2008年転換可能劣後社債に係る額面6（533）百万スウェーデン・クローネが、29,924（2,838,683）株のクラスA株式に転換された。年度末において、トレーディング勘定で保有されていた自己株式は0（0）株であった。

資本変動の内訳

ヘッジ準備金の変動

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
期首ヘッジ準備金	-1,343	1,010
当期における未実現損益の変動	2,620	-2,432
損益計算書への振替額 ¹	-80	79
期末ヘッジ準備金	1,197	-1,343

公正価値評価差額準備金の変動

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
期首公正価値評価差額準備金	1,023	550
期末保有分に関する当期の未実現市場価値の変動	240	507
損益計算書に振り替えられた実現市場価値 ²	41	-34
期末公正価値評価差額準備金	1,304	1,023

為替換算調整準備金の変動

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
期首為替換算調整準備金	-451	-1,132
支店における為替換算差額の変動	5,043	681
損益計算書への振替額 ³	3	0
期末為替換算調整準備金	4,595	-451

1) この項目に係る税金22 (-22) 百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

2) この項目に係る税金10 (16) 百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

3) この項目に係る税金- (-) 百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

(百万円)	制限資本		非制限資本					合計
	株式資本	法定準備金	資本剰余金	ヘッジ準備金 ¹	公正価値評価差額準備金 ¹	為替換算調整準備金 ¹	利益剰余金	
2014年期首資本	42,626	38,674	40,996	-19,366	14,752	-6,503	1,197,552	1,308,730
当期利益							197,568	197,568
その他包括利益				36,627	4,052	72,763		113,442
当期包括利益合計				36,627	4,052	72,763	197,568	311,011
配当金							-151,237	-151,237
転換劣後ローンの影響 ²	0		5,191				707	5,898
合併の影響							4,874	4,874
2014年期末資本	42,626	38,674	46,187	17,261	18,804	66,260	1,249,464	1,479,276

(百万円)	制限資本		非制限資本					合計
	株式資本	法定準備金	資本剰余金	ヘッジ準備金 ¹	公正価値評価差額準備金 ¹	為替換算調整準備金 ¹	利益剰余金	
2013年期首資本	42,438	38,674	33,700	14,564	7,931	-16,323	1,064,802	1,185,785
当期利益							231,124	231,124
その他包括利益				-33,930	6,821	9,820		-17,290
当期包括利益合計				-33,930	6,821	9,820	231,124	213,834
配当金							-98,373	-98,373
転換劣後ローンの影響	187		7,297					7,484
2013年期末資本	42,626	38,674	40,996	-19,366	14,752	-6,503	1,197,552	1,308,730

1) 公正価値ファンドに含まれている。

2) 発行済転換可能負債商品の転換オプションの本源的価値は、資本剰余金に計上されている。2014年の転換可能負債商品の影響（純額）は、6,720百万円であった。第3四半期中に資本剰余金は、転換可能負債商品の繰延税金に関する3,504百万円によって調整された。この金額は、満期までの残存期間にわたって、損益計算書に計上される。

2014年1月から12月において、2008年転換可能劣後社債に係る額面87（7,686）百万円が、29,924（2,838,683）株のクラスA株式に転換された。年度末において、トレーディング勘定で保有されていた自己株式は0（0）株であった。

資本変動の内訳

ヘッジ準備金の変動

百万円

	2014年	2013年
期首ヘッジ準備金	-19,366	14,564
当期における未実現損益の変動	37,780	-35,069
損益計算書への振替額 ¹	-1,154	1,139
期末ヘッジ準備金	17,261	-19,366

公正価値評価差額準備金の変動

百万円

	2014年	2013年
期首公正価値評価差額準備金	14,752	7,931
期末保有分に関する当期の未実現市場価値の変動	3,461	7,311
損益計算書に振り替えられた実現市場価値 ²	591	-490
期末公正価値評価差額準備金	18,804	14,752

為替換算調整準備金の変動

百万円

	2014年	2013年
期首為替換算調整準備金	-6,503	-16,323
支店における為替換算差額の変動	72,720	9,820
損益計算書への振替額 ³	43	0
期末為替換算調整準備金	66,260	-6,503

1) この項目に係る税金317 (-317) 百万円は、損益計算書に振り替えられている。

2) この項目に係る税金144 (231) 百万円は、損益計算書に振り替えられている。

3) この項目に係る税金- (-) 百万円は、損益計算書に振り替えられている。

キャッシュ・フロー計算書（親会社）

	2014年		2013年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
営業活動				
営業利益	17,413	251,095	16,380	236,200
うち、受取利息	28,468	410,509	26,690	384,870
うち、支払利息	-12,130	-174,915	-13,280	-191,498
うち、受取配当金	9,664	139,355	1,039	14,982
損益における非現金項目の調整				
貸倒損失	1,957	28,220	1,271	18,328
未実現評価差額	-188	-2,711	-162	-2,336
減価償却費、償却費及び減損	478	6,893	527	7,599
グループ利益分配	-8,727	-125,843	-7,951	-114,653
法人税の支払	-3,905	-56,310	-4,145	-59,771
営業活動による資産及び負債の変動				
金融機関への貸出金	-88,573	-1,277,223	-52,543	-757,670
一般顧客への貸出金	-51,840	-747,533	45,214	651,986
利付証券及び株式	-20,317	-292,971	-24,281	-350,132
金融機関からの預り金	-15,651	-225,687	-16,701	-240,828
一般顧客からの預金及び借入金	199,449	2,876,055	145,544	2,098,744
発行済証券	100,521	1,449,513	1,323	19,078
デリバティブの正味ポジション	-30,489	-439,651	-5,245	-75,633
ショートポジション	-2,197	-31,681	6,644	95,806
投資銀行業務の決済における債権及び債務	-441	-6,359	-819	-11,810
その他	-53,136	-766,221	-4,813	-69,403
営業活動からのキャッシュ・フロー	44,354	639,585	100,243	1,445,504
投資活動				
子会社の取得	-	-	-446	-6,431
持分変動	-1,666	-24,024	-8	-115
利付証券の変動	3,395	48,956	594	8,565
不動産及び器具備品の変動	-200	-2,884	-248	-3,576
無形固定資産の変動	-248	-3,576	-322	-4,643
投資活動からのキャッシュ・フロー	1,281	18,472	-430	-6,201
財務活動				
劣後ローンの返済	-2,905	-41,890	-4,048	-58,372
劣後ローンの発行	16,612	239,545	-	-
配当金の支払い	-10,488	-151,237	-6,822	-98,373
グループ会社からの受取配当金	7,950	114,639	7,477	107,818
財務活動からのキャッシュ・フロー	11,169	161,057	-3,393	-48,927
当期キャッシュ・フロー	56,804	819,114	96,420	1,390,376
期首流動資金	334,794	4,827,729	236,447	3,409,566
営業活動からのキャッシュ・フロー	44,354	639,585	100,243	1,445,504

投資活動からのキャッシュ・フロー	1,281	18,472	-430	-6,201
財務活動からのキャッシュ・フロー	11,169	161,057	-3,393	-48,927
流動資金の為替換算差額	62,934	907,508	1,927	27,787
期末流動資金	454,532	6,554,351	334,794	4,827,729

5年間の概要(親会社)

損益計算書

(百万スウェーデン・クローネ)

	2014年	2013年	2012年	2011年	2010年
純利息収益	16,082	15,962	16,431	15,684	14,549
受取配当金	9,664	8,995	9,152	5,733	2,749
純手数料及びコミッション収益	6,112	5,649	5,724	6,026	6,455
金融取引による純損益	1,117	589	3,994	458	790
その他営業収益	2,188	1,953	758	640	624
営業収益合計	35,163	33,148	36,059	28,541	25,167
一般管理費用					
人件費	-10,441	-9,977	-9,808	-9,247	-8,838
その他管理費用	-5,006	-5,075	-5,157	-4,723	-4,775
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	-478	-498	-518	-538	-533
貸倒損失控除前費用合計	-15,925	-15,550	-15,483	-14,508	-14,146
貸倒損失控除前利益	19,238	17,598	20,576	14,033	11,021
正味貸倒損失	-1,825	-1,189	-1,154	-1,081	-1,466
金融資産の減損損失	-	-29	-820	-375	-470
営業利益	17,413	16,380	18,602	12,577	9,085
繰入	111	4,267	-4,065	106	108
税引前利益	17,524	20,647	14,537	12,683	9,193
法人税等	-3,823	-4,619	-2,985	-3,470	-2,548
当期利益	13,701	16,028	11,552	9,213	6,645
当期配当金	11,124 ¹	10,488	6,804	6,085	5,611

1)取締役会の処分案によるもの

包括利益計算書

(百万スウェーデン・クローネ)

	2014年	2013年	2012年	2011年	2010年
当期利益	13,701	16,028	11,552	9,213	6,645
その他包括利益					
キャッシュフロー・ヘッジ	3,249	-3,009	2,522	-264	-186
売却可能金融商品	295	534	983	-1,319	2,188
当期為替換算差額	5,634	879	-10	36	-1,462
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	2,675	901	481	-	-
その他包括利益に関する税金	-1,311	397	-962	435	-549
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	-709	656	-608	70	49
うち、売却可能金融商品	-14	-61	-248	365	-598
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	-588	-198	-106	-	-

その他包括利益合計	7,867	-1,199	2,533	-1,112	-9
当期包括利益合計	21,568	14,829	14,085	8,101	6,636
貸借対照表 (百万スウェーデン・クローネ)					
	2014年	2013年	2012年	2011年	2010年
資産					
一般顧客への貸出金	737,483	685,372	731,967	686,827	691,221
金融機関への貸出金	568,589	475,440	422,897	532,713	505,049
利付証券	134,014	112,728	108,198	94,237	103,836
その他資産	695,709	533,321	461,704	499,484	314,057
資産合計	2,135,795	1,806,861	1,724,766	1,813,261	1,614,163
負債及び資本					
一般顧客からの預金及び借入金	1,020,962	814,227	668,683	705,565	577,180
金融機関からの預り金	210,099	226,631	243,332	261,806	260,117
発行済証券	633,128	532,607	531,284	543,876	483,305
劣後負債	30,289	15,965	21,167	35,325	43,959
その他負債	138,033	125,900	173,030	193,034	178,922
非課税剰余金	699	773	5,038	998	1,110
資本	102,585	90,758	82,232	72,657	69,570
負債及び資本合計	2,135,795	1,806,861	1,724,766	1,813,261	1,614,163
補足項目					
自己債務の担保として供した資産	42,225	25,216	59,195	72,007	79,591
担保に供したその他資産	35,758	41,679	2,564	5,236	4,398
偶発債務	80,471	121,509	131,586	149,061	131,479
その他コミットメント	487,070	495,502	475,287	513,217	415,771

	2014年	2013年	2012年	2011年	2010年
重要な数値					
減損貸出金引当率％	46.6	58.0	56.0	61.0	61.5
減損貸出金の割合％	0.36	0.24	0.28	0.24	0.33
CRD による普通株式等Tier 1資本比率％	18.5				
バーゼル によるTier1自己資本比率％		20.5	19.0	16.9	12.9
CRD によるTier1自己資本比率％	20.2				
バーゼル による自己資本比率％		21.4	20.6	20.9	19.3
CRD による自己資本比率合計％	23.9				
使用資本利益率％	0.70	0.91	0.64	0.54	0.41

[次へ](#)

注記P1 会計方針

準拠表明

親会社の年次報告書はスウェーデンの信用機関及び証券会社に係る年次報告法（1995年第1559号）、スウェーデン金融監督庁が制定した規定及び一般指針（FFFS 2008年第25号）、信用機関及び証券会社における年次報告に準拠して作成されている。親会社はまたスウェーデンの財務報告審議会の勧告RFR第2号「事業体に関する会計処理」及び意見書を適用している。金融監督庁の一般的な指針に準拠して、親会社は法定IFRSを採用している。これはEUが採用する国際財務報告基準及びこれら基準の解釈が、国内法及び指令並びに会計と税との間の関連性の枠組みの範囲内で可能な限り適用されていることを意味する。

親会社及び当行グループの会計方針における関連性

親会社の会計方針は、概ね当行グループの会計方針と一致している。以下の報告書は当行グループの会計方針と異なる親会社の会計方針であるが、親会社の会計方針はこの範囲に限定して示されている。その他については注記G1の会計方針が参照されている。

会計方針の変更

親会社の会計方針は、すべての重要な点において2013年度に採用されていた会計方針と同様である。

表示

親会社は損益計算書及び貸借対照表について信用機関及び証券会社に係る年次報告法並びにスウェーデン金融監督庁の規定に準拠した表示モデルを採用している。これは当行グループの表示と比較して主に以下の相違があることを意味する。

- ・ 連結財務諸表において中央銀行へのその他の貸出金として報告されている、要求払い可能な中央銀行に対する債権は、親会社の貸借対照表において金融機関への貸出金として報告されている。
- ・ 仲介及び株式取引費用は親会社においてコミッション費用として報告されている。
- ・ 受取配当金は親会社の損益計算書において個別の科目で報告されている。
- ・ 親会社における不動産、器具備品及び無形固定資産を処分する際の損益は、その他収益/費用に報告されている。
- ・ 親会社では補足項目を貸借対照表において報告している。
- ・ 当行グループの報告において持分資本と税金負債に分割されている非課税剰余金は、親会社において個別の貸借対照表項目として報告されている。

外貨建て資産及び負債

親会社の借入金で在外営業活動体における純投資をヘッジするものは、当初の換算レートで測定される。

売却目的保有資産及び非継続事業

非継続事業からの税引後純利益は親会社の損益計算書において個別に認識されない。また売却目的保有資産は貸借対照表において個別に表示されない。

子会社及び関連会社株式

子会社及び関連会社株式は取得原価で測定される。子会社及び関連会社株式に対する配当金は収益として損益計算書の受取配当金に計上される。

金融保証

保証の形式による子会社及び関連会社のための金融保証は、親会社に契約債務が存在し、契約債務を決済するための支払いが求められる可能性が高い場合、親会社の貸借対照表に引当金として計上される。

無形資産

親会社において、資産及び耐用年数を確定出来ないその他の無形資産の取得は、前述の年次報告法の規定に準拠して償却される。経験上、買収により取得した顧客関係は非常に長期にわたるため、その結果、取得におけるのれんの耐用年数も長期となる。償却期間は20年と定められている。

配当金

受取配当金項目は、親会社が子会社及び関連会社からの配当金を含めて受領した配当金のすべて、並びに受領したグループ利益分配で構成されている。

配当予想は、親会社に配当金額を決定する権利があり、財務報告の公表前に決定されている場合に限り認識される。

年金会計

親会社は確定給付制度の会計に関するIAS第19号の規定を適用していない。その代わり、年金費用は年金債務保護法の規定及びスウェーデン金融監督庁の規定に準拠して親会社の年金数理計算を基に計算される。これは主に割引率の設定方法及び将来債務の計算に将来の昇給が考慮されていないことに関して差異があることを意味する。認識された正味年金費用は、年金基金からの拠出を控除した後の支払年金、年金保険料及び年金基金への分配額として算定される。当期の正味年金費用は、親会社の損益計算書において人件費として報告される。

制度資産の価値が見積り年金債務を超過したことによる超過額は親会社の貸借対照表において資産として認識されない。不足額は負債として認識される。

年金ファンドの子会社従業員に対する債務は親会社により保証されている。従って、年金ファンドがその債務を支払うことが出来ない場合、当行はその債務を引き受け、支払義務を負担する。

税金

親会社において、非課税剰余金は貸借対照表において個別項目として認識される。非課税剰余金の一部は、繰延税金負債に計上され、残りは資本に計上されている。

注記P2 リスク及び資本管理

ハンデルスバンケン・グループのリスク管理は、注記G2に記載されている。親会社のリスクに関する具体的な情報については以下に示されている。定義については、236ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2014年のアニュアルレポート原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。）を参照のこと。

信用リスク

信用リスク・エクスポージャー

百万スウェーデン・クロネ	2014年	2013年
一般顧客への貸出金 ¹	737,483	685,372

うち、レボ	23,858	15,711
金融機関への貸出金	517,542	440,280
うち、レボ	43,383	34,259
付与された当座貸越枠の未使用部分	102,817	101,866
信用コミットメント	267,134	242,242
その他コミットメント	117,119	151,394
保証、与信	10,336	54,386
保証、その他	66,172	62,126
信用状	3,963	4,997
デリバティブ	120,051	78,295
財務省証券及びその他の適格証券	74,362	53,785
社債及びその他の利付証券	59,652	58,943
合計	2,076,631	1,933,686
現金及び中央銀行預け金	454,532	334,794
中央銀行へのその他の貸出金	51,047	35,160
合計	2,582,210	2,303,640

- 1) この金額のうち、2,181(2,580)百万スウェーデン・クローネは、当初認識時に損益計算書を通じて公正価値で評価するものとして分類されていた貸出金である。
- 2) 2014年現在、認識時に取引相手が任意に使用することができない未使用の当座貸越枠は含まれていないため、所要自己資本は発生しない。比較数値は調整されている。

一般顧客への貸出金、セクター別

	2014年			2013年		
	貸出金 (引当金 控除前)	潜在的な貸倒 損失に対する 引当金	貸出金 (引当金 控除後)	貸出金 (引当金 控除前)	潜在的な貸倒 損失に対する 引当金	貸出金(引当金 控除後)
百万スウェーデン・クローネ						
個人	156,740	-614	156,126	132,880	-618	132,262
住宅協同組合	16,310	-12	16,298	11,796	-24	11,772
不動産管理	321,154	-585	320,569	306,280	-391	305,889
製造	35,873	-724	35,149	36,237	-516	35,721
リテール	25,461	-343	25,118	28,971	-361	28,610
ホテル及びレストラン	7,380	-25	7,355	6,556	-24	6,532
海運	10,974	-405	10,569	13,285	-423	12,862
その他運輸及び通信	9,892	-39	9,853	6,089	-80	6,009
建設	12,535	-113	12,422	9,409	-116	9,293
電気、ガス及び水道	13,300	-24	13,276	12,483	-44	12,439
農業、狩猟業及び林業	6,237	-15	6,222	4,951	-20	4,931
その他サービス	16,780	-42	16,738	19,007	-97	18,910
持株会社、投資会社、保険会社、ミューチュ アル・ファンド等	57,246	-187	57,059	67,426	-569	66,857

スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)
有価証券報告書

ソブリン及び地方自治体	18,193	0	18,193	7,648	0	7,648
その他法人貸付	33,268	-466	32,802	26,042	-67	25,975
合計	741,343	-3,594	737,749	689,060	-3,350	685,710
集合的引当金			-266			-338
一般顧客への貸出金合計	741,343		737,483	689,060		685,372

一般顧客への貸出金、担保

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
住宅用不動産 ¹	194,270	163,375
うち、個人	97,133	82,197
その他の不動産	213,870	192,153
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²	13,519	6,048
保証 ³	15,435	14,897
金融担保	22,032	12,650
担保資産	0	0
その他の担保	67,357	54,914
無担保	211,000	241,335
一般顧客への貸出金合計	737,483	685,372

1)住宅協同組合を含む。

2)直接的なソブリン・エクスポージャー及び政府保証を表す。

3)政府保証は含まない。

残高に対する信用リスク・エクスポージャー、担保

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
住宅用不動産 ¹	194,270	163,375
うち、個人	97,133	82,197
その他の不動産	213,870	192,153
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²	542,282	398,681
保証 ³	16,006	14,908
金融担保	63,490	53,163
担保資産	0	0
その他の担保	67,357	54,914
無担保	634,280	678,271
信用リスク・エクスポージャー合計	1,731,555	1,555,465

1)住宅協同組合を含む。

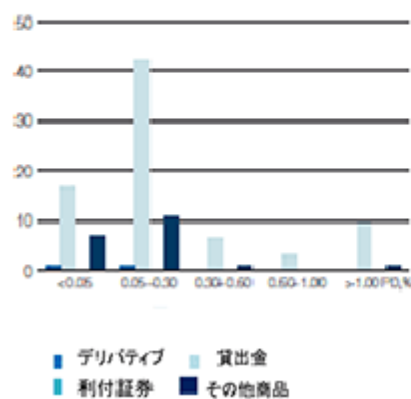
2)直接的なソブリン・エクスポージャー及び政府保証を表す。

3)政府保証は含まない。

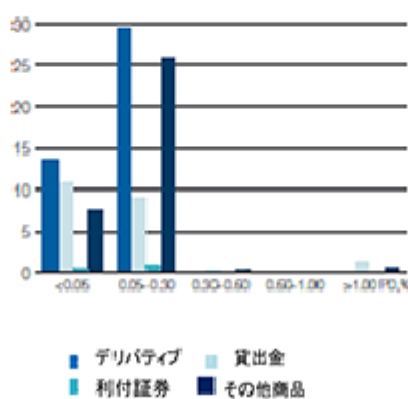
信用の質

PD 区間毎の商品種類別のエクスポージャー
割合(デフォルトを除く)
ー法人エクスポージャー

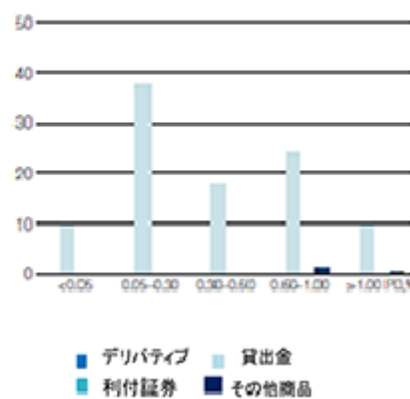
エクスポージャー割合 %

PD 区間毎の商品種類別のエクスポージャー
割合(デフォルトを除く)
ー機関エクスポージャー

エクスポージャー割合 %

PD 区間毎の商品種類別のエクスポージャー
割合(デフォルトを除く)
ーリテール・エクスポージャー

エクスポージャー割合 %

市場リスク¹

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
金利リスク ²	965	996
為替リスク ³	-7	5

1)親会社の株式及びコモディティ・リスクに関する情報については、注記G2を参照のこと。

2)2013年度の比較数値は、金利リスクの報告方法(修正後)に従って再計算されている。再計算では、当行が保有している株式を考慮している。

3)スウェーデン・クローネが+/-5%変動した場合の最悪の結果

金融資産及び負債の満期分析、

2014年	1ヶ月以内	1ヶ月から 6ヶ月	6ヶ月から 12ヶ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	不確定 満期	合計
百万スウェーデン・クローネ								
現金及び中央銀行預け金	505,579	-	-	-	-	-	-	505,579
中央銀行への担保として適格な 利付証券 ¹	74,729	-	-	-	-	-	-	74,729
社債及びその他の利付証券 ²	60,267	-	-	-	-	-	-	60,267
金融機関への貸出金	131,372	158,451	99,965	68,424	33,672	34,405	-	526,289
うちリバース・レボ	9,576	32,589	-	-	-	-	-	42,165
一般顧客への貸出金	88,347	107,341	78,845	101,034	218,553	198,366	-	792,486
うちリバース・レボ	23,859	-	-	-	-	-	-	23,859
その他	53,044	-	-	-	-	-	188,133	241,177
うち株式及び参加持分	44,949	-	-	-	-	-	-	44,949
うち投資銀行業務の決済に係 る債権	8,095	-	-	-	-	-	-	8,095
合計	913,338	265,792	178,810	169,458	252,225	232,771	188,133	2,200,527
金融機関からの預り金	107,987	58,233	816	314	915	7,787	38,460	214,512
うちレボ	88	-	-	-	-	-	-	88
うち中央銀行	45,647	47,374	116	-	-	-	3,948	97,085
一般顧客からの預金及び借入金	241,212	57,026	16,245	2,105	1,010	251	703,636	1,021,485
うちレボ	168	-	-	-	-	-	-	168
発行済証券 ³	70,800	242,025	73,552	69,717	141,635	61,193	-	658,922
うち、カバード・ボンド	-	-	-	-	-	-	-	0
うち、当初満期が1年未満の証 書及びその他の証券	66,137	231,670	46,109	-	-	-	-	343,916
うち、当初満期が1年超のシニ ア債及びその他の証券	4,663	10,355	27,443	69,717	141,635	61,193	-	315,006
劣後負債	388	341	4,931	3,245	24,323	955	-	34,183
その他	28,923	-	-	-	-	-	212,709	241,632
うち、ショートポジション	20,963	-	-	-	-	-	-	20,963
うち、投資銀行業務の決済債 務	7,960	-	-	-	-	-	-	7,960
合計	449,310	357,625	95,544	75,381	167,883	70,186	954,805	2,170,734
オフバランスシート項目								
金融保証及び未使用のコミット メント	487,070							

デリバティブ、2014年

百万スウェーデン・クローネ	1ヶ月以内	1ヶ月から 6ヶ月	6ヶ月から 12ヶ月	1年から2年	2年から5年	5年超	合計
---------------	-------	--------------	---------------	--------	--------	-----	----

デリバティブに係る現金流入合計	369,950	484,637	84,462	155,742	364,527	158,132	1,617,450
デリバティブに係る現金流出合計	363,872	476,643	82,078	153,094	353,974	155,709	1,585,370
純額	6,078	7,994	2,384	2,648	10,553	2,423	32,080

1) この金額（利息を除く）のうち、21,127百万スウェーデン・クローネは、残存満期が1年未満である。

2) この金額（利息を除く）のうち、6,023百万スウェーデン・クローネは、残存満期が1年未満である。

3) この金額（利息を除く）のうち、380,028百万スウェーデン・クローネは、残存満期が1年未満である。

「不確定満期」の欄の預金は、要求払預金を意味する。この表には利息キャッシュ・フローが含まれているため、この表の貸借対照表項目の金額は当行グループの貸借対照表上の金額と一致していない。利息キャッシュ・フローが除かれ、外貨建てが含まれている満期表は、ファクト・ブックに記載されている。

金融資産及び負債の満期分析、

2013年	1ヶ月以内	1ヶ月から 6ヶ月	6ヶ月から 12ヶ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	不確定 満期	合計
百万スウェーデン・クローネ								
現金及び中央銀行預け金	369,957	-	-	-	-	-	-	369,957
中央銀行への担保として適格な 利付証券 ¹	54,391	-	-	-	-	-	-	54,391
社債及びその他の利付証券 ²	59,607	-	-	-	-	-	-	59,607
金融機関への貸出金	130,985	176,516	48,320	30,015	36,556	26,496	290	449,178
うちリバース・レボ	14,966	18,926	-	-	-	-	-	33,892
一般顧客への貸出金	59,555	96,996	76,263	80,881	201,033	224,364	1,992	741,084
うちリバース・レボ	15,714	-	-	-	-	-	-	15,714
その他	53,691	-	-	-	-	-	144,836	198,527
うち株式及び参加持分	47,221	-	-	-	-	-	-	47,221
うち投資銀行業務の決済に係 る債権	6,470	-	-	-	-	-	-	6,470
合計	728,186	273,512	124,583	110,896	237,589	250,860	147,118	1,872,744
金融機関からの預り金	115,670	50,726	4,351	10,183	18,082	13,874	20,850	233,736
うちレボ	748	-	-	-	-	-	-	748
うち中央銀行	41,759	28,189	-	-	-	-	1,634	71,582
一般顧客からの預金及び借入金	166,782	45,601	12,414	2,400	926	499	586,677	815,299
うちレボ	7,606	-	-	-	-	-	-	7,606
発行済証券 ³	64,196	186,440	24,131	77,756	132,894	74,488	-	559,905
うち、カバード・ボンド	-	-	-	-	-	-	-	0
うち、当初満期が1年未満の証 書及びその他の証券	58,244	148,334	4,180	38,822	-	-	-	249,580
うち、当初満期が1年超のシニ ア債及びその他の証券	5,952	38,106	19,951	38,934	132,894	74,488	-	310,325
劣後負債	13	4,357	1,139	4,524	5,599	3,245	-	18,877
その他	29,947	-	-	-	-	-	187,809	217,756
うち、ショートポジション	23,170	-	-	-	-	-	-	23,170

うち、投資銀行業務の決済債務	6,777	-	-	-	-	-	-	6,777
合計	376,608	287,124	42,035	94,863	157,501	92,106	795,336	1,845,573

オフバランスシート項目

金融保証及び未使用のコミットメント	518,414
-------------------	---------

デリバティブ、2013年	1ヶ月以内	1ヶ月から6ヶ月	6ヶ月から12ヶ月	1年から2年	2年から5年	5年超	合計
百万スウェーデン・クローネ							
デリバティブに係る現金流入	215,696	310,653	270,094	93,807	427,537	153,825	1,471,612
合計							
デリバティブに係る現金流出	232,119	303,430	257,822	95,971	405,859	147,748	1,442,949
合計							
純額	-16,423	7,223	12,272	-2,164	21,678	6,077	28,663

1) この金額（利息を除く）のうち、25,022百万スウェーデン・クローネは、残存満期が1年未満である。

2) この金額（利息を除く）のうち、11,192百万スウェーデン・クローネは、残存満期が1年未満である。

3) この金額（利息を除く）のうち、268,182百万スウェーデン・クローネは、残存満期が1年未満である。

「不確定満期」の欄の預金は、要求払預金を意味する。この表には利息キャッシュ・フローが含まれているため、この表の貸借対照表項目の金額は当行グループの貸借対照表上の金額と一致していない。利息キャッシュ・フローが除かれ、外貨建てが含まれている満期表は、ファクト・ブックに記載されている。

注記P3 純利息収益

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
利息収益		
金融機関及び中央銀行への貸出金	6,748	6,936
一般顧客への貸出金	21,403	22,442
中央銀行への担保として適格な利付証券	719	2,106
社債及びその他の利付証券	1,015	1,897
デリバティブ商品	-2,511	-2,777
その他利息収益	1,218	1,324
利息収益合計	28,592	31,928
うち、金融取引による純損益に計上される利息収益	633	2,633
損益計算書に計上される利息収益	27,959	29,295

利息費用

金融機関及び中央銀行からの預り金	-1,124	-1,319
一般顧客からの預金及び借入金	-3,741	-4,609
発行済証券	-7,528	-7,344
デリバティブ商品	3,041	2,267
劣後負債	-1,283	-1,214

その他利息費用	-1,508	-3,269
利息費用合計	-12,143	-15,488
うち、金融取引による純損益に計上される利息費用	-266	-2,155
損益計算書に計上される利息費用	-11,877	-13,333
純利息収益	16,082	15,962

減損貸出金に係る利息収益88(93)百万スウェーデン・クローネを含む。償却原価で計上される資産及び売却可能資産に係る利息収益は、合計29,495(30,841)百万スウェーデン・クローネであった。償却原価で計上される負債に係る利息費用は、合計14,918(15,600)百万スウェーデン・クローネであった。

注記P4 受取配当金

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
配当金	929	1,039
関連会社からの配当金	8	5
グループ会社からの配当金	-	-
グループ利益分配受領額	8,727	7,951
合計	9,664	8,995

注記P5 純手数料及びコミッション収益

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
仲介及びその他証券コミッション	1,089	1,171
ミューチュアル・ファンド	1,489	1,134
カストディ及びその他資産管理手数料	365	316
助言サービス	209	263
支払	3,075	2,784
貸出金及び預金	878	856
保証	424	434
その他	501	465
手数料及びコミッション収益合計	8,030	7,423

証券	-584	-544
支払	-1,270	-1,164
その他	-64	-66
手数料及びコミッション費用合計	-1,918	-1,774

純手数料及びコミッション収益	6,112	5,649
-----------------------	--------------	--------------

注記P6 金融取引による純損益

	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ		
トレーディング、デリバティブ、為替による影響等	-1,839	1,237
損益に公正価値で計上されるその他の金融商品	2,278	-785
うち利付証券	2,260	-707
うち貸出金	18	-78
償却原価で計上される金融商品	262	106
うち貸出金	305	147
うち負債	-43	-41
売却可能金融商品	365	-21
ヘッジ会計		
公正価値ヘッジ	39	19
うちヘッジ手段	-7	-160
うちヘッジ対象	46	179
キャッシュフロー・ヘッジ非有効部分	12	33
合計	1,117	589

注記P7 その他営業収益

	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ		
賃料収入	21	19
その他営業収益	2,167	1,934
合計	2,188	1,953

注記P8 人件費

	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ		
給与及び報酬	-6,942	-6,497
社会保障費	-1,687	-1,622
年金費用 ¹	-600	-346
利益分配財団に対する拠出	-722	-1,022
その他人件費	-490	-490
合計	-10,441	-9,977

1) 年金費用に関する情報については、注記P38に示されている。

給与及び報酬

	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ		
幹部の役職にある役員 ² 、30 (27) 名	-103	-100
その他	-6,839	-6,397
合計	-6,942	-6,497

2) 専務取締役及び取締役

男女別分布、%

	2014年		2013年	
	男性	女性	男性	女性
取締役	80	20	73	27
専務取締役	81	19	79	21

平均従業員数

	2014年	男性	女性	2013年	男性	女性
スウェーデン	6,826	3,141	3,685	6,966	3,201	3,765
ノルウェー	752	413	339	745	411	334
フィンランド	525	217	308	526	216	310
デンマーク	682	338	344	676	338	338
英国	1,554	937	617	1,294	780	514
ルクセンブルグ	67	39	28	30	18	12
ドイツ	59	32	27	64	36	28
米国	74	47	27	76	48	28
オランダ	140	86	54	113	74	39
シンガポール	38	9	29	37	9	28
香港	67	26	41	66	26	40
ポーランド	42	15	27	45	18	27
その他諸国	71	29	42	69	26	43
合計	10,897	5,329	5,568	10,707	5,201	5,506

親会社の執行役員に対する報酬の原則に関する情報については、注記G8に示されている。

注記P9 その他管理費用

	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ		
不動産及び設備	-1,350	-1,261
外部IT費用	-1,575	-1,653
通信費	-322	-341
旅費及びマーケティング費用	-297	-327
購入したサービス	-897	-952
備品費	-194	-191
その他管理費用	-371	-350
合計	-5,006	-5,075

うち、オペレーティング・リースに係る費用

最低リース料	-738	-680
変動リース料	-19	-19
合計	-757	-699

オペレーティング・リースは主として、事務所及び事務所設備の賃借に関する標準的な契約によるものである。事務所賃借料には、通常、インフレ率と固定資産税に関連した変動リース料が含まれている。2014年の最大個別リース契約費用は、約167(165)百万スウェーデン・クローネであった。主要な契約には変動リース料は含まれていなかった。

監査人及び監査法人に対する報酬	ケーピーエムジー		アーンスト・アンド・ヤング・ エイ・ビー	
	2014年	2013年	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ				
監査業務	-10	-8	-2	-3
当該監査業務以外の監査上の業務	-4	-2	-	-
税務上の助言	-	-	-1	-1
その他サービス	-	-	-	-

注記P10 貸倒損失

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
個別に評価された貸出金に対する引当金		
当年度引当金繰入	-1,917	-1,241
過年度の引当金の戻入れ	273	277
合計	-1,644	-964

集会的引当金

個別に評価された貸出金に対する当年度中の引当金繰入（純額）	75	-64
同種の貸出金に対する当年度中の引当金繰入（純額）	1	1
合計	76	-63

オフバランスシート項目

オフバランスシート項目に係る損失	-62	-9
オフバランスシート項目に係る過年度の損失の戻入れ	13	0
オフバランスシート項目に係る集会的引当金の変動	16	-10
合計	-33	-19

償却

当年度中の実際の貸倒損失	-1,829	-1,359
過年度引当金の取崩し	1,474	1,134
回収	131	82
合計	-224	-143

貸倒損失（純額）	-1,825	-1,189
----------	--------	--------

減損貸出金等

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
---------------	-------	-------

減損貸出金	8,290	6,360
個別に評価された貸出金に対する引当金	-3,594	-3,350
集会的に評価された小口かつ同種の貸出金グループに対する引当金	-	-
個別に評価された貸出金に対する集会的引当金	-266	-338
減損貸出金純額	4,430	2,672
減損貸出金引当率、%	46.6	58.0
減損貸出金割合、%	0.36	0.24
集会的引当金を除く減損貸出金引当率、%	43.3	52.7
60日超延滞しているが減損していない貸出金	1,491	1,266
当年度中に正常債権として分類変更された減損貸出金	29	27

契約上のキャッシュ・フローが履行されない可能性が高い場合、貸出金は減損貸出金として分類される。個別引当金の対象となる個別の債権は、一部担保でカバーされる場合でも、全額が減損貸出金に含まれる。したがって、受領した担保は、引当率の計算の際に考慮されない。不良債権は、利息、元本返済又は当座貸越の支払いがその期限を60日超遅延している貸出金のことである。その他の定義については、236ページ(訳注：ハンデルスバンケンの2014年のアニュアルレポート原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。)を参照のこと。

潜在的な貸倒損失に対する引当金の変動 (2014年)	個別に評価された貸出金に対する引当金	個別に評価された貸出金に対する集会的引当金	集会的に評価された同種の貸出金に対する引当金	潜在的な貸倒損失に対する引当金合計
百万スウェーデン・クローネ				
期首現在引当金	-3,350	-338	-	-3,688
当年度引当金繰入	-1,917	-	-	-1,917
過年度の引当金の戻入れ	273	75	-	348
実際の貸倒損失に対する充当	1,474	-	-	1,474
外貨換算影響額等	-74	-3	-	-77
期末現在引当金	-3,594	-266	-	-3,860

潜在的な貸倒損失に対する引当金の変動 (2013年)	個別に評価された貸出金に対する引当金	個別に評価された貸出金に対する集会的引当金	集会的に評価された同種の貸出金に対する引当金	潜在的な貸倒損失に対する引当金合計
百万スウェーデン・クローネ				
期首現在引当金	-3,616	-275	-	-3,891
当年度引当金繰入	-1,241	-64	-	-1,305
過年度の引当金の戻入れ	277	-	-	277
実際の貸倒損失に対する充当	1,134	-	-	1,134
外貨換算影響額等	96	1	-	97
期末現在引当金	-3,350	-338	-	-3,688

減損貸出金及び60日超延滞している貸出金、セ
クター別（2014年）

	減損貸出金			うち60日 超延滞し ている もの	60日超延滞 しているが 減損してい ない貸出金
	総額	引当金	純額 ¹		
百万スウェーデン・クローネ					
個人	1,260	-614	646	423	570
住宅協同組合	23	-12	11	10	24
不動産管理	1,706	-585	1,121	837	337
製造	1,634	-724	910	70	111
リテール	595	-343	252	168	13
ホテル及びレストラン	45	-25	20	11	260
海運	1,616	-405	1,211	-	-
その他運輸及び通信	49	-39	10	10	41
建設	187	-113	74	42	56
電気、ガス及び水道	32	-24	8	8	0
農業、狩猟業及び林業	21	-15	6	1	2
その他サービス	73	-42	31	25	56
持株会社、投資会社、保険会社、ミューチュアル・ファンド等	316	-187	129	34	2
その他法人貸付	733	-466	267	266	19
金融機関	-	-	0	-	-
合計	8,290	-3,594	4,696	1,905	1,491

減損貸出金及び60日超延滞している貸出金、セクター別（2013年）

	減損貸出金			うち60日 超延滞し ている もの	60日超延滞 しているが 減損してい ない貸出金
	総額	引当金	純額 ¹		
百万スウェーデン・クローネ					
個人	1,226	-618	608	479	562
住宅協同組合	75	-24	51	45	6
不動産管理	1,166	-391	775	430	401
製造	890	-516	374	189	9
リテール	704	-361	343	209	42
ホテル及びレストラン	37	-24	13	11	9
海運	424	-423	1	1	1
その他運輸及び通信	110	-80	30	28	5
建設	193	-116	77	71	88
電気、ガス及び水道	72	-44	28	28	7
農業、狩猟業及び林業	25	-20	5	6	1
その他サービス	147	-97	50	43	33
持株会社、投資会社、保険会社、ミューチュアル・ファンド等	1,138	-569	569	61	4
その他法人貸付	153	-67	86	74	98
金融機関	-	-	-	-	-
合計	6,360	-3,350	3,010	1,675	1,266

1) 個別に評価された貸出金に対する引当金及び集合的に評価された貸出金に対する引当金を考慮後の帳簿価額。但し、個別に評価された貸出金に対する集合的引当金を除く。

減損貸出金及び60日超延滞している貸出金、地理的分布別（2014年）

	減損貸出金			うち60日超 延滞してい るもの	60日超延滞 しているが 減損してい ない貸出金
	総額	引当金	純額 ¹		
百万スウェーデン・クローネ					
スウェーデン	3,212	-1,535	1,677	626	357
ノルウェー	289	-135	154	118	338
フィンランド	798	-635	163	142	503
デンマーク	2,728	-917	1,811	329	25
英国	1,103	-291	812	618	194
オランダ	21	-8	13	11	-
その他欧州	137	-73	64	61	74
北米	-	-	-	-	-
アジア	2	0	2	-	-

合計

8,290

-3,594

4,696

1,905

1,491

減損貸出金及び60日超延滞している貸出金、
地理的分布別（2013年）

	減損貸出金				60日超延滞 しているが 減損してい ない貸出金
	総額	引当金	純額 ¹	うち60日超 延滞してい るもの	
百万スウェーデン・クローネ					
スウェーデン	2,224	-1,249	975	886	340
ノルウェー	433	-177	256	214	285
フィンランド	934	-393	541	289	99
デンマーク	1,294	-852	442	167	16
英国	320	-106	214	47	459
オランダ	15	-3	12	12	-
その他欧州	123	-57	66	60	67
北米	1,015	-513	502	-	-
アジア	2	0	2	-	-
合計	6,360	-3,350	3,010	1,675	1,266

1) 個別に評価された貸出金に対する引当金及び集散的に評価された貸出金に対する引当金を考慮後の帳簿価額。但し、個別に評価された貸出金に対する集散的引当金を除く。

延滞しているが減損していない貸出金の満期構成
（2014年）

	一般顧客への貸出金				合計
	金融機関 への 貸出金	個人向け	法人向け	その他	
百万スウェーデン・クローネ					
5日以上1ヶ月以下の延滞	-	752	910	-	1,662
1ヶ月超2ヶ月以下の延滞	-	140	99	-	239
2ヶ月超3ヶ月以下の延滞	-	80	373	-	453
3ヶ月超12ヶ月以下の延滞	-	323	203	-	526
12ヶ月超の延滞	-	355	157	-	512
合計	-	1,650	1,742	-	3,392

延滞しているが減損していない貸出金の満期構成
（2013年）

	一般顧客への貸出金				合計
	金融機関 への 貸出金	個人向け	法人向け	その他	
百万スウェーデン・クローネ					
5日以上1ヶ月以下の延滞	-	661	851	-	1,512
1ヶ月超2ヶ月以下の延滞	-	138	110	-	248
2ヶ月超3ヶ月以下の延滞	-	80	20	-	100
3ヶ月超12ヶ月以下の延滞	-	280	297	-	577
12ヶ月超の延滞	-	431	158	-	589

合計	-	1,590	1,436	-	3,026
----	---	-------	-------	---	-------

担保権が実行された資産

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
不動産	465	392
動産	-	-
株式	0	0
帳簿価額	465	392

注記P11 繰入

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
税金配分準備金	-	4,168
予定償却を超過するのれんの償却における変動	111	99
合計	111	4,267

注記P12 金融機関への貸出金

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
貸出金(スウェーデン・クローネ建て)		
銀行	8,340	5,402
その他金融機関	308,581	250,765
合計	316,921	256,167

貸出金(外貨建て)

銀行	67,263	55,930
その他金融機関	184,405	163,343
合計	251,668	219,273

潜在的な貸倒損失

	-	-
金融機関への貸出金合計	568,589	475,440

うちリバース・レボ

	43,383	34,259
うち劣後分	20,718	21,218

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
金融機関への貸出金(スウェーデン・クローネ建て)	351,308	261,438
金融機関への貸出金(外貨建て)	182,945	212,622
合計	534,253	474,060
うちリバース・レボ	39,423	35,528

注記P13 一般顧客への貸出金

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
貸出金(スウェーデン・クローネ建て)		
個人	45,120	42,794
企業	184,336	199,557
国債局	19,044	5,180
合計	248,500	247,531
貸出金(外貨建て)		
個人	130,142	105,864
企業	362,701	335,665
国債局	-	-
合計	492,843	441,529
潜在的な貸倒損失	-3,860	-3,688
一般顧客への貸出金合計	737,483	685,372
うちリバース・レボ	23,858	15,711
うち劣後分	1,129	1,129

平均取引高(国債局を除く)

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
一般顧客への貸出金(スウェーデン・クローネ建て)	237,742	266,862
一般顧客への貸出金(外貨建て)	466,813	429,613
合計	704,555	696,475
うちリバース・レボ	16,565	22,665

注記P14 利付証券

	2014年			2013年		
百万スウェーデン・クローネ	額面価格	公正価値	帳簿価額	額面価格	公正価値	帳簿価額
中央銀行への担保として適格な国債	62,426	64,155	64,152	45,803	46,695	46,675
中央銀行への担保として適格なその他の証券	10,137	10,210	10,210	7,019	7,110	7,110
中央銀行への担保として適格な利付証券合計	72,563	74,365	74,362	52,822	53,805	53,785
社債及びその他の利付証券	57,550	59,650	59,652	56,961	58,941	58,943
利付証券合計	130,113	134,015	134,014	109,783	112,746	112,728
うち非上場証券		4,569	4,569		3,240	3,240

利付証券、発行者別

2014年	2013年
-------	-------

百万スウェーデン・クローネ	額面価格	公正価値	帳簿価額	額面価格	公正価値	帳簿価額
政府	62,426	64,155	64,152	45,803	46,695	46,675
金融機関	9,404	9,633	9,635	10,330	10,696	10,698
住宅金融専門機関	37,733	39,572	39,572	37,933	39,476	39,476
その他	20,550	20,655	20,655	15,717	15,879	15,879
合計	130,113	134,015	134,014	109,783	112,746	112,728

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
利付証券	120,237	124,208

注記P15 株式

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
損益計算書に公正価値で計上される保有		
上場	33,300	40,287
非上場	3,328	1,256
合計	36,628	41,543
売却可能として分類される保有		
上場	6,753	4,368
非上場	1,568	1,310
合計	8,321	5,678
株式合計	44,949	47,221

注記P16 子会社株式及び関連会社投資

子会社株式及び関連会社投資

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
関連会社（非上場）	95	92
子会社（非上場）	45,669	46,061
合計	45,764	46,153

関連会社	企業識別番号	所在地	株式数	所有持分%	帳簿価額 百万スウェーデン・クローネ	
					2014年	2013年
Bankomat AB	556817-9716	ストックホルム	150	20.00	55	55
Bankomatcentralen AB	556197-2265	ストックホルム	1,100	21.90	0	0
BDB Bankernas Depå AB	556695-3567	ストックホルム	13,000	20.00	7	7
BGC Holding AB	556607-0933	ストックホルム	25,382	25.40	4	4
Finansiell ID-teknik BID AB	556630-4928	ストックホルム	12,735	28.30	24	24

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)
有価証券報告書

Getswish AB	556913-7382	ストックホルム	10,000	20.00	4	2
Upplysningscentralen UC AB	556137-5113	ストックホルム	2,448	24.48	1	0
合計					95	92

子会社	帳簿価額 百万スウェーデン・ クローネ					
	企業識別番号	所在地	株式数	所有持分%	2014年	2013年
Handelsbanken Finans AB¹	556053-0841	ストックホルム	1,550,000	100	11,672	11,672
Kredit-Inkasso AB	556069-3185	ストックホルム		100		
Handelsbanken Rahoitus Oy	0112308-8	ヘルシンキ		100		
Kreditt-Inkasso AS	955074203	オスロ		100		
Handelsbanken Finans (Shanghai) Financial Leasing Co., Ltd	310101717882194	上海		100		
Stadshypotek AB¹	556459-6715	ストックホルム	162,000	100	26,870	26,870
Handelsbanken Fondbolagsförvaltning AB	556070-0683	ストックホルム	10,000	100	1	1
Handelsbanken Fonder AB	556418-8851	ストックホルム		100		
Handelsinvest Investeringsforvaltning A/S	12930879	コペンハーゲン		100		
Handelsbanken Fondbolag Ab	1105019-3	ヘルシンキ		100		
Handelsbanken Kapitalforvaltning AS	973194860	オスロ		100		
Xact Kapitalförvaltning AB	556997-8140	ストックホルム		100		
Handelsbanken Liv Försäkrings AB	516401-8284	ストックホルム	100,000	100	6,189	6,189
SHB Liv Forsikringsaktieselskab	20594942	コペンハーゲン		100		
SHB Liv Försäkringsaktiebolag	2478149-7	ヘルシンキ		100		
Handelsbanken Fastigheter AB	556873-0021	ストックホルム		100		
AB Handel och Industri	556013-5336	ストックホルム	100,000	100	104	104
Plastal Industri AB	556532-8845	イエーテボリ		100		
Heartwood Wealth Group Ltd	5498937	ロンドン	1,000,000	100		470
Heartwood Wealth Management Limited	4132340	ロンドン	1,319,206	100	533	
その他の子会社						
EFN Ekonomikanalen AB	556930-1608	ストックホルム	100	100	0	0
Ejendomselskabet af 1.januar 2002 A/S	38300512	ヘルニング				294
Ejendomselskabet af 1. maj 2009 A/S	59173812	ヒレレズ	2,700,000	100	200	200

スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)
有価証券報告書

Forva AS	945812141	オスロ	4,000,000	100	1	1
Lejontrappan AB	556481-1551	イエーテボリ	1,000	100	0	0
Handelsbanken Markets Securities, Inc. ¹	11-3257438	ニューヨーク	1,000	100	29	29
Handelsbanken Mezzanine Fond 1 KB	969710-3126	ストックホルム	ユニット	100	0	0
Handelsbanken Mezzanine Management AB	556679-2668	ストックホルム	5,000	100	1	1
Handelsbanken Renting AB	556043-2766	ストックホルム				14
Handelsbanken Skadeförsäkrings AB	516401-6767	ストックホルム	1,500	100	31	31
Lokalbolig A/S	78488018	ヒレレズ	540,000	68.35	1	1
Rådstuplass 4 AS	910508423	ベルゲン	40,000	100	0	0
SIL (Nominees)Limited	1932320	ロンドン	100	100	-	-
Svenska Handelsbanken Delaware Inc.	13-3153272	デラウェア				0
Svenska Handelsbanken Representações (Brasil) Ltda	15.367.073/001-93	サンパウロ	999	99.9	2	2
Svenska Handelsbanken S.A. ¹	RCS Lux B-15992	ルクセンブルグ				147
Svenska Property Nominees Limited	2308524	ロンドン	100	100	-	-
Svenska Re S.A.	RCS Lux B-32053	ルクセンブルグ	20,000	100	35	35
Lila stugan i Stockholm AB	556993-9084	ストックホルム	50	100	0	
Blå stugan i Stockholm AB	556993-9357	ストックホルム	50	100	0	
Bruna stugan i Stockholm AB	556993-2311	ストックホルム	50	100	0	
合計					45,669	46,061

グループ会社のリストには、直接所有子会社及びこれらの会社の大規模な子会社が含まれている。

1) 金融機関

注記P17 デリバティブ商品

	想定元本/満期			想定元本		正の市場価値		負の市場価値	
	1年超								
百万スウェーデン・クローネ	1年以内	5年以内	5年超	2014年	2013年	2014年	2013年	2014年	2013年
トレーディング 目的で保有するデリバティブ									
金利関連契約									
オプション	132,389	161,396	5,773	299,558	293,602	3,505	4,200	3,699	4,338
FRA/先物	1,557,960	778,881	-	2,336,841	2,972,176	1,137	420	1,549	143
スワップ	547,979	1,405,325	483,861	2,437,165	2,738,953	61,994	47,505	62,865	47,831

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)
有価証券報告書

その他の商品	3,058	-	-	3,058	-	-	-	50	-
通貨関連契約									
オプション	60,623	1,668	29	62,320	44,634	663	311	953	234
先物	105,527	9,466	271	115,264	111,170	3,051	1,083	1,710	1,313
スワップ	643,585	300,350	65,306	1,009,241	1,017,479	28,515	16,236	18,752	13,949
その他の商品	-	-	-	-	61	0	15	-	120
株式関連契約									
オプション	10,845	24,158	949	35,952	42,699	2,537	3,019	2,371	5,112
先物	10,306	-	-	10,306	4,408	8	8	36	34
スワップ	28,324	7,409	128	35,861	34,688	736	691	1,999	2,486
その他の商品	2,362	-	-	2,362	677	-	3	39	494
コモディティ関連契約									
オプション	2,155	2,253	122	4,530	5,067	183	105	528	992
先物	26,074	2,446	148	28,668	21,047	1,002	375	1,079	377
スワップ	12	-	-	12	313	-	0	8	49
その他の商品	-	-	-	-	457	-	132	-	420
信用関連契約									
オプション	-	-	-	-	-	-	-	-	-
スワップ	1,195	7,640	729	9,564	10,049	620	544	91	45
その他の商品	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他デリバティブ契約	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	3,132,394	2,700,992	557,316	6,390,702	7,297,480	103,951	74,647	95,729	77,937

公正価値ヘッジ・デリバティブ

金利関連契約									
スワップ	-	-	-	-	-	-	-	-	0
その他の商品	-	-	-	-	-	-	-	-	-
通貨関連契約									
スワップ	-	-	965	965	817	63	177	-	-
合計	-	-	965	965	817	63	177	-	0

キャッシュフロー・ヘッジ・デリバティブ

金利関連契約									
スワップ	23,471	160,634	58,236	242,341	185,183	11,488	4,773	1,661	2,002
通貨関連契約									
スワップ	18,364	113,900	35,687	167,951	143,659	17,178	4,733	2,957	3,239
合計	41,835	274,534	93,923	410,292	328,842	28,666	9,506	4,618	5,241

デリバティブ									
商品合計	3,174,229	2,975,526	652,204	6,801,959	7,627,139	132,680	84,330	100,347	83,178
うち、証券取引所上 場デリバティブ				1,314,691	1,692,858	676	317	1,804	866
うち、CCPで決済さ れたOTCデリバ ティブ				716,067	736,270	12,009	2,834	11,140	2,479
貸借対照表上で相殺 される金額						-12,629	-6,035	-12,629	-6,035
貸借対照表上の純額						120,051	78,295	87,718	77,143
市場価値の 通貨別内訳									
スウェーデン・ クローネ						-239,436	99,605	-89,043	182,836
米ドル						403,012	23,433	126,836	-199,795
ユーロ						109,799	67,126	21,384	37,352
その他						-140,695	-105,834	41,170	62,785

上表においては、デリバティブ契約は総額で表示されている。当行が契約上のキャッシュ・フローを純額で決済する法的権利及び意思を有している契約（清算された契約を含む）に関しては、契約の市場価値により相殺されている。これらの契約は、貸借対照表において、取引相手及び通貨別に純額で表示されている。

当行は、当初認識時に評価モデルを用いて測定された価値と、取引価格との正の差額（取引日利益）をデリバティブの期間にわたり償却している。年度末において、これらの未認識の取引日利益は、465(396)百万スウェーデン・クローネであった。

注記P18 金融商品の相殺

2014年 百万スウェーデン・クローネ	デリバティブ	買戻し契約、証券借入 及び類似した契約	合計
相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び 類似した契約の対象となる金融資産			
認識済金融資産総額	132,680	68,887	201,567
貸借対照表上で相殺される認識済金融負債総額	-12,629	-	-12,629
貸借対照表に表示された金融資産、純額	120,051	68,887	188,938
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
貸借対照表上で相殺されない金融商品	-45,652	-	-45,652
受領した担保	-38,191	-68,857	-107,048
純額	36,208	30	36,238
相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び 類似した契約の対象となる金融負債			
認識済金融負債総額	100,347	256	100,603
貸借対照表上で相殺される認識済金融資産総額	-12,629	-	-12,629
貸借対照表に表示された金融負債、純額	87,718	256	87,974
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
貸借対照表上で相殺されない金融商品	-45,652	-	-45,652
担保として差し入れた資産	-9,674	-256	-9,930
純額	32,392	0	32,392
2013年 百万スウェーデン・クローネ			
2013年 百万スウェーデン・クローネ	デリバティブ	買戻し契約、証券借入 及び類似した契約	合計
相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び 類似した契約の対象となる金融資産			
認識済金融資産総額	84,330	53,612	137,942
貸借対照表上で相殺される認識済金融負債総額	-6,035	-	-6,035
貸借対照表に表示された金融資産、純額	78,295	53,612	131,907
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
貸借対照表上で相殺されない金融商品	-41,036	-	-41,036
受領した担保	-10,540	-53,569	-64,109
純額	26,719	43	26,762
相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び 類似した契約の対象となる金融負債			
認識済金融負債総額	83,178	8,352	91,530
貸借対照表上で相殺される認識済金融資産総額	-6,035	-	-6,035
貸借対照表に表示された金融負債、純額	77,143	8,352	85,495
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
貸借対照表上で相殺されない金融商品	-41,036	-	-41,036
担保として差し入れた資産	-4,793	-7,889	-12,682
純額	31,314	463	31,777

注記P19 無形資産

2014年 百万スウェーデン・クローネ	取得資産	内部開発 ソフトウェア	合計 2014年
期首取得原価	2,071	1,346	3,417
無形資産取得原価追加分	-	248	248
処分及び除却	-	-135	-135
外貨換算影響額	99	1	100
期末取得原価	2,170	1,460	3,630
期首償却及び減損累計額	-1,298	-369	-1,667
処分及び除却	-	135	135
当年度の予定償却	-111	-110	-221
当年度の減損	-	-9	-9
外貨換算影響額	-62	-1	-63
期末償却及び減損累計額	-1,471	-354	-1,825
帳簿価額	699	1,106	1,805

2013年 百万スウェーデン・クローネ	取得資産	内部開発 ソフトウェア	合計 2013年
期首取得原価	2,072	1,104	3,176
無形資産取得原価追加分	-	322	322
処分及び除却	-	-82	-82
外貨換算影響額	-1	2	1
期末取得原価	2,071	1,346	3,417
期首償却及び減損累計額	-1,193	-340	-1,533
処分及び除却	-	82	82
当年度の予定償却	-108	-106	-214
当年度の減損	-	-2	-2
外貨換算影響額	3	-3	0
期末償却及び減損累計額	-1,298	-369	-1,667
帳簿価額	773	977	1,750

注記P20 不動産及び器具備品

不動産及び器具備品 百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
器具備品	452	466
不動産	115	120
担保権が実行された資産	465	392
合計	1,032	978

債権の保全のために担保権が実行された資産には、当行グループの債権の保全のために担保権が実行された資産に関する会計方針に従って定期的に公正価値で測定される不動産が含まれている。注記G1を参照のこと。定期的に公正価値で測定される不動産の公正価値は、465(392)百万スウェーデン・クローネである。これらの不動産の未実現価値の変動により、当期利益に6(-10)百万スウェーデン・クローネの影響が及んだ。民間住宅の評価は、基本的に該当する地域における比較可能な不動産の購入取引に関する市場の観測値に基づいて行われている。商業用不動産の評価は、賃貸料、空室率、運営及び維持費、要求利回り及び金利計算等の仮定を用いた割引将来キャッシュ・フローに基づいて行われている。評価は、主にその不動産の状態、立地及び代替的に利用可能な地域に基づいて行われている。当行の原則として、商業用及び事務所用建物並びに産業用不動産を評価する際には、常に公認の鑑定人を使用している。市場の観測値のみに基づく評価（119百万スウェーデン・クローネ）は、注記G40に記載されている評価ヒエラルキーのレベル2に区分されている。独自の仮定を重要といえる程度に使用している評価（346百万スウェーデン・クローネ）は、評価ヒエラルキーのレベル3に区分されている。定期的に公正価値で測定される不動産に関連するレベル3の未実現価値の変動によって、当期利益に0(-17)百万スウェーデン・クローネの影響が及んだ。当年度に売却した定期的に公正価値で測定される不動産の金額は108(81)百万スウェーデン・クローネであり、このうち80(64)百万スウェーデン・クローネは、売却前はレベル3に区分されていた。当年度の新規不動産の増加額は112(50)百万スウェーデン・クローネであり、このうち20(48)百万スウェーデン・クローネはレベル3に区分された。

器具備品

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
期首取得原価	1,517	1,513
当年度の取得原価の増加	247	265
処分及び除却	-472	-238
外貨換算影響額	40	-23
期末取得価額	1,332	1,517
期首償却及び減損累計額	-1,051	-1,061
当年度の予定償却	-235	-248
処分及び除却	434	236
外貨換算影響額	-28	22
期末償却及び減損累計額	-880	-1,051
帳簿価額	452	466

不動産

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
期首取得原価	190	190
当年度の取得原価の増加	-	-
新規建設及び改築	-	-
処分及び除却	-	-
期末取得価額	190	190
期首償却及び減損累計額	-70	-65

当年度の予定償却	-5	-5
当年度中の減損	-	-
処分及び除却	-	-
期末償却及び減損累計額	-75	-70
帳簿価額	115	120

注記P21 その他資産

	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ		
投資銀行業務の決済業務に係る債権	8,095	6,470
その他	11,100	9,998
合計	19,195	16,468

注記P22 前払費用及び未収金

	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ		
未収利息	3,230	3,739
その他未収金	1,477	1,341
前払費用	289	192
合計	4,996	5,272
うち、劣後	36	11

注記P23 金融機関からの預り金

	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ		
預り金(スウェーデン・クローネ建て)		
銀行	23,252	19,869
その他金融機関	15,818	12,162
合計	39,070	32,031

預り金(外貨建て)

銀行	166,465	135,848
その他金融機関	4,564	58,752
合計	171,029	194,600
金融機関からの預り金合計	210,099	226,631
うち、レボ	88	748

平均取引高

	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ		
金融機関からの預り金(スウェーデン・クローネ建て)	114,981	52,839
金融機関からの預り金(外貨建て)	149,491	223,293
合計	264,472	276,132
うち、レボ	1,625	3,961

[次へ](#)

注記P24 一般顧客からの預金及び借入金

一般顧客からの預金

百万スウェーデン・クローネ

預金(スウェーデン・クローネ建て)

	2014年	2013年
個人	224,898	207,374
企業	185,250	165,314
国債局	-	-
合計	410,148	372,688

預金(外貨建て)

個人	65,758	48,990
企業	236,431	172,779
国債局	-	-
合計	302,189	221,769
一般顧客からの預金合計	712,337	594,457

一般顧客からの借入金

百万スウェーデン・クローネ

スウェーデン・クローネ建て

外貨建て

	2014年	2013年
スウェーデン・クローネ建て	31,944	49,117
外貨建て	276,681	170,653
合計	308,625	219,770
うち、レボ	168	7,604
一般顧客からの預金及び借入金合計	1,020,962	814,227

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ

一般顧客からの預金

	2014年	2013年
一般顧客からの預金(スウェーデン・クローネ建て)	372,466	348,970
一般顧客からの預金(外貨建て)	282,252	178,337
合計	654,718	527,307

一般顧客からの借入金

一般顧客からの借入金(スウェーデン・クローネ建て)

一般顧客からの借入金(外貨建て)

	2014年	2013年
一般顧客からの借入金(スウェーデン・クローネ建て)	47,869	53,434
一般顧客からの借入金(外貨建て)	186,525	146,665
合計	234,394	200,099
うち、レボ	8,685	10,551

注記P25 発行済証券

	2014年		2013年	
	額面金額	帳簿価額	額面金額	帳簿価額
百万スウェーデン・クローネ				
コマーシャル・ペーパー				
コマーシャル・ペーパー(スウェーデン・クローネ建て)	9,816	10,621	15,613	17,299
うち				
償却原価で計上	-	-	101	101
トレーディング目的	9,816	10,621	15,512	17,198
コマーシャル・ペーパー(外貨建て)	300,177	309,993	227,719	227,754
うち				
償却原価で計上	298,804	308,191	227,532	227,532
トレーディング目的	1,373	1,802	187	222
合計	309,993	320,614	243,332	245,053
社債				
社債(スウェーデン・クローネ建て)	18,443	18,000	14,822	14,298
うち				
償却原価で計上	18,443	18,000	14,822	14,006
公正価値ヘッジ目的	-	-	-	292
社債(外貨建て)	293,800	294,514	271,426	273,256
うち				
償却原価で計上	292,830	294,397	268,882	272,319
公正価値ヘッジ目的	970	117	2,544	937
合計	312,243	312,514	286,248	287,554
発行済証券合計	622,236	633,128	529,580	532,607

	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ		
期首発行済証券	532,607	531,284
発行済	708,274	857,711
買戻し	15,886	17,373
満期を迎えたもの	664,066	843,242
外貨換算影響額等	72,199	4,227
期末発行済証券	633,128	532,607

平均残高	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ		
スウェーデン・クローネ	29,839	32,140
外貨	521,628	514,620
合計	551,467	546,760

注記P26 ショートポジション

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
公正価値で計上されるショートポジション		
株式	1,273	3,430
利付証券	19,375	19,415
うち		
他の発行者	19,375	19,415
自社発行	-	-
合計	20,648	22,845

平均残高 百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
スウェーデン・クローネ	18,878	22,832
外貨	809	1,214
合計	19,687	24,046

注記P27 税金

繰延税金資産 百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
不動産及び器具備品	30	35
ヘッジ手段	257	159
その他	74	8
合計	361	202

繰延税金負債 百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
不動産及び器具備品	15	16
ヘッジ手段	1,495	98
その他	159	-
合計	1,669	114
繰延税金純額	1,308	-88

繰延税金の変動（2014年） 百万スウェーデン・クローネ	期首残高	損益計算書に 計上	その他包括 利益に計上	期末残高
不動産及び器具備品	-19	4	-	-15
ヘッジ手段	-61	3	1,296	1,238
その他	-8	-99	192	85
合計	-88	-92	1,488	1,308

繰延税金の変動（2013年）

百万スウェーデン・クローネ	期首残高	損益計算書に 計上	その他包括 利益に計上	期末残高
不動産及び器具備品	-17	-2	-	-19
ヘッジ手段	391	6	-458	-61
その他	0	-8	-	-8
合計	374	-4	-458	-88

損益計算書に計上された税金費用

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
当期税金		
当期税金費用	-3,864	-4,604
過年度に関する税金の調整	-51	-19
繰延税金		
一時差異の変動	92	4
合計	-3,823	-4,619
スウェーデンにおける名目税率、%	22.0	22.0
乖離		
非課税所得/損金不算入費用	-0.2	0.3
過年度に関する税金	0.0	0.1
実効税率、%	21.8	22.4

注記P28 引当金

百万スウェーデン・クローネ	事業再編に関 する引当金	保証契約に関 する引当金	その他 引当金	合計 2014年	合計 2013年
期首現在引当金	51	59	18	128	116
当期の引当金繰入	-	-	62	62	52
取崩し	-39	-52	-	-91	-40
戻入れ	-12	-	-	-12	-
期末現在引当金	-	7	80	87	128

事業再編に関する引当金は、建物賃貸契約の解約決定の結果により生じる追加費用に関するものである。当該引当金はすべて、2014年中に決済されている。保証契約に関する引当金は、いくつかのオフ・バランスシート項目に関する引当金より構成されている。

当行グループは、いくつかの民事訴訟による賠償請求を受けており、これらの訴訟は一般裁判所において審理中である。当行グループは、これらの訴訟は基本的に当行に有利な形で解決するものと評価している。係争中の賠償請求額は、当行の財政状態又は損益に重大な影響を及ぼすものではないと評価されている。将来の当行に対する賠償請求の解決のために配分された金額は、その他引当金で表示されている。

注記P29 その他負債

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
---------------	-------	-------

投資銀行業務の決済業務に係る負債	7,960	6,777
その他	6,188	5,926
合計	14,148	12,703

注記P30 未払費用及び繰延収益

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
未払利息費用	5,441	5,817
その他未払費用	3,589	3,889
繰延収益	779	209
合計	9,809	9,915

注記P31 劣後負債

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
劣後ローン(スウェーデン・クローネ建て)	10,308	10,472
劣後ローン(外貨建て)	19,981	5,493
合計	30,289	15,965

平均残高 百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
劣後ローン(スウェーデン・クローネ建て)	9,831	10,764
劣後ローン(外貨建て)	18,852	7,824
合計	28,683	18,588

劣後ローン、内訳	通貨	各通貨別の 当初名目金額	金利、%	残高
発行/転換/最終支払年度				
スウェーデン・クローネ建て				
スウェーデン・クローネ建て劣後負債 ¹		13,337		10,308
合計				10,308

外貨建て				
2005/永久 ²	ユーロ	500	4.194	4,713
2014/定期 ²	ユーロ	1,500	2.656	14,174
その他の外貨建て劣後ローン ³				1,094
合計				19,981

劣後負債合計 **30,289**

- 1) スウェーデン・クローネ建て劣後ローンは、個別に見ると劣後負債合計額の10%未満となっている。合計には、変動金利の永久劣後ローン1件が含まれている。当該ローンは、額面金額にして3.2十億スウェーデン・クローネの劣後転換ローンで、市場条件に基づき、当行グループの従業員に対して発行される。当該ローンは、規制自己資本に含まれてはいないが、ハンデルスバンケンの株式に転換可能である。当行は随時転換を要求できる権利を有し、当該ローンの保有者は2019年5月1日から11月30日までの期間に転換を要求できる権利を有している。当初転換価格は379.19スウェーデン・クローネであり、これは2014年5月2日から14日までの期間の平均株価の117%に相当する。当該転換価格は、ローン期間中、配当金に対して調整されている。当行の、または連結ベースで計算された普通株式等Tier 1比率が7%を下回った場合、自動的に転換される。その他のスウェーデン・クローネ建て劣後ローンについては、注記G49を参照のこと。
- 2) ユーロ建て劣後ローンの詳細情報については、注記G49を参照のこと。
- 3) その他の外貨建て劣後ローンは、永久劣後ローンの形態で発行されている。

注記P32 非課税剰余金

百万スウェーデン・クローネ

予定償却を超過したのれんの償却累計額

合計**2014年**

699

699**2013年**

773

773

注記P33 金融資産及び負債の分類

2014年	損益計算書に公正価値 で計上されるもの		ヘッジ手段 として特定 されたデリ バティブ	満期保有 投資	貸出金及び 債権	売却可能 金融資産	その他金融 資産/負債	帳簿価額 合計	公正価値
	トレー ディング 目的	その他 ¹							
百万 スウェーデン・ クローネ									
資産									
現金及び中央銀 行預け金					454,040		492	454,532	454,532
中央銀行への担 保として適格 な利付証券	42,096	30,526		747		993		74,362	74,365
金融機関への貸 出金					568,589			568,589	575,487
一般顧客への貸 出金		2,181			735,302			737,483	738,506
社債及びその他 の利付証券	26,235	30,842		253		2,322		59,652	59,650
株式	36,628					8,321		44,949	44,949
子会社株式及び 関連会社投資							45,764	45,764	45,764
顧客が価値変動 リスクを負う 資産		2,935			89			3,024	3,024
デリバティブ 商品	91,612		28,439					120,051	120,051
その他資産	35				10,168		8,992	19,195	19,195
前払費用及び未 収金	408	573		1	1,605	2	2,407	4,996	4,996
金融資産合計	197,014	67,057	28,439	1,001	1,769,793	11,638	57,655	2,132,597	2,140,519
その他非金融資 産								3,198	
資産合計								2,135,795	
負債									
金融機関からの 預り金							210,099	210,099	212,437
一般顧客からの 預金及び借入 金							1,020,962	1,020,962	1,021,010
顧客が価値変動 リスクを負う 負債		3,036					89	3,125	3,125
発行済証券	12,423						620,705	633,128	649,565
デリバティブ 商品	83,440		4,278					87,718	87,718
ショートポジ ション	20,648							20,648	20,648
その他負債	16						14,132	14,148	14,148
未払費用及び繰 延収益	315						9,494	9,809	9,809

劣後負債							30,289	30,289	34,409
金融負債合計	116,842	3,036	4,278				1,905,770	2,029,926	2,052,869
その他非金融負債								2,585	
負債合計								2,032,511	

2013年	損益計算書に公正価値で 計上されるもの		ヘッジ手段 として特定 されたデリ バティブ	満期保有 投資	貸出金及び 債権	売却可能 金融資産	その他金融 資産/負債	帳簿価額 合計	公正価値
	トレー ディング 目的	その他 ¹							
百万 スウェーデン・ クローネ									
資産									
現金及び中央銀 行預け金					334,185		609	334,794	334,794
中央銀行への担 保として適格 な利付証券	32,611	16,160		3,461		1,553		53,785	53,805
金融機関への貸 出金					475,440			475,440	479,609
一般顧客への貸 出金		2,580			682,792			685,372	685,711
社債及びその他 の利付証券	26,959	30,149		933		902		58,943	58,941
株式	41,543					5,678		47,221	47,221
子会社株式及び 関連会社投資							46,153	46,153	46,153
顧客が価値変動 リスクを負う 資産		1,860			328			2,188	2,188
デリバティブ 商品	69,471		8,824					78,295	78,295
その他資産	68				8,346		8,054	16,468	16,468
前払費用及び未 収金	480	661		117	1,734		2,280	5,272	5,272
金融資産合計	171,132	51,410	8,824	4,511	1,502,825	8,133	57,096	1,803,931	1,808,457
その他非金融資 産								2,930	
資産合計								1,806,861	
負債									
金融機関からの 預り金							226,631	226,631	228,131
一般顧客からの 預金及び借入 金							814,227	814,227	814,035
顧客が価値変動 リスクを負う 負債		1,908					328	2,236	2,236
発行済証券	17,420						515,187	532,607	544,327
デリバティブ 商品	72,136		5,007					77,143	77,143
ショートポジ ション	22,845							22,845	22,845
その他負債	19						12,684	12,703	12,703
未払費用及び繰 延収益	357						9,558	9,915	9,915

劣後負債							15,965	15,965	17,705
金融負債合計	112,777	1,908	5,007				1,594,580	1,714,272	1,729,040
その他非金融負債								1,058	
負債合計								1,715,330	

1) 公正価値で測定されるものに分類されている。

公正価値測定の原則は、注記G39に記載されている。子会社株式及び関連会社投資については、公正価値では表示されず、取得原価で表示されている。

分類変更された金融資産

	2014年		2013年	
	トレーディング 目的保有 から分類変更	売却可能から 分類変更	トレーディング 目的保有 から分類変更	売却可能から 分類変更
百万スウェーデン・クローネ				
帳簿価額	12	4,469	74	5,375
公正価値	13	4,535	74	5,464
損益計算書に計上された価値変動	-	209	-	170
その他包括利益に計上された価値変動	2	318	0	-3
損益計算書に計上されていたであろう価値変動(資産の 分類変更が行われなかった場合)	1	209	1	170
その他包括利益に計上されていたであろう価値変動(資 産の分類変更が行われなかった場合)	-	54	-	-25
収益として計上された利息	0	82	69	137

2008年7月1日に、上記の保有資産はすべて貸出金及び債権に分類変更された。

注記P34 金融商品の公正価値測定

公正価値で計上される金融商品（2014年）

百万スウェーデン・クローネ

資産

中央銀行への担保として適格な利付証券

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
トレーディング目的保有	42,096	-	-	42,096
公正価値で計上されるもの	30,526	-	-	30,526
売却可能	993	-	-	993
一般顧客への貸出金	-	2,168	13	2,181

社債及びその他の利付証券

トレーディング目的保有	21,643	4,592	-	26,235
公正価値で計上されるもの	30,842	-	-	30,842
売却可能	2,091	231	-	2,322

株式

トレーディング目的保有	33,175	3,359	94	36,628
公正価値で計上されるもの	-	-	-	-
売却可能	6,753	811	757	8,321

顧客が価値変動リスクを負う資産

デリバティブ商品	630	119,421	-	120,051
----------	-----	---------	---	---------

合計

170,986	130,582	1,562	303,130
---------	---------	-------	---------

負債

顧客が価値変動リスクを負う負債

発行済証券	-	12,329	94	12,423
デリバティブ商品	1,566	86,152	-	87,718
ショートポジション	20,560	88	-	20,648

合計

24,464	98,569	792	123,825
--------	--------	-----	---------

公正価値で計上される金融商品（2013年）

百万スウェーデン・クローネ

資産

中央銀行への担保として適格な利付証券

トレーディング目的保有	32,611	-	-	32,611
公正価値で計上されるもの	16,160	-	-	16,160
売却可能	1,553	-	-	1,553
一般顧客への貸出金	-	2,562	18	2,580

社債及びその他の利付証券

トレーディング目的保有	21,881	5,078	-	26,959
公正価値で計上されるもの	30,149	-	-	30,149
売却可能	582	320	-	902

株式

トレーディング目的保有	40,284	1,183	76	41,543
公正価値で計上されるもの	-	-	-	-
売却可能	4,367	634	677	5,678
顧客が価値変動リスクを負う資産	1,860	-	-	1,860
デリバティブ商品	1,328	76,967	-	78,295
合計	150,775	86,744	771	238,290

負債

顧客が価値変動リスクを負う負債	1,908	-	-	1,908
発行済証券	4	17,332	84	17,420
デリバティブ商品	2,155	74,988	-	77,143
ショートポジション	21,951	894	-	22,845
合計	26,018	93,214	84	119,316

レベル3の金融商品の調整
(2014年)

百万スウェーデン・クローネ

株式	デリバティブの正味ポジション	一般顧客への貸出金	顧客が価値変動リスクを負う資産	顧客が価値変動リスクを負う負債	発行済証券
期首現在帳簿価額	753	-	18	-	-84
取得	30	-	-	490	-10
買戻し / 売却	-30	-	-	-	-
満期を迎えたもの	-	-	-7	-	-
未実現価値変動 (損益計算書に計上)	19	-	-	208	-208
未実現価値変動 (その他包括利益に計上)	79	-	1	-	-
レベル1又は2からの振替	-	-	1	-	-
レベル1又は2への振替	-	-	-	-	-
期末現在帳簿価額	851	-	13	698	-94

レベル3の金融商品の調整
(2013年)

百万スウェーデン・クローネ

株式	デリバティブの正味ポジション	一般顧客への貸出金	顧客が価値変動リスクを負う資産	顧客が価値変動リスクを負う負債	発行済証券
期首現在帳簿価額	708	-	24	-	-77
取得	44	-	-	-	-1
買戻し / 売却	-6	-	-	-	-
満期を迎えたもの	-1	-	-2	-	-
未実現価値変動 (損益計算書に計上)	-30	-	0	-	-6
未実現価値変動 (その他包括利益に計上)	38	-	1	-	-

レベル1又は2からの振替	-	-	3	-	-	-
レベル1又は2への振替	-	-	-8	-	-	-
期末現在帳簿価額	753	-	18	-	-	-84

取得原価又は償却原価で計上される金融商品の公正価値（2014年）

百万スウェーデン・クローネ	レベル1	レベル2	レベル3	合計
資産				
現金及び中央銀行預け金	454,532	-	-	454,532
中央銀行への担保として適格な利付証券	750	-	-	750
金融機関への貸出金	49,357	525,638	492	575,487
一般顧客への貸出金	6,818	52,511	676,996	736,325
社債及びその他の利付証券	251	-	-	251
顧客が価値変動リスクを負う資産	-	89	-	89
合計	511,708	578,238	677,488	1,767,434

負債

金融機関からの預り金	75,727	136,710	-	212,437
一般顧客からの預金及び借入金	709,555	311,455	-	1,021,010
顧客が価値変動リスクを負う負債	-	89	-	89
発行済証券	160,516	476,626	-	637,142
劣後負債	-	34,409	-	34,409
合計	945,798	959,289	-	1,905,087

取得原価又は償却原価で計上される金融商品の公正価値（2013年）

百万スウェーデン・クローネ	レベル1	レベル2	レベル3	合計
資産				
現金及び中央銀行預け金	334,794	-	-	334,794
中央銀行への担保として適格な利付証券	3,481	-	-	3,481
金融機関への貸出金	17,693	460,979	937	479,609
一般顧客への貸出金	5,768	30,449	646,914	683,131
社債及びその他の利付証券	931	-	-	931
顧客が価値変動リスクを負う資産	-	312	16	328
合計	362,667	491,740	647,867	1,502,274

負債

金融機関からの預り金	47,866	180,265	-	228,131
一般顧客からの預金及び借入金	679,852	134,183	-	814,035
顧客が価値変動リスクを負う負債	-	328	-	328

発行済証券	136,324	390,583	-	526,907
劣後負債	-	17,705	-	17,705
合計	864,042	723,064	-	1,587,106

注記P35 担保として差し入れた資産、受取った担保及び譲渡された金融資産

自己の負債の担保として差し入れた資産

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
現金	21,048	-
国債及び社債	20,629 ¹	21,853
一般顧客への貸出金	-	-
株式	232	3,086
その他	316	277
合計	42,225	25,216
うち、当行が任意で取り下げることができる担保として差し入れた資産	27,497	

その他担保資産

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
現金	2,102	702
国債及び社債	25,185 ²	30,483
一般顧客への貸出金	3,702	-
株式	4,751	6,482
その他	18	4,012
合計	35,758	41,679
うち、当行が任意で取り下げることができる担保として差し入れた資産	26,788	

その他担保資産は、貸借対照表上に報告されていない債務に対して差し入れた担保のことである。

受取った資産

売戻契約及び証券貸付の構成要素として、当行グループは、第三者に売却又は再担保として差し入れることのできる資産を受領している。この種の受取った資産の公正価値は、当年度末現在において、38,562(34,306)百万スウェーデン・クローネで、第三者に売却又は再担保として差し入れられた資産の価値は、5,295(1,050)百万スウェーデン・クローネであった。

貸借対照表上に認識された譲渡された金融資産

	2014年		2013年	
百万スウェーデン・クローネ	帳簿価額	負債に関連した帳簿価額	帳簿価額	負債に関連した帳簿価額
株式、証券貸付	1,646	206 ¹	3,641	3,086 ¹
株式、その他	3,337	-	5,927	-
国債及び社債、買戻し契約	196	201	6,685	6,689
国債及び社債、その他	57	-	1,184	-

顧客が価値変動リスクを負う資産	1,008	1,008	328	328
合計	6,244	1,415	17,765	10,103

1) 受取った現金担保

注記P36 偶発債務

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
保証、貸出金	10,336	54,386
保証、その他	66,172	62,126
信用状	3,733	4,842
その他	230	155
合計	80,471	121,509

偶発債務は、主に様々な種類の保証より構成されている。この表には保証の額面金額が示されている。

注記P37 その他コミットメント

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
ローン・コミットメント	267,134	242,242
当座貸越枠の未使用分	102,817	101,866
その他	117,119	151,394
合計	487,070	495,502

1) 2014年現在の金額、認識時に取引相手が任意に使用することができない未使用の当座貸越枠は含まれていないため、所要自己資本は発生しない。比較数値は修正再表示されている。

その他には、子会社に対する内部的な流動性保証102,285(140,112)百万スウェーデン・クローネが含まれている。

契約上取消不能な将来オペレーティング・リース費用の支払期限の

年度毎の分布	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ		
2015年	704	694
2016年から2019年	1,670	1,765
2020年以降	456	556
合計	2,830	3,015

オペレーティング・リースは、主として、事務所及び事務所設備の賃借に関する標準的な契約によるものである。

注記P38 年金債務

百万スウェーデン・クローネ	2014年	2013年
制度資産の公正価値	25,108	23,972
年金債務	25,615	25,234
正味年金¹	-507	-1,262

年金債務は、スウェーデン金融監督庁の規定に従って算定されている。スウェーデンにおける年金債務は年金債務保護法に従って算定され、国外における年金債務は現地の規則に従って算定される。制度資産は、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン Pensionsstiftelse及びPensionskassan SHB, Försäkringsföreningによって保有されており、英国、ノルウェー及びドイツにおける支店のコミットメントに関する制度資産は類似の法人によって保有されている。当年度において、サブ・ポートフォリオがスヴェンスカ・ハンデルスバンケン PensionsstiftelseからPensionskassan SHB, Försäkringsföreningに移管された。これにより、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン Pensionsstiftelseの年金債務は1,494百万スウェーデン・クローネ減少している。Pensionskassanの資産も保険数理上の準備金もPensionskassanとの保険契約を有する会社に割り当てることはできないため、これらの資産及び準備金は上表の年金資産にも年金債務にも含まれていない。親会社の不足分を補うために、Pensionskassan SHB, Försäkringsföreningにおける余剰金を使用することができる。当行の年金基金(Pensionskassan SHB, Försäkringsförening)における年金債務は、6,140(3,557)百万スウェーデン・クローネであり、年金資産の市場価値は、10,089(10,141)百万スウェーデン・クローネである。したがって、Pensionskassan SHB, Försäkringsföreningにおける余剰金は、3,949(6,584)百万スウェーデン・クローネである。

1) Pensionskassan SHB, Försäkringsföreningにおける余剰金を親会社の年金債務を補うために使用可能であることから、親会社の不足分は2014年の貸借対照表上に負債として計上されていない。

年金費用

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
年金支払額	-471	-464
年金保険料	-527	-426
社会的拠出	-11	16
当行の年金信託からの報酬	540	555
当行の年金信託への支払額	-131	-27
損益計算書に計上された年金費用	-600	-346

確定給付年金制度の翌年度の支払予定額は、650百万スウェーデン・クローネである。年金保険料費用には、BTPK制度(確定拠出年金制度)への保険料86(80)百万スウェーデン・クローネが含まれている。

制度資産

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
期首残高	23,972	21,835
利益	1,545	2,665
当行の年金信託への支払い	131	27
年金信託からの報酬	-540	-555
期末残高	25,108	23,972
制度資産に係る利益割合	6%	12%

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン Pensionsstiftelseの制度資産の公正価値の11,970(11,042)百万スウェーデン・クローネは、1989年から2004年にかけて特例付加年金(以下「SKP」という。)に対して計上された引当金である。当該債務には、制度資産の公正価値と同額のSKPに関するコミットメントが含まれている。

このコミットメントのうち、9,518(8,655)百万スウェーデン・クローネは条件付債務である。

年金債務

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
期首残高	25,234	21,231
管理手数料	452	422
利息	382	416
指数化	269	18
早期退職	208	109
年金支払額	-471	-464
仮定の変動 ²	0	1,819
条件付債務の価値の変動	863	1,343
退職年金追加項目	0	480
サブ・ポートフォリオの変動	-1,494	-
資本価値におけるその他の増加	172	-140
期末残高	25,615	25,234

2) スウェーデン金融監督庁の通達に従った割引率の変更による影響が反映されている。

制度資産の配分

百万スウェーデン・クローネ

	2014年	2013年
株式	20,340	19,565
利付証券	4,357	3,489
その他制度資産 ³	411	918
合計	25,108	23,972

スウェーデンでは、スウェーデン銀行雇用主協会(以下「BAO」という。)とスウェーデン金融部門組合/スウェーデン専門職連盟との間の年金契約に従って、65歳から退職年金が支給される。退職年金額は、所得基準額の7.5倍までは年収の10%としている。所得基準額の7.5倍から20倍までの給与の部分については、退職年金は年収の65%で、所得基準額の20倍から30倍までの給与の部分については、退職年金は年収の32.5%である。所得基準額の30倍を上回る給与の部分については、退職年金は支給されない。当該年金コミットメントの価値は、年金数理上の仮定に基づいて、毎年、貸借対照表日に計算される。

ノルウェーでは、67歳から退職年金が支給される。退職年金額の一部は、勤続年数及び基準額の12倍を上限とする最終給与に応じて変動する。退職年金(法定年金を含む)は、基準額の12倍を上限とする最終給与の約70%になると予想される。

英国では、確定給付年金は2006年1月1日より前に雇用された従業員に対して支払われる。同日より後に雇用された従業員に対しては、確定拠出年金が支払われる。通常の退職年齢は65歳である。最大退職年金額は、勤続年数40年で達成される年金対象給与の67%程度である。年金対象給与は、現在、137,400ポンドが上限とされている。

スウェーデンでは、最も重要な算定上の仮定は死亡率及び割引率である。死亡率及び割引率の仮定は、年金債務保護法の仮定に従っている。割引率は、税金及び費用に関する仮定考慮後で2(2)%である。在外支店における年金債務は現地の会計処理上の規定に従って算定されている。

3) その他制度資産には、未払いになっている年金基金からの報酬が含まれている。

注記P39 各通貨建て資産及び負債

2014年	デンマー							
百万スウェーデン・クローネ	スウェーデ ン・クローネ	ユーロ	ノルウェー・ クローネ	ク・クロー ネ	英ポンド	米ドル	その他の 通貨	合計
資産								
現金及び中央銀行預け金	223	81,932	2,342	97	55,782	312,782	1,374	454,532
金融機関への貸出金	316,920	72,350	60,444	54,914	6,738	54,849	2,374	568,589
一般顧客への貸出金	246,820	117,776	119,338	46,912	167,068	26,628	12,941	737,483
うち、企業	201,700	94,255	86,286	27,907	113,903	26,476	11,694	562,221
うち、個人	45,120	23,521	33,052	19,005	53,165	152	1,247	175,262
中央銀行への担保として適格な								
利付	37,115	6,576	1,080	1	-	28,597	993	74,362
証券								
社債及びその他の利付証券	50,924	3,976	3,890	-	828	34	-	59,652
その他項目(通貨別内訳なし)	241,177							241,177
資産合計	893,179	282,610	187,094	101,924	230,416	422,890	17,682	2,135,795
負債								
金融機関からの預り金	39,071	71,539	12,424	15,187	3,922	56,408	11,548	210,099
一般顧客からの預金及び 借入金	442,092	120,325	61,907	30,277	106,728	249,914	9,719	1,020,962
うち、企業	193,758	105,636	44,602	17,609	87,548	247,707	9,423	706,283
うち、個人	248,334	14,689	17,305	12,668	19,180	2,207	296	314,679
発行済証券	28,620	150,348	2,067	342	77,212	349,888	24,651	633,128
劣後負債	10,308	18,887	-	-	-	117	977	30,289
その他項目(通貨別内訳なし、資 本含む)	241,317							241,317
負債及び資本合計	761,408	361,099	76,398	45,806	187,862	656,327	46,895	2,135,795

通貨別その他資産及び負債、 純額		78,545	-110,649	-56,091	-42,460	233,160	29,291	
正味外貨ポジション		56	47	27	94	-277	78	25

2013年 百万スウェーデン・クローネ	デンマー							合計
	スウェーデ ン・クローネ	ユーロ	ノルウェー・ クローネ	ク・クロー ネ	英ポンド	米ドル	その他の 通貨	
資産								
現金及び中央銀行預け金	342	48,191	4,263	85	46,585	235,126	202	334,794
金融機関への貸出金	256,800	61,117	55,136	41,214	1,510	55,844	3,819	475,440
一般顧客への貸出金	246,168	112,723	120,198	42,815	128,823	24,349	10,296	685,372
うち、企業	203,374	96,502	88,683	24,522	90,189	24,294	9,150	536,714
うち、個人	42,794	16,221	31,515	18,293	38,634	55	1,146	148,658

中央銀行への担保として適格な 利付証券	23,165	6,727	1,137	1	0	21,202	1,553	53,785
社債及びその他の利付証券	49,739	5,651	2,667	75	-	734	77	58,943
その他項目(通貨別内訳なし)	198,527							198,527
資産合計	774,741	234,409	183,401	84,190	176,918	337,255	15,947	1,806,861
負債								
金融機関からの預り金	32,664	25,769	7,982	14,260	12,490	121,745	11,721	226,631
一般顧客からの預金及び 借入金	421,806	81,255	52,376	32,395	68,467	152,487	5,441	814,227
うち、企業	190,365	68,902	36,967	21,093	59,592	151,289	5,286	533,494
うち、個人	231,441	12,353	15,409	11,302	8,875	1,198	155	280,733
発行済証券	31,597	154,408	5,190	226	74,753	254,048	12,385	532,607
劣後負債	10,472	4,427	-	-	-	143	923	15,965
その他項目(通貨別内訳なし、資 本含む)	217,431							217,431
負債及び資本合計	713,970	265,859	65,548	46,881	155,710	528,423	30,470	1,806,861
通貨別その他資産及び負債、 純額		31,421	-117,857	-37,267	-21,253	191,178	14,609	
正味外貨ポジション		-29	-4	42	-45	10	86	60

注記P40 関連当事者に関する開示

関連当事者に対する債権及び債務	子会社		関連会社		その他関連当事者	
	2014年	2013年	2014年	2013年	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ						
金融機関への貸出金	447,382	377,619	-	-	-	-
一般顧客への貸出金	1,207	1,207	1,186	729	-	-
社債及びその他の利付証券	-	-	-	-	-	-
デリバティブ	3,931	8,338	-	-	-	-
その他資産	9,433	8,725	85	85	565	587
合計	461,953	395,889	1,271	814	565	587
金融機関からの預り金	15,418	61,701	-	-	-	-
一般顧客からの預金及び借入金	9,072	7,214	178	186	281	334
発行済証券	-	-	-	-	-	-
デリバティブ	24,430	15,250	-	-	-	0
劣後負債	-	-	-	-	701	698
その他負債	522	325	-	-	56	56
合計	49,442	84,490	178	186	1,038	1,088
偶発債務	53,120	55,907	-	-	-	-
デリバティブ、想定元本	420,219	475,041	-	-	-	-

関連当事者 - 収益及び費用	子会社		関連会社		その他関連当事者	
	2014年	2013年	2014年	2013年	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ						
利息収益	5,144	5,406	25	8	0	0
利息費用	-404	-591	-2	-2	-74	-75
手数料及びコミッション収益	25	25	5	2	-	-
手数料及びコミッション費用	-	0	-231	-93	-37	-29
公正価値で評価される金融項目からの純損益	-	-	0	0	-	-
その他収益	1,973	1,835	0	-	13	12
その他費用	-405	-438	-2	-2	-55	-45
合計	6,333	6,237	-205	-87	-153	-137

注記P16には、子会社及び関連会社の詳細が記載されている。関連会社の事業は、金融市場関連の様々なサービスより構成される。スウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelse、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPersonalstiftelse及びPensionskassan SHB, Försäkringsförening（年金ファンド）の各社は、その他の関連当事者グループに含まれている。これらの会社は通常の銀行業務及び会計業務に関して、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ピーを利用している。当行グループ及び関連会社に対する株主の拠出に関する情報は、注記P16に開示されている。

2014年3月25日、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ピー、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelse及びPensionskassan SHB, Försäkringsföreningは、それぞれが相互に保有する株式を再配分した。当行

は、複数銘柄の保有株式を処分し、それと同時にインドゥストリーヴァルデン及びSCAの株式を購入した。これらの取引に伴い、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エービーは、インドゥストリーヴァルデンの議決権の10.46%（自己資本の7.5%）及びSCAの議決権の10.15%（自己資本の2.1%）を支配している。これらの取引により、当行にキャピタルゲイン306百万スウェーデン・クローネが発生した。関連会社との事業取引はすべて市場取引条件で行われている。

当年度において、サブ・ポートフォリオがスウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelseからPensionskassan SHB, Försäkringsföreningに移管された。この詳細については注記P38に記載されている。

執行役員への貸出金、並びに条件及び執行役員に対するその他の報酬に関する情報については、注記G8に記載されている。

注記P41 自己資本比率

移行時の自己資本 百万スウェーデン・クローネ	規制(EU)575/2013 の取扱い前の対象 となる金額、又は 規制（EU） 575/2013の所定の 残存額			2013年 （パーゼル に基づく）
	2014年			
普通株式等Tier 1（CET1）資本：商品及び準備金				
資本商品及び関連する資本剰余金勘定	5,741			5,799
うち、株式資本	5,593			5,579
うち、転換証券	148	148		220
利益剰余金	75,629			69,702
その他包括利益累計額（及びその他準備金）	7,096			-771
一般的な銀行リスクに対する資金				
第484条第3項に示されている適格項目の金額、及びCET1の 段階的廃止の対象となる関連資本剰余金勘定				
2018年1月まで適用除外される公的資金注入				
少数株主持分（連結CET1で認められた金額）				
独立してレビューされる中間利益（予測可能な費用又は配 当金控除後）	2,576			5,543
規制上の調整前の普通株式等Tier 1（CET1）資本	91,043			80,273
普通株式等Tier 1（CET1）資本：規制上の調整				
追加的な価値調整（負の金額）	-1			-1
無形資産（関連する税金負債控除後）（負の金額）	-1,106			-977
EUにおいて該当なし				
一時差異によって生じた繰延税金資産を除く、将来の収益 性に依拠した繰延税金資産（第38条第3項の条件を満た している関連税金負債控除後）（負の金額）				-36
キャッシュフロー・ヘッジに係る損益に関する公正価値評 価差額準備金	-1,197			1,344
予想損失額の計算に起因する負の金額	-1,693			-806
証券化資産に起因する資本の増加（負の金額）				
自己の信用力の変化に起因する公正価値で計上する負債に 係る損益				

確定給付年金基金資産（負の金額）

金融機関による自己のCET1商品の直接及び間接保有（負の金額）	-466	0
---------------------------------	------	---

金融機関の自己資本を人為的に増大させることを目的として金融部門企業が金融機関と持ち合いしている場合の当該企業のCET1商品の直接、間接及び合成保有（負の金額）

金融部門企業への重要な投資を保有していない金融機関による金融部門企業のCET1商品の直接、間接及び合成保有（基準値の10%を上回る金額、適格ショートポジション控除後）（負の金額）

金融部門企業への重要な投資を保有している金融機関による金融部門企業のCET1商品の直接、間接及び合成保有（基準値の10%を上回る金額、適格ショートポジション控除後）（負の金額）

EUにおいて該当なし

金融機関が控除の代替手段を選択した場合の1.250%のリスク加重要件を満たす以下の項目のエクスポージャー金額		-245
--	--	------

うち、金融部門外の適格な保有（負の金額）

うち、証券化ポジション（負の金額）

うち、フリー・デリバリー（負の金額）

一時差異によって生じた繰延税金資産（基準値の10%を上回る金額、第38条第3項の条件を満たしている関連税金負債控除後）（負の金額）

基準値の15%を超過した金額（負の金額）

うち、金融部門企業への重要な投資を保有している金融機関による金融部門企業のCET1商品の直接及び間接保有

EUにおいて該当なし

うち、一時差異によって生じた繰延税金資産

当年度の損失（負の金額）

CET1項目に関連する予測される税金費用（負の金額）

CRR取前措置の対象となる金額に関連する普通株式等Tier 1資本に適用される規制上の調整

第467条及び第468条による未実現損益に関連する規制上の調整	-1,437	-1,080
---------------------------------	--------	--------

うち、未実現損失に関するフィルタ	-1,437	-1,196
------------------	--------	--------

追加フィルタ及び控除を必要とするCRR前措置に関して普通株式等Tier 1資本合計から控除される金額、又は普通株式等Tier 1資本に追加される金額		-32
--	--	-----

金融機関のAT1を超過する適格AT1控除（負の金額）

普通株式等Tier 1（CET1）の資本の規制上の調整合計	-5,900	-1,835
-------------------------------	--------	--------

普通株式等Tier 1（CET1）資本	85,143	78,438
---------------------	--------	--------

その他Tier 1 (AT1) 資本：商品

資本商品及び関連する資本剰余金勘定	8,043	8,043	10,602
うち、適用される会計基準に基づき資本に分類されるもの			
うち、適用される会計基準に基づき負債に分類されるもの	8,043	8,043	10,602
第484条第4項で示されている適格項目の金額及びAT1の段階的廃止の対象となる関連資本剰余金勘定			
2018年1月1日まで適用除外される公的資金注入			
連結AT1資本に含まれる適格Tier 1資本（第5項に含まれない少数株主持分を含む）			
うち、子会社が発行した商品のうち、段階的廃止の対象となるもの			
規制上の調整前その他Tier 1 (AT1) 資本	8,043		10,602

その他Tier 1 (AT1) 資本：規制上の調整

金融機関による自己のAT1商品の直接及び間接保有（負の金額）
金融機関の自己資本を人為的に増大させることを目的として金融部門企業が金融機関と持ち合いしている場合の金融部門企業のAT1商品の保有（負の金額）
金融部門企業への重要な投資を保有していない金融機関による金融部門企業のAT1商品の直接、間接及び合成保有（基準値の10%を上回る金額、適格ショートポジション控除後）（負の金額）
金融部門企業への重要な投資を保有している金融機関による金融部門企業のAT1商品の直接、間接及び合成保有（基準値の10%を上回る金額、適格ショートポジション控除後）（負の金額）
規制（EU）585/2013に規定される段階的廃止の対象となるCRR前措置及び移行措置の金額（すなわち、CRR残存額）に関してその他Tier 1資本に適用される規制上の調整
規制（EU）575/2013の第472条に従って移行期間中において普通株式等Tier 1資本から控除される金額に関してその他Tier 1資本から控除される残余额
うち、各行毎に詳述すべき項目（例：重要な中間純損失、無形資産、予想損失に対する引当金の不足等）
規制（EU）575/2013の第475条に従って移行期間中においてTier 2資本から控除される金額に関してその他Tier 1資本から控除される残余额
うち、各行毎に詳述すべき項目（例：Tier 2商品の持ち合い、他の金融部門企業の資本への重要でない投資の直接保有等）

追加フィルタ及び控除を必要とするCRR前措置に関してその他Tier 1資本から控除される金額、又はその他Tier 1資本に追加される金額

金融機関のTier 2 (T2) 資本を超過する適格T2控除 (負の金額)

その他Tier 1 (AT1) 資本の規制上の調整合計	0		0
その他Tier 1 (AT1) 資本	8,043		10,602
Tier 1資本 (T1=CET1+AT1)	93,185		89,040

Tier 2 (T2) 資本：商品及び引当金

資本商品及び関連する資本剰余金勘定 17,860 697 3,881

T2からの段階的廃止の対象となる第484条第5項で示されている適格項目の金額及び関連資本剰余金勘定

2018年1月1日まで適用除外される公的資金注入

子会社が発行し、第三者が保有する連結T2資本に含まれる適格自己資本 (第5項又は第34項に含まれない少数株主持分及びAT1を含む)

うち、子会社が発行した商品のうち、段階的廃止の対象となるもの

信用リスク調整

規制上の調整前Tier 2 (T2) 資本 17,860 3,881

Tier 2 (T2) 資本：規制上の調整

金融機関による自己のT2商品及び劣後ローンの直接及び間接保有 (負の金額)

金融機関の自己資本を人為的増大させることを目的として金融部門企業が金融機関と持ち合いしている場合の当該企業のT2商品及び劣後ローンの保有 (負の金額)

金融部門企業への重要な投資を保有していない金融機関による金融部門企業のT2商品及び劣後ローンの直接、間接及び合成保有 (基準値の10%を上回る金額、適格ショートポジション控除後) (負の金額)

うち、移行措置の対象とならない新規保有

うち、2013年1月1日より前に存在しており、移行措置の対象となる保有

金融部門企業への重要な投資を保有している金融機関による金融部門企業のT2商品及び劣後ローンの直接、間接及び合成保有 (適格ショートポジション控除後) (負の金額)

-1,129 -32

規制 (EU) 575/2013に規定される段階的廃止の対象となるCRR前措置及び移行措置の金額 (すなわち、CRR残存額) に関してTier 2資本に適用される規制上の調整

145

規制 (EU) 575/2013の第472条により移行期間中において
普通株式等Tier 1資本から控除される金額に関してTier
2資本から控除される残余額、

うち、各行毎に詳述すべき項目 (例：重要な中間純損
失、無形資産、予想損失に対する引当金の不足等)

規制 (EU) 575/2013の第475条により移行期間中において
その他Tier 1資本から控除される金額に関してTier 2資
本から控除される残余額

うち、各行毎に詳述すべき項目 (例：Tier 2商品の持ち
合い、他の金融部門企業の資本への重要でない投資の
直接保有等)

追加フィルタ及び控除を必要とするCRR前措置に関して
Tier 2資本から控除される金額、又はTier 2資本に追加
される金額

Tier 2 (T2) 資本の規制上の調整合計	-1,129		113
Tier 2 (T2) 資本	16,731		3,994
資本合計 (TC=T1+T2)	109,916		93,034

規制 (EU) 575/2013に規定される段階的廃止の対象となる
CRR前措置及び移行措置の対象となる金額 (すなわち、
CRR残存額) に関するリスク加重資産

うち、普通株式等Tier 1資本から控除されない当行グ
ループの保険会社に対する追加資本 (規制 (EU)
575/2013による残存価値)

うち、普通株式等Tier 1資本から控除されない繰延税金
資産 (規制 (EU) 575/2013による残存価値)

T2項目から控除されない項目 (規制 (EU) 575/2013による
残存価値) (各行毎に詳述すべき項目、例：自己のT2商
品の間接保有、他の金融部門企業の資本への重要でない
投資の間接保有、他の金融部門企業の資本への重要な投
資の間接保有等)

リスク加重資産合計	460,401		435,189
-----------	---------	--	---------

自己資本比率及びバッファ

普通株式等Tier 1資本比率 (リスク・エクスポージャー合
計額に対する割合)

18.5

18.0

Tier 1比率 (リスク・エクスポージャー合計額に対する割
合)

20.2

20.5

資本合計 (リスク・エクスポージャー合計額に対する割
合)

23.9

21.4

金融機関特有のバッファ要件 (リスク・エクスポ
ージャー合計額の割合として表される第92条第1項(a)によ
るCET1要件、資本保全及びカウンターシクリカル・バッ
ファ要件、及びシステミック・リスク・バッファ、
及び金融システム上重要な金融機関バッファ)

2.5

うち、資本保全バッファー要件	2.5
うち、カウンターシクリカル・バッファー要件	0.0
うち、システミック・リスク・バッファー要件	0.0
うち、世界的に金融システム上重要な金融機関 (G-SII) 又はその他の金融システム上重要な金融機関 (O-SII) バッファー	0.0
バッファー要件を満たすために利用可能な普通株式等Tier 1資本 (リスク・エクスポージャー金額に対する割合)	14.0
[EUにおいて該当なし]	
[EUにおいて該当なし]	
[EUにおいて該当なし]	

自己資本比率及びバッファー

金融部門企業への重要な投資を保有していない金融機関による金融部門企業の資本の直接及び間接保有 (基準値の10%を下回る金額及び適格ショートポジション控除後)	
金融部門企業への重要な投資を保有している金融機関による金融部門企業のCET1商品の直接及び間接保有 (基準値の10%を下回る金額、適格ショートポジション控除後)	72
[EUにおいて該当なし]	
一時差異によって生じた繰延税金資産 (基準値の10%を下回る金額、第38条第3項の条件を満たしている関連税金負債控除後)	-105

Tier 2における引当金の算入に適用される上限額

標準的アプローチの対象となるエクスポージャーに関してT2に含まれている信用リスク調整 (上限額適用前)	
標準的アプローチに基づきT2に信用リスク調整を算入する際の上限額	
内部格付アプローチの対象となるエクスポージャーに関してT2に含まれる信用リスク調整 (上限額適用前)	
内部格付アプローチに基づきT2に信用リスク調整を算入する際の上限額	

段階的廃止の対象となる資本商品 (2013年1月1日から2022年1月1日までの期間のみに適用)

段階的廃止の対象となるCET1商品に係る現在の上限額	232
上限によりCET1から除外された金額 (償還及び満期後に上限を超える金額)	0
段階的廃止の対象となるAT1商品に係る現在の上限額	9,780
上限によりAT1から除外される金額 (償還及び満期後に上限を超える金額)	0
段階的廃止の対象となるT2商品に係る現在の上限額	5,926

上限によりT2から除外される金額（償還及び満期後に上限を超える金額）

0

資本商品の主な特性に関する報告については、公表済みの「リスク及び自己資本管理（第三の柱に従った情報）」（"Risk and capital management - information according to Pillar3"）を参照のこと。

この表示は、欧州委員会実施規則（EU）1423/2013の要件に準拠している。

所要自己資本

	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ		
標準的アプローチによる信用リスク	10,221	3,836
IRBアプローチによる信用リスク	21,941	27,081
市場リスク	939	770
信用評価調整（以下、「CVA」という）リスク	534	-
オペレーショナル・リスク	3,197	3,128
所要自己資本合計	36,832	34,815
バーゼル1フロアに基づく調整	12,317	8,993
所要自己資本、バーゼル1フロア	49,149	43,808
資本基盤合計、バーゼル1フロア	111,610	94,646

所要自己資本

	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ		
トレーディング勘定におけるポジション・リスク	927	756
金利リスク	908	745
うち、一般的なリスク	566	493
うち、特定のリスク	338	252
うち、証券化金融商品のポジション	0	1
うち、デルタ・リスク以外のリスク ¹	4	-
株価リスク	19	11
うち、一般的なリスク	3	3
うち、特定のリスク	7	6
うち、ミューチュアル・ファンド	1	2
うち、デルタ・リスク以外のリスク ¹	8	-
為替リスク	-	-
うち、デルタ・リスク以外のリスク ¹	-	-
コモディティ・リスク	8	14
うち、デルタ・リスク以外のリスク ¹	0	-
決済リスク	4	0
市場リスクに係る所要自己資本合計	939	770

1) 2014年1月1日にCRRが施行された際、デルタ・リスク以外のリスクは所要自己資本に含まれた。

自己資本比率分析

	2014年	2013年
普通株式等Tier 1資本比率、CRR (%)	18.5	18.0
Tier 1資本比率、CRR (%)	20.2	20.5
総自己資本比率、CRR (%)	23.9	21.4
リスク・エクスポージャー金額 ¹ 、CRR (百万スウェーデン・クローネ)	460,401	435,189
パーゼル1フロアに基づく所要自己資本に関する自己資金	227	212
金融機関特有のバッファー要件	2.5	-
うち、資本保全バッファー要件	2.5	-
バッファーとして利用可能な普通株式等Tier 1資本	14.0	-

1) 2013年12月31日現在で適用されている規定においては、いわゆるリスク加重資産のことである。

信用リスク(IRB)	エクスポージャー金額		平均リスク加重、%		所要自己資本	
	2014年	2013年	2014年	2013年	2014年	2013年
百万スウェーデン・クローネ						
法人エクスポージャー	667,183	642,301	31.1	36.3	16,579	18,655
うち、レボ及び有価証券貸付	14,060	8,376	0.4	0.5	5	3
うち、その他貸付(LGD及びCCFの独自の見積りを伴わないIRBアプローチ)	139,438	139,862	32.8	35.9	3,664	4,015
うち、その他貸付(LGD及びCCFの独自の見積りを伴うIRBアプローチ)	513,684	494,063	31.4	37	12,911	14,637
うち、大企業	148,769	153,531	48.6	52.5	5,782	6,450
うち、中小企業	66,036	65,961	48.1	60.1	2,543	3,172
うち、不動産会社	282,575	261,980	19.6	23.1	4,440	4,832
うち、住宅協同組合	16,304	12,591	11.2	18.1	147	183
リテール・エクスポージャー	140,337	132,514	15.8	15.7	1,770	1,667
うち、不動産貸付	75,321	61,259	11.6	8.8	698	432
うち、その他	65,016	71,255	20.6	21.7	1,072	1,235
小規模企業	20,857	21,631	31.2	39.4	520	682
金融機関エクスポージャー	134,408	100,490	12.4	11.9	1,334	953
うち、レボ及び有価証券貸付	51,433	48,863	1.3	0.8	53	31
うち、その他貸付	82,975	51,627	19.3	22.3	1,281	922
株式エクスポージャー	6,794	51,829	304.2	121.6	1,654	5,043
うち、上場株式	5,584	-	290	-	1,296	-
うち、その他株式	1,209	-	370	-	358	-
カウンターパーティ・リスクを除くエクスポージャー	1,032	978	100	100	82	78
証券化ポジション	269	878	8.8	3.1	2	2
うち、伝統的証券化	269	878	8.8	3.1	2	2
うち、合成的証券化	-	-	-	-	-	-

IRB合計	970,879	950,621	28.2	35.6	21,941	27,081
うち、レボ及び有価証券貸付	65,493	57,239	1.1	0.7	57	34
うち、その他貸付(LGD及びCCFの独自の見積りを伴わないIRBアプローチ)	230,508	245,174	36.2	51.3	6,682	10,061
うち、その他貸付(LGD及びCCFの独自の見積りを伴うIRBアプローチ)	674,878	648,208	28.2	32.8	15,201	16,986

所要自己資本、標準的アプローチ¹

百万スウェーデン・クローネ	2014年			2013年		
	エクスポージャー金額	平均リスク加重、%	所要自己資本	エクスポージャー金額	平均リスク加重、%	所要自己資本
ソブリン及び中央銀行	553,001	0.0	4	403,612	0.0	12
地方自治体	29,965	0.1	1	31,115	0.1	2
国際開発銀行	762	0.0	0	1,647	0.0	0
金融機関	454,716	0.2	76	402,234	0.2	69
法人	12,355	80.7	798	23,740	100.0	1,898
リテール	18,591	74.8	1,112	10,277	75.0	617
不動産抵当貸付	58,011	36.3	1,686	35,349	37.9	1,072
延滞項目	136	130.3	14	147	137.2	16
株式エクスポージャー	66,571	114.1	6,076			
うち、上場株式	641	100.0	51			
うち、その他株式	65,930	114.2	6,025			
その他項目	6,348	89.4	454	2,487	75.5	150
標準的アプローチ合計	1,200,456	10.6	10,221	910,608	5.3	3,836

1) 存在するエクスポージャーをクラス毎に集約し、所要自己資本の詳細を示したもの

利益処分案及び取締役会からの声明

ハンデルスバンケンの貸借対照表に従って、合計96,947百万スウェーデン・クローネの利益が年次株主総会で処分される。

取締役会の利益処分案は以下のとおりである。

株主へ支払われる一株当たり配当金、17.50スウェーデン・クローネ	
このうち、12.50スウェーデン・クローネ（2013年は、16.50スウェーデン・クローネ）は	11,124
普通配当	
繰越残高	85,823
合計割当額	96,947

当行の配当案の金額である合計11,124百万スウェーデン・クローネ（又はハンデルスバンケンの2008年の転換ローン残高の転換により更に株式が追加された場合に生じる可能性のあるより高い金額、但し上限は、11,125百万スウェーデン・クローネ）を評価する際に、事業内容、範囲、連結の必要性、リスク負担、流動性並びに当行及び当行グループ会社における一般的な状況が考慮されている。

取締役会は、上記の利益処分案が慎重に策定されたものであり、継続企業としての事業に良く適合するものであると評価する。

公正価値で計上される資産及び負債の未実現変動は、株主持分に影響を及ぼしており、正味12,365百万スウェーデン・クローネであった。

当年度末現在における連結ベースの当行の資本合計（完了済の転換に基づく配当予定額及び年度末以降のその他の重要な変動控除後）は、法定所要自己資本の最低額を34,555百万スウェーデン・クローネ上回っており、普通株式等Tier 1資本は最低所要額及びバッファ要件を50,045百万スウェーデン・クローネ、Tier 1資本を50,882百万スウェーデン・クローネ上回っていた。当行では、資本合計は法定所要自己資本の最低額を62,461百万スウェーデン・クローネ上回っており、普通株式等Tier 1資本は最低所要額及びバッファ要件を52,914百万スウェーデン・クローネ、Tier 1資本を54,051百万スウェーデン・クローネ上回っていた。

我々は、当該連結決算書が、国際会計基準の適用に関する欧州議会及び理事会規則（EC）第1606/2002号（2002年7月19日）に示されている国際財務報告基準に従って作成され、当行の年次決算書が株式会社の健全な会計慣行に従って作成され、年次決算書及び連結決算書が当行グループ及び親会社の財政状態及び業績の公正な表示をしており、法定管理報告書が当行及び当行グループの事業、財政状態及び業績の公正な外観を示し、当行及び他の会社がさらされている重要なリスク及び不確実性について記載していることをここに宣言する。

ストックホルム、2015年2月3日

フレデリック・ランドバーク	アンダース・ニュレン 取締役会長	スヴェルカー・マーティン・ ロフ
ジョン・フレデリック・ バクサース	トミー・ビュルンド	ヤン・ヨハンソン
オル・ヨハンソン	ベンテ・ラッセ パール・ボーマン 取締役社長兼グループ最高経営責任者	シャルロット・スコッグ

[次へ](#)

RESULTATRÄKNING | KONCERNEN

Resultaträkning Koncernen

Koncernen mkr		2014	2013
Räntesintäkter	Not K3	50 899	54 463
Räntekostnader	Not K3	-23 655	-27 794
Räntenetto		27 244	26 669
Provisionsintäkter	Not K4	10 143	9 294
Provisionskostnader	Not K4	-1 587	-1 490
Provisionsnetto		8 556	7 804
Nettoreultat av finansiella transaktioner	Not K5	1 777	1 357
Risikoresultat försäkring	Not K6	165	142
Övriga utdelningsintäkter		251	161
Andelar i intresseföretags resultat	Not K10	18	9
Övriga intäkter	Not K7	303	185
Summa intäkter		38 314	36 327
Personalkostnader	Not K8	-11 756	-11 404
Övriga kostnader	Not K9	-5 099	-5 181
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	Not K24, K25	-462	-476
Summa kostnader		-17 327	-17 061
Resultat före kreditförluster		20 987	19 266
Kreditförluster, netto	Not K10	-1 781	-1 195
Vinst-/förlustar vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	Not K11	6	17
Röreliseresultat		19 212	18 088
Skatter	Not K34	-4 059	-3 915
Årets resultat från löpande verksamhet		15 143	14 173
Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet, efter skatt	Not K12	41	122
Årets resultat		15 184	14 295
Värdav tillhör			
Aktieägare i Svenska Handelsbanken AB		15 183	14 295
Minoritet		1	0
Resultat per aktie, löpande verksamhet, kr	Not K13	23,82	22,38
efter utspädning	Not K13	23,45	22,07
Resultat per aktie, avvecklad verksamhet, kr	Not K13	0,06	0,19
efter utspädning	Not K13	0,06	0,19
Resultat per aktie, total verksamhet, kr	Not K13	23,89	22,52
efter utspädning	Not K13	23,51	22,26

TOTALRESULTAT | KONCERNEN

Totalresultat Koncernen

Koncernen mkr	2014	2013
Årets resultat	15 184	14 295
Övrigt totalresultat		
Poster som inte omklassificeras till årets resultat		
Förmånsbestämda pensionsplanar	-2 699	1 402
Skatt på poster som inte omklassificeras till årets resultat	592	-307
Summa poster som inte omklassificeras till årets resultat	-2 107	1 095
Poster som kan komma att omklassificeras till årets resultat		
Kassafördockeringar	8 772	-3 410
Instrument tillgängliga för försäljning	295	535
Årets omräkningen	5 924	763
varav säkring av nettoinvestering i utländskt samhäl	2 558	767
Skatt på poster som kan komma att omklassificeras till årets resultat	-2 501	514
varav kassafördockeringar	-1 924	744
varav instrument tillgängliga för försäljning	-14	-51
varav säkring av nettoinvestering i utländskt samhäl	-563	-169
Summa poster som kan komma att omklassificeras till årets resultat	12 400	-1 508
Summa övrigt totalresultat	10 383	-503
Årets totalresultat	25 567	13 792
Varav tillhör		
Aktieägare i Svenska Handelsbanken AB	25 566	13 792
Minoritet	1	0

Periodens omklassificeringar till resultaträkningen framgår av Förändring i eget kapital.
Avvecklad verksamhet påverkar endast raden Årets omräkningen i Övrigt totalresultat.

BALANSRÄKNING | KONCERNEN

Balansräkning Koncernen

Koncernen mkr		2014	2013
TILLGÅNGAR			
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		454 532	334 794
Övrig utlåning till centralbanker	Not K14	51 047	35 160
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	Not K17	78 219	57 451
Utlåning till övriga kreditinstitut	Not K15	70 339	62 898
Utlåning till allmänheten	Not K16	1 807 836	1 696 339
Värdepappersförändring på räntesäkrad post i portföljalkering		70	96
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Not K17	63 725	64 125
Aktier och andelar	Not K18	46 546	48 595
Andelar i intresseföretag	Not K19	286	272
Tillgångar där kunden står värdepappersförändringsrisken	Not K20	94 763	80 930
Derivatinstrument	Not K22	116 124	69 961
Åsattförsäkringsstillgångar		6	4
Immateriella tillgångar	Not K24	8 132	7 895
Fastigheter och inventarier	Not K25	2 239	2 205
Aktuella skattefordringar		115	405
Uppskjutna skattefordringar	Not K34	389	269
Pensionsstillgångar, netto	Not K8	-	1 733
Tillgångar som innehåller förståttning		1 196	1 347
Övriga tillgångar	Not K26	14 321	13 262
Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter	Not K27	6 791	7 140
Summa tillgångar	Not K30	2 816 876	2 484 721
SKULDER OCH EGET KAPITAL			
Skulder till kreditinstitut	Not K28	200 074	171 624
In- och upplåning från allmänheten	Not K29	1 022 267	825 205
Skulder där kunden står värdepappersförändringsrisken	Not K30	94 864	80 977
Emitterade värdepapper	Not K31	1 212 613	1 150 641
Derivatinstrument	Not K22	62 878	61 529
Korta positioner	Not K32	20 648	22 845
Försäkringskulder	Not K33	663	622
Aktuella skatteskulder		957	831
Uppskjutna skatteskulder	Not K34	9 209	7 413
Avskattningar	Not K35	68	141
Pensionskulder, netto	Not K8	1 480	-
Skulder hänförliga till tillgångar som innehåller förståttning		580	539
Övriga skulder	Not K36	14 578	13 189
Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter	Not K37	18 681	21 861
Efterbetalda skulder	Not K38	30 289	15 965
Summa skulder	Not K39	2 889 849	2 373 382
Minoritetsintresse		3	2
Aktiekapital		2 956	2 956
Överkursfond		3 203	2 843
Reserver		12 220	1 837
Balanserad vinst		93 262	89 406
Årets resultat, tillhörande aktieägare i Svenska Handelsbanken AB		15 183	14 295
Summa eget kapital		126 827	111 339
Summa skulder och eget kapital		2 816 876	2 484 721

FÖRÄNDRING I EGET KAPITAL | KONCERNEN

Förändring i eget kapital Koncernen

Koncernen 2014	Aktie- kapital	Överkurs- fond	Förväns- bestämda pensions- planer	Säkrings- reserv	Verkligt värde- reserv	Omräknings- reserv	Balanserade vinstmedel	Minoritet	Totalt
mkr									
Ingående eget kapital 2014	2 956	2 843	3 110	-1 517	1 043	-799	103 701	2	111 339
Årets resultat							15 183	1	15 184
Övrigt totalresultat			-2 107	6 848	281	5 361		0	10 383
Årets totalresultat			-2 107	6 848	281	5 361	15 183	1	25 567
Utdelning							-10 488		-10 488
Effekter av konvertibla företagslån ¹	0	360					49		409
Förändring av minoritetsintressen							0	0	0
Utgående eget kapital 2014	2 956	3 203	1 003	5 331	1 324	4 562	108 445	3	128 827

Koncernen 2013	Aktie- kapital	Överkurs- fond	Förväns- bestämda pensions- planer	Säkrings- reserv	Verkligt värde- reserv	Omräknings- reserv	Balanserade vinstmedel	Minoritet	Totalt
mkr									
Ingående eget kapital 2013	2 943	2 337		1 149	569	-1 393	101 290	2	106 897
Effekt av övergång till nya IAS 19			2 015			-5 062			-3 047
Ingående eget kapital efter justering	2 943	2 337	2 015	1 149	569	-1 393	96 228	2	103 850
Årets resultat							14 295	0	14 295
Övrigt totalresultat			1 095	-2 666	474	594			-503
Årets totalresultat			1 095	-2 666	474	594	14 295	0	13 792
Utdelning							-6 822		-6 822
Effekter av konvertibla företagslån	13	506							519
Förändring av minoritetsintressen									0
Utgående eget kapital 2013	2 956	2 843	3 110	-1 517	1 043	-799	103 701	2	111 339

¹ Värdet av konverteringsrätten i emitterade konvertibla skuldbrev redovisas i överkursfonden. Nettoeffekten av 2014 års konvertibla skuldbrev uppgick till 466 mkr. Under tredje kvartalet justerades överkursfonden med 243 mkr avseende uppskjuten skatt på konvertibla skuldbrev. Beloppet resultatförs över resterande löpiskt.

Under perioden januari–december 2014 hade konvertibla till ett nominellt värde av 6 mkr (533) avseende 2008 års konvertibla företagslån konverterats till 29 924 A-aktier (2 838 683). Vid räkenskapsårets slut uppgick antalet egna aktier i handelslagret till 0 aktier (0).

Specifikation av förändringar i eget kapital

Förändring av säkringsreserv	2014	2013
mkr		
Säkringsreserv vid årets ingång	-1 517	1 149
Orealiserade värdeförändringar under året	14 631	-772
Omklassificerat till resultaträkningen ¹	-7 783	-1 894
Säkringsreserv vid årets utgång	5 331	-1 517
Förändring av verkligt värdereserv	2014	2013
mkr		
Verkligt värdereserv vid årets ingång	1 043	569
Orealiserad marknadsvärdetförändring under året för kvarvarande samt nya innehav	240	509
Omklassificerat till resultaträkningen ²	41	-35
Verkligt värdereserv vid årets utgång	1 324	1 043
Förändring av omräkningsreserv	2014	2013
mkr		
Omräkningsreserv vid årets ingång	-799	-1 393
Förändring av omräkningsdifferens hämtad till tillägg	5 136	687
Förändring av omräkningsdifferens hämtad till dotterföretag	230	-107
Omklassificerat till resultaträkningen ³	-5	14
Omräkningsreserv vid årets utgång	4 562	-799

¹ Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hämtad till denna post 2 195 mkr (535).

² Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hämtad till denna post -10 mkr (16).

³ Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hämtad till denna post 1 mkr (-17).

KASSAFLÖDESANALYS | KONCERNEN

Kassaflödesanalys Koncernen

Koncernen mkr	2014	2013
LÖPANDE VERKSAMHET		
Rörelseresultat, total verksamhet	19 304	18 233
varav inbetalda räntor	51 568	55 030
varav utbetalda räntor	-27 175	-27 023
varav inbetalda utdelningar	029	1 044
Justering för ej kassaflödespåverkande poster i rörelseresultatet		
Kreditförluster	2 066	1 392
Orealiserade värdeförändringar	1 158	-250
Av- och nedskrivningar	462	476
Betalda inkomstskatter	-4 011	-4 973
Förändring i den löpande verksamhetens tillgångar och skulder		
Övrig utlåning till centralbanker	-15 887	-22 790
Utlåning till övriga kreditinstitut	-7 285	26 605
Utlåning till allmänheten	-113 608	-12 152
Räntebärande värdepapper och aktier	-20 983	-23 393
Skulder till kreditinstitut	28 450	-12 321
In- och upplåning från allmänheten	107 180	142 810
Emitterade värdepapper	61 972	-785
Derivatinstrument, nettopositioner	-44 123	-3 323
Korta positioner	-2 197	6 644
Fondlikvidfördingar och fondlikvidskulder	-1 033	-782
Övrigt	-48 676	-7 607
Kassaflöde från löpande verksamhet	82 798	107 784
INVESTERINGSVERKSAMHET		
Förvärf av dotterbolag	0	-446
Förändring aktier	-1 960	-85
Förändring räntebärande värdepapper	3 405	594
Förändring materiella anläggningstillgångar	-391	-320
Förändring immateriella anläggningstillgångar	-258	-335
Kassaflöde från investeringsverksamhet	787	-692
FINANSIERINGSVERKSAMHET		
Amontering av företagslån	-2 905	-4 048
Emitterade företagslån	16 612	-
Utbetald utdelning	-10 488	-6 822
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	3 219	-10 870
Ärats kassaflöde	86 804	96 222
Likvida medel vid årets början	334 794	236 545
Kassaflöde från löpande verksamhet	52 798	107 784
Kassaflöde från investeringsverksamhet	787	-592
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	3 219	-10 870
Kursdifferens i likvida medel	62 934	1 927
Likvida medel vid årets slut	454 532	334 794
Likvida medel definieras som Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		

Noter Koncernen

K1 Redovisningsprinciper och andra utgångspunkter vid upprättande av de finansiella rapporterna

1. LAG- OCH FÖRESKRIFTSENLIGHET

Koncernredovisningen är upprättad i enlighet med de internationella redovisningsstandarder (IFRS) och tolkningar av dessa standarder som antagits av EU. Därutöver tillämpas de tillägg som följer av lagen 1995:1559 om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag (ÅRL) och av Finansinspektionens föreskrifter och allmänna råd FFFS 2008:25 Årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag. I koncernredovisningen tillämpas även RFR 1 Kompletterande redovisningsregler för koncerner samt uttalanden från Rådet för finansiell rapportering.

Moderbolagets redovisningsprinciper framgår av not M1.

Avgivande och fastställelse av årsredovisningen

Års- och koncernredovisningen godkändes för utfärdande av styrelsen den 3 februari 2015 och blir föremål för fastställelse på årsstämman den 25 mars 2015.

2. FÖRÄNDRADE REDOVISNINGSPRINCIPER M M

Den 1 januari 2014 trädde IFRS 10 Koncernredovisning, IFRS 11 Samarbetsarrangemang och IFRS 12 Upplysningar om andelar i andra företag ikraft för tillämpning i EU, i och med de nya reglerna ersätts tidigare bestämmelser om när ett företag ska konsolideras i koncernredovisningen i IAS 27 och SIC 12 med ett antal bedömningskriterier för när bestämmande inflytande över ett annat företag föreligger. De nya reglerna innebär att fondandelar som banken äger genom fondförsäkringsavtal inte kommer att medräknas vid bedömningen av om bestämmande inflytande föreligger över ett fondföretag. Detta medför justeringar i balansräkningen som framgår av not K20 och not K30. Tillämpningen av de nya reglerna påverkar inte resultaträkningen och har inte heller någon inverkan på kapitaltäckningen. De nya reglerna medför därutöver nya upplysningskrav avseende innehav i icke-konsoliderade strukturerade företag. Dessa upplysningar framgår av not K21. Dessutom medför de mindre ändringar i upplysningskraven avseende dotterbolag och intressebolag, se not K19.

FFFS 2008:25 Årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag har ändrats genom FFFS 2014:18 Föreskrifter om ändring i Finans-

inspektionens föreskrifter och allmänna råd (FFFS 2008:25) om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag. Ändringarna ska tillämpas för räkenskapsår som påbörjas den 1 januari 2014. Ändringarna har medfört ökade krav på upplysningar av intäkter med mera uppdelat per land. Dessa upplysningar framgår av not K46.

I övrigt överensstämmer de redovisningsprinciper, klassificeringar och beräkningsmetoder som tillämpats av koncernen under räkenskapsåret i allt väsentligt med de principer som tillämpades i årsredovisningen 2013.

Kommande regelverksförändringar

IFRS 9 Financial Instruments, som ska ersätta IAS 39 Finansiella Instrument: Redovisning och värdering, antogs av IASB i juli 2014. Under förutsättning att IFRS 9 antas av EU, och den tidpunkt för ikraftträdande som IASB föreslagit inte ändras, kommer standarden att tillämpas från räkenskapsåret 2018. Standarden omfattar tre områden: klassificering och värdering, nedskrivning av finansiella instrument samt allmän försäkringsredovisning. De nya reglerna för klassificering och värdering av finansiella instrument utgår ifrån företagets affärsmodell och syfte med innehavet. Genom de nya reglerna om nedskrivning införs en modell som baseras på förväntade kreditförluster och inte, som den befintliga modellen i IAS 39, på inträffade kreditförluster. De nya allmänna reglerna för försäkringsredovisning medger att företagets egen riskhantering reflekteras på ett bättre sätt i de finansiella rapporterna. Banken arbetar med att analysera de finansiella effekterna mer i detalj av den nya standarden.

Vidare har IFRS 15 Revenue from contracts with customers antagits av IASB. Under förutsättning att IFRS 15 antas av EU, och den tidpunkt för ikraftträdande som IASB föreslagit inte ändras, kommer standarden tillämpas från och med räkenskapsåret 2017. Banken arbetar med att analysera de finansiella effekterna av den nya standarden.

Tolkningsmeddelandet IFRIC 21 Myndighetsavgifter har antagits för tillämpning av EU. IFRIC 21 ska tillämpas från och med räkenskapsåret 2015. Tolkningen tydliggör att om en avgift ska erläggas som en följd av att bankverksamhet bedrivs vid utgången av redovisningsperioden, ska någon skuld inte redovisas före detta datum. Regelverksförändringen bedöms inte få någon väsentlig påverkan på koncernens finansiella ställning och resultat och inte heller någon inverkan på kapitaltäckningen.

Ingen av de övriga förändringar i redovisningsregelverket som är utfärdade för tillämpning bedöms få någon väsentlig inverkan

på Handelsbankens finansiella rapporter, kapitaltäckning, stora exponeringar eller andra förhållanden enligt tillämpliga föreskrifter.

3. KONCERNREDOVISNING OCH PRESENTATION

Dotterföretag

I koncernredovisningen har samtliga företag där Handelsbanken direkt eller indirekt har ett bestämmande inflytande (dotterföretag) konsoliderats fullständigt. Banken anses ha ett bestämmande inflytande över ett företag när den exponeras för eller har rätt till rörlig avkastning från sitt innehav i företaget och har möjlighet att påverka avkastningen genom sitt inflytande i företaget. Normalt anses bestämmande inflytande föreligga om Handelsbanken har mer än 50 procent av rösterna på årsstämma eller motsvarande.

Dotterföretag konsolideras med tillämpning av förvärvsmetoden. Det innebär att förvärv av ett dotterföretag betraktas som en transaktion där koncernen förvärvar företagets identifierbara tillgångar och tar över dess skulder och förpliktelser. Vid rörelseförvärv upprättas en förvärvsbalans där identifierbara tillgångar och skulder värderas till verkligt värde vid förvärvstidpunkten. Anskaffningsvärdet utgörs av det verkliga värdet på samtliga tillgångar, skulder och emitterade egetkapitalinstrument som lämnats som vederlag för nettotillgångarna i dotterföretaget. Eventuella överskott till följd av att anskaffningsvärdet överstiger förvärvsbalansens identifierbara nettotillgångar redovisas som goodwill i koncernens balansräkning. Förvärvsrelaterade kostnader kostnadsförs när de uppstår. Dotterföretagets finansiella rapporter tas in i koncernredovisningen från och med förvärvstidpunkten till det datum bestämmande inflytande upphör. Koncerninterna transaktioner och mellanhanden elimineras vid upprättandet av koncernens finansiella rapporter.

I den mån de redovisningsprinciper som tillämpas i ett enskilt dotterföretag inte överensstämmer med de principer som tillämpas av koncernen, görs en justering av koncernräkenskaper vid konsolidering av dotterföretaget.

Fondföretag i vilka banken äger mer än 50 procent av andelarna, konsolideras helt i balansräkningen på raderna Tillgångar respektive Skulder där kunden står värddeförändringsrisken. Ägande mellan 20 och 50 procent konsolideras i vissa fall om omständigheterna gör gällande att banken har ett bestämmande inflytande, exempelvis genom att fonden har ett brett förvaltningsmandat och genererar en hög andel variabel avkastning. Fonder som banken äger genom fondförsäkringsavtal konsolideras ej.

Intresseföretag

Som Intresseföretag redovisas företag där Handelsbanken har ett betydande inflytande. Betydande inflytande föreligger normalt när röstandelen i företaget uppgår till lägst 20 procent och högst 50 procent. Intresseföretag redovisas i koncernredovisningen enligt kapitalandelsmetoden. Det innebär att innehavet inledningsvis tas upp till anskaffningsvärde. Det redovisade värdet ökas eller minskas därefter för att beakta koncernens andel av Intresseföretagets resultat efter förvärvstidpunkten. Eventuella utdelningar från Intresseföretag minskar det redovisade värdet på innehavet. Resultatandelar i Intresseföretag redovisas som Andelar i Intresseföretags resultat på egen rad i koncernens resultaträkning.

Redovisning av avvecklad verksamhet och tillgångar som innehas för försäljning
Anläggningstillgångar eller en grupp av tillgångar (avyttringsgrupp) klassificeras som att de innehas för försäljning när det redovisade värdet i huvudsak kommer att återvinnas genom försäljning och när försäljningen är mycket sannolik. Efter klassificeringen som tillgång som innehas för försäljning tillämpas särskilda värderingsprinciper. Dessa innebär i huvudsak att, med undantag för bland annat finansiella tillgångar och skulder, tillgångar som innehas för försäljning och avyttringsgrupper värderas till det lägsta av det redovisade värdet och verkligt värde med avdrag för försäljningskostnader. Därmed görs inte några avskrivningar på materiella eller immateriella tillgångar som innehas för försäljning. Eventuella nedskrivningar och efterföljande omvärderingar redovisas direkt i resultaträkningen. Vinst redovisas inte om den överstiger ackumulerad nedskrivning. Tillgångar och skulder som innehas för försäljning särredovisas i koncernens balansräkning fram till försäljningstidpunkten.

Som avvecklad verksamhet redovisas självständig verksamhet av väsentlig karaktär som är klart särskild från koncernens övriga verksamhet och som klassificerats som att den innehas för försäljning med tillämpning av ovan beskrivna principer. Som avvecklad verksamhet redovisas även dotterföretag som förvärvats uteslutande i syfte att vidareförsäljas. Redovisning som avvecklad verksamhet innebär att verksamhetens resultat särredovisas på egen rad i resultaträkningen skilt från övriga resultatposter. Resultatet från avvecklade verksamheter består av resultatet efter skatt av avvecklade verksamheter, det resultat efter skatt som uppstår vid värdering till verkligt värde med avdrag för försäljningskostnader av de tillgångar som innehas för försäljning/avyttringsgrupper som ingår i av-

vecklade verksamheter, samt realiserat resultat från avyttring av avvecklade verksamheter.

4. SEGMENTRAPPORTERING

I segmentrapporteringen presenteras intäkter och kostnader uppdelade på rörelsesegment. Ett rörelsesegment är en sådan del av koncernen som bedriver verksamhet som genererar externa eller interna intäkter och kostnader och vars resultat i styrnings syfte regelbundet granskas och följs upp av koncernledningen. Principer för segmentrapportering beskrivs vidare i not K45.

5. TILLGÅNGAR OCH SKULDER I UTLÄNDSK VALUTA

Koncernens rapporteringsvaluta är svenska kronor. Den funktionella valutan för koncernens verksamheter utomlands avviker som regel från koncernens rapporteringsvaluta. Som funktionell valuta betraktas den valuta som används i den ekonomiska miljö där verksamheten primärt bedrivs.

Transaktioner i utländsk valuta omräknas till den funktionella valutan på transaktionsdagen. Monetära poster samt tillgångar och skulder som redovisas till verkligt värde värderas till den funktionella valutans avstakurs vid balansdagens slut. Omräkningsdifferenser hänförliga från icke-monetära poster som kategoriserats som finansiella tillgångar tillgängliga för försäljning, redovisas som en komponent i övrigt totalresultat och ackumuleras i eget kapital. Så redovisas även valutakursdifferenser som uppstår vid omräkning av monetära poster som utgör en del av en nettoinvestering i en utlandsverksamhet. Övriga valutakursdifferenser redovisas i resultaträkningen.

Omräkning av utländska verksamheter till koncernens redovisningsvaluta

Vid omräkning av utländska etableringars (där bland filialers) balans- och resultaträkningar från funktionell valuta till koncernens rapporteringsvaluta, tillämpas dagkursmetoden. Det innebär att tillgångar och skulder omräknas till balansdagens kurs. Eget kapital omräknas till kursen vid investerings- respektive intjänandetidpunkten. Resultaträkningen räknas om efter genomsnittskursen under året. Omräkningsdifferenser redovisas som en komponent i övrigt totalresultat och ingår i omräkningsreserven i eget kapital.

6. REDOVISNING AV TILLGÅNGAR OCH SKULDER I BALANSRÄKNINGEN

Köp och försäljning av aktier samt penning- och kapitalmarknadsinstrument på avstamarkna-

den redovisas på affärsdagen. Motsvarande gäller för derivat. Övriga finansiella tillgångar och skulder redovisas normalt på likviddagen. Finansiella tillgångar tas bort från balansräkningen när de avtalsenliga rättigheterna till de kassaflöden som härrör från tillgången upphör eller när samtliga risker och fördelar förknippade med tillgången överförs till någon annan. En finansiell skuld tas bort från balansräkningen när förpliktelsen upphör eller annulleras.

Vid rörelseförvärv redovisas den förvärvade rörelsen i koncernens räkenskaper från förvärvstidpunkten. Förvärvstidpunkten är den tidpunkt då bestämmande inflytande över den förvärvade enheten inträder. Förvärvstidpunkten kan skilja sig från den tidpunkt då transaktionen är lagligt fastställd.

Finansiella tillgångar och skulder kvittas i balansräkningen om banken har avtalsmässigt rätt och avsikt att reglera posterna med ett nettobelopp. Ytterligare upplysningar om kvittning av finansiella tillgångar och skulder lämnas i not K23. Principerna för redovisning av tillgångar och skulder i balansräkningen har bland annat särskild betydelse för redovisning av återköps-transaktioner, värdepapperslån och leasing – se respektive separat avsnitt nedan.

7. KLASIFICERING AV FINANSIELLA TILLGÅNGAR OCH SKULDER

I värderingssyfte delas alla finansiella tillgångar i enlighet med bestämmelserna IAS 39 i följande värderingskategorier:

1. lån och andra fordringar
2. tillgångar som innehas till förtäil
3. tillgångar som värderas till verkligt värde via resultaträkningen
 - Innehav för handelsändamål
 - tillgångar som vid första redovisningstillfället kategoriserats som värderade till verkligt värde via resultaträkningen
4. tillgångar som är tillgängliga för försäljning.

Finansiella skulder delas in i följande värderingskategorier:

1. skulder som värderas till verkligt värde via resultaträkningen
 - skulder som innehas för handelsändamål
 - skulder som vid första redovisningstillfället kategoriserats som värderade till verkligt värde via resultaträkningen
 2. övriga finansiella skulder.
- Klassificeringen i balansräkningen är oberoende av värderingskategori. Olika värderingsprinciper kan således tillämpas för tillgångar och skulder som redovisas på samma rad i balansräkningen. En uppdelning av de klasser av finansiella tillgångar och skulder som redovisas i balans-

NOTER | KONCERNEN

räkningen med avseende på värderingskategori görs i not K39.

Vid första redovisningstillfället redovisas alla finansiella tillgångar och skulder till verkligt värde. För tillgångar och skulder som värderas till verkligt värde via resultaträkningen förs transaktionskostnader direkt till resultaträkningen vid anskaffningstillfället. För övriga finansiella instrument räknas transaktionskostnader in i anskaffningsvärdet.

Lån och andra fordringar

I kategorin Lån och andra fordringar redovisas onoterade räntebärande tillgångar. Lån och fordringar värderas till upplupet anskaffningsvärde, det vill säga det diskonterade nuvärdet av alla framtida betalningar hänförliga till instrumentet där diskonteringsräntan utgörs av tillgångens effektivränta vid anskaffningstillfället. Lån och fordringar prövas för nedskrivning när det finns en indikation på nedskrivningsbehov, se vidare under punkten 9. Nedskrivningar redovisas över resultaträkningen. Lån och fordringar redovisas därmed till sitt nettobelopp, efter avdrag för sannolika och konstaterade kreditförluster. Ränteskillnadsersättning avseende lån och andra fordringar som återbetalas i förtid redovisas omedelbart i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Tillgångar som innehas till förfall

I kategorin tillgångar som innehas till förfall redovisas räntebärande tillgångar som koncernen har för avsikt och förmåga att hålla till förfall. Tillgångar som kategoriserats som tillgångar innehas till förfall värderas till upplupet anskaffningsvärde. Tillgångar som innehas till förfall prövas för nedskrivning när det finns en indikation på nedskrivningsbehov, se vidare under punkten 9.

Tillgångar och skulder som innehas för handelsändamål

Tillgångar och skulder som innehas för handel består av noterade finansiella instrument och derivat. Finansiella instrument som innehas för handel redovisas till verkligt värde i balansräkningen. Räntor, utdelningar och andra värdeförändringar hänförliga till dessa instrument redovisas i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Finansiella tillgångar och skulder som vid första redovisningstillfället kategoriserats som värderade till verkligt värde via resultaträkningen

Valmöjligheten att kategorisera finansiella instrument som värderade till verkligt värde via resultaträkningen har tillämpats för finansiella tillgångar och skulder som inte innehas för

handel men för vilka den interna förvaltningen och utvärderingen baseras på verkliga värden (till exempel tillgångar och skulder till följd av fondförsäkringsavtal). Denna värderingsprincip har även tillämpats för att undvika konsekvens vid värderingen av tillgångar och skulder som utgör motpositioner till varandra och förvaltas på portföljbasis. Valmöjligheten att redovisa tillgångar och skulder till verkligt värde över resultaträkningen har tillämpats för finansiella instrument som redovisas i balansräkningen under Belåningsbara statsskuldförbindelser, Utlåning till allmänheten, Obligationer och andra räntebärande värdepapper, Aktier och andelar och Tillgångar/Skulder där kunden står värdeförändringsrisken.

Förändringar i verkligt värde på finansiella instrument som värderas till verkligt värde redovisas i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. Ränta hänförlig till utlåning som vid första redovisningstillfället kategoriserats som värderad till verkligt värde över resultaträkningen redovisas i räntenettet.

Finansiella tillgångar tillgängliga för försäljning

Som finansiella tillgångar som är tillgängliga för försäljning redovisas större delen av koncernens innehav i sådana finansiella instrument för vilka det finns en aktiv marknad men som inte innehas för handel.

Finansiella tillgångar som kategoriserats som tillgängliga för försäljning värderas till verkligt värde i balansräkningen. Marknadsvärdeförändringar på tillgångarna redovisas som en komponent i övrigt totalresultat och ingår i verkligt värdereserven i eget kapital. Förändringar i verkligt värde redovisas i resultaträkningen först när tillgången realiseras eller när nedskrivning sker. Räntor hänförliga till denna kategori tillgångar redovisas direkt i räntenettet i resultaträkningen. Valutakurseffekter hänförliga till monetära tillgångar som är tillgängliga för försäljning redovisas i Nettoresultat av finansiella transaktioner. Nedskrivningsprövning av finansiella tillgångar som är tillgängliga för försäljning sker när det finns en indikation på nedskrivningsbehov – se vidare om nedskrivningar av finansiella tillgångar under punkten 9. Utdelningar på aktier som kategoriserats som tillgängliga för försäljning redovisas löpande i resultaträkningen som Övriga utdelningsintäkter.

Omklassificering av finansiella instrument
Under räkenskapsåret 2008 omklassificerade Handelsbanken vissa portföljer av räntebärande värdepapper. Bestämmelserna i IAS 39 tillåter endast omklassificering för vissa finansiella tillgångar och endast under exceptionella omständigheter. Någon ytterligare omklassificering

har inte genomförts sedan den omklassificering som gjordes 2008. Effekterna av omklassificeringen framgår av not K39.

Återköpstransaktioner

Med återköpstransaktioner, eller repotransaktioner, avses avtal där parterna samtidigt har kommit överens om försäljning och återköp av ett visst värdepapper till ett i förväg bestämt pris. Värdepapper som säljs i en repotransaktion kvarstår i balansräkningen under transaktionsens löptid. Det sålda värdepappret redovisas därutöver utanför balansräkningen som ställd säkerhet. Erhållen likvid redovisas beroende på motpart som Skuld till kreditinstitut eller In- och upplåning från allmänheten. Värdepapper som köps i en repotransaktion redovisas på motsvarande sätt, det vill säga värdepappret tas inte upp i balansräkningen under transaktionsens löptid. Den erlagda likviden redovisas beroende på motpart som Övrig utlåning till centralbanker, Utlåning till övriga kreditinstitut eller Utlåning till allmänheten. Mottagna pantar som sålts vidare under återköpsavtal redovisas som åtagande utanför balansräkningen.

Värdepapperslån

Värdepapper som lånats ut kvarstår i balansräkningen och redovisas där till utanför balansräkningen som Ställd säkerhet. Inlånade värdepapper tas inte upp i balansräkningen, såvida de inte säljs, då ett värde motsvarande det avyttrade värdepapprets verkliga värde tas upp som skuld. Inlånade värdepapper som vidareutlånats redovisas som åtagande utanför balansräkningen.

Finansiella garantier och lånelöften

Finansiella garantier är sådana förbindelser som kräver att utställaren gör angivna betalningar för att ersätta innehavaren för en förlust denna ådrar sig på grund av att en angiven gäldenär inte fullgör betalning vid förfall enligt villkoren i ett skuldinstrument, exempelvis en kreditgaranti. Det verkliga värdet på en utställd garanti motsvaras vid utfärdandet av den mottagna premien. Vid första redovisningstillfället redovisas den mottagna premien för garantin som förutbetald intäkt i balansräkningen. Därefter värderas garantin till det högsta av den periodiserade premien, och det belopp som representerar den förväntade kostnaden för att reglera den förpliktelse som garantin ger upphov till. Därutöver redovisas det totala garanterade beloppet hänförligt till utställda garantier som en ansvarsförbindelse utanför balansräkningen. En inrlad garanti redovisas, beroende på omständigheterna, som sannolik eller konstaterad kreditförlust.

NOTER | KONCERNEN

värderade till verkligt värde redovisas i nettoresultat av finansiella transaktioner.

Tillgångar och skulder där kunden står värdeförändringsrisken

Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken består i huvudsak av fondandelar i fondförsäkringsavtal och fonder som konsolideras i koncernredovisningen. Sådana fondandelar värderas till fondens aktuella marknadsvärde (NAV). Tillgångarna motsvaras av skulder för vilka kunden står värdeförändringsrisken. Värderingen av dessa skulder speglar värderingen av tillgångarna. Med hänsyn till att försäkringstagarna och fondandelsägarna har förmånerätt i tillgångsmassan, saknas skäl för att justera värderingen för kreditrisk.

9. KREDITFÖRLUSTER OCH NEDSKRIVNING AV FINANSIELLA TILLGÅNGAR

Lån och fordringar som redovisas till upplupet anskaffningsvärde
Individuell bedömning av nedskrivningsbehov avseende lån och andra fordringar som redovisas till upplupet anskaffningsvärde genomförs löpande av samtliga kund- och kreditansvariga enheter i koncernen. Nedskrivningsprövning görs i den mån det finns objektiva omständigheter som tyder på att en fordrans återvinningsvärde understiger dess bokförda värde. Sådana objektiva belägg kan exempelvis, beroende på omständigheterna, vara försenad eller utebliven betalning, konkurs, ändrad kreditrating eller nedgång i säkerheternas marknadsvärde.

Vid nedskrivningsprövning beräknas fordrans återvinningsvärde genom en diskontering av estimerade framtida kassaflöden hänförliga från fordran och eventuella säkerheter (inklusive garantier) med fordrans effektivränta. Är säkerheten en marknadsnoterad tillgång, görs värderingen av säkerheten med utgångspunkt i det noterade värdet. I annat fall görs värderingen med utgångspunkt i avkastningsvärdet eller på annat sätt uppskattat marknadsvärde. Säkerheter i form av fastighetsinteckningar värderas på samma sätt som övertagna fastigheter. Nedskrivning görs om det beräknade återvinningsvärdet understiger bokfört värde och redovisas som Kreditförlust i resultaträkningen. Redovisad kreditförlust reducerar fordrans bokförda värde i balansräkningen, antingen direkt (konstaterad förlust) eller genom ett avsättningskonto för kreditförluster (sannolik förlust).

Utöver denna individuella bedömning av fordringar görs en gruppvis bedömning i syfte att identifiera nedskrivningsbehov som ännu inte kan fördelas på enskilda krediter. Analysen baseras på en fördelning av individuellt värderade fordringar med avseende på riskklass. Nedskrivning görs om det är befogat med hänsyn till förändringar i riskklassificering

och förväntad förlust. Nedskrivningar som redovisats för en grupp fordringar förs över till nedskrivningar avseende enskilda fordringar så snart det finns tillgänglig information om värderingsminskning på individuell nivå. En gruppvis nedskrivningsprövning görs även för homogena grupper av mindre fordringar med likartad riskprofil.

Periodens kreditförluster utgörs av konstaterade och sannolika förluster för beviljade krediter med avdrag för återvinningar samt återförda tidigare gjorda nedskrivningar för sannolika kreditförluster. Konstaterade kreditförluster kan avse hela eller delar av fordringar och redovisas då det inte finns någon realistisk möjlighet till återvinning. Så är exempelvis fallet när konkursförvaltare lämnat uppskattning av utdelning i konkurs, när ett ackordsförlägg antagits eller en fordran eftergivits på annat sätt. Belopp som efterges i samband med en omstrukturering av en fordran eller grupp av fordringar klassificeras alltid som konstaterad kreditförlust. I de fall kunden följer betalplanen för en kredit som sedan tidigare har klassificerats som konstaterad kreditförlust, sker en omprövning av förlustens storlek. Återvinningar består av återförda belopp på kreditförluster som tidigare redovisats som konstaterade. Information om sannolika och konstaterade kreditförluster lämnas i not K10.

Ränteeffekter som uppstår till följd av att diskonteringseffekter då perioden fram till förväntad inbetalning minskar resulterar i en upplösning av tidigare reserverade belopp som redovisas som räntetäkt i enlighet med effektivräntemetoden.

Upplysningar om osäkra fordringar

Upplysningar om osäkra fordringar lämnas brutto, innan reservering för sannolika kreditförluster, och netto efter reservering för sannolika kreditförluster. Fordringar definieras som osäkra om det inte är sannolikt att samtliga kontrakterade kassaflöden kommer att fullföljas. Varje fordran som klassificerats som osäker ingår i det redovisade värdet på osäkra fordringar med sitt fulla belopp, även om delar av fordran täcks av säkerheter. Fordringar som skrivits ned som konstaterade kreditförluster ingår inte i osäkra fordringar.

Värdering av egendom som övertagits för skyddande av fordran

Vid första redovisningstillfället redovisas övertagen egendom till verkligt värde i balansräkningen. Övertagen egendom (inklusive övertagna leasingobjekt) som förväntas avyttras inom en snar framtid, tas vid efterföljande värdering upp till det lägsta av redovisat värde och verkligt värde med avdrag för kostnader för försäljning. Övertagna fastigheter som inte förväntas

avyttras inom en snar framtid redovisas som förvaltningsfastigheter till verkligt värde över resultaträkningen. Onoterade aktieinnehav som övertas för skyddande av fordran redovisas som finansiella tillgångar tillgängliga för försäljning.

Nedskrivning av finansiella tillgångar som är tillgängliga för försäljning

Nedskrivning av finansiella tillgångar som är tillgängliga för försäljning görs när det finns objektiva belägg för att en eller flera förlusthändelser inträffat som har en inverkan på de förväntade framtida kassaflödena för tillgången. Vad avser räntebärande finansiella tillgångar utgör exempel på förlusthändelser som kan indikera ett nedskrivningsbehov en sannolik framtida konkurs, bevis för betydande finansiella svårigheter hos emittenten eller bevis för bestående förändringar i marknaden för tillgången. För eget kapitalinstrument utgör en bestående eller betydande nedgång i dess verkliga värde en indikation på nedskrivningsbehov. Vid nedskrivning förs en andel av den ackumulerade förlust som tidigare redovisats i verkligt värdeserven i eget kapital till resultaträkningen.

Tidigare gjorda nedskrivningar på räntebärande värdepapper, som kategoriserats som finansiella tillgångar tillgängliga för försäljning återförs via resultaträkningen om tillgångens verkliga värde ökat efter nedskrivning och ökningen objektivi kan hänföras till en händelse som inträffat efter nedskrivningstillfället. Tidigare nedskrivningar på eget kapitalinstrument som kategoriserats som finansiella instrument tillgängliga för försäljning återförs inte.

10. SÄKRINGSREDOVISNING

Koncernen tillämpar olika metoder för säkringsredovisning beroende på syftet med säkringen. Som säkringsinstrument används derivat, i huvudsak ränte- och valutaränteswappar. Vid säkringar av valutarisker kopplade till nettoinvesteringar i utländska enheter används även skulder i respektive utländsk enhets funktionella valuta som säkringsinstrument. Som en del av koncernens säkringsstrategier delas värdet på säkringsinstrument i vissa fall upp och ingår i fler än en säkringsrelation. Ett och samma säkringsinstrument kan därmed säkra olika risker. Sådan uppdelning görs endast om de säkrade riskerna tydligt kan identifieras, om effektiviteten kan mätas tillförlitligt och om den totala värdeförändringen på instrumentet ingår i någon säkringsrelation.

Säkringar av verkligt värde tillämpas i syfte att skydda koncernen mot icke önskvärda resultat-effekter på grund av exponeringar för förändringar i marknadspriser på redovisade tillgångar eller skulder. Säkrade risker i säkringspaket till verkligt värde består av ränte- och valutarisk i ut- och upplåning till fast ränta. Säkrings-

Instrumenten i dessa säkringsrelationer består av ränte- och valutaränteswappar. Vid säkring av verkligt värde värderas såväl säkringsinstrumentet som den säkrade risken till verkligt värde. Värdeförändringarna redovisas direkt i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. Då säkringar av verkligt värde avslutas i förord periodiseras den upparbetade värdeförändringen på den säkrade posten i Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Säkringar av verkligt värde tillämpas för enskilda tillgångar och skulder samt för portföljer av finansiella instrument. Den säkrade risken i sådana portföljsäkringar är ränterisken i utlåning med tre månaders ursprunglig räntebindning samt räntetäck på utlåning med tre månaders ursprunglig räntebindning. Som säkringsinstrument i dessa portföljsäkringar används ränteswappar och räntesoptioner (cappar). Vid portföljsäkring till verkligt värde marknadsvärderas den del av portföljen vars värde är exponerat för den säkrade risken. Värdet på den säkrade posten i säkrade portföljer redovisas på en enskild rad i balansräkningen i anslutning till Utlåning till allmänheten. Ackumulerade värdeförändringar på portföljsäkringar som avslutas i förord redovisas i balansräkningen under posten Övriga tillgångar och periodiseras i Nettoresultat av finansiella transaktioner över portföljens återstående löptid.

Kassafödersäkring används för att hantera exponeringar för variationer i kassaföden hänförliga till förändringar i rörlig ränta på ut- och upplåning. Den förväntade löptiden för sådan ut- och upplåning är i regel betydligt längre än bindningstiden som är mycket kort. Kassafödersäkring används även för att säkra valutarisken i framtida kassaföden hänförliga till ut- och upplåning. Även valutarisker hänförliga till koncerninterna monetära poster kan omfattas av denna typ av säkring. I den mån de ger upphov till valutaexponeringar som inte elimineras vid upprättande av koncernredovisningen. Derivat som är säkringsinstrument i kassafödersäkring värderas till verkligt värde. I den mån derivatets värdeförändring är effektiv, det vill säga motsvaras av framtida kassaföden hänförliga till den säkrade posten, redovisas den som en komponent i övrigt totalresultat och i säkringsreserven i eget kapital. Ineffektiva delar av derivatets värdeförändring redovisas i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Säkringar av nettoinvesteringar i utlandsverksamheter tillämpas för att skydda koncernen mot valutakursdifferenser till följd av verksamhet i utlandet. Som säkringsinstrument används valutaränteswappar samt lån i utländsk valuta. Den säkrade posten i dessa säkringar utgörs av nettoinvesteringar i form av direkta investeringar samt fordringar på utlandsverksamhet som inte förväntas regleras inom en överskådlig

framtid. Lån i utländsk valuta som säkrar nettoinvesteringar i utlandsverksamhet redovisas i koncernen till kursen på balansdagen. Den effektiva delen av valutakursdifferenser på sådana lån redovisas som en komponent i övrigt totalresultat och i omräkningsreserven i eget kapital. Så redovisas även den effektiva delen av värdeförändringar på valutaränteswappar som säkrar valutakursrisk i fordringar på utlandsverksamhet. Ineffektiva delar av säkringar av nettoinvesteringar i utlandsverksamhet redovisas i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

11. LEASING

Koncernens leasingavtal är antingen finansiella eller operationella. Finansiella leasingavtal är sådana avtal där de ekonomiska risker och fördelar som förknippas med ägandet av den leasade tillgången i allt väsentligt överförs från leasegivaren till leasetagaren. Övriga leasingavtal betraktas som operationella leasingavtal. Samtliga avtal där koncernen är leasegivare har definierats som finansiella leasingavtal. Sådana leasingavtal redovisas som utlåning i balansräkningen, initialt till ett belopp som motsvarar nettoinvesteringen. Erhållna leasingavgifter redovisas löpande som räntebärande respektive amorteringar. Nedskrivningsprövning av finansiella leasingavtal görs enligt samma principer som för övrig utlåning som redovisas till upplupet anskaffningsvärde.

Operationella leasingavtal redovisas inte i balansräkningen. Kostnader hänförliga från operationella leasingavtal där koncernen är leasetagare kostnadsförs linjärt över tiden som övriga kostnader.

12. FÖRSÄKRINGSVERKSAMHET

Koncernens försäkringsverksamhet bedrivs i dotterbolaget Handelsbanken Liv. Verksamhetens produkter består främst av legala livförsäkringar i form av traditionell livförsäkring och fondförsäkring samt riskförsäkringar i form av sjukförsäkring och premiebefrielse.

Klassificering och uppdelning av försäkringskontrakt

I koncernredovisningen klassas sådana avtal som innehåller betydande försäkringsrisk som försäkring. Avtal som inte överför betydande försäkringsrisk klassificeras i sin helhet som investeringsavtal. I regel innebär detta att försäkringar med återbetalningskydd klassas som investeringsavtal och övriga avtal klassas som försäkringskontrakt. Försäkringskontrakt som består av både försäkringskomponenter och sparande (finansiella komponenter) delas upp och särredovisas i enlighet med de principer som beskrivs i det följande.

Redovisning av försäkringskomponenter i försäkringskontrakt

Premieintäkter och utbetalda försäkringsersättningar avseende försäkringsavtal redovisas i resultaträkningen i nettoposten Resultat för försäkring. Under denna post redovisas även årets förändring av koncernens försäkringskulder.

Mottagna premier som ännu ej intäktsförts redovisas som skuld för inbetalda premier under posten Försäkringsskulder i balansräkningen. I balansposten Försäkringsskulder ingår även skulder för sjukräntor, livräntor samt andra oreglerade skador. Försäkringsskulden värderas genom diskontering av uppskattade framtida kassaföden hänförliga till ingångna försäkringsavtal. Värderingen bygger på antaganden om ränta, livslängd, hälsa och framtida avgifter. Livslängdsantagandena varierar med hänsyn till när försäkringen tecknats och beaktar den förväntade framtida ökningen av livslängden. Även avgiftsantaganden beror på när försäkringen tecknats. Det innebär i huvudsak en avgift som är proportionell mot premien och en avgift som är proportionell mot livförsäkringsavsättningen. Tillämpade antaganden om de försäkrades framtida hälsa är baserade på internt genererad erfarenhet och varierar beroende på produkt. Ränteantagandena är baserade på aktuella marknadsräntor och beror på skuldens löptid. Koncernens försäkringsskulder provas regelbundet och minst årligen i syfte att säkerställa att den redovisade försäkringsskulden är tillräcklig för att täcka förväntade framtida anspråk. Vid behov görs en ytterligare avsättning. Mellanskillnaden redovisas i resultaträkningen.

Redovisning av investeringsavtal samt finansiella komponenter i försäkringskontrakt Inbetalningar och utbetalningar avseende kunders sparkapital som härrör från investeringsavtal samt finansiella komponenter i försäkringskontrakt redovisas som insättningar respektive uttag direkt i balansräkningen.

Den från försäkringskontraktet separerade finansiella komponenten i traditionella legala livförsäkringar redovisas i balansräkningen som upplåning från allmänheten. Dessa skulder värderas till det högsta av garanterat belopp och försäkringsens aktuella värde. Det garanterade beloppet förräntas med garanterad ränta och motsvarar försäkringsens upplupna anskaffningsvärde. Försäkringsens aktuella värde är lika med värdet av de tillgångar som förvaltas för försäkringstagarnas räkning, och förräntas med en avkastning som bestäms från totalavkastningen för tillgångarna med avdrag för eventuell avkastningsdelning. Avkastningsdelningen innebär att försäkringsgivaren tilldelas en avtalad del av totalavkastningen om denna avkastning under kalenderåret överstiger den

NOTER | KONCERNEN

garanterade räntan. Beräkningen görs årligen och ackumulerat för varje enskilt försäkringskontrakt. Det innebär att den villkorade återbärningen minskar i de fall avkastningen ett enskilt år understiger garantiräntan och vice versa. Den del av avkastningen som enligt modellen för avkastningsdelning tillfaller koncernen redovisas som provisionsintäkt. I det fall avkastningen understiger den per kontrakt garanterade räntan redovisas mellanskillnaden i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Tillgångar och skulder som hänför från fondförsäkringsavtal redovisas till verkligt värde i balansräkningen som tillgångar och skulder där kunden står värdeförändringsrisken.

Premieavgifter samt administrativa avgifter avseende investeringsavtal samt finansiella komponenter i försäkringskontrakt periodiseras och redovisas i resultaträkningen i posten Provisionsintäkter. Anskaffningskostnader redovisas direkt i resultaträkningen.

Återförsäkring

Återförsäkrarens andel av koncernens försäkringskulder redovisas som Återförsäkrings-tillgångar i balansräkningen.

13. IMMATERIELLA TILLGÅNGAR**Redovisning i balansräkningen**

En immateriell tillgång är en identifierbar, icke-monetär tillgång utan fysisk form. Immateriella tillgångar tas endast upp i balansräkningen om det är troligt att de framtida ekonomiska fördelar som hänför från tillgången kommer att tillfalla koncernen och det går att beräkna anskaffningsvärdet på ett tillförlitligt sätt. Det innebär att internt upparbetade värden i form av goodwill, varumärken, kundregister och liknande inte redovisas som tillgångar i balansräkningen.

Investeringar i egenutvecklad programvara tas till resultatet löpande i den mån utgifterna avser underhåll av befintlig affärsverksamhet eller befintlig programvara. Vid egen utveckling av ny programvara, eller vid utveckling av befintlig programvara för ny affärsverksamhet, aktiveras nedlagda utgifter från den tidpunkt det är sannolikt att ekonomiska fördelar kommer att uppstå som kan beräknas på ett tillförlitligt sätt. Utgifter som hänför från länekostnader aktiveras från den tidpunkt beslut har fattats om aktivering av utgifter för utveckling av immateriell tillgång.

Vid ett rörelseförvärv hänförs förvärvspriset till värdet av förvärvade identifierbara tillgångar, skulder och eventuell förpliktelse i den förvärvade rörelsen. Bland dessa tillgångar kan även ingå sådana immateriella tillgångar som inte skulle ha tagits upp i balansräkningen om de förvärvats separat eller upparbetats internt. Den del av förvärvspriset som vid ett rörelseförvärv

inte kan hänföras till identifierbara tillgångar och skulder redovisas som goodwill.

Goodwill och immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod

Goodwill och andra immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod redovisas till anskaffningsvärde med avdrag för eventuella nedskrivningar. Nedskrivningsprövning sker årligen i samband med bokslutet eller när det finns en indikation på att tillgången kan ha minskat i värde. Nedskrivningsprövning görs genom en beräkning av tillgångens återvinningsvärde, det vill säga det högsta av nyttjandevärdet och det verkliga värdet med avdrag för försäljningskostnader. Så länge återvinningsvärde överstiger redovisat värde är nedskrivning ej befogad. Nedskrivningar redovisas direkt i resultaträkningen.

Med hänsyn till att det inte är möjligt att särskilja de kassaflöden som hänförs från goodwill från kassaflöden som hänförs från andra tillgångar, sker nedskrivningsprövningen på nivån kassagenererande enhet. En kassagenererande enhet är den minsta grupp tillgångar som ger upphov till inbetalningar som är oberoende av inbetalningar från andra tillgångar eller tillgångsgrupper. Goodwill som följer upp internt på en lägre nivå än kassagenererande enhet prövas på den lägre nivån, dock lägst på rörelsesegmentnivå. Väsentliga bedömningar och antaganden vid nedskrivningsprövning av goodwill framgår av not K23. Tidigare gjorda nedskrivningar av goodwill återförs inte.

Immateriella tillgångar med bestämbar nyttjandeperiod

Immateriella tillgångar för vilka det går att fastställa en bedömd nyttjandeperiod är föremål för avskrivning. Avskrivningen sker linjärt över nyttjandeperioden. För närvarande innebär det att kundkontrakt skrivs av på 20 år och att internt utvecklad programvara vanligen skrivs av på fem år. I vissa infrastrukturprojekt bedöms nyttjandeperioden uppgå till uppåt 15 år, varför avskrivningstiden är satt till upp till 15 år i dessa fall. Varumärken som är föremål för avskrivning skrivs av på fem år. Avskrivningstiden prövas individuellt, dels vid nyanskaffning, dels fortlöpande vid indikation på att nyttjandeperioden kan ha ändrats. Immateriella tillgångar med bestämbar nyttjandeperiod prövas för nedskrivning när det finns indikation på att tillgången kan ha minskat i värde. Nedskrivningsprövning görs i enlighet med samma principer som för immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod, det vill säga genom en beräkning av tillgångens återvinningsvärde.

14. FASTIGHETER OCH INVENTARIER

Koncernens materiella anläggningstillgångar består av fastigheter och inventarier. Med undantag av sådana fastigheter som utgör placeringsstillgångar i försäkringsrörelsen samt fastigheter som övertagits för skydd av fordran, värderas dessa tillgångar till anskaffningsvärde med avdrag för ackumulerade av- och nedskrivningar.

Avskrivningarna sker utifrån tillgångarnas bedömda nyttjandeperioder. Normalt tillämpas en linjär avskrivningsplan. De bedömda nyttjandeperioderna prövas årligen. De materiella tillgångar som består av delkomponenter med olika bedömda nyttjandeperioder, indelas i olika kategorier med separata avskrivningsplaner. Sådan så kallad komponentavskrivning är normalt endast aktuellt avseende fastigheter. Som delkomponenter betraktas då de delar av fastigheten som har ett anskaffningsvärde som är betydande i förhållande till det sammanlagda anskaffningsvärdet. Resterande delar av fastigheten (stomme) skrivs av som helhet över den förväntade nyttjandeperioden. För närvarande är den bedömda nyttjandeperioden för stomme 100 år, för vatten och avlopp 35 år, för tak 30 år, för fasad, värme, ventilation och el 25 år, för hissar 20 år och för byggnadsinventarier tio år. Persondatorer och övrig IT-utrustning skrivs i regel av på tre år och investeringar i bankvalv och liknande lokalinvesteringar på tio år. Övriga inventarier skrivs normalt av på fem år.

Nedskrivningsprövning av materiella anläggningstillgångar sker när det finns indikation på att tillgången kan ha minskat i värde. Nedskrivning görs i det fall återvinningsvärdet understiger det redovisade värdet. Eventuell nedskrivning redovisas omedelbart i resultaträkningen. En nedskrivning reverseras om det finns indikation på att nedskrivningsbehovet inte längre föreligger och det har skett en förändring i de antaganden som låg till grund för beräkningen av återvinningsvärdet.

15. AVSÄTTNINGAR

Posten Avsättningar består av resultatförda förväntade negativa utflöden av resurser från koncernen som är ovissa vad gäller förfallotidpunkt eller belopp. Avsättningar redovisas när koncernen till följd av en inträffad händelse har en legal eller informell förpliktelse som det är sannolikt att det kommer att krävas ett utflöde av resurser för att reglera. För att redovisning ska kunna ske måste det vara möjligt att göra en tillförlitlig uppskattning av beloppet. Avsättningen värderas till det belopp som motsvarar den bästa uppskattningen av vad som krävs för att reglera förpliktelsen på balansdagen. Vid värderingen tas hänsyn till den förväntade framtida tidpunkten för reglering.

16. EGET KAPITAL

Eget kapital består av nedanstående komponenter.

Överkursfond

Överkursfonden består av optionskomponenten av emitterade konvertibla skuldebrev och det belopp som vid emission av aktier samt vid konvertering av konvertibla skuldebrev överstiger de emitterade aktiernas kvotvärde.

Säkringsreserv

I säkringsreserven redovisas orealiserade värdeförändringar på derivatinstrument som utgör säkringsinstrument i kassafödessakringar.

Reserv för verkligt värde

Reserven för verkligt värde består av orealiserade värdeförändringar på finansiella tillgångar som klassificerats som tillgängliga för försäljning.

Omräkningsreserv

Omräkningsreserven består av orealiserade valutakurseffekter som uppstår till följd av omräkning av utländska enheter till koncernens rapporteringsvaluta.

Förmånsbestämda pensionsplaner

I posten förmånsbestämda pensionsplaner redovisas aktuella vinster och förluster på pensionsförpliktsen samt avkastning som överstiger den beräknade avkastningen på förvaltningsstillgångarna.

Balanserade vinstmedel

Balanserade vinstmedel består av intjänat resultat från innevarande och tidigare räkenskapsår. Utdelning samt återköp av egna aktier redovisas som avdrag från Balanserade vinstmedel.

Minoritetsintresse

Minoritetsintresse utgörs av den andel av koncernens nettotillgångar som inte direkt eller indirekt ägs av moderföretagets stamaktieägare. Minoritetsintresse redovisas som en separat andel av eget kapital.

Redovisning av egna aktier

Återköpta egna aktier redovisas inte som tillgång utan kvittas mot posten Balanserad vinst i eget kapital.

17. INTÄKTER

Intäkter redovisas i resultaträkningen när det är sannolikt att framtida ekonomiska fördelar kommer att erhållas och dessa fördelar kan beräknas på ett tillförlitligt sätt. Följande generella principer gäller i fråga om tidpunkt för intäktsföring av olika typer av ersättningar:

- Ersättningar som tjänas in successivt genom att tjänster utförs, exempelvis förvaltningsavgifter inom kapitalförvaltningen, intäktsförs i takt med att dessa tjänster levereras. I praktiken sker detta linjärt över tiden.
- Ersättningar hänförliga till en specifik tjänst eller handling intäktsförs när tjänsten utförts. Till dessa intäkter hör courtage och betalningsprovisioner.
- Ersättningar som utgör en del av effektivräntan för ett finansiellt instrument periodiseras i det fall instrumentet värderas till upplupet anskaffningsvärde i enlighet med effektivräntemetoden. För finansiella instrument som värderas till verkligt värde intäktsförs motsvarande ersättningar direkt.

Räntenetto

Ränteläntäkter och räntekostnader redovisas i räntenettet i resultaträkningen, med undantag för ränteflöden som härrör från finansiella instrument som innehåller handelsändamål. I räntenettet redovisas även räntor hänförliga till derivatinstrument som säkrar poster vars ränteflöden redovisas i räntenettet. Utöver ränteläntäkter och räntekostnader ingår i räntenettet avgifter för statliga garantier, exempelvis insättningsgaranti och stabilitetsavgiften.

För att få ett räntenetto rensat från ränteflöden som härrör från finansiella tillgångar och skulder som innehåller för handel och samtidigt åstadkomma en samlad bild av aktiviteten i handelslaget, redovisas ränteläntäkter och räntekostnader hänförliga till finansiella tillgångar och skulder som innehåller för handel i resultatposten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Provisionsnetto

Intäkter och kostnader för olika typer av tjänster redovisas i resultaträkningen som Provisionsintäkter respektive Provisionskostnader. Det innebär bland annat att courtage och olika former av förvaltningsavgifter redovisas som provisioner. Andra typer av intäkter som redovisas som provisioner är betalningsprovisioner och kortavgifter, premier avseende utställda finansiella garantier liksom provisioner i försäkringsverksamheten. Även positiv avkastningsdelning i försäkringsrörelsen redovisas som provision. Räntelånande garantiprovisioner

samt avgifter som utgör integrerade delar av finansiella instrument och därför räknas in i effektivräntan, redovisas inte som provisioner utan ingår i räntenettet.

Nettoresultat av finansiella transaktioner

Posten Nettoresultat av finansiella transaktioner samlar upp all den resultatpåverkan som uppstår vid värdering av finansiella tillgångar och skulder till verkligt värde över resultaträkningen och vid realisation av finansiella tillgångar och skulder. Mera specifikt redovisas här:

- Realisationsresultat från avyttring och reglering av finansiella tillgångar och skulder.
- Orealiserade värdeförändringar på de tillgångar och skulder som vid första redovisningstillfället klassificerats som Tillgångar som värderas till verkligt värde via resultaträkningen, exklusive den del av värdeförändringen som redovisas som ränta.
- Realiserade och orealiserade värdeförändringar på finansiella tillgångar och skulder som har klassificerats som Innehav för handel.
- Räntor hänförliga till finansiella instrument som innehåller för handel, med undantag för sådana räntor som härrör från derivat som säkrar poster vars ränteflöden redovisas i räntenettet.
- Utdelningsintäkter på de finansiella tillgångar som har klassificerats som Innehav för handel.
- Orealiserade förändringar i verkligt värde avseende den säkrade risken i tillgångar och skulder som är säkrade poster i säkringar till verkligt värde, samt periodisering av sådana orealiserade värdeförändringar för säkringar som avbrutits i föränd.
- Orealiserade värdeförändringar på derivat som utgör säkringsinstrument i säkringar till verkligt värde.
- Ineffektiv del av värdeförändringar på säkringsinstrument som utgör säkringsinstrument i kassafödessakringar och säkringar av nettoinvesteringar i utländska verksamheter.
- Negativ avkastningsdelning i försäkringsrörelsen, det vill säga de förluster som uppstår när avkastningen på finansiella tillgångar i försäkringsrörelsen understiger den garanterade skulduppräknigen.

Mottagen utdelning

Utdelningar på aktier som kategoriserats som tillgängliga för försäljning redovisas i resultaträkningen som Övriga utdelningsintäkter. Utdelningar på aktier som kategoriserats som finansiella tillgångar som innehåller för handels-

NOTER | KONCERNEN

ändamål redovisas i resultaträkningen som Nettoresultat av finansiella transaktioner. Utdelningar på aktier i intresseföretag ingår inte i posten utdelningar i resultaträkningen. Redovisning av andelar i intresseföretags resultat beskrivs under punkten 3.

18. ERSÄTTNINGAR TILL ANSTÄLLDA

Personalkostnader

Som Personalkostnader redovisas löner, pensionskostnader och andra former av direkta personalkostnader inklusive sociala kostnader, särskild löneskatt på pensionskostnader och andra former av lönebikostnader. Eventuella ersättningar i samband med avslutad anställning skuldförs vid avtalets ingång och periodiseras över återstående tjänstgöringstid.

Redovisning av pensioner

Ersättningar till anställda efter anställningens upphörande utgörs av dels avgiftsbestämda, dels förmånsbestämda planer. Som avgiftsbestämda planer redovisas sådana planer för ersättningar enligt vilka koncernen betalar fastställda avgifter till en utomstående juridisk enhet och därefter saknar rättslig eller informell förpliktelse att betala ytterligare avgifter om den juridiska enheten saknar tillgångar för att fullgöra sitt åtagande gentemot den anställda. Erlagda premier för avgiftsbestämda planer redovisas löpande i resultaträkningen som personalkostnad.

Övriga planer för ersättning efter avslutad anställning redovisas som förmånsbestämda planer.

Vid förmånsbaserad pensionslösning utgår en pension baserad på lön och anställningstid vilket innebär att arbetsgivaren bär alla väsentliga risker för fullgörandet av pensionsutfästelsen. För majoriteten av de förmånsbaserade pensionsplanerna har koncernen avskilt förvaltningstillgångar i pensionsstiftelser och pensionskassa. Som nettoskuld i balansräkningen avseende de förmånsbaserade pensionsplanerna redovisas förvaltningstillgångarna minskade med pensionsförpliktelserna. Aktuariellavinst och förluster på pensionsförpliktelserna samt avkastning som överstiger den beräknade avkastningen på förvaltningstillgångarna redovisas i övrigt totalresultat.

Den redovisade pensionskostnaden avseende förmånsbestämda planer utgörs av nettot av följande poster, som samtliga ingår i personalkostnader:

- + Intjänad pensionsrätt under året, det vill säga årets andel av den beräknade slutliga totala pensionsutbetalningen. Beräkningen av intjänad pensionsrätt utgår från en beräknad slutlöns och är föremål för aktuariella antaganden.

- + Årets räntekostnad på grund av att nuvärdet av pensionskulden har ökat under året då tiden till utbetalning minskat. För beräkning av årets räntekostnad används aktuell företagsobligationsränta (räntan vid årets början) för en löptid motsvarande återstående tid till utbetalning av pensionskulden.
- Beräknad avkastning (ränta) på förvaltningstillgångarna. Räntan på förvaltningstillgångar redovisas i resultatet med tillämpning av samma ränta som vid fastställande av årets räntekostnad.
- + Beräknade kostnader för särskild löneskatt periodiseras i enlighet med samma principer som tillämpas för den underliggande pensionskostnaden.

Beräkningen av kostnader och åtaganden med anledning av koncernens förmånsbestämda planer är förenad med ett flertal bedömningar och antaganden som kan ha en betydande inverkan på redovisade belopp. En utförligare beskrivning av dessa antaganden och bedömningar lämnas under punkten 20 samt i not K8.

19. SKATTER

Periodens skattekostnad utgörs av aktuell skatt samt uppskjuten skatt. Som aktuell skatt redovisas skatter som hänförs till periodens skattepliktiga resultat. Uppskjuten skatt är skatt som hänförs till temporära skillnader mellan en tillgång eller skulds redovisade värde och dess skattepliktiga värde. Uppskjutna skatter värderas till den skattesats som bedöms vara tillämplig då posten realiseras. Uppskjutna skattefordringar avseende avdragsgilla temporära skillnader och underskottsavdrag redovisas endast i den mån det är sannolikt att dessa kommer att utnyttjas. Uppskjutna skatteskulder värderas till nominellt värde. Skatt redovisas över resultaträkningen, över övrigt totalresultat eller direkt i eget kapital beroende på var den underliggande transaktionen redovisas.

20. UPPSKATTNINGAR OCH VÄSENTLIGA BEDÖMNINGAR

Tillämpningen av koncernens redovisningsprinciper innebär i vissa fall att bedömningar måste göras som får en väsentlig inverkan på redovisade belopp. Redovisade belopp påverkas dessutom i ett antal fall av antaganden om framtiden. Sådana antaganden innebär alltid en risk för en justering av det redovisade värdet för tillgångar och skulder. De bedömningar och antaganden som görs speglar alltid företagsledningens bästa och mest rimliga uppfattning och är kontinuerligt föremål för granskning och validering. Följande bedömningar och antaganden har haft en väsentlig påverkan på de finansiella rapporterna. Uppgifter om väsentliga antaganden lämnas även i respektive not.

Aktuariell beräkning av förmånsbestämda pensionsplaner

Beräkningen av koncernens kostnader och förpliktelser för förmånsbestämda pensioner bygger på ett flertal aktuariella, demografiska och finansiella antaganden som har betydande inverkan på redovisade belopp. En förteckning över de antaganden som använts vid beräkningen av årets avsättning finns i not K8. Beräkningen av pensionsförpliktelserna avseende anställda i Sverige bygger på DUS14 som är på marknaden vedertagna antaganden om livslängd baserade på statistik framtagen av Svensk Försäkring. Antagandena om framtida löneökningar och inflation bygger på den förväntade långsiktiga utvecklingen. Diskonteringsräntan baseras på förstklassiga företagsobligationer. Säkerställda bostadsobligationer anses i detta sammanhang vara företagsobligationer. Löptiden motsvarar återstående tid till utbetalning.

En känslighetsanalys av koncernens pensionsförpliktelse för varje betydande aktuariellt antagande, som visar hur förpliktelser skulle ha påverkats av rimligt möjliga förändringar i dessa antaganden, framgår av not K8.

Bedömning av nedskrivningsbehov på lån och andra fordringar

Värdet på koncernens fordringar provas löpande och individuellt för varje fordran. Vid behov skrivs fordran ned till bedömt återvinningsvärde. Det uppskattade återvinningsvärdet bygger på en bedömning av motpartens finansiella återbetalningsförmåga och antaganden om realisationsvärdet på eventuella säkerheter. Det slutliga utfallet kan komma att avvika från ursprungliga reserveringar för kreditförluster. De bedömningar och antaganden som används är föremål för regelbunden kontroll inom ramen för den interna kreditorganisationen. Se vidare not K2 för en mer utförlig beskrivning av intern riskkontroll och bankens hantering av kreditrisk.

NOTER | KONCERNEN

förluster, bidragit till den starka positionen. Den starka kapital situationen är en bra försäkring i nuvarande bräckliga makroekonomiska situation och ska även ses mot bakgrund av kommande regelverksförändringar. Handelsbanken uppfyller redan samtliga kommande kapitalkrav, även om alla föreslagna kapitalbuffertkrav av myndigheterna sätts på maximal nivå.

Handelsbankens historiskt låga risktolerans, goda kapitalisering och starka likviditetssituation gör banken väl rustad att verka även under de nya striktare regelverken samt under betydligt svårare marknadsförutsättningar än de som varit under de senaste åren. Likviditetssituationen beskrivs närmare nedan under rubriken Finansiering och likviditetsrisk.

Handelsbanken är en fullsortimentsbank och har därmed ett brett utbud av olika bank- och försäkringsprodukter. Därigenom uppkommer en rad olika risker som identifieras, mäts och hanteras på ett systematiskt sätt inom koncernens alla delar.

Handelsbankens riskkontroll

Affärsverksamheten

Bankens helhetssyn på risk- och kapitalhanteringen utgörs av följande delar:

Affärsverksamheten

Banken präglas av en tydlig ansvarsfördelning där varje del av affärsverksamheten bär det fulla ansvaret för sina affärer och för att riskerna hanteras. Den som bäst känner kunden och marknadsförutsättningarna har bäst möjlighet att bedöma risken och kan också på ett tidigt stadium agera om eventuella problem uppkommer. Varje kontor och varje resultatansvarig enhet bär ansvaret för att hantera uppkomna problem. Detta skapar incitament till hög riskmedvetenhet och till försiktighet i affärsverksamheten.

Decentraliserade kreditbeslut förutsätter dock en gemensam kreditprocess som den Centrala kreditavdelningen ansvarar för.

Centrala kreditavdelningen bereder kreditbeslut som fattas av styrelsen eller dess kreditkommitté. Centrala kreditavdelningen säkerställer också att kreditbedömningarna sker på ett enhetligt sätt och att kreditgivningen sker i enlighet med den kreditpolicy styrelsen har beslutat. Vidare bedömer Centrala kreditavdelningen risker i alla större individuella engagemang och agerar stödjande och rådgivande till den övriga kreditorganisationen. För information om bankens hantering av kreditrisker samt en fullständig beskrivning av kreditprocessen se sidan 11, avsnitt Kreditrisk i publikationen Risk och kapitalhantering – Information enligt Pelare 3

Lokal riskkontroll

Lokal riskkontroll

Ansvarstagandet hos den som tar affärsbeslut kompletteras med en lokal kontroll av de finansiella och de operativa riskerna i regionbankerna och inom de olika affärsområdena. I Storbritannien kontrolleras riskerna centralt i landsorganisationen. Den lokala riskkontrollen gör riskbedömningar, kontrollerar bland annat limit och att enskilda affärer utförs på ett sätt som är i linje med bankens risktolerans. Den lokala riskkontrollen ansvarar även för riskanalyser av nya produkter och tjänster och utvärderar verksamhetens arbete med operativa risker. Den lokala riskkontrollen rapporterar till centrala riskkontrollen och till verksamhetens ledning.

Central riskkontroll

Behovet av central uppföljning av risk- och kapital situationen ökar med graden av decentraliserade affärsbeslut. Den Centrala riskkontrollen är således en naturlig och viktig del av bankens affärsmodell.

Centrala riskkontrollen har till uppgift att på aggregerad nivå identifiera, mäta, analysera och rapportera koncernens alla väsentliga risker. Den övervakar också att riskerna och riskhanteringen lever upp till bankens låga risktolerans och att ledningen har tillförlitliga underlag om hur riskerna ska hanteras vid kritiska situationer. Vidare har Centrala riskkontrollen ett funktionellt ansvar för den lokala riskkontrollen i affärsområdena och dotterbolagen, att risker mäts på ett ändamålsenligt och enhetligt sätt i koncernen

Central riskkontroll

och att bankens ledning och styrelse löpande får rapporter och analyser om den aktuella risk situationen.

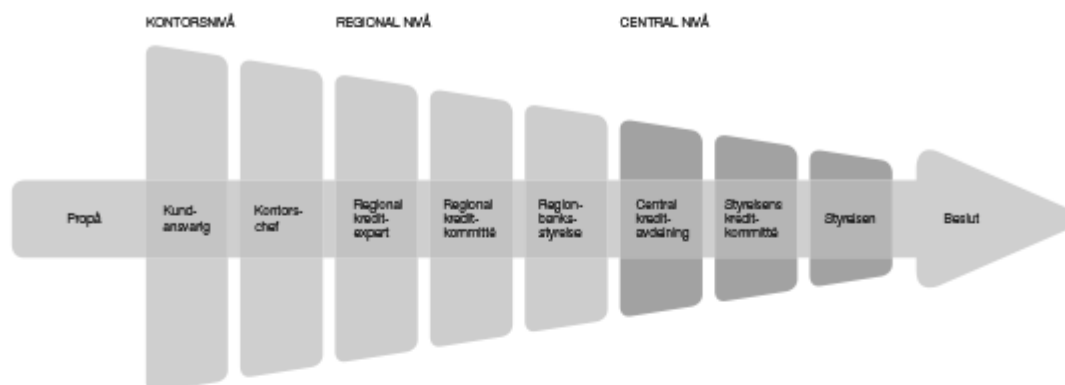
Kapitalplanering

Om Handelsbanken – trots arbetet i de tre tidigare beskrivna delarna – skulle råka ut för allvarliga förluster, håller banken ett kapital som säkerställer bankens fortlevnad såväl under som efter extrema händelser. Det är kapital situationen bedömd enligt det lagliga kapitalkravet som, tillsammans med beräkningen av ekonomiskt kapital och stresstester, utgör grunderna i kapitalplaneringen. Genom stresstester identifieras vilka åtgärder som framtidsblickande behöver förberedas eller genomföras för att kapitaliseringen vid varje tidpunkt ska vara tillfredsställande. Utöver detta granskar såväl compliance, på central-, affärsområdes- och dotterbolagsnivå, som interna och externa revisorer verksamheten.

Att banken sedan länge har en väl fungerande riskhantering och riskkontroll visar sig bland annat i att banken under lång tid haft lägre kreditförluster än konkurrenterna och visat en mycket stabil resultatutveckling.

NOTER | KONCERNEN

Kreditprocessen och beslutandenivåer i Handelsbanken



Fördelning av fattade limitbeslut

Andel av antal limiter	67%	31%	2%
Andel av limitbelopp	7%	23%	70%

KREDITRISK

Kreditrisk definieras som risken att banken drabbas av ekonomisk förlust som följd av att bankens motparter inte kan fullfölja sina kontraktssenliga förpliktelser.

Kreditprocessen i Handelsbanken utgår från övertygelsen att en decentraliserad organisation med lokal närvaro ger hög kvalitet i kreditbesluten. Banken är en relationsbank där kontoren håller löpande kontakt med kunden, vilket ger en djup kunskap om varje enskild kund och en kontinuerligt uppdaterad bild av kundens ekonomiska situation.

I Handelsbankens decentraliserade organisation bär varje kundansvarigt kontor det fulla kreditansvaret. Kund- och kreditansvar ligger på kontorschefen eller de medarbetare på det lokala kontoret som kontorschefen utser. Kontorschefer och de flesta medarbetare på kontor har personliga beslutandelimiter som gör det möjligt för dem att besluta om krediter till de kunder som de ansvarar för.

Vid beslut om större krediter finns även beslutsinstanser på regional och central nivå. Varje högre beslutandenivå tillför ytterligare kreditkompetens. På varje beslutandenivå finns rätt att avstyra krediter inom såväl den egna beslutandenivån som krediter som annars skulle beslutas på högre beslutandenivåer. Samtliga delegater i hela beslutsprocessen, oavsett nivå, måste vara eniga för att ett positivt kreditbeslut ska komma till stånd. Finns minsta

tveksamhet hos någon delegat avslås kreditansökan. De största krediterna beslutas av styrelsens kreditkommitté eller av styrelsen i dess helhet, där ärenden har förberetts av Centrala kreditavdelningen. Utan tillstyrkan av kontorschefen kan dock ingen kreditansökan processas vidare i banken.

Beslutsgången när det gäller krediter illustreras av ovanstående bild. I bilden visas även procentuell andel av antal beslut och beslutade belopp fördelade på olika beslutandenivåer.

I Handelsbankens decentraliserade organisation ingår också att underlaget för kreditbeslut alltid utarbetas av det kreditansvariga kontoret oavsett om det slutgiltiga beslutet fattas på kontoret, på regional nivå, i styrelsens kreditkommitté eller av styrelsen. Underlaget för kreditbeslut innehåller bland annat allmän och ekonomisk information om kredittagaren, en bedömning av dennes återbetalningsförmåga, krediter och kreditvillkor samt värdering av säkerheter. För kredittagare vars sammanlagda krediter överstiger tre miljoner kronor fattas kreditbeslutet i form av kreditlimit.

Vid krediter till privatpersoner mot säkerhet i bostad inträder limitplikten för belopp över sex miljoner kronor. Krediter till bostadsrättsföreningar mot säkerhet i bostadsfastighet blir limitpliktiga för belopp över tolv miljoner kronor.

Beviljade kreditlimiter gäller högst ett år. Vid förlängning av limiter är kravet på beslutsunderlag och beslutsordning desamma som vid en ny kredit.

I Handelsbankens decentraliserade organisation, där en stor andel av kredit- och limitbesluten fattas på de enskilda kontoren, är det viktigt att det finns en väl fungerande eftergranskningsprocess som säkerställer att kreditbeslut håller en hög kvalitet. Kontorschefen kvalitetsgranskar medarbetarnas beslut och regionala kreditavdelningen kvalitetsgranskar beslut fattade av kontorschefer.

Syftet med kvalitetsgranskningen är att säkerställa att bankens kreditpolicy och interna instruktioner efterlevs, att kreditkvaliteten upprätthålls och att kreditbeslut vittnar om gott kreditomdöme och sund affärsmässighet. En motsvarande granskning av kvaliteten sker även av kreditbeslut som fattas av högre beslutandenivåer i banken. Krediter som beviljas av regionala kreditkommittéer och regionbanksstyrelser granskas av Centrala kreditavdelningen, som även bereder och granskar krediter som beslutas av bankens styrelse eller dess kreditkommitté.

Handelsbanken är inte en massmarknadsbank utan är selektiv i kundurvalet, vilket innebär att kunderna ska ha en hög kreditkvalitet. Kvalitetskravet åsidosätts aldrig till förmån för högre kreditvolymer eller för att erhålla högre avkastning. Banken undviker även att delta i finansiering där det förekommer komplicerade kundkonstellationer eller komplexa och svår-förståeliga affärsupplägg.

Det lokala kontorets nära kontakt med kunden innebär också att kontoret snabbt kan identifiera och agera vid eventuella problem. Detta medför att banken i många fall kan agera snabbare än vad som hade varit möjligt vid en mer centraliserad hantering av problemkrediter. Kontoret har också det fulla ekonomiska ansvaret för kreditgivningen. Kontoret hanterar således de problem som uppstår när en kund brister i betalningsförmåga och kontoret bär eventuella kreditförluster. Vid behov får det lokala kontoret stöd från det regionala huvudkontoret och från centrala avdelningar. Bankens arbetssätt leder till att alla som gör affärer förknippade med kreditrisk tillägnar sig ett väl etablerat synsätt för denna typ av risk. Detta synsätt utgör en viktig del av bankens kultur. Beskrivet arbets- och synsätt är viktiga anledningar till att banken över en lång tid redovisat mycket låga kreditförluster.

NOTER | KONCERNEN

observerat LGD med en faktor som beror på PD och produkttyp. För företagsexponeringar inom intermetoden med egna skattningar av LGD och KF nedgångsjusteras LGD så att bankens observerade förluster under krisåren 1991–92 kan förklaras av riskmåttan med god marginal.

När exponeringsbeloppet ska beräknas sker vissa justeringar av den bokförda exponeringen. Exempel på detta är kreditlöften eller revolverande krediter, där banken avtalar med kunden om att denne får låna upp till ett visst belopp i framtiden. Denna typ av åtaganden utgör en kreditrisk som också ska kapitaltäckas. Normalt betyder det att den beviljade krediten justeras med en viss konverteringsfaktor (KF) för den del av krediten som inte är utnyttjad vid rapporterings-tillfället. När det gäller vissa produktklasser för företagsexponeringar och för institutsexponeringar är konverteringsfaktorer bestämda av regelverket, men för hushållsexponeringar och vissa produktklasser för Stora företag, medelstora företag, fastighetsbolag och bostadsrättsföreningar använder banken egenberäknade konverteringsfaktorer. Här styrs konverteringsfaktorn framförallt av vilken produkt som avses, men även utnyttjandegrad kan spela in.

Riskmåttan (PD, exponeringsbelopp, LGD) används förutom vid kapitaltäckningsberäkningen även för beräkning av kostnaden för kapital i varje enskild affär och vid beräkning av ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC).

Detta innebär att det finns marginaler i form av konjunktur- och säkerhetsjusteringar i riskmåttan även i beräkningarna av kostnader för kapital i enskilda affärer och vid beräkning av ekonomiskt kapital, vilket gör att de förlustnivåer som riskmåttan implikerar är konservativa. Den använda metoden medför att bankens historiska förluster får en direkt inverkan på riskberäkningar och kapitalkrav.

För företags-, instituts- och hushållsexponeringar återges i diagrammen här intill hur exponeringen fördelar sig mellan obligationer och andra räntebärande värdepapper respektive lån, derivat och övriga produkter. Övriga produkter är till exempel garantier och kreditlöften. Diagrammen visar hur exponeringsbeloppen, exklusive fallerade krediter, fördelar sig mellan olika PD-intervall inom respektive exponeringsklass. De PD-värden som används är de som tillämpas vid beräkning av kapitalkravet.

SÄKERHETER

När banken bedömer kreditrisken hos en viss kund bedöms i första hand kredittagarens återbetalningsförmåga. Enligt bankens kreditpolicy kan en svag återbetalningsförmåga aldrig kompenseras med att banken erbjuder goda säkerheter. Säkerheter kan dock reducera bankens förlust väsentligt om kredittagaren inte kan fullfölja sina förpliktelser. Krediter ska därför normalt vara betryggande säkerställda.

Kredit utan säkerhet beviljas främst till kunder med mycket god återbetalningsförmåga. Vid kredit utan säkerhet till större företag upprättas särskilda lånevillkor som ger banken rätt till omförhandling eller uppsägning om kredittagarens återbetalningsförmåga skulle försämras eller om villkoren på annat sätt bryts.

Då det som regel blir aktuellt att ta säkerheter i anspråk först sedan kredittagaren drabbats av allvariga betalningsvärigheter inkräts värderingen av säkerheter på det värde säkerheterna förväntas ha vid en snabb försäljning under ogynnsamma omständigheter i samband med en obeståndssituation. För vissa tillgångar kan värdet påverkas avsevärt vid en obeståndssituation och en därigenom framtvingad försäljning.

En stor del av utlåningen till kreditinstitut är omvända repor. En omvänd repa är en återköpstransaktion som innebär att banken repa in (köper) räntebärande värdepapper eller aktier med särskild överenskommelse att värdepappret ska säljas tillbaka till ett visst pris vid en viss tidpunkt. Omvända repor betraktas av banken som säkerställd utlåning.

Under speciella omständigheter kan banken köpa kreditderivat eller finansiella garantier som kreditriskskydd för fordringar. Detta förekommer dock inte inom bankens ordinarie kreditgivning.

Kreditriskexponering on balance, fördelat per säkerhet mkr	2014	2013
Bostadssäkerheter ¹	1 114 011	1 030 392
varav privatpersoner	782 821	726 190
Övriga fastigheter	271 041	245 196
Stat, kommun och landsting ²	603 319	452 502
Borgen ³	18 876	19 338
Finansiella säkerheter	63 493	54 286
Objektsäkerheter	18 256	19 360
Övriga säkerheter	68 138	55 671
Blanko	2 111 790	2 122 851
Summa kreditriskexponering on balance	2 988 024	2 140 506

Utlåning till allmänheten, fördelat per säkerhet mkr	2014	2013
Bostadssäkerheter ¹	1 114 011	1 030 392
varav privatpersoner	782 821	726 190
Övriga fastigheter	271 041	245 196
Stat, kommun och landsting ²	98 076	59 869
Borgen ³	18 305	19 327
Finansiella säkerheter	22 035	13 773
Objektsäkerheter	18 256	19 360
Övriga säkerheter	68 138	55 671
Blanko	197 974	252 751
Utlåning till allmänheten	1 807 838	1 606 390

¹ Inklusive bostadsrättigheter

² Avser direkta statsexponeringar och statsgarantier

³ Inkluderar ej statsgarantier

NOTER | KONCERNEN

KREDITPORTFÖLJEN

Portföljens fördelning

Bankens kreditportfölj presenteras i detta avsnitt med utgångspunkt från sammanställda balansräkningsposter.

Med utgångspunkt från balansräkningen kategoriseras krediter i utlåning till allmänhet

respektive utlåning till kreditinstitut samt off-balanceposter fördelade på produkttyp. I kapitaltäckningssammanhang kategoriseras de i exponeringsklasser som regelverket fastlagt för respektive beräkningsmetod. När begreppet exponering används avses summan av poster i och utanför balansräkningen.

Kreditexponeringar mkr	2014	2013
Utlåning till allmänheten ¹	1 807 836	1 606 339
varav omvända repor	23 858	15 711
Utlåning till övriga kreditinstitut	70 339	62 898
varav omvända repor	42 138	33 874
Öurnyttjad del av beviljade räkningskrediter ²	102 778	99 660
Kreditlöshan	271 001	246 518
Övriga Åtaganden	14 134	9 046
Garantiförbindelser, krediter	10 335	8 371
Garantiförbindelser, övriga	60 033	58 568
Dokumentkrediter	5 369	7 190
Derivatinstrument ³	116 124	69 961
Belåningsbara statskuldforbindelser m m	78 219	57 451
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	63 725	64 125
Summa	2 800 893	2 880 127
Kassa och tillgodo-havanden hos centralbanker	454 532	334 794
Övrig utlåning till centralbanker	51 047	35 160
Summa	3 106 472	2 780 081

¹ Beloppen ingår ej tillgodo-havanden mot centralbanker.

² Av detta belopp består 2 181 mkr (2 589) av utlåning som vid första redovisningstillfället kategoriserats som värdepap till verkligt värde via resultaträkningen.

³ Från och med 2014 ingår inte sådana öurnyttjades räkningskrediter som motparten inte förtogar över vid redovisningstillfället och som därför inte ger upphov till något kapitalkrav. Jämförelseffterna har justerats.

⁴ Avser summa positiva marknadsvärden. Om rättsliga hållbara nettovärden beaktas uppgår exponeringen exklusive potential framtida exponering till 70 478 mkr (25 775).

Geografisk fördelning 2014	Utlåning				Åtaganden utanför balansräkningen							Totalt
	Allmän- heten	Kredit- institut och central- banker	Kassa och tillgodo- havanden hos central- banker	Övrig utlå- ning till central- banker	Derivat- Instrument	Placeringar	Garantier	Kreditlöshet	Öurnyttjad del av beviljade räknings- krediter	Dokument- krediter	Övrigt	
mkr												
Sverige	1 194 402	18 368	253	6 926	115 104	112 376	25 033	124 761	72 334	2 483	14 134	1 686 174
Storbritannien	169 596	575	55 779	342	88	-	5 986	31 077	5 659	48	-	269 150
Danmark	79 030	85	111	28 021	66	5	3 531	28 443	-	220	-	139 512
Finland	115 087	163	60 176	-	103	-	4 912	18 817	6 494	216	-	214 973
Norge	204 067	428	2 353	15 758	-	-	6 748	37 219	15 729	92	-	282 394
Nederländerna	18 504	-	11 971	-	0	-	823	6 536	160	-	-	37 994
Tyskland	5 228	227	87	-	-	-	3 570	3 776	711	53	-	13 652
Polen	2 255	6	35	-	-	-	1 204	1	83	-	-	3 584
USA	2 716	43 323	312 770	-	496	28 570	14 024	14 451	339	1 723	-	418 412
Övriga världen	16 951	7 164	1 997	-	252	993	4 537	5 920	1 269	534	-	39 627
Summa	1 807 836	70 339	454 532	61 047	116 124	141 044	70 368	271 001	102 778	5 369	14 134	3 106 472

Geografisk fördelning 2013	Utlåning				Åtaganden utanför balansräkningen							
	Allmän- heten	Kredit- institut och central- banker	Kassa och tillgodo- havanden hos central- banker	Övrig utlå- ning till central- banker	Derivat- instrument	Placeringar	Garantier	Kreditlöshan	Övernyttjad del av beviljade räknings- krediter	Dokument- krediter	Övrigt	Totalt
mkr												
Sverige	1 153 930	21 598	380	3 028	69 957	98 399	26 896	122 115	69 522	4 294	9 046	1 579 165
Storbritannien	131 424	546	46 581	229	-552	0	5 390	23 474	4 323	77	-	211 492
Danmark	70 725	73	92	21 158	57	5	2 890	26 363	0	256	-	121 619
Finland	100 119	186	38 814	0	70	0	3 791	18 637	5 699	392	-	167 708
Norge	196 596	110	4 275	10 745	0	0	7 299	33 832	15 694	32	-	268 583
Nederländerna	17 869	3	8 564	0	0	0	678	4 192	118	0	-	31 424
Tyskland	4 778	39	243	0	9	0	3 368	2 268	2 630	447	-	13 782
Polen	2 297	74	29	0	0	0	1 043	1	80	0	-	3 524
USA	2 827	33 555	235 114	0	406	21 619	10 726	11 804	479	1 447	-	317 977
Övriga världen	15 774	6 714	702	0	14	1 553	4 858	3 832	1 115	245	-	34 807
Summa	1 606 339	62 898	334 794	35 160	69 961	121 676	66 939	246 518	99 660	7 190	9 046	2 780 081

NOTER | KONCERNEN

Utlåning till allmänheten, fördelat på bransch och motpartslag	2014			2013		
	Utlåning före beaktande av reserveringar	Reserveringar för sannolika kreditförluster	Utlåning efter beaktande av reserveringar	Utlåning före beaktande av reserveringar	Reserveringar för sannolika kreditförluster	Utlåning efter beaktande av reserveringar
<i>mil</i>						
Privatpersoner	852 466	-813	851 653	788 495	-790	787 705
varav hypotekslån	683 997	-30	683 967	642 459	-54	642 405
varav övriga lån säkerställda i bostad	99 063	-701	98 362	77 467	-771	77 350
varav övriga lån privatpersoner	69 412	-682	68 730	68 575	-625	67 950
Bostadsrättsföreningar	153 058	-21	153 037	140 320	-33	140 287
varav hypotekslån	136 748	-9	136 739	128 524	-9	128 515
Fastighetsförvaltning	485 377	-589	484 788	461 726	-394	461 332
Tillverkningsindustri	38 508	-726	37 782	39 051	-517	38 534
Handel	27 736	-343	27 393	31 570	-362	31 208
Hotell- och restaurangverksamhet	8 299	-25	8 274	7 396	-24	7 372
Person- och godstransport till sjöss	12 221	-405	11 816	14 733	-423	14 310
Övrig transport och kommunikation	20 184	-39	20 145	26 972	-80	26 892
Byggnadsverksamhet	15 225	-114	15 111	12 295	-116	12 179
Elektrolik, gas och vatten	24 888	-24	24 864	23 620	-44	23 576
Jordbruk, jakt och skogsbruk	10 703	-16	10 687	8 365	-25	8 340
Övrig serviceverksamhet	20 241	-42	20 199	22 996	-101	22 895
Holding-, investment-, försäkringsbolag, fonder m m	71 945	-187	71 758	73 272	-569	72 703
Stat och kommun	35 627	0	35 627	20 935	0	20 935
Övrig företagsutlåning	35 469	-483	34 986	28 496	-68	28 428
Summa utlåning till allmänheten, före beaktande av gruppvis reservering	1 811 947	-3 827	1 808 120	1 700 242	-3 546	1 696 696
Gruppvisa reserveringar för individuellt värderade fordringar			-284			-357
Summa utlåning till allmänheten	1 811 947		1 807 836	1 700 242		1 696 339

Utlåning till allmänheten efter beaktande av reserveringar – geografisk fördelning per bransch och motpartslag 2014							
	Sverige	Stor- britannien	Danmark	Finland	Norge	Nederlän- derna	Övriga världen
<i>mil</i>							
Privatpersoner	634 587	46 696	43 649	35 258	83 170	4 431	3 862
varav hypotekslån	586 689	0	24 628	22 617	50 027	0	0
varav övriga lån säkerställda i bostad	74 807	37 227	14 409	8 075	17 160	4 108	3 182
varav övriga lån privatpersoner	33 007	9 469	4 612	4 566	15 583	329	680
Bostadsrättsföreningar	124 890	0	539	14 277	13 331	0	0
Fastighetsförvaltning	241 993	101 897	14 318	27 456	79 816	11 423	7 885
Tillverkningsindustri	19 795	2 888	2 079	3 740	3 395	484	5 401
Handel	13 626	3 748	4 336	2 059	2 841	0	773
Hotell- och restaurangverksamhet	2 641	2 922	1 123	359	181	0	1 048
Person- och godstransport till sjöss	3 887	39	1 048	3 072	3 637	0	133
Övrig transport och kommunikation	9 221	773	1 832	3 354	3 645	1 318	2
Byggnadsverksamhet	6 259	2 174	303	1 073	4 974	0	328
Elektrolik, gas och vatten	11 162	271	122	9 108	3 582	0	619
Jordbruk, jakt och skogsbruk	9 083	1 360	106	118	17	0	3
Övrig serviceverksamhet	11 660	4 333	1 528	1 446	1 224	0	8
Holding-, investment-, försäkringsbolag, fonder m m	59 227	1 003	5 286	1 096	1 278	114	3 754
Stat och kommun	23 675	0	2	11 747	203	0	0
Övrig företagsutlåning	22 830	1 542	2 776	952	2 813	736	3 337
Summa utlåning till allmänheten, före beaktande av gruppvis reservering	1 194 836	169 848	79 047	115 125	204 107	18 808	27 183
Gruppvisa reserveringar för individuellt värderade fordringar	-134	-50	-17	-38	-40	-2	-3
Summa utlåning till allmänheten	1 194 402	169 598	79 030	115 087	204 067	18 804	27 180

NOTER | KONCERNEN

Kreditriskkoncentrationer

Handelsbankens kontor är starkt fokuserade på att etablera långsiktiga relationer med kunder som har hög kreditvärdighet. Om ett kontor identifierar en bra kund ska kontoret kunna göra affärer med kunden oavsett om banken som helhet har en stor exponering mot den bransch som kunden representerar. Banken har därmed i sin kreditgivning inte något inbyggt hinder mot att få relativt stora exponeringar i enskilda sektorer. Banken följer och beräknar dock koncentrationer mot olika typer av branscher, geografiska områden eller enskilda större exponeringar. Koncentrationsrisker fångas upp i bankens beräkning av ekonomiskt kapital för kreditrisker och i de stresstester som görs i den interna kapitalutvärderingen. Finansinspektionen beräknar också ett särskilt kapitalkravspåslag i Pelare 2 för koncentrationsrisker i kreditportföljen. Därigenom säkerställs att banken är väl kapitaliserad med hänsyn också till koncentrationer. Om koncentrationsriskerna skulle bedömas vara för stora har banken både möjlighet och förmåga att reducera riskerna genom olika riskreducerande åtgärder.

Handelsbanken har, utöver bolån och utlåning till bostadsrättsföreningar, en betydande utlåning till fastighetsförvaltning (485 miljarder kronor). Med fastighetsförvaltning avses här alla företag som kreditbedöms som "fastighetsbolag". Det är vanligt förekommande att koncerner verksamma i andra branscher har dotterbolag som förvaltar de fastigheter som koncernen bedriver verksamhet i, och även sådana fastighetsbolag anses här tillhöra fastighetsförvaltning. Den underliggande kreditrisken i sådana fall är dock inte enbart fastighetsrelaterad.

En stor del av fastighetsutlåningen sker till statliga fastighetsbolag, kommunala bostadsbolag och annan bostadsrelaterad verksamhet där låntagarna genomgående har starka och stabila kassaflöden och därigenom mycket hög kreditvärdighet. En stor del av utlåningen till fastighetssektorn är således till bolag med mycket låg sannolikhet för fallissemang och med låg belåningsgrad. Bankens exponering mot fastighetssektorn finns specificerade i tabeller nedan.

Andelen exponeringar hänförliga till fastighetsmotparter som har en sämre rating än bankens riskklass 5 (normal risk) är mycket låg.

98 (98) procent av total fastighetsutlåning i Sverige återfinns i riskklass 5 eller bättre. Motsvarande uppgift avseende fastighetsutlåningen i Storbritannien uppgår till 93 (96) procent, Danmark 94 (99) procent, Finland 99 (92) procent, Norge 96 (93) procent och Nederländerna 98 (100) procent. Av de motparter som återfinns i sämre riskklasser än normalt återfinns huvuddelen i riskklasserna 6–7 och endast små volymer i de högre riskklasserna 8–9.

Under de senaste åren har Handelsbanken haft en betydande kredit tillväxt i Storbritannien genom en expansion av kontorsnätet. En relativt stor del av tillväxten har varit i fastighetsrelaterade krediter. Handelsbanken har i sin expansion haft samma strikta krav på återbetalningsförmåga och säkerheternas kvalitet som på övriga hemmamarknader. Resultatet av detta är en hög koncentration av kunder i goda riskklasser och en kreditförlustnivå i linje med övriga hemmamarknader.

Specifikation Utlåning till allmänheten – Fastighetsförvaltning	2014			2013		
	Utlåning före beaktande av reserveringar	Reserveringar för sannolika kreditförluster	Utlåning efter beaktande av reserveringar	Utlåning före beaktande av reserveringar	Reserveringar för sannolika kreditförluster	Utlåning efter beaktande av reserveringar
<i>mkr</i>						
Utlåning i Sverige						
Statligt ägda fastighetsbolag	5 684	-	5 684	7 798	-	7 798
Kommunalt ägda fastighetsbolag	16 926	-	16 926	15 430	-	15 430
Bostadsfastighetsbolag	87 797	-19	87 778	73 571	-15	73 556
varav hypotekslån	70 370	-3	70 367	57 726	-1	57 725
Övrig fastighetsförvaltning	131 710	-105	131 605	151 410	-110	151 300
varav hypotekslån	64 392	-5	64 387	75 989	-3	75 986
Summa utlåning i Sverige	242 117	-124	241 993	248 209	-125	248 084
Utlåning utanför Sverige						
Storbritannien	102 152	-255	101 897	81 129	-69	81 060
Danmark	14 446	-127	14 319	12 108	-117	11 991
Finland	27 483	-28	27 455	23 612	-	23 612
Norge	79 859	-43	79 816	76 457	-60	76 397
Nederländerna ¹	11 423	-	11 423	12 633	-	12 633
Övriga länder	7 897	-12	7 885	7 578	-23	7 555
Summa utlåning utanför Sverige	243 260	-465	242 795	213 517	-269	213 248
Summa utlåning – Fastighetsförvaltning	485 377	-589	484 788	461 726	-394	461 332

Specifikation Utlåning till allmänheten – Fastighetsförvaltning Typ av säkerhet och land	2014					2013				
	Total	Bolag ägda av stat och kommun/ fastighets- utlåning garanterad av stat och kommun	Flerbostads- hus/bostads- fastighet	Kommersiella fastigheter och övriga säkerheter	Blanko	Total	Bolag ägda av stat och kommun/ fastighets- utlåning garanterad av stat och kommun	Flerbostads- hus/bostads- fastighet	Kommersiella fastigheter och övriga säkerheter	Blanko
<i>mkr</i>										
Sverige	242 117	24 669	92 972	111 558	12 918	248 209	24 744	89 037	111 582	22 846
Storbritannien	102 152	0	45 577	53 320	3 255	81 129	0	34 724	41 475	4 930
Danmark	14 446	0	7 113	5 563	1 770	12 108	0	6 290	3 813	2 005
Finland	27 483	9 827	3 502	12 959	795	23 612	8 549	2 974	10 452	1 637
Norge	79 859	0	12 350	56 996	10 513	76 457	964	13 626	52 671	9 196
Nederländerna	11 423	0	4 451	6 943	29	12 633	0	3 682	8 046	905
Övriga länder	7 897	557	579	5 542	1 219	7 578	532	828	5 645	573
Summa	485 377	35 053	166 944	282 981	30 499	461 726	34 789	161 161	233 684	42 062

NOTER | KONCERNEN

Specifikation Utlåning till allmänheten – Fastighetsförvaltning, räkklasse och land 2014
mkr

Rätklass	Sverige	Storbritannien	Danmark	Finland	Norge	Nederlän- derna	Övriga världen	Total	%	Akkumulerat % av total
1	20 614	984	73	3 263	1 390	164	1 047	27 535	5,67	6
2	74 952	22 468	850	10 904	16 038	1 751	3 762	130 725	26,93	33
3	88 932	46 474	7 088	10 274	40 298	8 157	2 523	203 746	41,98	75
4	39 221	18 286	3 738	1 854	14 648	1 059	176	78 982	16,27	91
5	14 602	7 090	1 821	794	4 089	16	308	28 720	5,92	97
6	1 962	3 198	209	236	2 186	26	42	7 859	1,62	98
7	1 130	1 689	166	54	851	250	0	4 140	0,85	99
8	294	569	144	37	116	0	0	1 260	0,26	100
9	111	102	60	7	12	0	0	292	0,06	100
Fallsamang	299	1 192	297	60	231	0	39	2 118	0,44	100
Summa	242 117	102 182	14 446	27 483	79 859	11 423	7 807	485 377	100	

Specifikation Utlåning till allmänheten – Fastighetsförvaltning, räkklasse och land 2013
mkr

Rätklass	Sverige	Storbritannien	Danmark	Finland	Norge	Nederlän- derna	Övriga världen	Total	%	Akkumulerat % av total
1	20 341	746	2	3 143	1 234	62	930	26 458	5,73	6
2	69 224	14 996	440	10 899	13 586	4 474	3 641	117 240	25,39	31
3	91 645	36 764	5 881	7 484	36 291	5 979	2 290	186 334	40,36	71
4	45 804	15 657	2 965	1 341	16 312	1 575	196	83 850	18,17	90
5	15 851	7 461	1 844	487	5 678	487	360	32 198	6,97	97
6	2 492	1 917	225	155	1 762	0	105	6 656	1,44	98
7	1 643	1 855	187	33	1 165	56	0	4 939	1,07	99
8	327	401	163	16	38	0	0	944	0,20	99
9	139	112	33	0	56	0	0	340	0,07	99
Fallsamang	743	1 220	368	54	356	0	25	2 766	0,60	100
Summa	248 209	81 129	12 108	23 612	76 498	12 633	7 677	461 726	100	

Specifikation Utlåning till allmänheten – Fastighetsförvaltning, räkklasse och typ av säkerhet 2014
mkr

		Utlåning		Säkerhet		
Rätklass		Flerbostadshus/ bostadsfastighet	Kommersiell fastighet	Garanti av stat och kommun	Övriga säkerheter	Blanko
1		27 535	15 403	5 616	4 558	1 819
2		130 725	45 759	60 303	10 956	10 512
3		203 746	72 906	109 122	5 210	4 926
4		78 982	26 337	43 371	920	4 588
5		28 720	9 553	14 612	619	2 402
6		7 859	1 807	5 221	12	533
7		4 140	1 022	2 680	0	234
8		1 260	257	672	0	12
9		292	110	138	6	2
Fallsamang		2 118	758	813	0	45
Summa		485 377	173 912	242 648	22 281	16 076

Specifikation Utlåning till allmänheten – Fastighetsförvaltning, räkklasse och typ av säkerhet 2013
mkr

	Utlåning		Säkerhet			
Rätklass		Flerbostadshus/ bostadsfastighet	Kommersiell fastighet	Garanti av stat och kommun	Övriga säkerheter	Blanko
1	26 458	14 253	5 282	4 186	1 186	1 551
2	117 240	41 572	54 975	8 894	977	10 822
3	186 334	63 910	94 792	3 822	6 216	17 594
4	83 850	23 407	46 212	473	5 988	7 680
5	32 198	10 249	14 940	540	3 630	2 639
6	6 656	2 281	3 710	11	332	322
7	4 940	1 683	2 520	9	211	517
8	944	357	366	0	9	212
9	340	182	120	0	3	35
Fallsamang	2 766	1 134	808	8	75	741
Summa	461 726	159 118	223 726	17 943	18 627	42 341

NOTER | KONCERNEN

MOTPARTSRISK

Motpartsrisken uppkommer när banken har ingått derivatkontrakt, till exempel terminar, swappar eller optioner, eller kontrakt för lån av värdepapper med en motpart.

Motpartsrisken är att betrakta som en kreditrisk, där exponeringens storlek styrs av marknadsvärdet på kontraktet. I det fall det finns ett positivt värde på kontraktet betyder ett fall i kurs hos motparten en potentiell förlust för banken, på motsvarande sätt som för en kredit.

Vid beräkningen av såväl kapitalkrav som ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC) beaktas motpartsexponeringarna utifrån de exponeringsbelopp som kapitaltäckningsreglerna ställer upp. Dessa kreditexponeringar behandlas sedan på samma sätt som andra kreditexponeringar.

Kapitaltäckningsreglerna behandlar förutom derivat också repor och aktielån som motpartsrisken. Vid beräkning av EC behandlas dessa transaktionstyper på motsvarande sätt. Banken tillämpar marknadsvärderingsmetoden vid beräkning av exponeringsbeloppet för motpartsrisken för kapitaltäckningsändamål.

Storleken på motpartsexponeringarna begränsas genom kreditlimitering i den ordinarie kreditprocessen. Exponeringarnas storlek kan variera kraftigt med anledning av prisförändringar på den underliggande tillgången. För att beakta risken att exponeringen kan öka, görs vid kreditlimiteringen tillägg till värdet på den aktuella exponeringen. Tilläggen beräknas med schabloner som beror av typen av kontrakt och kontraktets löptid. Exponeringarna beräknas och följs upp dagligen. Motpartsrisken i derivat reduceras genom avtal om så kallad netting, det vill säga kvittning av positiva och negativa värden i alla derivattransaktioner med en och samma motpart. Banken har som policy att

eftersträva nettningsavtal med alla motparter. Nettningsavtalen kompletteras med avtal om ställande av säkerheter för nettoexponeringen, vilket ytterligare reducerar kreditrisken. Inga transaktioner med väsentlig specifik korrelationsrisk har identifierats.

I huvudsak används kontanter som säkerhet för dessa transaktioner, men även statspapper förekommer. Till följd av den höga andelen kontanter är koncentrationsriskerna i säkerhetsmassan begränsade. I ett likt fåtal av de avtal om säkerställande som banken har ingått, förekommer villkor om ratingbaserade tröskelbelopp för Handelsbanken. Villkoren innebär att banken måste ställa ytterligare säkerheter till den aktuella motparten i händelse av att bankens externa rating försämras. Vid årsräkningen skulle en nedgradering från AA-/Aa3 till A+/A1 medföra att banken måste ställa ytterligare säkerheter om 76 miljoner kronor (30).

Banken innehar en portfölj av kreditderivat (Credit Default Swaps, CDS) vilken är handelslagerklassificerad. Värdet av köpt skydd uppgår till 521 miljoner kronor (783) och värdet av sålt skydd uppgår till 474 miljoner kronor (757).

Nya kapitalkrav har applicerats på motpartsriskeexponeringar från och med 1 januari 2014 genom införandet av CRR. Ett av de nya kapitalkraven baseras på risken för värdeförändring beroende på motpartens kreditkvalitet (Credit Valuation Adjustment, CVA) i motpartsriskeexponeringarna. Införandet av CVA-risk under 2014 har resulterat i tillkommande kapitalkrav på 534 miljoner kronor. Ett annat nytt kapitalkrav har införts för derivat som clearas via så kallade centrala motparter. Centrala motparter är clearinghus som går in som motpart till både köpare och säljare i olika transaktioner och som därmed övertar ansvaret för att följa parternas förpliktelser. Alla som använder en central motpart

måste lämna säkerheter för alla transaktioner. Förutom säkerheterna har den centrala motparten också tillgång till andra finansiella resurser, dels egna, dels bidrag från sina medlemmar. I de flesta fall är riskkvoten för centralt clearade derivat betydligt lägre än för andra typer av derivat.

Betalningsrisken uppkommer vid transaktioner där banken har fullgjort sina åtaganden i form av valutaväxling, betalning eller leverans av värdepapper och samtidigt inte kan säkerställa att motparten fullgjort sina åtaganden mot banken. Riskbeloppet är lika med beloppet för betalningstransaktionen. Betalningsriskerna ingår inte i respektive kunds kreditlimit utan de omfattas istället av en separat limit. I banken limiteras värdeförändringsrisk vid avlastaffärer som betalningsrisk medan värdeförändringsriskar i derivattransaktioner limiteras som kreditrisk.

Att begränsa betalningsrisken ingår som en väsentlig del i Handelsbankens kontinuerliga strävan att begränsa risker. Detta innebär bland annat utveckling av tekniska lösningar som minskar tidsperioden där betalningsrisk förekommer. Handelsbanken samarbetar i denna strävan med olika bankgemensamma clearinginstitut. Banken har även etablerat samarbete med de banker som bedöms vara starkast och mest kreditvärda.

Handelsbanken deltar även i clearingsarbeten som till exempel CLS (Continuous Linked Settlement) för valutahandeln. CLS, som är en global organisation, syftar till att säkerställa utveckling av valutaväxlingsaffärer genom att begränsa motpartsrisken. Handelsbanken är delägare tillsammans med ett 60-tal av de största internationella valutabankerna. Handelsbanken är även delägare och direktmedlem i EBA (Euro Banking Association) och dess betalningssystem för eurobetalningar.

Motpartsrisken i derivatkontrakt exklusive schablonillägg för potentiell framtida exponering	2014	2013
Positiv brutomarknadsvärde för derivatkontrakt	128 764	72 844 ¹
Nettingavvinst	58 286	47 069
Aktuell kvittad exponering	70 478	25 775
Säkerheter	38 191	15 405
Nettokreditexponering för derivat	32 287	10 370

¹ Brutomarknadsvärdet anges för konsoliderad situation, exklusive clearade derivat vilka inte ska kapitaltäckas 2013.

Motpartsrisken i derivatkontrakt inklusive potentiell framtida exponering 2014	Aktuell kvittad exponering	Potentiell framtida exponering	Total kredit-exponering/exponeringsvärde för derivat/EAD	Risikvägt belopp	Kapitalkrav
Statsexponeringar	7 766	1 824	9 590	19	2
Instituts exponeringar	41 726	21 611	63 338	9 683	775
Företags exponeringar	20 799	7 107	27 905	7 215	577
Övriga	187	302	489	153	12
Summa	70 478	30 844	101 322	17 070	1 366
varav varksamhet i handelslagret	34 439	15 985	50 425	9 195	736

Motpartsrisken i derivatkontrakt inklusive potentiell framtida exponering 2013	Aktuell kvittad exponering	Potentiell framtida exponering	Total kredit-exponering/exponeringsvärde för derivat/EAD	Risikvägt belopp	Kapitalkrav
Statsexponeringar	1 249	1 174	2 423	14	1
Instituts exponeringar	14 174	20 440	34 613	6 082	487
Företags exponeringar	10 321	4 247	14 568	4 392	351
Övriga	31	36	67	48	4
Summa	25 776	25 897	51 671	10 536	843

MARKNADSRISK

Marknadsriskerna härrör från pris- och volatilitetsförändringar på de finansiella marknaderna. Marknadsriskerna delas in i ränterisker, aktiekursrisker, valuta-kursrisker och råvaruprisrisker.

Handelsbanken har en restriktiv syn på marknadsrisker. Marknadsriskerna i Handelsbanken har från låga nivåer minskats ytterligare under de senaste åren och är i dag mycket låga. Detta arbete har pågått under en längre tid och påbörjades innan finanskrisen utbröt och långt innan regelverket började tillmäta marknadsrisker den betydelse som görs i dag. En konsekvens av detta är att en betydligt mindre andel av resultatet kommer från nettoresultat av finansiella transaktioner.

I en fullsortimentsbank som Handelsbanken uppstår marknadsrisker till följd av att bankens kunder efterfrågar tjänster som kräver att banken har en flexibel finansiering. Vidare kan banken finansiera sig på andra marknader än där den har sin utlåning i syfte att diversifiera finansieringskällorna. Finansieringen kan också ha en annan löptid än de tillgångar som ska finansieras. Dessutom förvaltar Centrala finansavdelningen en likviditetsportfölj som med kort

varsel kan omsättas till likviditet i samband med eventuella störningar på de marknader där banken bedriver sin verksamhet. Portföljen säkerställer också koncernens betalningar i den dagliga clearingverksamheten och är en del av bankens likviditetsreserv.

Marknadsrisker uppstår också för att möta kunders efterfrågan på finansiella instrument med exponering mot ränta-, valuta-, aktie- eller råvarumarknaderna. För att möta denna efterfrågan kan det krävas att banken håller ett visst lager. Denna situation uppstår exempelvis när banken har åtagit sig att ställa priser, så kallad market makerfunktion. Slutligen har banken betydande affärsflöden, vilket innebär att det är rationellt för banken att utnyttja möjliga skalfördelar.

Bankens limitssystem begränsar hur stor exponeringen mot marknadsrisker får vara. Mätmetoder och limiters fastställs av styrelsen. Limiterna för ränta-, valuta- och likviditetsrisk fördelas av VD och CFO till chefen för Centrala finansavdelningen som i sin tur fördelar dessa på de affärsdrivande enheterna. Chefen för Centrala finansavdelningen har under CFO det operationella ansvaret för hanteringen av ränta-, valuta- och likviditetsrisker.

VD och CFO beslutar även om kompletterande riskmått, limiters och närmare riktlinjer. De kompletterande limitmåten syftar till att minska bankens totala känslighet för volatilitetsförändringar på de finansiella marknaderna, begränsa riskerna i specifika innehav och likviditetsrisken per valuta. Vidare begränsar de kompletterande limitmåten riskerna ur

ett löptidsperspektiv. Marknadsriskerna och utnyttjande av limiters rapporteras löpande till CFO, VD och styrelsen.

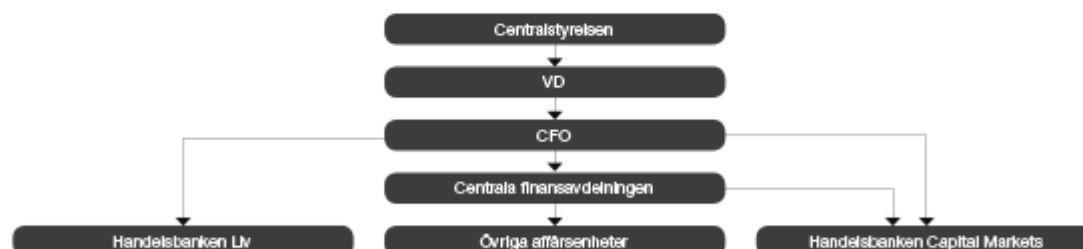
Affärsverksamhetens marknadsrisker uppstår och hanteras huvudsakligen på Centrala finansavdelningen, i Handelsbanken Capital Markets och i Handelsbanken Liv. Marknadsriskerna i Handelsbanken Liv behandlas i ett särskilt avsnitt. De uppgifter som lämnas i detta avsnitt avser således riskerna exklusive Handelsbanken Liv.

Riskmätning

Marknadsrisken mäts med flera olika metoder. Olika känslighetsmått används som visar vilka värdeförändringar som uppstår av förändringar i priser och volatiliteter. Vidare används positionerelaterade riskmått och sannolikhetsbaserade Value at Risk-modeller (VaR). VaR uttrycker i kronor de förluster som kan uppstå i riskpositioner på grund av rörelser i underliggande marknader över en specificerad innehavsperiod och en given konfidenznivå.

VaR-metoden medför att olika riskslag kan behandlas på ett enhetligt sätt, vilket möjliggör en jämförelse mellan riskslag och att dessa kan aggregeras till en total marknadsrisk. Handelsbanken har dock varit, och kommer även fortsättningsvis att vara, mycket restriktiv med att basera limitssystemet på VaR-riskmått, då VaR per definition stipulerar en given förlustnivå. Risken är då att denna förlustnivå blir accepterad som en norm i verksamheten.

Beslutandenivåer för marknads- och likviditetsrisker



NOTER | KONCERNEN

VaR för handelslagret – Handelsbanken Capital Markets och Centrala finansavdelningen

mkr	Totalt		Aktier		Räntor		Valuta		Räntor	
	2014	2013	2014	2013	2014	2013	2014	2013	2014	2013
Gensnitt	14	18	1	3	14	18	2	2	1	1
Maximum	24	42	3	6	24	40	6	5	3	4
Minimum	8	9	1	1	9	9	0	0	0	0
Årsskifte	12	14	1	1	13	14	4	1	1	2

Risken i Handelsbanken mätt som VaR

För de handelslagerklassificerade portföljerna i Handelsbanken Capital Markets och Centrala finansavdelningen beräknas VaR för de enskilda risklagen och på portföljnivå med 99 procents konfidenznivå och en innehavsperiod på en dag.

Eftersom VaR bygger på modellantaganden verifieras fortlöpande modellens aktualitet. Av den anledningen utvärderas VaR regelbundet med så kallad backtestning. Resultatet rapporteras kvartalsvis till CFO, VD och styrelsen. I sådana tester kontrolleras antalet dagar då

förlusten översteg det beräknade VaR-måttet. Backtestningen utförs både på verkligt resultat och på hypotetiskt resultat. Det sistnämnda mäter utfallet om portföljen hade varit oförändrad under innehavsperioden.

En VaR-modell med 99 procents konfidenznivå implicerar att resultatet i genomsnitt förväntas vara sämre än uppmätt VaR vid ett till fyra tillfällen per år. I det fall observerat antal tillfällen överstiger de förväntade, finns risk för att modellen underskattar den verkliga risken. Under 2014 var det hypotetiska resultatet sämre

än VaR vid fyra tillfällen. Detta är en acceptabel avvikelse från förväntan, och i linje med vad en VaR-modell med 99 procents konfidenznivå implicerar.

VaR-modeller fångar inte alltid in risker vid extrema marknaderörelser. Beräkningarna kompletteras därför med regelbundna stresstester där portföljerna testas mot scenarier som grunder sig på alla händelser på de finansiella marknaderna sedan 1994. Även resultaten av dessa stresstester redovisas löpande till CFO, VD och styrelsen.

VaR och hypotetiskt resultat för handelslagret 2014, Handelsbanken Capital Markets och Centrala finansavdelningen



Värsta utfall i stresstest av handelslagret – Handelsbanken Capital Markets och Centrala finansavdelningen

mkr	2014	2013
Gensnitt	27	26
Maximum	46	69
Minimum	13	12
Årsskifte	37	28

RÄNTERISK

Ränterisken uppstår främst inom Handelsbanken Capital Markets, Centrala finansavdelningen och i utlåningsverksamheten. Ränterisken mäts på olika sätt inom banken. Generell ränterisk mäts och limiteras som summan av de minst gynnsamma förändringarna i verkligt värde per valuta vid kraftiga momentana parallellt upptät eller nedtät på en procentenhet för samtliga räntor. Vid årsskiftet uppgick bankens totala generella ränterisk till 1 431 miljoner kronor (861). Inlåning som saknar fastställd räntebindningstid antas i beräkningen av generell ränterisk ha en räntebindningstid på 1 dag. Om räntebindningstiden för denna inlåning istället antas vara 1 månad uppgår den generella risken till 908 miljoner kronor (446). Detta riskmått omfattar såväl marknadsvärderade som icke-

marknadsvärderade räntebärande poster och är därför inte lämpligt för att bedöma effekter på balans- och resultaträkningen.

Specifik ränterisk mäts och limiteras med känsligheten för förändringar i kreditsspreadar. Denna risk uppkommer främst inom Handelsbanken Capital Markets och i Centrala finansavdelningens likviditetsportfölj. Risken mäts och limiteras utifrån olika ratingkategorier och beräknas som marknadsvärdet förändring för sämsta utfall vid +/- en baspunkts parallellförändring av kreditsspreadarna, det vill säga skillnaden mellan det aktuella innehavets ränta och räntan på en statsobligation med motsvarande löptid. Detta görs för varje enskild motpart och utfallen absolutsummeras. Total specifik ränterisk uppgick vid årsskiftet till 9 miljoner kronor (7).

Ränterisk i handelslagret

Handelslagret i Handelsbanken utgörs av Capital Markets och Centrala finansavdelningens handelslagerklassade portföljer. Den generella ränterisken i handelslagret uppgick till 117 miljoner kronor (34) och den specifika ränterisken uppgick till 7 miljoner kronor (7). För handelslagret mäts risken även med VaR och andra riskmått som kompletteras med olika stressscenarier. De så kallade kurvvrideringsriskerna, som mäts och följs upp löpande, visar hur riskerna utvecklas vid hypotetiska förändringar av olika avkastningskurvor. Den icke-linjära ränterisken, exempelvis en del av risken i ränteoptioner, mäts och limiteras med fördelade stressscenarier som uttrycks i matriser. Det innebär att risken mäts som förändringar i underliggande marknadsräntor och volatiliteter.

NOTER | KONCERNEN

Generell ränterisk i övrig verksamhet (förändring i verkligt värde vid sålmeta utfallet av parallellt köpt av samtliga räntor med en procentenhet)		
mkr	2014	2013
SEK	764	367
DKK	206	118
EUR	103	34
NOK	101	133
USD	91	114
GBP	60	54
Övriga valutor	17	11
Summa	1 342	831

Ränterisk i övrig verksamhet

I utlåningsverksamheten uppstår ränterisken som ett resultat av att utlåningen delvis köper med längre räntebindningstid än finansieringen. Vid obligationsfinansiering kan också det omvända gälla, det vill säga att räntebindningstiden på obligationerna är längre än räntebindningstiden på den utlåning som obligationerna finansierar. Ränterisk hanteras till stor del genom ränteswappar. Generellt gäller att ränterisken i allt väsentligt tas i marknader som kännetecknas av god likviditet. Den

generella ränterisken i övrig verksamhet mätt enligt ovan uppgick till 1 342 miljoner kronor (831) och den specifika ränterisken uppgick till 2 miljoner kronor (1).

För att uppskatta effekten av ränteförändringar på resultaträkningen mäts även räntenettoeffekten. Räntenettoeffekten vid ränteförändringar mäts som förändringen av räntenettet över en tolv månaders period vid en generell ökning av marknadsräntorna med en procentenhet. Denna effekt speglar de skillnader som finns i räntebindningstider och volymsammansättning

mellan tillgångar, skulder och derivat utanför handelslagret med antagandet att balansräkningens storlek är konstant. I beräkningen antas att inlåning som saknar fastställd räntebindningstid har en räntebindningstid på 1 månad. Räntenettoeffekten uppgick vid årsskiftet till 788 miljoner kronor (545).

Räntebindningstider för tillgångar och skulder 2014 mkr	Upp till 3 månader	3-6 mån	6-12 mån	1-5 år	Över 5 år	Totalt
Tillgångar						
Utlåning	1 261 702	85 192	94 117	338 804	28 020	1 807 835
Bankar och andra finansinstitut	480 157	1 643	194	169	77	482 240
Obligationer med mera	40 030	4 730	15 057	45 553	17 189	122 558
Summa tillgångar	1 781 888	91 565	109 368	384 526	45 286	2 412 643
Skulder						
Inlåning	980 659	31 768	7 292	1 543	1 007	1 022 259
Bankar och andra finansinstitut	185 229	8 208	696	474	5 468	200 075
Emitterade värdepapper	287 955	94 458	153 569	605 712	101 208	1 242 902
Övriga skulder	-	-	-	-	-	-
Summa skulder	1 453 843	134 434	161 557	607 729	107 683	2 465 246
Poster utanför balansräkningen	-124 028	-12 929	-22 541	138 925	36 792	16 219
Skilnad mellan tillgångar och skulder inklusive poster utanför balansräkningen	204 027	-55 798	-74 730	-84 278	-25 605	-36 384

Tabellen visar räntebindningstiden för ränterästerade tillgångar och skulder per 2014-12-31, rapporterade per affärsdag. Icke ränterästerade tillgångar och skulder har exkluderats.

Räntebindningstider för tillgångar och skulder 2013 mkr	Upp till 3 månader	3-6 mån	6-12 mån	1-5 år	Över 5 år	Totalt
Tillgångar						
Utlåning	1 183 993	79 945	88 320	317 937	26 294	1 696 489
Bankar och andra finansinstitut	431 284	1 351	130	87	0	432 852
Obligationer med mera	90 549	11 182	1 218	42 861	7 508	93 318
Summa tillgångar	1 645 826	92 478	89 668	360 885	33 802	2 222 659
Skulder						
Inlåning	804 844	3 499	2 074	2 277	1 624	814 318
Bankar och andra finansinstitut	167 610	6 943	489	125	5 019	180 186
Emitterade värdepapper	369 497	169 073	24 758	501 699	101 579	1 166 606
Övriga skulder	-	-	-	-	-	-
Summa skulder	1 341 951	179 515	27 321	504 101	108 222	2 161 110
Poster utanför balansräkningen	-209 184	-14 766	5 014	160 395	49 191	-350
Skilnad mellan tillgångar och skulder inklusive poster utanför balansräkningen	103 691	-101 803	67 361	17 179	-25 229	61 199

Tabellen visar räntebindningstiden för ränterästerade tillgångar och skulder per 2013-12-31, rapporterade per affärsdag. Icke ränterästerade tillgångar och skulder har exkluderats.

NOTER | KONCERNEN

AKTIEKURSRIISK

Bankens aktiekursrisk uppstår främst i Handelsbanken Capital Markets genom kundhandel och i bankens egna aktieinnehav.

Tabellen aktiekursrisk visar risken i bankens totala aktiepositioner vid hypotetiska förändringar i underliggande priser och volatiliteter vid årsskiftet.

Aktiekursrisk i handelslagret

Aktiekursrisken i Handelsbanken Capital Markets uppkommer vid kundgenererade aktierelaterade affärer. Vidare är Handelsbanken Capital Markets market maker för strukturerade produkter, vilket ger upphov till aktiekursrisk, såväl linjär som icke-linjär. Den icke-linjära aktiekursrisken uppkommer via inslag av optioner som finns i de strukturerade produkterna.

Omfattningen av det egna positionstagnatet, som uppkommer för att lösa kundernas behov, begränsas av de limiter som bankens styrelse, VD och CFO har beslutat. Banken limiterar och mäter aktiekursrisken i Handelsbanken Capital Markets med matrisar. Fördelen med metoden är att den fångar upp aktiekursrisken inklusive den icke-linjära risken på ett ändamålsenligt sätt. VaR, såväl som andra riskmått och stressscenarier, används som ett komplement i mätningen av aktiekursrisken. De kompletterande riskmåten innefattar utdelningsrisk, eventrisk och känslighet för generella volatilitetsförändringar på aktiemarknaden.

Aktiekursrisk utanför handelslagret

Den övervägande delen av koncernens aktieinnehav, 88 procent, utgörs av aktier noterade på en aktiv marknad som värderas till marknadspris. Innehav i onoterade aktier består i huvudsak av olika typer av gemensamägd verksamhet med anknytning till bankens affär. Sådana innehav värderas som regel till bankens andel av subetansvärdet i bolaget, alternativt till det pris den senaste transaktionen genomfördes till. Aktieexponeringar utanför handelslagret är klassificerade som tillgängliga för försäljning, vilka redovisas till verkligt värde i balansräkningen.

VALUTAKURSRIISK

Banken har hemmamarknader utanför Sverige och dessutom verksamhet i ett antal andra länder. Därigenom uppkommer en indirekt

valutaexponering av strukturell natur då koncernens räkenskaper är uttryckta i svenska kronor. Den strukturella risken minimeras genom att tillgångar och skulder i möjligaste mån matchas i samma valuta. De valutakursförändringar som påverkar bankens egna kapital framgår av tabellen på sidan 70 i årsredovisningen: Förändringar i eget kapital, koncernen.

Bankens direkta valutaexponering uppstår till följd av kunddriven intradaghandel på de internationella valutamarknaderna. Handeln bedrivs inom Handelsbanken Capital Markets. För valutakursrisken har styrelsen, VD och CFO fastställt VaR-limter. Vid årsskiftet uppgick VaR till 3 miljoner kronor (0,4).

En viss valutaexponering uppstår även i den vanliga bankverksamheten som ett led i hantering av kundföden och inom finansieringsverksamheten på Centrala finansavdelningen. För dessa har styrelsen, VD och CFO allokera postionslimiter. Vid årsskiftet uppgick den aggregerade nettopositionen till 355 miljoner kronor (186). Valutakursrisken i banken är inte

beroende av trendutvecklingen av en enskild valuta eller grupp av valutor, då positionerna är mycket korta och uppkommer i hanteringen av kunddrivna föden. Den samlade valutakursrisken var -6 miljoner kronor (5), mätt som en påverkan på bankens resultat vid en momentan förändring av den svenska kronan med 5 procent.

RÅVARUPRISRIISK

Exponering i råvarurelaterade instrument uppkommer endast till följd av kunddriven handel på de internationella råvarumarknaderna och begränsas av limiter beslutade av styrelsen, VD och CFO. Handeln med råvaror bedrivs uteslutande inom Handelsbanken Capital Markets. Råvaruprisrisk, såväl linjär som icke-linjär, mäts som absolutsumman av risken för alla råvaror där banken har exponering. Råvaruprisrisken var vid årsskiftet 6 miljoner kronor (24), mätt som den maximala förlusten vid prisförändringar upp till 20 procent i underliggande råvaror och volatilitetsförändringar upp till 35 procent.

Valutakänslighet (värsta utfall +/- 5% förändring av SEK mot respektive valuta)		
mkr	2014	2013
EUR	-14	10
NOK	-2	-2
DKK	-1	-2
USD	1	-10
GBP	0	-5
Övriga valutor	-10	-10

Aktieexponeringar utanför handelslagret		
mkr	2014	2013
Innehav klassificerade som tillgängliga för försäljning	8 367	5 725
varav noterade	6 753	4 369
varav icke noterade	1 614	1 356
Innehav klassificerade som tillgängliga för försäljning	8 367	5 725
varav näringsbetingade	6 198	768
varav övrigt innehav	2 169	4 957
Verkligt värdesreserv vid årets ingång	1 217	796
Omräknerad marknadsvärdeförändring under året för kvarvarande samt nya innehav	237	420
Realiserat till följd av försäljningar och avvecklingar under perioden	6	1
Verkligt värdesreserv vid årets utgång	1 460	1 217
Inbegripet i supplementärt kapital	0	1 216

Aktiekursrisk mkr	Förändring i volatilitet					
	2014			2013		
	-25%	0%	25%	-25%	0%	25%
Förändring i aktiepris						
10%	833	833	834	581	581	581
-10%	-825	-822	-820	-577	-570	-565

FINANSIERING OCH LIKVIDITETSRISK

Likviditetsrisk är risken för att banken inte kan fullgöra sina betalningsförpliktelser när dessa förfaller, utan att drabbas av oacceptabla kostnader eller förluster.

Genom uppbyggnad av likviditetsreserver och matchning av kassaföden har banken sedan lång tid arbetat med att begränsa likviditetsriskerna. Detta är ett naturligt resultat av bankens låga risktolerans och arbetet påbörjades innan de nya likviditetsregelverken utformades. Handelsbanken är den enda svenska bank som genom hela den senaste finanskrisen, liksom vid krisen i början av 1990-talet, klarat sin finansiering helt på egen hand, utan stöd från vare sig centralbank eller myndigheter.

Finansieringsstrategi

Handelsbanken har låg tolerans för likviditetsrisker och arbetar aktivt för att minimera dem både totalt sett och i alla valutor var för sig. Ambitionen är att på så sätt ha god tillgång till likviditet, låg resultatvariation och stor kapacitet att även i svåra tider kunna tillgodose kundernas finansieringsbehov. Det sker genom att upprätthålla god matchning av ingående och utgående kassaföden över tid i alla för banken väsentliga valutor och genom att upprätthålla stora likviditetsreserver av god kvalitet.

Vidare eftersträvas en bredd i finansieringsprogrammen och deras användning så att ingen

typ av investerare fördelas framför någon annan. Därigenom säkerställs att banken kan bedriva sin kärnverksamhet inakt under en mycket lång period även om de finansiella marknaderna skulle ha omfattande störningar.

Utgångspunkten i detta arbete är en väl matchad balansräkning där likvida tillgångar finansieras med stabil finansiering. De likvida tillgångarna är krediter till hushåll och företag. Dessa krediter utgör bankens kärnverksamhet. Den långsiktiga stabila finansieringen av dessa tillgångar utgörs av säkerställda obligationer emitterade i Stadshypotek, seniora obligationer emitterade av Handelsbanken, inlåning från hushåll och företag, efterställda skulder och eget kapital. En del av kärnverksamheten utgörs av utlåning till hushåll och företag på kortare löptider och på skuldsidan är en del av inlåningen för dessa kunder av mer kortfristig natur.

Det centrala är således att likvida tillgångar inte finansieras med kortfristiga skulder. Resterande delar av balansräkningen utgörs av likvida tillgångar och skulder av mer kortfristig natur.

Den kortfristiga marknadsupplåningen och inlåning från finansiella institut finansierar likvida tillgångar och tillgångar med kortare löptid. Vidare uppstår mer kortfristiga tillgångar och skuldervia transaktioner som stödjer kunddrivna affärer, exempelvis derivataffärer och repotransaktioner med andra banker.

En balansräkning är en ögonblicksbild av tillgångar och skulder. För att säkerställa bankens åtaganden gentemot kunder och investerare är det viktigt med ett framåtblickande perspektiv i finansierings- och likviditetsriskhanteringen. Balansräkningen är därför strukturerad så att den reala ekonomins aktörer i form av företag och hushåll och deras behov av krediter kan understödjas även under en långvarig stress på de finansiella marknaderna. De kortfristiga skulderna

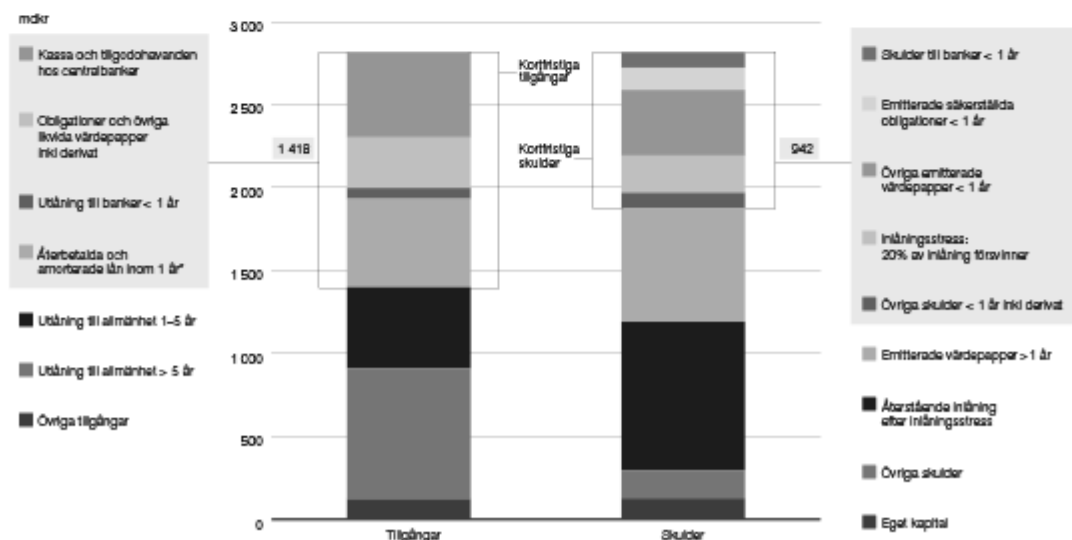
täcks med god marginal av de kortfristiga tillgångarna. I diagrammet på föregående sida beskrivs balansräkningen i ett stressat scenario där 20 procent av inlåningen antas försvinna inom ett år och all tillgång till ny marknadsfinansiering försvinner. Trots stressen beräknas korta tillgångar vid årets slut överstiga korta skulder med 476 miljarder kronor. Effekten av en långvarig kris skulle bli en krympt balansräkning med bibehållen kärnverksamhet där volymen korta tillgångar successivt används för att återbetala förfallande korta skulder. Skulle en kris bli än mer långvarig finns det likviditetsskapande åtgärder förberedda för att stödja verksamheten ytterligare.

En balansräkning som vid varje tidpunkt är strukturerad på detta sätt, på marknadsmässiga villkor, är Handelsbankens sätt att ta sitt ansvar i egenskap av systemriskig bank i det svenska finansiella systemet.

Handelsbankens förtroende på marknaden är högt och marknaden bedömer att Handelsbankens kreditrisk är mycket låg. Detta illustreras bland annat av att kostnaden för att försäkra en kreditrisk på banken, den så kallade CDS-spreaden, är en av de absolut lägsta bland europeiska banker, och Handelsbanken har lägst finansieringskostnad bland alla jämförbara konkurrenter.

Ett viktigt inslag i finansieringsstrategin är att ha en god spridning mellan olika typer av finansieringskällor i olika marknader, valutor och typer av upplåningsinstrument. På så vis reduceras betydelsen av enskilda marknader eller finansieringskällor. Banken har under senare år väsentligt breddat sin långfristiga utlandsfinansiering och har emitterat betydande volymer av obligationer i bland annat Storbritannien, USA, Asien och Australien samt på euromarknaden. De viktigaste finansieringskällorna är inlåning från hushåll och företag samt säkerställda och seniora obligationer. Den korta finansieringen utgörs

Balansräkningens sammansättning ur ett löptidsperspektiv, 31 december 2014



* Enligt amorteringsplaner, kontraktuella förfall och ytterligare återbetalningar av lån enligt prognos.

NOTER | KONCERNEN

primärt av inlåning från finansiella företag och institutioner samt emissioner av certifikat och inlåningsbevis (CD). Centrala finansavdelningen förfogar över ett antal olika finansieringsprogram för marknadsfinansiering, som utöver de program som redovisas i tabellen Upplåningsprogram/ramar, innefattar säkerställda obligationer i svenska kronor. Under dessa program emitteras obligationer och certifikat i såväl bankens som i Stadshypoteks namn. Finansieringsprogrammen säkerställer en väl diversifierad tillgång till finansiering med avseende på olika valutor, antal investerare och geografisk spridning.

Pantsatta tillgångar och säkerhetspooler
Ett viktigt led i Handelsbankens likviditetshandling är att hålla betydande volymer av outnyttjade säkerheter som kan användas vid stömlåning på finansmarknaderna. En förutsättning för att kunna ställa mer säkerheter är att banken förfogar över säkerheter i utgångsläget. Banken upprätthåller därför betydande volymer av icke-pantsatta tillgångar som skulle kunna användas som säkerhet vid emission av säkerställda obligationer och mycket likvida värdepapper med hög kreditvärdighet.

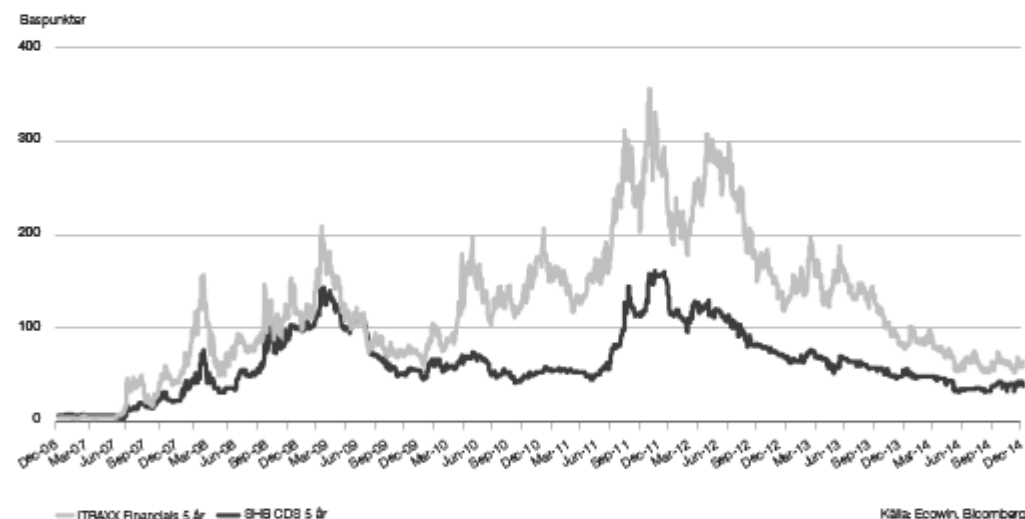
Banken är mycket restriktiv med att ingå avtal, till exempel CSA-avtal, som stipulerar att banken undervisa kriterier kan tvingas att ställa säkerheter till en annan motpart. Utöver att säkerställa bankens likviditet så bidrar detta också till att begränsa i vilken utsträckning bankens seniora långivare blir efterställda de långivare som investerar i säkerställda obligationer, så kallad subordnering.

För att bedöma graden av subordnering mellan investerare av icke-säkerställd finansiering och säkerställd finansiering är det volymen och kreditkvaliteten på de icke-pantsatta tillgångarna som är relevant. Handelsbankens mycket restriktiva syn på risktagande gör att de icke-pantsatta tillgångarna har en mycket hög kvalitet. Eftersom Handelsbanken vill ha en balanserad användning av säkerställda och seniora obligationer finns en betydande volym hypotekslån som inte är pantsatta. Övriga icke-pantsatta lån har också en mycket låg risk mått till exempel i termer av bankens interna rating.

Tabellen tillgångar som ej är inlånat/pantsatta visar att volymen icke-pantsatta tillgångar för Handelsbanken utgör 237 procent av den utestående volymen icke-säkerställd upplåning.

Den helt dominerande delen av de pantsatta tillgångarna utgörs av Stadshypoteks "cover pooler", vilka består av hypotekslån som ställs som säkerhet för utestående säkerställda obligationer. Dessutom har banken ett frivilligt så kallat OC ("over-collateralization", extra tillgångar utöver de som behövs för att täcka de emitterade obligationerna) på 10 procent som ingår i poolen. Dessa extra tillgångar finns i poolen i händelse av att värdet på hypotekslånen skulle sjunka ned till en sådan nivå att ytterligare tillgångar behövs för att matcha volymen utestående obligationer. Vid en bedömning av risken för att ytterligare tillgångar blir nödvändiga att skjuta till, är belåningsgraden på hypotekslånen i tillgångspoolen central. Ju lägre belåningsgrad, desto mindre risk för att ytterligare hypotekslån krävs i poolen vid prisfall på fastighetsmarknaden. Handelsbankens genomsnittliga belåningsgrad, LTV-max, både i den svenska och den norska poolen uppgick till 49 procent. Detta visar att banken klarar betydande prisfall på underliggande fastighetstillgångar innan ytterligare hypotekslån måste tillföras poolerna.

Handelsbankens 5-åriga CDS-spread jämfört med ITRAXX Financiale 2007–2014



ITRAXX Financials är ett index över CDS-spreadarna för de 25 största obligationsemittenterna inom bank- och försäkringssektorn i Europa och baserar den genomsnittliga premie som en investerare kräver för att acceptera kreditrisk på bolagen.

Införskaffade tillgångar och andra ställda säkerheter

mkr	Redovisade värden	
	2014	2013 ¹
Utlåning till allmänheten	623 ²	619
Statspapper och obligationer	29	31
Aktier	1	4
Kontanter	31	10
Övrigt	105	90
Totalt	790²	754
Övriga ställda säkerheter	36 ³	42

Utlåning till allmänheten redovisas till upplupet anskaffningsvärde. Övriga ställda säkerheter redovisas till verkligt värde. Redovisat värde för de skulder som säkerheterna avser uppgick till 790 mkr.

¹ Principerna för hur tillgångar klassificeras i tabellen har ändrats sedan föregående år. Jämförbarhetsiffrorna är justerade.

² Varav överpantsättning i coverpool (CC) 57 mkr.

³ Varav 27 mkr avser säkerheter som fört kan överkallas av banken.

⁴ Varav 27 mkr avser säkerheter som fört kan överkallas av banken.

NOTER | KONCERNEN

Tillgångar som ej är intecknade/pantsetta	2014		2013	
	Ackumulerad andel av icke säkerställd IPT (NEA) ¹ upplåning, % ²		Ackumulerad andel av icke säkerställd IPT (NEA) ¹ upplåning, % ²	
mkr				
Kontanter samt behållning hos centralbanken	519	62	370	48
Likvida obligationer i likviditetsportföljen	129	77	90	60
Utlåning till hushåll inklusive derivat	461		385	
varav hypotekslån	370	114	255	94
varav utlåning med säkerhet i fastighet	15	116	16	96
varav övrig hushållsutlåning	136	132	114	111
Utlåning till företag inklusive derivat	702		679	
varav hypotekslån	90	142	85	122
varav utlåning till bostadsrättsföreningar och hypotekslån	32	146	24	125
varav utlåning fastighetsbolag och hypotekslån				
- riskklass 1-3	221	173	208	152
- riskklass 4-5	79	182	85	163
- varav riskklass > 5	14	184	12	164
varav övrig företagsutlåning				
- riskklass 1-3	169	204	168	186
- riskklass 4-5	74	212	71	196
- riskklass > 5	29	215	31	200
Utlåning till kreditinstitut inklusive derivat	64		69	
- riskklass 1-3	63	223	68	200
- riskklass > 3	1	223	1	200
Övrig utlåning	0	223	0	200
Övriga tillgångar	117	237	101	222
Summa	1 692	237	1 604	222

¹ IPT: icke intecknade/pantsetta tillgångar. NEA: Non encumbered assets.

² Emitterad kort och lång icke-säkerställd upplåning samt skulder till kreditinstitut.

Mottagna pantar tillgängliga för återpantstättning	Marknadsvärde för mottagna pantar tillgängliga för återpantstättning		Marknadsvärde för mottagna pantar som återpantsetta	
	2014	2013	2014	2013
mkr				
Statapapper och obligationer	29	14	1	6
Aktier och andelar	4	10	4	4
Totalt	33	24	5	10

Bekänt värde på de skulder och andra åtaganden för vilka säkerheterna ställts upp till 5 mkr.

Cover pool data	Sverige		Norge	
	2014-12-31	2013-12-31	2014-12-31	2013-12-31
mkr				
Stadshypotek total utlåning, allmänheten	878 943	833 614	64 243	60 902
Tillgängliga tillgångar för cover pool	786 904	746 954	58 311	53 365
Anspråktaga tillgångar i cover pool	600 850	604 316	22 394	14 794
Max-beållningsgrad, vägt genomsnitt enligt ASCB:s definition	49,3	49,6	49,4	54,1
Volymvägt beållningsgrad (LTV-Mid)	25	25,1	25,4	28,2
Beållningsgrad, fördelning				
0-10%	23,9	24,1	23,1	21,1
10-20%	20,9	20,9	22	20,9
20-30%	18,1	18	18,1	18,4
30-40%	15,2	15,1	15,6	16,6
40-50%	12,3	12,3	12,4	13,5
50-60%	9,5	9,4	8,8	9,5
60-70%	0	0,1	0	0
70-75%	0	0,1	0	0
Lånestorlek, vägt genomsnitt, kronor	638 600	614 400	3 004 800	2 698 600
Lånelångd, vägt genomsnitt, antal månader	41	39	22	20
Räntebindningstider, fördelning				
Förög ränta, %	50	42	100	100
Bunden ränta, %	50	58	0	0

NOTER | KONCERNEN

Organisation

Handelsbanken har en helt decentraliserad affärsmodell men all finansiering och likviditetsriskhantering i koncernen är centraliserad till Centrala finansavdelningen. Finansierings- och likviditetsriskhanteringen styrs av policyer fastställda av styrelsen som också beslutar om limiter. Dessa policyer konkretiseras i riktlinjer av VD och CFO. Riktlinjerna stipulerar bland annat limiter, finansieringens sammansättning och riktvärden i samband med störningar på finansieringsmarknaderna.

Grundförutsättningen för upplåningsverksamheten är att den ska främja en långsiktigt stabil vinsttillväxt genom att begränsa marknads- och likviditetsriskerna. Det sker genom att matcha kassaflöden mellan upplåningen och utlåningen. Banken minimerar på det sättet de ekonomiska riskerna i upplåningen och kan därmed bestämma stabila och långsiktiga internräntor till de affärsdrivande enheterna. Vidare kanaliseras alla likviditetsrisker via den Centrala finansavdelningen ut i verksamheten.

I kölvattnet av de senaste årens finansiella kris har ett antal nya regelverk tillkommit. Banken har på eget initiativ, i god tid före dessa regleringar, genomfört en rad åtgärder och uppfyller därför sedan lång tid dessa krav. En centraliserad finansfunktion med det övergripande ansvaret för all finansiering och likviditetsriskhantering, ökad andel långfristig finansiering, internpri-

ser som speglar såväl marknadspriset som likviditetsrisk och löptid är några av åtgärderna. Härutöver har transparensen kring finansiering och likviditetsrisk och andel pantsatta tillgångar utökats.

Den Centrala finansavdelningen ansvarar också för bankens clearingverksamhet och övervakar likviditetsflödena under dagen för att säkerställa att banken vid var tid har tillräckligt med säkerheter i betalningssystemen för att fullfölja bankens betalningsförpliktelser. Bankens likviditetsövervakning sker lokalt nära affärsen och kompletteras med en central hantering av panter och likviditetsreserven för hela gruppen. Banken deltar i Continuous Linked Settlement (CLS) och övriga lokala betalningssystem som krävs för att stödja kärnverksamheten och säkerställer därigenom betalningar och avvecklingar genom att tillhandahålla likviditet eller panter.

Storleken på panter i clearingssystemen sätts utifrån den omfattning som banken bedömer behövs för bankens åtagande både vid normala förhållanden och vid större flöden. Vid förändringar av flödet justeras storleken av panter och likviditet och vid krisituationer kan också panter omfördelas och likviditetsreserven aktiveras. Banken säkerställer likviditeten på bankens nostrokonton för förväntade betalnings- och avvecklingsåtaganden genom aktiv likviditetsplanering och övervakning i samtliga valutor.

Prissättning av likviditetsrisk

En viktig del av likviditetsriskhanteringen är att inlåning och utlåning internt prissätts med hänsyn till de likviditetsriskerna de ger upphov till. När banken exempelvis ger ett lån med lång löptid så skapar det ett behov av att skaffa ytterligare långfristig finansiering, vilket är dyrare än mer kortfristig finansiering. Det beror på att investeraren som köper bankens långfristiga obligationer, utöver räntan, normalt också kräver en högre kompensation för löptiden. Detta behöver beaktas i bankens interna prissättning, vilket sker genom att det pris som interna enheter i banken får betala för de lån de tar från bankens finansfunktion beror på löptiden samtidigt som inga likviditetsrisker får tas lokalt. Den interna prissättningen är viktig för att skapa rätt incitament och på så vis undvika att ett osunt risktagande uppstår. Banken har under lång tid arbetat med löptidsbaserade interna priser som säkerställer att priset på kontraktens nivå tar höjd för den likviditetsrisk avtalet get upphov till. Detta system var fullt implementerat i banken redan 2010.

Upplåningsprogram/namn inom koncernen per 31 december 2014

Program	Programbelopp	Ramvaluta	Utnyttjat belopp under befintlig ram	Motvärde mkr
ECP ¹	5 000	EUR	3 095	29 342
ECP (Stadshypotek) ¹	4 000	EUR	3 117	29 550
BMTCN (Stadshypotek) ¹	20 000	EUR	8 552	81 075
Franska certifikat	7 500	EUR	6 693	63 452
MTN ¹	100 000	SEK	82 375	82 375
Svenska certifikat	25 000	SEK	25 000	25 000
Svenska certifikat (Stadshypotek)	90 000	SEK	90 000	90 000
BMTN ¹	50 000	USD	26 068	203 324
Extradable Notes	15 000	USD	7 924	61 805
Stadshypotek US 144A	15 000	USD	12 250	95 547
US 144A / 3(a)(2)	20 000	USD	10 600	82 677
USCP	15 000	USD	8 314	64 847
Övrig finansiering > 1 år ¹	15 000	USD	14 200	110 756
AUD MTN	5 000	AUD	4 350	27 783
Stadshypotek AUD Covered Bond Programme	5 000	AUD	4 250	27 144
Samurai	400 000	JPY	274 520	17 881
Summa				1 092 898

Totala program- och rambelopp, mkr

1 664 922

Utnyttjat belopp, mkr

1 092 558

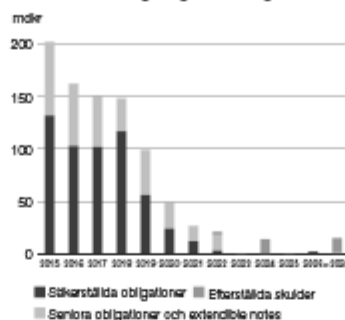
Kvar att utnyttja, %

66%

¹ Inom dessa program finns möjlighet att emittera i ett antal olika valutor förutom ramvalutan, där valutaomräkning sker vid emissionsstillfället.

NOTER | KONCERNEN

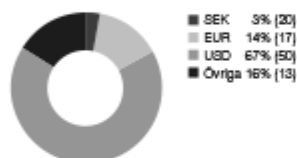
Förfallostruktur långfristig finansiering



Avser emitterade värdepapper per 2014-12-31 med en ursprunglig löptid överstigande ett år.

Finansieringens sammansättning

Handelsbanken har under året emitterat långfristiga obligationer i alla för banken viktiga valutor. Kortfristig upplåning sker förträdesvis genom emissioner av bankcertifikat under de olika låneprogrammen i Sverige, Europa och USA. Dessa låneprogram kompletteras av upplåning på den internationella interbankmarknaden. Centrala finansavdelningen säkerställer att förfallostrukturen och valutasammansättningen i balansräkningen harmoniserar med bankens risktolerans. Totalt emitterades under året 189 miljarder kronor (281) i långfristig finansiering.

Kortfristig finansiering per valuta
31 december 2014

Avser fördelningen av valutor 2014-12-31 för emitterade värdepapper och finansiering från kreditinstitut med en återstående löptid under ett år.

Långfristig finansiering per valuta
31 december 2014

Avser fördelningen av valutor 2014-12-31 för emitterade värdepapper och finansiering från kreditinstitut med en återstående löptid över ett år.

Långfristig finansiering per instrument
31 december 2014

Avser fördelning per instrument 2014-12-31 för emitterade värdepapper med en återstående löptid över ett år.

Tillgodohavanden i centralbanker och banker samt värdepappersinnehav i likviditetsreserven 31 december 2014, marknadsvärde

mkr	SEK	EUR	USD	Övrigt	Summa
Kassa samt tillgodohavanden hos och övrig utlåning till centralbank	5 797	81 766	312 770	103 509	503 842
Tillgodohavanden hos andra banker och Riksgälden, övrigt	13 697	254	343	1 173	15 467
Värdepapper emitterade av stater	38 470	7 743	15 946	3 785	65 944
Värdepapper emitterade av kommuner och övriga offentliga enheter	158	-	-	171	329
Säkerställda obligationer	36 765	2 710	-	11 263	50 738
Egna säkerställda obligationer	8 398	86	-	1 401	9 885
Värdepapper emitterade av icke-finansiella företag	1 423	432	-	-	1 855
Värdepapper emitterade av finansiella företag (exkl säkerställda obligationer)	124	96	-	49	269
Övriga värdepapper	-	-	-	-	-
Summa	104 832	93 067	329 060	121 361	648 320

Tillgodohavanden i centralbanker och banker samt värdepappersinnehav i likviditetsreserven 31 december 2013, marknadsvärde

mkr	SEK	EUR	USD	Övrigt	Summa
Kassa samt tillgodohavanden hos och övrig utlåning till centralbank	2 034	48 127	235 115	83 075	368 351
Tillgodohavanden hos andra banker och Riksgälden, övrigt	3	487	539	1 153	2 182
Värdepapper emitterade av stater	20 609	7 690	12 979	1 462	42 740
Värdepapper emitterade av kommuner och övriga offentliga enheter	6	-	-	-	6
Säkerställda obligationer	26 097	2 329	0	8 267	36 693
Egna säkerställda obligationer	6 499	73	-	53	6 625
Värdepapper emitterade av icke-finansiella företag	0	2	974	0	976
Värdepapper emitterade av finansiella företag (exkl säkerställda obligationer)	1 130	788	417	170	2 505
Övriga värdepapper	-	-	-	-	-
Summa	56 378	59 498	250 024	94 180	460 078

NOTER | KONCERNEN

Likviditetsreserven

Handelsbankens samlade likviditetsreserv översteg vid årsskiftet 800 miljarder kronor och täcker i stressade förhållanden bankens likviditetsbehov i mer än två år.

För att säkerställa att banken har tillräckligt med likviditet för att stödja kärnverksamheten under stressade finansiella förhållanden håller banken betydande likviditetsreserver. Likviditetsreserver hålls i alla för banken relevanta valutor och är tillgängliga för den Centrala finansavdelningen. Likviditetsreserven är oberoende av finansierings- och valutaväxlingsmarknaderna och kan vid var tid ge likviditet till banken, vissa delar omedelbart och andra delar successivt under en tidsperiod.

Likviditetsreserven består av flera olika delar. Kassa, tillgodohavanden och övrig utlåning till centralbanker är delar som omedelbart kan ge likviditet till banken. Vidare består reserven av statsobligationer, säkerställda obligationer och övriga värdepapper av god kreditkvalitet som är likvida och belåningsbara i centralbanker. Även dessa kan ge banken likviditet omedelbart. Rest-erande del av likviditetsreserven består av outnyttjat emissionsutrymme av säkerställda obligationer och övriga likviditetsskapande åtgärder.

Likviditetsrisk

Banken hanterar en stor mängd in- och utgående kassaflöden varje dag. Gapet mellan in- och utgående kassaflöden begränsas med limit. Den centrala riskkontrollen rapporterar riskutnyttjandet dagligen till CFO, veckovis till VD och löpande till styrelsen.

Likviditetsplaneringen bygger på en analys av kassaflöden för respektive valuta. Generellt gäller att exponeringen tillåts vara större i valutor med hög likviditet än i valutor där likviditeten är låg. Strategin är att förväntade kassaflöden ut ur banken alltid ska matchas med minst lika stora kassaflöden in i banken och att ett positivt kassaflöde och kassaposition ska upprätthållas även

under stressade förhållanden. En sådan Gap-analys kompletteras också med scenariotester där effekten på likviditeten stressas och analyseras under olika antaganden. Dessa stresstester utförs på såväl koncernnivå som enskilt på de för banken väsentliga valutorna. Det är dessa stressade likviditetsmått som den interna styrningen av bankens likviditetssituation baseras på.

Som ett mått på kortfristiga störningar på finansieringsmarknaden har såväl Baselkommittén som Finansinspektionen föreslagit riskmättet Liquidity Coverage Ratio (LCR). Mättet definieras inte på samma sätt av Finansinspektionen och Baselkommittén.

LCR är sedan 2013 ett bindande krav för svenska banker och Handelsbanken redovisar enligt Finansinspektionens definition. Kravet gäller LCR på aggregerad nivå och separat för USD och EUR. Mättet uttrycker kvoten mellan bankens likviditetsbuffert och nettokassaflöden i ett mycket stressat scenario under en trettiodagars period. Kvoten ska överstiga 100 procent.

Ett kortfristigt likviditetsmått kan uppvisa en viss volatilitet över tiden, till exempel när finansiering som ursprungligen är långfristig och som finansierar hypotekslåning ersätts av ny långfristig finansiering, eller när sammansättningen av motpartsgrupper i den kortfristiga upplåningen varierar. Vid årsskiftet uppgick koncernens aggregerade LCR i enlighet med Finansinspektionens definition till 140 procent (128), vilket visar att banken har stor motståndskraft mot kortfristiga störningar på finansieringsmarknaden. Detta gäller också i USD och EUR.

Som ett test av motståndskraften för mer långvariga störningar på marknaden används dagliga stresstest av kassaflöden under vissa antaganden. Till exempel antas att banken inte kan finansiera sig alla på de finansiella marknaderna samtidigt som 10 procent av inlåningen från hushåll och företag försvinner successivt under den första månaden. Vidare antas att banken fortsätter att bedriva sin kärnverksam-

het, det vill säga att den tidsbundna in- och utlåningen till hushåll och företag förlängs vid förfall och att utställda löften och kreditfaciliteter delvis utnyttjas av kunderna. Samtidigt beaktas att tillgodohavanden i centralbanker och bankernas i anspråk och att Centrala finansavdelningens värdepapper omedelbart kan ge likviditet genom belåning i centralbanker.

Därutöver används likviditetsskapande åtgärder för att successivt ge likviditet till banken. Under dessa förutsättningar är banken likvid i mer än två år. Banken har således en stor motståndskraft även mot mycket allvariga och långvariga störningar på finansieringsmarknaderna.

En förutsättning för att bankens kunna upprätthålla en stor motståndskraft mot störningar på de finansiella marknaderna är att balansräkningen är väl balanserad. Diagrammet på sidan 95 visar att volymen kortfristiga tillgångar väsentligen överstiger volymen kortfristiga skulder i ett stressat scenario där 20 procent av inlåningen antas försvinna inom ett år. Vidare krävs att volym och kvalitet på utnyttjade säkerheter är sådana att de vid en krisituation kan ge banken den likviditet som är nödvändig. Att konsekvent styra banken efter framåtblickande positiva nettokassaflöden, och inte ögonblicksbaserade kvotmått, säkerställer vidare detta över tid.

I tabellen för förfalloanalys redovisas kassaflöden för de kontrakterade betalningsåtagandena inklusive ränteflöden som senast ska erläggas inom de angivna tidsintervallen. I tabellen redovisas innehav i obligationer och andra räntebärande värdepapper i det tidsintervall i vilket de kan omsättas till likviditet vid en eventuell belåning eller försäljning. Vidare redovisas tillgångar, skulder och ränteflöden som förfaller i de tidsintervall som motsvarar kontraktens förfalldatum. Ränteflöden för utlåning i hypoteksverksamheten matchas tidsmässigt med de skulder som finansierat utlåningen. Finansiella garantier, lånelöften och outnyttjade räntekrediter redovisas i sin helhet i tidsintervallet 0–1 månad. Totalt utestående belopp för dessa åtaganden representerar inte nödvändigtvis framtida finansieringsbehov. För derivat-Instrument redovisas kassaflöden netto för ränteswapper och brutto för Instrument för vilka bruttokassaflöden erläggs respektive erhålls, som exempelvis valutaswapper.

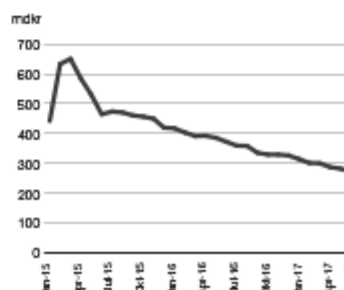
Liquidity Coverage Ratio (LCR), %	2014	2013
EUR	154	110
USD	137	170
Totalt	140	128

Beräknat i enlighet med Finansinspektionens föreskrift FFFS 2012:6 som trädde i kraft 1 januari 2013.

Liquidity Coverage Ratio (LCR) – delkomponenter mkr	2014	2013
Likvida tillgångar	312 480	182 348
Likvida tillgångar nivå 1	270 364	130 591
Likvida tillgångar nivå 2	42 116	31 755
Kassaflöden	506 043	507 882
Kundinlåning	205 068	165 295
Marknadsupplåning	351 164	265 572
Övriga kassaflöden	38 811	77 016
Kassaflöden	372 482	380 912
Inlånen från förtärande utlåning till icke-finansiella kunder	25 437	22 080
Övriga kassaflöden	347 045	358 832

Komponenterna definieras i enlighet med Finansinspektionens föreskrifter om krav på likviditetsäckningsgrad och rapportering av likvida tillgångar och kassaflöden (FFFS 2012:6). Likvida tillgångar nivå 1 motsvarar 3 kap 6 §. Likvida tillgångar nivå 2 motsvarar 3 kap 7 §. Kundinlåning motsvarar 4 kap 4–9 §§. Marknadsupplåning motsvarar 4 kap 10–13 §§. Övriga kassaflöden motsvarar 4 kap 14–25 §§. Utlåning till icke-finansiella kunder motsvarar 5 kap 4 §. Övriga kassaflöden motsvarar 5 kap 6–12 §§.

Stresstest av likviditeten inklusive likviditetsskapande åtgärder – ackumulerad likviditetsposition



NOTER | KONCERNEN

Förtälningsanalys för finansiella tillgångar och skulder, 2014 mkr	Upp till 1 månad	1-6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Opacifierad löptid	Summa
Kassa och tillgodoavanden i centralbanker	505 579	-	-	-	-	-	-	505 579
Balkningsbara statskuldforbindelser ¹	78 618	-	-	-	-	-	-	78 618
Obligationer och andra räntebärande värdepapper ²	64 389	-	-	-	-	-	-	64 389
Utläning till kreditinstitut	27 920	37 022	812	333	706	4 204	-	70 997
varav omvända repor	9 576	32 589	-	-	-	-	-	42 165
Utläning till allmänheten	96 163	226 110	157 476	180 500	350 694	898 017	-	1 908 950
varav omvända repor	23 859	-	-	-	-	-	-	23 859
Övrigt	55 897	-	-	-	-	-	235 081	290 978
varav aktier och andelar	46 546	-	-	-	-	-	-	46 546
varav fordringar på fondkivider	9 351	-	-	-	-	-	-	9 351
Summa tillgångar	828 068	283 132	168 288	180 833	351 400	902 221	235 081	2 919 021
Skulder till kreditinstitut	108 169	58 681	982	5 467	1 096	7 993	22 555	204 943
varav repor	88	-	-	-	-	-	-	88
varav inlåning från centralbanker	46 647	47 374	116	-	-	-	3 948	97 085
In- och uppläning från allmänheten	237 220	54 865	14 723	1 709	2 893	8 595	703 632	1 023 637
varav repor	168	-	-	-	-	-	-	168
Emitterade värdepapper ³	80 155	312 655	163 892	189 492	439 450	105 760	-	1 291 404
varav säkerställda obligationer	3 255	63 108	89 216	118 756	295 715	43 644	-	673 694
varav certifikat och andra värdepapper med ursprunglig löptid underliggande ett år	72 171	239 067	46 845	-	-	-	-	358 083
varav andens obligationer och andra värdepapper med ursprunglig löptid överliggande ett år	4 729	10 480	27 831	70 736	143 735	62 116	-	319 627
Efterställda skulder	388	341	4 931	3 245	24 323	955	-	34 183
Övrigt	28 608	-	-	-	-	-	322 825	351 433
varav korta positioner	20 648	-	-	-	-	-	-	20 648
varav fondkividskulder	7 960	-	-	-	-	-	-	7 960
Summa skulder	464 640	426 642	184 028	190 913	467 762	123 903	1 049 012	2 906 600
Poster utanför balansräkningen								
Finansiella garantier och ej utnyttjade lånatöften	387 013							
Darvat 2014 mkr	Upp till 1 månad	1-6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år		Summa
Summa darvat inlöste	362 607	459 377	82 332	134 535	293 242	136 415		1 468 558
Summa darvat utlöste	355 952	448 422	78 481	126 537	273 046	132 743		1 415 181
Netto	6 655	10 955	3 851	8 068	20 196	3 672		83 387

¹ Av beloppet (exklusive räntor) har 21 927 mkr en återstående löptid som understiger ett år.

² Av beloppet (exklusive räntor) har 6 023 mkr en återstående löptid som understiger ett år.

³ Av beloppet (exklusive räntor) har 529 498 mkr en återstående löptid som understiger ett år.

För inlåningsvolym avser kolumn "Opacifierad löptid" inlåning som är betalbar på anfordran. Tabellen innehåller ränteföden vilket innebär att balansräkningen inte är avstämningsbara mot koncernens balansräkning. Löptidstabeller utan ränteföden (inkl löptidstabeller i valuta) återfinns i Fäktabok.

Förtälningsanalys för finansiella tillgångar och skulder, 2013 mkr	Upp till 1 månad	1-6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Opacifierad löptid	Summa
Kassa och tillgodoavanden i centralbanker	369 957	-	-	-	-	-	-	369 957
Balkningsbara statskuldforbindelser ¹	58 112	-	-	-	-	-	-	58 112
Obligationer och andra räntebärande värdepapper ²	64 863	-	-	-	-	-	-	64 863
Utläning till kreditinstitut	36 091	22 547	206	1 878	-	2 441	291	63 454
varav omvända repor	14 986	18 926	-	-	-	-	-	33 892
Utläning till allmänheten	64 580	140 906	131 868	125 351	287 368	1 053 934	3 859	1 817 866
varav omvända repor	15 714	-	-	-	-	-	-	15 714
Övrigt	55 730	-	-	-	-	-	183 309	239 039
varav aktier och andelar	48 595	-	-	-	-	-	-	48 595
varav fordringar på fondkivider	7 135	-	-	-	-	-	-	7 135
Summa tillgångar	649 393	183 463	132 074	127 229	287 368	1 068 376	187 459	2 613 291
Skulder till kreditinstitut	103 699	39 168	500	107	1 917	14 511	17 197	177 099
varav repor	748	-	-	-	-	-	-	748
varav inlåning från centralbanker	41 759	28 189	-	-	-	-	1 634	71 582
In- och uppläning från allmänheten	164 285	44 456	10 864	2 556	2 518	10 145	591 646	826 470
varav repor	7 606	-	-	-	-	-	-	7 606
Emitterade värdepapper ³	82 109	318 265	54 469	282 719	390 887	113 676	-	1 242 125
varav säkerställda obligationer	1 087	89 197	29 789	204 441	255 514	37 863	-	611 891
varav certifikat och andra värdepapper med ursprunglig löptid underliggande ett år	74 954	196 395	4 394	38 822	-	-	-	314 505
varav andens obligationer och andra värdepapper med ursprunglig löptid överliggande ett år	6 068	38 733	20 286	39 456	135 373	75 813	-	315 729
Efterställda skulder	13	4 357	1 139	4 524	5 599	3 245	-	18 877
Övrigt	29 947	-	-	-	-	-	296 749	326 696
varav korta positioner	23 170	-	-	-	-	-	-	23 170
varav fondkividskulder	6 777	-	-	-	-	-	-	6 777
Summa skulder	380 083	408 246	66 672	289 908	400 921	141 577	905 862	2 591 267
Poster utanför balansräkningen								
Finansiella garantier och ej utnyttjade lånatöften	378 136							
Darvat 2013 mkr	Upp till 1 månad	1-6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år		Summa
Summa darvat inlöste	204 160	401 774	143 837	160 135	277 560	133 681		1 321 147
Summa darvat utlöste	229 546	384 702	144 406	154 531	269 870	127 844		1 301 899
Netto	-16 386	17 072	-569	5 604	7 690	5 837		19 248

¹ Av beloppet (exklusive räntor) har 26 098 mkr en återstående löptid som understiger ett år.

² Av beloppet (exklusive räntor) har 11 192 mkr en återstående löptid som understiger ett år.

³ Av beloppet (exklusive räntor) har 424 710 mkr en återstående löptid som understiger ett år.

För inlåningsvolym avser kolumn "Opacifierad löptid" inlåning som är betalbar på anfordran. Tabellen innehåller ränteföden vilket innebär att balansräkningen inte är avstämningsbara mot koncernens balansräkning. Löptidstabeller utan ränteföden (inkl löptidstabeller i valuta) återfinns i Fäktabok.

NOTER | KONCERNEN

RISKER I FÖRSÄKRINGSRÖRELSEN

Risken i försäkringsrörelsen består främst av marknadsrisker och försäkringsrisker.

Marknadsrisk

Handelsbanken Liv bedriver livförsäkringsverksamhet med traditionell förvaltning, fondförsäkring och depåförsäkring. För fond- och depåförsäkring väljer kunden investeringsalternativ och bär själv marknadsrisken. I traditionell försäkring med garanterad ränta står Handelsbanken Liv för risken att uppfylla de finansiella garantierna som försäkringsvillkoren innebär.

Den finansiella garantin innebär att bolaget gör ett kapitaltillskott till försäkringsavtalets värde vid bestämda tidpunkter i det fall värdet understiger försäkringens garanterade värde. Eventuella kapitaltillskott realiserar vid årsskifte eller vid försäkringshändelse.

Handelsbanken Livs styrelse fastställer årligen bolagets placeringsriktlinjer, som ytterst är det styrande dokumentet för allokering av bolagets placeringsstiltgångar avseende traditionellt förvaltade försäkringar. Syftet med placeringsriktlinjerna är att ge anvisningar till bolaget för hur tillgångarna ska förvaltas givet åtagandena till försäkringstagarna samt givet lagstadgade krav enligt försäkringsrörelselagen och tillämpliga föreskrifter från Finansinspektionen.

Handelsbanken Liv har låg risktolerans.

Målet med förvaltningen är att trygga bolagets åtaganden gentemot försäkringstagarna.

Marknadsriskerna inom Handelsbanken Liv uppstår i förvaltningen av placeringsstiltgångar för de traditionella försäkringarna och av att värderingen av bolagets garanterade åtaganden är känsliga för ränteförändringar.

Den totala marknadsrisken i Handelsbanken Liv beräknas med VaR på 99,5 procents konfidenznivå och ett kvartals innehavsperiod. Utöver detta kontrolleras företagets solvensknot, så kallad "trafikljus" och skuldtäckning enligt myndighetskrav. Den modell för marknadsriskhantering som Handelsbanken Liv använder väger samman risken för kapitaltillskott på försäkringsnivå och risken för kapitaltillskott på bolagsnivå på grund av förhöjt nuvärde av framtida garanterade belopp. Marknadsrisken mäts i termer av kapitaltillskottens samlade känslighet för marknadsstörningar och riskexponeringen kontrolleras dagligen i förhållande till ett av styrelsen i Handelsbanken angivet rambelopp. Det största värdet av tillskott till försäkringstagarna eller tillskott på grund av solvensen utgör riskutryttningsjämbörd. Underkategorier av finansiella risker utgörs av ränterisk, aktierisk, kreditrisk, fastighetsrisk och valutakursrisk. Den huvudsakliga risken för Handelsbanken Liv är ränterisk. Vid årsskiftet uppgick VaR till 754 miljoner kronor (893).

Likviditetsrisken i försäkringsrörelsen är risken

för att bolaget inte kan fullgöra sina betalningsförpliktelser när dessa förfaller, eller att bolaget inte kan sälja värdepapper till acceptabla priser. Denna risk är begränsad genom att huvuddelen av placeringsstiltgångarna placeras i marknadsnoterade värdepapper med god likviditet.

Försäkringsrisk

Försäkringsbolag grundar sin premiesättning på antaganden om hur stora kostnaderna för inträffade försäkringshändelser kommer att bli. Risken för att de verkliga och antagna försäkringskostnaderna avviker från varandra benämns försäkringsrisk. Det ytterst styrande dokumentet, är Handelsbanken Livs riskpolicy för försäkringsrisk, vilken fastställs av försäkringsbolagets styrelse, där det anges inom vilka belopp försäkringar får ges. Ett kompletterande styrdokument antaget av försäkringsbolagets styrelse anger inom vilka gränser risktagande försäkring får tecknas.

Försäkringsrisk i Handelsbanken Liv finns i anknytning till följande händelser:

- dödsfall – ersättning till förmånstagare vid den försäkrades död
- livsfall – ersättning som är beroende av att den försäkrade lever, till exempel pensionsutbetalningar
- sjukdom – ersättning vid sjukdom eller arbetsförmåga
- olycksfall – ersättning vid olycksfall.

En försäkring kan innehålla kombinationer av skydd vid dessa fyra händelser.

En större del av Handelsbanken Livs försäkringar är tecknade av mindre företag och privatpersoner. Någon riskkoncentration när det gäller försäkringsrisker, utöver att flertalet försäkringar är tecknade i Sverige, finns inte.

Den ökade livslängden i Sverige får konsekvenser för livbolagets framtida åtaganden. Dessa är positiva när det gäller dödsfallsförsäkringar men negativa för livsfallsförsäkringar då livslängden stiger och pensionsutbetalningar då ska ske under en längre tid. Handelsbanken Liv använder sedan 2009 livslängdsantaganden enligt DUS06, vilket är standard i branschen. Skulle dödligheten fortsätta att sjunka och generellt bli 10 procent lägre än bolagets antaganden, skulle nuvärdet av den förväntade ökade kostnaden uppgå till 81 miljoner kronor för den äldre delen av beståndet som har livslång utbetalning. För den stora delen av Handelsbanken Livs försäkringar med dödsfallsrisk är prissättningen däremot ettårig. Det betyder att bolaget ensidigt kan ändra premien från år till år. Ett felaktigt dödlighetsantagande kan därför ändras med snabb verkan.

Förändring i sjuklighet sker betydligt snabbare än förändringar i dödlighet, vilket kan bidra till variation i riskresultatet. Resultatet är således beroende av hur många försäkrade som blir sjuka och hur många som tillfrisknar i förhållande till tillämpade antaganden. Sjukförsäkringsprodukter är i allmänhet utformade så att premien kan ändras årligen, vilket ger bolaget möjlighet

att perera förändringar i sjuklighet. Sjukresultatet 2014 uppgår till 72 miljoner kronor, av vilka 59 miljoner kronor kan hänföras till anmälda sjukfall under året, -28 miljoner kronor till avveckling av befintliga sjukfall och resterande 41 miljoner kronor till inträffade, men ännu ej anmälda sjukfall.

Försäkringsrörelsen rapporterar sina marknads-, försäkrings- och operativa risker till försäkringsbolagets styrelse och VD, Handelsbankens Centrala riskkontroll samt till bankens CFO och VD. Risksituationen rapporteras också löpande till bankens styrelse.

Solvens II

Handelsbanken Liv har de senaste åren arbetat aktivt med att anpassa verksamheten till kommande nya regelkrav och arbetet kommer att fortgå under 2015. Införandet av Solvens II-regelverket förväntas ske 2016 då direktivet införs fullt ut och blir implementerat i svensk lag. Från och med januari 2014 infördes delar av regelverket i tillsynsmyndigheternas praktiska tillsyn, då bland annat nya föreskrifter avseende beräkning av diskonteringskurvor för solvens, trafikljus och skuldtäckning trädde i kraft.

Ett övergripande syfte med regelverket är att stärka skyddet för försäkringstagarna genom att tydligare koppla solvenskravet och därmed kapitalkravet till hur försäkringsbolagen identifierar, mäter och hanterar samtliga risker.

OPERATIV RISK

Operativ risk är risken för förluster till följd av icke-ändamålsenliga eller misslyckade interna processer, mänskliga fel, felaktiga system eller externa händelser. Definitionen inkluderar legal risk.

Handelsbanken har låg tolerans för operativa risker och arbetar aktivt med att identifiera och hantera operativa risker. Detta arbete stöds av bankens strikta syn på risk, men också av den starka fokuseringen på kostnadseffektivitet, eftersom brister i processer eller bristande ordning och reda lätt kan ge upphov till onödiga kostnader.

Operativa fel och brister reduceras därför så långt som möjligt både vad gäller mindre, men frekventa händelser, och större händelser som skulle kunna orsaka stora oväntade förluster. Ledningen har en tät och aktiv uppföljning av operativa risker genom verksamhetens organisation för riskkontroll. Särskild uppmärksamhet ägnas de operativa risker som kan leda till de mest allvarliga konsekvenserna. Internrevisionens granskning av verksamheten är också inriktad på operativa risker.

Operativ risk förekommer i all verksamhet inom Handelsbanken och ansvaret för löpande identifiering, styrning och kontroll av risken är en tydlig och integrerad del av chefsansvaret på

alla nivåer i verksamheten. Bankens decentraliserade arbetssätt främjar en kostnadsmedvetenhet som medför vaksamhet mot potentiella förlustrisker i dagliga rutiner och händelser. Med fokus på ordning och reda samt möjliga proaktiva åtgärder, håller alla delar av verksamheten sina risker på en acceptabel nivå.

När funktionsansvariga chefer utfärdar interna instruktioner är operativa risker en viktig del, och då beaktas ändamålsenligheten i arbets- och ansvarsfördelning, kontrollstruktur i rutiner samt informations- och rapportsystem. Regler och rutiner utvärderas årligen och den interna kontrollen av rutiner och affärsföden dokumenteras. Dessutom genomför chefer för varje arbetsenhet årligen säkerhetsgenomgångar med sin personal. Inkluderande intern kontroll, informationsssäkerhet, banksekretess och övriga säkerhetsåtgärder.

Utöver ansvaret för operativa risker hos respektive chef finns särskilt ansvariga för informations-säkerhet och konfomssäkerhet med rapporteringskyldighet direkt till VD.

Hantering av operativa risker sker i affärsverksamheten, riskkontrollen och interntrevisionen.

Ansvaret för hanteringen av operativa risker är fördelat mellan affärsverksamhet, lokal koordinatör för operativ risk, lokal riskkontroll och central riskkontroll.

Affärsverksamheten ansvarar för löpande identifiering och hantering av risker samt för genomförande av proaktiva åtgärder.

På regionbanker, huvudavdelningar, dotterbolag och enheter utanför bankens hemmamarknader finns lokala koordinatörer för operativ risk. Dessa koordinatörer ansvarar för att befintliga metoder och rutiner för hantering av operativa risker används i affärsverksamheten. Dessutom ansvarar de för uppföljning av att affärsverksamheten vidtar och fullföljer lämpliga proaktiva åtgärder.

På regionbanker, huvudavdelningar, dotterbolag och enheter utanför bankens hemmamarknader finns också lokala riskkontroller som kontrollerar att hanteringen av operativ risk utförs på korrekt sätt. Detta sker genom regelbunden kvalitetssäkring och utvärdering.

Centrala riskkontrollen har det övergripande ansvaret för de metoder och rutiner som används vid identifiering, styrning, kontroll och rapportering av operativa risker samt för uppföljning på koncernnivå. För att uppnå och behålla god kvalitet i denna hantering har den centrala riskkontrollen ett nära och löpande samarbete med lokal koordinatör för operativ risk och de lokala riskkontrollerna. Centrala riskkontrollen ansvarar också för analys och rapportering av koncernens operativa risker till ledning och styrelse.

Hantering av operativ risk i Handelsbanken



Som ett stöd för löpande identifiering, bedömning och hantering av operativa risker har banken ett rapporterings- och ärendehanteringssystem för incidenter och en självutvärderingsrutin.

Alla anställda i hela koncernen ska samla fakta om incidenter med förlust överstigande 25 000 kronor som deras enhet drabbas av. För att ytterligare främja enhetens proaktiva riskarbete uppmuntras alla anställda att även samla fakta om incidenter som vållar mindre förluster eller ingen skada alls.

Rapporterade incidenter granskas och kategoriseras löpande av den lokala koordinatör för operativ risk. Banken kategoriserar operativ risk efter Basels sju händelsetyper:

- brister i handläggning och processer
- avbrott/störning i verksamhet/system
- kunder, produkter och affärspraxis
- extern brottslighet
- skada på materiella tillgångar
- anställningsförhållanden och arbetsmiljö
- interna bedrägerier.

I arbetet ingår också uppföljning av proaktiva åtgärder i samarbete med drabbade avdelningar och kontor. Även lokal compliance har tillgång till och kan bevaka rapporterade incidenter inom respektive del av affärsverksamheten. Lokal riskkontroll gör en årlig utvärdering av rutinen. Den centrala riskkontrollen gör därefter en aggregerad utvärdering på koncernnivå.

OPRA Riskanalys är en självutvärderingsrutin för att dokumentera och bedöma operativa risker som kan få konsekvenser för banken. Den utförs minst en gång om året på alla enheter. Ansvaret för utförandet ligger hos respektive chef på alla regionbanker, huvudavdelningar, dotterbolag och utländska enheter utanför bankens hemmamarknader. Den lokala koordinatör för operativ risk ger stöd vid planering och genomförande. Enheter med en mer komplex verksamhet delar upp självutvärderingen i flera övningar. Vanligtvis deltar fem till åtta erfarna medarbetare som tillsammans har en god överblick över enhetens verksamhet och risker. Syftet är att bedöma konsekvens och sannolikhet för en händelse. Konsekvensbedömningen omfattar både ekonomisk förlust och förlorat anseende. Viktig input är bland annat fakta och statistik från rapporterade incidenter under det gångna året, samt händelser som drabbat andra delar av koncernen eller andra banker och företag. Självutvärderingen utmynnar i en åtgärdsplan som anger vilka risker som ska reduceras, hur detta ska ske, vem som är ansvarig samt tidsramar för åtgärder. Åtgärdsplanen är ett arbetsunderlag som följs upp regelbundet under

året av affärsverksamheten med stöd av den lokala koordinatör för operativ risk. Lokala riskkontrollen tar del av utförd OPRA inklusive åtgärdsplan för utvärdering av rutinen. Centrala riskkontrollen ger löpande stöd till koordinatörer för operativ risk vid planering, genomförande och uppföljning samt gör en årlig aggregerad bedömning av utvärderingarna från alla lokala riskkontroller.

Banken är noggrann i hanteringen av nya produkter och tjänster samt större förändringar av befintliga produkter och tjänster. Varje affärsområde, dotterbolag och regionbank med produktansvar hanterar nya produkter i enlighet med centrala riktlinjer. Detta innefattar en beslutsordning för hur nya produkter får introduceras. Dessutom sker alltid en riskanalys under ledning av den lokala riskkontrollen före en produktansättning. I analysen beaktas riskerna för banken och för kunden, inklusive operativa risker. Den centrala riskkontrollen informeras om analysresultatet och involveras i komplicerade fall, samt när så är motiverat.

För att hantera allvariga störningar finns kris- och kontinuitetsplaner på plats i alla delar av koncernen. Krisplanering hjälper krisstaben att snabbt, organiserat och systematiskt starta sitt arbete med att ta sig an en krisituation och dess effekter. Det finns en central krisstab på koncernnivå samt en lokal krisstab inom varje regionbank, dotterbolag och utländsk enhet utanför bankens hemmamarknader, samt inom Centrala dataavdelningen och Handelsbanken Capital Markets.

Centrala krisstaben är en permanent stab sammansatt av ett antal nyckelpersoner i eller nära bankledningen. Centrala krisstabens uppgift är att fungera som sammanhållande krisstab vid större kriser i koncernen, stödja den eller de lokala krisstaber som arbetar med en akut kris samt fungera som krisstab för centrala huvudavdelningar. Kontinuitetsplanering syftar till att vidta förberedande åtgärder för attindra följdverkningar av en allvarlig störning i affärsverksamheten. Lokal riskkontroll gör en årlig utvärdering av rutinen. Centrala riskkontrollen gör därefter en aggregerad utvärdering på koncernnivå.

Handelsbanken använder schablonmetoden för att beräkna kapitalkravet för operativa risker. Kapitalkravet enligt schablonmetoden beräknas genom att en i regelverket bestämd faktor multipliceras med den genomsnittliga rörelseintäkten under de tre senaste verksamhetsåren. Olika faktorer tillämpas för olika affärssegment.

Det totala kapitalkravet för operativa risker för hela Handelsbankens koncern uppgick vid utgången av 2014 till 4 439 miljoner kronor (4 246).

NOTER | KONCERNEN

RISKER I ERSÄTTNINGSSYSTEMET

Ersättningsrisk utgörs av risken för förlust eller annan skada som uppkommer till följd av ersättningssystemet.

Handelsbankens lönepolitik syftar till att bankens konkurrenskraft och lönsamhet ska utvecklas positivt och att banken kan attrahera, behålla och utveckla kompetenta medarbetare samt säkerställa en väl fungerande kompetensutveckling och chefsförsörjning. En god, långsiktig lönsamhets- och produktivhetsutveckling i banken skapar förutsättningar för en stabil och positiv löneutveckling för bankens medarbetare.

Ersättning för utfört arbete fastställs individuellt för varje medarbetare och utgår i form av fast kontant lön, sedvanliga löneförmåner och avsättningar till pension. Lönesättningen i Handelsbanken sker lokalt. Lönen fastställs i lönesamtal mellan medarbetaren och dennes chef. Denna ordning har tillämpats med stor framgång under många år och innebär att chefer på alla nivåer regelbundet deltar i löneprocesser och tar ansvar för bankens lönepolitik och den egna enhetens personalkostnadsutveckling. Lönen baseras på i förväg definierade lönegrundade faktorer: arbetsart och svårighetsgrad, kompetens, prestationsförmåga och uppnådda arbetsresultat, ledarskap för de som har utvecklingsansvar för medarbetare, utbud och efterfrågan på marknaden samt uppgiften som bäras av bankens kultur.

Handelsbanken har låg tolerans för ersättningsrisker och eftersträvar aktivt att hålla dessa risker på en låg nivå. Det sker bland annat genom att endast i ytterst begränsad omfattning använda rörlig ersättning och enbart inom områden där detta är marknadspraxis och nödvändigt för att uppnå målen för enhetens verksamhet. I de fall rörlig ersättning förekommer är den föremål för uppskjuten utbetalning.

Bankens principer för ersättningar till anställda har legat fast under lång tid. Principerna för bankens ersättningssystem fastställs i ersättningspolicyn som beslutas av styrelsen. Mer detaljerade tillämpningsföreskrifter beslutas av verkställande direktören. Ansvar för att identifiera och hantera ersättningsrisker vilar på varje ansvarig chef i verksamheten och sker enligt interna policydokument, riktlinjer och instruktioner. Lokal riskkontroll följer löpande upp att ersättningssystemet tillämpas på avsett sätt. Bankens centrala riskkontroll ansvarar för att analysera riskerna med ersättningspolicyn och ersättningssystemet inför att ersättningspolicyn årligen behandlas och beslutas av styrelsen. I rapporten analyseras bland annat incitamentsstruktur, balans mellan fast och rörlig ersättning, regler om uppskjutande samt effekter på

kapitalbasen. Centrala riskkontrollen utvärderar dessutom ersättningssystemets tillämpning. Utifrån denna riskanalys och utvärdering bedöms om ersättningssystemet är utformat på ett sätt som skulle kunna hota bankens finansiella ställning. Ansvar för omfattet även att säkerställa att riskkostnader i ersättningssammanhang beräknas på ett korrekt sätt.

Bedömningen är att Handelsbankens ersättningspolicy och ersättningssystem genererar låga risker och främjar en sund och effektiv riskhantering, motverkar ett överdrivet risktagande, harmoniserar med bankens låga risktolerans samt stöder bankens långsiktiga intressen. Ersättningssystemet är utformat så att det inte finns någon risk för att bankens kapitalbas riskerar att urholkas på grund av tvingande utbetalning av rörlig ersättning. Utrymme finns att nedsätta rörlig ersättning helt eller delvis – vilket gäller såväl avsättning till rörlig ersättning som ej utbetald uppskjuten rörlig ersättning.

För mer detaljerad information och statistik om bankens ersättningssystem, se bolagsstyrningsrapport och not K8.

EKONOMISKT KAPITAL

Handelsbankens modell för beräkning av ekonomiskt kapital fångar i ett mått koncernens samlade risker och anger det kapital som med en mycket hög sannolikhet ska täcka oväntade förluster eller värdeminskningar.

Centrala riskkontrollen har ansvaret för att bedriva en heltäckande bevakning av koncernens olika risker. Ett instrument i den bevakningen är bankens modell för ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC). EC-modellen utgör även grunden för bankens bedömning av internt kapitalbehov. Denna bedömning syftar till att säkerställa att koncernen vid varje tidpunkt har tillräckligt med kapital i förhållande till koncernens samtliga risker. Koncernperspektivet innebär att det ekonomiska kapitalet även innefattar risker i försäkringsrörelsen och risker i bankens pensionsåtaganden.

Beräkningen av EC görs med ett års tidshorisont och en konfidensnivå som speglar en acceptabel risknivå och önskad rating. Styrelsen har beslutat att beräkningen av ekonomiskt kapital ska göras på 99,97 procent konfidensnivå, vilket fångar in för banken extremt ogynnsam händelse. EC utgör skillnaden mellan utfallet under ett genomsnittligt år – med positivt resultat och god värdeutveckling av bankens tillgångar – och utfallet vid 99,97 procents konfidensnivå.

I sammanräkningen av EC beaktas diversifieringseffekter mellan de olika riskslagen. Kapitalbehovet för samtliga risker är således lägre än summan av det ekonomiska kapitalet för varje individuell risk för sig, eftersom riskerna delvis är beroende av varandra.

Det kapital och andra finansiella resurser som utgör en buffert som kan absorbera negativa utfall benämns tillgängliga finansiella resurser (Available Financial Resources, AFR). AFR är Handelsbankens eget kapital med tillägg av andra finansiella värden i och utanför balansräkningen som är tillgängliga för att täcka förluster med ett års tidshorisont.

Koncernen arbetar med ett aktieägarperspektiv på risk- och kapital situationen. Genom modellen för ekonomiskt kapital erhålls en samlad bild av koncernen som ger förutsättningar för att optimera risk- och kapital situationen utifrån aktieägarens perspektiv. Utfallet från beräkningarna spelar en viktig roll i den interna styrningen av banken och när nya affärer eller strukturförändringar övervägs.

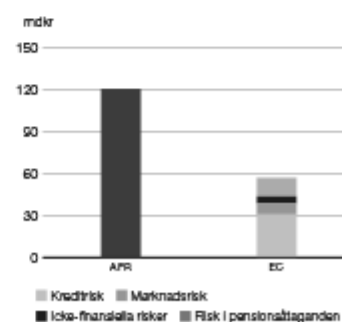
Kreditrisken är beräknad med hjälp av en simulering av utfall avseende fallsammanhang för koncernens samtliga motparter och exponeringar.

Marknadsriskerna består av risken i handelslagerklassificerade tillgångar, ränterisk i bankverksamheten, marknadsrisker i försäkringsrörelsen och av risken för värdeförluster i egna aktieinnehav.

Risken i pensionsåtagandena består i huvudsak av risken för att de värden som finns inom ramen för trygghandet av bankens pensionsåtagandena ska minska. Huvuddelen av pensionsåtagandena finns i Sverige och tryggas där i en pensionsstiftelse och försäkras i en tjänstepensionskassa.

De icke-finansiella riskerna består av operativ risk, affärsrisk, fastighetsrisk och försäkringsrisk. Affärsrisken är relaterad till oväntade resultatförändringar inom respektive affärsområde som kan uppstå. Exempelvis uppstår detta då efterfrågan eller konkurrensen förändras på

Sammanställning av AFR och EC inklusive diversifiering, 31 december 2014



ett oväntat sätt, med minskade volymer och pressade marginaler som följd. Fastighetsrisken fångar risken att de fastigheter som banken äger faller i värde.

EC uppgick till årsskiftet till 57 miljarder kronor (61), där kreditriskerna står för huvuddelen av den totala risken. Den av styrelsen fastställda målsättningen är att kvoten mellan AFR och EC ska överstiga 120 procent. Kvoten var vid årsskiftet 214 procent (197), vilket visar att banken är väl kapitaliserad i förhållande till sina totala risker. Finansinspektionen har inom ramen för sin samlade kapitalbedömning av banken kommit till samma slutsats.

Den redovisade risk- och kapitalstrukturen är en ögonblicksbild, även om det i riskberäkningarna ingår säkerhetsmarginaler för variationer i konjunkturen. För en slutlig bedömning av koncernens kapitalbehov måste också hänsyn tas till den stress- och scenarionanalys som genomförs inom ramen för bankens kapitalplanering.

KAPITALPLANERING

Handelsbankens kapitalplanering syftar till att säkerställa att koncernen vid varje tidpunkt har tillgängliga finansiella resurser och att kapitalet har en optimal sammansättning.

Avdelningen för kapitalplanering ansvarar för bedömningen av bankens samlade kapitalbehov. Kapitalbehovet är en funktion av koncernens risker, förväntade utveckling, regelverk och måttal. Handelsbankens modell för ekonomiskt kapital samt stresstester. Bankens kapitalbehov rapporteras veckovis till CFO och till VD och minst kvartalsvis till styrelsen.

Som en del av den proaktiva kapitalplaneringen finns en beredskaps- och handlingsplan med konkreta åtgärder som kan vidtas om banken behöver förbättra sin kapitalposition. Syftet med beredskaps- och handlingsplaneringen är att säkerställa att det finns ett varningssystem som upptäcker potentiella hot i ett tidigt skede och att koncernen är förberedd att skyndsamt kunna genomföra åtgärder, om så måste ske. Årligen upprättas en långsiktig kapitalplan som syftar till att ge en övergripande bild av koncernens nuvarande kapitalstruktur, en prognos över den förväntade kapitalutvecklingen och utfallet i olika scenarier. Dessa scenarier är utformade så att de väsentligt avviker från den förväntade utvecklingen och harmoniserar således med koncernens låga risktolerans. Kapitalplanen innehåller också förslag på hur kapitalstrukturen ska kunna behållas på en

tillfredsställande nivå i ett starkt negativt omvärldsscenario, både utifrån ett reglerings- och aktiesägarperspektiv.

Kapitalplaneringen är uppdelad i ett kort-siktigt och ett medellångt till långsiktigt prognosarbete. Den del av kapitalplaneringen som utgörs av kortskaliga prognoser på upp till två år är främst inriktad på att bedöma rådande resultatutveckling och utveckling av kapitalkravet. Prognosarbetet är nödvändigt för att löpande kunna anpassa kapitalbasens storlek och sammansättning.

Kapitalplanering görs genom en löpande analys av volym-, risk- och resultatutveckling samt genom beräkning av händelser som kan påverka kapitalbehov och kapitalmängd. Det kortskaliga prognosarbetet omfattar alla delkomponenter som utgör koncernens kapitalbas. I detta arbete ingår också att i ett kortskaligt perspektiv utföra olika känslighetsanalyser av den förväntade utvecklingen av kapitalkravet och kapitalbasen för att vid behov vara beredd att påverka kapitalbasens storlek och sammansättning genom till exempel marknadsoperationer.

Resultatet av den kortskaliga analysen utgör grunden för de eventuella kapitaloperationer som genomförs, och resultatet rapporteras löpande till CFO och VD samt vid behov till styrelsen. Analysen utgår från ett försiktigt grundscenario med beslutspunkter i närtid om hur den befintliga intjäningsförmågan klarar av att bära olika volymförändringar, och vilka effekter som uppkommer av potentiella kapitaloperationer.

Den del av kapitalplaneringen som utgörs av medellånga till långskaliga prognoser syftar till att säkerställa dels att de lagstadgade kapitalkraven uppfylls, dels att koncernens AFR vid varje tidpunkt med marginal täcker alla risker beräknade enligt modellen för ekonomiskt kapital.

Syftet är att prognostisera den förväntade utvecklingen och bedöma huruvida bankens motståndskraft är tillfredställande i olika scenarier. Planeringsperioden är minst fem år och beaktar utvecklingen i hela koncernen.

Även i detta prognosarbete utförs scenario- och stresstester kontinuerligt. Basen för kapitalprognosen är ett grundscenario som ges av den förväntade utvecklingen under de kommande fem åren beträffande resultat, volymtillväxt, finansiella antaganden, som exempelvis kreditförluster, samt utveckling på aktie-, fastighets- och räntemarknaden. Grundscenariot ställs sedan mot utfallet i ett antal konjunktur- och krisscenarier. Stressscenarierna har fastställts efter analys av de historiska sambanden mellan olika makroekonomiska variablers påverkan på de finansiella marknaderna och har valts utifrån de scenarier som kan förväntas påverka Handelsbanken mest negativt.

Resultatet av den interna kapitalutvärderingen rapporteras kvartalsvis till styrelsen.

Käprämärkapitalrelationen uppgick vid utgången av 2014 till 20,4 procent. Kvoten mellan

AFR och EC uppgick till 214 procent vid samma tidpunkt. Således överstiger AFR det bedömda interna kapitalbehovet (EC) med mycket god marginal.

Bankens starka position framhävs ytterligare av resultatet av de olika framtidsblickande stressscenarier som utförs, vilket visar på att Handelsbankens långskaliga kapitalisering är mycket stabil ur ett ekonomiskt och legalt perspektiv.

Koncernens måttal för regleringsmässigt kapital

Målen för bankens kapitalisering fastställs löpande av styrelsen. En hörnsten i den interna kapitalbehovsbedömningen av den regleringsmässiga kapitalstrukturen är stress- och scenarionalyser av bankens situation både i det långa och i det korta perspektivet. De scenarier som används grundas i första hand på bankens interna risktolerans samt på krav som kommer direkt av regelverket eller andra myndighetskrav. Utöver den interna bedömningen av kapitalbehovet har Finansinspektionen i samband med införandet av det nya kapitaltäckningsregelverket kommunicerat att svenska bankers måttal, oaktat bankernas interna beräkningar, inte får understiga det av Finansinspektionen framräknade samlade kapitalbehovet. Banken har beaktat detta vid fastställandet av måttalen för den regleringsmässiga kapitalstrukturen.

Styrelsen har beslutat att Käprämärkapitalrelationen, som är det mest relevanta måttet för styrningen av banken enligt nuvarande regler, under normala förhållanden ska uppgå till mellan 1 och 3 procentenheter över det av Finansinspektionen kommunicerade samlade kapitalbehovet. Övriga kapitaldelar (primärkapitalrelation och total kapitalrelation) ska minst uppgå till 1 procentenhet högre värde än det samlade kapitalbehovet som Finansinspektionen har kommunicerat för dessa delar.

NOTER | KONCERNEN

K3 Räntenetto

mil	2014	2013
Ränteintäkter		
Utlåning till kreditinstitut och centralbanker	1 642	1 575
Utlåning till allmänheten	49 280	52 614
Betalningsbara statskultförbindelser m m	719	2 106
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	1 016	1 898
Derivatinstrument	-2 484	-2 556
Övriga ränteintäkter	1 359	1 459
Summa ränteintäkter	51 532	57 098
Varav ränteintäkter redovisade i nettoresultat av finansiella poster värderade till verkligt värde	633	2 633
Ränteintäkter enligt resultaträkning	50 899	54 465
Räntekostnader		
Skulder till kreditinstitut och centralbanker	-1 033	-1 287
In- och upplåning från allmänheten	-3 686	-4 608
Emitterade värdepapper	-21 233	-23 137
Derivatinstrument	4 838	3 591
Efterställda skulder	-1 283	-1 214
Övriga räntekostnader	-1 523	-3 294
Summa räntekostnader	-23 920	-29 940
Varav räntekostnader redovisade i nettoresultat av finansiella poster värderade till verkligt värde	-265	-2 155
	-23 655	-27 794
Räntenetto	27 244	26 669

Inkluderar ränteintäkter på osäkra fordringar 98 mil (107). Totala ränteintäkter på tillgångar bokförda till upplupet anskaffningsvärde samt tillgångar som är tillgängliga för försäljning var 52 407 mil (55 789). Totala räntekostnader på skulder bokförda till upplupet anskaffningsvärde var 28 493 mil (31 385).

K4 Provisionsnetto

mil	2014	2013
Courtage och övriga värdepappersprovisioner	1 104	1 189
Fonder	2 475	2 008
Depå och övrig kapitalförvaltning	540	427
Rädgivning	235	278
Försäkringar	637	571
Betalningar	3 133	2 813
Ut- och inlåning	1 131	1 124
Garantier	424	438
Övrigt	464	446
Summa provisionsintäkter	10 143	9 294
Wärdepapper	-225	-228
Betalningar	-1 278	-1 175
Övrigt	-84	-87
Summa provisionskostnader	-1 587	-1 490
Provisionsnetto	8 556	7 804

K5 Nettoresultat av finansiella transaktioner

mkr	2014	2013
Handel, derivat, valutakurseffekter m m	-955	2 049
Övriga finansiella instrument till verkligt värde över resultaträkningen	2 277	-785
varav räntebärande värdepapper	2 259	-707
varav lån	18	-78
Finansiella instrument till upplupet anskaffningsvärde	160	126
varav lån	671	416
varav skulder	-451	-290
Finansiella instrument tillgängliga för försäljning	369	24
Säkringsredovisning		
Säkring av verkligt värde	-81	-26
varav säkringsinstrument	127	-1 575
varav säkrad post	-278	1 549
Ineffektivitet på kassaflödessäkringar	10	28
Ineffektivitet på säkringar av nettoinvesteringar i utlandsverksamhet	-	-
Vinstförut på dekomponerade försäkringskontrakt	-3	-59
Summa	1 777	1 367

Handel, derivat, valutakurseffekter med mera
Posten innehåller i huvudsak orealiserade och realiserade marknadsvärdesförändringar samt räntor avseende finansiella tillgångar och skulder som innehas för handelsändamål.

Övriga finansiella instrument till verkligt värde över resultaträkningen
Posten består av orealiserade och realiserade värdeförändringar på sådana instrument som vid första redovisningstillfället klassificerats att värderas till verkligt värde över resultaträkningen.* Orealiserade värdeförändringar på dessa instrument består av ränte- och valutaeffekter samt effekter av ändrad kreditrisk. Den ackumulerade värdeförändring som beror av förändringar av kreditrisk från det första redovisningstillfället av utlåning som klassificerats att värderas till verkligt värde över resultaträkningen uppgår till 4 miljoner kronor (-14).

Finansiella instrument till upplupet anskaffningsvärde
Posten består av realisationsresultat som uppstår vid förtidslöst utlåning, samt realisationsresultat som genereras vid återköp av egna emitterade värdepapper.

Finansiella instrument tillgängliga för försäljning

Posten består av realiserat resultat avseende sådana finansiella tillgångar som klassificerats som tillgängliga för försäljning. Räntetäcknad från dessa tillgångar redovisas i räntenettot och utdelningar på raden Övriga utdelningsintäkter. Orealiserade värdeförändringar på finansiella tillgångar som är tillgängliga för försäljning redovisas i övrigt totalresultat och uppgick till 244 miljoner kronor (588) före skatt under räkenskapsåret. Realiserade värdeförändringar på finansiella instrument tillgängliga för försäljning, som tidigare redovisats i övrigt totalresultat och som under räkenskapsåret omklassificerats till resultaträkningen, uppgick till 51 miljoner kronor före skatt (-51). Beloppet har delvis redovisats i räntenettot.

Säkringsredovisning

På raden Säkring av verkligt värde redovisas nettoresultatet av orealiserade och realiserade förändringar i verkligt värde på säkringsinstrument respektive säkrad riskkomponent i finansiella tillgångar och skulder som ingår i säkringspektet. Räntetäcknad och räntekostnader som härrör från säkringsinstrument redovisas i räntenettot. Värdeförändringar på säkringsinstrument i kas-

safödessäkringar som överstiger värdeförändringar på säkrade framtida kassaflöden, redovisas på raden Ineffektivitet på kassaflödessäkringar. Resultateffekten av ineffektiva delar av säkringar av nettoinvesteringar i utlandsverksamhet redovisas på raden Ineffektivitet på säkringar av nettoinvesteringar i utlandsverksamhet.

Resultat på dekomponerade försäkringskontrakt

Resultat på dekomponerade försäkringskontrakt motsvaras av det resultat som har uppkommit vid beräkning av garanterad avkastning på den finansiella komponenten i dekomponerade försäkringskontrakt.

* Värdeförändringar som härrör från finansiella instrument som utgör placeringstillgångar i koncernens försäkringsverksamhet ingår inte i denna post. Principerna för redovisning av resultat som härrör från försäkringsverksamhet framgår av not K1.

K6 Riskresultat försäkring

mkr	2014	2013
Premieintkomst	510	586
Utbetalda försäkringsersättningar	-377	-433
Förändring avsättningar oreglerade skador	45	25
Övrigt	-13	-36
Summa	165	142

K7 Övriga intäkter

mkr	2014	2013
Hyrinntäkter	34	32
Andra rörelseintäkter	269	153
Summa	303	185

NOTER | KONCERNEN

K8 Personalkostnader

mkr	2014	2013
Löner och arvoden	-7 574	-7 107
Sociala avgifter	-1 851	-1 780
Pensionskostnader ¹	-1 091	-974
Avsättning till värdandestiftelse	-795	-1 096
Andra personalkostnader	-455	-447
Summa	-11 766	-11 404

¹ Komponenterna i redovisade pensionskostnader framgår av tabellen Pensionskostnader.

Löner och arvoden mkr	2014	2013
Ledande befattningshavare ²	-144	-134
Övriga	-7 430	-6 973
Summa	-7 574	-7 107

² Executive Directors och styrelse i moderbolaget samt VD:ar, Vice VD:ar och styrelser i dotterbolag.

Könsfördelning	2014		2013	
%	Män	Kvinnor	Män	Kvinnor
Ledande befattningshavare exklusive styrelser	67	33	70	30
Styrelser	71	29	69	31
Varav i moderbolaget	80	20	73	27
Varav i dotterbolag	70	30	69	31

Medelantal anställda	2014	Män	Kvinnor	2013	Män	Kvinnor
Sverige	7 383	3 402	3 981	7 537	3 465	4 072
Norge	766	415	351	755	412	343
Finland	613	250	364	615	256	359
Danmark	702	347	355	699	348	351
Storbritannien	1 667	1 000	667	1 351	813	538
Luxemburg	67	39	28	73	42	31
Tyskland	59	32	27	64	36	28
USA	74	47	27	76	48	28
Nederländerna	140	86	54	113	74	39
Singapore	38	9	29	37	9	28
Hongkong	69	26	43	68	26	42
Polen	43	16	27	45	18	27
Ryssland	1	1	0	5	2	3
Övriga länder	70	28	42	65	25	40
Summa	11 892	5 707	6 185	11 808	5 574	6 234

Ersättningar ² över en miljon EUR	2014	2013
Antal personer		
Lönesteg 1,0–1,5 mn euro	4	5
Lönesteg 1,5–2,0 mn euro	1	1
Lönesteg 2,0–2,5 mn euro	1	-
Lönesteg över 2,5 mn euro	-	-
Summa	6	6

² Inklusiva pension och andra löneförmåner.

ERSÄTTNINGAR TILL ANSTÄLLDA

Information om ersättningsprinciper till samtliga anställda i Handelsbankkoncernen beskrivs närmare i bolagsstyrningsrapporten på sidorna 59–60. Handelsbanken har definierat 7 662 (7 380) medarbetare vilkas verksamhet i tjänsten väsentligt kan påverka koncernens riskprofil. I Handelsbanken benämnda som "Särskilt reglerad personal". I tabellerna redogörs för koncernens ersättningar till dessa medarbetare enligt kommissionens delegerade förordning (EU) 604/2014 och enligt FFFS 2011:1 senast ändrad i FFFS 2014:22.

Handelsbanken avsatte år 2014 1 096 miljoner kronor till resultatandelsystemet Oktogonen. Efter avdrag för sociala avgifter motsvarade det andelar i Oktogonen till ett värde av 77 888 (74 892) kronor för en heltidsanställd medarbetare.

ERSÄTTNINGAR TILL LEDANDE BEFATTNINGSHAVARE

Enligt aktiebolagslagen ska årsstämman fastställa riktlinjer för ersättning till ledande befattningshavare. Årsstämman 2014 fastställde sådana ersättningsriktlinjer vilka angav att riktlinjerna ska tillämpas för den verkställande direktören och för de vice verkställande direktörerna. Under 2014 har Handelsbanken förändrat gruppen ledande befattningshavare och gruppen består nu, utöver styrelsen, av de personer som framgår av bolagsstyrningsrapporten sidorna 64–65, vilka benämns Executive Directors. För samtliga Executive Directors och de personer som omfattades av årsstämmans ersättningsriktlinjer, tillämpas riktlinjerna. Ersättning till verkställande direktören och övriga Executive Directors utgår endast i form

av fast lön och avsättning till pension samt sedvanliga förmåner som till exempel tjänstebil. Som en del av ersättningen kan Handelsbanken även tillhandahålla en tjänstebostad efter särskilt beslut från styrelsen. Rörig ersättning förekommer inte. Executive Directors omfattas av Handelsbankens resultatandelsystem Oktogonen på samma villkor som alla medarbetare i banken och har även rätt att väda lön till pension på samma villkor som gäller för alla andra medarbetare.

Styrelseledamöter i Handelsbankkoncernen som inte är anställda i banken har endast erhållit arvode enligt årsstämmans beslut.

Styrelseledamöter som är anställda i banken eller dess dotterbolag erhåller ersättning och pensionsförmåner med anledning av sin anställning. Inga ytterligare ersättningar eller pensionsförmåner utgår på grund av styrelsuppdraget. Arvode till styrelseledamöter i moderbolaget återfinns på sidorna 62–63 i bolagsstyrningsrapporten.

Verkställande direktörens ersättningar och pensionsvillkor

Verkställande direktören i moderbolaget, Pär Boman, har år 2014 erhållit en fast lön efter växling till pension om 11,2 miljoner kronor (11,3). Övriga löneförmåner uppgick till 0,3 miljoner kronor (0,2). Externa arvoden från styrelsuppdrag för bankens räkning har levererats in till banken.

Verkställande direktörens pensionsålder är 65 år. Förmånsbestämd pension intjänas successivt fram till 60 års ålder och motsvarar vid denna tidpunkt 60 procent av pensionsgrundande lön inklusive förväntad utbetalning från lagstadgad försäkring. Den intjänade

förmånsbestämda pensionen räknas om enligt försäkringstekniska grunder för utbetalning vid pensioneringstillfället. Mellan 60 till 65 år utges istället en pensionspremie som uppgår till 35 procent av den pensionsgrundande lönen före växling till pension.

Intjänad förmånsbestämd pension är oantastbar och vid avgång ur tjänst före 60 års ålder erhåller verkställande direktören fribrev på intjänad förmånsbestämd pensionsrätt.

Pensionskostnad² för verkställande direktören uppgick 2014 till 7,1 miljoner kronor (5,8). Före växling till pension uppgick pensionskostnaden till 6,1 (5,8) vilket motsvarar 49,9 procent av pensionsgrundande lön (51,4).

Ersättningar och pensionsvillkor till övriga Executive Directors i moderbolaget

Pensionsvillkor
Av bankens övriga Executive Directors erhåller tolv (12) personer förmånsbestämd ålderspension med som mest 65 procent av den pensionsgrundande lönen vid pensioneringstillfället samt erhåller en pensionspremie uppgående till som mest två procent av pensionsgrundande lön. Pensionsålder är som lägst 60 år³ och den förmånsbestämda ålderspensionen intjänas successivt under anställningstiden och är för dessa personer fullt intjänad vid uppnådd pensionsålder.

En (1) Executive Director med 65 års pensionsålder har förmånsbestämd ålderspension som är fullt intjänad vid 60 års ålder samt erhåller en pensionspremie med två procent av pensionsgrundande lön fram till 60 år. Mellan 60 till 65 år utges istället en pensionspremie som uppgår till 35 procent av pensionsgrundande lön.

Sju (7) Executive Directors erhåller premie-

NOTER | KONCERNEN

Ersättningar ¹ till särskilt reglerad personal ² , segment	2014		2013	
	Ersättning	Antal personer	Ersättning	Antal personer
mikr				
Kontorarbetsen i Sverige	1 894	3 184	1 668	3 136
Kontorarbetsen i Storbritannien	765	836	506	678
Kontorarbetsen i Danmark	428	456	393	452
Kontorarbetsen i Finland	171	307	150	320
Kontorarbetsen i Norge	513	615	479	626
Kontorarbetsen i Nederländerna	39	39	35	40
Capital Markets	2 005	1 803	1 892	1 724
Övrigt	467	422	417	404
Summa	6 282	7 662	6 640	7 380

Ersättningar ¹ till särskilt reglerad personal ²	2014		2013	
	Verkställande ledning ³	Övrigt särskilt reglerad personal	Verkställande ledning ³	Övrigt särskilt reglerad personal
Inlämnade fasta ersättningar, mikr	138	6 029	128	5 314
Inlämnade rörliga ersättningar, mikr	-	115	-	107
Summa	138	6 144	128	5 421
Antal personer som enbart fått fast ersättning	21	7 378	19	7 075
Antal personer som både fått fast och rörlig ersättning	-	263	-	286
Summa antal personer	21	7 641	19	7 361
Tilldelade rörliga ersättningar, mikr	-	115	-	91
varav uppskjutet	-	59	-	45
varav utbetalt	-	56	-	46
Antal personer till vilka rörlig ersättning tilldelats	-	216	-	202
Inlämnade uppskjutna rörliga ersättningar	-	102	-	57
Ärets tilldelade och uppskjutna rörliga ersättningar	-	59	-	45
Utbetalt under året	-	9	-	-
Justerat under året	-	-12	-	-
Utgående uppskjutna rörliga ersättningar	-	108	-	102
Garanterade kostnadsfria rörliga ersättningar i samband med nyanställning, mikr	-	-	-	2
Uttäta garanterade rörliga ersättningar i samband med nyanställning, mikr	-	-	-	-

Inlämnade ersättningar har kostnadsförts i sin helhet. Inlämnade rörliga ersättningar tilldelas på individuell nivå under räkenskapsåret efter inlämnandet. Ärets tilldelade rörliga ersättningar inlämnades i sin helhet under 2013. Tilldelade rörliga ersättningar betalas ut eller skjuts upp i enlighet med bankens policy för rörliga ersättningar. Förtroendestämman över uppskjutna ersättningar övergår till den anställda vid utbetalningstillfället. All rörlig ersättning utgår kontant. Beloppet redovisas exklusive sociala avgifter. Under året har, för särskilt reglerad personal, avgångsvederlag till 51 personer (51) kostnadsförts med 46 mkr (51) och uttåts med 47 mkr (46) till 52 personer (77). Det högsta enskilda uttåta avgångsvederlaget uppgår till 4,1 mkr (4,5). Under året har garanterad rörlig ersättning erhållits av 0 personer (3).

¹ Inklusiv pension och övriga löneförmåner.

² Anställda vars arbetsuppgifter i tjänsten väsentligt kan påverka bankens riskprofil (kommissionens delegerade förordning (EU) 604/2014).

³ Finansinspektionen använder begreppet verkställande ledning i sina föreskrifter FFFS 2014:22. I Handelsbanken motsvaras detta av bankens Executive Directors.

bestämd pension. Premien är individuell och uppgår som högst till 50 procent av den pensionsgrundande lönen. Tre (3) av dessa personer omfattas i tillägg till den premiebestämda pensionen, av kollektivavtalad BTP och BTPK med 65 års pensionsålder.

Inlämnad förmånsbestämd pension är oantastbar och tryggas i bankens pensionsstiftelse eller försäkras i bankens pensionskassa. Vid avgång ur tjänst före pensionsålder erhålls förtäring på inlämnad förmåns- och premiebestämd pension.

Ersättningar

Vice verkställande direktör Anders Ohlner har år 2014 erhållit fast lön om 3,7 miljoner kronor (3,5). Övriga löneförmåner utgör 0,3 miljoner kronor (0,2) och pensionskostnad uppgick till 1,6 miljoner kronor (1,5) vilket motsvarar 44,0 procent av pensionsgrundande lön (45,9).

Övriga Executive Directors, 19 personer, har erhållit fasta löner efter växling till pension om 77,9 miljoner kronor. Övriga löneförmåner utgör 6,4 miljoner kronor och pensionskostnad uppgick till 28,5 miljoner kronor. Före växling till pension uppgick pensionskostnaden till 28,0 miljoner kronor vilket motsvarar 40,3 procent av pensionsgrundande lön.

De 23 personer (19) i moderbolaget som angivits i ersättningsriktlinjerna från årsstämman 2014, den verkställande direktören och de vice verkställande direktörerna, har erhållit fasta löner efter växling till pension om 97,9 miljoner kronor (89,2). Övriga löneförmåner utgör 7,3 miljoner kronor (5,8) och pensionskostnad uppgick till 45,6 miljoner kronor (32,6). Före växling till pension uppgick pensionskostnaden till 39,4 miljoner kronor (32,6) vilket motsvarar 43,8 procent av pensionsgrundande lön (41,9). Av dessa 23 personer ingår 18 i gruppen Executive Directors.

Arvoden från externa styrelseuppdrag för bankens räkning har levererats in till banken.

Ersättningar till ledande befattningshavare i dotterbolag

Arvode till styrelseledamöter i dotterbolag, 11 personer (10) vilka inte är anställda i banken eller dess dotterbolag uppgår till 1,2 miljoner kronor (0,8).

Verkställande direktörer och vice verkställande direktörer i dotterbolag, 22 personer (17), har år 2014 erhållit fasta löner efter växling till pension om 39,0 miljoner kronor (33,8). Övriga löneförmåner utgör 1,4 miljoner kronor (1,9) och pensionskostnad uppgick till 5,9 miljoner

* Pensionsgrundande lön utgörs av avtalad fast lön före eventuell växling till pension.

** I pensionskostnad ingår inlämnad förmånsbestämd pension samt premier till premiebestämd pension.

*** I nya pensionsavtal som ingått efter 1 januari 2012 tillämpas 65 år som pensionsålder.

NOTER | KONCERNEN

K8 Forts

kronor (5,7). Före växling till pension uppgick pensionskostnaden till 5,8 miljoner kronor (5,7) vilket motsvarar 19,6 procent av pensionsgrundande lön (24,8).

Ersättning utges ej till verkställande direktörer och vice verkställande direktörer i dotterbolag vilka har en annan huvudsaklig arbetsuppgift i Handelsbanken.

PENSIONSFORPLIKTELSE
TILL LEDANDE BEFATTNINGSHAVARE

Pensionsförpliktelser**** för verkställande direktören, Pär Boman, uppgick till 169,6 miljoner kronor per 31 december 2014 (143,3). Pensionsförpliktelserna för vice verkställande direktören Anders Ohlner uppgick till 51,2 miljoner kronor per 31 december 2014 (45,6) och för övriga Executive Directors i moderbolaget, 19 personer till 729,0 miljoner kronor för 2014.

Pensionsförpliktelser för de 23 personer (19) i moderbolaget som angivits i ersättningsaktinerna från årsstämman 2014, den verkställande direktören och de vice verkställande direktö-

terna, uppgick den 31 december 2014 till 1 185 miljoner kronor (1 028). Av dessa 23 personer ingår 18 i gruppen Executive Directors.

Pensionsförpliktelserna i Handelsbanken-koncernen för samtliga nuvarande och tidigare ledande befattningshavare uppgick till 2 316 miljoner kronor per 31 december 2014 (2 308). Pensionsförpliktelser för samtliga nuvarande och tidigare ledande befattningshavare i moderbolaget uppgick till 2 192 miljoner kronor per 31 december 2014 (2 124). Antal personer som omfattas av dessa förpliktelser är i koncernen 78 (75), varav 47 är pensionärer (44). Motsvarande antal för moderbolaget är 63 (57), varav 42 (38) är pensionärer.

KREDITER TILL OCH INLÄNING FRÅN
LEDANDE BEFATTNINGSHAVARE

Krediter till ledande befattningshavare i moderbolaget uppgick per 31 december 2014 i moderbolaget till 206 miljoner kronor (105) och i dotterbolagen till 61 miljoner kronor (50). Inlåning till moderbolaget från dessa personer

uppgick till 918 miljoner kronor (629). Bankens räntetäkter från dessa personer för krediter i moderbolaget uppgick för 2014 till 2,2 miljoner kronor (3,8) och i dotterbolagen till 1,0 miljoner kronor (1,9). Erlagd ränta till dessa personer för inlåning i moderbolaget uppgick till 10,2 miljoner kronor (13,3).

Krediter till ledande befattningshavare i dotterbolagen uppgick per 31 december 2014 i Handelsbankkoncernen till 235 miljoner kronor (192).

Villkor för krediter och inlåning för ovan nämnda personer är i enlighet med samma principer som för alla andra medarbetare i Handelsbankkoncernen. Alla krediter beviljas efter kreditprövning.

**** Pensionsförpliktelser avser belopp som banken enligt IAS19 reserverar för utbetalning av framtida förmånsbaserade pensioner. Storlek på belopp beror på transaktionella och demografiska antaganden vilka kan ändras mellan åren.

Pensionsförpliktelser, netto mkr	2014	2013
Pensionsförpliktelser	24 938	21 556
Förvaltningsutgångarnas verkliga värde	23 458	23 289
Pensionsnetto	-1 480	1 733

Utöver pensionsförpliktelserna och förvaltningsutgångarna i tabellen ovan finns inom Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse avsättningar som gjorts under åren 1989-2004 till en särskild kompletterande pension (SKP). I den ingår förvaltningsutgångar vars marknadsvärde uppgår till 11 970 mkr (11 042 mkr). SKP:n medför en utbetalning för banken uppgående till samma belopp som förvaltningsutgångarna.

En del av denna utbetalning, 9 518 mkr (8 655), är villkorad.

Inga väsentliga planändringar, reduceringar och regleringar har gjorts under året.

Pensionskostnader mkr	2014	2013
Pensioner intjänade under året	-656	-653
Ränta på pensionsförpliktelserna	-729	-640
Ränta på förvaltningsutgångar	781	659
Vinstar och förluster från regleringar och reduceringar	-2	46
Sociala avgifter, förmånsbaserade planer	-12	-10
Pensionskostnader, förmånsbaserade planer	-618	-608
Pensionskostnader, avgiftsbaserade planer	-478	-392
Sociala avgifter, avgiftsbaserade planer	5	16
Totala pensionskostnader	-1 091	-974

Pensionsförpliktelser mkr	2014	2013
Ingående balans	21 556	20 712
Pensioner intjänade under året	656	653
Ränta på pensionsförpliktelserna	729	640
Betalda förmåner	-684	-650
Vinstar och förluster från regleringar och reduceringar	2	46
Aktuariella vinstar (-)/förluster (+)	2 441	306
Valutaeffekt	238	-59
Utgående balans	24 938	21 658

Beräkningen av pensionsförpliktelserna 2014 avseende anställda i Sverige bygger på DUS14 som är på marknaden vedertagna antaganden om livslängd baserade på statistisk frekvens av Svensk Försäkring. Motsvarande beräkning för 2013 är baserad på DUS06.

Förvaltningsutgångar mkr	2014	2013
Ingående balans	23 289	21 478
Ränta på förvaltningsutgångar	781	659
Tillskjutna medel från arbetsgivaren	280	148
Ersättning till arbetsgivaren	-572	-575
Utbetalda medel direkt till anställd	-176	-159
Aktuariella vinstar (-)/förluster (+)	-320	1 774
Valutaeffekt	176	-36
Utgående balans	23 458	23 289

Ävskänning på förvaltningsutgångar mkr	2014	2013
Ränta på förvaltningsutgångar	781	659
Aktuariella vinstar (-)/förluster (+)	-320	1 774
Verklig ävskänning	461	2 433

Fördelning av förvaltningsutgångar mkr	2014	2013
Noterade aktier och andelar	21 316	20 825
Icke-noterade aktier och andelar	493	414
Noterade räntebärande värdepapper	1 807	1 580
Icke-noterade räntebärande värdepapper	224	165
Övriga förvaltningsutgångar	-382	305
Summa	23 458	23 289

I förvaltningsutgångarna ingår aktier i Svenska Handelsbanken AB (publ) med ett marknadsvärde om 0 mkr (0) på balansdagen 2014-12-31. Obligationer utgivna av Svenska Handelsbanken AB (publ) ingår med ett marknadsvärde om 570 mkr (561). I övriga förvaltningsutgångar ingår en skuld avseende ännu ej utbetald gottgörelse.

NOTER | KONCERNEN

Aktuariella vinster (-)/förluster (+), pensionsförpliktelser mkr	2014	2013
Ändringar i demografiska antaganden	752	1 194
Ändringar i finansiella antaganden	1 679	-888
Summa	2 441	306

Framtida kassaflöden mkr	Utlöst 2014	Prognos 2015
Betalda förmåner	-684	-656

Förmånsbestämd pension utgår huvudsakligen för personal i Sverige, Norge och Storbritannien. Av den totala pensionsförpliktsen avser 21 311 mkr (19 015) den svenska planen, 1 219 mkr (959) den norska planen och 2 373 mkr (1 559) planen i Storbritannien. Därutöver finns en förmånsbestämd plan i Tyskland av mindre omfattning, som med hänsyn till sin storlek inte anses väsentlig och därför inte redogörs för närmare.

I Sverige utgår ålderspension från och med 65 års ålder enligt pensionsavtal mellan BAO och Finansförbundet/BAO-förbunden med 10% av årlönen, upp till 7,5 inkomstbasbelopp. På lönebelopp i inkomstbasbeloppintervall 7,5–20 utgår ålderspension med 65% och i inkomstbasbeloppintervall 20–30 med 32,5% av årlönen. På lönebelopp överstigande 30 inkomstbasbelopp utgår ingen ålderspension.

I Norge utgår ålderspension från och med 67 års ålder. Pensionens storlek beror bland annat på tjänstgöringstid och slutlön upp till 12 grundbelopp. Inklusive lagstadgad pension förväntas ålderspensionen bli ca 70% av slutlönen upp till 12 grundbelopp.

I Storbritannien utgår förmånsbestämd pension för personal som anställdes innan den 1 januari 2006. För personal som anställdes därefter utgår premiebestämd pension. Normal pensionsålder är 65 år. Maximal ålderspension är ca 67% av pensionsmedförande lön, vilken uppnås efter 40 års tjänstetid. Pensionsmedförande lön begränsas av ett maxbelopp som för närvarande uppgår till 137 400 GBP.

Pensionsplanerna är externt fonderade, där förvaltningsföretagarna innehåller av pensionskassa, stiftelser eller liknande juridiska personer. Dessa verksamheter regleras av nationella bestämmelser och praxis, vilket även reglerar förhållandet mellan koncernen och förvaltare (eller motsvarande) av förvaltningsföretag, samt sätter ramar för hur förvaltningsföretag får placeras. I Sverige är det främst Tyggandelagen och Lagen om understöddsföreningar som är tillämpliga. I Norge tillämpas Företagspensionslagen och i Storbritannien standard UK pensions and tax law.

Väsentliga antaganden	Sverige		Norge		Storbritannien	
	2014	2013	2014	2013	2014	2013
Diskonteringsränta, %	3,0	3,3	2,8	4,1	3,4	4,4
Förväntad löneökning, %	3,5	3,5	3,3	3,8	4,7	5,0
Pensionsuppräktning, %	2,0	2,0	3,0	3,5	3,2	3,4
Inkomstbasbelopp, %	3,0	3,0	na	na	na	na
Inflation, %	2,0	2,0	1,8	1,8	3,4	3,7
Personalsättning, %	3,0	3,0	0-8 ^a	0-8 ^a	na	na
Förväntad återstående livslängd vid pension, år	21,9	21,2	21,6	18,0	25,0	23,4
Gemensamtlig duration, år	16,7	15,6	23,0	21,9	23,0	23,0

^a Åldersberoende trappa. För de yngsta 8% årligen för att sedan successivt gå ner till 0% för de äldre.

Känslighetsanalys	Påverkan på pensionsförpliktsen				
	Ändring i antagande	Ökad pensionsförpliktsen, mkr		Minskad pensionsförpliktsen, mkr	
		2014	2013	2014	2013
Diskonteringsränta, %	0,5	2 544	2 063	-2 214	-1 808
Förväntad löneökning, %	1,0	1 508	962	-1 656	-1 287
Pensionsuppräktning, %	0,5	1 183	988	-1 451	-1 430
Förväntad återstående livslängd vid pension, år	1,0	786		-767	

Känslighetsanalysen ovan baseras på att ett antagande förändras och övriga antaganden är konstanta. I praktiken är det osannolikt att dessa inifrån och förändringar i vissa antaganden kan vara korrelerade. Vid beräkningen av känsligheten i pensionsförpliktsen av förändringar i väsentliga antaganden, har samma metod används för att beräkna pensionsförpliktsen som den som används för den redovisade pensionsförpliktsen. Metoden beskrivs närmare i bankens redovisningsprinciper (se not K1, avsnitt 20). Jämfört med årsredovisningen 2013 har det inte skett några förändringar i de metoder som används vid upprättandet av känslighetsanalysen. Antagande om förväntad återstående livslängd vid pension har lagts till i känslighetsanalysen i jämförelse med föregående år.

Genom sina förmånsbestämda pensionsplaner är banken exponerad för ett antal risker. De viktigaste riskerna beskrivs nedan:

Tillfälligevalstiltale: Pensionsförpliktsen beräknas med hjälp av en diskonteringsränta som baseras på företagsobligationer. Om förvaltningsföretagarna genererar större avkastning än diskonteringsräntan, kommer det att skapa ett underskott. I förvaltningsföretagarna ingår en betydande andel aktier, vilket förväntas ge högre avkastning än företagsobligationer på lång sikt, samtidigt som det ger högre volatilitet och risk på kort sikt. Med anledning av pensionsförpliktsens långsiktiga karaktär anser banken att en fortsatt hög andel aktier är lämplig för att hantera planerna effektivt.

Förändringar i obligationeräntan: Om företagsobligationsräntorna sjunker så kommer pensionsförpliktsen att öka. Detta kommer dock delvis att kompenseras genom att värdet av de obligationer som ingår i förvaltningsföretagarna kommer att öka.

Inflationerisk: Pensionsförpliktserna är kopplade till inflationen. Högre inflation kommer att leda till att pensionsförpliktsen ökar. Förvaltningsföretagarna påverkas inte av inflationen i någon väsentlig utsträckning, vilket innebär att om inflationen ökar så kommer det att leda till ett ökat underskott i pensionsplanerna.

Förväntad livslängd: Syftet med pensionsplanerna är att generera en pension som sträcker sig över den anställdes livstid. Detta innebär att om den förväntade livslängden ökar så kommer pensionsförpliktsen att öka.

Matchning av tillgångar och skulden: Placering av tillgångar utgår från uttalslansernas sammansättning och förväntade utveckling. Den övergripande målsättningen är att placeringstillgångarnas avkastning på medellång och lång sikt minst ska motsvara pensionsförpliktsens utveckling. Den största andelen av tillgångarna har investerats i aktier, men investeringar har även gjorts i räntebärande instrument och likvida medel. En hög andel aktier anses lämplig för att hantera planerna effektivt.

Fondering: Lägsta fonderingskrav skiljer sig åt mellan planer men där sådana krav är baserade på kollektivavtal eller internt fastställt policy så är fonderingskravet normalt att pensionsförpliktsen värderade till lokala krav ska täckas fullt ut. Fonderingsnivån övervakas löpande. Banken anser att den nuvarande avgiftsnivån är lämplig.

NOTER | KONCERNEN

K9 Övriga kostnader

mkr	2014	2013
Fastigheter och lokaler	-1 174	-1 118
Externa databaskostnader	-1 623	-1 704
Kommunikation	-349	-369
Resor och marknadsföring	-339	-378
Köpta tjänster	-995	-1 031
Materialanskaffning	-207	-202
Andra omkostnader	-412	-379
Summa	-6 099	-6 181
Varav kostnader avseende operationell leasing		
Minimibeslag/gift	-754	-687
Varabel avgift	-19	-19
Summa	-773	-706

Operationell leasing är främst hänförlig till för verksamheten normala avtal avseende kontorslokaler och kontorsutrustning. Hyreskostnader avseende lokaler har normalt en variabelt avgift knuten till inflation och fastighetsskatt. Kostnaden för det enskilt största leasingavtalet uppgick under 2014 till cirka 167 mkr (165). Inga av de större leasingavtalen löper med variabelt avgift.

Ersättning till revisorer och revisionsbolag mkr	KPMG		Ernst & Young AB	
	2014	2013	2014	2013
Revisionsuppdraget	-14	-12	-2	-3
Revisionsverksamhet utöver revisionsuppdraget	-5	-4	-	-
Skattierklaring	-	-	-1	-1
Övriga tjänster	-	-	-	-

Kostnader för internrevision har under året uppgått till 135 mkr (132).

K10 Kreditförluster

mkr	2014	2013
Specifika reserveringar för individuellt värderade fordringar		
Årets reservering	-1 982	-1 287
Ålänfört från tidigare gjorda reserveringar	305	289
Summa	-1 677	-998
Gruppvis reservering		
Årets nettoreservering för individuellt värderade fordringar	76	-60
Årets nettoreservering för homogena fordringar	3	15
Summa	79	-45
Poster utanför balansräkningen		
Förluster på poster utanför balansräkningen	-2	-9
Ålänföring av förluster på poster utanför balansräkningen	1	0
Förändring i kollektiv avsättning för poster utanför balansräkningen	16	-10
Summa	15	-19
Bortskrivningar		
Årets konstaterade kreditförluster	-1 928	-1 503
Utnyttjad andel av tidigare reserveringar	1 515	1 174
Ålänvinnningar	285	196
Summa	-108	-133
Kreditförluster, netto	-1 781	-1 195

Osäkra fordringar m m	2014	2013
mkr		
Osäkra fordringar	8 702	6 944
Specifika reserveringar för individuellt värderade fordringar	-3 734	-3 454
Reserveringar för gruppvis värderade homogena grupper av fordringar med begränsat värde	-93	-92
Gruppvisa reserveringar för individuellt värderade fordringar	-284	-357
Osäkra fordringar, netto	4 581	3 041
Total reserveringsgrad för osäkra fordringar, %	47,2	56,2
Andel osäkra fordringar, %	0,25	0,18
Reserveringsgrad och gruppvisa reserveringar, %	44,0	51,1
Fordringar förfallna sedan mer än 60 dagar, som inte är osäkra	2 133	2 150
Osäkra fordringar som under året omklassificerats till normala	34	30

Fordringar klassificeras som osäkra om kontrollerade kassaflöden sannolikt inte kommer att fullföljas. Varje fordran som ger upphov till specifik reservering ingår i osäkra fordringar med sitt fulla belopp även om delar täcks av säkerheter. Det innebär att reserveringsgraden ej beaktar eventuella säkerheter. Som oreglerade klassificeras fordringar för vilken ränta, amortering eller övertrassering är förfallna till betalning sedan mer än 60 dagar. För övriga definitioner se sidan 236.

NOTER | KONCERNEN

Förändring av reserv för sannolika kreditförluster 2014				
mkr	Reserv för individuellt värderade fordringar	Gruppvis reserv individuellt värderade fordringar	Reserv gruppvis värderade homogena fordringar	Summa reserv för sannolika kreditförluster
Reserv vid årets ingång	-3 454	-357	-92	-3 903
Årets reservering	-1 982	-	-57	-2 039
Åbartört från tidigare reserveringar	305	76	3	384
Utnyttjat för konstaterade förluster	1 515		57	1 572
Valutaeffekt m m	-118	-3	-4	-125
Reserv vid årets utgång	-3 734	-284	-93	-4 111

Förändring av reserv för sannolika kreditförluster 2013				
mkr	Reserv för individuellt värderade fordringar	Gruppvis reserv individuellt värderade fordringar	Reserv gruppvis värderade homogena fordringar	Summa reserv för sannolika kreditförluster
Reserv vid årets ingång	-3 725	-288	-115	-4 128
Årets reservering	-1 287	-60	-55	-1 402
Åbartört från tidigare reserveringar	289	-	15	304
Utnyttjat för konstaterade förluster	1 174		56	1 230
Valutaeffekt m m	95	-9	7	93
Reserv vid årets utgång	-3 454	-357	-92	-3 903

Olika fordringar och fordringar som är förfallna sedan mer än 60 dagar, sektor- och branschfördelade 2014					
mkr	Olika fordringar			Fordringar förfallna sedan mer än 60 dagar, som inte är olika	
	Brutto	Reserver	Netto ¹		
Privatpersoner	1 569	-813	756	575	1 148
Bostadsrättsföreningar	49	-21	28	14	25
Fastighetsförvaltning	1 759	-589	1 170	885	397
Tillverkningsindustri	1 639	-736	913	70	113
Handel	596	-343	253	167	14
Hotell- och restaurangverksamhet	45	-25	20	11	260
Person- och godstransport till sjöss	1 615	-405	1 210	-	-
Övrig transport och kommunikation	49	-39	10	9	41
Byggnadsverksamhet	188	-114	74	42	56
Elektricitet, gas och vatten	32	-24	8	8	0
Jordbruk, jakt och skogsbruk	23	-16	7	1	2
Övrig serviceverksamhet	73	-42	31	25	56
Holding-, investemnt-, försäkringsbolag, fonder m m	316	-187	129	34	2
Övrig företagsutlåning	749	-483	266	266	19
Kreditinstitut	-	-	-	-	-
Summa	8 702	-3 827	4 875	2 107	2 133

Olika fordringar och fordringar som är förfallna sedan mer än 60 dagar, sektor- och branschfördelade 2013					
mkr	Olika fordringar			Fordringar förfallna sedan mer än 60 dagar, som inte är olika	
	Brutto	Reserver	Netto ¹		
Privatpersoner	1 634	-790	844	689	1 316
Bostadsrättsföreningar	101	-33	68	45	7
Fastighetsförvaltning	1 299	-394	905	560	526
Tillverkningsindustri	890	-517	373	189	9
Handel	705	-362	343	210	42
Hotell- och restaurangverksamhet	37	-24	13	11	9
Person- och godstransport till sjöss	424	-423	1	1	1
Övrig transport och kommunikation	110	-80	30	28	5
Byggnadsverksamhet	194	-116	78	71	88
Elektricitet, gas och vatten	72	-44	28	28	7
Jordbruk, jakt och skogsbruk	33	-25	8	7	2
Övrig serviceverksamhet	153	-101	52	43	33
Holding-, investemnt-, försäkringsbolag, fonder m m	1 138	-569	569	61	4
Övrig företagsutlåning	154	-68	86	74	101
Kreditinstitut	-	-	-	-	-
Summa	6 944	-3 646	3 298	2 017	2 160

¹ Redovisat värde efter beaktande av specifika reserveringar för individuellt värderade ffordringar och reserveringar för gruppvis värderade ffordringar, men exklusive gruppvisa reserveringar för ffordringar som värderas individuellt.

NOTER | KONCERNEN

KIO Ports

Odelrä fordringar och fordringar som är förfallna sedan mer än 60 dagar, geografiskt fördelade 2014

mkr	Odelrä fordringar			Varav förfallna sedan 60 dagar	Fordringar förfallna sedan mer än 60 dagar, som inte är odelrä
	Brutto	Reserver	Netto ¹		
Sverige	3 455	-1 707	1 748	724	896
Norge	204	-138	156	118	381
Finland	949	-685	264	243	622
Danmark	2 741	-925	1 816	332	26
Storbritannien	1 109	-291	812	618	194
Nederländerna	21	-8	13	11	-
Övriga Europa	137	-73	64	61	74
Nordamerika	-	-	-	-	-
Asien	2	0	2	-	-
Summa	8 702	-3 827	4 875	2 107	2 133

Odelrä fordringar och fordringar som är förfallna sedan mer än 60 dagar, geografiskt fördelade 2013

mkr	Odelrä fordringar			Varav förfallna sedan 60 dagar	Fordringar förfallna sedan mer än 60 dagar, som inte är odelrä
	Brutto	Reserver	Netto ¹		
Sverige	2 605	-1 367	1 238	1 106	1 125
Norge	433	-177	256	214	310
Finland	1 020	-444	576	306	153
Danmark	1 324	-871	453	173	19
Storbritannien	320	-106	214	47	469
Nederländerna	15	-3	12	12	-
Övriga Europa	140	-65	75	69	83
Nordamerika	1 015	-513	502	-	-
Asien	2	0	2	-	-
Summa	6 044	-3 546	3 398	2 017	2 180

¹ Redovisat värde efter beskattning av specifika reserveringar för individuellt värderade fordringar och reserveringar för gruppvis värderade fordringar, men exklusive gruppvisa reserveringar för fordringar som värderas individuellt.

Förfallostruktur avseende förfallna fordringar som inte är odelrä 2014

mkr	Utböring till kreditinstitut	Utböring till allmänheten			Summa
		Hushåll	Företag	Övrigt	
Förfallna ≥ 5 dagar ≤ 1 månad	-	2 615	2 989	50	5 654
Förfallna > 1 månad ≤ 2 månader	-	312	152	0	464
Förfallna > 2 månader ≤ 3 månader	-	202	383	-	585
Förfallna > 3 månader ≤ 12 månader	-	609	224	-	833
Förfallna > 12 månader	-	508	207	-	715
Summa	-	4 246	3 956	50	8 251

Förfallostruktur avseende förfallna fordringar som inte är odelrä 2013

mkr	Utböring till kreditinstitut	Utböring till allmänheten			Summa
		Hushåll	Företag	Övrigt	
Förfallna ≥ 5 dagar ≤ 1 månad	-	3 088	1 174	-	4 262
Förfallna > 1 månad ≤ 2 månader	-	395	166	-	561
Förfallna > 2 månader ≤ 3 månader	-	247	117	-	364
Förfallna > 3 månader ≤ 12 månader	-	614	405	-	1 019
Förfallna > 12 månader	-	608	159	-	767
Summa	-	4 952	2 021	-	6 973

Tillgångar övertagna för skyddande av fordran

mkr	2014	2013
Fastigheter	465	392
Lös egendom	7	12
Aktier och andelar	16	73
Redovisat värde	488	477

Lös egendom består i aktivtillämpligt av återtagna leasingobjekt. Utöver övertagen egendom redovisad i ovanstående tabell redovisas egendom som övertagits för skyddande av fordran i verksamhet under avveckling, se vidare not K12. Värderingsprinciper för tillgångar och skulder som övertagits för skyddande av fordran beskrivs i not K1.

K11 Vinster/förluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar

mkr	2014	2013
Inventarier	2	16
Facigheter	4	1
Summa	6	17

K12 Årets resultat hänförligt till utvecklade verksamhet

mkr	2014	2013
Intäkter	2 281	2 160
Kostnader	-2 132	-2 015
Rörelseresultat från utvecklade verksamhet	149	145
Därtill hänförlig skatt	-51	-23
Summa	98	122
Nedskrivning	-57	-
Årets resultat hänförligt till utvecklade verksamhet	41	122

Rörelseresultat från utvecklade verksamheter består av avkastning från bankens andelar i Plastakneceman. Verksamheten i Plastakneceman består av tillverkning av aktens plastkomponenter till fordonsindustrin. Bankens avsikt är att avyttra verksamheten i Plastal så snart förutsättningar föreligger. Då det verkliga värdet av Plastal, med avdrag för försäljningskostnader, är lägre än det redovisade värdet på innehavet så har en nedskrivning gjorts. Nedskrivningen motsvarar i allt väsentligt årets planerade avskrivningar och påverkar inte årets skattekostnad. Det verkliga värdet av Plastal är framtaget med utgångspunkt från värderingsmodeller, där olika värderingsansatser såsom jämförelse med konkurrerande företag samt kassaflödesvärderingen utförts för att få fram en tillförlitlig värdering. Underslag till de anlaganden som använts vid värderingen hämtas i så stor utsträckning som möjligt från externa marknadsobservationer. Värderingen har ett väsentligt inslag av egna anlaganden. I den värderingshärskel som beskrivs i not K40 skulle därför värderingen klassificeras som nivå 3. En redogörelse för bankens principer för värdering av tillgångar som härrör från utvecklade verksamhet framgår av not K1.

K13 Resultat per aktie

	2014	2013
Årets resultat från kvarvarande verksamhet, mkr	15 143	14 173
varav rättskostnad på konvertibla skuldbrev efter skatt	-170	-119
Årets resultat från utvecklade verksamhet, mkr	41	122
varav rättskostnad på konvertibla skuldbrev efter skatt	-	-
Årets resultat från total verksamhet, mkr	15 184	14 295
varav rättskostnad på konvertibla skuldbrev efter skatt	-170	-119
Genomsnittligt antal under året konverterade aktier, miljoner	0,0	2,1
Genomsnittligt innehav av egna aktier i handelslag, miljoner	-	0,2
Genomsnittligt antal utestående aktier, miljoner	635,7	634,8
Genomsnittlig utspädningsandel antal aktier, miljoner	17,3	12,7
Genomsnittligt antal utestående aktier efter utspädning, miljoner	653,0	647,5
Resultat per aktie, kvarvarande verksamhet, kr	23,82	22,33
efter utspädning	23,45	22,07
Resultat per aktie, utvecklade verksamhet, kr	0,06	0,19
efter utspädning	0,06	0,19
Resultat per aktie, total verksamhet, kr	23,89	22,52
efter utspädning	23,51	22,26

Resultat per aktie efter utspädning beräknas genom att ta hänsyn till effekterna av en konvertering av utestående konvertibla skuldbrev. Det innebär att genomsnittligt antal aktier justeras med potentiella stamaktier och att årets resultat justeras med årets rättskostnad på utestående konvertibla skuldbrev efter skatt.

K14 Övrig utlåning till centralbanker

mkr	2014	2013
Övrig utlåning till centralbanker i svenska kronor	7 042	2 540
Övrig utlåning till centralbanker i utländsk valuta	44 005	32 620
Summa	51 047	35 160
Värd av omvärldade repor	1 245	360
Modervolymer		
mkr	2014	2013
Övrig utlåning till centralbanker i svenska kronor	15 483	14 000
Övrig utlåning till centralbanker i utländsk valuta	34 001	27 218
Summa	49 484	41 218
Värd av omvärldade repor	1 003	1 260

NOTER | KONCERNEN

K15 Utlåning till övriga kreditinstitut

mkd	2014	2013
Utlåning i svenska kronor		
Banker	1 311	2 902
Övriga kreditinstitut	409	1 218
Summa	1 720	4 120
Utlåning i utländsk valuta		
Banker	23 422	23 492
Övriga kreditinstitut	45 197	35 286
Summa	68 619	58 778
Sannolika kreditförluster	-	-
Summa utlåning till övriga kreditinstitut	70 339	62 898
Varav omvända repor	42 738	38 874
Medelvolymer		
mkd	2014	2013
Utlåning till övriga kreditinstitut i svenska kronor	13 021	17 140
Utlåning till övriga kreditinstitut i svenska kronor, försäkringsordningen	30	37
Utlåning till övriga kreditinstitut i utländsk valuta	71 681	95 277
Utlåning till övriga kreditinstitut i utländsk valuta, försäkringsordningen	11	13
Summa	84 743	109 467
Varav omvända repor	38 420	38 580

K16 Utlåning till allmänheten

mkd	2014	2013
Utlåning i svenska kronor		
Hushåll	664 333	627 212
Företag	483 207	491 036
Riksgälden	19 044	5 180
Summa	1 166 584	1 123 428
Utlåning i utländsk valuta		
Hushåll	231 566	200 098
Företag	413 797	376 716
Riksgälden	-	-
Summa	645 363	576 814
Sannolika kreditförluster	-4 111	-3 203
Summa utlåning till allmänheten	1 807 836	1 696 339
Varav omvända repor	23 858	15 711
Medelvolymer, och Riksgälden		
mkd	2014	2013
Utlåning till allmänheten i svenska kronor	1 136 043	1 116 418
Utlåning till allmänheten i utländsk valuta	600 717	557 638
Summa	1 745 760	1 674 056
Varav omvända repor	16 565	22 665

NOTER | KONCERNEN

K17 Räntebärande värdepapper

	2014			2013		
	Nominellt värde	Verkligt värde	Redovisat värde	Nominellt värde	Verkligt värde	Redovisat värde
mikr						
Betalningsbara statsskuldförbindelser m m	76 239	78 223	78 219	56 402	57 471	57 451
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	61 357	63 722	63 725	61 936	64 123	64 125
Summa	137 606	141 945	141 944	118 338	121 594	121 576
Värdet noterade värdepapper		4 559	4 560		3 240	3 240
Räntebärande värdepapper fördelade på emittent						
	2014			2013		
	Nominellt värde	Verkligt värde	Redovisat värde	Nominellt värde	Verkligt värde	Redovisat värde
Stat	66 097	68 008	68 005	48 878	49 857	49 837
Kreditinstitut	10 828	11 164	11 166	11 044	11 453	11 455
Bostadsinstitut	39 776	41 760	41 760	41 987	43 671	43 671
Övrigt	20 895	21 013	21 013	16 429	16 613	16 613
Summa	137 606	141 945	141 944	118 338	121 594	121 576
Modervolymer						
mikr				2014	2013	
Räntebärande värdepapper				120 245	124 215	
Räntebärande värdepapper, försäkringsförelsen				8 250	9 139	
Summa				128 605	133 354	

K18 Aktier och andelar

	2014	2013
mikr		
Innehav värderade till verkligt värde över resultaträkningen		
Noterade	34 338	41 019
Icke noterade	3 841	1 851
Summa	38 179	42 870
Innehav klassificerade som tillgängliga för försäljning		
Noterade	6 753	4 369
Icke noterade	1 614	1 356
Summa	8 367	5 725
Summa aktier och andelar	46 546	48 595

NOTER | KONCERNEN

K19 Andelar i intresseföretag

Handelsbanken har inga anskilda väsentliga innehav i intresseföretag. Det finns vissa företag som anses strategiska för bankverksamheten i koncernen då de utför stödjande verksamheter, såsom exempelvis betalkontjänster. Under året har Festival AB avyttrats. Inga övriga väsentliga förändringar i ägarförhållanden eller avtal med intresseföretagens övriga ägare har förekommit under året. Samtliga innehav är noterade.

Andelar i intresseföretag mkr	2014	2013
Redovisat värde vid årets början	272	203
Andel av årets resultat	21	8
Skatt	-3	-2
Aktieägartillskott	2	-
Utdelning	-7	-11
Förvärf	-	73
Avyttringar	0	0
Återvinningar	-	0
Omräkningsskillnader	1	1
Redovisat värde vid årets slut	286	272

Resultat från intresseföretag mkr	2014	2013
Årets resultat	18	6
Övrigt totalresultat	1	1
Årets totalresultat	19	7

Intresseföretag	Organisations- nummer	Säte	Antal aktier	Röstandel %	Redovisat värde mkr	
					2014	2013
Bankomat AB	556817-9716	Stockholm	150	20,00	50	48
Bankomatcentralen AB	556197-2265	Stockholm	1 100	21,90	0	0
BDB Bankernas Depå AB	556695-3567	Stockholm	13 000	20,00	10	9
BGC Holding AB	556607-0933	Stockholm	25 382	25,40	69	68
Dyson Group plc	163096	Sheffield	122 387 481	29,99	41	29
Festival AB	993 798 304	Kristiansand				7
Finansiel ID-teknik BID AB	556630-4928	Stockholm	12 735	28,30	24	20
Flisakompaniet Holding AB	992 999 136	Oslo	2 400	47,00	52	53
Gatawatch AB	556913-7382	Stockholm	10 000	20,00	2	2
Upplysningscentralen UC AB ¹	556137-5113	Stockholm	2 448	24,48	38	36
Summa					286	272

¹ Avser uppgifter för koncernen.

NOTER | KONCERNEN

K20 Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken

mkr	2014	2013
Fond- och depåförsäkringstillgångar	91 739	76 817
Övriga fondtillgångar	3 024	4 064
Ej ägd andel av konsoliderade fonder	-	49
Summa	94 763	80 930

Jämförelsesåret 2013, raden Ej ägd andel av konsoliderade fonder, har justerats med -5 085 mkr med anledning av nya redovisningsregler om konsolidering, IFRS 10, som trädde i kraft den 1 januari 2014. Förändringen beskrivs närmare i not K1.

K21 Innehav i icke-konsoliderade strukturerade företag

2014 mkr	Innehav i fonder
Tillgångar	
Aktier och andelar	1 172
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	79 735
Summa innehav i strukturerade företag som inte konsolideras	80 907

Ett strukturerat företag är ett företag som har utformats så att röster eller liknande rättigheter inte är den dominerande faktorn vid avgörandet av vem som har det bestämmande inflytandet i företaget, exempelvis när rösträtten endast avser administrativa uppgifter och relevanta aktiviteter regleras genom avtal. Handelsbankens innehav i icke-konsoliderade strukturerade företag är begränsade och utgörs av fondandelar, Fondandelar ägs främst genom fondförsäkringsavtal hos Handelsbanken Liv samt liknande avtal i andra länder. Fondandelar som ägs genom fondförsäkringsavtal utgör inte grund för konsolidering, se vidare not K1, och utgör därmed icke-konsoliderade strukturerade företag. Handelsbanken äger vidare fondandelar i egenskap av marknad maker. I den mån dessa innehav inte konsolideras utgör de andelar i icke-konsoliderade strukturerade företag. Den maximala exponeringen för förlust för alla innehav i icke-konsoliderade strukturerade företag är det redovisade värdet på innehaven. De totala tillgångarna för dessa företag anses inte som meningsfull information för att förstå de relaterade riskerna och därför har de inte presenterats.

NOTER | KONCERNEN

K22 Derivatinstrument

	Nominellt belopp/Köptid			Nominellt belopp		Positiva marknadsvärden		Negativa marknadsvärden	
	upp till 1 år	mer än 1 år upp till 5 år	mer än 5 år	2014	2013	2014	2013	2014	2013
Derivat för handel									
Ränterelaterade kontrakt									
Optioner	122 095	149 935	5 628	277 658	268 514	3 502	4 179	3 628	4 318
FFA/Terminaler	1 555 336	778 881	-	2 334 217	2 072 228	1 137	421	1 549	143
Swappar	375 806	1 075 335	428 575	1 879 716	2 073 252	45 277	30 661	46 382	30 713
Övriga instrument	3 058	-	-	3 058	-	0	0	50	-
Valutarelaterade kontrakt									
Optioner	60 623	1 668	29	62 320	44 634	663	311	953	234
Terminaler	105 516	9 463	271	115 250	111 213	3 050	1 085	1 709	1 313
Swappar	599 270	125 884	23 645	748 799	785 621	17 074	10 318	6 577	7 740
Övriga instrument	-	-	-	-	61	0	15	-	120
Aktierelaterade kontrakt									
Optioner	10 845	24 158	949	35 952	42 699	2 537	3 019	2 371	5 112
Terminaler	10 306	-	-	10 306	4 416	8	9	36	35
Swappar	28 324	7 409	128	35 861	34 688	736	691	1 999	2 486
Övriga instrument	2 362	-	-	2 362	677	-	3	39	494
Rävarrelaterade kontrakt									
Optioner	2 155	2 253	122	4 530	5 067	183	105	528	992
Terminaler	26 074	2 446	148	28 668	21 047	1 002	375	1 079	377
Swappar	12	-	-	12	313	-	-	8	49
Övriga instrument	-	-	-	-	457	-	132	-	420
Kreditrelaterade kontrakt									
Optioner	-	-	-	-	0	-	-	-	-
Swappar	1 195	7 640	729	9 564	10 049	620	544	91	-
Övriga instrument	-	-	-	-	0	-	-	-	45
Övriga derivatkontrakt	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Summa	2 902 977	2 185 072	460 224	5 648 273	6 374 976	75 789	61 868	67 069	54 501
Derivat för marknadsvärderingsåtkomster									
Ränterelaterade kontrakt									
Optioner	5 750	4 745	-	10 495	12 545	6	21	-	-
Swappar	11 011	-	-	11 011	50 218	-	-	196	762
Övriga instrument	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutarelaterade kontrakt									
Swappar	-	-	965	965	817	63	177	-	-
Summa	16 761	4 745	965	22 471	63 580	69	198	196	762
Derivat för kassaflödsåtkomster									
Ränterelaterade kontrakt									
Swappar	96 392	323 683	85 878	505 953	454 746	25 976	17 925	3 598	4 313
Valutarelaterade kontrakt									
Swappar	31 449	201 132	56 518	289 099	248 714	26 919	5 935	4 644	7 898
Summa	127 841	524 815	142 396	795 052	703 460	52 895	23 860	8 242	12 211
Summa derivatinstrument	3 047 579	2 714 632	603 585	6 385 796	7 142 916	128 753	75 946	75 507	67 564
Varav börshandlade derivat				1 314 691	1 692 917	676	319	1 804	867
Varav OTC-derivat clearade via CCP				716 067	736 270	12 009	2 834	11 140	2 479
Belopp som kvittats i balansräkningen						-12 629	-6 035	-12 629	-6 035
Nettobelopp i balansräkningen						116 124	69 911	62 878	61 529
Valutafördelning av marknadsvärden									
SEK						-253 325	32 046	17 138	209 182
USD						396 046	44 929	98 084	-204 134
EUR						121 792	98 651	-60 771	15 845
Övriga						-135 760	-99 630	21 056	46 671

I notan presenteras derivatkontrakt brutto. Belopp som kvittats i balansräkningen består av det kvittade marknadsvärdet på kontrakt för vilka det finns en legal rätt och avsikt att reglera avtalade kassaflöden netto (särskilt clearade kontrakt). Dessa kontrakt nettoavvecklas i balansräkningen per motpart och valuta.

Positiva skillnader mellan det värde som räknats fram med en värderingsmodell vid det första redovisningstillfället och transaktionspriset (dag 1-resultat), periodiseras över derivats löptid. Vid årsavslut uppgick sådana ännu ej resultatförda dag 1-resultat till 465 mkr (366).

K23 Kvittning av finansiella instrument

2014			
mkr	Derivat	Återköpsavtal samt utlåning av värdepapper	Totalt
Finansiella tillgångar som kvittas eller som omfattas av avtal om kvittning			
Brutobelopp av finansiella tillgångar	128 753	68 887	197 640
Brutobelopp av finansiella skulder som kvittas i balansräkningen	-12 629	-	-12 629
Nettobelopp av finansiella tillgångar som redovisas i balansräkningen	116 124	68 887	185 011
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument som inte uppfyller kvittningskriterierna	-45 652	-	-45 652
Mottagna finansiella säkerheter	-38 191	-68 857	-107 048
Nettobelopp	32 281	90	32 311
Finansiella skulder som kvittas eller som omfattas av avtal om kvittning			
Brutobelopp av finansiella skulder	75 507	256	75 763
Brutobelopp av finansiella tillgångar som kvittas i balansräkningen	-12 629	-	-12 629
Nettobelopp av finansiella skulder som redovisas i balansräkningen	62 878	256	63 134
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument som inte uppfyller kvittningskriterierna	-45 652	-	-45 652
Ställda finansiella säkerheter	-9 674	-256	-9 930
Nettobelopp	7 552	0	7 552
2013			
mkr	Derivat	Återköpsavtal samt utlåning av värdepapper	Totalt
Finansiella tillgångar som kvittas eller som omfattas av avtal om kvittning			
Brutobelopp av finansiella tillgångar	75 926	53 586	129 512
Brutobelopp av finansiella skulder som kvittas i balansräkningen	-6 035	-	-6 035
Nettobelopp av finansiella tillgångar som redovisas i balansräkningen	69 891	53 586	123 547
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument som inte uppfyller kvittningskriterierna	-41 036	-	-41 036
Mottagna finansiella säkerheter	-10 540	-53 569	-64 109
Nettobelopp	18 315	17	18 402
Finansiella skulder som kvittas eller som omfattas av avtal om kvittning			
Brutobelopp av finansiella skulder	67 564	8 352	75 916
Brutobelopp av finansiella tillgångar som kvittas i balansräkningen	-6 035	-	-6 035
Nettobelopp av finansiella skulder som redovisas i balansräkningen	61 529	8 352	69 881
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument som inte uppfyller kvittningskriterierna	-41 036	-	-41 036
Ställda finansiella säkerheter	-4 793	-7 889	-12 682
Nettobelopp	15 700	463	16 163

Derivatinstrument kvittas i balansräkningen när det återspeglar bankens förväntade kassaflöden vid regleringen av två eller flera derivat. Det inträffar när banken både har en avtalsmässig rätt och avsikt att reglera avtalade kassaflöden netto. Den kvarvarande motpartsrisken i derivat reduceras genom avtal om nettnings

vid betalningsinställelse, det vill säga nettnings av positiva och negativa värden i alla derivat-transaktioner med en och samma motpart i en konkursituation. Banken har som policy att teckna nettningsavtal med alla bankmotparter. Nettningsavtalen kompletteras med avtal om ställande av säkerheter för nettoexponeringen.

I huvudsak används kontanter som säkerhet, men även statspapper förekommer. Säkerheter för återköpsavtal samt in- och utlåning av värdepapper utgår i regel i form av kontanter eller andra värdepapper.

NOTER | KONCERNEN

K24 Immateriella tillgångar

2014	Goodwill	Varumärken och andra rättigheter	Kund-kontrakt	Internt utvecklad programvara	Totalt 2014
mkr					
Anskaffningsvärde vid ingången av året	6 431	57	367	1476	8 331
Anskaffningsvärde på tillkommande immateriella tillgångar	-	-	-	257	257
Avyttringar och utgångar	-	-	-	-153	-153
Valutaeffekt	166	7	41	1	215
Anskaffningsvärde vid utgången av året	6 607	64	408	1 681	8 660
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-	-6	-45	-445	-496
Avyttringar och utgångar	-	-	-	153	153
Årets avskrivningar	-	-11	-19	-128	-158
Årets nedskrivningar	-	-	-	-9	-9
Valutaeffekt	-	-2	-6	0	-8
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-	-19	-70	-429	-518
Redovisat värde	6 607	45	338	1 152	8 132

2013	Goodwill	Varumärken och andra rättigheter	Kund-kontrakt	Internt utvecklad programvara	Totalt 2013
mkr					
Anskaffningsvärde vid ingången av året	6 273	3	143	1220	7 639
Anskaffningsvärde på tillkommande immateriella tillgångar	144	51	209	336	740
Avyttringar och utgångar	-	-	-	-82	-82
Valutaeffekt	14	3	15	2	34
Anskaffningsvärde vid utgången av året	6 431	57	367	1 476	8 331
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-	-	-31	-402	-433
Avyttringar och utgångar	-	-	-	82	82
Årets avskrivningar	-	-6	-13	-121	-140
Årets nedskrivningar	-	-	-	-2	-2
Valutaeffekt	-	0	-1	-2	-3
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-	-8	-46	-445	-496
Redovisat värde	6 431	51	322	1 031	7 835

mkr	Goodwill		Immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod	
	2014	2013	2014	2013
Konförsörjelsen i Sverige	3 331	3 331	-	-
Konförsörjelsen i Storbritannien	173	152	-	-
Konförsörjelsen i Finland	16	15	-	-
Konförsörjelsen i Danmark	2 373	2 224	-	-
Konförsörjelsen i Norge	694	699	-	-
Capital Markets	10	10	3	3
Summa	6 607	6 431	3	3

Nedskrivningsprövning av goodwill och immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod

Redovisad koncerngoodwill hänför till övervägande del från traditionell bankverksamhet på Handelsbankens hemmamarknader. Goodwill och immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod provas för nedskrivning årligen i samband med årsboksutslut. Vid nedskrivningsprövningen beräknas nyttjandevärdet för de enheter till vilka goodwill fördelats ut genom diskontering av estimerade framtida kassaflöden samt slutvärde. I tabellen ovan har goodwill fördelats ut på rörelsesegment. Goodwill som följs upp internt på en lägre nivå än rörelsesegment provas på den lägre nivån.

Estimerade framtida kassaflöden bygger de första fem åren på prognoser på riskvägda

volym, intäkter, kostnader samt kreditförluster. Prognosema baseras främst på en intern bedömning av den framtida intäkt- och kostnadsutvecklingen, konjunkturläge, förväntad ränteutveckling samt förväntade effekter av kommande regelverk. Efter den första femårsperioden görs en prognos baserad på ett antagande om långsiktig tillväxttakt. Antagandet om kassaflödestillväxt baseras på historisk real BNP-utveckling samt Riksbankens långsiktiga inflationsmål. Årets nedskrivningsprövning bygger på ett antagande om en långsiktig tillväxttakt på två procent. Den totala prognosperioden är 20 år. Som slutvärde används det prognostiserade substansvärdet för den prövade enheten. Estimerade kassaflöden har diskonterats med en ränta som baseras på riskfri ränta samt riskjustering motsvarande marknadens genom-

snittliga avkastningskrav. Diskonteringsräntan uppgick vid årets nedskrivningsprövning till 7,3 procent efter skatt (7,6). Motsvarande ränta före skatt uppgick till 10,6 procent (10,8).

Vid årets nedskrivningsprövning bedömdes avståndet mellan återvinningvärde och bokfört värde på goodwill vara betryggande. Det beräknade nyttjandevärdet på goodwill är känsligt för ett antal olika variabler som har betydelse för förväntade kassaflöden samt diskonteringsräntan. De variabler som har störst betydelse för beräkningen är antaganden om ränte- och konjunkturutveckling, framtida marginaler och kostnadseffektivitet. Ingen rimligt möjlig förändring av viktiga antaganden skulle påverka det redovisade värdet på goodwill.

NOTER | KONCERNEN

K25 Fastigheter och inventarier

Fastigheter och inventarier mkr	2014	2013
Inventarier	468	462
Fastigheter	1 299	1 309
Egendom övertagen för skyddande av fordran	472	404
Summa	2 239	2 206

I posten Egendom övertagen för skyddande av fordran ingår fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde i enlighet med koncernens redovisningsprinciper för tillgångar som övertagits för skydd av fordran, se not K1. Det verkliga värdet på fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde uppgår till 465 mkr (392). Realiserade värdeförändringar på dessa fastigheter har påverkat årets resultat med 6 mkr (-10). Värdering av privatbostäder bygger i all väsentlighet på marknadsobservationer av jämförbara fastighetsköp på den aktuella orten. Värdering av kommersiella fastigheter bygger på diskontering av framtida kassaflöden och baseras på antaganden om bland annat hyresnivå, vakansgrad, drift- och underhållskostnader, direktavkastningskrav och kalkylvinna. I värderingen tas även hänsyn till fastigheters skick, åge samt alternativanvändning. Banken har som princip att alltid använda en godkänd värderingsman vid värdering av affärs- och kontorfastigheter samt industrifastigheter. Värdering som enbart bygger på marknadsobservationer (119 mkr) klassificeras som nivå 2 i den värderingshierarki som beskrivs i not K40. Värdering som har all väsentligt inslag av egna antaganden (346 mkr) klassificeras som nivå 3 i värderingshierarkin. Realiserade värdeförändringar i nivå 3 avseende fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde har påverkat årets resultat med 0 mkr (-17). Årets försäljning av fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde uppgår till 108 mkr (51) varav 80 mkr (64) var klassade som nivå 3 innan försäljningen. Nya fastigheter har tillkommit under året med 112 mkr (50) varav 20 mkr (48) klassats som nivå 3.

Inventarier mkr	2014	2013
Anskaffningsvärde vid ingången av året	1 627	1 617
Anskaffningsvärde på tillkommande under året	208	265
Förändring genom rörelseförvärv under året	-	22
Avyttringar och utgångar	-481	-256
Valutaeffekt	45	-21
Anskaffningsvärde vid utgången av året	1 399	1 627
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-1 135	-1 142
Ackumulerade avskrivningar genom rörelseförvärv under året	-	-15
Årets avskrivningar enligt plan	-244	-260
Avyttringar och utgångar	478	261
Valutaeffekt	-30	21
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-931	-1 136
Redovisat värde	468	492

Fastigheter mkr	2014	2013
Anskaffningsvärde vid ingången av året	2 120	2 092
Anskaffningsvärde på tillkommande under året	0	-
Ny- och ombyggnation	23	20
Avyttringar och utgångar	-3	-
Valutaeffekt	15	8
Anskaffningsvärde vid utgången av året	2 155	2 120
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-811	-766
Årets avskrivningar enligt plan	-44	-45
Årets nedskrivningar	-	-
Avyttringar och utgångar	0	-
Valutaeffekt	-1	0
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-856	-811
Redovisat värde	1 299	1 309

K26 Övriga tillgångar

mkr	2014	2013
Fondlikvidförändringar	9 351	7 135
Övrigt	4 970	6 127
Summa	14 321	13 262

K27 Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter

mkr	2014	2013
Upplupna räntaåtknader	4 612	5 278
Övriga upplupna intäkter	1 864	1 649
Förutbetalda kostnader	315	213
Summa	6 791	7 140

NOTER | KONCERNEN

K28 Skulder till kreditinstitut

mkr	2014	2013
Skulder i svenska kronor		
Banker	23 252	19 870
Övriga kreditinstitut	9 188	9 825
Summa	32 440	29 695
Skulder i utländsk valuta		
Banker	166 458	135 895
Övriga kreditinstitut	1 176	6 034
Summa	167 634	141 929
Summa skulder till kreditinstitut	200 074	171 624
Värsrepar	88	748
Modervolymer		
mkr	2014	2013
Skulder till kreditinstitut i svenska kronor	27 566	31 074
Skulder till kreditinstitut i utländsk valuta	205 444	189 546
Summa	233 010	220 620
Värsrepar	1 625	3 961

K29 In- och upplåning från allmänheten

Inlåning från allmänheten mkr	2014	2013
Inlåning i svenska kronor		
Hushåll	224 005	208 147
Företag	177 175	159 615
Riksgälden	-	-
Summa	402 080	367 762
Inlåning i utländsk valuta		
Hushåll	65 758	40 045
Företag	235 794	174 840
Riksgälden	-	-
Summa	301 552	229 885
Summa inlåning från allmänheten	703 632	597 647
Upplåning från allmänheten		
mkr	2014	2013
Upplåning i svenska kronor	41 954	61 378
Upplåning i utländsk valuta	276 681	172 180
Summa	318 635	233 558
Värsrepar	168	7 604
Värs försäkringsbränsen	10 010	10 759
Summa in- och upplåning från allmänheten	1 022 267	826 205
Modervolymer		
mkr	2014	2013
Inlåning från allmänheten		
Inlåning från allmänheten i svenska kronor	364 833	344 238
Inlåning från allmänheten i utländsk valuta	281 508	181 335
Summa	646 341	525 573
Upplåning från allmänheten		
Upplåning i svenska kronor	49 330	55 329
Upplåning i svenska kronor, försäkringsbränsen	10 373	11 060
Upplåning i utländsk valuta	185 526	149 135
Summa	245 229	215 524
Värsrepar	8 685	10 551

K30 Skulder där kunden står värdeförändringsrisken

mkr	2014	2013
Fond- och depåförsäkringskulder	91 739	76 817
Övriga fondskulder	3 125	4 111
Ej ägd andel av konsoliderade fonder	-	49
Summa	94 864	80 977

Jämförelsesåret 2013, raden Ej ägd andel av konsoliderade fonder, har justerats med -5 085 mkr med anledning av nya redovisningsregler om konsolidering, IFRS 10, som trädde i kraft den 1 januari 2014. Förändringen beskriver närmare i not K1.

NOTER | KONCERNEN

K31 Emitterade värdepapper

mkr	2014		2013	
	Nominellt belopp	Redovisat värde	Nominellt belopp	Redovisat värde
Certifikat				
Certifikat i svenska kronor	9 816	10 621	15 613	17 299
Värdar				
till upplupet enskaffningsvärde	-	-	101	101
för handel	9 816	10 621	15 512	17 198
Certifikat i utländsk valuta	308 656	318 468	286 346	286 329
Värdar				
till upplupet enskaffningsvärde	307 283	316 686	286 159	286 107
för handel	1 373	1 802	187	222
Summa	318 472	329 089	301 960	303 628
Obligationsskuld				
Obligationsskuld i svenska kronor	459 884	448 643	437 977	460 093
Värdar				
till upplupet enskaffningsvärde	459 884	448 643	437 977	459 801
för marknadsvärdesändringar	-	-	-	292
Obligationsskuld i utländsk valuta	432 965	434 881	382 621	386 920
Värdar				
till upplupet enskaffningsvärde	431 925	434 764	380 077	385 983
för marknadsvärdesändringar	970	1 117	2 544	937
Summa	892 849	883 524	820 598	847 013
Summa emitterade värdepapper	1 211 321	1 212 613	1 122 557	1 150 641
mkr			2014	2013
Emitterade värdepapper vid årets ingång			1 150 641	1 151 435
Emitterade			950 171	1 204 858
Återköpta			107 726	106 361
Förlösta			851 680	1 087 539
Valutasäskader m.m.			71 207	-11 743
Emitterade värdepapper vid årets utgång			1 212 613	1 150 641
Medelvolymer			2014	2013
mkr				
Svenska kronor			470 359	475 734
Utländsk valuta			695 565	705 123
Summa			1 165 924	1 180 857

K32 Korta positioner

mkr	2014		Medelvolymer mkr	2014	
	2014	2013		2014	2013
Korta positioner värderade till verkligt värde					
Aktier	1 273	3 430	Svenska kronor	18 878	22 832
Räntebärande värdepapper	19 375	19 415	Utländsk valuta	809	1 214
Värdar			Summa	19 687	24 046
Övriga emitterar	16 667	19 279			
egna emitterade	2 708	1 96			
Summa	20 648	22 846			

K33 Försäkringsskulder

mkr	2014		2013
	2014	2013	
Skyld för sjukvård	229	194	
Skyld för livsfall	177	146	
Skyld för andra osäglade skador	219	273	
Skyld för förbetalda premier	38	9	
Summa	663	622	

NOTER | KONCERNEN

K34 Skatter

Uppskjutna skattefordringar mkr	2014	2013
Säkeringsinstrument	270	213
Immateriella tillgångar	9	-
Fastigheter och inventarer	31	37
Pensioner	75	-
Övrigt	4	19
Summa	389	269

Uppskjutna skattekulder mkr	2014	2013
Utlåning till allmänheten ¹	6 471	6 616
Säkeringsinstrument	2 663	117
Immateriella tillgångar	77	93
Fastigheter och inventarer	89	86
Pensioner	-295	464
Övrigt	204	37
Summa	9 209	7 413
Netto uppskjutna skattekulder	8 820	7 144

Förändring av uppskjutna skatter 2014 mkr	Ingående balans	Redovisat över resultaträkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Valutaeffekt	Utgående balans
Utlåning till allmänheten ¹	6 616	-145	-	-	6 471
Säkeringsinstrument	-96	3	2 486	-	2 393
Immateriella tillgångar	93	-35	10	-	68
Fastigheter och inventarer	49	9	-	-	58
Pensioner	464	-228	-592	-14	-370
Övrigt	18	-12	194	-	200
Summa	7 144	-408	2 098	-14	8 820

Förändring av uppskjutna skatter 2013 mkr	Ingående balans	Redovisat över resultaträkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Valutaeffekt	Utgående balans
Utlåning till allmänheten ¹	6 649	-33	-	-	6 616
Säkeringsinstrument	473	6	-575	-	-96
Immateriella tillgångar	32	-2	63	-	93
Fastigheter och inventarer	50	-1	-	-	49
Pensioner	198	-41	307	-	464
Periodiseringsfond	926	-926	-	-	-
Övrigt	35	-17	-	-	18
Summa	8 383	-1 014	-205	-	7 144

Redovisade skattekostnader i resultaträkningen mkr	2014	2013
Aktuell skatt		
Årets skattekostnad	-4 426	-4 905
Justering av skatt hänförlig till tidigare år	-51	66
Uppskjuten skatt		
Förändringar i temporära skillnader	408	1 014
Summa	-4 069	-3 915
Nominal skattesats i Sverige, %	22,0	22,0
Avvikelse		
Annan skattesats i försäkringsrörelse	-0,7	-0,5
Ej skattepliktiga intäkter/ ej avdragsgilla kostnader	-0,1	0,2
Ändrad skattesats	0,0	0,0
Skatt avseende tidigare år	0,0	-0,1
Effektiv skattesats, %	21,2	21,6

¹ Varav leasing 6 467 mkr (6 612).

K35 Avsättningar

mikr	Avsättning för omstrukturering	Avsättning för garantitåganden	Övriga avsättningar	Summa 2014	Summa 2013
Avsättningar vid årets ingång	51	59	31	141	120
Avsatt under året	-	-	30	30	61
Anspråktaget	-39	-52	-	-91	-40
Åsatt	-12	-	-	-12	-
Avsättningar vid årets utgång	-	7	61	68	141

Avsättningen för omstrukturingskostnader avser merkostnader till följd av uppsägning av hyrda lokaler. Avsättningsbeloppet har reglerats i sin helhet under 2014. Avsättning för garantitåganden består av avsättningar för ett antal utomkostnadsposter.

Handelsbanken är föremål för krav i ett antal tvistämål som drivs i allmänna domstolar. Bankens bedömning är att tvistemålen i allt väsentligt kommer att utfalla till bankens fördel. Tvistbeloppen bedöms inte kunna få en väsentlig inverkan på bankens ställning eller resultat. Under övriga avsättningar redovisas de belopp som avsatts för reglering av de anspråk som rikts mot banken.

K36 Övriga skulder

mikr	2014	2013
Fondlikvidskulder	7 950	6 777
Övrigt	6 618	6 412
Summa	14 578	13 189

K37 Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter

mikr	2014	2013
Upplupna räntekostnader	13 334	16 865
Övriga upplupna kostnader	4 210	4 434
Förutbetalda intäkter	1 137	562
Summa	18 681	21 861

K38 Efterställda skulder

mikr	2014	2013
Förtagstjän i svenska kronor	10 308	10 472
Förtagstjän i utländsk valuta	19 981	5 493
Summa	30 289	15 965

Modervolymer	2014	2013
Förtagstjän i svenska kronor	9 831	10 764
Förtagstjän i utländsk valuta	18 852	7 824
Summa	28 683	18 588

¹ Svenska förtagstjän understigar var och en för sig 10% av de totala efterställda skulderna. I summan ingår ett evigt förtagstjän till rörlig ränta, vilket är ett konverterbart förtagstjän på nominellt 3,2 mkr riktat till koncernens anställda på marknadsmissgävis villkor. Lånet har ingen status som regleringsmässigt kapital men kan omvandlas till Handelsbankens skulder. Banken har rätt att begära konvertering när som helst och innehavaren har rätt att begära konvertering mellan den 1 maj och den 30 november 2019 till den initiala konverteringskursen 379,12 kr, vilket motsvarar 117% av den genomsnittliga dekkursen under perioden 2-14 maj 2014. Den initiala konverteringskursen justeras för utdelningar under löptiden. Om kärnprimärkapitalisatjonen för banken eller beräknad enligt den konsoliderade situationen faller under 7%, sker automatisk konvertering. För uppgifter om avseende övriga svenska förtagstjän se not K40.

² För ytterligare upplysning av förtagstjän i EUR, se not K40.

³ Övriga utländska förtagstjän är emitterade i form av övriga förtagstjän.

Specifikation, förtagstjän	Ursprungligt nominellt belopp av respektive valuta	Räntesats %	Utsattande belopp
Utgivn/kom/stutbet år	Valuta		
I SVENSKA KRONOR			
Svenska förtagstjän ¹		13 337	10 308
Summa			10 308
I UTLÄNDISK VALUTA			
2005/evigt ²	EUR	500	4 713
2014/tidbunden ³	EUR	1 500	14 174
Övriga utländska ³			1 094
Summa			19 981
Summa efterställda skulder			30 289

NOTER | KONCERNEN

K39 Klassificering av finansiella tillgångar och skulder

2014	Värderat till verkligt värde i RR uppdelat på		Derivat identifierat som säkringsinstrument	Investeringar som hålls till förfall	Lån och andra fordringar	Finansiella tillgångar tillgängliga för försäljning	Övriga finansiella tillgångar/skulder	Summa redovisat värde	Verkligt värde
mkr	Innehav för handel	Övrigt ¹							
Tillgångar									
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker					454 040		492	454 532	454 532
Övrig utlåning till centralbanker					51 047			51 047	51 047
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	42 095	34 377		749		998		78 219	78 223
Utlåning till övriga kreditinstitut					70 339			70 339	70 061
Utlåning till allmänheten		2 181			1 805 655			1 807 836	1 823 256
Värdeförändring på räntesäkrad post i portföljsäkring					70			70	
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	26 295	34 915		253		2 922		63 725	63 722
Aktier och andelar	36 628	1 551				8 367		46 546	46 546
Andelar i intresseföretag							286	286	286
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken		94 674			89			94 763	94 763
Derivatinstrument	63 450		52 674					116 124	116 124
Övriga tillgångar	35				13 892		394	14 321	14 321
Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter	408	654		1	3 546	2	2 180	6 791	6 791
Summa finansiella tillgångar	168 861	168 302	62 674	1 003	2 308 678	11 680	3 362	2 804 600	2 810 672
Övriga icke finansiella tillgångar								12 077	
Summa tillgångar								2 816 678	
Skulder									
Skulder till kreditinstitut							200 074	200 074	202 411
In- och upplåning från allmänheten							1 022 267	1 022 267	1 022 274
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken		94 775					89	94 864	94 864
Emitterade värdepapper	12 423						1 200 190	1 212 613	1 243 804
Derivatinstrument	54 790		8 098					62 878	62 878
Korta positioner	20 648							20 648	20 648
Övriga skulder	16						14 562	14 578	14 578
Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter	315						18 366	18 681	18 681
Efterställda skulder							30 289	30 289	34 411
Summa finansiella skulder	88 182	94 775	8 098				2 485 837	2 676 802	2 714 540
Övriga icke finansiella skulder								12 957	
Summa skulder								2 689 840	

¹ Klassificerats att värderas till verkligt värde.

NOTER | KONCERNEN

2013	Värderat till verkligt värde i FR uppdelat på		Derivat identifierat som säkeringsinstrument	Investeringar som hålls till förfall	Lån och andra fordringar	Finansiella tillgångar tillgängliga för försäljning	Övriga finansiella tillgångar/skulder	Summa redovisat värde	Verkligt värde
mkr	Innehav för handel	Övrigt ¹							
Tillgångar									
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker					334 185		609	334 794	334 794
Övrig utlåning till centralbanker					35 160			35 160	35 160
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	32 611	19 819		3 463		1 558		57 451	57 471
Utlåning till övriga kreditinstitut					62 898			62 898	62 413
Utlåning till allmänheten		2 580			1 693 759			1 696 339	1 701 517
Värdeförändring på räntesäkrad post i portföljsäkring					96			96	
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	26 959	35 331		933		902		64 125	64 123
Aktier och andelar	41 542	1 328				5 725		48 595	48 595
Andelar i intresseföretag							272	272	272
Tillgångar där kunden står värdeförändringsskan		80 234			696			80 930	80 930
Derivatinstrument	46 652		23 269					69 961	69 961
Övriga tillgångar	68				12 846		348	13 262	13 262
Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter	480	791		117	3 848		1 904	7 140	7 140
Summa finansiella tillgångar	148 392	140 083	23 269	4 613	2 143 488	8 186	3 133	2 471 023	2 475 638
Övriga icke finansiella tillgångar								13 698	
Summa tillgångar								2 484 721	
Skulder									
Skulder till kreditinstitut							171 624	171 624	173 128
In- och upplåning från allmänheten							825 205	825 205	824 904
Skulder där kunden står värdeförändringsskan		80 281					696	80 977	80 977
Emitterade värdepapper	17 420						1 133 221	1 150 641	1 167 147
Derivatinstrument	48 790		12 739					61 529	61 529
Korta positioner	22 845							22 845	22 845
Övriga skulder	19						13 170	13 189	13 189
Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter	357						21 504	21 861	21 861
Efterbetalda skulder							15 965	15 965	17 710
Summa finansiella skulder	89 431	80 281	12 739				2 181 385	2 383 836	2 383 200
Övriga icke finansiella skulder								9 546	
Summa skulder								2 393 382	

¹ Klassificerats att värderas till verkligt värde.

Omklassificerade finansiella tillgångar	2014		2013	
	Omklassificerat från innehav för handel (trading)	Omklassificerat från tillgängligt för försäljning	Omklassificerat från innehav för handel (trading)	Omklassificerat från tillgängligt för försäljning
Redovisat värde	12	4 469	74	5 375
Verkligt värde	13	4 535	74	5 464
Redovisad värdeförändring i resultaträkningen	-	209	-	170
Redovisad värdeförändring i övrigt totalresultat	2	318	0	-3
Värdeförändring som skulle redovisats i resultaträkningen om tillgångarna inte hade klassificerats om	1	209	1	170
Värdeförändring som skulle redovisats i övrigt totalresultat om tillgångarna inte hade klassificerats om	-	54	-	-25
Intäktstörd ränta	0	82	69	137

Samtliga innehav presenterade ovan omklassificerades till lånen den 1 juli 2008.

NOTER | KONCERNEN

K40 Vardering av finansiella instrument till verkligt värde

Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2014				
mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Belåningsbara statskuldförbindelser m.m.				
Innehav för handel	42 095	-	-	42 095
Klassificerade att värderas till verkligt värde	32 721	1 656	-	34 377
Tillgängliga för försäljning	998	-	-	998
Utlåning till allmänheten	-	2 168	13	2 181
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Innehav för handel	21 643	4 592	-	26 235
Klassificerade att värderas till verkligt värde	33 586	1 329	-	34 915
Tillgängliga för försäljning	2 091	231	-	2 322
Aktier och andelar				
Innehav för handel	33 175	3 359	94	36 628
Klassificerade att värderas till verkligt värde	1 037	-	514	1 551
Tillgängliga för försäljning	6 753	817	797	8 367
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	93 976	-	698	94 674
Derivatinstrument	630	115 494	-	116 124
Summa	288 705	129 648	2 116	400 467
Skulder				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	94 077	-	698	94 775
Emitterade värdepapper	-	12 329	94	12 423
Derivatinstrument	1 566	61 312	-	62 878
Korta positioner	20 560	88	-	20 648
Summa	116 203	73 729	792	190 724
Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2013				
mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Belåningsbara statskuldförbindelser m.m.				
Innehav för handel	32 611	-	-	32 611
Klassificerade att värderas till verkligt värde	19 819	-	-	19 819
Tillgängliga för försäljning	1 558	-	-	1 558
Utlåning till allmänheten	-	2 562	18	2 580
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Innehav för handel	21 881	5 078	-	26 959
Klassificerade att värderas till verkligt värde	30 149	5 182	-	35 331
Tillgängliga för försäljning	582	320	-	902
Aktier och andelar				
Innehav för handel	40 283	1 183	76	41 542
Klassificerade att värderas till verkligt värde	733	-	595	1 328
Tillgängliga för försäljning	4 368	640	717	5 725
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	79 744	-	490	80 234
Derivatinstrument	1 353	68 628	-	69 981
Summa	233 081	83 568	1 898	318 550
Skulder				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	79 791	-	490	80 281
Emitterade värdepapper	4	17 332	84	17 420
Derivatinstrument	2 158	59 371	-	61 529
Korta positioner	21 951	894	-	22 845
Summa	103 904	77 697	674	182 075

NOTER | KONCERNEN

Värderingshierarkin

Finansiella Instrument värderade till verkligt värde har i tabellerna kategoriserats med avseende på hur de värderats och graden av marknadsdata som använts vid värderingen. Kategoriseringen framgår som nivå 1–3 i tabellerna. Finansiella Instrument som värderas till aktuellt marknadspris kategoriseras som nivå 1. Dessa finansiella Instrument består främst av statspapper och andra räntebärande värdepapper som handlas aktivt, noterade aktier samt korta positioner i motsvarande tillgångar. I nivå 1 ingår även merparten av de fondandelar och andra tillgångar som är kopplade till fondförsäkringskontrakt och liknande avtal samt motsvarande skulder. Finansiella Instrument som värderas med värderingsmodeller som i allt väsentligt bygger på marknadsdata kategoriseras som nivå 2. I nivå 2 ingår främst ränte- och valutarelaterade derivat. Finansiella Instrument vars värdering i väsentlig utsträckning påverkas av indata som inte går att verifiera med externa marknadssuppgifter kategoriseras som nivå 3.

Som grund för indelningen ligger den värderingsmetod som använts på balansdagen. Om kategorin för ett specifikt Instrument har förändrats i jämförelse med föregående balansdag (2013-12-31) har Instrumentet flyttat mellan nivåerna i tabellen. Under räkenskapsåret har vissa volymer flyttats mellan nivå 1 och nivå 2 till

följd av en ny bedömning av marknadsaktiviteten. Räntebärande värdepapper till ett värde av 134 miljoner kronor har flyttats från nivå 1 till nivå 2 och räntebärande värdepapper till ett värde av 733 miljoner kronor har flyttats från nivå 2 till nivå 1. Årets förändringar av innehav i nivå 3 redovisas i en separat tabell.

Innehav i nivå 3 består främst av onoterade aktier och innehav i riskkapitalfonder. Innehav i riskkapitalfonder värderas med värderingsmodeller som huvudsakligen bygger på relativvärdering av jämförbara noterade företag i samma bransch. Det resultatmått som jämförelsen bygger på justeras för faktorer som stör jämförelsen mellan investeringen och jämförelsebolaget. Därefter beräknas värdet på basis av vinstmultiplar, exempelvis P/E-tal. Merparten av dessa innehav utgör placeringstillgångar i koncernens försäkringsrörelse. Värdeförändringar på placeringstillgångarna ingår i underlaget för beräkning av avkastningsandelning i försäkringsrörelsen och redovisas därmed inte direkt i resultaträkningen.

Koncernens innehav av onoterade aktier består till övervägande del av bankens andelar av olika typer av gemensamägd verksamhet med anknytning till bankens affär. Det kan exempelvis röra sig om andelar i clearing-organisationer och infrastruktursamarbeten på Handelsbankens hemmamarknader. Sådana

innehav värderas i regel till bankens andel av substansvärdet i bolaget, alternativt till det pris den senaste transaktionen genomfördes till. Onoterade aktier är i allt väsentligt klassificerade som tillgängliga för försäljning. Värdeförändringar på dessa innehav redovisas därmed i övrigt totalresultat.

Årets realiserade värdeförändringar på finansiella Instrument i nivå 3 uppgår till 75 miljoner kronor, varav 20 miljoner kronor ingår i underlaget för beräkning av avkastningsandelning i försäkringsrörelsen. Resterande belopp har redovisats i nettoresultat av finansiella transaktioner.

Skillnader mellan transaktionspris och det värde som räknas fram med hjälp av en värderingsmodell

Som framgår av redovisningsprinciperna i not K1 periodiseras väsentliga positiva skillnader mellan det värde som räknats fram vid det första redovisningstillfället och transaktionspriset (så kallat dag 1-resultat) vid modellvärdering av derivat. Principen innebär att en periodiserings-effekt om 88 miljoner kronor (81) redovisats i nettoresultat av finansiella transaktioner under året. Vid utgången av året uppgick sammanlagda ännu ej resultatförda dag 1-resultat till 465 miljoner kronor (396).

Förändring av innehav i nivå 3 2014

mkr	Aktier och andelar	Derivat, nettoposition	Utlåning till allmänheten	Tillgångar där kunden står värde- förändringarsteken	Skulder där kunden står värde- förändringarsteken	Emitterade värdepapper
Redovisat värde vid årets ingång	1 388	-	18	490	-490	-84
Nyanskaffningar	56	-	-	-	-	-10
Återköp/Avyttring	-56	-	-	-	-	-
Förskott	-	-	-7	-	-	-
Orealiserad värdeförändring i resultaträkningen	-62	-	-	208	-208	-
Orealiserad värdeförändring i övrigt totalresultat	79	-	1	-	-	-
Förflyttning från nivå 1 eller 2	-	-	1	-	-	-
Förflyttning till nivå 1 eller 2	-	-	-	-	-	-
Redovisat värde vid årets utgång	1 405	-	13	698	-698	-94

Förändring av innehav i nivå 3 2013

mkr	Aktier och andelar	Derivat, nettoposition	Utlåning till allmänheten	Tillgångar där kunden står värde- förändringarsteken	Skulder där kunden står värde- förändringarsteken	Emitterade värdepapper
Redovisat värde vid årets ingång	1 560	-	24	-	-	-77
Nyanskaffningar	107	-	-	-	-	-1
Återköp/Avyttring	-304	-	-	-	-	-
Förskott	-1	-	-2	-	-	-
Orealiserad värdeförändring i resultaträkningen	-12	-	0	-	-	-6
Orealiserad värdeförändring i övrigt totalresultat	38	-	1	-	-	-
Förflyttning från nivå 1 eller 2	-	-	3	490	-490	-
Förflyttning till nivå 1 eller 2	-	-	-8	-	-	-
Redovisat värde vid årets utgång	1 388	-	18	490	-490	-84

NOTER | KONCERNEN

K40 Forts

Principer för upplysningar om verkligt värde på finansiella instrument som redovisas till anskaffningsvärde eller upplupet anskaffningsvärde

Upplysningar om verkligt värde på finansiella instrument som redovisas till anskaffningsvärde eller upplupet anskaffningsvärde lämnas i not K39 samt i tabellen nedan. Dessa instrument består i allt väsentligt av utlåning samt in- och upplåning. För betalningsmedel samt kortfristiga fordringar och skulder har det redovisade värdet bedömts vara en godtagbar estimering av det verkliga värdet. Fordringar och skulder med förfallodag alternativt tidpunkt för

nästkommande räntesattsättning som infaller inom 30 dagar, har definierats som kortfristiga.

Värderingen av utlåning till fast ränta baseras på aktuell marknadsränta med justering för antagande om marknadsmässig kredit- och likviditetsriskpremie. Premien har antagits vara lika med genomsnittlig marginal för nyutlåning vid mättdpunkten. Räntebärande värdepapper har värderats till aktuellt marknadspris i den mån ett sådant funnits tillgängligt. Upplåning samt räntebärande värdepapper för vilka marknadsprisinformation inte funnits har värderats med en värderingsmodell som bygger på marknadsdata i form av priser eller räntor för liknande instrument.

I tabellen nedan har den värdering som ligger till grund för uppgifterna om verkligt värde på finansiella instrument som redovisas till anskaffningsvärde eller upplupet anskaffningsvärde kategoriserats i den värderingshierarchy som beskrivits ovan. Betalningsmedel samt inlåning har likställts med kontanter och kategoriserats som nivå 1. I nivå 1 redovisas även räntebärande värdepapper (tillgångar och skulder) för vilka det finns ett aktuellt marknadspris. Utlåning för vilken antagandet om kredit- och likviditetspremie väsentligt påverkat upplysningen om verkligt värde har kategoriserats som nivå 3. Övriga instrument är kategoriserade som nivå 2.

Verkligt värde på finansiella instrument redovisade till anskaffningsvärde eller upplupet anskaffningsvärde 2014 mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	454 532	-	-	454 532
Övrig utlåning till centralbanker	27 905	23 142	-	51 047
Betalningsbara statskultförbindelser m m	753	-	-	753
Utlåning till övriga kreditinstitut	14 816	54 753	492	70 061
Utlåning till allmänheten	6 817	50 992	1 763 266	1 821 075
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	250	-	-	250
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	-	89	-	89
Summa	605 073	128 076	1 763 758	2 597 807
Skulder				
Skulder till kreditinstitut	60 442	141 969	-	202 411
In- och upplåning från allmänheten	708 364	313 910	-	1 022 274
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	-	89	-	89
Emitterade värdepapper	674 330	557 051	-	1 231 381
Efterställda skulder	-	34 411	-	34 411
Summa	1 443 136	1 047 430	-	2 490 566
Verkligt värde på finansiella instrument redovisade till anskaffningsvärde eller upplupet anskaffningsvärde 2013 mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	334 794	-	-	334 794
Övrig utlåning till centralbanker	2 668	32 492	-	35 160
Betalningsbara statskultförbindelser m m	3 483	-	-	3 483
Utlåning till övriga kreditinstitut	15 228	46 248	937	62 413
Utlåning till allmänheten	5 779	29 246	1 663 912	1 698 937
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	931	-	-	931
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	-	313	383	696
Summa	362 883	108 299	1 665 232	2 136 414
Skulder				
Skulder till kreditinstitut	33 487	139 641	-	173 128
In- och upplåning från allmänheten	684 914	139 990	-	824 904
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	-	696	-	696
Emitterade värdepapper	644 538	505 189	-	1 149 727
Efterställda skulder	-	17 710	-	17 710
Summa	1 362 939	803 226	-	2 166 165

K41 Ställda och mottagna säkerheter samt överförda finansiella tillgångar

För egna skulder ställda säkerheter mkr	2014	2013
Kontanter	31 427	9 803
Statspapper och obligationer	28 552	30 695
Utlåning till allmänheten	623 244	619 110
Aktier	1 323	3 835
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken ¹	92 386	77 619
Övrigt	12 720	13 203
Summa	789 652	754 265
Värdet på pantar som fritt kan återkallas av banken	27 497	

¹ Jämför klassifika för 2013 har justerats som följd av att registrerade tillgångar i försäkringsrörelsen från och med 2014 har fördelats på posterna Statspapper och obligationer, Aktier respektive Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken.

Övriga ställda säkerheter mkr	2014	2013
Kontanter	2 101	702
Statspapper och obligationer	25 185	30 483
Utlåning till allmänheten	3 702	-
Aktier	4 751	6 482
Övrigt	18	4 012
Summa	35 757	41 679
Värdet på pantar som fritt kan återkallas av banken	25 788	

Med Övriga ställda säkerheter avses säkerheter som ställts för förpliktelser som ej redovisas i balansräkningen.

Ställda säkerheter

Ställda säkerheter i form av räntebärande värdepapper består i huvudsak av värdepapper som ställts som säkerhet i centralbanker och andra kreditinstitut, för betalningssystem, värdepappershandel och clearing samt värdepapper som sålts under bindande återköpsavtal (repo). Ställda säkerheter i form av aktier består av utlånade aktier och aktier i försäkringsrörelsen.

Utlåning till allmänheten som ställts som säkerhet utgörs till största delen av den registrerade säkerhetsmassan till förmån för innehavare av säkerställda obligationer emitterade av Stadshypotek. Säkerhetsmassan består av hypotekslån som lämnats mot pant i huvudsakligen småhus, fritidshus, feriestadshus och bostadsrätter med belåningsgrad inom 75 procent av marknadsvärdet. I händelse av bolagets obestånd har innehavarna av de säkerställda obligationerna förmånsrätt enligt lagen om säkerställda obligationer och förmånsrättslagen i de pantförskrivna tillgångarna. Om tillgångarna i säkerhetsmassan vid tiden för ett konkursbeslut uppfyller de villkor som uppställts i lagen ska de hållas åtskilda från konkursboets övriga tillgångar och skulder. Innehavarna av obligationerna erhåller då fortsatt kontraktsskydd enligt betalningsvillkoren fram till förfall.

Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken består i huvudsak av fondandelar under fondförsäkringsavtal i Handelsbanken Liv i vilka försäkringstagarna har förmånsrätt.

Mottagna säkerheter

Vid omvända återköpsavtal och aktielån mottas värdepapper som kan säljas eller pantsättas vidare till tredje part. Sådana värdepapper redovisas inte i balansräkningen. Det verkliga värdet av mottagna värdepapper under omvända återköpsavtal och avtal om aktielån uppgick till 38 562 miljoner kronor (34 306) vid räkenskapsårets slut, varav säkerheter till ett värde av 5 295 miljoner kronor (1 050) sålts eller pantsatts vidare. Information om mottagna pantar för utlåning och andra mottagna säkerheter framgår av not K2.

Överförda finansiella tillgångar redovisade i balansräkningen

Överförda finansiella tillgångar är tillgångar för vilka rätten till framtida kassaflöden direkt eller indirekt överförs till en extern motpart. Merparten av de överförda finansiella tillgångar som redovisas i balansräkningen består av räntebärande värdepapper som sålts under bindande återköpsavtal samt utlånade aktier. I normalfallet regleras villkoren för bindande återköp och aktielån i ramavtal som ingåtts mellan banken och respektive motpart.

Bindande återköpsavtal innebär försäljning av ett värdepapper med förbindelse om återköp till ett fastställt pris vid en förutbestämd framtida tidpunkt. Säljaren av värdepappret är därmed fortsatt exponerad för risken för värdeförändringar under avtalets löptid. Sållda värdepapper under återköpsavtal kvarstår till marknadsvärde i balansräkningen under avtalets löptid.

Mottagen köpeskillning redovisas som skuld till motparten. Enligt standardvillkoren i återköpsavtal övergår äganderätten till det sålda värdepappret helt från säljare till köpare, vilket innebär att köparen har rätt att vidareförsälja, återpantsätta eller på annat sätt förfoga över de köpta värdepappren.

Enligt standardavtalen för aktielån kvarstår exponeringen för värdeförändring i den utlånade aktien hos långvären. Utlånade aktier kvarstår därmed i balansräkningen under lånets löptid. Säkerheter för utlånade aktier utgår i regel i form av kontanter eller andra värdepapper. Mottagen kontantsäkerhet redovisas som skuld i balansräkningen. På samma sätt som för återköpsavtal innebär det standardavtal som används för aktielån att låntagaren under lånets löptid har rätt att vidareförsälja, återpantsätta eller på annat sätt förfoga över de lånade aktierna.

Som övriga överförda finansiella tillgångar redovisas statspapper, obligationer och aktier som ställts som säkerhet för värdepappershandel, clearing med mera och där förfoganderätten över värdepappret övergått till motparten. Som överförda finansiella tillgångar redovisas även vissa tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken. Posten består av portföljer av finansiella instrument till vilka banken har formell äganderätt, men där de risker som är förknippade med tillgångarna liksom rätten till framtida kassaflöden överförs till en tredje part. Värdet av dessa tillgångar speglar värderingen av den motsvarande skuldposten.

NOTER | KONCERNEN

K41 Forts

Överförda finansiella tillgångar redovisade i balansräkningen	2014		2013	
	Redovisat värde	Redovisat värde motsvarande skuld	Redovisat värde	Redovisat värde motsvarande skuld
<i>milj</i>				
Aktier värdepappersutlåning	1 646	206 ¹	3 641	3 086 ¹
Aktier, övrigt	3 337	-	5 927	-
Statspapper och obligationer, repor	196	201	6 685	6 689
Statspapper och obligationer, övrigt	57	-	1 184	-
Tillgångar där kunden står värdepappersrisken	1 008	1 008	2 203	2 203
Summa	6 244	1 415	19 640	11 978

¹ Mottagen kontantsäkerhet.

K42 Ansvarsförbindelser

<i>milj</i>	2014	2013
Garantförbindelser, krediter	10 395	8 371
Garantförbindelser, övriga	60 033	58 568
Obligatoriska rembursar	3 733	4 842
Övrigt	1 636	2 348
Summa	75 797	74 129

Ansvarsförbindelserna består i huvudsak av olika typer av garantförbindelser. I tabellen anges garantiernas nominella belopp.

K43 Övriga åtaganden

<i>milj</i>	2014	2013
Kreditförläns	271 001	246 518
Outnyttjad del av beviljade rättningskrediter ¹	102 778	99 660
Övrigt	14 134	9 046
Summa	387 913	355 224

¹ Från och med 2014 ingår inte sådana outnyttjade rättningskrediter som motparten inte förtogar över vid redovisningstillfället och som därför inte ger upphov till något kapitalkrav. Jämförelsestifroma har justerats.

Autoleasa, ej upplägbare, framtida operationella leasingavgifter fördelade på de år de förtaller till betalning			
<i>milj</i>		2014	2013
2015		710	701
2016–2019		1 673	1 781
2020 och senare		456	564
Summa		2 839	3 046

Operationell leasing är främst hänförlig till för verksamheten normala avtal avseende kontorslokaler och kontorsutrustning.

K44 Leasing

Uppgift om bruttoinvestering och nuvärdet av fordran avseende framtida minimileasingavgifter mkr		2014	2013
Bruttoinvestering		39 537	43 308
Nuvärdet av fordran avseende framtida minimileasingavgifter per balansdagen		37 802	40 375

Fördelning av bruttoinvestering och minimileasingavgifter på förtärlidpunkter mkr	Inom 1 år	Mellan 1 och 5 år	Senare än 5 år	Summa
2014				
Fördelning av bruttoinvestering	4 543	15 886	19 107	39 537
Fördelning av nuvärdet av framtida minimileasingavgifter	4 516	15 591	17 695	37 802
2013				
Fördelning av bruttoinvestering	4 181	15 847	23 280	43 308
Fördelning av nuvärdet av framtida minimileasingavgifter	4 157	15 368	20 850	40 375

Ej intjänade finansiella intäkter mkr		2014	2013
Ej intjänade finansiella intäkter		1 735	2 582

I samtliga finansiella leasingavtal är bolag inom koncernen leasegivare. Samtliga leasingavtal har garanterade restvärden. Bokförd reserv för osäkra fordringar avseende minimileasingavgifter uppgår till 4 mkr (22). Den variabla delen av leasingavgifter som ingår i årets resultat uppgår till 197 mkr (431). Minskningen beror delvis på det låga ränteläget under 2014 jämfört med 2013 men även på minskade volymer.

Vid utgången av året fanns i koncernen sex leasingengagemang som varit och ett enskilt hade ett redovisat värde överstigande 1 mkr. Totalt redovisat värde på dessa engagemang var 18,0 mkr (18,0) vilket motsvarar 0,9% av koncernens totala kreditvolym per den 31 december 2014. Det redovisade värdet på det enskilt största engagemang var 7,8 mkr (8,3). Genomsnittlig återstående löptid för dessa engagemang var 5,2 år (6,2). Engagemangen riktar sig mot branscherna transport och energi.

NOTER | KONCERNEN

K45 Segmentinformation

Segmentinformation 2014	Hemmamärknader						Capital Markets	Övrigt	Justeringer och elimineringar	Kvarvarande verksamhet
	Kontorsrörelsen i Sverige	Kontorsrörelsen i Storbritannien	Kontorsrörelsen i Danmark	Kontorsrörelsen i Finland	Kontorsrörelsen i Norge	Kontorsrörelsen i Nederländerna				
ink										
Räntanetto	15 734	3 497	1 610	1 389	3 439	283	847	495	-50	27 244
Provisionanetto	3 908	344	385	440	390	26	3 041	22		8 556
Nettoreultat av finansiella poster värderade till verkligt värde	400	158	116	76	102	7	1 537	-619		1 777
Risikoreultat försäkring							165			165
Andelar i intressföretags resultat								18		18
Övriga intäkter	92	18	21	11	20	0	17	375		554
Summa intäkter	20 134	4 017	2 132	1 916	3 951	316	5 607	291	-50	38 314
Personalkostnader	-3 421	-1 471	-584	-351	-711	-127	-2 542	-2 587	28	-11 766
Övriga administrativa kostnader	-1 221	-333	-181	-158	-219	-28	-859	-2 100		-5 099
Internt köpta och sålda tjänster	-2 770	-379	-273	-232	-390	-68	-126	4 188	50	
Av- och nadschifvningar av materiella och immateriella tillgångar	-85	-18	-19	-8	-11	-1	-79	-241		-462
Summa kostnader	-7 497	-2 201	-1 057	-749	-1 331	-224	-3 606	-740	78	-17 327
Resultat före kreditförluster	12 637	1 816	1 075	1 167	2 620	92	2 001	-449	28	20 987
Kreditförluster, netto	-657	-203	-529	-277	-141	-1	27	0		-1 781
Vinstförluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	0	4	1	0	0	0	0	1		5
Rörelseresultat	11 980	1 617	547	890	2 479	91	2 028	-448	28	19 212
Resultatutdelning	930	35	62	85	66	8	-1 186	0		
Rörelseresultat efter resultatutdelning	12 910	1 652	609	975	2 545	99	842	-448	28	19 212
Interna intäkter ¹	-492	-1 230	-458	-429	-3 430	-154	-1 858	8 061		
KV-fal, %	35,6	54,3	48,2	37,4	33,1	69,1	81,6			45,2
Kreditförlustnivå, %	0,05	0,15	0,73	0,25	0,07	0,01	-0,05			0,10
Tillgångar	1 402 774	263 459	88 395	177 009	206 536	38 651	423 265	1 919 427	-1 702 840	2 816 676
Skulder	1 335 671	254 029	82 387	170 464	193 355	37 754	415 817	1 919 427	-1 719 055	2 689 849
Allokerat kapital	67 103	9 430	6 008	6 545	13 181	897	7 448	0	16 215	126 627
Räntabilitet på allokerat kapital, %	15,7	15,2	8,5	12,4	15,9	9,2	8,1			13,3
Årets investeringar i icke finansiella anläggningstillgångar	53	41	13	12	14	11	144	186		474
Årets investeringar i intressföretag								2		2
Medelantal anställda	4 381	1 567	631	494	672	131	1 885	1 931		11 692

¹ Interna intäkter som ingår i summa intäkter består av intäkter från transaktioner med andra rörelsesegment. Eftersom räntaintäkter och räntekostnader redovisas netto som en intäkt innebär det att interna intäkter bland annat innehåller nettot av intern finansieringskostnad mellan segmenten.

Rörelsesegmenten redovisas i enlighet med IFRS 8 Rörelsesegment, vilket innebär att segmentinformationen presenteras på motsvarande sätt som tillämpas internt i styrningssyfte. Handelsbankens verksamhet presenteras uppdelat på segmenten Kontorsrörelserna i Sverige, Storbritannien, Danmark, Finland, Norge och i Nederländerna samt Capital Markets. Kontorsrörelsen i Handelsbanken, vars verksamhet består av att tillhandahålla ett fullsortiment av banktjänster, var under 2014 uppdelad i fjorton regionbanker, varav sex stycken svenska och åtta stycken belägna utanför Sverige. Varje regionbank styrs av en regionbankschef och

följs upp som en fristående resultatenhet. Segmentet Capital Markets är bankens investmentsbank vilket bland annat inbegriper värdepappershandel och investeringsrådgivning. I verksamheten ingår även kapitalförvaltning, försäkringsverksamhet samt bankens internationella verksamhet utanför hemmamärknaderna. Segmentens resultat visas före och efter intern resultatutdelning. Den interna resultatutdelningen innebär att kundansvarig enhet tilldelas allt resultat som härrör från dess kunders transaktioner med banken oavsett inom vilket segment transaktionen är genomförd. Dessutom redovisas intäkter och kostnader för

internt utförda tjänster netto på raden Internt köpta och sålda tjänster. Transaktioner mellan segmenten redovisas huvudsakligen enligt självkostnadsprincipen. I kolumnerna Övrigt samt Justeringar och elimineringar visas poster som inte hör till något specifikt segment eller elimineras på koncernnivå. I kolumnen Övrigt ingår finansförvaltning och centrala stabssavdelningar samt kostnaden för avsättningen till Oktogonen som uppgår till 795 miljoner kronor (1 096). I kolumnen Justeringar och elimineringar redovisas bland annat justeringar för personalkostnader. I justeringar för personalkostnader ingår skillnaden mellan koncernens

NOTER | KONCERNEN

Segmentinformation 2013	Hemmamarknader						Capital Markets	Övrigt	Justeringar och elimineringar	Kvarvarande verksamhet
	Kontorsrörelsen i Sverige	Kontorsrörelsen i Storbritannien	Kontorsrörelsen i Danmark	Kontorsrörelsen i Finland	Kontorsrörelsen i Norge	Kontorsrörelsen i Nederländerna				
mkr										
Räntenetto	16 259	2 624	1 519	1 219	3 574	230	996	313	-45	26 669
Provisionsnetto	3 486	213	329	412	364	23	3 008	-31		7 804
Nettoreultat av finansiella poster värderade till verkligt värde	445	120	97	40	83	1	1 073	-502		1 357
Risikoresultat försäkring							142			142
Andelar i intresseföretags resultat								9		9
Övriga intäkter	27	13	18	5	12	-	16	255		346
Summa intäkter	20 257	2 970	1 963	1 676	4 033	254	5 178	44	-45	36 327
Personalkostnader	-3 283	-1 059	-546	-331	-662	-96	-2 560	-2 858	-9	-11 404
Övriga administrativa kostnader	-1 187	-243	-175	-145	-232	-21	-969	-2 209		-5 181
Internt köpta och sålda tjänster	-3 002	-317	-252	-239	-368	-56	-147	4 336	45	
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	-87	-41	-17	-10	-10	-1	-61	-249		-476
Summa kostnader	-7 559	-1 680	-990	-725	-1 272	-174	-3 737	-680	36	-17 061
Resultat före kreditförluster	12 698	1 310	973	941	2 761	80	1 438	-696	-9	19 268
Kreditförluster, netto	-357	-168	-161	-268	-169	-7	-65			-1 195
Vinsten/förlusten vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	9	1	-	0	0	-	0	7		17
Rörelseresultat	12 350	1 143	812	673	2 592	73	1 373	-689	-9	18 088
Resultatutdelning	876	30	47	70	43	4	-1 070	0		
Rörelseresultat efter resultatutdelning	13 226	1 173	859	743	2 635	77	303	-689	-9	18 088
Interna intäkter ¹	-925	-1 212	-395	-417	-3 606	-140	-1 672	8 367		
KI-tal, %	35,8	55,3	40,3	41,5	31,2	67,4	91,0			47,0
Kreditförlustnivå, %	0,03	0,14	0,24	0,27	0,08	0,05	0,08			0,07
Tillgångar	1 309 092	194 503	78 890	153 436	202 567	33 039	377 283	1 528 713	-1 392 742	2 484 721
Skulder	1 248 603	186 859	73 482	147 315	190 444	32 221	368 685	1 528 713	-1 402 940	2 373 382
Allokerat kapital	60 489	7 644	5 348	6 121	12 123	818	8 598		10 198	111 339
Räntabilitet på allokerat kapital, %	17,9	13,2	12,7	9,9	17,0	7,7	2,6			13,8
Årets investeringar i icke finansiella anläggningstillgångar	71	22	37	10	14	8	247	233		642
Årets investeringar i intresseföretag								53		53
Medelantal anställda	4 410	1 260	624	490	650	102	1 985	1 982		11 503

¹ Interna intäkter som ingår i summa intäkter består av intäkter från transaktioner med andra rörelsesegment. Eftersom ränta-intäkter och räntekostnader redovisas netto som en intäkt innebär det att interna intäkter bland annat innehåller nettot av intern finansieringskostnad mellan segmenten.

pensionskostnader beräknade enligt IAS 19 Ersättningar till anställda och segmentens schablonmässiga pensionskostnader, vilken uppgår till -568 miljoner kronor (-564), samt gottgörelse från Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse på 540 miljoner kronor (555).

Interna intäkter består främst av interna räntor och provisioner. I segmentens resultaträkningar ingår dessutom interna poster i form av ersättningar för interna tjänster. Interndecktering sker huvudsakligen enligt självkostnadsprincipen. I kontorsrörelsen består tillgångarna till största delen av utlåning till allmänheten och skulderna av inlåning från allmänheten samt

Intern upplåning. I segmentet Capital Markets består tillgångarna främst av värdepapper som förvaltas inom ramen för kapitalförvaltning och försäkringsverksamheten. Tillgångarna i kolumnen Övrigt består till övervägande del av Internutlåning till de olika segmenten medan skulderna främst består av extern upplåning. Det allokera kapital för segmenten överensstämmer med kapitalfördelningen enligt den interna styrmödel. Räntabiliteten är beräknad på genomsnittligt allokera kapital och skattesatsen 22 procent. För koncernen beräknas räntabilitet på eget kapital efter redovisad skatt.

Intäkter per produktområde mkr	2014	2013
Investmentbank	4 524	4 272
Bankinlåning och utlåning företag	11 589	11 913
Finansbolags tjänster	2 001	1 887
Bankinlåning och utlåning privatpersoner	4 411	4 541
Hypotek	10 236	9 369
Pension och Försäkring	1 152	1 031
Kapitalmarknad	2 433	1 914
Handelsfinansiering	483	477
Övrig verksamhet	1 485	923
Summa	38 314	36 327

NOTER | KONCERNEN

K46 Geografisk information

Geografisk information 2014 mkr	Sverige	Denmark	Finland	Norge	Stor- britannien	Neder- länderna	Övriga världen	Koncernen
Intäkter	23 958	2 187	2 243	4 144	4 114	303	1 365	38 314
Röreliseresultat	13 415	369	985	2 466	1 431	73	473	19 212
Skatt	2 818	49	209	628	238	19	118	4 069
Tillgångar	1 670 935	89 388	148 176	190 541	216 268	29 986	471 382	2 816 676
Övriga upplysningar								
Investeringar i icke-finansiella tillgångar	270	13	13	22	17	3	18	356

Intäkter, kostnader och tillgångar som presenteras i den Geografiska informationen består av de interna och externa intäkterna, kostnaderna och tillgångarna i respektive land. Den geografiska fördelningen av intäkter och kostnader är baserad på det land där affären är genomförd. Med skatt avses aktuell och uppskjuten skatt. Ytterligare geografisk information lämnas i not M16 avseende koncernföretag och deras sätte samt i not K8 avseende medelantal anställda per land.

Geografisk information 2013 mkr	Sverige	Denmark	Finland	Norge	Stor- britannien	Neder- länderna	Övriga världen	Koncernen
Intäkter	23 989	1 839	1 973	3 993	3 027	243	1 263	36 327
Röreliseresultat	13 162	433	732	2 291	971	59	440	18 088
Skatt	2 652	36	142	723	234	15	113	3 915
Tillgångar	1 487 103	75 140	108 636	169 746	210 614	24 967	408 515	2 484 721
Övriga upplysningar								
Investeringar i icke-finansiella tillgångar	229	41	13	21	22	8	23	357

K47 Tillgångar och skulder i valuta

2014 mkr	SEK	EUR	NOK	DKK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
Tillgångar								
Kassa och tillgodohavande hos centralbanker	228	81 932	2 342	97	55 782	312 782	1 374	454 532
Övrig utlåning till centralbanker	6 926	-	15 758	28 021	342	-	0	51 047
Utlåning till övriga kreditinstitut	1 719	10 075	275	288	874	54 871	2 237	70 339
Utlåning till allmänheten	1 164 777	178 002	184 912	72 787	167 719	26 642	12 997	1 807 836
varav företag	500 444	129 197	101 176	28 326	114 555	26 490	11 750	911 938
varav hushåll	664 333	48 805	83 736	44 461	53 164	152	1 247	895 898
Betalningsbara statskultförbindelser m.m.	40 967	6 576	1 080	6	-	28 597	993	78 219
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	54 997	3 976	3 890	-	828	34	-	63 725
Övriga ej valutafördelade poster	230 978	-	-	-	-	-	-	230 978
Summa tillgångar	1 060 587	280 661	208 287	101 100	226 045	422 926	17 601	2 816 676
Skulder								
Skulder till kreditinstitut	32 440	71 353	10 855	13 728	3 804	56 412	11 482	200 074
In- och upplåning från allmänheten	444 033	120 058	61 616	30 218	106 728	249 885	9 719	1 022 267
varav företag	191 628	105 379	44 311	17 550	87 548	247 678	9 423	703 517
varav hushåll	252 405	14 689	17 305	12 668	19 180	2 207	296	318 750
Emitterade värdepapper	459 264	236 831	22 625	342	89 923	371 569	32 035	1 212 613
Efterställda skulder	10 308	18 887	-	-	-	117	977	30 289
Övriga ej valutafördelade poster, inkl eget kapital	351 433	-	-	-	-	-	-	351 433
Summa skulder och eget kapital	1 297 478	447 139	96 098	44 288	200 485	678 007	54 213	2 816 676
Valutafördelade övriga tillgångar och skulder (netto)		166 635	-113 117	-56 885	-24 996	254 804	36 690	
Nettoposition i valuta		57	44	26	94	-277	78	22

NOTER | KONCERNEN

2013 mkr	SEK	EUR	NOK	DKK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
Tillgångar								
Kassa och tillgodohavande hos centralbanker	342	48 191	4 263	85	46 585	235 126	202	334 794
Övrig utlåning till centralbanker	2 540	130	11 105	21 156	229	-	0	35 160
Utlåning till övriga kreditinstitut	4 120	11 124	132	151	583	43 811	2 977	62 898
Utlåning till allmänheten	1 121 986	164 903	182 613	62 231	129 807	24 378	10 421	1 695 339
varav företag	494 774	123 076	101 809	24 965	90 832	24 313	9 199	889 028
varav hushåll	627 212	41 827	80 804	37 266	38 975	65	1 222	827 311
Balanserade statsskuldförbindelser m.m.	25 826	6 727	1 137	6	-	21 202	1 553	57 451
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	54 921	5 651	2 667	75	-	734	77	64 125
Övriga ej valutafördelade poster	233 954							233 954
Summa tillgångar	1 444 889	238 726	201 917	83 704	177 204	325 281	16 230	2 484 721
Skulder								
Skulder till kreditinstitut	29 695	24 208	5 252	13 315	12 156	75 355	11 643	171 624
In- och upplåning från allmänheten	429 266	83 433	52 273	32 072	69 091	153 580	5 400	825 205
varav företag	192 500	70 681	36 810	20 758	59 905	151 938	5 239	537 885
varav hushåll	236 766	12 752	15 463	11 314	9 186	1 642	1 267	287 320
Emitterade värdepapper	477 393	227 389	18 769	226	89 640	317 453	19 771	1 150 641
Efterställda skulder	10 472	4 427	-	-	-	143	923	15 965
Övriga ej valutafördelade poster, inkl. eget kapital	321 286							321 286
Summa skulder och eget kapital	1 288 112	339 467	76 294	45 613	170 887	546 831	37 827	2 484 721
Valutafördelade övriga tillgångar och skulder (netto)		102 703	-125 629	-38 049	-6 362	221 290	22 683	
Nettoposition i valuta		-28	-6	42	-45	10	86	59

K48 Upplysningar om närstående

Fordringar på och skulder till närstående mkr	Intresseföretag		Övriga närstående	
	2014	2013	2014	2013
Utlåning till kreditinstitut	-	-	-	-
Utlåning till allmänheten	1 186	729	-	-
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	-	-	-	-
Övriga tillgångar	85	85	565	587
Summa	1 271	814	565	587
Skulder till kreditinstitut	-	-	-	-
In- och upplåning från allmänheten	178	186	281	334
Emitterade värdepapper	-	-	-	-
Efterställda skulder	-	-	701	698
Övriga skulder	-	-	56	56
Summa	178	186	1 038	1 088
Närstående – intäkter och kostnader mkr	Intresseföretag		Övriga närstående	
	2014	2013	2014	2013
Räntointäkter	25	8	0	0
Räntekostnader	-2	-2	-74	-75
Provisionsintäkter	5	2	-	-
Provisionskostnader	-238	-99	-37	-29
Nettoreultat av finansiella poster värderade till verkligt värde	0	0	-	-
Övriga intäkter	0	-	13	12
Övriga kostnader	-1	-2	-55	-45
Summa	-211	-93	-163	-137

Specifikation över intresseföretagen samt information om aktieägarfiskott till intresseföretag finns i not K19. Intresseföretagens verksamhet består i att utföra olika typer av tjänster som har anknytning till bankens verksamhet. I gruppen Övriga närstående ingår följande företag: Svenska Handelsbankens Pensionsaffärs och Pensionskassan SHB, Försäkringsförening (pensionskassan). Företagen anlitar Svenska Handelsbanken AB för sedvanliga bank- och rådgivningstjänster.

Svenska Handelsbanken AB, Svenska Handelsbankens Pensionsaffärs och pensionskassan har sinsemellan den 25 mars 2014 gjort omräkningar av sina respektive aktieinnehav, där banken sålt ett antal aktieinnehav och samtidigt köpt aktier i Industrivärden och SCA. Efter genomförda transaktioner kontrollerar Svenska Handelsbanken AB 10,46% av rösterna i Industrivärden (7,5% av kapitalet) och 10,15% av rösterna i SCA (2,1% av kapitalet). Transaktionerna genererade en realisationsvinst om 306 miljoner kronor för banken. Alla affärstransaktioner med närstående bolag sker på marknadsmässiga villkor.

Moderbolagets svenska dotterbolag har betalat pensionspremier avseende förmånsbestämda pensioner till pensionskassan uppgående till 56 mkr (46). Pensionskassans utfästelser till anställda i dotterbolag garanteras av moderbolaget, det vill säga om pensionskassan inte skulle kunna betala sina åtaganden så är moderbolaget skyldigt att ta över och betala åtagandet. Pensionskassans förpliktelser uppgår till 6 140 mkr (5 557). Svenska Handelsbanken AB har begärt gottgörelse av Svenska Handelsbankens Pensionsaffärs och Pensionskassan uppgående till 540 mkr (555). Under året har Svenska Handelsbanken AB, för ett delbestånd, bytt trygghetsform från Svenska Handelsbankens Pensionsaffärs till pensionskassan. Detta beskrivs närmare i not M38.

Information om krediter till ledande befattningshavare samt om ledande befattningshavares villkor och ersättningar i övrigt framgår av not K8.

NOTER | KONCERNEN

K49 Kapitaltäckning

KAPITALPOLICY

Banken har som mål att upprätthålla en betryggande kapitalnivå som svarar mot de risker som koncernens verksamhet innebär och som överstiger de minimikrav som lagen föreskriver. En god kapitalnivå behövs för att kunna hantera situationer med finansiell påfrestning, men även andra händelser såsom förvärv och kraftig volymtillväxt.

KAPITALKRAVSREGLER

Enligt de nya kapitaltäckningsreglerna, förordning nr 575/2013 EU (CRR) som trädde kraft inom EU den 1 januari 2014 och direktiv 2013/36/EU (CRD IV) som genomfördes i Sverige den 2 augusti 2014, ska banken ha kärnprimärkapital, primärkapital och en total kapitalbas som minst motsvarar de enskilda kraven i förhållande till det totala riskvägda exponeringsbeloppet för kreditrisker, marknadsrisker och operativa risker. Utöver att hålla kapital enligt minimikravet ska banken dessutom hålla kärnprimärkapital för att uppfylla det kombinerade buffertkravet som i Sverige utgörs av summan av en kapitalkonserveringsbuffert, en cyklickalibreringsbuffert samt en systemriskbuffert. Banken ska dessutom göra en intern kapitalutvärdering. Handelsbankens kapitalpolicy – senast fastställd under 2014 – anger riktlinjerna för den interna kapitalutvärderingen. Banken omfattas även av ett kapitalkrav på nivån finansiellt konglomerat enligt lagen (2006:531) om särskild tillsyn över finansiella konglomerat, se vidare kapitaltäckning för det finansiella konglomeratet nedan. Banken har under 2014, med god marginal, uppfyllt de lagstadgade minimi- och buffertnivåerna. Detaljerad information om bankens kapitalbas och kapitalkrav finns i not K2, Risk och kapitalhantering, samt i dokumentet Handelsbankens risk- och kapitalhantering – Information enligt Pareto 3, se handelsbanken.se/r.

BESKRIVNING AV KONSOLIDERAD SITUATION

Den regleringsmässiga konsolideringen (konsoliderad situation) består av moderbolaget samt dotter- och intresseföretag som också ingår i koncernens redovisning, se tabell på sidan 141. De bolag som ingår i koncernredovisningen och som inte ingår i den konsoliderade situationen framgår även av tabell på sidan 141. Precs som i koncernredovisningen konsolideras intresseföretag enligt kapitalandelsmetoden i den regleringsmässigt konsoliderade situationen. Vidare konsolideras helägda dotterbolag enligt förvärvsmetoden. Samtliga dotterbolag som omfattas av regelverket ingår i konsoliderad situation. Handelsbanken har inga dotterbolag där den faktiska kapitalbasen underskrider föreskriven kapitalbas.

BESKRIVNING AV KAPITALBASEN FÖR KONSOLIDERAD SITUATION

Kapitalbasen består av primärt respektive supplementärt kapital. Det primära kapitalet delas in i kärnprimärkapital samt övrigt primärkapital. Kärnprimärkapitalet utgörs i huvudsak av aktie-

kapital, upperbetade vinstmedel samt övriga reserver i de bolag som ingår i konsolideringen. Övrigt primärkapital utgörs av utgivna primärkapitaltillskott. Det supplementära kapitalet består huvudsakligen av förlagslån. Från kapitalbasen görs därefter vissa avdrag. Avdragen görs huvudsakligen från kärnprimärkapitalet. För bankens riskhantering är det viktigt att såväl koncernen som den regleringsmässiga konsolideringen riskmässigt kan ses som en enhet. För att risker ska kunna hanteras effektivt i koncernen kan kapital behöva omfördelas mellan de olika företagen i koncernen. Banken har generellt sett möjlighet att omfördela kapital mellan koncernens bolag, inom ramen för de begränsningar som följer av lagstiftning, till exempel kapitaltäckningskrav och bolagsrättsliga begränsningar. Banken ser i övrigt inga materiella eller rättsliga hinder för en snabb överföring av medel ur kapitalbasen eller återbetalning av skulder mellan moderbolaget och dess dotterföretag.

Primärkapital

Primärkapitalet utgörs av kärnprimärkapital respektive övrigt primärkapital.

Kärnprimärkapital

Kärnprimärkapitalet utgörs till största delen av aktiekapital, upperbetade vinstmedel samt övriga reserver i de bolag som ingår i den regleringsmässiga konsolideringen. I och med att koncernens försäkringsbolag inte ingår i konsolideringen ingår inte upperbetade vinstmedel i dessa bolag i kärnprimärkapitalet. De poster som ska exkluderas från kärnprimärkapitalet är främst goodwill och andra immateriella tillgångar samt kapitaltillskott till försäkringsbolag i koncernen eller vissa uppskjutna skattefordringar som överstiger 10 procent av kärnprimärkapitalet. Summan av kapitaltillskott och uppskjutna skattefordringar får heller inte överstiga 15 procent av kärnprimärkapitalet. Eftersom varken kapitaltillskotten till försäkringsbolagen i koncernen eller de uppskjutna skattefordringarna överstiger tröskelvärdet belastar dessa inte kärnprimärkapitalet. Neutralitetsjustering görs för påverkan som kassaflödessäkningar har haft på eget kapital. Dessutom ska en prisjustering beräknas och vid behov göras för försiktig värdering av instrument som värderas till verkligt värde. Institut som har tillstånd att använda interna riskklassificeringsmodeller ska göra ett avdrag för skillnaden mellan förväntad kreditförlust enligt Intermetoden och gjorda reserveringar för sannolika kreditförluster i det fall de förväntade kreditförlusterna överstiger gjorda reserveringar. Avdrag ska även göras för nettovärdet av redovisade övervärden i pensions-tillgångar. Avdraget får emellertid minskas med ett belopp som motsvarar bankens rätt till ersättning för pensionskostnader från Handelsbankens Pensionsstiftelse.

Under 2014 ska dessutom orealiserade vinster som härrör från tillgångar som klassificerats som tillgängliga för försäljning räknas av.

Övrigt primärkapital

Övrigt primärkapital utgörs av instrument som

uppfyller kraven för primärkapitaltillskott. Dessa är bland annat att tillskotten ska ha en löptid och kunna fördelas tidigast efter fem år och först efter tillstånd från tillsynsmyndigheten. Det nominella värdet ska kunna skrivas ned eller konverteras till aktier för att skapa kärnprimärkapital vid en förutbestämd nivå på kärnprimärkapitalet samt räntebetalningarna ska ovillkorligen kunna ställas in.

Samtliga bankens utestående primärkapitaltillskott är emellertid emitterade efter tillstånd enligt tidigare regelverk och inkluderas därmed i enlighet med övergångsregler i CRR. Av bankens samtliga emitterade primärkapitaltillskott om 8 miljarder kronor, utgörs 2,4 miljarder kronor av så kallade enhanced primärkapitaltillskott. Vanliga primärkapitaltillskott som banken emitterade fram till och med 2007, ger banken rätt att omvandla instrumentet till eget kapital, för att undvika likvidationsplikt. För enhanced primärkapitaltillskott emitterade sedan 2008, gäller att banken har rätt att omvandla instrumenten till eget kapital redan tidigare för att undvika att bryta mot regleringsmässiga krav. I händelse av likvidation skuldörs instrumenten, även till den del som sedan tidigare omvandlats till eget kapital och har då lika rätt till utskiftning av bolagets medel. Denna rätt är efterstäld alla andra fordringshavare. Det är endast aktieägarna som har en sämre rätt till utskiftning. För enhanced primärkapitaltillskott har banken en ovillkorlig rätt att ställa in kupongbetalningar, det vill säga räntebetalning kan ställas in när som helst. I det fall utdelningsbara medel saknas måste kupongbetalningar ställas in för båda typer av tillskott.

Supplementärkapital

Det supplementära kapitalet utgörs av förlagslån med en löptid om minst fem år. Avdrag görs för förlagslånetillskott till försäkringsbolagen inom koncernen.

KAPITALKRAV

Kreditrisk

Kapitalkravet för kreditrisk beräknas enligt schablonmetoden och Intermetoden enligt CRR. För Intermetoden återfinns två olika metoder, Intermetoden utan egna skattningar av LGD och konverteringsfaktorer (KF) motsvarande grundmetoden enligt föregående regelverk och Intermetoden med egna skattningar av LGD och KF motsvarande avancerad metod i föregående regelverk.

I Intermetoden utan egna skattningar av LGD och KF beräknar banken med en egen metod sannolikheten för att kunden ska falla inom ett år (PD), medan övriga parametrar är föreskrivna av regelverket. I Intermetoden med egna skattningar av LGD och KF använder banken egna metoder för att beräkna förlust givet fallissemang (LGD) och exponeringsbeloppet.

Handelsbanken tillämpar Intermetoden utan egna skattningar för LGD och KF för exponeringar mot institut, samt för vissa produkt- och säkerhetstyper avseende företagsexponeringar för hela regionbanksektorn samt i dotterbolagen Stadshypotek AB, Handelsbanken Finans AB, Handelsbanken Finans (Shanghai) Financial Leasing Co. Ltd och Raholtus Oy.

NOTER | KONCERNEN

K49 Forts

Balansräkning	2014		2013	
	Konsoliderad situation	Koncern	Konsoliderad situation	Koncern
net				
TILLGÅNGAR				
Kassa och tillgodoavanden hos centralbanker	454 532	454 532	338 788	334 794
Övrig utlåning till centralbanker	51 047	51 047	35 160	35 160
Befäringssbara statskultförbindelser	74 367	78 219	53 790	57 451
Utlåning till övriga kreditinstitut	71 445	70 339	63 972	62 898
Utlåning till allmänheten	1 808 036	1 807 836	1 696 489	1 696 339
Värdeförändring på räntesäkrad post i portföljsäkring	70	70	96	96
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	59 652	63 725	58 943	64 125
varav räntebärande instrument klassificerade som tillgängliga för försäljning (bokfört värde)	2 322	2 322	902	902
varav räntebärande instrument klassificerade som tillgängliga för försäljning, ackumulerad värdeförändring	- 124	-228	-293	-293
Aktier och andelar	44 995	46 546	47 268	48 595
varav aktier klassificerade som tillgängliga för försäljning (bokfört värde)	8 367	8 367	5 725	5 725
varav aktier klassificerade som tillgängliga för försäljning, ackumulerad värdeförändring	1 614	1 614	1 369	1 369
Andelar i intresseföretag	6 655	286	6 479	272
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	3 024	94 763	4 112	80 930
Derivatinstrument	116 135	116 124	69 959	69 961
varav kassaförbindelser	5 337	5 337	0	0
Återförädlingsföretag	0	6	0	4
Immateriella tillgångar	8 055	8 132	8 229	7 835
Fastigheter och inventarer	2 239	2 239	2 446	2 205
Aktuella skattefordringar	115	115	360	405
Uppskjutna skattefordringar	389	389	277	289
varav relaterade till kassaförbindelser	0	0	420	420
varav relaterade till räntebärande instrument klassificerade som tillgängliga för försäljning	43	43	54	54
Pensionsföretag	0	0	1 747	1 733
Tillgångar som innehåller för försäljning	0	1 196	0	1 247
Övriga tillgångar	14 135	14 321	17 151	13 262
Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter	6 688	6 791	7 182	7 140
Summa tillgångar	2 721 579	2 816 676	2 412 648	2 484 721
SKULDER OCH EGET KAPITAL				
Skulder till kreditinstitut	208 018	200 074	186 609	171 624
In- och upplåning från allmänheten	1 012 258	1 022 267	814 319	825 205
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	3 125	94 864	4 160	80 977
Emitterade värdepapper	1 212 613	1 212 613	1 150 641	1 150 641
Derivatinstrument	62 878	62 878	61 532	61 529
varav kassaförbindelser	0	0	1 578	1 578
Korta positioner	20 648	20 648	22 845	22 845
Förädlingsföretag	0	663	0	622
Aktuella skatteskulder	906	957	827	831
Uppskjutna skatteskulder	9 164	9 209	7 378	7 413
varav relaterade till kassaförbindelser	1 504	1 504	0	0
varav relaterade till aktier klassificerade som tillgängliga för försäljning	155	155	152	152
Avsättningar	0	0	235	141
Pensionskulder	1 460	1 460	0	0
Skulder hänförliga till tillgångar som innehåller för försäljning	0	580	0	539
Övriga skulder	14 366	14 578	13 225	13 189
Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter	18 536	18 681	21 926	21 861
Efterställda skulder	30 289	30 289	15 965	15 965
varav primärkapitallån	8 043	8 043	10 602	10 602
varav lån med återstående löptid > 5 år	17 163	17 163	2 990	2 990
varav lån med återstående löptid < 5 år	2 323	2 323	2 230	2 230
varav övriga lån	2 643	2 643	0	0
Summa skulder	2 664 489	2 689 849	2 299 862	2 373 382
Minoritetsintresse	3	3	602	2
Aktiekapital	2 956	2 956	2 956	2 956
innehav egna aktier	0	0	0	0
Överkursfond	3 203	3 203	2 843	2 843
varav eget kapital från sammansatta finansiella instrument	1 045	1 045	0	0
Andra reserver	12 271	12 220	1 906	1 837
Balanserad vinst	94 227	93 262	91 064	89 406
Årets resultat (aktieägarar)	14 450	15 183	13 615	14 295
Summa eget kapital	127 110	126 827	112 986	111 339
Summa skulder och eget kapital	2 721 579	2 816 676	2 412 648	2 484 721

NOTER | KONCERNEN

Kapitalbas under övergångsperioden	Belopp som omfattas av bestämmelser om behandling som tillämpades före förordningen (EU) nr 575/2013 eller föreskrivet motsvarande enligt förordningen (EU) nr 575/2013		2013 enligt CRR
milj	2014		
Kärnprimärkapital: Instrument och reserver			
Kapitalinstrument och tillhörande överkursfonder	5 741		5 799
varav aktiekapital	5 593		5 570
varav konvertibler	148	148	220
Ej utdelade vinstmedel	94 227		91 064
Akkumulerat annat totalresultat (och andra reserver för att inkludera realiserade vinster och förluster enligt tillämpliga redovisningsstandarder)	12 271		1 906
Reserveringar för sluttida risker i bankrotfalls			
Belopp för kvalificerade poster som avses i artikel 484.3 och tillhörande överkursfonder som omfattas av utfasning från kärnprimärkapital			
Kapitalförlust från den offentliga sektorn för vilka läsa regler för tillämpas till den 1 januari 2018			
Minoritetsintressen (fiktivt belopp i konsoliderat kärnprimärkapital)			
Resultat netto efter avdrag för förutsebara kostnader och utdelningar som har verifierats av personer som har en oberoende ställning	3 326		3 130
Kärnprimärkapital före lagstiftningsjusteringar	115 585		101 890
Kärnprimärkapital: lagstiftningsjusteringar			
Ytterligare värdejusteringar (negativt belopp)	-1		-67
Immateriella tillgångar (netto efter minskning för tillhörande skatteskulder) (negativt belopp)	-8 123		-7 895
(ej relevant i EU-förordningen)			
Uppskjutna skattefordringar som är beroende av framtida lönsamhet, utom sådana som uppstår till följd av temporära skillnader (netto efter minskning för tillhörande skatteskuld när villkoren i artikel 38.3 är uppfyllda) (negativt belopp)			
Reserver i verkligt värde relaterade till vinster eller förluster på kassafödersäkringar	-5 331		1 518
Negativa belopp till följd av beräkningen av förväntade förlustbelopp	-2 103		-1 986
Eventuell ökning i eget kapital till följd av värdepappersiserade tillgångar (negativt belopp)			
Vinster eller förluster på skulder som värderas till verkligt värde och som beror på ändringar av institutets egen kreditstatus			
Förmånsbestämda pensionsplaner (negativt belopp)			
Ett institut direkta och indirekta innehav av egna kärnprimärkapitalinstrument (negativt belopp)	-466		0
Innehav av kärnprimärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn med vilka institutet har ett konvolut ägande som är avsett att på konstant väg öka institutets kapitalbas (negativt belopp)			
Institutets direkta och indirekta innehav av kärnprimärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet inte har någon väsentlig investering (belopp över bröskvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)			
Institutets direkta, indirekta och symmetiska innehav av kärnprimärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (belopp över bröskvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)			
(ej relevant i EU-förordningen)			
Exponeringsbelopp för följande poster som är kvalificerade för en riskvikt på 1 250% när institutet väljer alternativet med avdrag			-421
varav kvalificerade innehav utanför den finansiella sektorn (negativt belopp)			
varav värdepappersiseringspositioner (negativt belopp)			
varav transaktioner utan samtidig motpartskredit (negativt belopp)			
Uppskjutna skattefordringar som uppstår till följd av temporära skillnader (belopp över bröskvärdet på 10%, netto efter minskning av tillhörande skatteskuld när villkoren i artikel 38.3 är uppfyllda) (negativt belopp)			
Belopp som överskrider bröskvärdet på 15% (negativt belopp)			
varav institutets direkta och indirekta innehav av kärnprimärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn när institutet har en väsentlig investering i de enheterna			
(ej relevant i EU-förordningen)			
varav uppskjutna skattefordringar som uppstår till följd av temporära skillnader			
Förluster för innevarande räkenskapsår (negativt belopp)			
Förutsebara skatter som är relaterade till kärnprimärkapitalposter (negativt belopp)			
Lagstiftningsjusteringar som tillämpas på kärnprimärkapital med avseende på belopp som omfattas av behandling som föreskrivs i lagstiftningen före kapitaltäckningsförordningen			
Lagstiftningsjusteringar som avser realiserade vinster och förluster i enlighet med artiklarna 467 och 468	-1 457		
varav förlust för realiserad vinst, aktier klassificerade som tillgängliga för försäljning	-1 457		
Belopp som ska dras av från eller läggas till kärnprimärkapital med avseende på ytterligare tiller och avdrag som krävs enligt bestämmelserna före kapitaltäckningsförordningen			
Avdrag från kvalificerade primärkapitalförlust som överskrider institutets primärkapitalförlust (negativt belopp)			
Sammanlagda lagstiftningsjusteringar av kärnprimärkapital	-17 480		-8 861
Kärnprimärkapital	98 094		93 029

Uppställning i enlighet med kraven i Genomförandeförordningen (EU) nr 1423/2013.

NOTER | KONCERNEN

K49 Forts

Kapitalbas under övergångsperioden	Belopp som omfattas av bestämmelser om behandling som tillämpades före förordningen (EU) nr 575/2013 eller förordning nr 575/2013		2013 enligt CRR
	2014		
miK			
Primärkapitaltillskott: instrument			
Kapitalinstrument och tillhörande överkursfonder			10 602
varav klassificerade som eget kapital enligt tillämpliga redovisningsstandarder			
varav klassificerade som skulder enligt tillämpliga redovisningsstandarder			10 602
Belopp för kvalificerade poster som avses i artikel 484.4 och tillhörande överkursfonder som omfattas av utfasning från primärkapitaltillskottet	8 043	8 043	
Kapitaltillskott från den offentliga sektorn för vilka äldre regler får tillämpas till den 1 januari 2018			
Kvalificerade primärkapital som ingår i konsoliderat primärkapitaltillskott (inbegripet minoritetsintressen som inte tas med i rad 5) som utfärdats av dotterföretag och innehåller av tredje part			
varav instrument som utfärdats av dotterföretag och som omfattas av utfasning			
Primärkapitaltillskott före lagstiftningsjusteringar	8 043		10 602
Primärkapitaltillskott: lagstiftningsjusteringar			
Ett instituts direkta och indirekta innehav av egna primärkapitaltillskottsinstrument (negativt belopp)			
Innehav av primärkapitaltillskottsinstrument i enheter i den finansiella sektorn med vilka institutet har ett konvikt ägande som är avsett att på konstlad väg öka institutets kapitalbas (negativt belopp)			
Direkta och indirekta innehav av primärkapitaltillskottsinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet inte har någon väsentlig investering (belopp över tröskelvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)			
Institutets direkta och indirekta innehav av primärkapitaltillskottsinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (belopp över tröskelvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)			
Lagstiftningsjusteringar som tillämpas på primärkapitaltillskott med avseende på belopp som omfattas av behandling som föreskrivs i lagstiftningen före kapitaltäckningsförordningen och övergångsbehandling som omfattas av utfasning i enlighet med förordning (EU) nr 575/2013 (dvs restvärde enligt kapitaltäckningsförordningen)			
Restvärden som dras av från primärkapitaltillskott med avseende på avdrag från kärnprimärkapital under övergångsperioden i enlighet med artikel 472 i förordning (EU) nr 575/2013			
varav poster skräddarsys rad för rad, t ex väsentliga delårsförluster netto, immateriella tillgångar, underskott i avsättningar i förhållande till förväntade förluster osv			
Restvärden som dras av från primärkapitaltillskott med avseende på avdrag från supplementärkapital under övergångsperioden i enlighet med artikel 475 i förordning (EU) nr 575/2013			
varav poster skräddarsys rad för rad, t ex konvikt ägande av supplementärkapitalinstrument, direkta innehav av icke-väsentliga investeringar i kapital som andra enheter i den finansiella sektorn osv			
Belopp som ska dras av från eller läggas till primärkapitaltillskott med avseende på ytterligare filter och avdrag som krävs enligt bestämmelserna före kapitaltäckningsförordningen			
Avdrag från kvalificerade supplementärkapital som överskrider institutets supplementärkapital (negativt belopp)			
Summa lagstiftningsjusteringar av primärkapitaltillskott	0		0
Primärkapitaltillskott	8 043		10 602
Primärkapital (primärkapital = kärnprimärkapital + primärkapitaltillskott)	108 127		108 640
Supplementärkapital: instrument och avdragsjusteringar			
Kapitalinstrument och tillhörande överkursfonder	17 960	697	3 882
Belopp för kvalificerade poster som avses i artikel 484.5 och tillhörande överkursfonder som omfattas av utfasning från supplementärkapitalet			
Kapitaltillskott från den offentliga sektorn för vilka äldre regler får tillämpas till den 1 januari 2018			
Kvalificerade kapitalbasinstrument som ingår i konsoliderat supplementärkapital (inbegripet minoritetsintressen och primärkapitaltillskottsinstrument som inte tas med i raderna 5 eller 34) som utfärdats av dotterföretag och innehåller av tredje part			
varav instrument som utfärdats av dotterföretag och som omfattas av utfasning			
Kreditjusteringar			
Supplementärkapital före lagstiftningsjusteringar	17 960		3 882

Uppställning i enlighet med kraven i Genomförandeförordningen (EU) nr 1423/2013.

NOTER | KONCERNEN

Kapitalbas under övergångsperioden	Belopp som omfattas av bestämmelser om behandling som tillämpades före förordningen (EU) nr 575/2013 eller föreskrivet närvarande enligt förordningen (EU) nr 575/2013	2013 enligt CFR
milj	2014	
Supplementärkapital: lagstiftningsjusteringar		
Ett instituts direkta och indirekta innehav av egna supplementärkapitalinstrument och efterställda lån (negativt belopp)		
Innehav av supplementärkapitalinstrument och efterställda lån i enheter i den finansiella sektorn med vilka institutet har ett korsväst ägande som är avsett att på konstladd väg öka institutets kapitalbas (negativt belopp)		
Direkta och indirekta innehav av supplementärkapitalinstrument och efterställda lån i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet inte har någon väsentlig investering (belopp över bröskvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)		
varav nya innehav som inte omfattas av övergångsarrangemang		
varav innehav som fanns före den 1 januari 2013 och som omfattas av övergångsarrangemang		
Institutets direkta och indirekta innehav av supplementärkapitalinstrument och efterställda lån i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)	-1 129	-1 129
Lagstiftningsjusteringar som tillämpas på supplementärkapital med avseende på belopp som omfattas av behandling som föreskrivs i lagstiftningen före kapitaltäckningsförordningen och övergångsbehandling som omfattas av uttänning i enlighet med förordning (EU) nr 575/2013 (dvs närvarande enligt kapitaltäckningsförordningen)		
Räskvåden som dras av från supplementärkapital med avseende på avdrag från kärnprimärkapital under övergångsperioden i enlighet med artikel 472 i förordning (EU) nr 575/2013		
varav poster ska redovisas rad för rad, t ex väsentliga delårsförluster netto, immateriella tillgångar, underskott i avsättningar i förhållande till förväntade förluster osv		
Räskvåden som dras av från supplementärkapital med avseende på avdrag från primärkapitaltillskott under övergångsperioden i enlighet med artikel 475 i förordning (EU) nr 575/2013		
varav poster ska redovisas rad för rad, t ex korsväst ägande av primärkapitaltillskottsinstrument, direkta innehav av icke-väsentliga investeringar i kapital hos andra enheter i den finansiella sektorn osv		
Belopp som ska dras av från eller läggas till i supplementärkapital med avseende på ytterligare tillägg och avdrag som krävs enligt de bestämmelser som tillämpades före kapitaltäckningsförordningen		
Summa lagstiftningsjusteringar av supplementärkapital	-1 129	-1 129
Supplementärkapital	16 731	2 783
Totalt kapital (totalt kapital = primärkapital + supplementärkapital)	122 868	106 302
Risikvägda tillgångar med avseende på belopp som omfattas av behandling som föreskrivs i de bestämmelser som tillämpades före kapitaltäckningsförordningen och övergångsbehandling som omfattas av uttänning i enlighet med förordning (EU) nr 575/2013 (dvs närvarande enligt kapitaltäckningsförordningen)	480 388	492 785
varav kapitaltillskott till förädlingsbolag (inom koncernen som inte dragits av från kärnprimärkapital) (närvarande enligt förordning (EU) nr 575/2013)	15 633	
varav uppskjutna skattefordringar som inte dragits av från kärnprimärkapital (närvarande enligt förordning (EU) nr 575/2013)	332	
Poster som inte dragits av från supplementärkapitalinstrument (närvarande enligt förordning (EU) nr 575/2013) (poster ska redovisas rad för rad, t ex indirekta innehav av egna supplementärkapitalinstrument, innehav av icke-väsentliga investeringar i kapital hos andra enheter i den finansiella sektorn, indirekta innehav av väsentliga investeringar i kapital hos andra enheter i den finansiella sektorn osv)		
Totala risikvägda tillgångar	480 388	492 785
Kapitalrelationer och buffertar		
Kärnprimärkapital (som procentandel av det risikvägda exponeringsbeloppet)	20,4	18,9
Primärkapital (som procentandel av det risikvägda exponeringsbeloppet)	22,1	21,0
Totalt kapital (som procentandel av det risikvägda exponeringsbeloppet)	25,6	21,6
Institutspecifika buffertkrav (krav på kärnprimärkapital i enlighet med artikel 92.1 a plus krav på kapitalkonserveringsbuffert och kontracyklisk kapitalbuffert, plus systemriskbuffert, plus buffert för systemriskiga institut (buffert för globala systemriskiga institut eller andra systemriskiga institut) uttryckt som en procentandel av det risikvägda exponeringsbeloppet)		
varav krav på kapitalkonserveringsbuffert	2,5	0,0
varav krav på kontracyklisk kapitalbuffert	0,0	0,0
varav krav på systemriskbuffert	0,0	0,0
varav buffert för globalt systemriskigt institut eller för annat systemriskigt institut	0,0	0,0
Kärnprimärkapital tillgängligt att användas som buffert (som procentandel av det risikvägda exponeringsbeloppet)	15,9	18,9
(ej relevant i EU-förordningen)		
(ej relevant i EU-förordningen)		
(ej relevant i EU-förordningen)		

Uppställning i enlighet med kraven i Genomförandeförordningen (EU) nr 1423/2013.

NOTER | KONCERNEN

K49 Forts

Kapitalbas under övergångsperioden	Belopp som omfattas av bestämmelser om behandling som tillämpades före förordningen (EU) nr 575/2013 eller förordning nr 575/2013 enligt förordningen (EU) nr 575/2013		2013 enligt CRR
	2014		
mikr			
Kapitalrelationer och buffertar			
Direkta och indirekta innehav av kapital i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet inte har någon väsentlig investering (belopp under tröskelvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner)			
Institutets direkta och indirekta innehav av kärnprimärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (belopp under tröskelvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner)	72		
[ej relevant i EU-förordningen]			
Uppskjutna skattefordringar som uppstår till följd av temporära skillnader (belopp under tröskelvärdet på 10%, netto efter minskning av tillhörande skatteskuld när villkoren i artikel 38.3 är uppfyllda) (negativt belopp)	-133		
Tak som ska tillämpas på inkludering av avrättningar i supplementärkapital			
Kreditriskjusteringar som inkluderas i supplementärkapitalet med avseende på exponeringar som omfattas av schablonmetoden (före tillämpningen av taket)			
Tak för inkludering av kreditriskjusteringar i supplementärkapitalet enligt schablonmetoden			
Kreditriskjusteringar som inkluderas i supplementärkapitalet med avseende på exponeringar som omfattas av intermetoden (före tillämpningen av taket)			
Tak för inkludering av kreditriskjusteringar i supplementärkapitalet enligt intermetoden			
Kapitalinstrument som omfattas av utfasningsarrangemang (för endast tillämpas mellan den 1 januari 2013 och den 1 januari 2022)			
Nuvarande tak för kärnprimärkapitalinstrument som omfattas av utfasningsarrangemang	232		
Belopp som utesluts från kärnprimärkapital på grund av tak (överskjutande belopp över taket efter inlösen och förfallodagar)	0		
Nuvarande tak för primärkapitaltillskottsinstrument som omfattas av utfasningsarrangemang	9 780		
Belopp som utesluts från primärkapitaltillskott på grund av tak (överskjutande belopp över taket efter inlösen och förfallodagar)	0		
Nuvarande tak för supplementärkapitalinstrument som omfattas av utfasningsarrangemang	5 926		
Belopp som utesluts från supplementärkapital på grund av tak (överskjutande belopp över taket efter inlösen och förfallodagar)	0		

Uppställning i enlighet med kraven i Genomförandeförordningen (EU) nr 1423/2013.

NOTER | KONCERNEN

De viktigaste delarna i kärnprimärkapitalinstrument		
Emittent	Svenska Handelsbanken AB	Svenska Handelsbanken AB
Unik identifieringskod (i sk. identifieringskod från Cusip, Isin eller Bloomberg för privata placeringar)	SE0000193120	SE0000152084
Reglerade lag(ar) för instrument	Svensk rätt	Svensk rätt
Rättslig behandling		
Övergångsbestämmelser enligt kapitalkravförelördningen	Kärnprimärkapital	Kärnprimärkapital
Bestämmelser enligt kapitalkravförelördningen efter övergångsperioden	Kärnprimärkapital	Kärnprimärkapital
Godtagbara på individuell/grupp (undergruppsnivå)/individuall och grupp (undergruppsnivå)	Individuell och grupp (undergruppsnivå)	Individuell och grupp (undergruppsnivå)
Instrumenttyp (typer ska specificeras av varje jurisdiktion)	Aktiekapital, serie A	Aktiekapital, serie B
Belopp som redovisas i lagstadgat kapital (valutan i miljoner, enligt senaste rapporteringsdatum)	mkd 4 562	mkd 86
Instrumentets nominella belopp	mkd 2 901	mkd 55
Emissionspris	mkd 4 562	mkd 86
Införspris	N/A	N/A
Redovisningsklassificering	Eget kapital	Eget kapital
Ursprungligt emissionsdatum	1871	1900
Eviga eller fidsbestämda	Evigt	Evigt
Ursprunglig förtäldag	N/A	N/A
Emittentens införsrätt omfattas av krav på förhandsfästtånd från tillämningsmyndigheten	N/A	N/A
Valfritt införsdatum, vilkorade införsdatum och införsbelopp	N/A	N/A
Efterföljande införsdatum, i förekommande fall	N/A	N/A
Kuponger/utdelningar		
Fast eller rörlig utdelning/kupong	N/A	N/A
Kupongränta och eventuellt tillhörande index	N/A	N/A
Förskott av utdelningsstopp	N/A	N/A
Helt skönmässigt, delvis skönmässigt eller obligatoriskt (i fråga om tidpunkt)	N/A	N/A
Helt skönmässigt, delvis skönmässigt eller obligatoriskt (i fråga om belopp)	N/A	N/A
Förskott av stop-up eller annat incitament för återbetalning	Nej	Nej
Icke-kumulativa eller kumulativa	Icke-kumulativa	Icke-kumulativa
Konvertibla eller icke-konvertibla	Ej konvertibelt	Ej konvertibelt
Om konvertibla, konverteringsrätt(er)	N/A	N/A
Om konvertibla, helt eller delvis	N/A	N/A
Om konvertibla, omräkningskurs	N/A	N/A
Om konvertibla, obligatorisk eller frivillig konvertering	N/A	N/A
Om konvertibla, ange typ av instrument som konvertering görs till	N/A	N/A
Om konvertibla, ange emittent för det instrument som konverteringen görs till	N/A	N/A
Nedskrivningsdalar	Nej	Nej
Om nedskrivning, nedskrivningstrigger(s)	N/A	N/A
Om nedskrivning, fullständig eller delvis	N/A	N/A
Om nedskrivning, permanent eller tillfällig	N/A	N/A
Om nedskrivningen är tillfällig, beskriv uppskrivningsmekanismen	N/A	N/A
Position i prioriteringshierarkin för likvidation (ange typ av instrument som är direkt högre i rangordning)	Lägst, närmast högre är primärkapitalfästskott	Lägst, närmast högre är primärkapitalfästskott
Delar från övergångsperioden som inte uppfyller kraven	Nej	Nej
Om ja, ange vilka delar som inte uppfyller kraven	N/A	N/A

Uppställning i enlighet med kraven i Genomförandeförelördningen (EU) nr 1423/2013.

NOTER | KONCERNEN

K49 Forts

De viktigaste delarna i primärkapitalinstrument

	Svenska Handelsbanken AB	Svenska Handelsbanken AB	Svenska Handelsbanken AB	Svenska Handelsbanken AB
Emittent	Svenska Handelsbanken AB	Svenska Handelsbanken AB	Svenska Handelsbanken AB	Svenska Handelsbanken AB
Unik identifieringskod (i ex. identifieringskod från Cusip, Isin eller Bloomberg för privata placeringar)	X60238196942	W89754A43	SE0002450601	X30406264092
Huvudsakligen engelsk rätt, Svensk insolvensrätt	Huvudsakligen engelsk rätt, Svensk insolvensrätt	Huvudsakligen engelsk rätt, Svensk insolvensrätt	Svensk rätt	Huvudsakligen engelsk rätt, Svensk insolvensrätt
Reglerade lag(ar) för instrument	Primärkapitalförläsningsrätt	Primärkapitalförläsningsrätt	Primärkapitalförläsningsrätt	Primärkapitalförläsningsrätt
Rättslig behandling	Primärkapitalförläsningsrätt	Primärkapitalförläsningsrätt	Primärkapitalförläsningsrätt	Primärkapitalförläsningsrätt
Övergångsbestämmelser enligt kapitalkravsförordningen	Ej godtagbart	Ej godtagbart	Ej godtagbart	Supplementärkapital
Bestämmelser enligt kapitalkravsförordningen efter övergångsperioden	Individual och grupp (undergruppsnivå)	Individual och grupp (undergruppsnivå)	Individual och grupp (undergruppsnivå)	Individual och grupp (undergruppsnivå)
Godtagbara på individuell/grupp (undergruppsnivå)/individual och grupp (undergruppsnivå)	Individual och grupp (undergruppsnivå)	Individual och grupp (undergruppsnivå)	Individual och grupp (undergruppsnivå)	Individual och grupp (undergruppsnivå)
Instrumenttyp (typer ska specificeras av varje jurisdiktion)	Primärkapitalförläsningsrätt	Primärkapitalförläsningsrätt	Primärkapitalförläsningsrätt	Primärkapitalförläsningsrätt
Belopp som redovisas i lagstadgat kapital (i alutan i miljoner enligt senaste rapporteringsdatum)	mkr 4 712	mkr 977	mkr 6	mkr 2 347
Instrumentets nominella belopp	mEUR 500	mJPY 15 000	mkr 6	mkr 2 350
Emissionspris	100%	100%	100%	100%
Införsenpris	100%	100%	100%	100%
Redovisningsklassificering	Skuld – upplupet anskaffningsvärde	Skuld – upplupet anskaffningsvärde	Skuld – upplupet anskaffningsvärde	Skuld – upplupet anskaffningsvärde
Ursprungligt emissionsdatum	2005-12-16	2005-12-20	2008-05-12	2008-12-19
Eviga eller tidsbestämda	Evigt	Evigt	Evigt	Evigt
Ursprunglig förfallodag	Ingen förfallodag	Ingen förfallodag	Ingen förfallodag	Ingen förfallodag
Emitterns införsenrätt omfattas av krav på förhandsställande från tillsynsmyndigheten	Ja	Ja	Ja	Ja
Valdett införsensdatum, villkorade införsensdatum och införsenbelopp	2015-12-16	2015-12-20	2013-05-21	2019-09-19
Effektföljande införsensdatum, i förekommande fall	Införsenbart vid varje påföljande räntebetalningsdag efter första införsensdatum	2020-12-25, 2005-12-20 därefter vid varje räntebetalningsdag	Införsenbart löpande med 40 dagars karenstid	Införsenbart vid varje påföljande räntebetalningsdag efter första införsensdatum
Kuponger/utdelningar				
Fast eller rörlig utdelning/kupong	Fast	Fast till rörligt	Rörlig	Fast
Kupongränta och eventuellt tillhörande index	4,19%	4,10%	1,56%	11%
Förakomst av utdelningsstopp	Ja	Ja	Ja	Ja
Helt skönsmässigt, delvis skönsmässigt eller obligatoriskt (i fråga om tidpunkt)	Delvis skönsmässigt	Delvis skönsmässigt	Delvis skönsmässigt	Delvis skönsmässigt
Helt skönsmässigt, delvis skönsmässigt eller obligatoriskt (i fråga om belopp)	Delvis skönsmässigt	Delvis skönsmässigt	Delvis skönsmässigt	Delvis skönsmässigt
Förakomst av stop-up eller annat incitament för återlösning	Ja	Ja	Ja	Ja
Icke-kumulativa eller kumulativa	Icke-kumulativa	Icke-kumulativa	Icke-kumulativa	Icke-kumulativa
Konvertibla eller icke-konvertibla	Ej konvertibelt	Ej konvertibelt	Konvertibelt	Ej konvertibelt
Om konvertibla, konverteringsutlösare(s)	N/A	N/A	Helt skönsmässigt	N/A
Om konvertibla, helt eller delvis	N/A	N/A	Helt eller delvis	N/A
Om konvertibla, omräkningskurs	N/A	N/A	187,56 kr per aktie	N/A
Om konvertibla, obligatorisk eller frivillig konvertering	N/A	N/A	Frivilligt	N/A
Om konvertibla, ange typ av instrument som konvertering görs till	N/A	N/A	Aktiekapital, serie A	N/A
Om konvertibla, ange emittent för det instrument som konverteringen görs till	N/A	N/A	Svenska Handelsbanken AB	N/A
Nedskrivningsdalar	Ja	Ja	Ja	Ja
Om nedskrivning, nedskrivningsutlösare(s)	Brott mot kapitalkrav	Brott mot kapitalkrav	Förväntat brott mot kapitalkrav	Förväntat brott mot kapitalkrav
Om nedskrivning, fullständig eller delvis	Helt eller delvis	Helt eller delvis	Helt eller delvis	Helt eller delvis
Om nedskrivning, permanent eller tillfällig	Tillfällig	Tillfällig	Tillfällig	Tillfällig
Om nedskrivningen är tillfällig, beskriv uppskrivningsmekanismen	Fullt diskretionär	Fullt diskretionär	Fullt diskretionär	Fullt diskretionär
Position i prioriteringshierarkin för likvidation (ange typ av instrument som är direkt högre i rangordningen)	Efterställt alla instrument utom aktier, närmast högre är förlagslån	Efterställt alla instrument utom aktier, närmast högre är förlagslån	Efterställt alla instrument utom aktier, närmast högre är förlagslån	Efterställt alla instrument utom aktier, närmast högre är förlagslån
Delar från övergångsperioden som inte uppfyller kraven	Ja	Ja	Ja	Ja
Om ja, ange vilka delar som inte uppfyller kraven	Stop-up samt utdelningsstopp	Stop-up samt utdelningsstopp	Stop-up samt utdelningsstopp	Stop-up samt utdelningsstopp

Uppställning i enlighet med kraven i Genomförandeförordningen (EU) nr 1423/2013.

NOTER | KONCERNEN

De viktigaste delarna i supplementärkapitalinstrument				
Emittent	Svenska Handelsbanken AB	Svenska Handelsbanken AB	Svenska Handelsbanken AB	Svenska Handelsbanken AB
Unik identifieringskod (t.ex. identifieringskod från Cusip, Isin eller Bloomberg för privata placeringar)	XS1014674227	XS0842167719	XS0842167552	SE0003961713
Huvudsakligen engelsk rätt, Svensk insolvensrätt	Huvudsakligen engelsk rätt, Svensk insolvensrätt	Huvudsakligen engelsk rätt, Svensk insolvensrätt	Huvudsakligen engelsk rätt, Svensk insolvensrätt	Svensk rätt
Reglerade lag(ar) för instrument				
Rättlig behandling	Supplementärkapital	Supplementärkapital	Supplementärkapital	Supplementärkapital
Övergångsbestämmelser enligt kapitalkravsförordningen	Supplementärkapital	Supplementärkapital	Supplementärkapital	Supplementärkapital
Bestämmelser enligt kapitalkravsförordningen efter övergångsperioden	Supplementärkapital	Supplementärkapital	Supplementärkapital	Supplementärkapital
Godtagbara på individuell/grupp (undergruppsnivå)/individuell och grupp (undergruppsnivå)	Individuell och grupp (undergruppsnivå)	Individuell och grupp (undergruppsnivå)	Individuell och grupp (undergruppsnivå)	Individuell och grupp (undergruppsnivå)
Instrumenttyp (typer ska specificeras av varje jurisdiktion)	Förtagstill	Förtagstill	Förtagstill	Konvertibelt förtagstill
Belopp som redovisas i lagstadgat kapital (valutan i miljoner enligt senaste rapporteringsdatum)	mkr 14 174	mkr 1 740	mkr 1 250	mkr 697
Instrumentets nominella belopp	mEUR 1 500	mkr 1 750	mkr 1 250	mkr 2 513
Emissionspris	100%	100%	100%	100%
Inlösenpris	100%	100%	100%	100%
Redovisningsklassificering	Skuld – upplupet anskaffningsvärde	Skuld – upplupet anskaffningsvärde	Skuld – upplupet anskaffningsvärde	Skuld – upplupet anskaffningsvärde
Ursprungligt emissionsdatum	2014-01-15	2012-10-12	2012-10-12	2011-06-01
Bviga eller tidsbestämda	Tidsbestämt	Tidsbestämt	Tidsbestämt	Bvigt
Ursprunglig förfallodag	2024-01-15	2022-10-12	2022-10-12	Ingen förfallodag
Emittentens inlösenrätt omfattas av krav på förhandstillstånd från tillsynsmyndigheten	Ja	Ja	Ja	Nej
Valdett inlösendatum, vilkorade inlösendatum och inlösenbelopp	2019-01-15 Inlösenbart vid varje påföljande räntebetalningsdag efter första inlösendatum	2017-10-12 Inlösenbart vid varje påföljande räntebetalningsdag efter första inlösendatum	2017-10-12 Inlösenbart vid varje påföljande räntebetalningsdag efter första inlösendatum	2016-07-01 Inlösenbart löpande med 40 dagars karenstid
Efterföljande inlösendatum, i förekommande fall				
Kuponger/utdelningar				
Fast eller rörlig utdelning/kupong	Fast	Fast	Rörlig	Rörlig
Kupongränta och eventuellt tillärande index	2,66%	4,47%	3,37%	1,49%
Förskott av utdelningsstopp	Nej	Nej	Nej	Nej
Helt skönamsäsligt, delvis skönamsäsligt eller obligatoriskt (fråga om tidpunkt)	Tvångande	Tvångande	Tvångande	Delvis skönamsäsligt
Helt skönamsäsligt, delvis skönamsäsligt eller obligatoriskt (fråga om belopp)	Tvångande	Tvångande	Tvångande	Delvis skönamsäsligt
Förskott av stop-up eller annat incitament för återinlösen	Nej	Nej	Nej	Nej
Icke-kumulativa eller kumulativa	Icke-kumulativa	Icke-kumulativa	Icke-kumulativa	Icke-kumulativa
Konvertibla eller icke-konvertibla	Ej konvertibelt	Ej konvertibelt	Ej konvertibelt	Konvertibelt
Om konvertibla, konverteringsutlösare(s)	N/A	N/A	N/A	Helt skönamsäsligt
Om konvertibla, helt eller delvis	N/A	N/A	N/A	Delvis
Om konvertibla, omräkningskurs	N/A	N/A	N/A	224,52 kr per aktie
Om konvertibla, obligatorisk eller frivillig konvertering	N/A	N/A	N/A	Frivillig
Om konvertibla, ange typ av instrument som konvertering görs till	N/A	N/A	N/A	Aktiekapital, serie A
Om konvertibla, ange emittent för det instrument som konverteringen görs till	N/A	N/A	N/A	Svenska Handelsbanken AB
Nedskrivningsadlar	Nej	Nej	Nej	Ja
Om nedskrivning, nedskrivningsutlösare(s)	N/A	N/A	N/A	Förväntat brott mot kapitalkrav
Om nedskrivning, fullständig eller delvis	N/A	N/A	N/A	Helt eller delvis
Om nedskrivning, permanent eller tillfällig	N/A	N/A	N/A	Tillfällig
Om nedskrivningen är tillfällig, beskriv uppskrivningsmekanismen	N/A	N/A	N/A	Fullt diskretionär
Position i prioriteringshierarkin för likvidation (ange typ av instrument som är direkt högre i rangordningen)	Efterställt all senior utlåning	Efterställt all senior utlåning	Efterställt all senior utlåning	Efterställt alla instrument utom aktier, närmast högre är förtagstill
Dalar från övergångsperioden som inte uppfyller kraven	Nej	Nej	Nej	Nej
Om ja, ange vilka dalar som inte uppfyller kraven	N/A	N/A	N/A	N/A

Uppställning i enlighet med kraven i Genomförandeförordningen (EU) nr 1423/2013.

NOTER | KONCERNEN

K49 Forts

Kapitalkrav mkr	2014	2013
Kreditrisk enligt schablonmetoden	5 575	4 225
Kreditrisk enligt internmetoden	26 944	28 015
Marknadsrisker	939	770
Kreditvärderingsajusteringsrisk (CVA)	534	-
Operativ risk	4 432	4 246
Summa kapitalkrav	38 431	37 296
Justering enligt Basel I-golv	51 975	44 039
Kapitalkrav, Basel I-golv	90 406	81 295
Total kapitalbas ¹ , Basel I-golv	124 961	100 406

¹ För 2013 motsvarar total kapitalbas för Basel I-golv det regleringsmässiga kravet. Den täcker därmed både golvet och det vanliga kapitalkravet.

Kapitalkrav marknadsrisker mkr	2014	2013
Positioner i handelslagret	927	756
Ränterisk	908	745
varav generell risk	566	493
varav specifik risk	338	252
varav positioner i värdepappersinstrument	0	1
varav icke-deltarisk ¹	4	-
Aktiekursrisk	19	11
varav generell risk	3	3
varav specifik risk	7	6
varav fondar	1	2
varav icke-deltarisk ²	8	-
Valutakursrisk	-	-
varav icke-deltarisk ¹	-	-
Rävarurisk	8	14
varav icke-deltarisk ¹	0	-
Avvecklingsrisk	4	0
Totalt kapitalkrav för marknadsrisker	939	770

¹ Icke-deltarisker inkluderades i kapitalkravet i samband med att CRR trädde i kraft den 1 januari 2014.

Kapitaltäckningsanalys	2014	2013
Kärnprimärkapitalrelation, CRR, %	20,4	18,9
Primärkapitalrelation, CRR, %	22,1	21,0
Total kapitalrelation, CRR, %	25,6	21,6
Risikopositionsbelopp, CRR, mkr	480 388	492 785
Kapitalbas i förhållande till kapitalkrav enligt Basel I-golv, %	138,0	124,0
Institutspecifika buffertkrav, %	2,5	-
varav krav på kapitalkonserveringsbuffert, %	2,5	-
Kärnprimärkapital tillgängligt att användas som buffert, % ¹	15,9	-

¹ Tillgängligt kärnprimärkapital efter avdrag för den del som behövs för att banken ska uppfylla samtliga minimikrav.

Historiska relationstal avseende nyckeltalen enligt CRR/CRD IV för 2013 är uppskattningar baserade på bankens tolkning av regelverket vid rapporteringstillfället och under antagandet om full implementering.

Kapitaltäckning finansiella konglomerat mkr	2014	2013
Kapitalbas efter avdrag och justeringar	129 412	107 365
Kapitalkrav	91 322	82 180
Överskott	38 090	25 185

NOTER | KONCERNEN

Kreditrisk enligt intermetoden	Exponeringsbelopp		Genomsnittlig riskvikt i %		Kapitalkrav	
	2014	2013	2014	2013	2014	2013
mikr						
Företagsexponeringar	908 881	916 218	24,1	28,4	18 400	20 824
varav repor och värdepapperslån	14 060	8 376	0,4	0,5	5	3
varav övrig utlåning, intermetoden utan						
egna skattningar av LGD och RF	142 047	140 425	32,8	35,8	3 728	4 023
varav övrig utlåning, intermetoden med						
egna skattningar av LGD och RF	802 754	765 417	22,9	27,4	14 726	16 798
varav Stora företag	140 446	153 810	43,6	52,5	5 806	6 458
varav medelstora företag	74 041	72 305	45,5	57,4	2 608	3 323
varav fastighetsbolag	428 314	401 705	16,8	20	5 773	6 435
varav bostadsrättsföreningar	150 952	138 527	3,7	5,2	449	582
Hushållsexponeringar	867 447	818 080	8	8,8	8 621	8 406
privatpersoner	839 719	789 722	7,3	7,3	4 910	4 604
varav fastighetskrediter	756 225	705 004	5,6	5,2	3 364	2 934
varav övriga	83 404	84 778	23,2	24,6	1 546	1 670
små företag	27 728	28 358	27,5	35,3	611	901
varav fastighetskrediter	7 535	7 207	20,8	25,2	122	145
varav övriga	20 193	21 151	30,2	38,7	489	656
Institutsexponeringar	134 400	100 503	12,4	11,9	1 334	984
varav repor och värdepapperslån	57 433	48 863	1,3	0,8	53	31
varav övrig utlåning	82 976	51 640	10,3	22,3	1 281	923
Aktieexponeringar	6 102	6 693	206,8	143,8	1 440	884
varav börsnoterade aktier	5 584	4 360	290	133	1 206	465
varav övriga aktier	518	1 334	370	180,7	153	189
Motpartlösa exponeringar	2 230	2 204	100	100	170	176
Positioner i värdepappersbeering	260	878	8,8	3,1	2	2
varav traditionell värdepappersanslag	260	878	8,8	3,1	2	2
varav syntetisk värdepappersanslag	-	-	-	-	-	-
Totalt intermetoden	1 060 327	1 842 578	17,1	19	26 944	28 015
varav repor och värdepapperslån	65 433	57 239	1,1	0,7	57	34
varav övrig utlåning, intermetoden utan						
egna skattningar av LGD och RF	233 633	200 840	35,5	36	6 639	5 778
varav övrig utlåning, intermetoden med						
egna skattningar av LGD och RF	1 670 201	1 584 497	15,2	17,5	20 247	22 203

Kapitalkrav schablonmetoden ¹	2014			2013		
	Exponeringsvärde	Genomsnittlig riskvikt %	Kapitalkrav	Exponeringsvärde	Genomsnittlig riskvikt %	Kapitalkrav
mikr						
Stater och centralbanker	558 624	0,0	4	406 906	0,0	12
Kommuner	64 086	0,0	2	57 231	0,0	2
Multilaterala utvecklingsbanker	762	0,0	0	1 647	0,0	0
Institut	2 277	25,2	46	2 238	25,4	45
Företag	12 771	81,3	831	23 032	100,0	1 842
Hushåll	19 212	74,7	1 147	11 117	75,0	667
Säkerhet i fastighet	57 765	36,3	1 680	36 378	37,8	1 102
Oreglerade poster	144	129,9	15	168	136,2	18
Aktier	7 110	230,6	1 311			
varav börsnoterade aktier	641	100,0	57			
varav övriga aktier	6 469	243,5	1 260			
Övriga poster	7 400	90,9	539	14 748	45,5	537
Totalt schablonmetoden	730 160	9,6	6 578	653 666	9,6	4 225

¹ Uppgifter om kapitalkrav för exponeringsklasser där det förekommer exponeringar.

RESULTATRÄKNING TOTALRESULTAT | MODERBOLAGET

Resultaträkning Moderbolaget

mk		2014	2013
Räntesintäcker	Not M3	27 959	29 255
Räntekostnader	Not M3	-11 877	-13 333
Räntanetto		16 082	15 922
Erhållna udeläningar	Not M4	9 664	8 995
Provisionsintäcker	Not M5	8 030	7 423
Provisionskostnader	Not M5	-1 918	-1 774
Provisionsnetto		6 112	5 649
Nettoreultat av finansiella transaktioner	Not M6	1 117	589
Övriga rörelseintäcker	Not M7	2 188	1 953
Summa rörelseintäcker		35 163	33 148
Allmänna administrationskostnader			
Personalkostnader	Not M8	-10 441	-9 977
Övriga administrationskostnader	Not M9	-5 006	-5 075
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella anläggningstillgångar	Not M10, M20	-478	-426
Summa kostnader före kreditförluster		-15 925	-15 478
Resultat före kreditförluster		19 238	17 669
Kreditförluster, netto	Not M10	-1 825	-1 189
Nedskrivning av finansiella tillgångar		-	-29
Rörelseresultat		17 413	16 380
Bokslutsdispositioner	Not M11	111	4 257
Resultat före skatter		17 524	20 637
Skatter	Not M27	-3 823	-4 619
Årets resultat		13 701	16 028

Totalresultat Moderbolaget

mk		2014	2013
Årets resultat		13 701	16 028
Övrigt totalresultat			
Kassafördosäkringar		3 249	-3 009
Instrument tillgängliga för försäljning		295	534
Årets omräkningsdifferenser		5 634	879
varav säkring av nettotillgångar i utlandsverksamhet		2 675	907
Skatt hänförlig till övrigt totalresultat		-1 311	397
varav kassafördosäkringar		-709	656
varav instrument tillgängliga för försäljning		-14	-67
varav säkring av nettotillgångar i utlandsverksamhet		-588	-198
Summa övrigt totalresultat		7 867	-1 199
Årets totalresultat		21 568	14 829

Periodens omklassificeringar till resultaträkningen framgår av Förändring i eget kapital.

BALANSRÄKNING | MODERBOLAGET

Balansräkning Moderbolaget

mkr		2014	2013
TILLGÅNGAR			
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		454 532	334 794
Belåningsbara statskultförbindelser m m	Not M1 4	74 362	53 785
Utlåning till kreditinstitut	Not M1 2	568 589	475 440
Utlåning till allmänheten	Not M1 3	737 483	685 372
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Not M1 4	59 652	58 943
Aktier och andelar	Not M1 5	44 949	47 221
Aktier i koncern- och intrasälsföretag	Not M1 6	45 764	46 153
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken		3 024	2 188
Derivatinstrument	Not M1 7	120 051	78 295
Immateriella tillgångar	Not M1 9	1 805	1 750
Fastigheter och inventarier	Not M20	1 032	978
Aktuella skattefordringar		-	-
Uppskjutna skattefordringar	Not M27	361	202
Övriga tillgångar	Not M21	19 195	16 468
Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter	Not M22	4 096	5 272
Summa tillgångar	Not M33	2 136 705	1 806 861
SKULDER OCH EGET KAPITAL			
Skulder till kreditinstitut	Not M23	210 099	226 631
In- och upplåning från allmänheten	Not M24	1 020 962	814 227
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken		3 125	2 296
Emitterade värdepapper m m	Not M25	633 128	532 607
Derivatinstrument	Not M1 7	87 718	77 143
Korta positioner	Not M26	20 648	22 845
Aktuella skattekulder		829	816
Uppskjutna skattekulder	Not M27	1 669	114
Avskräningar	Not M28	87	128
Övriga skulder	Not M29	14 148	12 703
Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter	Not M30	9 809	9 915
Efterställda skulder	Not M31	30 289	15 965
Summa skulder	Not M33	2 032 811	1 716 390
Obeskattade reserver	Not M32	800	773
Aktiekapital		2 956	2 956
Överkursfond		3 203	2 843
Andra fonder		9 778	1 911
Balanserad vinst		72 947	67 020
Årets resultat		13 701	16 028
Summa eget kapital		102 888	90 788
Summa skulder och eget kapital		2 136 705	1 806 861
POSTER INOM LINJEN			
För egna skulder ställda säkerheter	Not M35	42 225	25 216
Övriga ställda säkerheter	Not M35	35 758	41 679
Ansvärsförbindelser	Not M36	80 471	121 509
Övriga ålaganden	Not M37	487 070	495 502

Förändring i eget kapital Moderbolaget

mkr	Bundet eget kapital		Fritt eget kapital				Balanserade vinstmedel	Totalt
	Aktiekapital	Reservfond	Överkurs- fond	Säkrings- reserv ¹	Verkligt värde- reserv ¹	Omräknings- reserv ¹		
Ingående eget kapital 2014	2 956	2 682	2 843	-1 343	1 023	-451	83 048	90 758
Årets resultat							13 701	13 701
Övrigt totalresultat				2 540	281	5 046		7 867
Årets totalresultat				2 540	281	5 046	13 701	21 588
Utdelning							-10 488	-10 488
Effekter av konvertibla förlagslån ²	0		360				49	409
Fusionsaffärens							338	338
Utgående eget kapital 2014	2 956	2 682	3 203	1 197	1 304	4 605	86 648	102 686

mkr	Bundet eget kapital		Fritt eget kapital				Balanserade vinstmedel	Totalt
	Aktiekapital	Reservfond	Överkurs- fond	Säkrings- reserv ¹	Verkligt värde- reserv ¹	Omräknings- reserv ¹		
Ingående eget kapital 2013	2 943	2 682	2 337	1 010	550	-1 132	73 842	82 232
Årets resultat							16 028	16 028
Övrigt totalresultat				-2 353	473	681		-1 199
Årets totalresultat				-2 353	473	681	16 028	14 829
Utdelning							-6 822	-6 822
Effekter av konvertibla förlagslån	13		506					519
Utgående eget kapital 2013	2 956	2 682	2 843	-1 343	1 023	-451	83 048	90 798

¹ Ingår i fond för verkligt värde.

² Värde av konvertieringsrätten i emitterade konvertibla skuldbrev redovisas i överkursfonden. Nettoaffekten av 2014 års konvertibla skuldbrev uppgick till 466 mkr. Under tredje kvartalet justerades överkursfonden med 243 mkr avseende uppskjuten skatt på konvertibla skuldbrev. Beloppet resultatföra över resterande löptid.

Under perioden januari-december 2014 hade konvertibla till ett nominellt värde av 6 mkr (533) avseende 2008 års konvertibla förlagslån konverterats till 29 924 A-aktier (2 838 683). Vid räkenskapsårets slut uppgick antalet egna aktier i handelslagret till 0 aktier [0].

Specifikation av förändringar i eget kapital

Förändring av säkringsreserv		
mkr	2014	2013
Säkringsreserv vid årets ingång	-1 343	1 010
Orealiserade värdeförändringar under året	2 620	-2 432
Omräkningar till resultaträkningen ¹	-80	79
Säkringsreserv vid årets utgång	1 197	-1 343
Förändring av verkligt värdereserv		
mkr	2014	2013
Verkligt värdereserv vid årets ingång	1 023	550
Orealiserad marknadsvärdetförändring under året för kvarvarande samt nya innehav	240	507
Omräkningar till resultaträkningen ²	41	-34
Verkligt värdereserv vid årets utgång	1 304	1 023
Förändring av omräkningsreserv		
mkr	2014	2013
Omräkningsreserv vid årets ingång	-451	-1 132
Förändring av omräkningsaffärens hänförlig till filialer	5 043	681
Omräkningar till resultaträkningen ³	3	0
Omräkningsreserv vid årets utgång	4 605	-451

¹ Skatt som omräkningsaffärens till resultaträkningen hänförlig till denna post 22 mkr (-22).

² Skatt som omräkningsaffärens till resultaträkningen hänförlig till denna post -10 mkr (16).

³ Skatt som omräkningsaffärens till resultaträkningen hänförlig till denna post - (-).

KASSAFLÖDESANALYS | MODERBOLAGET

Kassaflödesanalys Moderbolaget

mkr	2014	2013
LÖPANDE VERKSAMHET		
Rörelseresultat	17 413	16 380
varav inbetalda räntor	28 468	26 690
varav utbetalda räntor	-12 730	-13 280
varav inbetalda utdelningar	9 664	1 039
Justering för ej kassaflödespåverkande poster i rörelseresultatet		
Kreditförluster	1 957	1 271
Orsakade värdeförändringar	-188	-162
Av- och nedskrivningar	478	527
Koncernbidrag att erhålla	-8 727	-7 961
Betalda inkomstskatter	-3 905	-4 145
Förändring i den löpande verksamhetens tillgångar och skulder		
Utlåning till kreditinstitut	-88 573	-52 543
Utlåning till allmänheten	-51 840	45 214
Räntebärande värdepapper och aktier	-20 317	-24 281
Skulder till kreditinstitut	-15 651	-16 701
In- och upplåning från allmänheten	199 449	145 544
Emitterade värdepapper	100 521	1 323
Derivatinstrument, nettopositioner	-30 489	-5 245
Korta positioner	-2 197	6 644
Fondlikvidförändringar och fondlikvidskulder	-441	-819
Övrigt	-53 136	-4 813
Kassaflöde från löpande verksamhet	44 354	100 243
INVESTERINGSVERKSAMHET		
Förvärv av dotterbolag	-	-446
Förändring aktier	-1 666	-8
Förändring räntebärande värdepapper	3 395	594
Förändring materiella anläggningstillgångar	-200	-248
Förändring immateriella anläggningstillgångar	-248	-322
Kassaflöde från investeringsverksamhet	1 281	-430
FINANSIERINGSVERKSAMHET		
Amortering av företagslån	-2 905	-4 048
Emitterade företagslån	16 612	-
Utbetald utdelning	-10 488	-6 822
Utdelningar från koncernföretag	7 950	7 477
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	11 169	-3 393
Årets kassaflöde	56 804	96 420
Likvida medel vid årets början	334 794	236 447
Kassaflöde från löpande verksamhet	44 354	100 243
Kassaflöde från investeringsverksamhet	1 281	-430
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	11 169	-3 393
Kursdifferens i likvida medel	62 934	1 927
Likvida medel vid årets slut	454 532	334 794

5-årsöversikt Moderbolaget

Resultaträkning mkr	2014	2013	2012	2011	2010
Räntenetto	16 082	15 962	16 431	15 684	14 549
Erhållna utdelningar	9 664	8 926	9 152	5 733	2 749
Provisionsnetto	6 112	5 640	5 724	6 026	6 455
Nettorisultat av finansiella transaktioner	1 117	589	3 994	458	790
Övriga rörelseintäkter	2 188	1 953	758	640	624
Summa rörelseintäkter	36 163	33 148	36 059	28 541	25 167
Allmänna administrationskostnader					
Personalkostnader	-10 441	-9 977	-9 808	-9 247	-8 836
Övriga administrationskostnader	-5 006	-5 075	-5 157	-4 723	-4 775
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella anläggningstillgångar	-478	-498	-518	-538	-533
Summa kostnader före kreditförluster	-16 925	-16 550	-15 483	-14 508	-14 146
Resultat före kreditförluster	19 238	17 598	20 576	14 033	11 021
Kreditförluster, netto	-1 825	-1 189	-1 154	-1 081	-1 466
Nedskrivning av finansiella tillgångar	-	-29	-830	-375	-470
Rörelseresultat	17 413	16 380	18 602	12 577	9 085
Bokslutsdispositioner	111	4 267	-4 065	106	108
Resultat före skatt	17 524	20 647	14 537	12 683	9 193
Skatter	-3 823	-4 619	-2 985	-3 470	-2 548
Årets resultat	13 701	16 028	11 552	9 213	6 645
Utdelning för året	11 124 ¹	10 488	6 804	6 085	5 611
¹ Enligt styrelsens förslag					
Totalresultat mkr	2014	2013	2012	2011	2010
Årets resultat	13 701	16 028	11 552	9 213	6 645
Övrigt totalresultat					
Kassafördelsåtkomster	3 249	-3 009	2 522	-264	-186
Instrument tillgängliga för försäljning	295	534	983	-1 319	2 188
Årets omvärtningsdifferens	5 634	879	-10	36	-1 462
varav säkring av nett otillgångar i utlandsverksamhet	2 675	901	481	-	-
Skatt hänförlig till övrigt totalresultat	-1 311	397	-962	435	-549
varav kassafördelsåtkomster	-709	656	-608	70	49
varav instrument tillgängliga för försäljning	-14	-61	-248	365	-598
varav säkring av nett otillgångar i utlandsverksamhet	-588	-798	-706	-	-
Summa övrigt totalresultat	7 867	-1 199	2 833	-1 112	-9
Årets totalresultat	21 568	14 829	14 385	8 101	6 636

5-ÅRSÖVERSIKT | MODERBOLAGET

5-årsöversikt Moderbolaget, forts

Balansräkning mkr	2014	2013	2012	2011	2010
Tillgångar					
Utlåning till allmänheten	737 483	685 372	731 967	686 827	691 221
Utlåning till kreditinstitut	568 589	475 440	422 897	532 713	505 049
Räntebärande värdepapper	134 014	112 728	108 198	94 237	108 896
Övriga tillgångar	625 709	533 321	461 704	409 484	314 057
Summa tillgångar	2 135 795	1 806 861	1 724 768	1 813 261	1 614 183
Skulder och eget kapital					
In- och upplåning från allmänheten	1 020 962	814 227	668 689	705 565	577 180
Skulder till kreditinstitut	210 099	226 631	243 832	261 806	260 117
Emitterade värdepapper	633 128	532 607	531 284	543 876	483 305
Efterställda skulder	30 289	15 965	21 167	35 325	43 959
Övriga skulder	138 033	125 900	173 030	199 084	178 922
Omskattade reserver	699	773	5 038	998	1 110
Eget kapital	102 585	90 758	82 232	72 657	69 570
Summa skulder och eget kapital	2 135 795	1 806 861	1 724 768	1 813 261	1 614 183
Poster inom linjen					
För ägna skulder ställda säkerheter	42 225	25 216	59 195	72 007	79 591
Övriga ställda säkerheter	35 758	41 679	2 564	5 236	4 398
Anavarsförbindelser	80 471	121 509	131 586	149 061	131 479
Övriga åtaganden	487 070	495 502	475 287	513 217	415 771
Nyckeltal	2014	2013	2012	2011	2010
Reserveringsgrad för osäkra fordringar, %	46,6	58,0	56,0	61,0	61,5
Andel osäkra fordringar, %	0,36	0,34	0,28	0,24	0,33
Kärnprimärkapitalisation, % enligt CRD IV	18,5				
Primärkapitalisation, % enligt Basel II		20,5	19,0	16,9	12,9
Primärkapitalisation, % enligt CRD IV	20,2				
Kapitaltäckningsgrad, % enligt Basel II		21,4	20,6	20,9	19,3
Total kapitalrelation, % enligt CRD IV	23,9				
Räntabilitet på totalt kapital, %	0,70	0,91	0,64	0,54	0,41

Noter Moderbolaget

M1 Redovisningsprinciper

Lag- och föreskriftsenlighet

Moderbolagets årsredovisning är upprättad i enlighet med lagen 1995:1559 om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag (ÅRKL) och Finansinspektionens föreskrifter och allmänna råd RFR 2008:25 Årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag. Moderbolaget tillämpar också RFR 2 Redovisning för juridiska personer samt uttalanden från Rådet för finansiell rapportering. I enlighet med Finansinspektionens allmänna råd tillämpar moderbolaget så kallad lagbegränsad IFRS. Det innebär att de internationella redovisningsstandarder och tolkningar av dessa standarder som har antagits av EU har tillämpats i den utsträckning som det är möjligt inom ramen för nationella lagar och föreskrifter samt sambandet mellan redovisning och beskattning.

Sambandet mellan moderbolagets och koncernens redovisningsprinciper

Moderbolagets redovisningsprinciper överensstämmer i stora delar med koncernens. I det följande redogörs endast för de områden där moderbolagets principer skiljer sig från koncernens. I allt övrigt hänvisas till redovisningsprinciperna för koncernen i not K1.

Förändrade redovisningsprinciper

Moderbolagets redovisningsprinciper är i allt väsentligt detsamma som tillämpades i räkenskapsåret 2013.

Presentation

Moderbolaget tillämpar de uppställningsformer för resultat- och balansräkning som följer av ÅRKL och Finansinspektionens föreskrifter. Det innebär främst följande skillnader i förhållande till den uppställning som tillämpas av koncernen:

- Fordringar på centralbanker som är direkt disponibla på anmodan som i koncernens balansräkning redovisas i posten Övrig utlåning till centralbanker, redovisas i moderbolagets balansräkning som Utlåning till kreditinstitut.
- Broker- och börskostnader redovisas i moderbolaget som provisionskostnader.

- Erhållna utdelningar redovisas på särskild rad i moderbolagets resultaträkning.
- Resultat vid avyttring av materiella och immateriella anläggningstillgångar redovisas i moderbolaget som övrig intäkt/kostnad.
- Poster inom linjen redovisas i direkt anslutning till moderbolagets balansräkning.
- Obeskattade reserver som i koncernen delas upp i egen kapitalandel respektive skatteskuld, redovisas i moderbolaget i en egen balanspost.

Tillgångar och skulder i utländsk valuta

Lån i moderbolaget som säkrar nettoinvesteringar i utlandsverksamhet värderas till historisk anskaffningskurs.

Tillgångar som innehåller försäljning och avvecklad verksamhet

Någon särredovisning av Nettoresultat efter skatt från avvecklad verksamhet sker inte i moderbolagets resultaträkning. I balansräkningen görs inte heller någon särskild uppdelning av Tillgångar som innehåller försäljning.

Aktier och andelar i dotter- och intresseföretag

Aktier och andelar i dotterföretag och intresseföretag värderas till anskaffningsvärde. Utdelningar på aktier i dotter- och intresseföretag redovisas som intäkt i resultaträkningen i posten Erhållna utdelningar.

Finansiella garantier

Finansiella garantier i form av borgensförbindelser till förmån för dotter- och intresseföretag, redovisas i moderbolaget som en avsättning i balansräkningen. I den utsträckning moderbolaget har ett befintligt åtagande och betalning sannolikt erfordras för att reglera åtagandet.

Immateriella tillgångar

I moderbolaget görs avskrivningar på Inkrångsgoodwill och andra immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod i enlighet med bestämmelserna i ÅRKL. De kundrelationer som förvärvat gett upphov till, och därmed nyttjandeperioden för Inkrångsgoodwill, är erfarenhetsmässigt mycket långa. Avskrivningstiden är satt till 20 år.

Utdelningar

I posten Erhållna utdelningar redovisas alla erhållna utdelningar i moderbolaget, inklusive utdelningar från dotterföretag och intresseföretag, samt erhållna koncernbidrag. Anteciperad utdelning redovisas endast om moderföretaget har beslutanderätt avseende utdelningens storlek och beslutet har fattats innan publiceringen av de finansiella rapporterna.

Redovisning av pensioner

Moderbolaget tillämpar inte bestämmelserna IAS 19 om redovisning av förmånsbestämda planer. Istället sker beräkning av kalkylmässig pensionskostnad i moderbolaget enligt Tryggandelagens bestämmelser och Finansinspektionens föreskrifter. Det innebär framförallt skillnader i fråga om hur diskonteringsräntan fastställs och att beräkningen av framtida förpliktelse inte tar hänsyn till antaganden om framtida löneökningar. Redovisad nettokostnad för pensioner beräknas som utbetalda pensioner, pensionspremier samt avsättning till pensionsstiftelse, med avräkning för eventuell gottgörelse från pensionsstiftelse. Årets nettokostnad för pensioner redovisas som Personalkostnad i moderbolagets resultaträkning.

Överskjutande belopp till följd av att förvaltningstillgångarnas värde överstiger beräknade pensionsförpliktelser redovisas inte som en tillgång i moderbolagets balansräkning. Underskott redovisas som en skuld.

Pensionskassans utfästelser till anställda i dotterbolag garanteras av moderbolaget, det vill säga om Pensionskassan inte skulle kunna betala sina åtaganden så är banken skyldig att ta över och betala åtagandet.

Skatter

I moderbolaget redovisas obeskattade reserver som en egen post i balansräkningen. Obeskattade reserver består av en komponent som utgör uppskjuten skatteskuld och en komponent som utgör eget kapital.

NOTER | MODERBOLAGET

M2 Risk- och kapitalhantering

Handelsbankskoncernens riskhantering beskrivs i not K2. Specifika upplysningar över moderbolagets riskar presenteras nedan. För definitioner se sidan 236.

Kreditrisk

Kreditriskexponering mkr	2014	2013
Utlåning till allmänheten ¹	737 483	685 372
varav repor	23 858	15 711
Utlåning till kreditinstitut	517 542	440 280
varav repor	43 383	34 259
Outnyttjad del av beviljade räntingskrediter ²	102 817	101 866
Kreditförlust	267 134	242 242
Övriga åtaganden	117 119	151 394
Garantiförbindelser, krediter	10 336	54 386
Garantiförbindelser, övriga	66 172	62 126
Dokumentkrediter	3 963	4 907
Derivatinstrument	120 051	78 295
Belåningsbara statskreditförbindelser m m	74 362	53 785
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	59 652	58 943
Summa	2 076 631	1 633 686
Kassa och tillgodoavanden hos centralbanker	454 532	334 794
Övrig utlåning till centralbanker	51 047	35 160
Summa	2 582 210	2 303 640

¹ Av detta belopp består 2 181 mkr (2 580) av utlåning som vid första redovisningstillfället kategoriserats som värdepapper till verkligt värde via resultatutvärderingen.

² Från och med 2014 ingår inte sådana outnyttjade räntingskrediter som motparten inte fördrögar över vid redovisningstillfället och som därför inte ger upphov till något kapitalkrav. Jämförelsesiffrorna har justerats.

Utlåning till allmänheten, bransch och motpartsindelad mkr	2014			2013		
	Utlåning före beaktande av reserveringar	Reserveringar för sannolika kreditförluster	Utlåning efter beaktande av reserveringar	Utlåning före beaktande av reserveringar	Reserveringar för sannolika kreditförluster	Utlåning efter beaktande av reserveringar
Privatpersoner	156 740	-614	156 126	132 880	-618	132 262
Bostadsrättsföreningar	16 310	-12	16 298	11 796	-24	11 772
Fastighetsförvaltning	321 154	-585	320 569	306 280	-391	305 889
Tillverkningsindustri	35 873	-724	35 149	36 237	-516	35 721
Handel	25 461	-343	25 118	28 971	-361	28 610
Hotell- och restaurangverksamhet	7 380	-25	7 355	6 556	-24	6 532
Person- och godstransport till sjöss	10 974	-405	10 569	13 285	-423	12 862
Övrig transport och kommunikation	9 892	-39	9 853	6 089	-80	6 009
Byggnadsverksamhet	12 535	-113	12 422	9 409	-116	9 293
Bakfisket, gas och vatten	13 300	-24	13 276	12 483	-44	12 439
Jordbruk, jakt och skogsbruk	6 237	-15	6 222	4 951	-20	4 931
Övrig serviceverksamhet	16 780	-42	16 738	19 007	-97	18 910
Holding-, investiment-, försäkringsbolag, fonder m m	57 246	-187	57 059	67 426	-569	66 857
Stat och kommun	18 193	-	18 193	7 648	-	7 648
Övrig företagsutlåning	33 268	-486	32 802	26 042	-67	25 975
Summa	741 343	-3 504	737 740	689 080	-3 360	685 710
Gruppvis reservering			-266			-338
Summa utlåning till allmänheten	741 343		737 483	689 080		685 372

Utlåning till allmänheten, säkerhet mkr	2014	2013	Kreditriskexponering on balance, säkerhet mkr	2014	2013
Bostadsfastigheter ¹	194 270	163 375	Bostadsfastigheter ¹	194 270	163 375
varav privatpersoner	97 133	82 197	varav privatpersoner	97 133	82 197
Övriga fastigheter	213 870	192 153	Övriga fastigheter	213 870	192 153
Stat, kommun och landsting ²	13 519	6 048	Stat, kommun och landsting ²	542 282	398 681
Borgen ³	15 435	14 897	Borgen ³	16 006	14 908
Finansiella säkerheter	22 032	12 650	Finansiella säkerheter	63 490	53 163
Objektsäkerheter	0	0	Objektsäkerheter	0	0
Övriga säkerheter	67 357	54 914	Övriga säkerheter	67 357	54 914
Blanko	211 000	241 335	Blanko	634 280	678 271
Summa utlåning till allmänheten	737 483	685 372	Total kreditriskexponering	1 731 555	1 655 465

¹ Inklusive bostadsrätter.

² Avser direkta statsexponeringar och statagarantier.

³ Inkluderar ej statagarantier.

¹ Inklusive bostadsrätter.

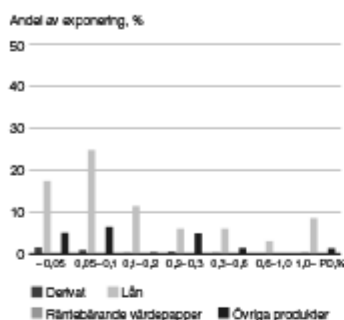
² Avser direkta statsexponeringar och statagarantier.

³ Inkluderar ej statagarantier.

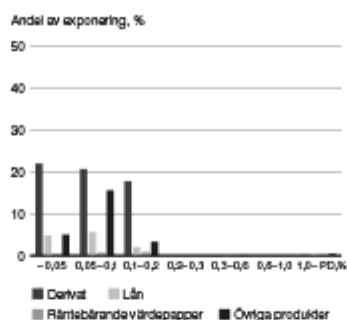
NOTER | MODERBOLAGET

Kreditkvalitet

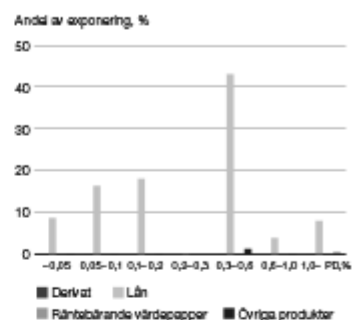
Andel exponeringsbelopp per produkttyp per PD-intervall exklusive fallerade krediter
– Företagsexponeringar



Andel exponeringsbelopp per produkttyp per PD-intervall exklusive fallerade krediter
– Institutexponeringar



Andel exponeringsbelopp per produkttyp per PD-intervall exklusive fallerade krediter
– Hushållsexponeringar

Marknadsrisker¹

mkr

2014

2013

Ränterisk²

965

995

Valutarisk³

-7

5

¹ För information om aktie- och råvarukursrisk i moderbolaget hänvisas till not K2.² Jämförelsesat för 2013 har räknats om enligt det ändrade sättet att redovisa ränterisken som tar hänsyn till det egna kapital som banken håller.³ Värsta utfall av +/-5% förändring av SEK.

Förtälsanalys för finansiella tillgångar och skulder, 2014

mkr

	Upp till 1 månad	1–6 månader	6–12 månader	1–2 år	2–5 år	Över 5 år	Opacificerad löptid	Summa
Kassa och tillgodohavanden i centralbanker	505 579	-	-	-	-	-	-	505 579
Betalningsbara statskultförbindelser ¹	74 729	-	-	-	-	-	-	74 729
Obligationer och andra räntebärande värdepapper ²	60 267	-	-	-	-	-	-	60 267
Utlåning till kreditinstitut	131 372	158 451	99 065	68 424	33 672	34 405	-	526 289
varav omvända repor	9 576	32 589	-	-	-	-	-	42 165
Utlåning till allmänheten	88 347	107 341	78 845	101 084	218 553	198 366	-	792 486
varav omvända repor	23 859	-	-	-	-	-	-	23 859
Övrigt	53 044	-	-	-	-	-	188 133	241 177
varav aktier och andelar	44 949	-	-	-	-	-	-	44 949
varav förändring på fondskulder	8 095	-	-	-	-	-	-	8 095
Summa tillgångar	913 338	285 792	178 910	169 408	252 226	232 771	188 133	2 200 627
Skulder till kreditinstitut	107 987	58 233	816	314	915	7 787	38 460	214 512
varav repor	88	-	-	-	-	-	-	88
varav inlåning från centralbanker	45 647	47 374	116	-	-	-	3 948	97 085
In- och upplåning från allmänheten	241 212	57 026	16 245	2 105	1 010	251	703 636	1 021 485
varav repor	168	-	-	-	-	-	-	168
Emitterade värdepapper ³	70 800	242 025	73 552	69 717	141 635	61 193	-	658 922
varav säkerställda obligationer	-	-	-	-	-	-	-	0
varav certifikat och andra värdepapper med ursprunglig löptid understigande ett år	66 137	231 670	46 109	-	-	-	-	343 916
varav seniora obligationer och andra värdepapper med ursprunglig löptid överstigande ett år	4 663	10 355	27 443	69 717	141 635	61 193	-	315 006
Efterställda skulder	388	341	4 991	3 245	24 323	955	-	34 183
Övrigt	28 923	-	-	-	-	-	212 709	241 632
varav korta positioner	20 963	-	-	-	-	-	-	20 963
varav fondskuldsulder	7 960	-	-	-	-	-	-	7 960
Summa skulder	440 310	307 625	95 544	75 381	167 883	70 186	954 806	2 170 734
Poster utanför balansräkningen								
Finansiella garantier och ej utnyttjade lånatöften	487 070							
Derivat 2014								
mkr	Upp till 1 månad	1–6 månader	6–12 månader	1–2 år	2–5 år	Över 5 år		Summa
Summa derivat, inflöde	369 950	484 637	84 462	155 742	364 527	158 132		1 617 450
Summa derivat, utflöde	363 872	476 643	82 078	153 094	353 974	155 709		1 585 370
Netto	6 078	7 994	2 384	2 648	10 553	2 423		32 080

¹ Av beloppet (exklusive räntor) har 21 127 mkr en återstående löptid som understiger ett år.² Av beloppet (exklusive räntor) har 6 023 mkr en återstående löptid som understiger ett år.³ Av beloppet (exklusive räntor) har 390 028 mkr en återstående löptid som understiger ett år.

För inlåningsvolym avser kolumn Opacificerad löptid inlåning som är betalbar på anfordran. Tabellen innehåller räntelöden vilket innebär att balansraderna inte är avstämningsbara mot koncernens balansräkning. Löptidstabeller utan räntelöden (inkl löptidstabeller i valuta) återfinns i Faktabok.

NOTER | MODERBOLAGET

M2 Forts

Förtaliansalyse för finansiella tillgångar och skulder 2013 mkr	Upp till 1 månad	1-6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Ospecifierad löptid	Summa
Kassa och tillgodohavanden i centralbanker	369 957	-	-	-	-	-	-	369 957
Belåningsbara statsskuldförbindelser ¹	54 391	-	-	-	-	-	-	54 391
Obligationer och andra räntebärande värdepapper ²	59 607	-	-	-	-	-	-	59 607
Utlåning till kreditinstitut	130 285	176 516	48 320	30 015	36 556	26 496	290	449 178
varav omvända repor	14 266	18 226	-	-	-	-	-	33 892
Utlåning till allmänheten	59 555	96 996	76 263	80 881	201 033	224 364	1 922	741 084
varav omvända repor	15 714	-	-	-	-	-	-	15 714
Övrigt	53 621	-	-	-	-	-	144 836	198 527
varav aktier och andelar	47 221	-	-	-	-	-	-	47 221
varav fordringar på fondaktiver	6 470	-	-	-	-	-	-	6 470
Summa tillgångar	728 186	273 512	124 583	110 898	237 690	290 860	147 118	1 672 744
Skulder till kreditinstitut	115 670	50 726	4 351	10 183	18 082	13 874	20 850	233 736
varav repor	748	-	-	-	-	-	-	748
varav inlåning från centralbanker	41 759	28 189	-	-	-	-	1 634	71 582
In- och upplåning från allmänheten	166 782	45 601	12 414	2 400	926	469	586 677	815 299
varav repor	7 606	-	-	-	-	-	-	7 606
Emitterade värdepapper ³	64 126	186 440	24 131	77 756	132 894	74 488	-	559 905
varav säkerställda obligationer	-	-	-	-	-	-	-	0
varav certifikat och andra värdepapper med ursprunglig löptid understigande ett år	58 244	148 334	4 180	38 522	-	-	-	249 580
varav seniore obligationer och andra värdepapper med ursprunglig löptid överstigande ett år	5 962	38 106	19 951	38 934	132 894	74 488	-	310 325
Efterställda skulder	13	4 357	1 139	4 524	5 599	3 245	-	18 877
Övrigt	29 947	-	-	-	-	-	187 809	217 756
varav korta positioner	29 170	-	-	-	-	-	-	29 170
varav fondskuldsulder	6 777	-	-	-	-	-	-	6 777
Summa skulder	376 608	287 124	42 085	94 863	157 601	92 106	795 336	1 645 673
Poster utanför balansräkningen								
Finansiella garantier och ej utnyttjade lånelösen	518 414							

Derivat 2013 mkr	Upp till 1 månad	1-6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Summa
Summa derivat inlöste		310 653	270 094	93 807	427 537	153 825	1 471 612
Summa derivat utflöste		303 430	257 822	95 971	405 859	147 748	1 442 949
Netto	-16 423	7 223	12 272	-2 164	21 678	6 077	28 663

¹ Av beloppet (exklusive räntor) har 25 022 mkr en återstående löptid som understiger ett år.

² Av beloppet (exklusive räntor) har 11 192 mkr en återstående löptid som understiger ett år.

³ Av beloppet (exklusive räntor) har 268 182 mkr en återstående löptid som understiger ett år.

För inlåningsvolymen avser kolumn Ospecifierad löptid inlåning som är betalbar på anfordran. Tabellen innehåller räntelöden vilket innebär att balansraderna Inlöste är avstämningsbara mot koncernens balansräkning. Löptidstabeller utan räntelöden (inkl löptidstabeller i valuta) återfinns i Faktabok.

M3 Räntenetto

mkr	2014	2013
Räntetäcknad		
Utlåning till kreditinstitut och centralbanker	6 748	6 936
Utlåning till allmänheten	21 403	22 442
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	719	2 106
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	1 015	1 897
Derivatinstrument	-2 511	-2 777
Övriga räntetäcknad	1 218	1 324
Summa räntetäcknad	28 602	31 928
Varav räntetäcknad redovisade i nettoresultat av finansiella transaktioner värderade till verkligt värde	633	2 633
Räntetäcknad enligt resultaträkning	27 969	29 295
Räntekostnader		
Skulder till kreditinstitut och centralbanker	-1 124	-1 319
In- och upplåning från allmänheten	-3 741	-4 609
Emitterade värdepapper	-7 528	-7 344
Derivatinstrument	3 041	2 267
Efterställda skulder	-1 283	-1 214
Övriga räntekostnader	-1 508	-3 269
Summa räntekostnader	-12 143	-16 488
Varav räntekostnader redovisade i nettoresultat av finansiella transaktioner värderade till verkligt värde	-256	-2 155
Räntekostnader enligt resultaträkning	-11 887	-13 333
Räntenetto	16 082	16 662

Inkluderar räntetäcknad på osäkra fordringar 88 mkr (26). Totala räntetäcknad på tillgångar bokförda till upplupet anskaffningsvärde samt tillgångar som är tillgängliga för försäljning var 29 495 mkr (30 841). Totala räntekostnader på skulder bokförda till upplupet anskaffningsvärde var 14 918 mkr (15 600).

NOTER | MODERBOLAGET

M4 Erhållna utdelningar

mkr	2014	2013
Utdelningar på aktier och andelar	929	1 039
Utdelningar från intresseföretag	8	5
Utdelningar från koncernföretag	-	-
Erhållna koncernbidrag	8 727	7 951
Summa	9 664	8 995

M5 Provisionsnetto

mkr	2014	2013
Courtago och övriga värdepappersprovisioner	1 089	1 171
Fonder	1 489	1 134
Depå och övrig kapitalförvaltning	365	316
Rådgivning	209	253
Betalningar	3 075	2 794
Ut- och inlåning	878	856
Garantier	424	434
Övrigt	501	465
Summa provisionsintäkter	8 030	7 423
Värdepapper	-584	-544
Betalningar	-1 270	-1 164
Övrigt	-64	-66
Summa provisionskostnader	-1 918	-1 774
Provisionsnetto	6 112	5 649

M6 Nettoresultat av finansiella transaktioner

mkr	2014	2013
Handel, derivat, valutakursaffekt m.m.	-1 839	1 237
Övriga finansiella instrument till verkligt värde över resultatökningen	2 278	-785
varav röntoberörande värdepapper	2 260	-707
varav lån	18	-78
Finansiella instrument till upplupet anskaffningsvärde	262	106
varav lån	305	147
varav skulder	-43	-41
Finansiella instrument tillgängliga för försäljning	365	-21
Säkringsredovisning		
Säkring av verkligt värde	39	19
varav säkringsinstrument	-7	-160
varav säkerad post	46	179
Inofficiellt på kassafödersäkringar	12	33
Summa	1 117	889

M7 Övriga rörelseintäkter

mkr	2014	2013
Hyrinntäkter	21	19
Andra rörelseintäkter	2 167	1 934
Summa	2 188	1 953

NOTER | MODERBOLAGET

M8 Personalkostnader

mkr	2014	2013
Löner och avreden	-6 942	-6 497
Sociala avgifter	-1 687	-1 622
Pensionskostnader ¹	-600	-346
Avsättning till vinstandelsförsäkring	-722	-1 022
Andra personalkostnader	-490	-490
Summa	-10 441	-9 977

¹ Uppgift om pensionskostnaderna visas i not M3B.

Löner och avreden mkr	2014	2013
Ledande befattningshavare ² , 30 (27) personer	-103	-100
Övriga	-6 839	-6 397
Summa	-6 942	-6 497

² Executive Directors och styrelsen.

Könsfördelning i %	2014		2013	
	Män	Kvinnor	Män	Kvinnor
Styrelse	80	20	73	27
Executive Directors	81	19	79	21

Medelantal anställda	2014	Män	Kvinnor	2013	Män	Kvinnor
Sverige	6 826	3 141	3 685	6 966	3 201	3 765
Norge	752	413	339	745	411	334
Finland	525	217	308	526	216	310
Danmark	682	338	344	676	338	338
Storbritannien	1 554	937	617	1 294	780	514
Luxemburg	67	39	28	30	18	12
Tyskland	59	32	27	64	36	28
USA	74	47	27	76	48	28
Nederländerna	140	86	54	113	74	39
Singapore	38	9	29	37	9	28
Hongkong	67	26	41	66	26	40
Polen	42	15	27	45	18	27
Övriga länder	71	29	42	69	26	43
Summa	10 897	5 320	5 568	10 707	5 201	5 506

Information om principer avseende ersättningar till ledande befattningshavare i moderbolaget framgår av not K8.

M9 Övriga administrationskostnader

mkr	2014	2013
Fastigheter och lokaler	-1 350	-1 261
Externa datakostnader	-1 575	-1 653
Kommunikation	-322	-341
Resor och marknadsföring	-297	-327
Köpta tjänster	-897	-952
Materialanskaffning	-194	-191
Andra omkostnader	-371	-350
Summa	-6 006	-6 075

Varav kostnader avseende operativ leasing

	2014	2013
Minileasingavgift	-738	-680
Varabel avgift	-19	-19
Summa	-757	-699

Operativ leasing är främst hänförlig till för verksamheten normala avtal avseende kontorslokaler och kontorautrustning. Hyreskostnader avseende lokaler har normalt en variabel avgift knuten till inflation och fastighetsskatt. Kostnaden för det enskilt största leasingavtalet uppgick under 2014 till cirka 167 mkr (165). Inget av de största leasingavtalen löper med variabel avgift.

Ersättning till revisorer och revisionsbolag mkr	KPMG		Ernst & Young AB	
	2014	2013	2014	2013
Revisionsuppdraget	-10	-8	-2	-3
Revisionsverksamhet utöver revisionsuppdraget	-4	-2	-	-
Skattberedning	-	-	-1	-1
Övriga tjänster	-	-	-	-

NOTER | MODERBOLAGET

M10 Kreditförluster

mkr	2014	2013
Specifik reservering för individuellt värderade fordringar		
Årets reservering	-1 917	-1 241
Återfört från tidigare gjorda reserveringar	273	277
Summa	-1 644	-964
Gruppvis reservering		
Årets nettoreservering för individuellt värderade fordringar	75	-64
Årets nettoreservering för homogena fordringar	1	1
Summa	76	-63
Poster utanför balansräkningen		
Förluster på poster utanför balansräkningen	-62	-9
Återföring av förluster på poster utanför balansräkningen	13	0
Förändring i kollektiv avsättning för poster utanför balansräkningen	16	-10
Summa	-33	-19
Bortskrivningar		
Årets konstaterade kreditförluster	-1 829	-1 359
Utryttad andel av tidigare reserveringar	1 474	1 134
Återvinningar	131	82
Summa	-224	-143
Kreditförluster, netto	-1 826	-1 189

Osäkra fordringar m m	2014	2013
mkr		
Osäkra fordringar	8 290	6 360
Specifika reserveringar för individuellt värderade fordringar	-3 594	-3 350
Reserveringar för gruppvis värderade homogena grupper av fordringar med begränsat värde	-	-
Gruppvisa reserveringar för individuellt värderade fordringar	-266	-338
Osäkra fordringar, netto	4 430	2 672
Total reserveringsgrad för osäkra fordringar, %	46,6	58,0
Andel osäkra fordringar, %	0,36	0,24
Reserveringsgrad exklusivt gruppvisa reserveringar, %	43,3	52,7
Fordringar förfallna sedan mer än 60 dagar, som inte är osäkra	1 491	1 266
Osäkra fordringar som under året omklassificerats till normallån	29	27

Fordringar klassificeras som osäkra om konsterade kassaföden sannolikt inte kommer att fullföljas. Varje fordran som ger upphov till specifik reservering ingår i osäkra fordringar med sitt fulla belopp även om delar täcks av säkerheter. Det innebär att reserveringsgraden ej beaktar antämla säkerheter. Som oreglerade klassificeras fordringar för vilken ränta, amortering eller överlats-saring är förfallna till betalning sedan mer än 60 dagar. För övriga definitioner se sidan 236.

Förändring av reserv för sannolika kreditförluster 2014	Reserv för individuellt värderade fordringar	Gruppvis reserv individuellt värderade fordringar	Reserv gruppvis värderade homogena fordringar	Summa reserv för sannolika kreditförluster
mkr				
Reserv vid årets ingång	-3 350	-338	-	-3 688
Årets reservering	-1 917	-	-	-1 917
Återfört från tidigare reserveringar	273	75	-	348
Utryttat för konstaterade förluster	1 474	-	-	1 474
Valutaeffekt m m	-74	-3	-	-77
Reserv vid årets utgång	-3 594	-266	-	-3 860

Förändring av reserv för sannolika kreditförluster 2013	Reserv för individuellt värderade fordringar	Gruppvis reserv individuellt värderade fordringar	Reserv gruppvis värderade homogena fordringar	Summa reserv för sannolika kreditförluster
mkr				
Reserv vid årets ingång	-3 616	-275	-	-3 891
Årets reservering	-1 241	-64	-	-1 305
Återfört från tidigare reserveringar	277	-	-	277
Utryttat för konstaterade förluster	1 134	-	-	1 134
Valutaeffekt m m	96	1	-	97
Reserv vid årets utgång	-3 360	-338	-	-3 698

NOTER | MODERBOLAGET

M10 Forts

Odelräna fordringar och fordringar som är förfallna sedan mer än 90 dagar, sektor- och branschfördelade 2014 mkr	Odelräna fordringar			Varav förfallna sedan 90 dagar	Fordringar förfallna sedan mer än 90 dagar, som inte är odelräna
	Brutto	Reserver	Netto ¹		
Privatpersoner	1 250	-614	646	423	570
Bostadsrättsföreningar	23	-12	11	10	24
Fastighetsförvaltning	1 706	-585	1 121	837	337
Tillverkningsindustri	1 634	-724	910	70	111
Handel	595	-343	252	168	13
Hotell- och restaurangverksamhet	45	-25	20	11	260
Person- och godstransport till sjöss	1 616	-405	1 211	-	-
Övrig transport och kommunikation	40	-39	10	10	41
Byggnadsverksamhet	187	-113	74	42	56
Bekräftat, gas och vatten	32	-24	8	8	0
Jordbruk, jakt och skogsbruk	21	-15	6	1	2
Övrig serviceverksamhet	73	-42	31	25	56
Holding-, investment-, försäkringsbolag, fondar m m	316	-187	129	34	2
Övrig förlagsutlåning	733	-466	267	266	19
Kreditinstut	-	-	0	-	-
Summa	8 290	-3 604	4 686	1 906	1 491

Odelräna fordringar och fordringar som är förfallna sedan mer än 90 dagar, sektor- och branschfördelade 2013 mkr	Odelräna fordringar			Varav förfallna sedan 90 dagar	Fordringar förfallna sedan mer än 90 dagar, som inte är odelräna
	Brutto	Reserver	Netto ¹		
Privatpersoner	1 226	-618	608	479	562
Bostadsrättsföreningar	75	-24	51	45	6
Fastighetsförvaltning	1 166	-391	775	430	401
Tillverkningsindustri	890	-516	374	189	9
Handel	704	-361	343	209	42
Hotell- och restaurangverksamhet	37	-24	13	11	9
Person- och godstransport till sjöss	424	-423	1	1	1
Övrig transport och kommunikation	110	-80	30	28	5
Byggnadsverksamhet	193	-116	77	71	88
Bekräftat, gas och vatten	72	-44	28	28	7
Jordbruk, jakt och skogsbruk	25	-20	5	6	1
Övrig serviceverksamhet	147	-97	50	43	33
Holding-, investment-, försäkringsbolag, fondar m m	1 138	-569	569	61	4
Övrig förlagsutlåning	153	-57	96	74	98
Kreditinstut	-	-	-	-	-
Summa	6 380	-3 350	3 030	1 676	1 286

¹ Redovisat värde efter beaktande av specifika reserveringar för individuellt värderade fordringar och reserveringar för gruppvis värderade fordringar, men exklusive gruppvisa reserveringar för fordringar som värderas individuellt.

Odelräna fordringar och fordringar som är förfallna sedan mer än 90 dagar, geografiskt fördelade 2014 mkr	Odelräna fordringar			Varav förfallna sedan 90 dagar	Fordringar förfallna sedan mer än 90 dagar, som inte är odelräna
	Brutto	Reserver	Netto ¹		
Sverige	3 212	-1 535	1 677	626	357
Norge	289	-135	154	118	338
Finland	798	-635	163	142	503
Danmark	2 728	-917	1 811	329	25
Storbritannien	1 103	-291	812	618	194
Nederländerna	21	-8	13	11	-
Övriga Europa	137	-73	64	61	74
Nordamerika	-	-	-	-	-
Asien	2	0	2	-	-
Summa	8 290	-3 604	4 686	1 906	1 491

Odelräna fordringar och fordringar som är förfallna sedan mer än 90 dagar, geografiskt fördelade 2013 mkr	Odelräna fordringar			Varav förfallna sedan 90 dagar	Fordringar förfallna sedan mer än 90 dagar, som inte är odelräna
	Brutto	Reserver	Netto ¹		
Sverige	2 224	-1 249	975	886	340
Norge	433	-177	256	214	285
Finland	934	-393	541	289	99
Danmark	1 294	-852	442	167	16
Storbritannien	320	-106	214	47	459
Nederländerna	15	-3	12	12	-
Övriga Europa	123	-57	66	60	67
Nordamerika	1 015	-513	502	-	-
Asien	2	0	2	-	-
Summa	6 380	-3 350	3 030	1 676	1 286

¹ Redovisat värde efter beaktande av specifika reserveringar för individuellt värderade fordringar och reserveringar för gruppvis värderade fordringar, men exklusive gruppvisa reserveringar för fordringar som värderas individuellt.

NOTER | MODERBOLAGET

Förtälsstruktur avseende förtälna fordringar som inte är osäkra 2014					
mkr	Utlåning till kreditinstitut	Utlåning till allmänheten			Summa
		Hushåll	Företag	Övrigt	
Förtälna ≤ 5 dagar ≤ 1 månad	-	752	910	-	1 662
Förtälna > 1 månad ≤ 2 månader	-	140	99	-	239
Förtälna > 2 månader ≤ 3 månader	-	80	373	-	453
Förtälna > 3 månader ≤ 12 månader	-	323	203	-	526
Förtälna > 12 månader	-	355	157	-	512
Summa	-	1 650	1 742	-	3 392

Förtälsstruktur avseende förtälna fordringar som inte är osäkra 2013					
mkr	Utlåning till kreditinstitut	Utlåning till allmänheten			Summa
		Hushåll	Företag	Övrigt	
Förtälna ≤ 5 dagar ≤ 1 månad	-	661	851	-	1 512
Förtälna > 1 månad ≤ 2 månader	-	138	110	-	248
Förtälna > 2 månader ≤ 3 månader	-	80	20	-	100
Förtälna > 3 månader ≤ 12 månader	-	280	297	-	577
Förtälna > 12 månader	-	431	158	-	589
Summa	-	1 590	1 436	-	3 026

Tillgångar övertagna för skyddande av fordran		
mkr		
	2014	2013
Fastigheter	465	392
Lös egendom	-	-
Aktier och andelar	0	0
Redovisat värde	465	392

M11 Bokslutsdispositioner

mkr	2014	2013
Periodiseringsfond	-	4 168
Förändring av överavskrivning goodwill	111	99
Summa	111	4 267

M12 Utlåning till kreditinstitut

mkr	2014	2013
Utlåning i svenska kronor		
Banker	8 340	5 402
Övriga kreditinstitut	308 581	250 765
Summa	316 921	256 167
Utlåning i utländsk valuta		
Banker	67 263	55 930
Övriga kreditinstitut	184 405	163 343
Summa	251 668	219 273
Sannolika kreditförluster	-	-
Summa utlåning till kreditinstitut	568 589	475 440
Varav omväxlingspar	43 383	34 259
Varav efter ställe	20 718	21 218
Medelvolymer		
mkr	2014	2013
Utlåning till kreditinstitut i svenska kronor	351 308	261 438
Utlåning till kreditinstitut i utländsk valuta	182 945	212 622
Summa	534 253	474 060
Varav omväxlingspar	39 423	35 528

NOTER | MODERBOLAGET

M13 Utlåning till allmänheten

mkr	2014	2013
Utlåning i svenska kronor		
Hushåll	45 120	42 794
Företag	184 336	199 557
Riksgälden	19 044	5 180
Summa	248 500	247 531
Utlåning i utländsk valuta		
Hushåll	130 142	105 864
Företag	362 701	335 665
Riksgälden	-	-
Summa	492 843	441 529
Sannolika kreditförluster	-3 860	-3 688
Summa utlåning till allmänheten	737 483	685 372
Växer omvärlade repor	23 858	15 711
Växer efterståttida	1 129	1 129
Medelvolymer, exkl Riksgälden		
mkr	2014	2013
Utlåning till allmänheten i svenska kronor	237 742	266 862
Utlåning till allmänheten i utländsk valuta	466 813	429 613
Summa	704 555	696 475
Växer omvärlade repor	16 565	22 665

M14 Räntebärande värdepapper

mkr	2014			2013		
	Nominalt värde	Verkligt värde	Redovisat värde	Nominalt värde	Verkligt värde	Redovisat värde
Belåningsbara värdepapper emitterade av stat	62 426	64 155	64 152	45 803	46 695	46 675
Belåningsbara värdepapper emitterade av andra	10 137	10 210	10 210	7 019	7 110	7 110
Summa belåningsbara statskuldförbindelser m m	72 563	74 365	74 362	52 822	53 805	53 786
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	57 550	59 650	59 652	56 961	58 941	58 943
Summa räntebärande värdepapper	130 113	134 015	134 014	109 783	112 746	112 728
Växer omvärlade värdepapper		4 569	4 569		3 240	3 240
Räntebärande värdepapper fördelade på emittent						
mkr	2014			2013		
	Nominalt värde	Verkligt värde	Redovisat värde	Nominalt värde	Verkligt värde	Redovisat värde
Stat	62 426	64 155	64 152	45 803	46 695	46 675
Kreditinstitut	9 404	9 633	9 635	10 330	10 696	10 698
Bostadsinstitut	37 733	39 572	39 572	37 933	39 476	39 476
Övrigt	20 550	20 655	20 655	15 717	15 879	15 879
Summa	130 113	134 015	134 014	109 783	112 746	112 728
Medelvolymer						
mkr	2014			2013		
Räntebärande värdepapper	120 237			124 208		

M15 Aktier och andelar

mkr	2014	2013
Innehav värderade till verkligt värde över resultaträkningen		
Noterade	33 300	40 287
Icke-noterade	3 328	1 256
Summa	36 628	41 543
Innehav klassificerade som tillgängliga för försäljning		
Noterade	6 753	4 368
Icke-noterade	1 568	1 310
Summa	8 321	5 678
Summa aktier och andelar	44 949	47 221

NOTER | MODERBOLAGET

M16 Aktier och andelar i koncern- och intresseföretag

Aktier och andelar i koncern- och intresseföretag						2014	2013
mkr							
Intresseföretag, icke-noterade						95	92
Koncernföretag, icke-noterade						45 662	46 061
Summa						45 757	46 153
Intresseföretag						Redovisat värde mkr	
	Organisations-nummer	Säte	Antal aktier	Ägarandel %		2014	2013
Bankomat AB	556817-9716	Stockholm	150	20,00		55	55
Bankomatsentralen AB	556197-2265	Stockholm	1 100	21,90		0	0
BOS Bankernas Depå AB	556626-3567	Stockholm	13 000	20,00		7	7
BGC Holding AB	556607-0933	Stockholm	25 382	25,40		4	4
Finansiel ID-teknik BID AB	556630-4928	Stockholm	12 735	28,30		24	24
Getwisch AB	556913-7382	Stockholm	10 000	20,00		4	2
Upplysningssentralen UC AB	556137-5113	Stockholm	2 448	24,48		1	0
Summa						95	92
Koncernföretag						Redovisat värde mkr	
	Organisations-nummer	Säte	Antal aktier	Ägarandel %		2014	2013
Handelsbanken Finans AB ¹	556053-0841	Stockholm	1 550 000	100		11 672	11 672
Kredit-Inkasso AB	556069-3185	Stockholm		100			
Handelsbanken Rahotus Oy	0112308-8	Helsingfors		100			
Kredit-Inkasso AS	955074203	Oslo		100			
Handelsbanken Finans (Shanghai) Financial Leasing Co., Ltd	310101717882194	Shanghai		100			
Stadshypotek AB ¹	556459-6715	Stockholm	162 000	100		26 870	26 870
Handelsbanken Fondbolagsförvaltning AB	556070-0683	Stockholm	10 000	100		1	1
Handelsbanken Fonder AB	556418-8851	Stockholm		100			
Handelsinvest i Investeringsförvaltning A/S	12930879	Köpenhamn		100			
Handelsbanken Fondbolag Ab	1106019-3	Helsingfors		100			
Handelsbanken Kapitalförvaltning AB	973194860	Oslo		100			
Xact Kapitalförvaltning AB	556927-8140	Stockholm		100			
Handelsbanken Liv Försäkrings AB	516401-8284	Stockholm	100 000	100		6 189	6 189
SHB Liv Försäkringsaktieselskab	20594942	Köpenhamn		100			
SHB Liv Försäkringsaktieselskab	2478149-7	Helsingfors		100			
Handelsbanken Fastigheter AB	556873-0021	Stockholm		100			
AB Handel och Industri	556013-5336	Stockholm	100 000	100		104	104
Plastal Industri AB	556532-8845	Göteborg		100			
Heartwood Wealth Group Ltd	5498937	London	1 000 000	100			470
Heartwood Wealth Management Limited	4132340	London	1 319 206	100		533	
Övriga dotterbolag							
EFN Ekonomikanalen AB	556930-1808	Stockholm	100	100		0	0
Ejendomselskabet af 1. januar 2002 A/S	38900512	Herning					294
Ejendomselskabet af 1. maj 2009 A/S	59173812	Hillerød	2 700 000	100		200	200
Forva AS	945812141	Oslo	4 000 000	100		1	1
Lajontuppen AB	556481-1551	Göteborg	1 000	100		0	0
Handelsbanken Markets Securities, Inc. ¹	11-3257438	New York	1 000	100		29	29
Handelsbanken Mezzanine Fond 1 KB	969710-3126	Stockholm	Andel	100		0	0
Handelsbanken Mezzanine Management AB	556679-2668	Stockholm	5 000	100		1	1
Handelsbanken Renting AB	556043-2766	Stockholm					14
Handelsbanken Skadeförsäkrings AB	516401-6767	Stockholm	1 500	100		31	31
Lokalbolig A/S	78488018	Hillerød	540 000	66,67		1	1
Rådstrøkke 4 AS	910508423	Bergen	40 000	100		0	0
BL (Nominees) Limited	1232320	London	100	100		-	-
Svenska Handelsbanken Delaware Inc.	13-3153272	Delaware					0
Svenska Handelsbanken Representações (Brasil) Ltda	15.367.073/001-99	São Paulo	999	99,9		2	2
Svenska Handelsbanken S.A. ¹	RCS Lux B-15992	Luxemburg					147
Svenska Property Nominees Limited	2308524	London	100	100		-	-
Svenska Re S.A.	RCS Lux B-32053	Luxemburg	20 000	100		35	35
Lila stugan i Stockholm AB	556993-9084	Stockholm	50	100		0	
Blå stugan i Stockholm AB	556993-9357	Stockholm	50	100		0	
Bruna stugan i Stockholm AB	556993-2311	Stockholm	50	100		0	
Summa						46 689	46 061

Förteckningen över koncernföretag omfattar dricksägda dotterföretag samt större dotterföretag till dessa.

¹ Kreditinstitut.

NOTER | MODERBOLAGET

M17 Derivatinstrument

mkr	Nominellt belopp/löptid			Nominellt belopp		Positiva marknadsvärden		Negativa marknadsvärden	
	upp till 1 år	mer än 1 år upp till 5 år	mer än 5 år	2014	2013	2014	2013	2014	2013
Derivat för handel									
Ränteslaserade kontrakt									
Optioner	132 389	161 306	5 773	299 558	293 602	3 505	4 200	3 699	4 338
FRAs/terminaler	1 557 960	778 881	-	2 336 841	2 972 176	1 137	420	1 549	143
Swappar	547 979	1 405 325	483 861	2 437 165	2 738 953	61 934	47 505	62 865	47 831
Övriga instrument	3 058	-	-	3 058	-	-	-	50	-
Valutaslaserade kontrakt									
Optioner	60 623	1 668	29	62 320	44 634	663	311	953	234
Terminaler	105 527	9 466	271	115 264	111 170	3 051	1 083	1 710	1 313
Swappar	643 585	300 350	65 306	1 009 241	1 017 479	28 515	16 236	18 752	13 949
Övriga instrument	-	-	-	-	61	0	15	-	120
Aktieslaserade kontrakt									
Optioner	10 845	24 158	949	35 952	42 699	2 537	3 019	2 371	5 112
Terminaler	10 306	-	-	10 306	4 408	8	8	36	34
Swappar	28 324	7 409	128	35 861	34 688	735	691	1 599	2 486
Övriga instrument	2 362	-	-	2 362	677	-	3	39	494
Rävaruslaserade kontrakt									
Optioner	2 155	2 253	122	4 530	5 057	183	105	528	992
Terminaler	26 074	2 446	148	28 668	21 047	1 002	375	1 079	377
Swappar	12	-	-	12	313	-	0	8	49
Övriga instrument	-	-	-	-	457	-	132	-	420
Kreditförsäkrade kontrakt									
Optioner	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Swappar	1 195	7 640	729	9 564	10 049	620	544	91	45
Övriga instrument	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Övriga derivatkontrakt	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Summa	3 132 304	2 700 002	887 316	6 300 702	7 297 480	103 961	74 647	96 729	77 937
Derivat för marknadsvärdeåtköringar									
Ränteslaserade kontrakt									
Swappar	-	-	-	-	-	-	-	-	0
Övriga instrument	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaslaserade kontrakt									
Swappar	-	-	965	965	817	63	177	-	-
Summa	-	-	965	965	817	63	177	-	0
Derivat för kassaflödesåtköringar									
Ränteslaserade kontrakt									
Swappar	28 471	160 634	58 296	242 341	185 183	11 488	4 773	1 661	2 002
Valutaslaserade kontrakt									
Swappar	18 364	113 900	35 687	167 951	143 659	17 178	4 733	2 957	3 239
Summa	41 835	274 534	93 983	410 292	328 842	28 666	9 506	4 618	5 241
Summa derivatinstrument	3 174 229	2 975 528	982 204	6 801 959	7 627 139	132 680	84 330	100 347	83 178
Varav börshandlade derivat				1 314 691	1 692 858	676	317	1 804	866
Varav OTC-derivat clearade via CCP				716 067	736 270	12 009	2 834	11 140	2 479
Balopp som kvittats i balansräkningen						-12 629	-6 035	-12 629	-6 035
Nettobelopp i balansräkningen						120 051	78 295	87 718	77 143
Valutafördelning av marknadsvärden									
SEK						-239 436	99 605	-89 043	182 836
USD						403 012	23 433	126 836	-199 795
EUR						109 799	67 126	21 384	37 352
Övriga						-140 695	-105 834	41 170	62 785

I notan presenteras derivatkontrakt brutto. Belopp som kvittats i balansräkningen består av det kvittade marknadsvärdet på kontrakt för vilka det finns en legal rätt och avsikt att reglera avtalade kassaflöden netto (särskilt clearade kontrakt). Dessa kontrakt nettoavvägs i balansräkningen per motpart och valuta.

Positiva skillnader mellan det värde som räknats fram med en värderingsmodell vid det första redovisningstillfället och transaktionspriset (dag 1-resultat), periodiseras över derivatets löptid. Vid årsavslut uppgick sådana ännu ej resultatförda dag 1-resultat till 465 mkr (2013).

NOTER | MODERBOLAGET

M18 Kvittning av finansiella instrument

2014			
mkr	Derivat	Återköptandel samt utlåning av värdepapper	Totalt
Finansiella tillgångar som kvittas eller som omfattas av avtal om kvittning			
Brutobelopp av finansiella tillgångar	132 680	68 887	201 567
Brutobelopp av finansiella skulder som kvittas i balansräkningen	-12 629	-	-12 629
Nettobelopp av finansiella tillgångar som redovisas i balansräkningen	120 051	68 887	188 938
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument som inte uppfyller kvittningskriterierna	-45 652	-	-45 652
Mottagna finansiella säkerheter	-38 191	-68 857	-107 048
Nettobelopp	36 208	90	36 298
Finansiella skulder som kvittas eller som omfattas av avtal om kvittning			
Brutobelopp av finansiella skulder	100 347	256	100 603
Brutobelopp av finansiella tillgångar som kvittas i balansräkningen	-12 629	-	-12 629
Nettobelopp av finansiella skulder som redovisas i balansräkningen	87 718	256	87 974
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument som inte uppfyller kvittningskriterierna	-45 652	-	-45 652
Ställda finansiella säkerheter	-9 674	-256	-9 930
Nettobelopp	32 392	0	32 392
2013			
mkr	Derivat	Återköptandel samt utlåning av värdepapper	Totalt
Finansiella tillgångar som kvittas eller som omfattas av avtal om kvittning			
Brutobelopp av finansiella tillgångar	84 330	53 612	137 942
Brutobelopp av finansiella skulder som kvittas i balansräkningen	-6 035	-	-6 035
Nettobelopp av finansiella tillgångar som redovisas i balansräkningen	78 295	53 612	131 907
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument som inte uppfyller kvittningskriterierna	-41 036	-	-41 036
Mottagna finansiella säkerheter	-10 540	-53 569	-64 109
Nettobelopp	26 719	43	26 762
Finansiella skulder som kvittas eller som omfattas av avtal om kvittning			
Brutobelopp av finansiella skulder	83 178	8 352	91 530
Brutobelopp av finansiella tillgångar som kvittas i balansräkningen	-6 035	-	-6 035
Nettobelopp av finansiella skulder som redovisas i balansräkningen	77 143	8 352	85 495
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument som inte uppfyller kvittningskriterierna	-41 036	-	-41 036
Ställda finansiella säkerheter	-4 793	-7 889	-12 682
Nettobelopp	31 314	463	31 777

M19 Immateriella tillgångar

2014	Inkräms- goodwill	Internt utvecklad programvara	Total 2014
mkr			
Anskaffningsvärde vid ingången av året	2 071	1 346	3 417
Anskaffningsvärde på tillkommande	-	248	248
Immateriella tillgångar	-	-135	-135
Avyttringar och utrangeringar	-	1	100
Valutaeffekt	99	-	-
Anskaffningsvärde vid utgången av året	2 170	1 460	3 630
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-1 298	-369	-1 667
Avyttringar och utrangeringar	-	135	135
Årets avskrivningar enligt plan	-111	-110	-221
Årets nedskrivningar	-	-9	-9
Valutaeffekt	-62	-1	-63
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-1 471	-364	-1 835
Redovisat värde	699	1 106	1 805
2013	Inkräms- goodwill	Internt utvecklad programvara	Total 2013
mkr			
Anskaffningsvärde vid ingången av året	2 072	1 104	3 176
Anskaffningsvärde på tillkommande	-	322	322
Immateriella tillgångar	-	-82	-82
Avyttringar och utrangeringar	-	2	1
Valutaeffekt	-1	-	-
Anskaffningsvärde vid utgången av året	2 071	1 346	3 417
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-1 129	-340	-1 533
Avyttringar och utrangeringar	-	82	82
Årets avskrivningar enligt plan	-108	-106	-214
Årets nedskrivningar	-	-2	-2
Valutaeffekt	3	-3	0
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-1 268	-369	-1 637
Redovisat värde	773	977	1 750

NOTER | MODERBOLAGET

M20 Fastigheter och inventarier

Fastigheter och inventarier mkr	2014	2013
Inventarier	452	466
Fastigheter	115	120
Egendom övertagen för skyddande av fordran	465	392
Summa	1 032	978

I posten Egendom övertagen för skyddande av fordran ingår fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde i enlighet med koncernens redovisningsprinciper för tillgångar som övertagits för skydd av fordran, se not K1. Det verkliga värdet på fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde uppgår till 465 mkr (392). Realiserade värdeförändringar på dessa fastigheter har påverkat årets resultat med 6 mkr (-10). Värdering av privatbostäder bygger i all väsentligt på marknadsobservationer av jämförbara fastighetsköp på den aktuella orten. Värdering av kommersiella fastigheter bygger på diskontering av framtida kassaflöden och baseras på antaganden om bland annat hyresnivå, väkargrad, drift- och underhållskostnader, direktavkastningskrav och kalkylränta. I värderingen tas även hänsyn till fastighetens skick, åge samt alternativanvändning. Banken har som princip att alltid använda en godkänd värderingsman vid värdering av affärs- och kontorfastigheter samt industrifastigheter. Värdering som enbart bygger på marknadsobservationer (119 mkr) klassificeras som nivå 2 i den värderingshierarki som beskrivs i not K40. Värdering som har ett väsentligt inslag av egna antaganden (346 mkr) klassificeras som nivå 3 i värderingshierarkin. Realiserade värdeförändringar i nivå 3 avseende fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde har påverkat årets resultat med 0 mkr (-17). Årets försäljning av fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde uppgår till 106 mkr (81) varav 80 mkr (64) var klassade som nivå 3 innan försäljningen. Nya fastigheter har tillkommit under året med 112 mkr (50) varav 20 mkr (46) klassats som nivå 3.

Inventarier mkr	2014	2013
Anskaffningsvärde vid ingången av året	1 517	1 513
Anskaffningsvärde på tillkommande under året	247	265
Avyttringar och utbangeringar	-472	-238
Valutaeffekt	40	-23
Anskaffningsvärde vid utgången av året	1 332	1 517
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-1 051	-1 051
Årets avskrivningar enligt plan	-235	-248
Avyttringar och utbangeringar	434	236
Valutaeffekt	-28	22
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-880	-1 001
Redovisat värde	452	466

Fastigheter mkr	2014	2013
Anskaffningsvärde vid ingången av året	190	190
Anskaffningsvärde på tillkommande under året	-	-
Ny- och ombyggnation	-	-
Avyttringar och utbangeringar	-	-
Anskaffningsvärde vid utgången av året	190	190
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-70	-65
Årets avskrivningar enligt plan	-5	-5
Årets nedskrivningar	-	-
Avyttringar och utbangeringar	-	-
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-76	-70
Redovisat värde	115	120

M21 Övriga tillgångar

mkr	2014	2013
Fondlikvidfordringar	8 025	6 470
Övrigt	11 100	9 598
Summa	19 125	16 068

M22 Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter

mkr	2014	2013
Upplupna räntaintäkter	3 230	3 739
Övriga upplupna intäkter	1 477	1 341
Förutbetalda kostnader	289	192
Summa	4 996	5 272
Varav efterskälda	36	11

NOTER | MODERBOLAGET

M23 Skulder till kreditinstitut

mkd	2014	2013
Skulder i svenska kronor		
Banker	23 252	19 869
Övriga kreditinstitut	15 818	12 162
Summa	39 070	32 031
Skulder i utländsk valuta		
Banker	166 465	135 848
Övriga kreditinstitut	4 564	58 752
Summa	171 029	194 600
Summa skulder till kreditinstitut	210 099	226 631
Vänav repor	88	748
Modervolymer		
mkd	2014	2013
Skulder till kreditinstitut i svenska kronor	114 981	52 899
Skulder till kreditinstitut i utländsk valuta	149 491	223 293
Summa	264 472	276 132
Vänav repor	7 625	3 967

M24 In- och upplåning från allmänheten

Inlåning från allmänheten	2014	2013
mkd		
Inlåning i svenska kronor		
Hushåll	224 898	207 374
Företag	185 250	165 314
Riksgälden	-	-
Summa	410 148	372 688
Inlåning i utländsk valuta		
Hushåll	65 758	48 990
Företag	236 431	172 779
Riksgälden	-	-
Summa	302 189	221 769
Summa inlåning från allmänheten	712 337	594 457
Upplåning från allmänheten		
mkd	2014	2013
Upplåning i svenska kronor	31 944	42 117
Upplåning i utländsk valuta	276 681	170 653
Summa	308 625	210 770
Vänav repor	7 63	7 504
Summa in- och upplåning från allmänheten	1 020 962	814 227
Modervolymer		
mkd	2014	2013
Inlåning från allmänheten		
Inlåning från allmänheten i svenska kronor	372 466	348 970
Inlåning från allmänheten i utländsk valuta	282 252	178 337
Summa	654 718	527 307
Upplåning från allmänheten		
Upplåning från allmänheten i svenska kronor	47 869	53 434
Upplåning från allmänheten i utländsk valuta	196 525	146 665
Summa	244 394	200 099
Vänav repor	8 685	10 557

NOTER | MODERBOLAGET

M25 Emitterade värdepapper

mkr	2014		2013	
	Nominellt belopp	Redovisat värde	Nominellt belopp	Redovisat värde
Certifikat				
Certifikat i svenska kronor	9 816	10 621	15 613	17 299
Värs				
till upplupet anskaffningsvärde	-	-	1 01	1 01
för handel	9 816	10 621	15 512	17 198
Certifikat i utländsk valuta	300 177	309 999	227 719	227 754
Värs				
till upplupet anskaffningsvärde	298 804	308 191	227 532	227 532
för handel	1 373	1 808	1 87	222
Summa	300 093	320 614	243 332	245 063
Obligationsskän				
Obligationsskän i svenska kronor	18 443	18 000	14 822	14 298
Värs				
till upplupet anskaffningsvärde	18 443	18 000	14 822	14 006
för marknadsvärdestökningar	-	-	-	292
Obligationsskän i utländsk valuta	293 800	294 514	271 426	273 256
Värs				
till upplupet anskaffningsvärde	292 830	294 327	268 882	272 319
för marknadsvärdestökningar	970	1 177	2 544	937
Summa	312 243	312 614	296 248	297 564
Summa emitterade värdepapper	622 296	633 128	539 580	542 627
mkr			2014	2013
Emitterade värdepapper vid årets ingång			532 607	531 284
Emitterade			708 274	857 711
Återköpta			15 886	17 373
Förtäta			664 066	843 242
Valutaeffekter m.m.			72 199	4 227
Emitterade värdepapper vid årets utgång			633 128	632 607
Medelvolymer			2014	2013
mkr				
Svenska kronor			29 839	32 140
Utländsk valuta			521 628	514 620
Summa			551 467	546 760

M26 Korta positioner

mkr	2014	2013
Korta positioner värderade till verkligt värde		
Aktier	1 273	3 430
Räntebärande värdepapper	19 375	19 415
Värs		
till upplupet anskaffningsvärde	19 375	19 415
egne emitterade	-	-
Summa	20 648	22 845
Medelvolymer		
mkr	2014	2013
Svenska kronor	18 878	22 832
Utländsk valuta	809	1 214
Summa	19 687	24 046

M27 Skatter

Uppskjutna skattefordringar					
mkr			2014	2013	
Fastigheter och inventarier			30	35	
Säkringsinstrument			257	159	
Övrigt			74	8	
Summa			361	202	
Uppskjutna skattekulder					
mkr			2014	2013	
Fastigheter och inventarier			15	16	
Säkringsinstrument			1 425	98	
Övrigt			159	-	
Summa			1 600	114	
Netto uppskjutna skatter			1 308	-88	
Förändring av uppskjutna skatter 2014					
mkr		Ingående balans	Redovisat över resultat-räkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Utgående balans
Fastigheter och inventarier		-19	4	-	-15
Säkringsinstrument		-61	3	1 296	1 238
Övrigt		-8	-99	192	85
Summa		-88	-92	1 488	1 308
Förändring av uppskjutna skatter 2013					
mkr		Ingående balans	Redovisat över resultat-räkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Utgående balans
Fastigheter och inventarier		-17	-2	-	-19
Säkringsinstrument		391	6	-458	-61
Övrigt		0	-8	-	-8
Summa		374	-4	-468	-88
Redovisade skattkostnader i resultaträkningen					
mkr			2014	2013	
Aktuell skatt					
Årets skattkostnad				-3 864	-4 604
Justering av skatt hänförlig till tidigare år				-51	-19
Uppskjuten skatt					
Förändringar i temporära skillnader				92	4
Summa				-3 823	-4 619
Nominal skattesats i Sverige, %				22,0	22,0
Avvikelser					
Ej skattepliktiga intäkter/ ej avdragsgilla kostnader				-0,2	0,3
Skatt avseende tidigare år				0,0	0,1
Effektiv skattesats, %				21,8	22,4

M28 Avsättningar

mkr	Avsättning för omstrukturering	Avsättning för garanti- åtaganden	Övriga avsättningar	Summa 2014	Summa 2013
Avsättningar vid årets ingång	51	59	18	128	116
Avsatt under året	-	-	62	62	52
lanspråktagel	-39	-52	-	-91	-40
Åsatt	-12	-	-	-12	-
Avsättningar vid årets utgång	-	7	80	87	128

Avsättningen för omstrukturingskostnader avser merkostnader till följd av uppsägning av hyrda lokaler. Avsättningsbeloppet har reglerats i sin helhet under 2014. Avsättning för garantiåtaganden består av avsättningar för ett antal utombalansposter.
Handelsbanken är föremål för krav i ett antal tvistemål som drivs i allmänna domstolar. Bankens bedömning är att tvistemålen i all väsentligt kommer att utfalla till bankens fördel. Tvistebeloppet bedöms inte kunna få en väsentlig inverkan på bankens ställning eller resultat. Under övriga avsättningar redovisas de belopp som avsatts för reglering av de anspråk som rikts mot banken.

NOTER | MODERBOLAGET

M29 Övriga skulder

mkr	2014	2013
Fondlikvidskulder	7 960	6 777
Övrigt	6 188	5 926
Summa	14 148	12 703

M30 Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter

mkr	2014	2013
Upplupna räntekostnader	5 441	5 817
Övriga upplupna kostnader	3 589	3 889
Förutbetalda intäkter	779	209
Summa	9 809	9 915

M31 Efterställda skulder

mkr	2014	2013
Förtagstån i svenska kronor	10 308	10 472
Förtagstån i utländsk valuta	19 281	5 423
Summa	30 289	15 968

Medskrymmer

mkr	2014	2013
Förtagstån i svenska kronor	9 831	10 764
Förtagstån i utländsk valuta	18 852	7 824
Summa	28 683	18 688

¹ Svenska förtagstån understiger var och en för sig 10% av de totala efterställda skulderna. I summan ingår ett ewigt förtagstån till rörlig ränta, vilket är ett konvertibelt förtagstån på nominellt 3,2 mkr riksdal till koncernens anställda på marknadsmässiga villkor. Lånet har ingen status som regleringsmässigt kapital men kan omvandlas till Handelsbanksaktier. Banken har rätt att begära konvertering när som helst och innehavaren har rätt att begära konvertering mellan den 1 maj och den 30 november 2019 till den initiala konverteringskursen 379,19 kr, vilket motsvarar 117% av den genomförliga skidkursen under perioden 2-14 maj 2014. Den initiala konverteringskursen justeras för utdelningar under löptiden. Om kärnprimärkapitalrelationen för banken eller beräknad enligt den konsoliderade situationen faller under 7%, sker automatisk konvertering. För upplysningar avseende övriga svenska förtagstån se not K40.

² För ytterligare upplysning av förtagstån i EUR, se not K40.

³ Övriga utländska förtagstån är emitterade i form av övriga förtagstån.

Specifikation, förtagstån	Ursprungligt nominellt belopp av respektive valuta	Räntesats %	Utsattande belopp
Utgivnings/slutbet år	Valuta		
I SVENSKA KRONOR			
Svenska förtagstån ¹		13 337	10 308
Summa			10 308
I UTLÄNDSK VALUTA			
2005/evigt ²	EUR	500	4 713
2014/fdbunden ³	EUR	1 500	14 174
Övriga utländska ³			1 094
Summa			19 981
Summa efterställda skulder			30 289

M32 Obeskattade reserver

mkr	2014	2013
Akkumulerade överavskrivningar goodwill	699	773
Summa	699	773

NOTER | MODERBOLAGET

M33 Klassificering av finansiella tillgångar och skulder

2014	Värdena till verkligt värde i RR uppdelat på		Derivat identifierat som säkringsinstrument	Investeringar som hålls till förtull	Lån och andra fordringar	Finansiella tillgångar tillgängliga för försäljning	Övriga finansiella tillgångar/skulder	Summa redovisat värde	Verkligt värde
milj	Innehav för handel	Övrigt ¹							
Tillgångar									
Kassa och tillgodoavanden hos centralbanker					454 040		492	454 532	454 532
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	42 096	30 526		7 47		993		74 362	74 365
Utlåning till kreditinstitut					568 589			568 589	575 487
Utlåning till allmänheten		2 181			735 302			737 483	738 506
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	26 235	30 842		253		2 322		59 652	59 650
Aktier och andelar	36 628					8 321		44 949	44 949
Aktier och andelar i koncern- och intresseföretag							45 764	45 764	45 764
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken		2 935			89			3 024	3 024
Derivatinstrument	91 612		28 439					120 051	120 051
Övriga tillgångar	35				10 168		8 992	19 195	19 195
Förtbetalda kostnader och upplupna intäkter	408	573		1	1 605	2	2 407	4 996	4 996
Summa finansiella tillgångar	197 014	67 067	28 439	1 001	1 760 793	11 838	67 685	2 132 597	2 140 819
Övriga icke finansiella tillgångar								3 198	
Summa tillgångar								2 135 795	
Skulder									
Skulder till kreditinstitut							210 099	210 099	212 437
In- och upplåning från allmänheten							1 020 962	1 020 962	1 021 010
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken		3 036					89	3 125	3 125
Emitterade värdepapper	12 423						620 705	633 128	640 565
Derivatinstrument	83 440		4 278					87 718	87 718
Korta positioner	20 648							20 648	20 648
Övriga skulder	16						14 132	14 148	14 148
Upplupna kostnader och förtbetalda intäkter	315						9 494	9 809	9 809
Efterställda skulder							30 289	30 289	34 409
Summa finansiella skulder	116 842	3 036	4 278				1 905 770	2 029 928	2 052 869
Övriga icke finansiella skulder								2 585	
Summa skulder								2 032 511	

2013	Värdena till verkligt värde i RR uppdelat på		Derivat identifierat som säkringsinstrument	Investeringar som hålls till förtull	Lån och andra fordringar	Finansiella tillgångar tillgängliga för försäljning	Övriga finansiella tillgångar/skulder	Summa redovisat värde	Verkligt värde
milj	Innehav för handel	Övrigt ¹							
Tillgångar									
Kassa och tillgodoavanden hos centralbanker					334 185		609	334 794	334 794
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	32 611	16 160		3 461		1 553		53 785	53 805
Utlåning till kreditinstitut					475 440			475 440	479 609
Utlåning till allmänheten		2 580			682 792			685 372	685 711
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	26 959	30 149		933		902		58 943	58 941
Aktier och andelar	41 543					5 678		47 221	47 221
Aktier och andelar i koncern- och intresseföretag							46 153	46 153	46 153
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken		1 860			328			2 188	2 188
Derivatinstrument	69 471		8 824					78 295	78 295
Övriga tillgångar	68				8 346		8 054	16 468	16 468
Förtbetalda kostnader och upplupna intäkter	480	661		117	1 734		2 280	5 272	5 272
Summa finansiella tillgångar	171 132	51 410	8 824	4 511	1 802 825	8 133	57 096	1 803 631	1 808 457
Övriga icke finansiella tillgångar								2 930	
Summa tillgångar								1 806 561	
Skulder									
Skulder till kreditinstitut							226 631	226 631	228 131
In- och upplåning från allmänheten							814 227	814 227	814 035
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken		1 908					328	2 236	2 236
Emitterade värdepapper	17 420						515 187	532 607	544 327
Derivatinstrument	72 136		5 007					77 143	77 143
Korta positioner	22 845							22 845	22 845
Övriga skulder	19						12 684	12 703	12 703
Upplupna kostnader och förtbetalda intäkter	357						9 558	9 915	9 915
Efterställda skulder							15 965	15 965	17 705
Summa finansiella skulder	112 777	1 908	5 007				1 594 590	1 714 272	1 729 040
Övriga icke finansiella skulder								1 058	
Summa skulder								1 715 330	

¹ Klassificerade till verkligt värde.

Redogörelse för tillämpade principer för värdering till verkligt värde återfinns i not K39. För aktier i koncern- och intresseföretag anges inget verkligt värde utan anskaffningsvärde.

NOTER | MODERBOLAGET

M33 Forts

Omklassificerade finansiella tillgångar	2014		2013	
	Omklassificerat från innehav för handel (trading)	Omklassificerat från tillgängligt för försäljning	Omklassificerat från innehav för handel (trading)	Omklassificerat från tillgängligt för försäljning
mkr				
Redovisat värde	12	4 489	74	5 375
Verkligt värde	13	4 535	74	5 464
Redovisad värdeförändring i resultaträkningen	-	209	-	170
Redovisad värdeförändring i övrigt totalresultat	2	318	0	-3
Värdeförändring som skulle redovisats i resultaträkningen om tillgångarna inte hade klassificerats om	1	209	1	170
Värdeförändring som skulle redovisats i övrigt totalresultat om tillgångarna inte hade klassificerats om	-	54	-	-25
Intäktstörd ränta	0	82	69	137

Samtliga innehav presenterade ovan omklassificerades till den 1 juli 2008.

M34 Värdering av finansiella instrument till verkligt värde

Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2014				
mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m				
Innehav för handel	42 096	-	-	42 096
Klassificerade att värderas till verkligt värde	30 526	-	-	30 526
Tillgängliga för försäljning	993	-	-	993
Utlåning till allmänheten	-	2 168	13	2 181
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Innehav för handel	21 643	4 592	-	26 235
Klassificerade att värderas till verkligt värde	30 842	-	-	30 842
Tillgängliga för försäljning	2 091	231	-	2 322
Aktier och andelar				
Innehav för handel	33 175	3 359	94	36 628
Klassificerade att värderas till verkligt värde	-	-	-	-
Tillgängliga för försäljning	6 753	811	757	8 321
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	2 237	-	698	2 935
Derivatinstrument	630	119 421	-	120 051
Summa	170 088	130 682	1 662	302 432
Skulder				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	2 338	-	698	3 036
Emitterade värdepapper	-	12 329	94	12 423
Derivatinstrument	1 566	86 152	-	87 718
Korta positioner	20 560	88	-	20 648
Summa	24 464	98 569	792	123 825

NOTER | MODERBOLAGET

Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2013 mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m				
Innehav för handel	32 611	-	-	32 611
Klassificerade att värderas till verkligt värde	16 160	-	-	16 160
Tillgängliga för försäljning	1 553	-	-	1 553
Utlåning till allmänheten	-	2 562	18	2 580
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Innehav för handel	21 881	5 078	-	26 959
Klassificerade att värderas till verkligt värde	30 149	-	-	30 149
Tillgängliga för försäljning	582	320	-	902
Aktier och andelar				
Innehav för handel	40 284	1 183	76	41 543
Klassificerade att värderas till verkligt värde	-	-	-	-
Tillgängliga för försäljning	4 367	634	677	5 678
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	1 860	-	-	1 860
Derivatinstrument	1 328	76 967	-	78 295
Summa	160 776	88 744	771	239 290
Skulder				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	1 908	-	-	1 908
Emitterade värdepapper	4	17 332	84	17 420
Derivatinstrument	2 155	74 988	-	77 143
Korta positioner	21 951	894	-	22 845
Summa	26 018	93 214	84	119 316

Förändring av innehav i nivå 3 2014 mkr	Aktier och andelar	Derivat, nettoposition	Utlåning till allmänheten	Tillgångar där kunden står värde- förändringsrisken	Skulder där kunden står värde- förändringsrisken	Emitterade värdepapper
Redovisat värde vid årets ingång	753	-	18	-	-	-84
Nyanskaffningar	30	-	-	400	-400	-10
Återköp/Avyttring	-30	-	-	-	-	-
Förskott	-	-	-7	-	-	-
Orealiserad värdeförändring i resultaträkningen	19	-	-	208	-208	-
Orealiserad värdeförändring i övrigt totalresultat	79	-	1	-	-	-
Förflyttning från nivå 1 eller 2	-	-	1	-	-	-
Förflyttning till nivå 1 eller 2	-	-	-	-	-	-
Redovisat värde vid årets utgång	861	-	13	608	-608	-94

Förändring av innehav i nivå 3 2013 mkr	Aktier och andelar	Derivat, nettoposition	Utlåning till allmänheten	Tillgångar där kunden står värde- förändringsrisken	Skulder där kunden står värde- förändringsrisken	Emitterade värdepapper
Redovisat värde vid årets ingång	708	-	24	-	-	-77
Nyanskaffningar	44	-	-	-	-	-1
Återköp/Avyttring	-6	-	-	-	-	-
Förskott	-1	-	-2	-	-	-
Orealiserad värdeförändring i resultaträkningen	-30	-	0	-	-	-6
Orealiserad värdeförändring i övrigt totalresultat	38	-	1	-	-	-
Förflyttning från nivå 1 eller 2	-	-	3	-	-	-
Förflyttning till nivå 1 eller 2	-	-	-8	-	-	-
Redovisat värde vid årets utgång	763	-	18	-	-	-84

Verkligt värde på finansiella instrument redovisade till anskaffningsvärde eller upplupet anskaffningsvärde 2014 mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	454 532	-	-	454 532
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	750	-	-	750
Utlåning till kreditinstitut	49 357	525 638	402	575 487
Utlåning till allmänheten	6 818	52 511	676 906	736 325
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	251	-	-	251
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	-	89	-	89
Summa	611 708	578 238	677 488	1 767 434
Skulder				
Skulder till kreditinstitut	75 727	136 710	-	212 437
In- och upplåning från allmänheten	709 555	311 455	-	1 021 010
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	-	89	-	89
Emitterade värdepapper	160 516	476 626	-	637 142
Efterstälda skulder	-	34 409	-	34 409
Summa	945 798	959 289	-	1 905 087

NOTER | MODERBOLAGET

M34 Ports

Värklagt värde på finansiella instrument redovisade till anskaffningsvärde eller uppköpt anskaffningsvärde 2013 mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	334 794	-	-	334 794
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	3 481	-	-	3 481
Utlåning till kreditinstitut	17 623	460 979	937	479 609
Utlåning till allmänheten	5 768	30 442	646 914	683 131
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	931	-	-	931
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	-	312	16	328
Summa	362 667	491 740	647 967	1 502 274
Skulder				
Skulder till kreditinstitut	47 866	180 265	-	228 131
In- och upplåning från allmänheten	679 852	134 183	-	814 035
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	-	328	-	328
Emitterade värdepapper	136 324	390 583	-	526 907
Efterställda skulder	-	17 705	-	17 705
Summa	864 042	723 061	-	1 587 103

M35 Ställda och mottagna säkerheter samt överförda finansiella tillgångar

Föräga skulder ställda säkerheter mkr	2014	2013
Kontanter	21 048	-
Statspapper och obligationer	20 629	21 853
Utlåning till allmänheten	-	-
Aktier	232	3 086
Övrigt	316	277
Summa	42 226	25 216
Varav pantar som fritt kan återkallas av banken	27 497	-
Övriga ställda säkerheter mkr	2014	2013
Kontanter	2 102	702
Statspapper och obligationer	25 185	30 483
Utlåning till allmänheten	3 702	-
Aktier	4 751	6 482
Övrigt	18	4 012
Summa	36 768	41 679
Varav pantar som fritt kan återkallas av banken	26 788	-

Med Övriga ställda säkerheter avses säkerheter som ställs för förpliktelser som ej redovisas i balansräkningen.

Mottagna säkerheter

Som en del av ingången omvända återköpsavtal och värdepapperslån har koncernen accepterat säkerheter som kan säljas eller pantsättas vidare till tredje part. Det verkliga värdet av sådana accepterade säkerheter uppgick till 38 562 mkr (34 305) vid räkenskapsårets slut, varav säkerheter till ett värde av 5 295 mkr (1 050) var sålda eller pantsatta till tredje part.

Överförda finansiella tillgångar redovisade i balansräkningen	2014		2013	
mkr	Redovisat värde	Redovisat värde motsvarande skuld	Redovisat värde	Redovisat värde motsvarande skuld
Aktier värdepappersutlåning	1 646	206 ¹	3 641	3 086 ¹
Aktier, övrigt	3 337	-	5 927	-
Statspapper och obligationer, repor	196	201	6 685	6 689
Statspapper och obligationer, övrigt	57	-	1 184	-
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	1 008	1 008	328	328
Summa	6 244	1 415	17 765	10 103

¹ Mottagen kontantsäkerhet.

M36 Ansvarsförbindelser

mkr	2014	2013
Garantförbindelser, krediter	10 336	54 386
Garantförbindelser, övriga	66 172	62 126
Östärkande rembursar	3 733	4 642
Övrigt	230	155
Summa	80 471	121 309

Ansvarsförbindelserna bestod i huvudsak av olika typer av garantförbindelser. I tabellen anges garanternas nominella belopp.

M37 Övriga åtaganden

mkr	2014	2013
Kreditförlän	267 134	242 242
Outnyttjad del av beviljade rättningskrediter ¹	102 817	101 866
Övrigt	117 119	151 394
Summa	487 070	495 502

¹ Från och med 2014 ingår inte sådana outnyttjade rättningskrediter som motparten inte förlagar över vid redovisningstillfället och som därför inte ger upphov till något kapitalkrav. Jämförelsesiffrorna har justerats.

I raden Övrigt ingår interna likviditetssgarantier till dotterbolag på 102 285 mkr (140 112).

Avtalade, ej uppgjorda, framtida operationella leasingavgifter fördelade på de år de förfaller till betalning mkr	2014	2013
2015	704	694
2016–2019	1 670	1 765
2020 och senare	456	556
Summa	2 830	3 015

Operationell leasing är främst hänförlig till för verksamheten normala avtal avseende kontorslokaler och kontorsutrustning.

M38 Pensionsförpliktelser

mkr	2014	2013
Förvaltningsförläggningarnas verkliga värde	25 108	23 972
Pensionsförpliktelser	25 615	25 234
Pensionsnetto²	-507	-1 262

Pensionsförpliktelser har beräknats enligt Finansinspektionens föreskrifter, vilket innebär att skuld i Sverige är beräknad enligt Trygghetslagen och motsvarande utländska förpliktelser har beräknats utifrån lokal reglering. Förvaltningsförläggningarna innehas av Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse, Pensionskassan SHB, Försäkringsförening och liknande juridiska personer avseende utfästelser i bankens filialer i UK, Norge och Tyskland. Under året har Svenska Handelsbanken AB, för ett delbestånd, bytt trygghetsform från Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse till Pensionskassan SHB, Försäkringsförening. Detta har medfört att den pensionskostnad som byggs av Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse har minskat med 1 464 mkr. Då varken Pensionskassans tillgångar eller försäkringsföretagets avstämning finns fördelad på arbetsgivare som har försäkring hos Pensionskassan ingår inte dessa förvaltningsförläggningar, och ej heller den försäkringsföretagets avstämning, i tabellen ovan. I Pensionskassan SHB, Försäkringsförening uppgår pensionsförpliktelserna till 6 140 mkr (5 557) och marknadsvärdet av tillgångarna till 10 089 mkr (10 141). Överskottet i Pensionskassan SHB, Försäkringsförening uppgår till 3 940 mkr (5 584).

¹ Med hänseende till att överskottet i Pensionskassan SHB, Försäkringsförening kan utnyttjas för att täcka moderbolagets pensionsförpliktelser redovisas inte ett underskott som en skuld i balansräkningen för 2014.

Pensionskostnader mkr	2014	2013
Utbetalda pensioner	-471	-464
Pensionspremier	-527	-426
Sociala avgifter	-11	16
Ersättning från pensionsstiftelse	540	555
Avstämning till pensionsstiftelse	-131	-27
Redovisad pensionskostnad i resultaträkningen	-800	-346

Nästa års förväntade utbetalning avseende förmånsbestämda pensionsplaner uppgår till 650 mkr. Kostnaderna för pensionspremier innehåller premier för BTPK (avgiftsbestämd pension) med 96 mkr (80).

Förvaltningsförläggningar mkr	2014	2013
Ingående balans	23 972	21 835
Avkastning	1 545	2 665
Avstämning till pensionsstiftelse	131	27
Ersättning från pensionsstiftelse	-540	-555
Utgående balans	25 108	23 972
Procentuell avkastning på förvaltningsförläggningar	6%	12%

Av det verkliga värdet på förvaltningsförläggningarna i Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse avser 11 970 mkr (11 042) avstämningar som gjorts under åren 1989–2004 till en särskild kompletterande pension (SKP). I förpliktelserna ingår utfästelse avseende SKP med samma belopp som förvaltningsförläggningarnas verkliga värde.

En del av denna utfästelse, 9 518 mkr (8 655), är villkorad.

Pensionsförpliktelser mkr	2014	2013
Ingående balans	25 234	21 231
Teknisk avgift	452	422
Ränta	382	416
Värdestärkning	269	18
Förädda pensionsnetto	208	109
Utbetalda pensioner	-471	-464
Ändrade antaganden ²	0	1 819
Värdeförändring villkorad förpliktelser	863	1 343
Tillkommande poster ålderspension	0	480
Beständsoverlåtelse	-1 404	-
Annan förändring av kapitalvärdet	172	-140
Utgående balans	25 615	25 234

² Avser effekt av ändrad diskonteringsränta enligt Finansinspektionens anvisningar.

Fördelning av förvaltningsförläggningar mkr	2014	2013
Aktier och andelar	20 880	19 565
Räntebärande värdepapper	4 357	3 489
Övriga förvaltningsförläggningar ¹	-129	918
Summa	25 108	23 972

I Sverige utgår ålderspension från och med 65 års ålder enligt pensionsavtal mellan BAO och Finansförbundet/BAO-förbunden med 10% av årlönen, upp till 7,5 inkomstbasbelopp. På löneetal i inkomstbasbeloppintervall 7,5–20 utgår ålderspension med 65% och i inkomstbasbeloppintervall 20–30 med 32,5% av årlönen. På löneetal överstigande 30 inkomstbasbelopp utgår ingen ålderspension. Värdet av pensionsförpliktelserna beräknas årligen, per balansdagen, på försäkringsstatistiska grunder.

I Norge utgår ålderspension från och med 67 års ålder. Pensionens storlek beror bland annat på tjänstgöringstid och skatt på upp till 12 grundbelopp. Inklusiva lagstadgad pension förväntas ålderspensionen bli ca 70% av skatten upp till 12 grundbelopp.

I Storbritannien utgår förmånsbestämd pension för personal som anställdes innan den 1 januari 2006. För personal som anställdes därefter utgår premiebestämd pension. Normal pensionsålder är 65 år. Maximal ålderspension är ca 67% av pensionsmedförande lön, vilken uppnås efter 40 års tjänstetid. Pensionsmedförande lön begränsas av ett maxbelopp som för närvarande uppgår till 137 400 GBP.

I Sverige är de mest väsentliga beräkningsantagandena dödligheten och diskonteringsräntan. Dödlighetsantagandet och diskonteringsräntan följer antagandena i Trygghetslagens grunder. Diskonteringsräntan är 2% (2%) efter skatt och antaganden om omkostnader.

Pensionsförpliktelserna i de utländska filialerna är beräknade enligt lokala redovisningskrav.

¹ I övriga förvaltningsförläggningar ingår en skuld avseende ännu ej utbetalda gottgörelser.

NOTER | MODERBOLAGET

M39 Tillgångar och skulder i valuta

2014 mkr	SEK	EUR	NOK	DKK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
Tillgångar								
Kassa och tillgodohavande hos centralbanker	223	81 932	2 342	97	55 782	312 782	1 374	454 532
Utlåning till kreditinstitut	316 920	72 350	60 444	54 914	6 738	54 849	2 374	568 589
Utlåning till allmänheten	246 820	117 776	119 338	46 912	167 068	26 628	12 941	737 483
varav företag	201 700	94 255	86 286	27 907	113 903	26 476	11 694	562 221
varav hushåll	45 120	23 521	33 052	19 005	53 165	152	1 247	175 262
Belåningsbara statsskuldförbindelser m.m.	37 115	6 576	1 080	1	-	28 597	993	74 362
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	50 924	3 976	3 890	-	828	34	-	59 652
Övriga ej valutafördelade poster	241 177							241 177
Summa tillgångar	869 179	282 810	187 064	101 924	239 416	422 890	17 682	2 136 706
Skulder								
Skulder till kreditinstitut	39 071	71 539	12 424	15 187	3 922	56 408	11 548	210 099
In- och upplåning från allmänheten	442 092	120 325	61 907	30 277	106 728	249 914	9 719	1 020 962
varav företag	199 758	105 636	44 602	17 609	87 548	247 707	9 423	706 283
varav hushåll	248 334	14 689	17 305	12 668	19 180	2 207	296	314 679
Emitterade värdepapper	28 620	150 348	2 067	342	77 212	349 888	24 651	633 128
Efterställda skulder	10 308	18 887	-	-	-	117	977	30 289
Övriga ej valutafördelade poster, inkl. eget kapital	241 317							241 317
Summa skulder och eget kapital	761 408	361 099	78 398	45 806	187 862	696 327	46 895	2 136 706
Valutafördelade övriga tillgångar och skulder (netto)		78 545	-110 649	-56 091	-42 460	233 160	29 291	
Nettoposition i valuta		56	47	27	94	-277	78	25

2013 mkr	SEK	EUR	NOK	DKK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
Tillgångar								
Kassa och tillgodohavande hos centralbanker	342	48 191	4 263	85	46 585	235 126	202	334 794
Utlåning till kreditinstitut	256 800	61 117	55 136	41 214	1 510	55 944	3 819	475 440
Utlåning till allmänheten	246 168	112 723	120 198	42 815	128 823	24 349	10 296	685 372
varav företag	203 374	96 502	88 683	24 522	90 189	24 294	9 150	536 714
varav hushåll	42 794	16 221	31 515	18 293	38 634	55	1 146	148 658
Belåningsbara statsskuldförbindelser m.m.	23 165	6 727	1 137	1	0	21 202	1 553	53 785
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	49 739	5 651	2 667	75	-	734	77	58 943
Övriga ej valutafördelade poster	198 527							198 527
Summa tillgångar	774 741	234 409	183 401	84 190	176 918	337 286	15 947	1 896 861
Skulder								
Skulder till kreditinstitut	32 664	25 759	7 982	14 260	12 490	121 745	11 721	226 631
In- och upplåning från allmänheten	421 806	81 255	52 376	32 395	68 467	152 487	5 441	814 227
varav företag	190 365	68 902	36 267	21 093	59 592	151 289	5 286	539 404
varav hushåll	231 441	12 353	16 109	11 302	8 875	1 198	155	280 733
Emitterade värdepapper	31 597	154 408	5 190	226	74 753	254 048	12 385	532 607
Efterställda skulder	10 472	4 427	-	-	-	143	923	15 965
Övriga ej valutafördelade poster, inkl. eget kapital	217 431							217 431
Summa skulder och eget kapital	713 970	285 859	65 548	46 881	186 710	828 423	30 470	1 896 861
Valutafördelade övriga tillgångar och skulder (netto)		31 421	-117 857	-37 267	-21 253	191 178	14 609	
Nettoposition i valuta		-29	-4	42	-45	10	86	60

M40 Upplysningar om närstående

Fordringar på och skulder till närstående	Dotterföretag		Intresseföretag		Övriga närstående	
	2014	2013	2014	2013	2014	2013
mikr						
Utlåning till kreditinstitut	447 382	377 619	-	-	-	-
Utlåning till allmänheten	1 207	1 207	1 186	729	-	-
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	-	-	-	-	-	-
Derivat	3 931	8 338	-	-	-	-
Övriga tillgångar	9 433	8 725	85	85	565	587
Summa	461 953	395 889	1 271	814	565	587
Skulder till kreditinstitut	15 418	61 701	-	-	-	-
In- och upplåning från allmänheten	9 072	7 214	178	186	281	334
Emitterade värdepapper	-	-	-	-	-	-
Derivat	24 430	15 250	-	-	-	0
Efterställda skulder	-	-	-	-	701	698
Övriga skulder	522	325	-	-	56	56
Summa	49 442	84 490	178	186	1 038	1 088
Ansvarförbindelser	53 120	55 907	-	-	-	-
Derivat, nominella värden	420 219	475 041	-	-	-	-

Närstående – intäkter och kostnader	Dotterföretag		Intresseföretag		Övriga närstående	
	2014	2013	2014	2013	2014	2013
mikr						
Räntesintäkter	5 144	5 406	25	8	0	0
Räntekostnader	-404	-591	-2	-2	-74	-75
Provisionsintäkter	25	25	5	2	-	-
Provisionskostnader	-	0	-231	-93	-37	-29
Nettoreultat av finansiella poster värderade till verkligt värde	-	-	0	0	-	-
Övriga intäkter	1 973	1 835	0	-	13	12
Övriga kostnader	-405	-438	-2	-2	-55	-45
Summa	6 333	6 237	-208	-87	-153	-137

Specifikation över dotterbolagen och Intresseföretagen finns i not M16. Intresseföretagens verksamhet består av ett utbud av olika typer av tjänster i anknytning till de finansiella marknaderna. I gruppen övriga närstående ingår följande företag: Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse, Svenska Handelsbankens Personalfond och Pensionskassan SHB, Försäkringsförening. Företagen anlitar Svenska Handelsbanken AB för sedvanliga bank- och redovisningstjänster. Upplysningar om aktieägarintäkter till koncern- och Intresseföretag lämnas i not M16.

Svenska Handelsbanken AB, Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse och Pensionskassan SHB, Försäkringsförening har sinsemellan den 25 mars 2014 gjort omräkningar av sina respektive aktieinnehav, där banken sålt ett flertal aktieinnehav och samtidigt köpt aktier i Industrivärden och SCA. Efter genomförda transaktioner kontrollerar Svenska Handelsbanken AB 10,46% av rösterna i Industrivärden (7,5% av kapitalet) och 10,15% av rösterna i SCA (2,1% av kapitalet). Transaktionerna genererade en realisationsvinst om 306 miljoner kronor för banken. Alla affärstransaktioner med närstående bolag sker på marknadsmässiga villkor.

Under året har Svenska Handelsbanken AB, för sitt delbestånd, bytt lyggsandform från Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse till Pensionskassan SHB, Försäkringsförening. Detta beskrivs närmare i not M58.

Information om krediter till ledande befattningshavare samt om ledande befattningshavares villkor och ersättningar i övrigt framgår av not K8.

NOTER | MODERBOLAGET

M41 Kapitaltäckning

Kapitalbas under övergångsperioden	Belopp som omfattas av bestämmelser om behandling som tillämpades före förordningen (EU) nr 575/2013 eller förskrivet restvärde enligt förordningen (EU) nr 575/2013		2013 enligt Basel II
mlr	2014		
Kärlprimärkapital: Instrument och reserver			
Kapitalinstrument och tillhörande överkursfonder	5 741		5 799
varav skattekapital	5 599		5 579
varav konvertiblar	148	148	220
E) utdelade vinstmedel	75 629		69 702
Akkumulerat annat totalresultat (och andra reserver, för att inkludera realiserade vinster och förluster enligt tillämpliga redovisningsstandarder)	7 096		-771
Reserveringar för allmänna risker i bankverksamhet			
Belopp för kvalificerade poster som avses i artikel 484.3 och tillhörande överkursfonder som omfattas av utfasning från kärnprimärkapital			
Kapitaltillskott från den offentliga sektorn för vilka sådana regler får tillämpas till den 1 januari 2018			
Minoritetsintressen (tilläsat belopp i konsoliderat kärnprimärkapital)			
Delårsresultat netto efter avdrag för förutsäbara kostnader och utdelningar som har varierats av personer som har en oberörande ställning	2 576		5 543
Kärnprimärkapital före lagstiftningsjusteringar	91 043		80 273
Kärlprimärkapital: lagstiftningsjusteringar			
Ytterligare värdejusteringar (negativt belopp)	-1		-1
Immateriella tillgångar (netto efter minskning för tillhörande skatteskulder) (negativt belopp)	-1 106		-977
[ej relevant i EU-förordningen]			
Uppskjutna skattefordringar som är beroende av framtida församhet, utom sådana som uppstår till följd av temporära skillnader (netto efter minskning för tillhörande skatteskuld när villkoren i artikel 38.3 är uppfyllda) (negativt belopp)			-96
Reserver i verkligt värde relaterade till vinster eller förluster på kasafföresäkringar	-1 197		1 344
Negativa belopp till följd av beräkningen av förväntade förlustbelopp	-1 693		-805
Eventuell ökning i eget kapital till följd av värdepappersansade tillgångar (negativt belopp)			
Vinster eller förluster på skulder som värderas till verkligt värde och som beror på ändringar av institutets egen kreditstatus			
Förmånsbestämda pensionsplaner (negativt belopp)			
Ett instituts direkta och indirekta innehav av egna kärnprimärkapitalinstrument (negativt belopp)	-466		0
Innehav av kärnprimärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn med vilka institutet har ett korrelat ägande som är avsett att på konstladd väg öka institutets kapitalbas (negativt belopp)			
Institutets direkta och indirekta innehav av kärnprimärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet inte har någon väsentlig investering (belopp över tröskelvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)			
Institutets direkta, indirekta och synkretiska innehav av kärnprimärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (belopp över tröskelvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)			
[ej relevant i EU-förordningen]			
Exponeringsbelopp för följande poster som är kvalificerade för en riskvid på 1-250% när institutet väljer alternativet med avdrag			-245
varav kvalificerade innehav utanför den finansiella sektorn (negativt belopp)			
varav värdepappersansade positioner (negativt belopp)			
varav transaktioner utan samtidig motprestation (negativt belopp)			
Uppskjutna skattefordringar som uppstår till följd av temporära skillnader (belopp över tröskelvärdet på 10%, netto efter minskning av tillhörande skatteskuld när villkoren i artikel 38.3 är uppfyllda) (negativt belopp)			
Belopp som överskrider tröskelvärdet på 15% (negativt belopp)			
varav institutets direkta och indirekta innehav av kärnprimärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn när institutet har en väsentlig investering i de enheterna			
[ej relevant i EU-förordningen]			
varav uppskjutna skattefordringar som uppstår till följd av temporära skillnader			
Förluster för innevarande ränteskapssår (negativt belopp)			
Förutsäbara skatter som är relaterade till kärnprimärkapitalposter (negativt belopp)			
Lagstiftningsjusteringar som tillämpas på kärnprimärkapital med avseende på belopp som omfattas av behandling som förskrivs i lagstiftningen före kapitaltäckningsförordningen			
Lagstiftningsjusteringar som avser realiserade vinster och förluster i enlighet med artiklarna 467 och 468	-1 437		-1 080
varav tiller för realiserad vinst, aktier klassificerade som tillgängliga för försäljning	-1 437		-7 195
Belopp som ska dras av från eller läggas till kärnprimärkapital med avseende på ytterligare tiller och avdrag som krävs enligt bestämmelserna före kapitaltäckningsförordningen			-32
Avdrag från kvalificerade primärkapitaltillskott som överskrider institutets primärkapitaltillskott (negativt belopp)			
Sammanlagda lagstiftningsjusteringar av kärnprimärkapital	-6 900		-1 835
Kärnprimärkapital	85 143		78 438

Uppställning i enlighet med kravet i Genomförandeförordningen (EU) nr 1423/2013.

NOTER | MODERBOLAGET

Kapitalbas under övergångsperioden	Belopp som omfattas av bestämmelser om behandling som tillämpades före förordningen (EU) nr 575/2013 eller förekrivet närtrände enligt förordningen (EU) nr 575/2013		2013 enligt Basel II
milj	2014		
Primärkapitaltillskott: Instrument			
Kapitalinstrument och tillhörande överkursfonder	8 043	8 043	10 602
varav klassificerade som eget kapital enligt tillämpliga redovisningsstandarder			
varav klassificerade som skulder enligt tillämpliga redovisningsstandarder	8 043	8 043	10 602
Belopp för kvalificerade poster som avses i artikel 484.4 och tillhörande överkursfonder som omfattas av utfästning från primärkapitaltillskottet			
Kapitaltillskott från den offentliga sektorn för vilka sådana regler får tillämpas till den 1 januari 2018			
Kvalificerade primärkapital som ingår i konsoliderat primärkapitaltillskott (inbegripet minoritetsintressen som inte tas med i rad 5) som utfärdats av dotterföretag och innehas av tredje part			
varav instrument som utfärdats av dotterföretag och som omfattas av utfästning			
Primärkapitaltillskott före lagstiftningsjusteringar	8 043		10 602
Primärkapitaltillskott: lagstiftningsjusteringar			
Ett instituts direkta och indirekta innehav av egna primärkapitaltillskottsinstrument (negativt belopp)			
Innehav av primärkapitaltillskottsinstrument i enheter i den finansiella sektorn med vilka institutet har ett korsväst ägande som är avsett att på konstlad väg öka institutets kapitalbas (negativt belopp)			
Direkta och indirekta innehav av primärkapitaltillskottsinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet inte har någon väsentlig investering (belopp över bröskvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)			
Institutets direkta och indirekta innehav av primärkapitaltillskottsinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (belopp över bröskvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)			
Lagstiftningsjusteringar som tillämpas på primärkapitaltillskott med avseende på belopp som omfattas av behandling som försöks i lagstiftningen före kapitaltäckningsförordningen och övergångsbehandling som omfattas av utfästning i enlighet med förordning (EU) nr 575/2013 (dvs resvärde enligt kapitaltäckningsförordningen)			
Resvärden som dras av från primärkapitaltillskott med avseende på avdrag från kärnprimärkapital under övergångsperioden i enlighet med artikel 472 i förordning (EU) nr 575/2013			
varav poster ska redovisas ned för ned, t ex väsentliga delårsförluster netto, immateriella förluster, underskott i avsättningar i förhållande till förväntade förluster osv			
Resvärden som dras av från primärkapitaltillskott med avseende på avdrag från supplementärkapital under övergångsperioden i enlighet med artikel 475 i förordning (EU) nr 575/2013			
varav poster ska redovisas ned för ned, t ex korsväst ägande av supplementärkapitalinstrument, direkta innehav av icke-väsentliga investeringar i kapitallet hos andra enheter i den finansiella sektorn osv			
Belopp som ska dras av från eller läggas till primärkapitaltillskott med avseende på ytterligare tillägg och avdrag som krävs enligt bestämmelserna före kapitaltäckningsförordningen			
Avdrag från kvalificerade supplementärkapital som överskrider institutets supplementärkapital (negativt belopp)			
Summa lagstiftningsjusteringar av primärkapitaltillskott	0		0
Primärkapitaltillskott	8 043		10 602
Primärkapital (primärkapital = kärnprimärkapital + primärkapitaltillskott)	98 188		98 040
Supplementärkapital: Instrument och avsättningar			
Kapitalinstrument och tillhörande överkursfonder	17 860	607	3 881
Belopp för kvalificerade poster som avses i artikel 484.5 och tillhörande överkursfonder som omfattas av utfästning från supplementärkapitalet			
Kapitaltillskott från den offentliga sektorn för vilka sådana regler får tillämpas till den 1 januari 2018			
Kvalificerade kapitalbasinstrument som ingår i konsoliderat supplementärkapital (inbegripet minoritetsintressen och primärkapitaltillskottsinstrument som inte tas med i raderna 5 eller 34) som utfärdats av dotterföretag och innehas av tredje part			
varav instrument som utfärdats av dotterföretag och som omfattas av utfästning			
Kreditriskjusteringar			
Supplementärkapital före lagstiftningsjusteringar	17 860		3 881

Uppställning i enlighet med kraven i Genomförandeförordningen (EU) nr 1423/2013.

NOTER | MODERBOLAGET

M41 Forts

Kapitalbas under övergångsperioden	Belopp som omfattas av bestämmelser om behandling som tillämpades före förordningen (EU) nr 575/2013 eller förskrivet restvärde enligt förordningen (EU) nr 575/2013		2013 enligt Basel II
mlr	2014		
Supplementärkapital lagstiftningsjusteringar			
Ett instituts direkta och indirekta innehav av egna supplementärkapitalinstrument och efterställda lån (negativt belopp)			
Innehav av supplementärkapitalinstrument och efterställda lån i enheter i den finansiella sektorn med vilka institutet har ett konvikt ägande som är avsett att på konstad väg öka institutets kapitalbas (negativt belopp)			
Direkta och indirekta innehav av supplementärkapitalinstrument och efterställda lån i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet inte har någon väsentlig investering (belopp över förskrivet värde på 10%, netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)			
varav nya innehav som inte omfattas av övergångsarrangemang			
varav innehav som fanns före den 1 januari 2013 och som omfattas av övergångsarrangemang			
Institutets direkta och indirekta innehav av supplementärkapitalinstrument och efterställda lån i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)	-1 129		-32
Lagstiftningsjusteringar som tillämpas på supplementärkapital med avseende på belopp som omfattas av behandling som föreskrivs i lagstiftningen före kapitaltäckningsförordningen och övergångsbehandling som omfattas av utfasning i enlighet med förordning (EU) nr 575/2013 (dvs restvärde enligt kapitaltäckningsförordningen)			145
Restvärden som dras av från supplementärkapital med avseende på avdrag från kärnprimärkapital under övergångsperioden i enlighet med artikel 472 i förordning (EU) nr 575/2013			
varav poster skräddarsys rad för rad, t ex väsentliga delårsförluster netto, immateriella tillgångar, underskott i avsättningar i förhållande till förväntade förluster osv			
Restvärden som dras av från supplementärkapital med avseende på avdrag från primärkapitalbalkott under övergångsperioden i enlighet med artikel 475 i förordning (EU) nr 575/2013			
varav poster skräddarsys rad för rad, t ex konvikt ägande av primärkapitalbalkottinstrument, direkta innehav av icke-väsentliga investeringar i kapital hos andra enheter i den finansiella sektorn osv			
Belopp som ska dras av från eller läggas till supplementärkapital med avseende på ytterligare filter och avdrag som krävs enligt de bestämmelser som tillämpades före kapitaltäckningsförordningen			
Summa lagstiftningsjusteringar av supplementärkapital	-1 129		113
Supplementärkapital	16 731		3 004
Totalt kapital (totalt kapital = primärkapital + supplementärkapital)	100 918		98 094
Risvägda tillgångar med avseende på belopp som omfattas av behandling som föreskrivs i de bestämmelser som tillämpades före kapitaltäckningsförordningen och övergångsbehandling som omfattas av utfasning i enlighet med förordning (EU) nr 575/2013 (dvs restvärde enligt kapitaltäckningsförordningen)	460 401		435 189
varav kapitalbalkott till försäkringsbolag inom koncernen som inte dragits av från kärnprimärkapital (restvärden enligt förordning (EU) nr 575/2013)	15 633		
varav uppskjutna skattefordringar som inte dragits av från kärnprimärkapital (restvärden enligt förordning (EU) nr 575/2013)	262		
Poster som inte dragits av från supplementärkapitalinstrument (restvärden enligt förordning (EU) nr 575/2013) (poster ska redovisas rad för rad, t ex indirekta innehav av egna supplementärkapitalinstrument, innehav av icke-väsentliga investeringar i kapital hos andra enheter i den finansiella sektorn, indirekta innehav av väsentliga investeringar i kapital hos andra enheter i den finansiella sektorn osv)			
Totala risvägda tillgångar	460 401		435 189
Kapitalrelationer och buffertar			
Kärnprimärkapital (som procentandel av det risvägda exponeringsbeloppet)	18,5		18,0
Primärkapital (som procentandel av det risvägda exponeringsbeloppet)	20,2		20,5
Totalt kapital (som procentandel av det risvägda exponeringsbeloppet)	23,0		21,4
Institutspecifika buffertkrav (krav på kärnprimärkapital i enlighet med artikel 92.1 a plus krav på kapitalkonsolideringsbuffert och kontracyklisk kapitalbuffert, plus systemriskbuffert, plus buffert för systemviktiga institut (buffert för globala systemviktiga institut eller andra systemviktiga institut) uttryckt som en procentandel av det risvägda exponeringsbeloppet)	2,5		
varav krav på kapitalkonsolideringsbuffert	2,5		
varav krav på kontracyklisk kapitalbuffert	0,0		
varav krav på systemriskbuffert	0,0		
varav buffert för globalt systemviktigt institut eller för annat systemviktigt institut	0,0		
Kärnprimärkapital tillgängligt att användas som buffert (som procentandel av det risvägda exponeringsbeloppet)	14,0		
[ej relevant i EU-förordningen]			
[ej relevant i EU-förordningen]			
[ej relevant i EU-förordningen]			

Uppställning i enlighet med kraven i Genomförandeförordningen (EU) nr 1423/2013.

NOTER | MODERBOLAGET

Kapitalbas under övergångsperioden	Belopp som omfattas av bestämmelser om behandling som tillämpades före förordningen (EU) nr 575/2013 eller föreskrivet närvärde enligt förordningen (EU) nr 575/2013		2013 enligt Basel II
mlr	2014		
Kapitalrelationer och buffertar			
Direkta och indirekta innehav av kapital i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet inte har någon väsentlig investering (belopp under tröskelvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner)			
Institutets direkta och indirekta innehav av kärnprimärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (belopp under tröskelvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner)	72		
(ej relevant i EU-förordningen)			
Uppskjutna skattefordringar som uppstår till följd av temporära skillnader (belopp under tröskelvärdet på 10%, netto efter minskning av tillhörande skattefordringar när villkoren i artikel 38.3 är uppfyllda) (negativt belopp)	-105		
Tak som ska tillämpas på inkludering av avräkningar i supplementärkapital			
Kreditriskjusteringar som inkluderas i supplementärkapitalet med avseende på exponeringar som omfattas av schablonmetoden (före tillämpningen av taket)			
Tak för inkludering av kreditriskjusteringar i supplementärkapitalet enligt schablonmetoden			
Kreditriskjusteringar som inkluderas i supplementärkapitalet med avseende på exponeringar som omfattas av intermetoden (före tillämpningen av taket)			
Tak för inkludering av kreditriskjusteringar i supplementärkapitalet enligt intermetoden			
Kapitalinstrument som omfattas av utfästningsarrangemang (för endast tillämpas mellan den 1 januari 2013 och den 1 januari 2022)			
Nuvarande tak för kärnprimärkapitalinstrument som omfattas av utfästningsarrangemang	232		
Belopp som utsluts från kärnprimärkapital på grund av tak (överskjutande belopp över taket efter inlösen och förtärladag)	0		
Nuvarande tak för primärkapitaltillskottsinstrument som omfattas av utfästningsarrangemang	9 780		
Belopp som utsluts från primärkapitaltillskott på grund av tak (överskjutande belopp över taket efter inlösen och förtärladag)	0		
Nuvarande tak för supplementärkapitalinstrument som omfattas av utfästningsarrangemang	5 926		
Belopp som utsluts från supplementärkapital på grund av tak (överskjutande belopp över taket efter inlösen och förtärladag)	0		

Vad gäller redovisning av de viktigaste delarna i kapitalinstrument, se not K49 samt publikationen Risk och kapitalhantering – Information enligt paragraf 3. Uppställning i enlighet med kraven i Genomförandeförordningen (EU) nr 1423/2013.

Kapitalkrav	2014	2013
mlr		
Kreditrisk enligt schablonmetoden	10 221	3 836
Kreditrisk enligt intermetoden	21 941	27 061
Marknadsrisk	939	770
Kreditvärderingsjusteringar (CVA)	534	-
Operativ risk	3 197	3 128
Summa kapitalkrav	36 832	34 815
Justering enligt Basel I-golv	12 317	8 993
Kapitalkrav, Basel I-golv	49 149	43 808
Total kapitalbas, Basel I-golv	111 610	94 646

Kapitalkrav marknadsrisk	2014	2013
mlr		
Positionrisk i handelslagret	927	756
Ränterisk	908	745
varav generell risk	565	493
varav specifik risk	338	252
varav positioner i värdepappersanvägsinstrument	0	1
varav icke-delta risk ¹	4	-
Aldrisk	19	11
varav generell risk	3	3
varav specifik risk	7	6
varav fonder	1	2
varav icke-delta risk ¹	8	-
Valutarisk	-	-
varav icke-delta risk ¹	-	-
Rävarisk	8	14
varav icke-delta risk ¹	0	-
Anväcklingsrisk	4	0
Totalt kapitalkrav för marknadsrisk	939	770

¹ Icke-delta risker inkluderades i kapitalkravet i samband med att CRR trädde kraft den 1 januari 2014.

NOTER | MODERBOLAGET

M41 Forts

Kapitaltäckningsanalys	2014	2013
Känpåmärkekapitalrelation, CRR, %	18,5	18,0
Primärkapitalrelation, CRR, %	30,2	30,5
Total kapitalrelation, CRR, %	23,9	21,4
Risik exponeringsbelopp ¹ , CRR, mkr	480 401	435 189
Kapitalbas i förhållande till kapitalkrav enligt Basel I-goiv, %	227	212
Institutspecifika buffertkrav, %	2,5	-
varav krav på kapitalkonserveringsbuffert, %	2,5	-
Känpåmärkekapital tillgängligt att användas som buffert, %	14,0	-

¹ Beräknas riskvägda tillgångar i det regelverk som var gällande per 31 december 2013 (Basel II).

Kreditrisk enligt internmetoden	Exponeringsbelopp		Genomsnittlig riskvikt i %		Kapitalkrav	
mkr	2014	2013	2014	2013	2014	2013
Företag	687 188	642 301	31,1	36,3	16 579	18 685
varav repor och värdepappersstäm	14 060	8 376	0,4	0,5	5	3
varav övrig utlåning, internmetoden utan egna skattningar av LGD och RF	139 438	139 962	32,8	35,9	3 664	4 015
varav övrig utlåning, internmetoden med egna skattningar av LGD och RF	513 684	494 063	31,4	37	12 911	14 637
varav Store-företag	148 769	153 531	43,6	52,5	5 782	6 450
varav medelstora-företag	66 036	66 061	43,1	60,1	2 543	3 172
varav fastighetsbolag	282 575	261 080	19,6	23,1	4 440	4 832
varav bostadsrelaterade bolag	16 304	12 591	11,2	13,1	147	183
Hushåll	140 337	132 014	15,8	15,7	1 770	1 687
varav fastighetskrediter	75 321	61 259	11,6	8,8	628	432
varav övriga	65 016	71 255	20,6	21,7	1 072	1 235
Små företag	20 857	21 831	31,2	30,4	520	582
Institut	134 408	100 400	12,4	11,9	1 334	963
varav repor och värdepappersstäm	51 433	48 963	1,3	0,8	53	31
varav övrig utlåning	82 975	51 627	19,3	22,3	1 281	922
Aktieexponeringar	6 704	61 820	304,2	121,8	1 654	6 043
varav börsnoterade aktier	5 584	-	290	-	1 296	-
varav övriga aktier	1 209	-	370	-	358	-
Motpartrelaterade exponeringar	1 032	978	100	100	82	78
Värdepappersföretag	269	878	8,8	3,1	2	2
varav traditionell värdepappersföretag	269	878	8,8	3,1	2	2
varav syntetisk värdepappersföretag	-	-	-	-	-	-
Totalt internmetoden	970 879	900 621	28,2	35,6	21 941	27 081
varav repor och värdepappersstäm	65 493	57 259	1,1	0,7	57	34
varav övrig utlåning, internmetoden utan egna skattningar av LGD och RF	230 508	245 174	36,2	51,3	6 682	10 061
varav övrig utlåning, internmetoden med egna skattningar av LGD och RF	674 878	648 208	28,2	32,8	15 201	16 986

Kapitalkrav kreditrisker schablonmetoden ¹	2014			2013		
mkr	Exponeringsvärde	Genomsnittlig riskvikt %	Kapitalkrav	Exponeringsvärde	Genomsnittlig riskvikt %	Kapitalkrav
Stater och centralbanker	553 001	0,0	4	403 612	0,0	12
Kommuner	29 965	0,1	1	31 115	0,1	2
Multilaterala utvecklingsbanker	762	0,0	0	1 647	0,0	0
Institut	454 716	0,2	76	402 234	0,2	69
Företag	12 355	80,7	798	23 740	100,0	1 898
Hushåll	18 591	74,8	1 112	10 277	75,0	617
Säkerhet i fastighet	58 011	36,3	1 686	35 349	37,9	1 072
Oreglerade poster	136	130,3	14	147	137,2	16
Aktier	66 571	114,1	6 076	-	-	-
varav börsnoterade aktier	641	100,0	51	-	-	-
varav övriga aktier	65 930	114,2	6 025	-	-	-
Övriga poster	6 348	89,4	454	2 487	75,5	150
Totalt schablonmetoden	1 200 456	10,6	10 221	910 608	8,3	3 896

¹ Uppgifter om kapitalkrav för exponeringsklasser där exponeringar förekommer.

FÖRSLAG TILL VINSTDISPOSITION

Förslag till vinstdisposition samt yttrande från styrelsen

Till årsstämman förfogande står enligt balansräkningen för Handelsbanken vinstmedel på sammanlagt 96 947 miljoner kronor.

Styrelsen föreslår att vinstmedlen disponeras på följande sätt:

Till aktieägarna utdelas per aktie 17,50 kronor varav 12,50 kronor i ordinarie utdelning (16,50 kronor för 2013)	11 124
Till nästa år överförs	85 823
Summa disponerat	96 947

Vid bedömningen om storleken på bolagets föreslagna utdelning, totalt 11 124 miljoner kronor (eller det högre belopp som kan bli följden om fler aktier tillkommer på grund av konverteringar av Handelsbankens utestående konvertibla förlagslån 2008, dock maximalt 11 125 miljoner kronor), har hänsyn tagits till verksamhetens art, omfattning, konsolideringsbehov, risktagande, likviditet och ställning i övrigt såväl i banken som i koncernen.

Styrelsen bedömer att ovanstående vinstdisposition är försiktig och väl anpassad för verksamhetens fortlevnad.

Realiserade värdeförändringar på tillgångar och skulder värderade till verkligt värde har påverkat det egna kapitalet med netto 12 365 miljoner kronor.

Bankens totala kapital enligt konsoliderad situation vid årsskiftet, minskad med föreslagen utdelning baserad på genomförda konverteringar och andra väsentliga förändringar efter årsskiftet, översteg det lagstadgade minimikapitalkravet med 34 555 miljoner kronor, kärnprimärkapitalet översteg minimi- och buffertkravet med 50 045 miljoner kronor och primärkapitalet med 50 882 miljoner kronor. För moderbolaget översteg det totala kapitalet det lagstadgade minimikapitalkravet med 62 461 miljoner kronor, kärnprimärkapitalet översteg minimi- och buffertkravet med 52 914 miljoner kronor och primärkapitalet med 54 051 miljoner kronor.

Härmed försäkras att koncernredovisningen har upprättats i enlighet med de internationella redovisningsstandarder som avses i Europaparlamentets och rådets förordning (EG) nr 1606/2002 av den 19 juli 2002 om tillämpning av internationella redovisningsstandarder, att moderbolagets årsredovisning har upprättats i enlighet med god redovisningssed för aktiemarknadsbolag, att års- och koncernredovisningen ger en rättvisande bild av koncernens och moderbolagets ställning och resultat samt att förvaltningsberättelsen ger en rättvisande översikt över utvecklingen av moderbolagets och koncernens verksamhet, ställning och resultat samt beskriver väsentliga risker och osäkerhetsfaktorer som moderbolaget och de övriga företag som ingår i koncernen står inför.

STOCKHOLM DEN 3 FEBRUARI 2015

Fredrik Lundberg

Anders Nyrén
Styrelseordförande

Sverker Martin-Löf

Jon Fredrik Baksaas

Tommy Bylund

Jan Johansson

Ole Johansson

Bente Rathe

Charlotte Skog

Pär Boman
Verkställande direktör

2【主な資産・負債及び収支の内容】

上記「第6 - 1 - (1) 連結財務書類」及び「第6 - 1 - (2) 個別財務書類」の注記を参照のこと。

3【その他】

(1) 訴訟及び規制手続

該当事項なし。

(2) 後発事象

該当事項なし。

4【IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法並びに日本の会計原則及び会計慣行の主要な相違】

当行グループの連結財務書類は欧州委員会により承認されている国際財務報告基準(以下「IFRS」という。)及び国際財務報告委員会解釈指針委員会による基準の解釈指針に準拠して作成されている。さらに、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法(1995年第1559号)及びスウェーデン金融監督庁が発行した規程及び一般指針であるFFFS2008年第25号、信用機関及び証券会社における年次報告にも従っている。連結財務書類には企業グループの報告を規定するRFR第1号補足会計規則、並びにスウェーデン財務報告審議会による意見書も適用されている。

親会社の財務書類は、スウェーデンの信用機関及び証券会社に係る年次報告法(1995年第1559号)、スウェーデン金融監督庁が発行した規定及び一般指針であるFFFS2008年第25号、信用機関及び証券会社における年次報告、スウェーデン財務報告審議会の勧告RFR第2号「事業体に関する会計処理」及びスウェーデン財務報告審議会による意見書に準拠して作成されている。金融監督庁の推奨に準拠して、親会社は法定IFRSを採用している。これはEUが採用する国際財務報告基準及びこれらの基準の解釈が、国内法及び指令並びに会計と税との間の関連性の枠組みの範囲内で可能な限り採用されていることを意味する。

以下の記述は、当行グループが適用する会計基準のうち重要と考えられるものと日本の会計原則の差異を概説したものである。当行グループは、連結財務書類並びに親会社の個別財務書類及び関連注記に関して、日本の会計原則との間の比較表を作成しておらず、その差異を定量化していない。したがって、以下の記述が日本の会計原則との差異を網羅している保証はない。

(1) 連結

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSにおいて、連結財務書類には、親会社及び親会社が支配する会社(すなわち子会社。特別目的会社を含む。)の財務書類が含まれている。「支配」は、親会社がその会社の財務及び経営に関する方針を左右する力を(直接的又は子会社を通じて間接的に)有する場合に存在し、一般的には議決権の過半数を保有することにより生じる。(IAS第27号)

なお、2014年1月1日にIFRS第10号「連結財務諸表」、IFRS第11号「共同支配の取決め」及びIFRS第12号「他の企業への関与の開示」がEU域内で施行された。これらの規定により、従前のIAS第27号及びSIC解釈

指針第12号の規定が置き換えられ、ある企業が別の企業を支配する時期の判定に複数の評価基準が用いられることになる。

日本の会計原則

日本の会計原則でも、親会社は支配しているすべての会社を連結することが求められている。一定の特別目的会社については、一定の要件を満たす場合に子会社に該当しないものと推定され、連結することが求められない。

親会社及び子会社が連結財務書類を作成するために採用する会計原則は、原則として統一されなければならない。「連結財務書類作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」によれば、在外子会社の所在地国の会計原則に準拠して作成された財務書類は原則として親会社の会計方針(日本の会計原則)に修正する必要があるが、在外子会社の財務書類がIFRS又は米国会計基準に準拠して作成されている場合は、のれんの償却、退職給付会計における数理計算上の差異の会計処理、研究開発費の会計処理、投資不動産の時価評価、及び少数株主持分に帰属する純利益の会計処理等の一定の項目の修正を除き、これを連結決算手続上利用できることと規定されている。

日本基準には、共同支配の取決め及び他の企業への関与の開示に関する規定はない。

(2) 企業結合及びのれん

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、企業結合は取得法で会計処理されている。のれんは当初取得原価で計上され、その後は減損損失累計額を控除後の取得原価で計上される。のれんについては年一回、及び減損の兆候がある場合にはいつでも減損テストが実施される。(IFRS第3号、IAS第36号)

IAS第38号によると、のれん及び耐用年数を確定できない無形固定資産は連結財務書類において償却されない。親会社において、耐用年数を確定出来ないその他の無形固定資産の取得は年次報告法の規定に準拠して償却される。通常、買収により取得したのれんは20年で償却される。

日本の会計原則

日本の会計原則では、企業結合は原則としてパーチェス法により会計処理される。また、のれんは20年以内の期間にわたり定額法その他の合理的方法により規則的に償却され、減損の兆候が認められた場合に減損テストの対象となる。

(3) 非金融資産の減損

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、各事業年度末において資産の減損の兆候について評価される。そのような兆候が存在する場合、当該資産の回収可能価額が見積られ、必要な場合に減損損失が損益に認識される。減損損失は、IAS第36号の要件を満たす場合には損益に仄入れることができるが、仄入れ後に増加する資産額は、減損処理前の価格を超えてはならない。

日本の会計原則

日本の会計原則では、減損の兆候が認められ、かつ割引前を見積り将来キャッシュ・フロー総額(20年以内の合理的な期間に基づく)が帳簿価額を下回ると見積られる場合において、回収可能価額と帳簿価額の差額につき減損損失を計上する。減損損失の仄入は認められない。

(4) ヘッジ会計

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

一定の条件が満たされた場合は、下記の種類のヘッジ関係に係るヘッジ会計が認められている。

- ・ 公正価値ヘッジ(すなわち、特定のリスクに起因し、損益に影響を与える可能性がある、認識済みの資産又は負債の公正価値の変動に対するエクスポージャーのヘッジ) - ヘッジ会計上、ヘッジ手段の損益は損益計算書に計上されている。また、ヘッジされたリスクに起因するヘッジ対象の損益はヘッジ対象の帳簿価額により調整され、これもまた損益計算書に計上されている。
- ・ キャッシュフロー・ヘッジ(すなわち、認識済み資産又は負債に係る特定のリスク又は発生の可能性の高い予定取引に起因し、損益に影響を与える可能性がある、キャッシュ・フローの変動可能性に対するエクスポージャーのヘッジ) - ヘッジ会計上、ヘッジ手段の損益のうち有効なヘッジと判断される部分はその他包括利益に計上され、非有効部分は損益計算書に計上される。
- ・ 在外営業活動体に対する純投資のヘッジ - ヘッジ会計上、ヘッジ手段の損益のうち有効なヘッジと判断される部分はその他包括利益に計上され、非有効部分は損益に計上されている。

IFRSでは、類似の資産、負債、発生可能性の非常に高い予定取引又は在外営業活動体に対する純投資のポートフォリオをヘッジ対象とすることができる。このため、IAS第39号は類似した項目のみを1つのポートフォリオにグループ化することを認めている。次の両方に該当する場合、項目は類似していると考えられる。a)ヘッジされるリスクを共有していること、b)ヘッジされるリスクに起因する個々の項目の公正価値の変動は、ヘッジされるリスクに起因するポートフォリオの公正価値の全体の変動におおむね比例すると見込まれること。

日本の会計原則

日本の会計原則では、デリバティブ金融商品について、会計基準により定められたヘッジ会計の要件を満たす場合には、原則として、「繰延ヘッジ会計」(ヘッジ手段の損益を貸借対照表の「純資産の部」に計上し、ヘッジ対象が損益計上されるのと同じ会計期間に損益に計上する。)が適用されるが、売却可能有価証券については、「時価ヘッジ会計」(ヘッジ手段の損益を発生時に計上するとともに、同一の会計期間にヘッジ対象の損益も計上する。)を適用できる。

日本の会計原則では、共通したリスク要因(金利リスク、為替リスク等)、かつ、リスクに対する反応が同一グループ内の個々の資産又は負債との間でほぼ同様である場合に、ポートフォリオに対するヘッジ指定ができる。

(5) 退職後給付

IFRS

確定給付型制度において年金債務は数理的手法に基づき測定されるが、ここでは予測単位積増方式を用いて、給付が割り引かれている。制度資産は、公正価値で測定されている。当該制度資産が制度負債を超える場合は資産(超過額)として、不足する場合は負債(不足額)として、それぞれ貸借対照表に計上されている。

2013年1月1日にIAS第19号の改訂がEU域内において適用となった。制度資産からの期待収益は、正味確定給付債務(資産)の算定に使用される割引率を適用することで計算される。数理計算上の損益は、その発生年度においてその他包括利益に計上される。

信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

親会社は確定給付制度の会計に関するIAS第19号の規定を適用していない。その代わりに、年金費用は年金債務保護法の規定及びスウェーデン金融監督庁の規定に準拠して親会社の年金数理計算を基に計算される。これは主に割引率の設定方法、親会社の年金債務の計算における将来債務の計算に将来の昇給が考慮

されないこと、年金数理差損益は発生時に全額が認識されること（改訂IAS第19号と類似しているが、旧IAS第19号とは異なる。）に関して差異があることを意味する。認識された正味年金費用は、支払給付金及び年金拠出から年金基金からの支給を控除したものとされる。当期の正味年金費用は、親会社の損益計算書において人件費として報告される。

制度資産の価値が見積もり年金債務を超過したことによる超過額は親会社の財務書類において資産として認識されない。不足額は負債として認識される。

日本の会計原則

日本の会計原則では、確定給付型年金制度について、退職給付債務に未認識過去勤務債務及び未認識数理計算上の差異を加減した額から年金資産の額を控除した額を退職給付に係る負債として貸借対照表に計上する。退職給付に係る費用は、数理計算上の差異も含め、すべて営業費用として損益計算書に計上される。数理計算上の差異は、各期の発生額について平均残存勤務期間以内の一定の年数で按分した額を毎期費用処理することとされており、また、発生時に費用処理する方法も認められている。

なお、未認識数理差異について企業会計基準第26号「退職給付に関する会計基準」及び企業会計基準適用指針第25号「退職給付に関する会計基準の適用指針」が2012年5月17日に公表され、オフバランスとなっていた未認識過去勤務債務及び未認識保険数理差損益が貸借対照表の資本の部に認識されることとなる。ただし、数理差損益の償却は、従来の会計方針に従って継続的に行われる。この取り扱いは、2013年4月1日以降開始する事業年度の年度末に係る財務書類から適用されるが、2013年4月1日以後開始する事業年度からの早期適用が認められている。制度資産からの期待収益は、期首の年金資産の額に長期期待運用収益率を乗じて計算する。

(6) 金融資産の認識の中止

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

金融資産からのキャッシュ・フローに対する契約上の権利が消滅し、又は金融資産が譲渡され、かつ、その譲渡が認識の中止の要件を満たす場合、金融資産の認識は中止される。

譲渡においては、報告企業は、資産のキャッシュ・フローを受取る契約上の権利を移転すること、又は資産のキャッシュ・フローの権利を留保するが、そのキャッシュ・フローを第三者に支払う契約上の義務を引受けることのいずれかを要求される。譲渡に際して、会社は、譲渡した資産の所有に係るリスクと経済価値がどの程度留保されているかを評価する。実質的にすべてのリスクと経済価値が留保されている場合は、その資産は引続き貸借対照表（財政状態計算書）で認識される。実質的にすべてのリスクと経済価値が移転された場合は、当該資産の認識は中止される。

実質的にすべてのリスクと経済価値が留保も移転もされない場合は、会社はその資産の支配を引続き留保しているかどうかについて評価をする。支配を留保していない場合は、当該資産の認識は中止される。一方、会社が支配を留保している場合、継続関与の程度に応じて、引続きその資産を認識する。

日本の会計原則

日本の会計原則では、「金融商品に係る会計基準」により、金融資産は金融資産の契約上の権利を行使したとき、権利を喪失したとき、又は権利に対する支配が他に移転したときに認識が中止される。金融資産の契約上の権利に対する支配が他に移転するのは、(a)譲渡された金融資産に対する譲渡人の契約上の権利が譲渡人及びその債権者から法的に隔離され、(b)譲受人が譲渡された金融資産の契約上の権利を直接又は間接に享受でき、(c)譲渡人が譲渡した金融資産を当該金融資産の満期前に買戻す又は償還する権利及び義務を有していない場合である。

(7) 公正価値オプション

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

一定の場合に、金融資産又は金融負債を最初の認識時に「損益計算書を通じて公正価値で測定する」項目に分類することを選択できるが、当該オプションを事後に取消すことはできない。

日本の会計原則

日本の会計原則では、金融商品の公正価値オプションは認められていない。

(8) 非継続事業及び売却目的で保有する非流動資産

IFRS

売却目的に分類された非流動資産又は処分予定の資産及び負債は、貸借対照表（財政状態計算書）上、他の資産及び負債と区分して表示しなければならない。これら資産及び負債は相殺されず、1つの区分として表示される。また、売却目的保有として分類した非流動資産（又は処分予定の資産）に関連してその他包括利益で認識された収益又は費用の累計額を区分して表示しなければならない。（IFRS第5号）

日本の会計原則

資産又は負債を売却目的保有あるいは処分予定の資産及び負債へ分類する基準、並びに非継続事業の区分表示に関する基準はない。

(9) 保険契約

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRS第4号「保険契約」の定義を満たす保険契約及び裁量権のある有配当性のある金融商品に対してIFRS第4号が適用される。IFRS第4号における「保険契約」とは、「一方の当事者（保険者）が、他方の当事者（保険契約者）から、特定の不確実な将来事象（保険事故）が保険契約者に不利益を与えた場合に保険契約者に補償を行うことを同意することにより、重要な保険リスクを引き受ける契約」と定義されている。

日本の会計原則

日本においては、IFRS第4号のような「保険契約」の定義はないが、保険業者が「保険契約」として当局の許認可を受けた契約は「保険契約」とされている。保険契約には保険業法による会計処理が適用される。

(10) 保険契約における預り金要素の区分（アンバンドリング）

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

保険契約の中には保険要素と預り金要素の両方を有するものがある。場合によっては、保険者は、それらの構成要素をアンバンドリングすることを要求又は許容される。

(a) 次の要件をいずれも満たす場合には、預り金要素のアンバンドリングが要求される。

- () 保険者が当該預り金要素（すべての組込解約オプションを含む）を分離して（すなわち、保険要素を考慮することなく）測定することが可能である。
- () 当該保険者の会計方針が、預り金要素から生じるすべての義務及び権利を認識することを特に要求していない。

(b) 保険者が預り金要素を(a)()に記述のように分離して測定することが可能であるが、会計方針が預り金要素から生じるすべての義務及び権利を認識することを求めている場合には、権利及び義務の測定に使用される基礎に関係なく、アンバンドリングは許容されるが要求はされない。

(c) 保険者が預り金要素を(a)()のように分離して測定することができない場合には、アンバンドリングは禁止される。

日本の会計原則

日本の会計原則では、保険契約における預り金要素のアンバンドリングを扱った基準はない。

(11) グループ利益分配

信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

スウェーデンにおいては、連結税務申告は認められていない。

子会社から受領したグループ利益分配は、すべて親会社の損益計算書において受取配当金として報告される。このグループ利益分配は、親会社の貸借対照表において子会社持分の価値の増加として報告される。

日本の会計原則

日本の会計原則では、税金費用の最適化目的で行うグループ利益分配についての基準はない。

第7【外国為替相場の推移】

1【最近5年間の事業年度別為替相場の推移】

(1スウェーデン・クローネ当たり、単位：円)

事業年度	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
決算月日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日
最高	13.18	13.68	13.33	16.19	16.20
最低	11.26	11.04	10.74	13.28	14.72
平均	12.18	12.31	11.79	15.00	15.43
期末	11.98	11.28	13.33	16.19	15.41

出典：株式会社三菱東京UFJ銀行「1990年以降の外国為替相場一覧表」(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

2【最近6月間の月別最高・最低為替相場】

(1スウェーデン・クローネ当たり、単位：円)

月別	2014年12月	2015年1月	2015年2月	2015年3月	2015年4月	2015年5月
最高	16.11	15.15	14.37	14.45	14.28	14.62
最低	15.34	14.11	14.05	13.86	13.62	14.35
平均	15.67	14.57	14.19	14.12	13.82	14.49

出典：株式会社三菱東京UFJ銀行「1990年以降の外国為替相場一覧表」(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

3【最近日の為替相場】

1スウェーデン・クローネ = 15.01円 (2015年6月24日)

出典：株式会社三菱東京UFJ銀行「1990年以降の外国為替相場一覧表」(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

第8【本邦における提出会社の株式事務等の概要】

該当事項なし。

第9【提出会社の参考情報】

1【提出会社の親会社等の情報】

該当事項なし。

2【その他の参考情報】

2014年1月1日以降、本書の提出日までの間に、提出された書類及び提出日は以下のとおりである。

- (1) 有価証券報告書及びその添付書類
2014年6月17日 関東財務局長に提出
- (2) 発行登録書(募集)及びその添付書類
2014年6月17日 関東財務局長に提出
- (3) 発行登録書(売出し)及びその添付書類
2014年6月17日 関東財務局長に提出
- (4) 訂正報告書
2014年8月22日 上記(1)記載の有価証券報告書の訂正報告書を関東財務局長に提出
- (5) 半期報告書及びその添付書類
2014年8月22日 関東財務局長に提出
- (6) 訂正発行登録書
2014年8月22日 上記(2)記載の発行登録書の訂正発行登録書を関東財務局長に提出
- (7) 訂正発行登録書
2014年8月22日 上記(3)記載の発行登録書の訂正発行登録書を関東財務局長に提出
- (8) 発行登録追補書類及びその添付書類
2014年8月28日 上記(2)記載の発行登録書の追補書類を関東財務局長に提出
- (9) 臨時報告書及びその添付書類
2015年3月13日 金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第1項及び第2項第9号の規定に基づき、関東財務局長に提出
- (10) 訂正発行登録書
2015年3月13日 上記(2)記載の発行登録書の訂正発行登録書を関東財務局長に提出
- (11) 訂正発行登録書
2015年3月13日 上記(3)記載の発行登録書の訂正発行登録書を関東財務局長に提出

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

第1【保証会社情報】

該当事項なし。

第2【保証会社以外の会社の情報】

該当事項なし。

第3【指数等の情報】

該当事項なし。

(翻訳)

監査報告書

スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト(企業識別番号502007-7862号)の年次株主総会
御中

年次財務諸表及び連結財務諸表における報告

私たちは、本書の7-191ページ(訳注:原文のページ数である。)に含まれているスウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの2014年度の年次財務諸表及び連結財務諸表について監査を行った。

取締役及び最高経営責任者の年次財務諸表及び連結財務諸表における責任

取締役及び最高経営責任者の責任は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法に準拠して年次財務諸表を作成し適正に表示すること並びに、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法及びEUが採択した国際財務報告基準に準拠して連結財務諸表を適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない年次財務諸表及び連結財務諸表を作成するために取締役及び最高経営責任者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

私たちの責任は、私たちの監査に基づいて年次財務諸表、連結財務諸表について意見を表明することにある。私たちは、国際監査基準及びスウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して監査を行った。当該監査基準は、年次財務諸表及び連結財務諸表に重要な虚偽記載がないかどうかについての合理的な保証を得るために、私たちが倫理規定を遵守して監査を計画し、実施することを要求している。当年度において、当行の内部監査部門は継続的に内部統制及び勘定の検査を実施し、私たちはこれについて作成された報告書を受領している。

監査においては、年次財務諸表及び連結財務諸表の金額や開示について監査証拠を入手するための手続きが実施される。監査手続は、私たちの判断により、不正又は誤謬による年次財務諸表及び連結財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて選択される。財務諸表監査の目的は内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私たちは、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、年次財務諸表及び連結財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、取締役及び最高経営責任者が採用した会計方針の妥当性並びに、年次財務諸表及び連結財務諸表を作成する際に取締役及び最高経営責任者が行った重要な見積りの合理性の評価も含め、年次財務諸表及び連結財務諸表全体としての表示を評価することが含まれる。

私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

私たちの意見では、年次財務諸表は信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法に準拠して作成されており、また、親会社の2014年12月31日現在の財政状態並びに同日に終了した事業年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況は、同法に準拠し、すべての重要な点において適正に表示されているものと認める。連結財務諸表は信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法に準拠して作成されており、また、当行グループの2014年12月31日現在の財政状態並びに同日に終了した事業年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況は、同法並びにEUが採択した国際財務報告基準IFRSに準拠し、すべての重要な点において適正に表示されているものと認める。コーポレート・ガバナンス報告書が作成されているが、取締役会報告書及びコーポレート・ガバナンス報告書は年次財務諸表及び連結財務諸表のその他の部分と整合している。

したがって、私たちは、年次株主総会に対して親会社及び当行グループの損益計算書及び貸借対照表の承認を勧告する。

その他の法令及び規制における報告

年次財務諸表及び連結財務諸表の監査に加え、私たちは2014年度の当行の利益処分案及びスウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの取締役会及び最高経営責任者による運営に関する監査も行った。

取締役会及び最高経営責任者の責任

取締役会は、当社の利益処分案の作成に責任を負っている。また、取締役会及び最高経営責任者は会社法、銀行及び金融業法に基づく運営責任を負っている。

監査人の責任

私たちの責任は、私たちが実施した監査に基づいて、当行の利益処分案及び運営に対する合理的な保証意見を表明することにある。私たちはスウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して監査を実施した。

取締役による当行の利益処分案に対する監査意見の基礎として、私たちは、利益処分案が会社法に準拠しているかどうかを評価するために取締役の陳述書及び選択された裏付証拠を検証した。

また、責任解除に関する私たちの意見の基礎として、年次財務諸表及び連結財務諸表に対する監査に加え、取締役又は経営責任者が当社に対する義務を負っているかどうかを決定するために、当行の重要な決定、講じられた措置及び当行の状況を検証した。さらに、私たちは、取締役又は最高経営責任者が、会社法、銀行及び金融業法、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法、又は定款に違反した行為を行っているかどうかについても検証した。

私たちは、私たちの意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと確信している。

監査意見

私たちは、年次株主総会に対して、取締役会報告書に記載されている提案に従った利益処分、及び当事業年度について取締役会のメンバー及び最高経営責任者の責任解除を勧告する。

ストックホルム、2015年2月12日

ケーピーエムジーエービー
ステファン・ホルムストローム
公認会計士

アーンスト・アンド・ヤング・エービー
エリック・アストローム
公認会計士

[次へ](#)

Revisionsberättelse

Till årsstämman i Svenska Handelsbanken AB (publ), org. nr 502007-7862

Rapport om årsredovisningen och koncernredovisningen

Vi har utfört en revision av årsredovisningen och koncernredovisningen för Svenska Handelsbanken AB (publ) för år 2014. Bolagets årsredovisning och koncernredovisning ingår i den tryckta versionen av detta dokument på sidorna 7 - 191.

Styrelsens och verkställande direktörens ansvar för årsredovisningen och koncernredovisningen

Det är styrelsen och verkställande direktören som har ansvaret för att upprätta en årsredovisning som ger en rättvisande bild enligt lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag och en koncernredovisning som ger en rättvisande bild enligt International Financial Reporting Standards, såsom de antagits av EU, och enligt lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag, och för den interna kontroll som styrelsen och verkställande direktören bedömer är nödvändig för att upprätta en årsredovisning och koncernredovisning som inte innehåller väsentliga felaktigheter, vare sig dessa beror på oegentligheter eller på fel.

Revisorns ansvar

Vårt ansvar är att uttala oss om årsredovisningen och koncernredovisningen på grundval av vår revision. Vi har utfört revisionen enligt International Standards on Auditing och god revisionssed i Sverige. Dessa standarder kräver att vi följer yrkesetiska krav samt planerar och utför revisionen för att uppnå rimlig säkerhet att årsredovisningen och koncernredovisningen inte innehåller väsentliga felaktigheter. Bankens interna revisionsavdelning har under året löpande granskat den interna kontrollen och räkenskaperna. Rapporter häröver har tillställts oss.

En revision innefattar att genom olika åtgärder inhämta revisionsbevis om belopp och annan information i årsredovisningen och koncernredovisningen. Revisorn väljer vilka åtgärder som ska utföras, bland annat genom att bedöma riskerna för väsentliga felaktigheter i årsredovisningen och koncernredovisningen, vare sig dessa beror på oegentligheter eller på fel. Vid denna riskbedömning beaktar revisorn de delar av den interna kontrollen som är relevanta för hur bolaget upprättar årsredovisningen och koncernredovisningen för att ge en rättvisande bild i syfte att utforma granskningsåtgärder som är ändamålsenliga med hänsyn till omständigheterna, men inte i syfte att göra ett uttalande om effektiviteten i bolagets interna kontroll. En revision innefattar också en utvärdering av ändamålsenligheten i de redovisningsprinciper som har använts och av rimligheten i styrelsens och verkställande direktörens uppskattningar i redovisningen, liksom en utvärdering av den övergripande presentationen i årsredovisningen och koncernredovisningen.

Vi anser att de revisionsbevis vi har inhämtat är tillräckliga och ändamålsenliga som grund för våra uttalanden.

Uttalanden

Enligt vår uppfattning har årsredovisningen upprättats i enlighet med lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag och ger en i alla väsentliga avseenden rättvisande bild av moderbolagets finansiella ställning per den 31 december 2014 och av dess finansiella resultat och kassaflöden för året enligt lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag.

Koncernredovisningen har upprättats i enlighet med lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag och ger en i alla väsentliga avseenden rättvisande bild av koncernens finansiella ställning per den 31 december 2014 och av dess finansiella resultat och kassaflöden för året enligt International Financial Reporting Standards, såsom de antagits av EU, och enligt lagen om årsredovisning i kreditinstitut och

värdepappersbolag. En bolagsstyrningsrapport har upprättats. Förvaltningsberättelsen och bolagsstyrningsrapporten är förenliga med årsredovisningens och koncernredovisningens övriga delar.

Vi tillstyrker därför att årsstämman fastställer resultaträkningen och balansräkningen för moderbolaget och för koncernen.

Rapport om andra krav enligt lagar och andra författningar

Utöver vår revision av årsredovisningen och koncernredovisningen har vi även utfört en revision av förslaget till dispositioner beträffande bolagets vinst eller förlust samt styrelsens och verkställande direktörens förvaltning för Svenska Handelsbanken AB (publ) för år 2014.

Styrelsens och verkställande direktörens ansvar

Det är styrelsen som har ansvaret för förslaget till dispositioner beträffande bolagets vinst eller förlust, och det är styrelsen och verkställande direktören som har ansvaret för förvaltningen enligt aktiebolagslagen och lagen om bank- och finansieringsrörelse.

Revisorns ansvar

Vårt ansvar är att med rimlig säkerhet uttala oss om förslaget till dispositioner beträffande bolagets vinst eller förlust och om förvaltningen på grundval av vår revision. Vi har utfört revisionen enligt god revisionssed i Sverige.

Som underlag för vårt uttalande om styrelsens förslag till dispositioner beträffande bolagets vinst eller förlust har vi granskat styrelsens motiverade yttrande samt ett urval av underlagen för detta för att kunna bedöma om förslaget är förenligt med aktiebolagslagen.

Som underlag för vårt uttalande om ansvarsfrihet har vi utöver vår revision av årsredovisningen och koncernredovisningen granskat väsentliga beslut, åtgärder och förhållanden i bolaget för att kunna bedöma om någon styrelseledamot eller verkställande direktören är ersättningsskyldig mot bolaget. Vi har även granskat om någon styrelseledamot eller verkställande direktören på annat sätt har handlat i strid med aktiebolagslagen, lagen om bank- och finansieringsrörelse, lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag eller bolagsordningen.

Vi anser att de revisionsbevis vi har inhämtat är tillräckliga och ändamålsenliga som grund för våra uttalanden.

Uttalanden

Vi tillstyrker att årsstämman disponerar vinsten enligt förslaget i förvaltningsberättelsen och beviljar styrelsens ledamöter och verkställande direktören ansvarsfrihet för räkenskapsåret.

Stockholm den 12 februari 2015

KPMG AB

Ernst & Young AB

Stefan Holmström

Erik Åström

Auktoriserad revisor

Auktoriserad revisor